
国分寺市地域福祉計画
高齢者福祉に関するアンケート
結果報告書

平成26年 3 月
国分寺市

目次

第1章 調査の概要	1
1 調査実施の目的	3
2 調査の種類と調査対象	3
3 調査方法と回収結果	3
4 調査項目	4
5 報告書利用上の留意点	6
第2章 日常生活圏域二一ズ調査	7
1 調査結果	9
1-1 あて名ご本人の状況, あなたのご家族や生活状況	9
(1) 記入者	9
(2) 記入者の続柄	9
(3) 性別	9
(4) 年齢	9
(5) 居住地区	10
(6) 市内在住年数	10
(7) 世帯構成	10
(8) 同居している人数	11
(9) 日中一人になることがあるか	11
(10) 介護・介助の必要性	11
(11) 介護・介助が必要になった主な原因	12
(12) 主な介護・介助者	12
(13) 主な介護・介助者の年齢	12
(14) 年金の種類	13
(15) 現在の暮らしの経済的な状況	13
(16) 住居	13
(17) 住居の種類	13
(18) 主に生活する部屋は2階以上か	14
(19) エレベーター設置の有無	14
1-2 運動・外出	15
(1) 運動の状況	15
(2) 外出	17
1-3 転倒	19
(1) 転倒の状況	19
1-4 口腔・栄養	21
(1) 身体状況	21

(2) 口腔や嚥下	22
(3) 食事の状況	24
1-5 物忘れ	27
(1) 物忘れの状況	27
1-6 日常生活	29
(1) バスや電車での外出の状況	29
(2) 日用品の買物の状況	30
(3) 食事の支度の状況	31
(4) 支払いや預貯金の出し入れ等の状況	32
(5) 食事や洗面等の日常動作	33
(6) 排せつや入浴	35
(7) 日常動作	35
(8) 排せつの失敗	36
(9) 家事全般	36
1-7 社会参加	37
(1) 日常生活	37
(2) 会・グループ等への参加頻度	38
(3) 社会参加活動や仕事の状況	39
(4) たすけあい	41
(5) 友人関係	43
1-8 健康	45
(1) 健康状態	45
(2) 通院の状況	47
(3) 在宅サービスの利用状況	48
(4) 飲酒や喫煙の状況	49
(5) ここ2週間の生活	50
2 総括	51

第3章 第1号被保険者調査	55
1 調査結果	57
1-1 本人の状況	57
(1) 記入者	57
(2) 記入者の続柄	57
(3) 性別	57
(4) 年齢	57
(5) 世帯構成	58
(6) 居住形態	58
(7) 日中の同居者の有無	58
(8) 居住地区	59

(9) 地域包括エリア	59
(10) 市内在住年数	60
(11) 介護保険料段階	60
1-2 介護予防の意識・取組	61
(1) 「介護予防」という言葉の認知度	61
(2) 介護予防や健康保持のための各種事業の参加状況	63
(3) 「生活機能チェックリスト」の回答状況	65
(4) 介護予防や健康保持のために取り組んでいること	67
1-3 地域との交流	69
(1) 近所付き合いの程度	69
(2) 近所付き合いの必要性	71
1-4 暮らしや情報	72
(1) 現在の経済的な暮らし向き	72
(2) 生活を支えている主な収入源	73
(3) 世帯全員の年間総収入	75
(4) 日常生活の中での不安や悩み	76
(5) 自分が希望する介護形態	79
(6) 健康などに関する地域情報の入手先	82
1-5 就労意識・意向	83
(1) 就労状況	83
(2) 今後の就労希望	84
1-6 健康状況	85
(1) 健康状態	85
(2) かかりつけ医の有無	86
(3) 健康診断の受診状況	87
1-7 生きがいや社会参加	89
(1) 参加している地域活動の種類	89
(2) 今後希望する活動内容	91
1-8 介護保険制度	92
(1) 介護保険制度の認知度	92
(2) 介護保険料の納付方法の認知状況	92
(3) 介護保険料の負担感	93
(4) 高齢者相談窓口の認知度	95
1-9 高齢者に対する施策や支援	97
(1) 高齢者に対する大切だと思う施策や支援	97
1-10 認知症	98
(1) 認知症の理解度	98
(2) 認知症に関する相談先	98
1-11 成年後見制度	100

(1) 成年後見制度の認知度	100
1-12 ご意見・ご要望等	101
2 総括	107
第4章 要介護（要支援）認定者（在宅）及び家族等介護者調査	111
1 調査結果	113
1-1 本人の状況	113
(1) 記入者	113
(2) 記入者の続柄	113
(3) 性別	113
(4) 年齢	113
(5) 世帯構成	114
(6) 居住形態	114
(7) 日中の同居者の有無	114
(8) 居住地区	115
(9) 地域包括エリア	115
(10) 市内在住年数	115
(11) 介護保険料段階	116
(12) 家族や親族等による介護	116
(13) 現在の要介護度	116
1-2 介護予防の意識・取組	117
(1) 介護予防や健康維持のために取り組んでいること	117
1-3 暮らしや情報	119
(1) 現在の経済的な暮らし向き	119
(2) 生活を支えている主な収入源	121
(3) 世帯全員の年間総収入	122
(4) 日常生活の中での不安や悩み	123
(5) 自分が希望する介護形態	126
(6) 施設への入所申し込み状況	130
(7) 地域で知りたい情報の内容	132
1-4 地域との交流	134
(1) 近所付き合いの程度	134
(2) 近所付き合いの必要性	136
1-5 介護保険サービスの利用状況・利用意向	137
(1) 介護保険サービスの利用状況	137
(2) (未利用者) 過去の介護保険サービスの利用経験の有無	140
(3) (未利用者) 現在、介護保険サービスを利用していない理由	141
(4) 今後の利用意向	142
1-6 介護保険制度の評価	144

(1) 介護保険制度の満足度	144
(2) 介護保険料の納付方法	145
(3) 介護保険料の負担感	146
(4) 高齢者の相談窓口の周知度	147
1-7 要支援・要介護の方を支える施策や支援	148
(1) 要支援・要介護の方を支える大切だと思う施策や支援	148
(2) 制度や事業の認知度	149
1-8 主介護者の状況	150
(1) 性別	150
(2) 年齢	150
(3) ご本人との続柄	151
(4) 職業（介護者）	151
(5) 介護年数	151
(6) 介護時間	152
(7) 介護頻度	152
(8) 主介護者以外に介護に携わっている人の有無	153
(9) 本人との同居	153
1-9 介護の状況（主介護者）	154
(1) （利用者）サービス利用による介護負担の変化	154
(2) 介護・介助の内容	156
(3) 事業者に依頼したいもの	158
(4) 介護をする上での悩み	160
(5) 在宅で介護する上での重要な条件	162
(6) 家族等介護者への支援内容	163
1-10 不足していると思われる情報やサービス（主介護者）	164
(1) 介護保険事業者に関して不足している情報内容	164
(2) 不足あるいは利用しづらいサービス種類	165
1-11 成年後見制度・地域福祉権利擁護事業（日常生活自立支援事業）の認知度（主介護者）	167
(1) 成年後見制度・地域福祉権利擁護事業（日常生活自立支援事業）の認知度	167
(2) 認知症	168
1-12 ご意見・ご要望	169
2 総括	176

第5章 施設等利用者及び家族状況調査	179
1 調査結果	181
1-1 本人の状況	181
(1) 記入者	181
(2) 記入者の続柄	181
(3) 性別	181

(4) 年齢	181
(5) 施設の種類	182
(6) 介護老人福祉施設の居室のタイプ	182
(7) 入所（入居）理由	183
(8) 施設の所在地	184
(9) 施設の入所期間	184
(10) 入所待機期間	185
(11) 以前お住まいの施設あるいは住まい	185
(12) 現在の要介護度	186
(13) ご本人の家族構成	186
1-2 施設での生活	187
(1) 日常的な金銭管理	187
(2) 日頃の楽しみ	188
(3) 入所（入居）して良くなったと感じること	189
(4) 施設生活の満足度	190
(5) 最終的に暮らしたい場所	191
1-3 施設サービスで大切なこと	194
1-4 ご意見・ご要望	195
1-5 家族等介護者の状況	199
(1) 性別（介護者）	199
(2) 年齢（介護者）	199
(3) 続柄（介護者）	199
(4) 職業（介護者）	200
2 総括	201
第6章 介護保険事業者調査	203
1 調査結果	205
1-1 事業所の概要	205
(1) 事業種別（介護予防を含む）	205
(2) 法人格の種類	205
(3) 事業所の所在地	206
(4) 職員体制	207
(5) 正規職員の勤務年数別割合	208
(6) 定期健康診断の実施状況	208
(7) 採用人数・離職人数	209
1-2 利用者の人権尊重	210
(1) 利用者の人権尊重や虐待防止に向けた取組	210
1-3 事故防止や感染予防の取組	211
(1) 事故防止等の取組内容	211

(2) 感染症の発症に対する予防策の取組内容	212
1-4 利用者からの苦情・相談内容とその対応	213
(1) 利用者やその家族からの苦情や相談内容	213
(2) 苦情や相談の対応体制の有無	214
1-5 サービスの質の向上に向けた課題	215
(1) 課題となっている内容	215
1-6 介護報酬改定や処遇改善等の影響	216
(1) 平成24年4月以降の介護職員の処遇改善の取組状況	216
(2) 介護職員の処遇改善を行う上での課題	217
(3) 前年度との収入差	218
1-7 人材の確保	219
(1) 職員の早期離職の防止や定着促進に向けた取組	219
(2) 人材確保に向けた取組	220
1-8 第三者評価の受審状況	221
(1) 福祉サービス第三者評価の受審状況	221
1-9 ご意見・ご要望	223
2 総括	228

第7章 ケアマネジャー調査	231
1 調査結果	233
1-1 ご本人の状況	233
(1) 性別	233
(2) 年齢	233
(3) ケアマネジャー経験年数	233
(4) ケアマネジャー以外の相談業務等経験年数	233
(5) 就業業務形態	234
(6) 事業所の形態	234
(7) 健康診断の受診状況	234
(8) 労働災害の経験	235
1-2 利用者から望まれる事業者情報	236
(1) 利用者から「提供してほしい」または「不足」との声が多い情報	236
1-3 サービスの供給	237
(1) 供給不足と感じられるサービスの種類	237
(2) 在宅生活を送る上で必要と思われるサービスや支援内容	238
1-4 苦情・相談事例	239
(1) 利用者やその家族から寄せられる苦情や相談で多いもの	239
1-5 業務内容	240
(1) 平成24年4月の報酬改定後の業務負担感の変化	240
(2) 受け持ち仕事量の評価	241

(3) サービスの質についての履行確認の方法	242
1-6 感染症	243
(1) 利用者等が感染症に気が付いていないケースの有無, 情報入手方法	243
(2) サービスを利用し始めてから感染したり発症したケースの有無, 情報入手方法	244
1-7 業務上の悩みや問題点	245
(1) 業務上の悩みや問題点の相談相手, 相談していない理由	245
1-8 ケアマネジメントの質の向上	247
(1) 質の向上に向けて必要な知識, 向上させたい知識	247
1-9 サービス担当者会議の開催	249
(1) サービス担当者会議の適切な開催	249
1-10 保険者に対する評価	250
(1) 保険者に対して不満に感じること	250
1-11 ケアマネジャーへの支援	252
(1) 保険者に望まれるケアマネジャーへの支援内容	252
(2) 保険者に相談したい内容	253
1-12 関係機関との連携	255
(1) 関係機関との連携状況	255
1-13 医療との連携	257
(1) かかりつけ医との連携状況	257
(2) 退院加算が増えたことによる, 医療機関との連携状況	259
1-14 ご意見・ご要望	260
2 総括	263
第8章 介護職員等調査	265
1 調査結果	267
1-1 ご本人の状況	267
(1) 事業所の経営主体	267
(2) 事業所の従業員規模	267
(3) 事業所の介護サービス種類	268
(4) 性別	268
(5) 年齢	269
(6) 現在取得している介護に関する資格	269
(7) 健康診断の受診状況	269
(8) 労働災害の経験	270
(9) 主たる生計維持者	270
1-2 現在の職場の状況	271
(1) 事業所を知ったきっかけ	271
(2) 現在働いている事業所での就労状況	272
(3) 仕事を選んだ理由	275

(4) 仕事の満足度	276
(5) 現在働く上での不安や悩み	277
(6) 介護に関する仕事の就労継続意向	278
(7) 現在働く上での不安や悩み	280
(8) 利用者やその家族からあげられた介護保険以外のサービスニーズ	283
1-3 感染症	284
(1) 利用者等が感染症に気がついていないケースの有無, 情報入手方法	284
(2) サービスを利用し始めてから感染したり発症したケースの有無, 情報入手方法	285
1-4 介護報酬改定や処遇改善の状況	286
(1) あなた自身の処遇改善状況	286
(2) 平成24年4月以降のあなたの仕事内容や職場環境への影響度	287
1-5 以前働いていた職場の状況	288
(1) 現在の仕事に就く前の就労状況	288
1-6 ご意見・ご要望	290
2 総括	293
第9章 資料編	295

第 1 章 調査の概要

1 調査実施の目的

平成26年度に地域福祉計画を策定するにあたり、市民の地域や福祉に対する思い、実感、地域活動等への参加状況や広く市民のご意見、ご要望等を把握し、計画改定の基礎資料とすることを目的としてアンケート調査を実施しました。

2 調査の種類と調査対象

No.	調査名	調査対象
1	日常生活圏域ニーズ調査	65歳以上の方
2	第1号被保険者調査	要介護認定を受けていない65歳以上の第1号被保険者
3	要介護（要支援）認定者（在宅）及び家族等介護者調査	要介護（要支援）認定を受けている被保険者で下記No. 4の施設等入所者以外の方
4	施設等利用者及び家族状況調査	要介護認定を受けている施設等入所者（介護保険施設、特定施設入居者生活介護、認知症対応型共同生活介護等の利用者）
5	介護保険事業者調査	市内及び近隣市で、市民利用実績のある介護保険サービスを提供している事業所
6	ケアマネジャー調査	市内及び近隣市で、市民利用実績のある介護保険事業所で働いているケアマネジャー
7	介護職員等調査	市内及び近隣市で、市民利用実績のある介護保険事業所で働いているホームヘルパー、介護職員等

3 調査方法と回収結果

◇調査方法：郵送によるアンケート調査

◇調査期間：平成25年12月5日～平成25年12月27日

◇回収状況：

No.	調査名	対象者数	配付数	有効回収数	有効回収率
1	日常生活圏域ニーズ調査	1,000件	1,000件	700件	70.0%
2	第1号被保険者調査	600件	600件	411件	68.5%
3	要介護（要支援）認定者（在宅）及び家族等介護者調査	700件	700件	400件	57.1%
4	施設等利用者及び家族状況調査	300件	300件	161件	53.7%
5	介護保険事業者調査	354件	354件	189件	53.4%
6	ケアマネジャー調査	109件	109件	66件	60.6%
7	介護職員等調査	400件	400件	162件	40.5%

4 調査項目

調査名	調査項目
1. 日常生活圏域ニーズ調査	1. あて名ご本人の状況 2. あなたのご家族や生活状況 3. 運動・外出 4. 転倒 5. 口腔・栄養 6. 物忘れ 7. 日常生活 8. 社会参加 9. 健康
2. 第1号被保険者調査	1. あて名ご本人の状況 2. 介護予防の意識・取組 3. 地域との交流 4. 暮らしや情報 5. 就労意識・意向 6. 健康状況 7. 生きがいや社会参加 8. 介護保険制度 9. 高齢者に対する施策や支援 10. 認知症 11. 成年後見制度
3. 要介護（要支援）認定者（在宅）及び家族等介護者調査	1. あて名ご本人の状況 2. 介護予防の意識・取組 3. 暮らしや情報 4. 地域との交流 5. 介護保険サービスの利用状況・利用意向 6. 介護保険制度の評価 7. 要支援・要介護の方を支える施策や支援 8. 主介護者のあなたの状況 9. 介護の状況 10. 不足している情報やサービス 11. 制度や窓口の認知度 12. 認知症
4. 施設等利用者及び家族状況調査	1. 施設等入所者ご本人の状況 2. 施設での生活 3. 施設サービスで大切なこと 4. 家族等介護者の状況

5. 介護保険事業者調査	<ol style="list-style-type: none"> 1. 貴事業所の概要 2. 利用者の人権の尊重 3. 事故防止, 感染予防の取組 4. 利用者からの苦情・相談内容とその対応 5. サービスの質の向上に向けた課題 6. 介護報酬改定や処遇改善等の影響 7. 人材の確保 8. 第三者評価の受審状況
6. ケアマネジャー調査	<ol style="list-style-type: none"> 1. あなたご自身の状況 2. 利用者から望まれる事業者情報 3. サービスの供給 4. 苦情・相談事例 5. 業務内容 6. 感染症 7. 業務上の悩みや問題点 8. ケアマネジメントの質の向上 9. サービス担当者会議の開催 10. 保険者に対する評価 11. ケアマネジャーへの支援 12. 関係機関との連携 13. 医療との連携
7. 介護職員等調査	<ol style="list-style-type: none"> 1. 介護職員の状況 2. 現在の職場の状況 3. 感染症 4. 介護報酬改定や処遇改善の状況 5. 以前に働いていた職場の状況

5 報告書利用上の留意点

(図表の単位について)

本報告書に掲載した図表の単位は、特にことわりのない限り「%」（回答率）をあらわしています。
この回答率は小数点第2位を四捨五入して掲載しているため、合計が100%ちょうどにならない場合があります。

また、複数回答が認められている設問について、回答率（%）の合計が100%を超える場合があります。

(図表における選択肢等の記載について)

図表の記載にあたっては、わかりやすさを考えて、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合があります。

(単純集計について)

単純集計のグラフにおいては、傾向をよりわかりやすくするために、選択肢を回答率（%）の高いものから低いものへと並び換えて表示している場合があります。

また、複数回答の設問の場合、回答比率の合計は100%を超える場合があります。

(クロス集計について)

「第1号被保険者調査」と「要介護（要支援）認定者（在宅）及び家族等介護者調査」の中で、【居住地区】をクロス集計の軸にする際には、次のように「地域包括エリア」として提示しています。

地域包括エリア※	該当する町名
もとまち	東元町, 西元町, 南町
ひかり	光町, 高木町, 西町
ひよし	戸倉, 日吉町, 内藤
こいがくぼ	泉町, 西恋ヶ窪, 東戸倉
なみき	富士本, 新町, 並木町, 北町
ほんだ	本町, 本多, 東恋ヶ窪

※本文では、「包括エリア」と表記します。

「要介護（要支援）認定者（在宅）及び家族等介護者調査」と「施設等利用者及び家族状況調査」の中で、【要介護度】をクロス集計の軸にする際には、次のように「要介護度区分」を定義し、掲載しています。

要介護度区分	該当する介護度
軽度	要支援 1・2, 要介護 1
中度	要介護 2, 要介護 3
重度	要介護 4, 要介護 5

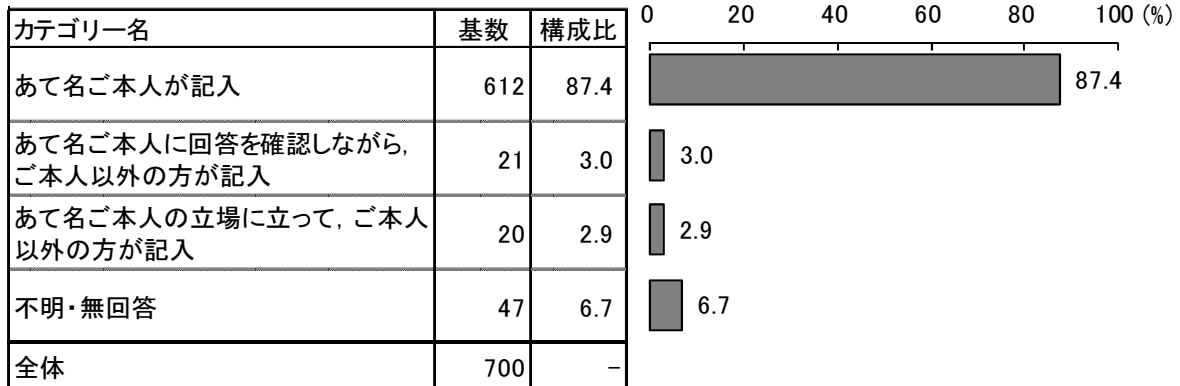
クロス集計の結果の記載にあたり、より傾向をわかりやすくするため、分析軸となる項目（クロス集計表の左側）の「不明・無回答」は省略しています。そのため、分析軸となる項目の回答者数の合計は、全体の数と一致しない場合があります。

第2章 日常生活圏域ニーズ調査

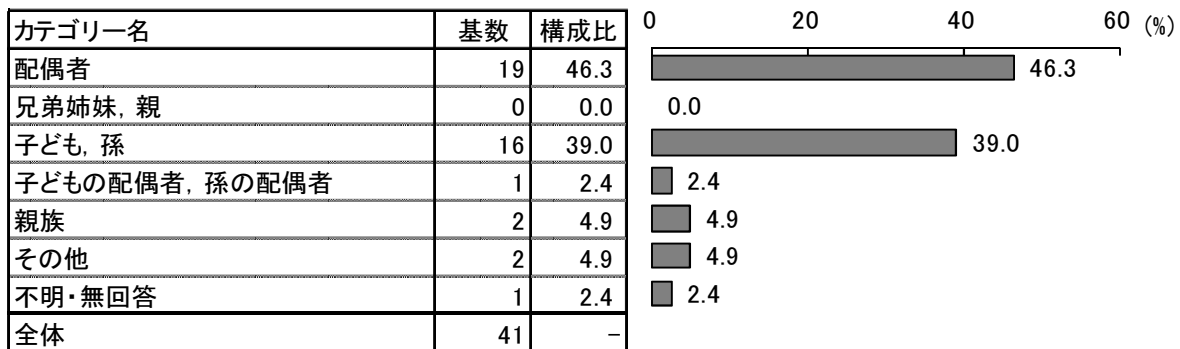
1 調査結果

1-1 あて名ご本人の状況, あなたのご家族や生活状況

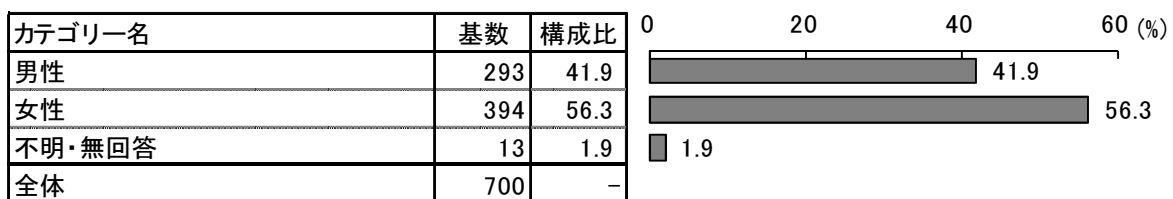
(1) 記入者



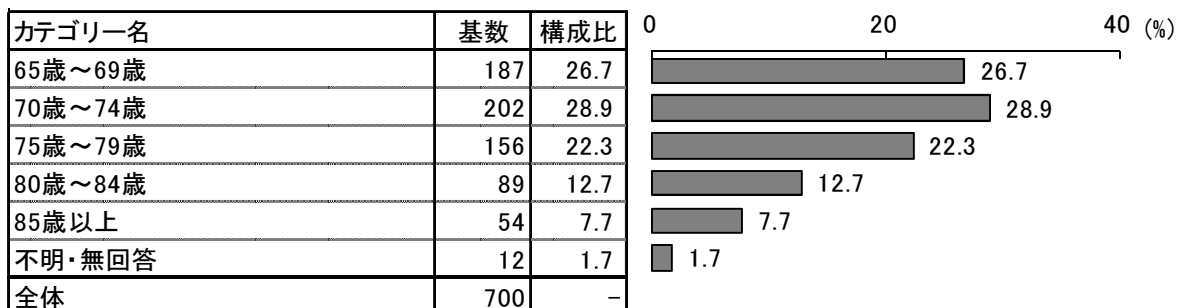
(2) 記入者の続柄 *上記(1)で、「ご本人以外の方が記入」と回答した場合



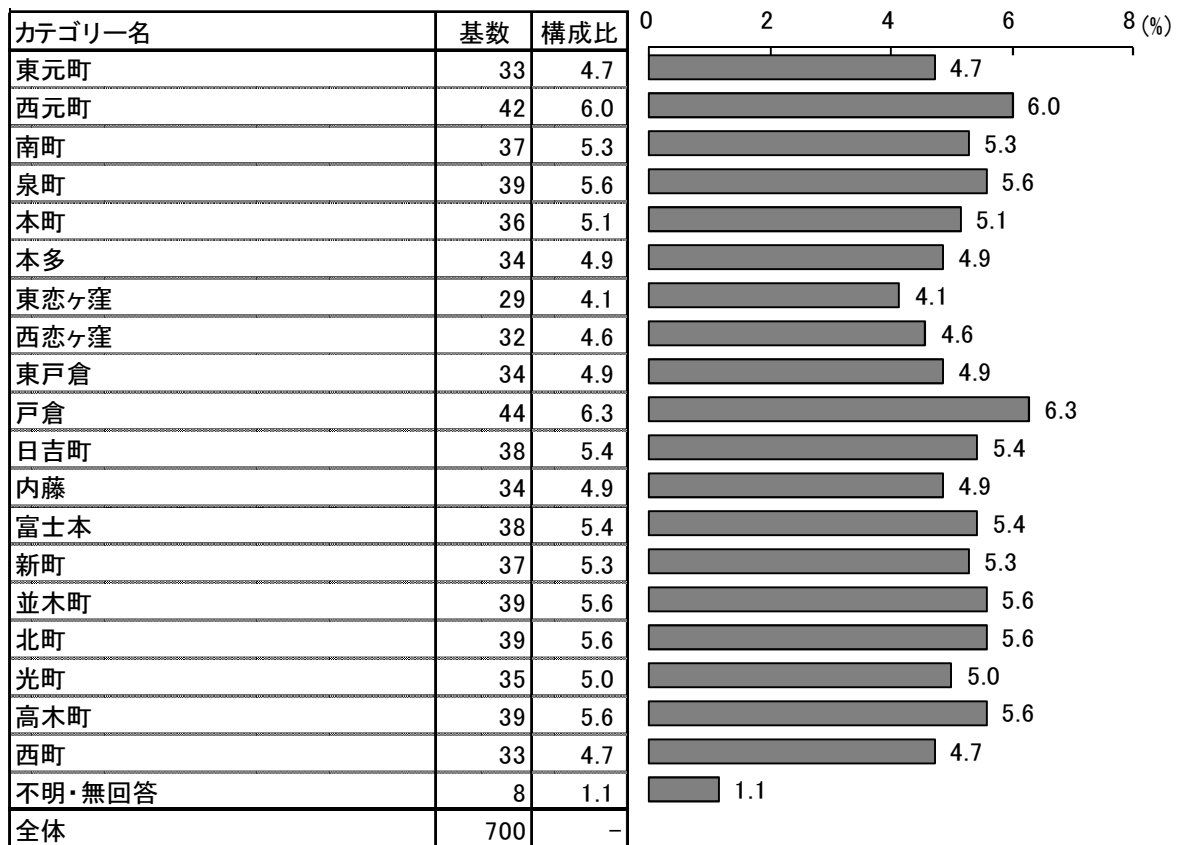
(3) 性別



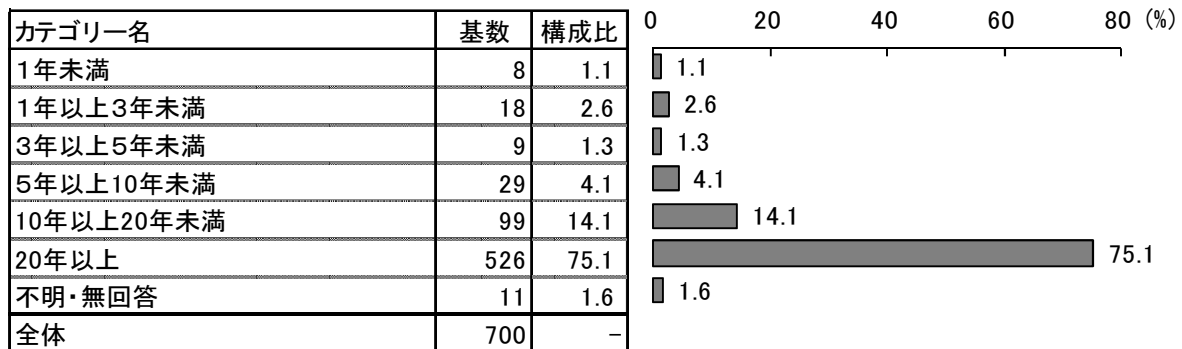
(4) 年齢



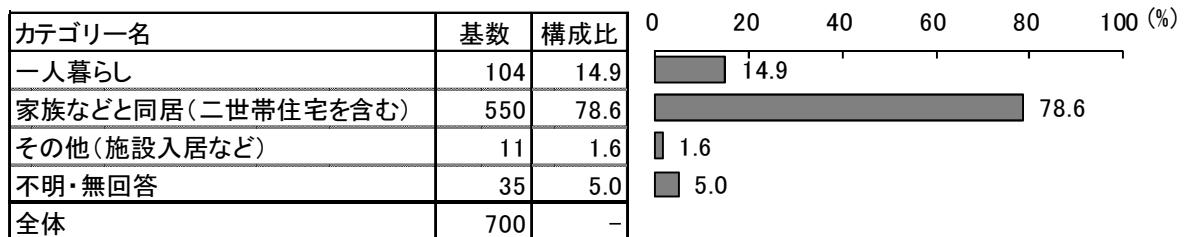
(5) 居住地区



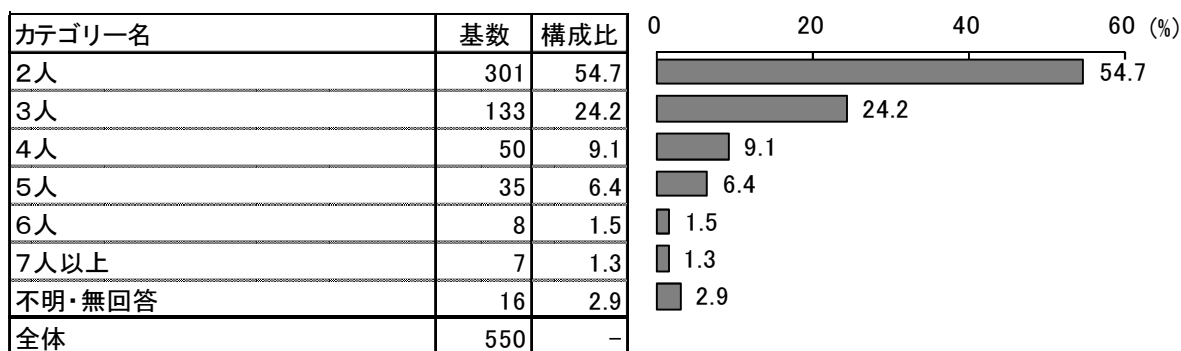
(6) 市内在住年数



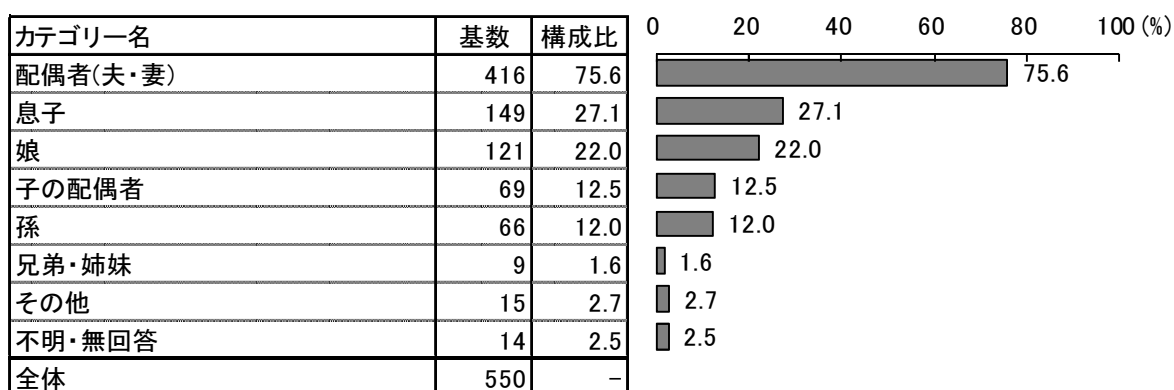
(7) 世帯構成



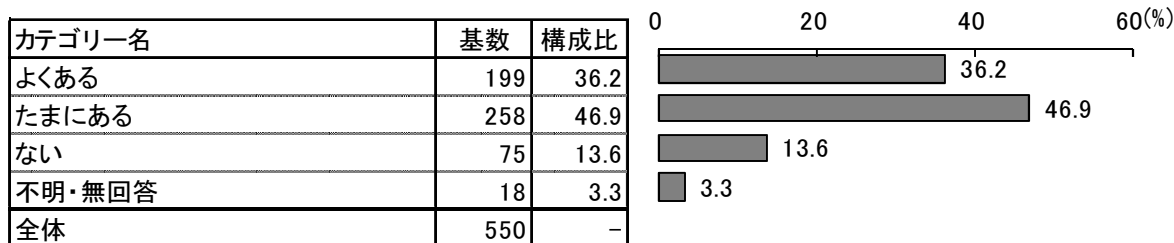
(8) 同居している人数 *前頁(7)で、「家族など同居」と回答した場合



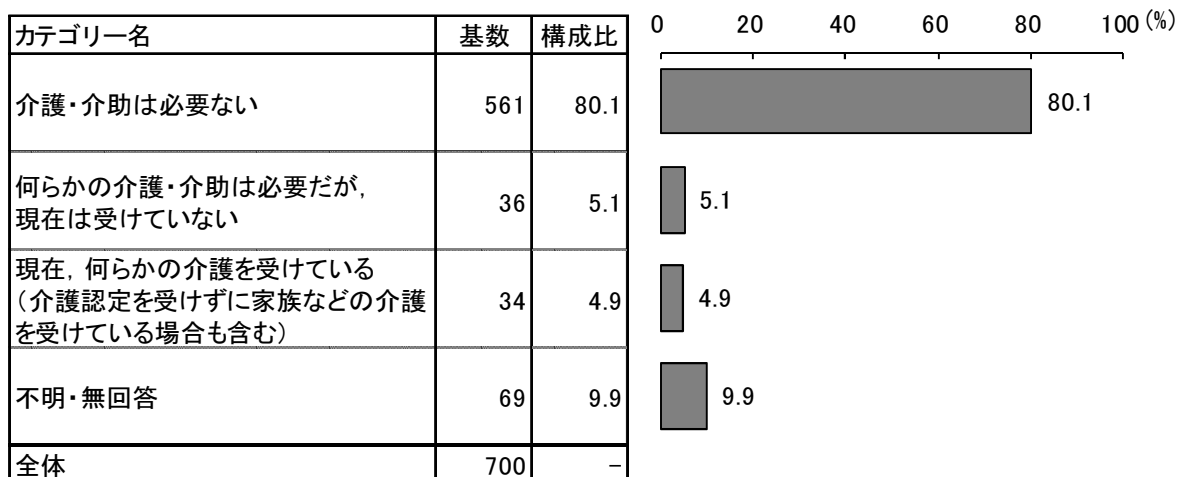
<同居している方>



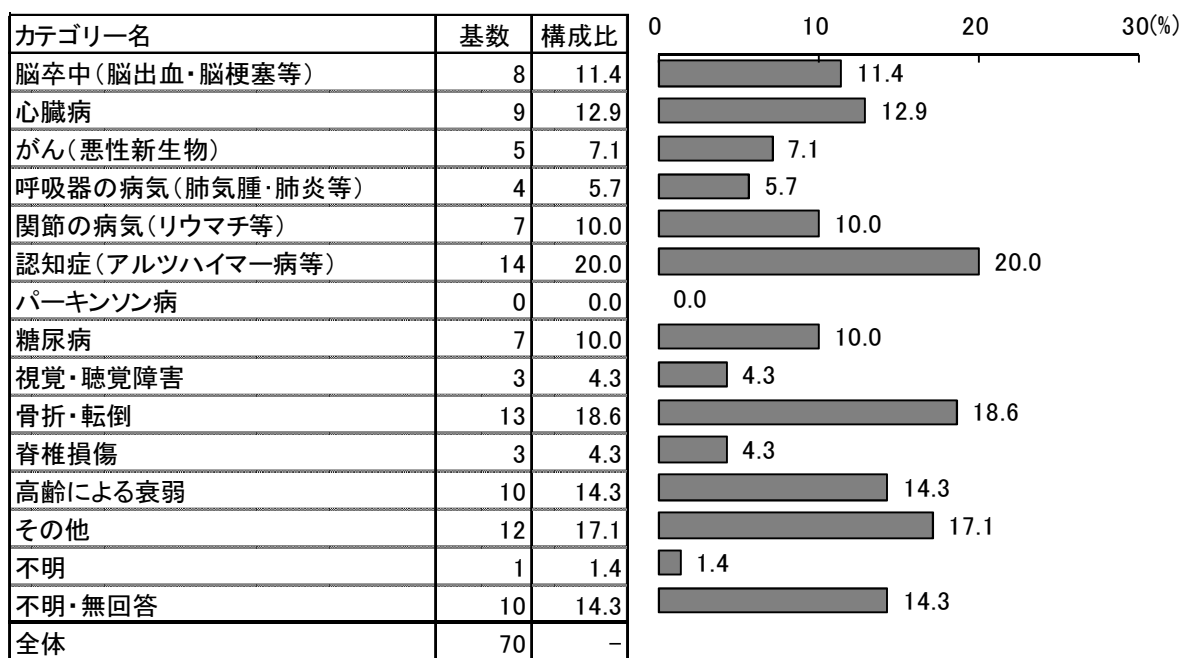
(9) 日中一人になることがあるか *前頁(7)で、「家族など同居」と回答した場合



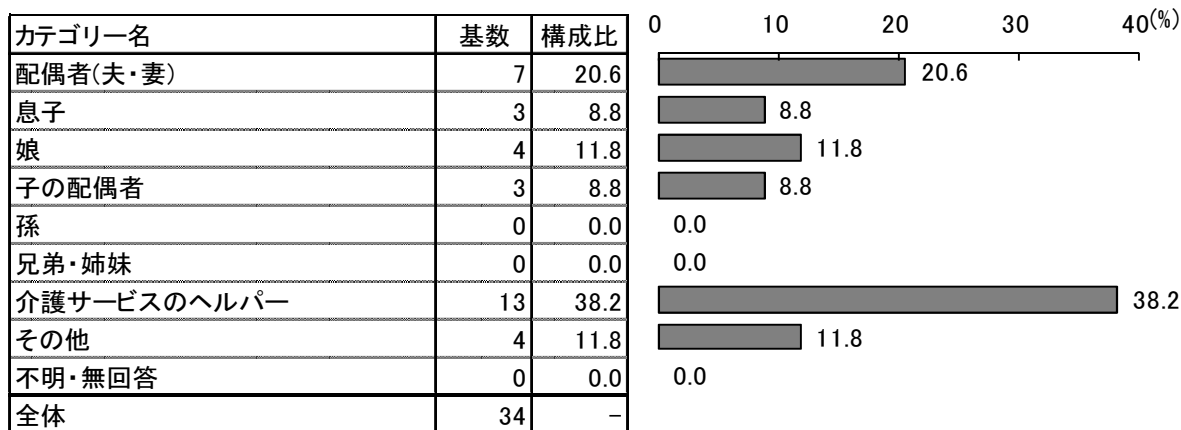
(10) 介護・介助の必要性



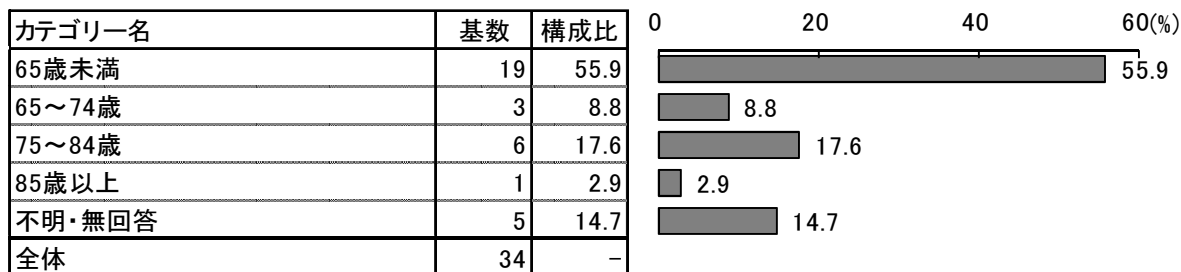
(11) 介護・介助が必要になった主な原因 *前頁(10)で、「介護・介助が必要」と回答した場合



(12) 主な介護・介助者 *前頁(10)で、「介護・介助が必要で、現在介護を受けている」と回答した場合

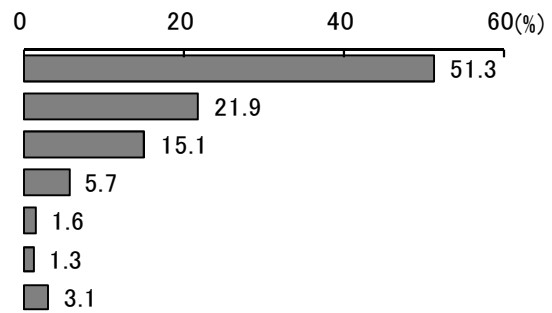


(13) 主な介護・介助者の年齢 *前頁(10)で、「介護・介助が必要で、現在介護を受けている」と回答した場合



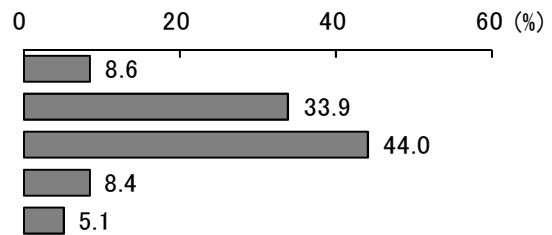
(14) 年金の種類

カテゴリー名	基数	構成比
国民年金	359	51.3
厚生年金(企業年金あり)	153	21.9
厚生年金(企業年金なし)	106	15.1
共済年金	40	5.7
無年金	11	1.6
その他	9	1.3
不明・無回答	22	3.1
全体	700	-



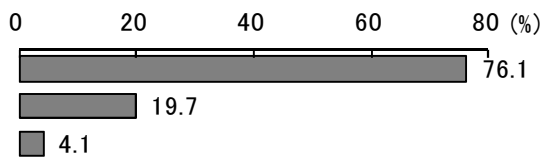
(15) 現在の暮らしの経済的な状況

カテゴリー名	基数	構成比
苦しい	60	8.6
やや苦しい	237	33.9
ややゆとりがある	308	44.0
ゆとりがある	59	8.4
不明・無回答	36	5.1
全体	700	-



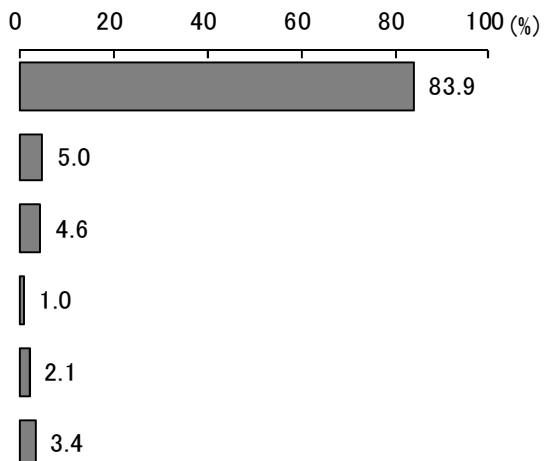
(16) 住居

カテゴリー名	基数	構成比
一戸建て	533	76.1
集合住宅	138	19.7
不明・無回答	29	4.1
全体	700	-



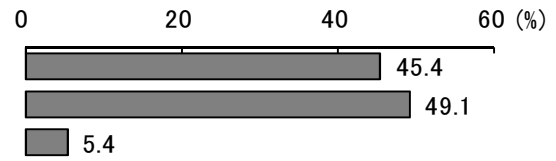
(17) 住居の種類

カテゴリー名	基数	構成比
持家	587	83.9
民間賃貸住宅	35	5.0
公営賃貸住宅(市・都営, 都市機構, 公社等)	32	4.6
借間	7	1.0
その他	15	2.1
不明・無回答	24	3.4
全体	700	-



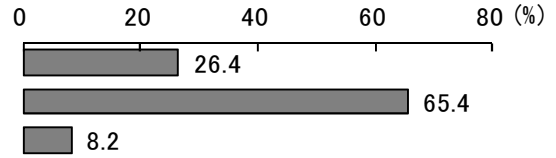
(18) 主に生活する部屋は2階以上か

カテゴリー名	基数	構成比
はい	318	45.4
いいえ	344	49.1
不明・無回答	38	5.4
全体	700	-



(19) エレベーター設置の有無 *上記(18)で、「はい(生活する部屋が2階以上)」と回答した場合

カテゴリー名	基数	構成比
はい	84	26.4
いいえ	208	65.4
不明・無回答	26	8.2
全体	318	-

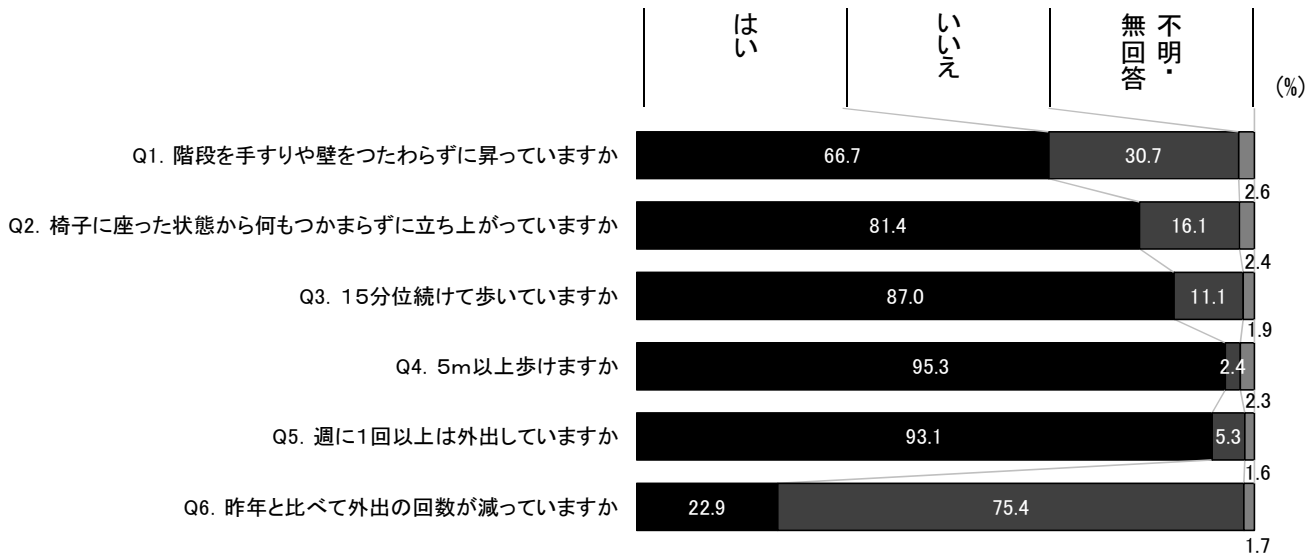


1-2 運動・外出

(1) 運動の状況

Q1～Q6. 以下のことができますか。(○は1つ)

☆いずれの項目でも、運動の状況は高い傾向



調査結果の傾向

運動の状況についておうかがいしました。

階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか(Q1)については、「はい」(66.7%)が6割台後半となっています。

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか(Q2), 15分位続けて歩いているか(Q3)については、「はい」(81.4%, 87.0%)が8割以上となっています。

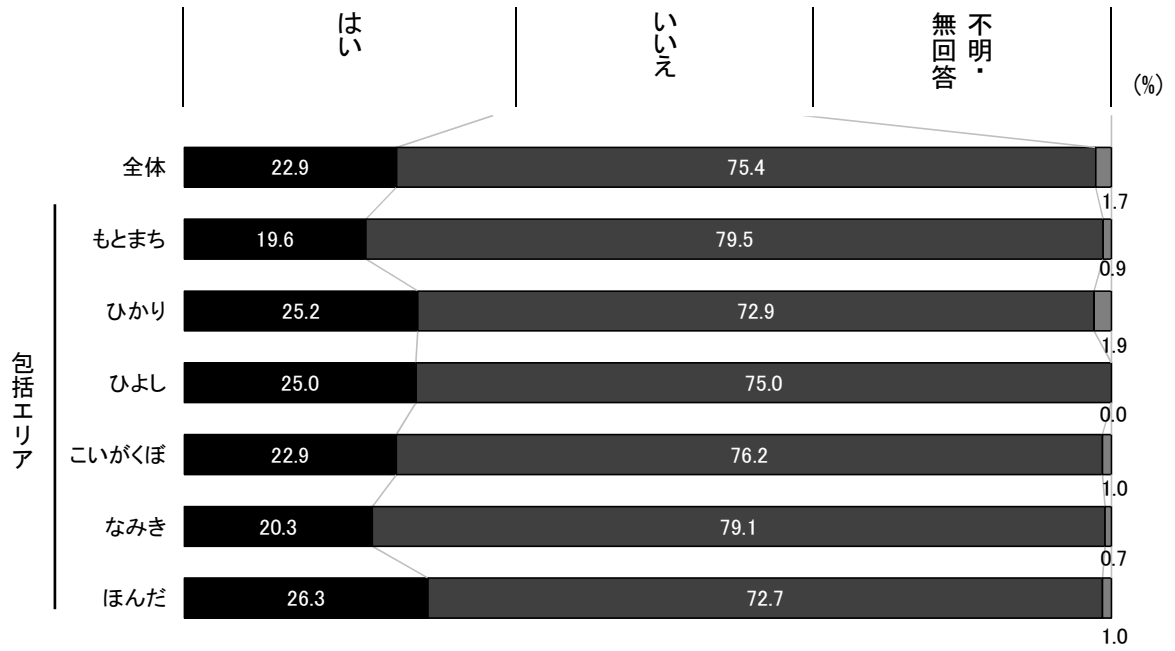
5m以上歩けるか(Q4), 週に1回以上は外出しているか(Q5)については、「はい」(95.3%, 93.1%)が9割以上となっています。

昨年と比べて外出の回数が減っているか(Q6)については、「はい」が22.9%で外出の頻度は減っていません。

クロス集計分析

包括エリア別に見ると、【ひかり】【ひよし】【ほんだ】は昨年と比べて外出の回数が減ったという回答が、全体平均を上回っています。

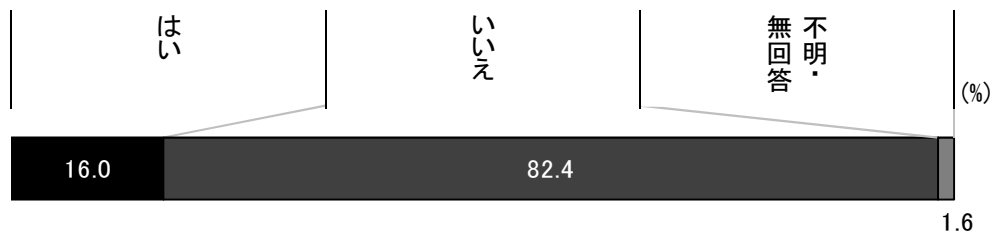
<Q6. 昨年と比べて外出の回数が減っていますか>



(2) 外出

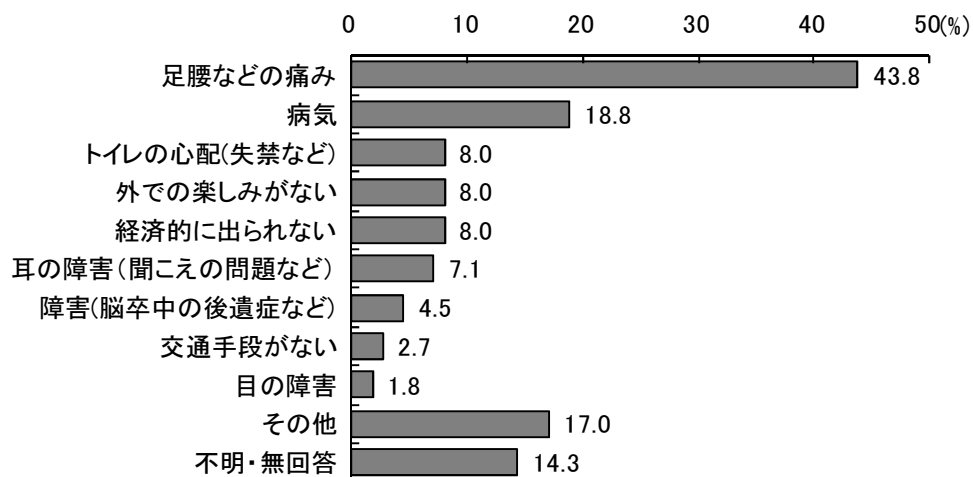
Q 7. 外出を控えていますか。(〇は1つ)

☆外出を控えていない方が8割以上



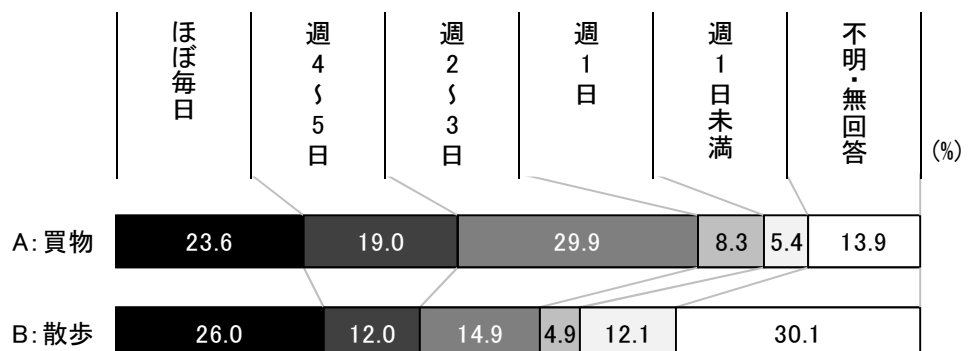
Q 7-1. 外出を控えている理由は、次のどれですか。(いくつでも)

☆外出を控えている理由は「足腰などの痛み」が4割以上でトップ



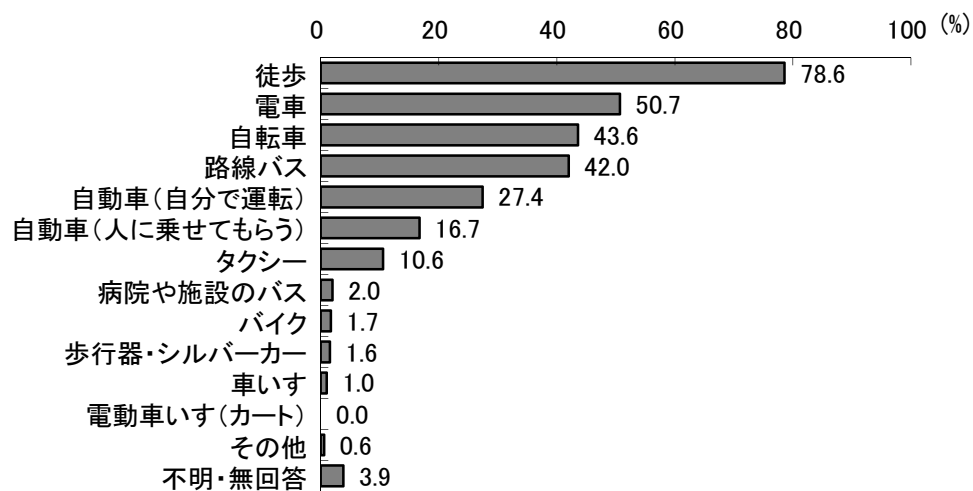
Q 8. 買物, 散歩で外出する頻度はどのくらいですか。(それぞれ1つ)

☆買物は「週2~3日」が約3割でトップ, 散歩は「ほぼ毎日」が2割台半ばでトップ



Q9. 外出する際の移動手段は何ですか。(いくつでも)

☆外出の移動手段は「徒歩」が8割弱でトップ



調査結果の傾向

外出の状況についておうかがいしました。

外出を控えているか(Q7)について聞いたところ、「はい」(16.0%)と答えた方は2割以下と少なく、「いいえ」(82.4%)と答えた外出を控えていない方が8割以上となっています。

また、外出を控えている理由(Q7-1)については、「足腰などの痛み」が43.8%で最多となっています。

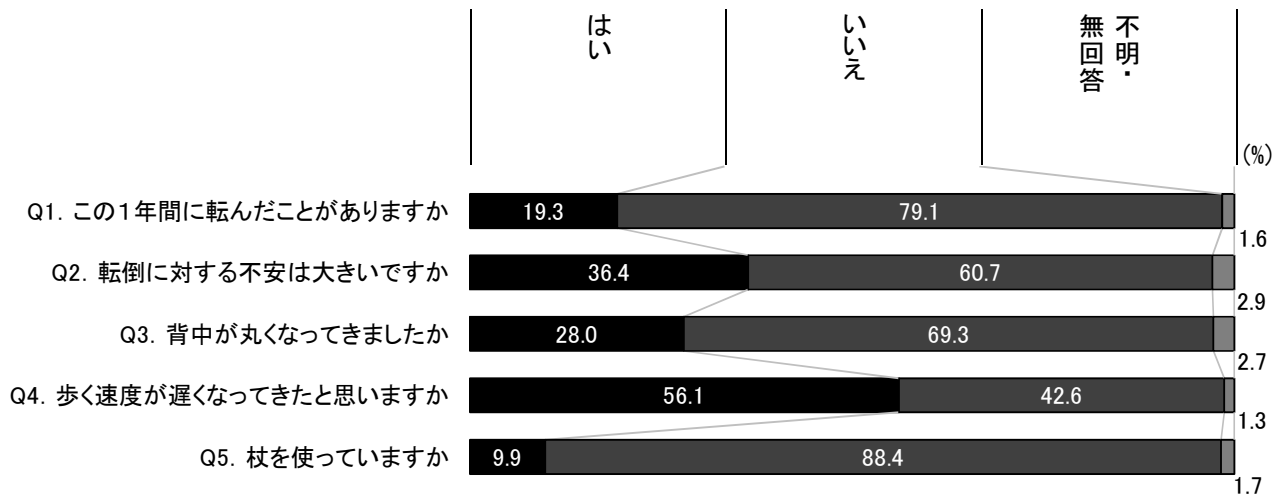
外出する頻度について(Q8)は、買物は「週2~3日」(29.9%), 散歩は「ほぼ毎日」(26.0%)が最多となっています。

1-3 転倒

(1) 転倒の状況

Q1～5. 以下の項目にお答えください。(○は1つ)

☆この1年間に転倒していない方が約8割、約4割が転倒に対する不安が大きい



調査結果の傾向

転倒の状況についておうかがいしました。

この1年間に転んだことがあるか(Q1)について聞いたところ、「はい」は19.3%となっています。

転倒に対する不安は大きいか(Q2)及び背中が丸くなってきたか(Q3)について聞いたところ、「はい」(36.4%, 28.0%)が3割前後となっています。

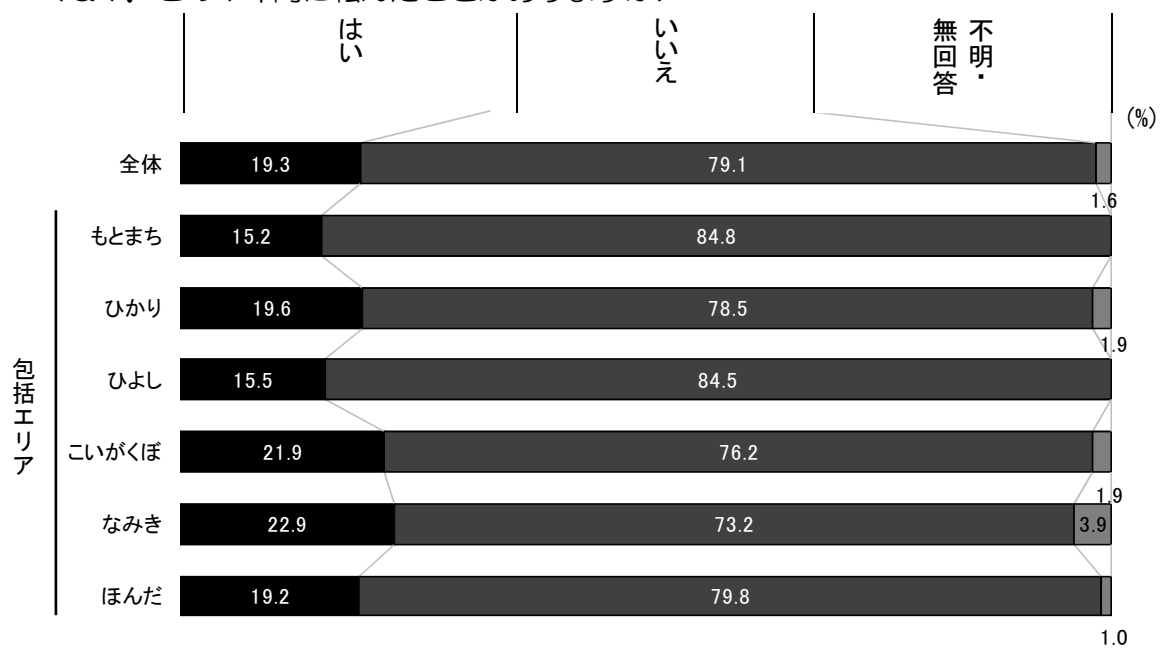
歩く速度が遅くなってきたと思うか(Q4)については、「はい」が56.1%となっています。

また、杖を使っているか(Q5)については、「いいえ」が88.4%となっています。

クロス集計分析

包括エリア別に見ると、【ひかり】【こいがくぼ】【なみき】ではこの1年間に転倒したことがある方の回答が全体平均を上回っています。

<Q1. この1年間に転んだことがありますか>

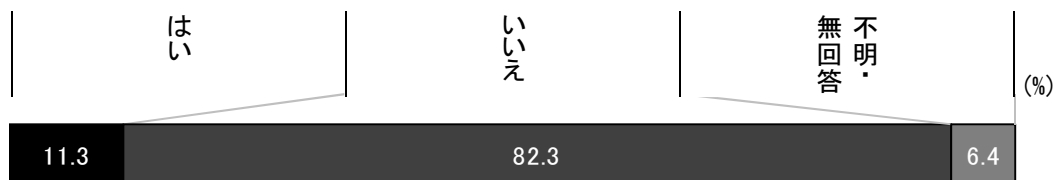


1-4 口腔・栄養

(1) 身体状況

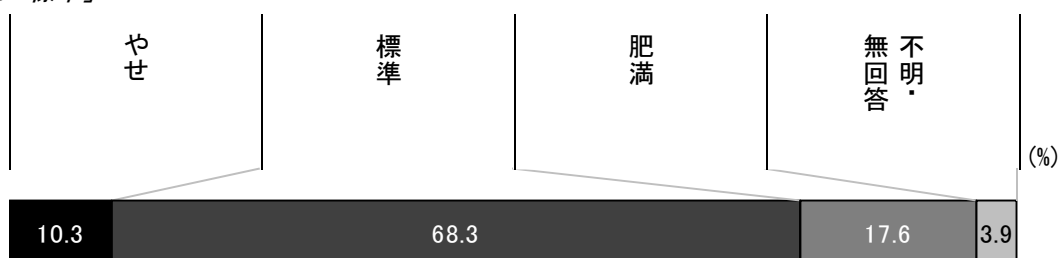
Q1. 6ヶ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(○は1つ)

☆8割以上の方が、体重減少がないと回答



Q2. BMI (身長と体重から算出)

☆BMIは、7割弱が「標準」



調査結果の傾向

身体状況についておうかがいしました。

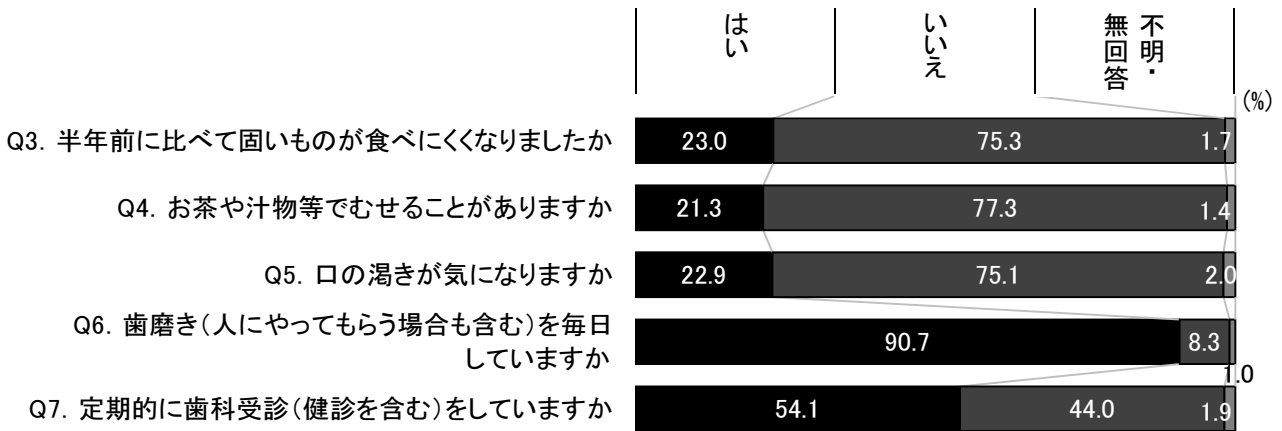
6ヶ月間で2～3kg以上の体重減少があるか(Q1)について聞いたところ、「いいえ」(82.3%)と答えられた方は8割以上、「はい」(11.3%)と答えられた方は1割強となっています。

BMI(Q2)については、「標準」が68.3%で最多、次いで「肥満」が17.6%、「やせ」が10.3%と続きます。

(2) 口腔や嚥下

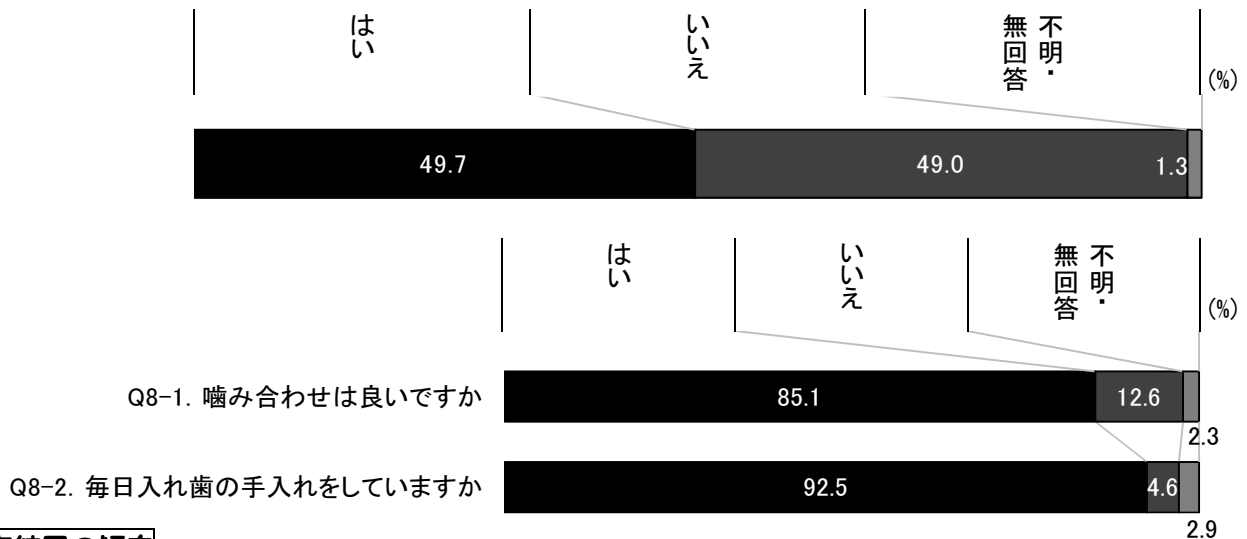
Q3～7. 以下の項目にお答えください。(○は1つ)

☆嚥下は7割以上が問題を感じていない



Q8. 入れ歯を使用していますか。(○は1つ)

☆入れ歯を使用している人と、使用していない人の割合は、ほぼ半々



調査結果の傾向

口腔や嚥下についておうかがいしました。

半年前に比べて固いものが食べにくくなったか(Q3), お茶や汁物等でむせることがあるか(Q4)及び口の渴きが気になるか(Q5)については, 7割台半ばの方が「いいえ」と回答しています。

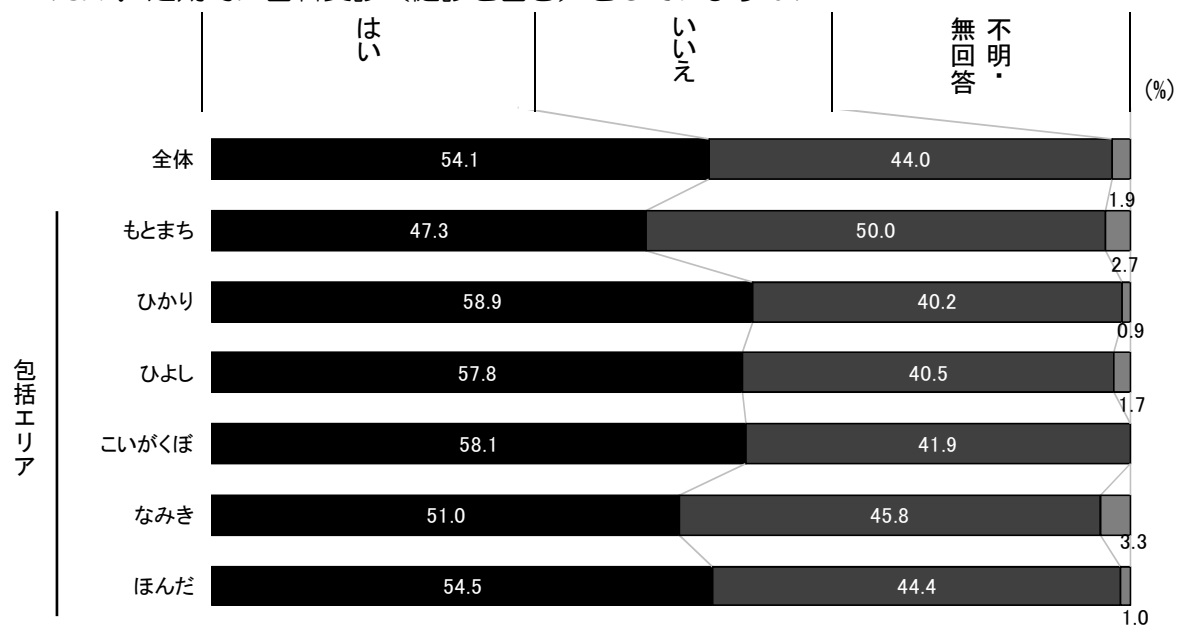
歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日しているか(Q6)については9割, 定期的に歯科受診(健診を含む)をしているか(Q7)については, 5割台半ばの方が「はい」と回答しています。

また, 入れ歯を使用しているか(Q8)については, 半数の方が「はい」と回答しており, そのうち, 噛み合わせは良いか(Q8-1)については8割台半ば, 毎日入れ歯の手入れをしているか(Q8-2)については9割以上の方が「はい」と回答しています。

クロス集計分析

包括エリア別に見ると, 定期的な歯科受診(健診を含む)の状況については, 【もともち】では受診していない方が受診している方の回答を上回っています。

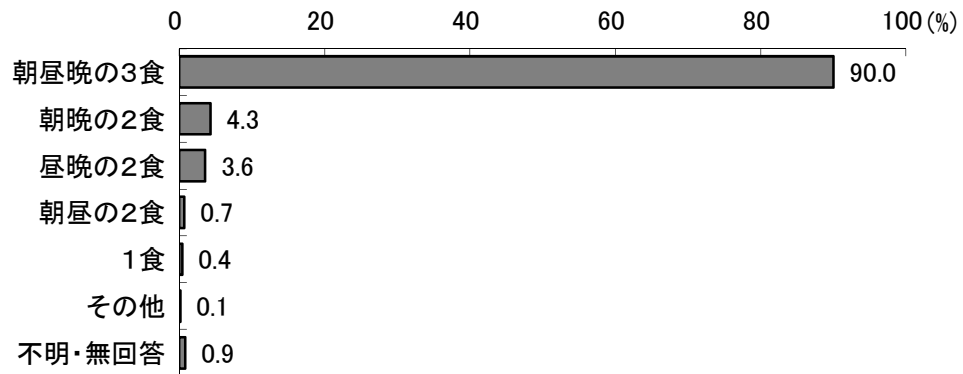
<Q7. 定期的に歯科受診（健診を含む）をしていますか>



(3) 食事の状況

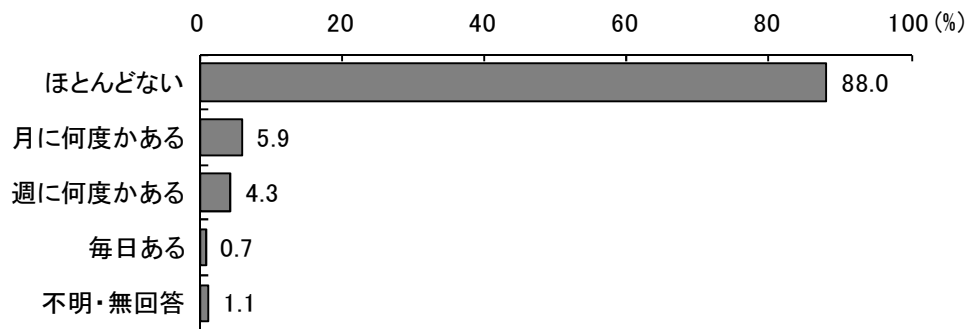
Q 9. 1日の食事の回数は何回ですか。(○は1つ)

☆食事の回数は「朝昼晩の3食」が9割で最多



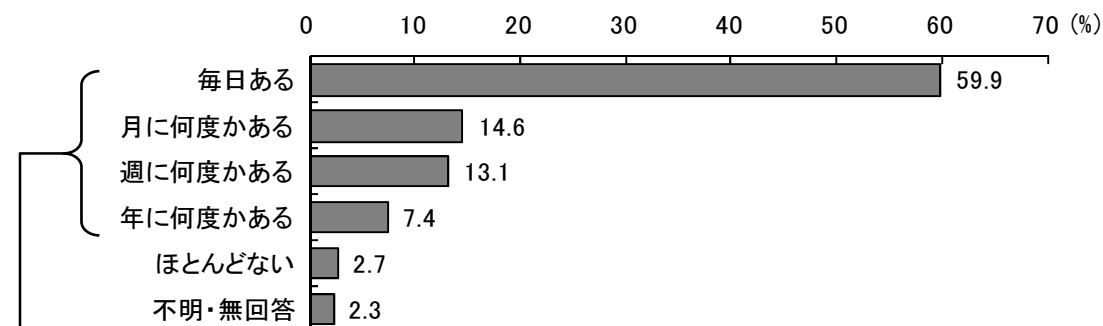
Q10. 食事を抜くことがありますか。(○は1つ)

☆食事を抜くことは、「ほとんどない」が9割弱



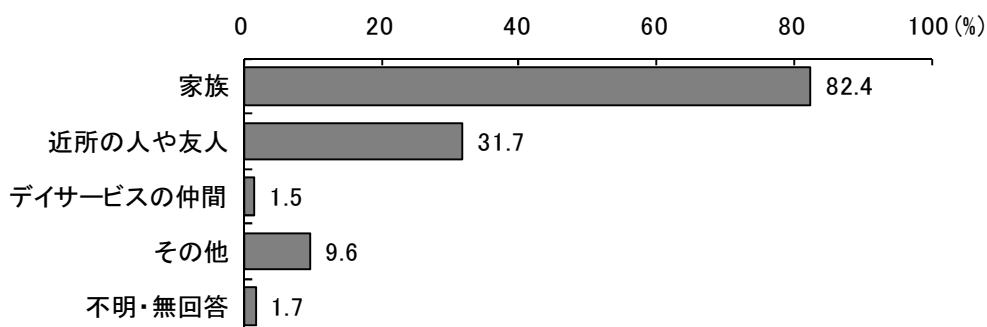
Q11. 自分一人でなく、どなたかと食事をとる機会がありますか。(○は1つ)

☆どなたかと食事をとる機会を、「毎日ある」が約6割



Q11-1. 食事をとる人はどなたですか。(いくつでも)

☆食事をとる人は「家族」が8割以上でトップ



調査結果の傾向

食事の状況についておうかがいしました。

1日の食事の回数は何回か(Q9)については、「朝昼晩の3食」が9割、食事を抜くことがあるか(Q10)については、「ほとんどない」が9割弱で、ともに最多となっています。

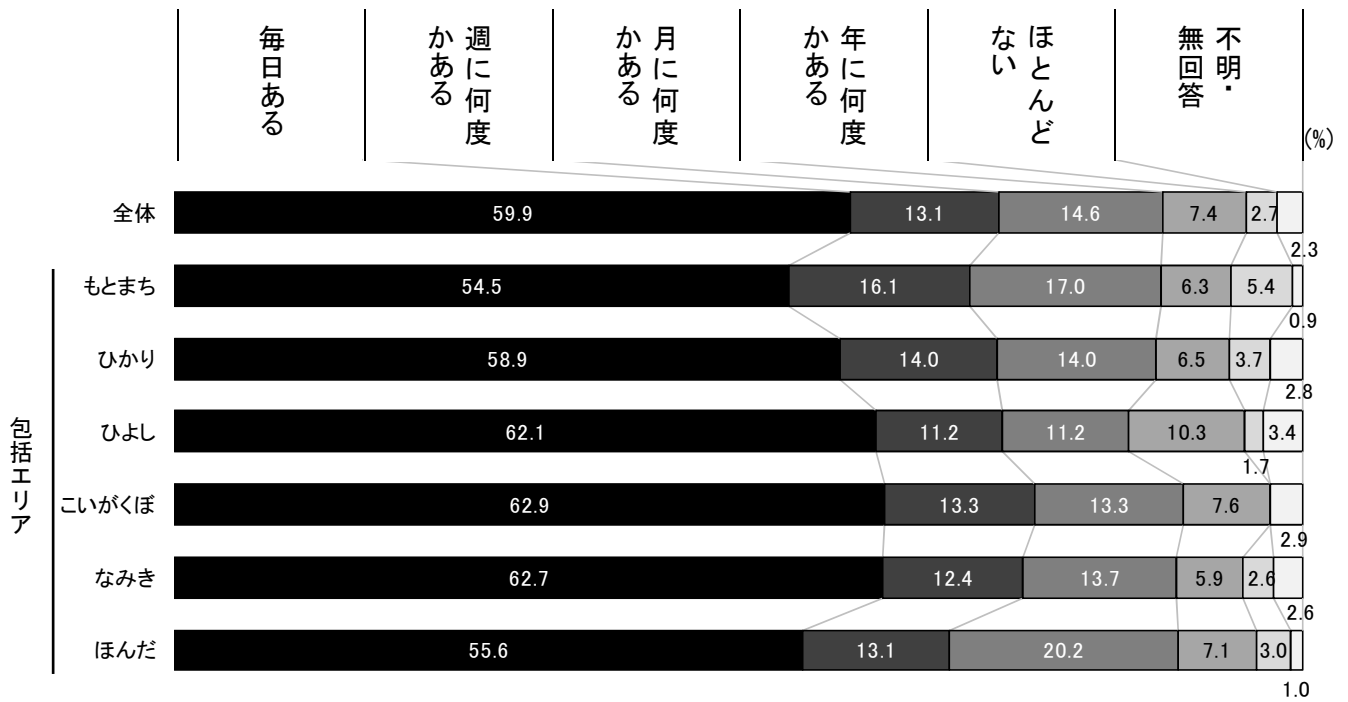
自分一人でなく、どなたかと食事をとる機会はあるか(Q11)については、「毎日ある」(59.9%)が約6割で最多、「月に何度かある」が14.6%、「週に何度かある」が13.1%と続きます。

また、食事をとる人については、「家族」(82.4%)が8割以上で最多、次いで「近所の人や友人」が31.7%となっています。

クロス集計分析

自分一人でなく、どなたかと食事をとる機会はあるかについては、包括エリア別に見ると、いずれのエリアでも「毎日ある」が最多となっていますが、【ひよし】【こいがくぼ】【なみき】で全体平均を上回っています。また、【ひよし】では「年に何度かある」、【ほんだ】では「月に何度かある」が、全体平均を大きく上回っています。

<Q11. 自分一人でなく、どなたかと食事をとる機会がありますか>

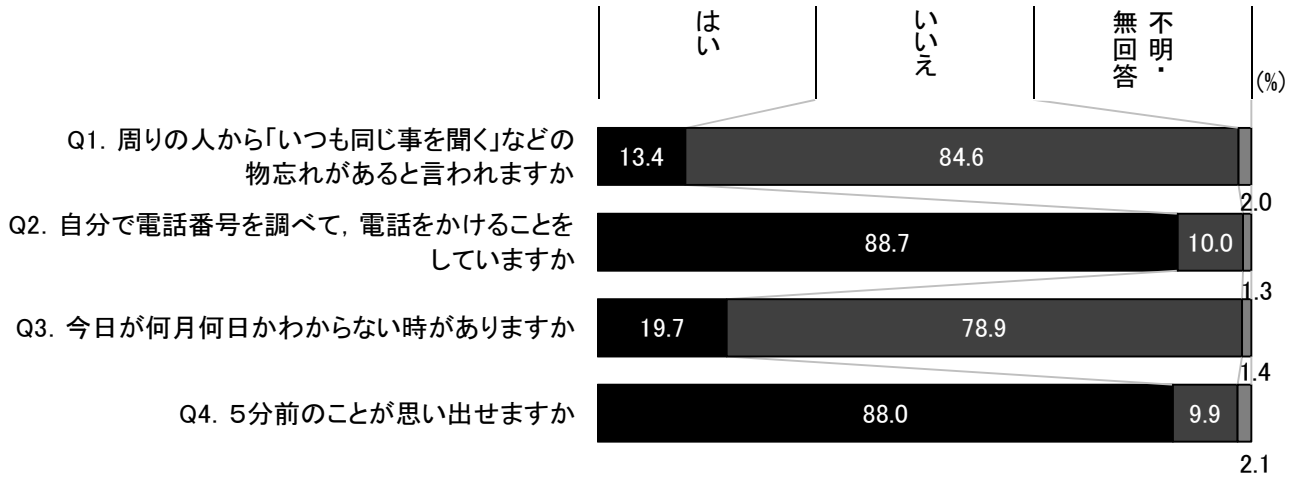


1-5 物忘れ

(1) 物忘れの状況

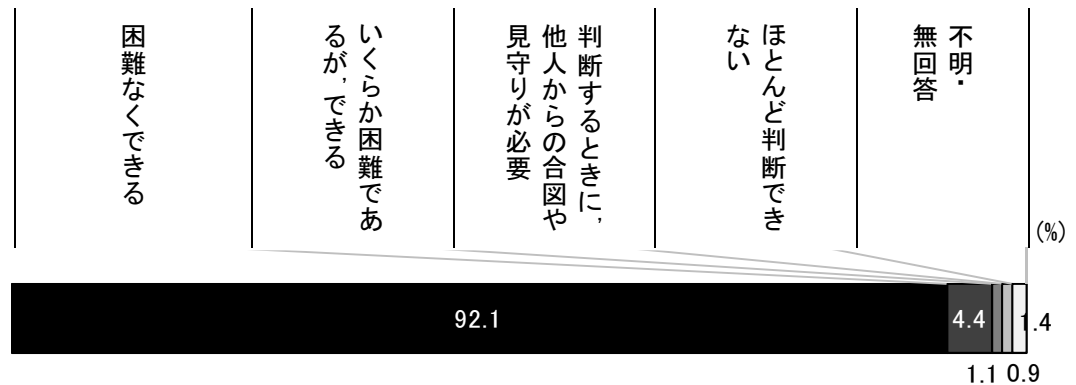
Q 1～4. 以下の項目にお答えください。(○は1つ)

☆物忘れの状況について、どの項目でも問題を感じていない人が8割弱以上



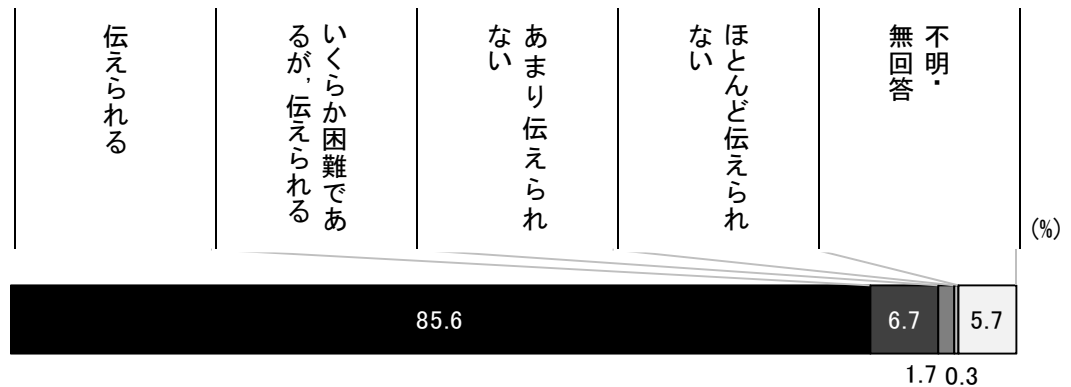
Q 5. その日の活動（食事をする，衣服を選ぶなど）を自分で判断できますか。(○は1つ)

☆その日の活動を自分で判断できるかについては、「困難なくできる」が9割以上



Q 6. 人に自分の考えをうまく伝えられますか。(○は1つ)

☆人に自分の考えをうまく伝えられる方が8割以上



調査結果の傾向

物忘れについておうかがいしました。

周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあると言われるか(Q1)，今日が何月何日かわからない時があるか(Q3)については，8割前後の方が「いいえ」と回答しています。また，自分で電話番号を調べて電話をかけることをしているか(Q2)，5分前のことが思い出せるか(Q4)については，9割弱の方が「はい」と回答しています。

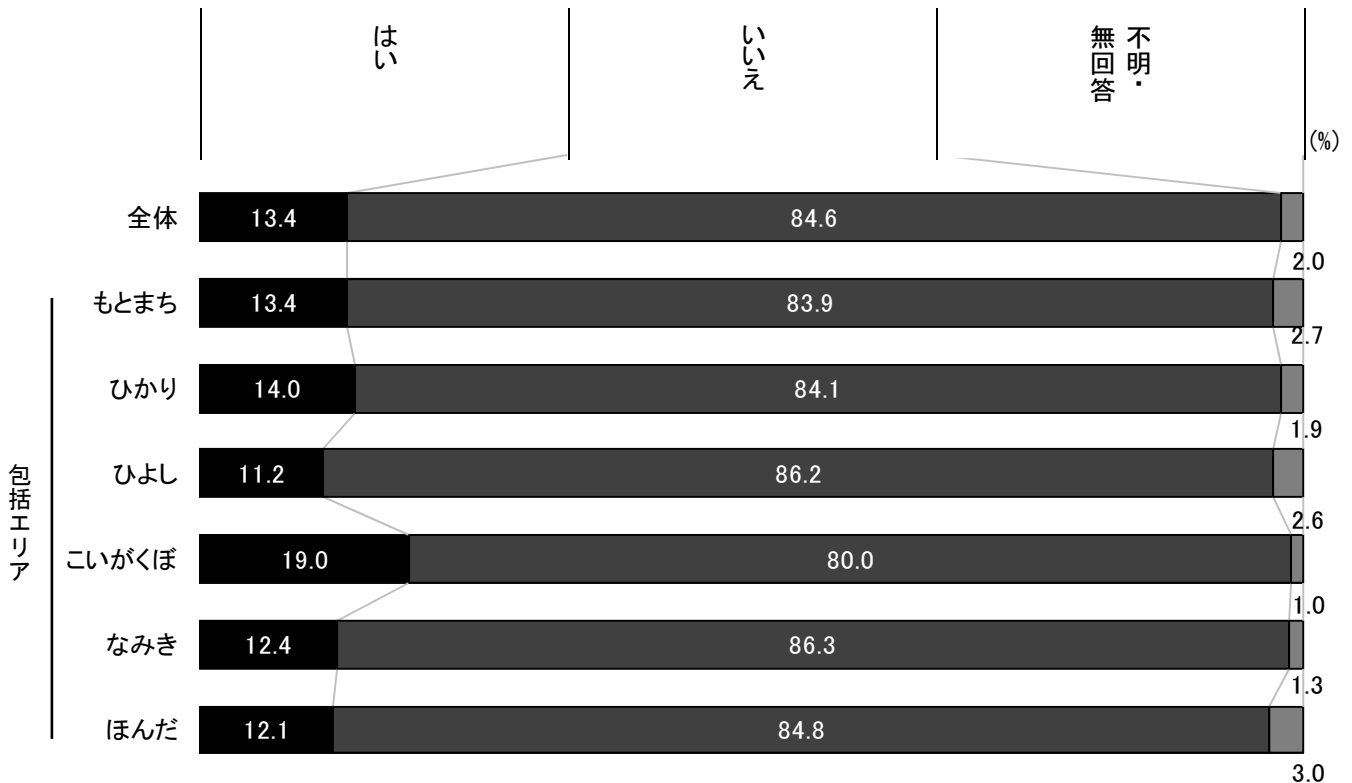
その日の活動(食事をする，衣服を選ぶなど)を自分で判断できるか(Q5)については，「困難なくできる」が9割以上で大半を占めています。

また，人に自分の考えをうまく伝えられるか(Q6)については，「伝えられる」(85.6%)が最多，次いで「いくらか困難であるが，伝えられる」が6.7%となっています。

クロス集計分析

周りの人から物忘れがあると言われるかについて，いずれのエリアでも「いいえ」が8割以上となっていますが，【こいがくぼ】では「はい」が19.0%で，全体平均よりも高くなっています。

<Q1. 周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあると言われるますか>

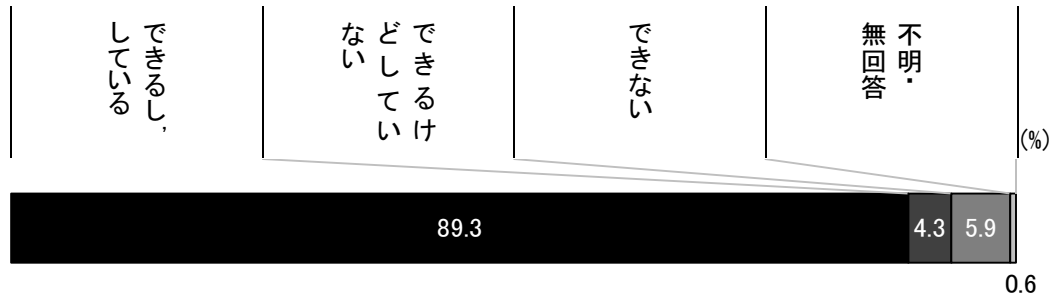


1-6 日常生活

(1) バスや電車での外出の状況

Q 1. バスや電車で一人で外出していますか（自家用車でも可）。（○は1つ）

☆バスや電車で一人で外出している方は約9割

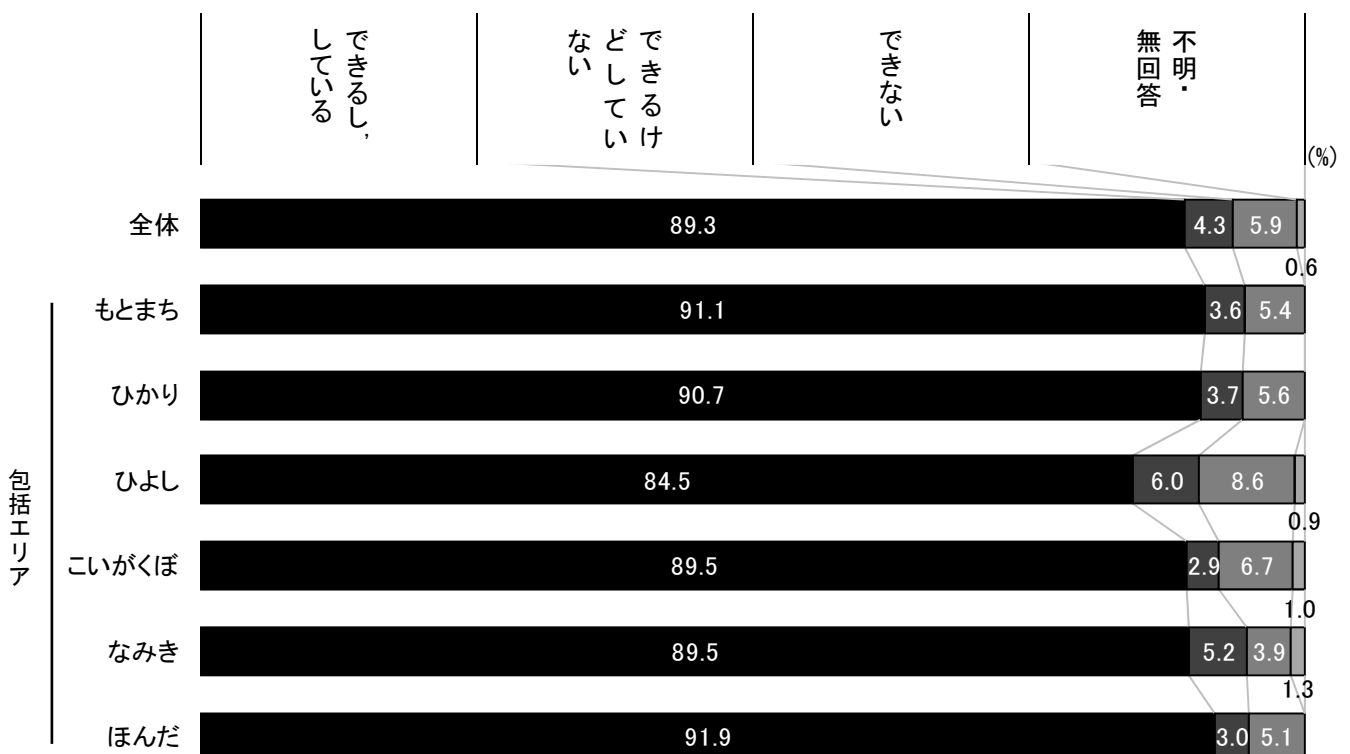


調査結果の傾向

バスや電車（自家用車でも可）で一人で外出しているかお聞きしたところ、「できるし、している」（89.3%）が9割弱、「できるけどしていない」（4.3%）と「できない」（5.9%）を合わせた“一人で外出していない”は10.2%となっています。

クロス集計分析

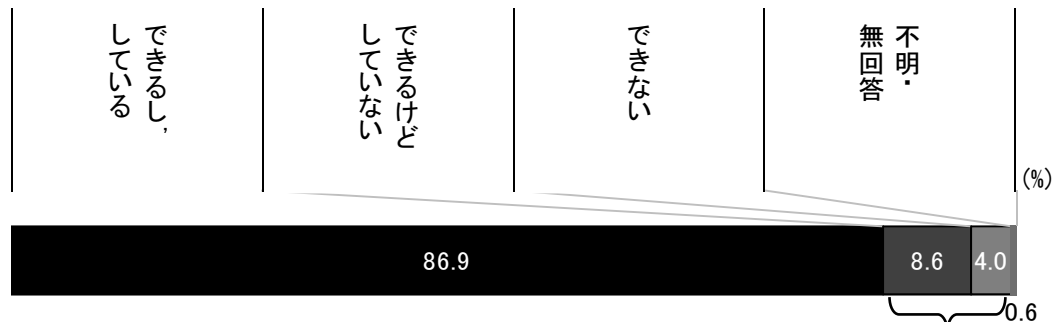
包括エリア別で見ると、いずれのエリアでもバスや電車で一人で外出している方が8割以上となっています。



(2) 日用品の買物の状況

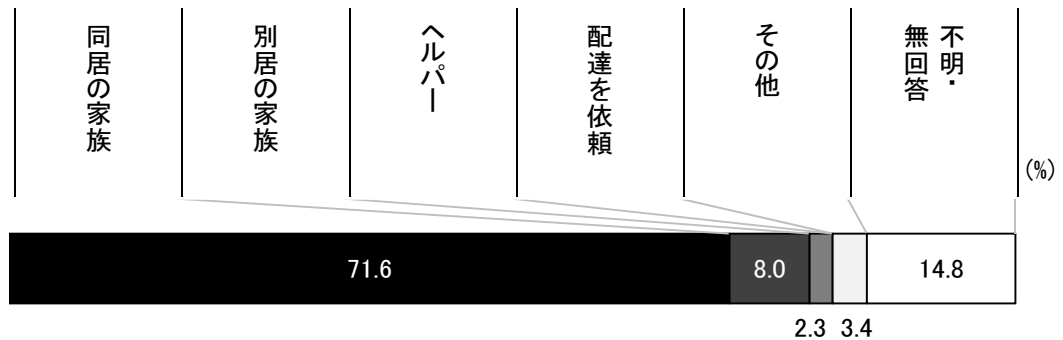
Q 2. 日用品の買物をしていますか。(〇は1つ)

☆日用品の買物をしている方は8割台後半



Q 2-1. 日用品の買物をする人は主にどなたですか。(〇は1つ)

☆日用品の買物をする人は、「同居の家族」が7割強



調査結果の傾向

日用品の買物の状況についておうかがいしました。

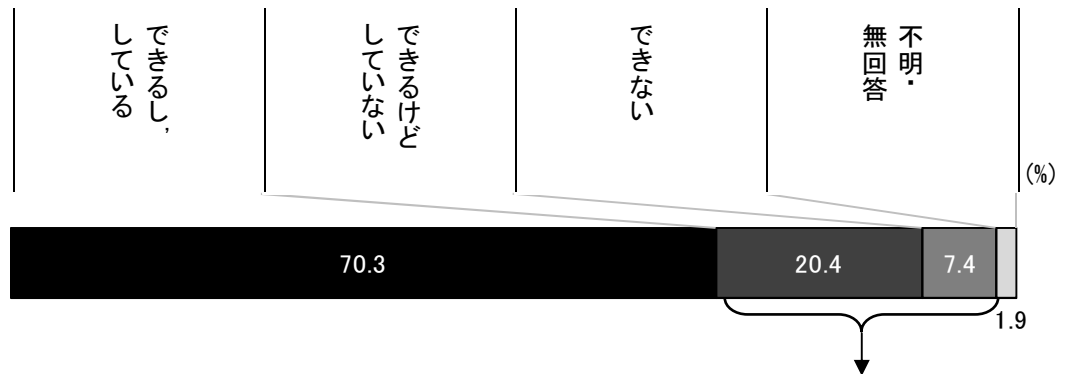
日用品の買物をしているか(Q 2)については、「できるし、している」(86.9%)が8割台後半で、「できるけどしていない」(8.6%)と「できない」(4.0%)を合わせた“買物をしていない”は1割を超えています。

“買物をしていない”方の日用品の買物をする人は、「同居の家族」が7割強、次いで「別居の家族」が1割弱となっています。

(3) 食事の支度の状況

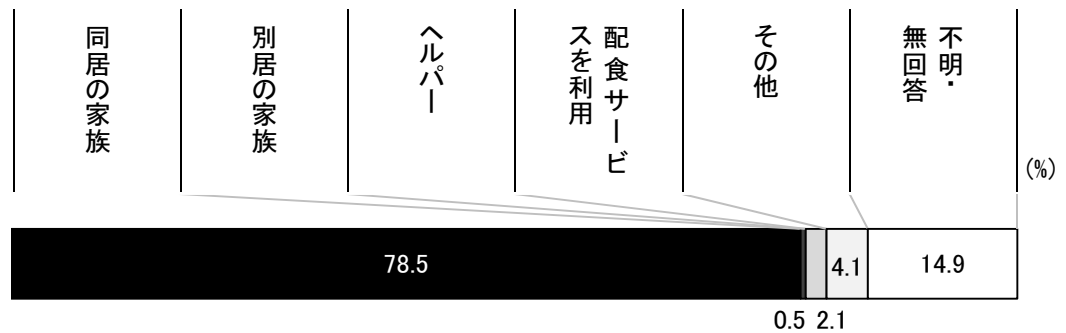
Q3. 自分で食事の用意をしていますか。(〇は1つ)

☆自分で食事の用意をしている方は約7割



Q3-1. 食事の用意をする人は主にどなたですか。(〇は1つ)

☆食事の用意をする方は、「同居の家族」が8割弱



調査結果の傾向

食事の支度の状況についておうかがいしました。

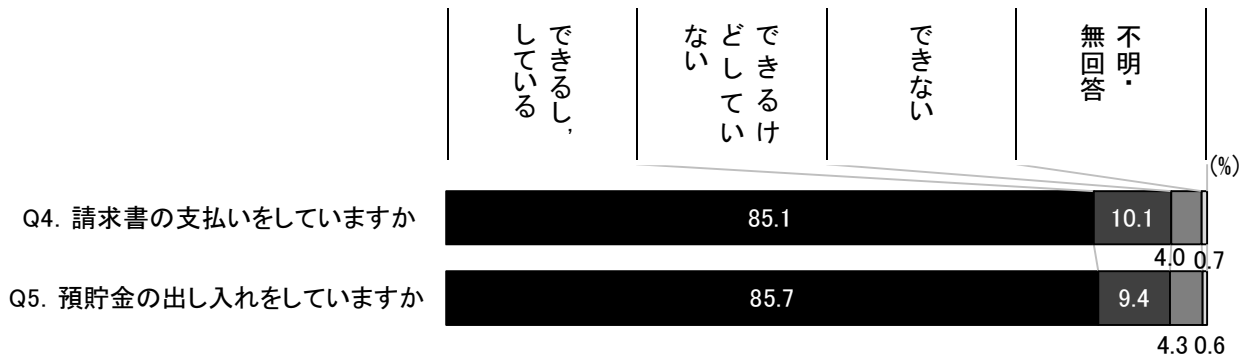
自分で食事の用意をしているか(Q3)については、「できるし、している」(70.3%)が最多で、「できるけどしていない」(20.4%)と「できない」(7.4%)を合わせた“食事の用意をしていない”は27.8%となっています。

“食事の用意をしていない”方の食事の用意をする人は、「同居の家族」が8割弱、次いで「その他」が4.1%となっています。

(4) 支払いや預貯金の出し入れ等の状況

Q 4～5. 以下の項目にお答えください。(○は1つ)

☆支払いや預貯金の出し入れについて、「できるし、している」が8割台半ば



調査結果の傾向

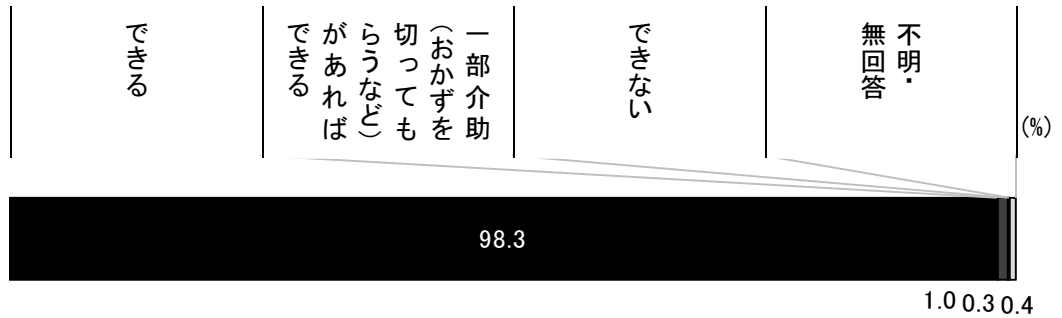
支払いや預貯金の出し入れについておうかがいしました。

請求書の支払いをしているか(Q4)、預貯金の出し入れをしているか(Q5)については、いずれも「できるし、している」が最多となっていますが、「できるけどしていない」と「できない」を合わせた“していない”は1割台となっています。

(5) 食事や洗面等の日常動作

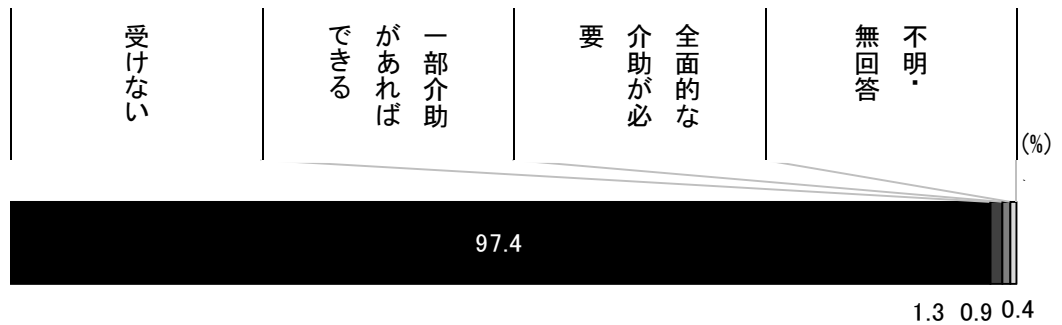
Q 6. 食事は自分で食べられますか。(○は1つ)

☆食事は自分で食べられる人は、「できる」がほぼ全数



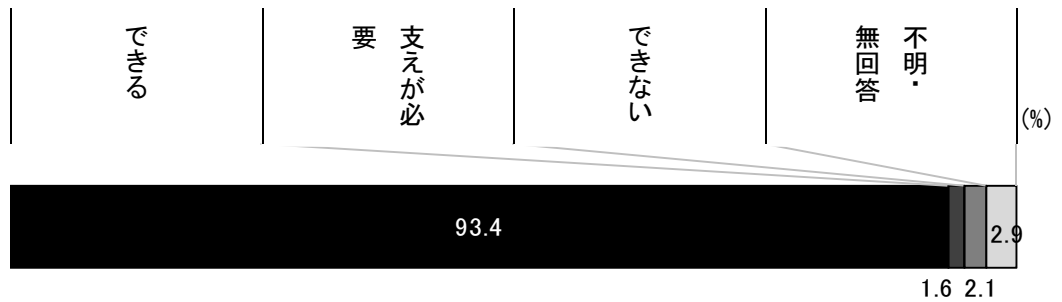
Q 7. 寝床に入るとき、何らかの介助を受けますか。(○は1つ)

☆寝床に入るとき、介助を受けていない人がほぼ全数



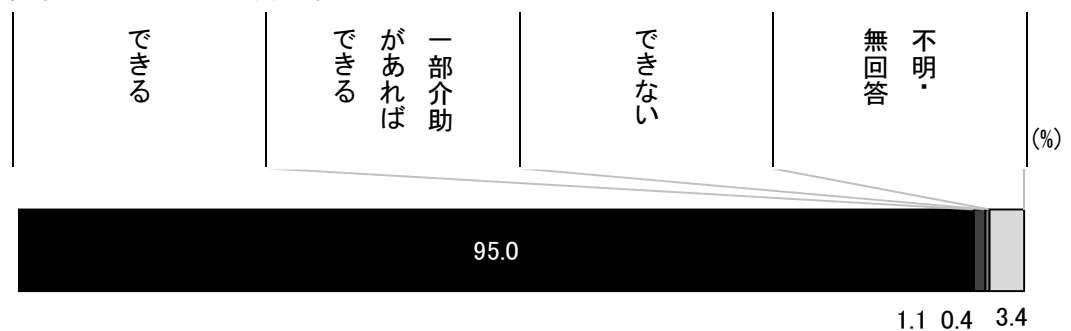
Q 8. 座っていることができますか。(○は1つ)

☆座っていることができる人は9割台前半



Q 9. 自分で洗面や歯磨きができますか。(○は1つ)

☆自分で洗面や歯磨きができる人は9割台半ば



調査結果の傾向

食事や洗面等の日常動作についておうかがいしました。

食事は自分で食べられるか（Q6）については、回答者のほぼ全数が「できる」と回答しています。

寝床に入るとき、何らかの介助を受けるか（Q7）については、回答者のほぼ全数が「受けない」と回答しています。

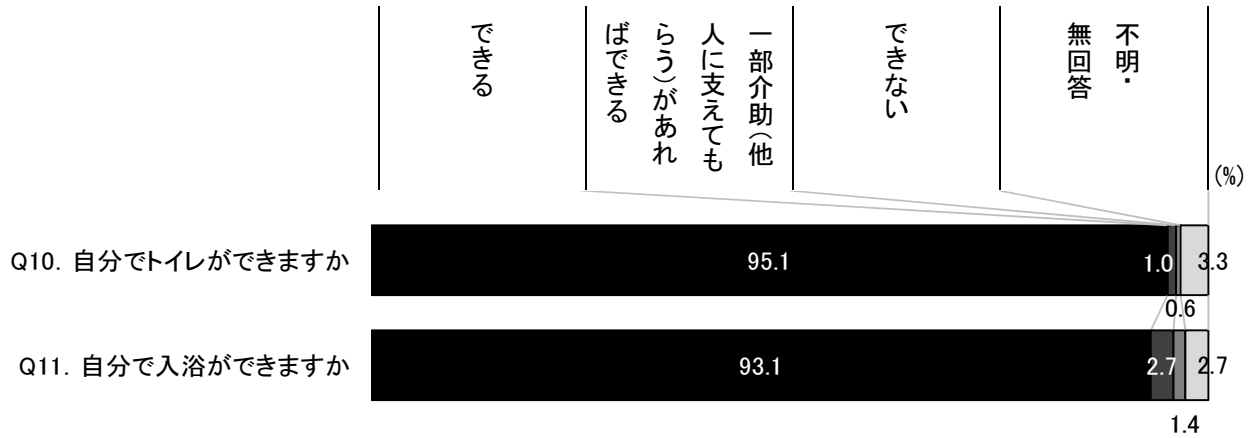
座っていることができるか（Q8）については、回答者のほぼ全数にあたる9割台前半が「できる」と回答しており、「支えが必要」（1.6%）、「できない」（2.1%）を合わせた“支えが必要”は1割未満となっています。

自分で洗面や歯磨きができるか（Q9）については、回答者のほぼ全数にあたる9割台半ばが「できる」と回答しています。

(6) 排せつや入浴

Q10～11. 以下の項目にお答えください。(○は1つ)

☆排せつや入浴についていずれも「できる」が9割台



調査結果の傾向

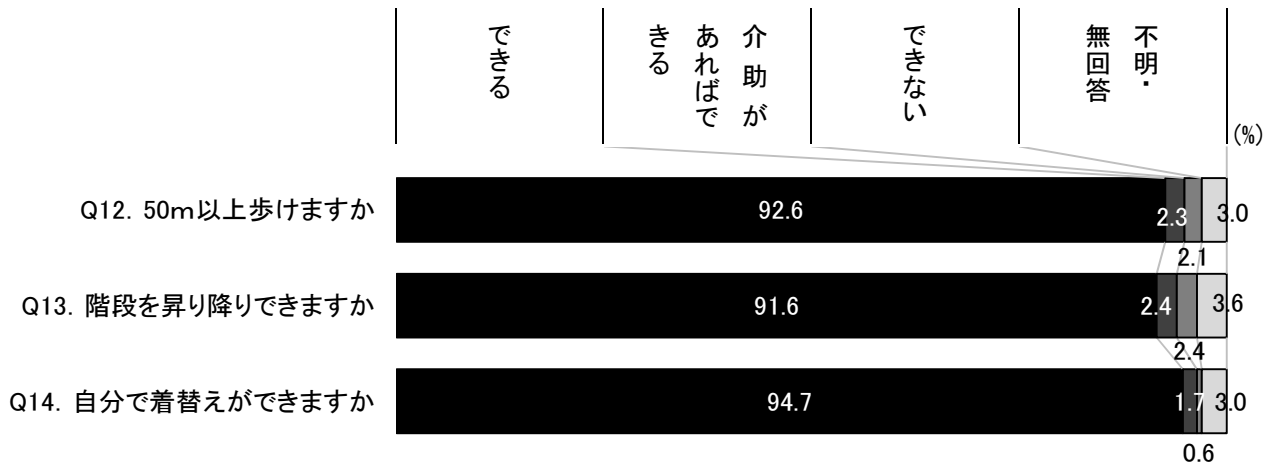
排せつや入浴の日常動作についておうかがいしました。

自分でトイレができるか(Q10), 自分で入浴ができるか(Q11)のいずれも「できる」が回答者のほぼ全数となる9割以上となっています。

(7) 日常動作

Q12～14. 以下の項目にお答えください。(○は1つ)

☆50m歩行, 階段の昇り降りや自分で着替えができるかについて「できる」が9割台



※Q12の選択肢「介助があればできる」は、調査票では「一部介助(他人に支えてもらう)があればできる」

調査結果の傾向

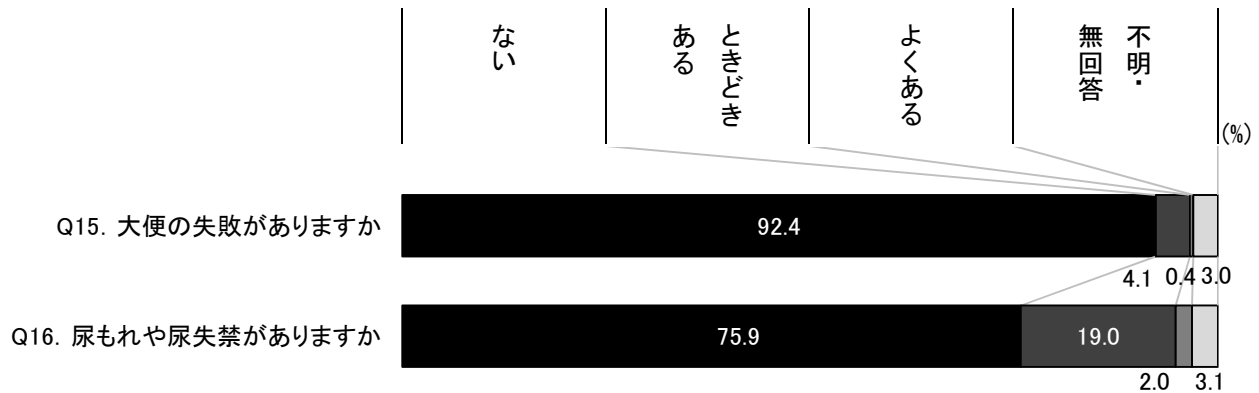
日常動作についておうかがいしました。

50m以上歩けるか(Q12), 階段を昇り降りできるか(Q13), 自分で着替えができるか(Q14)については、「できる」が9割台となっており、「介助があればできる」、「できない」を合わせた“自分一人ではできない”は1割未満となっています。

(8) 排せつの失敗

Q15～16. 以下の項目にお答えください。(○は1つ)

☆大便の失敗は「ない」が9割以上、尿もれや尿失禁は「ときどきある」が2割弱



調査結果の傾向

排せつの失敗についておうかがいしました。

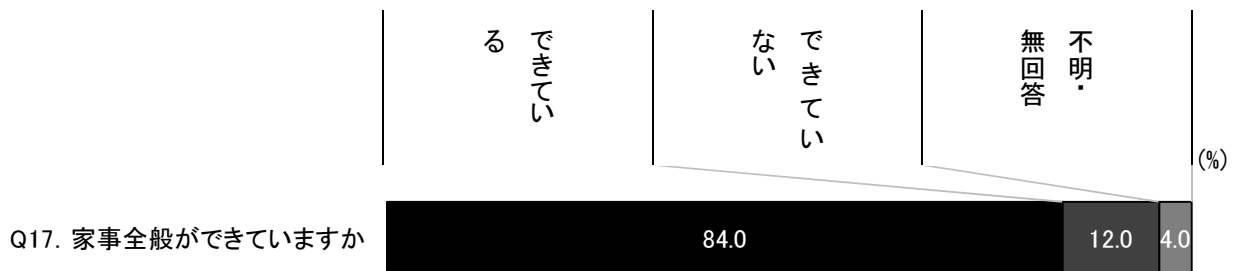
大便の失敗があるか(Q15)については、「ない」が9割強で、「ときどきある」(4.1%)、「よくある」(0.4%)を合わせた“ある”が1割未満となっています。

尿もれや尿失禁があるか(Q16)については、「ない」が7割台半ばで、「ときどきある」(19.0%)、「よくある」(2.0%)を合わせた“ある”が2割強となっています。

(9) 家事全般

Q17. 家事全般ができていますか。(○は1つ)

☆家事全般は「できている」が8割台半ば



調査結果の傾向

家事全般についておうかがいしました。

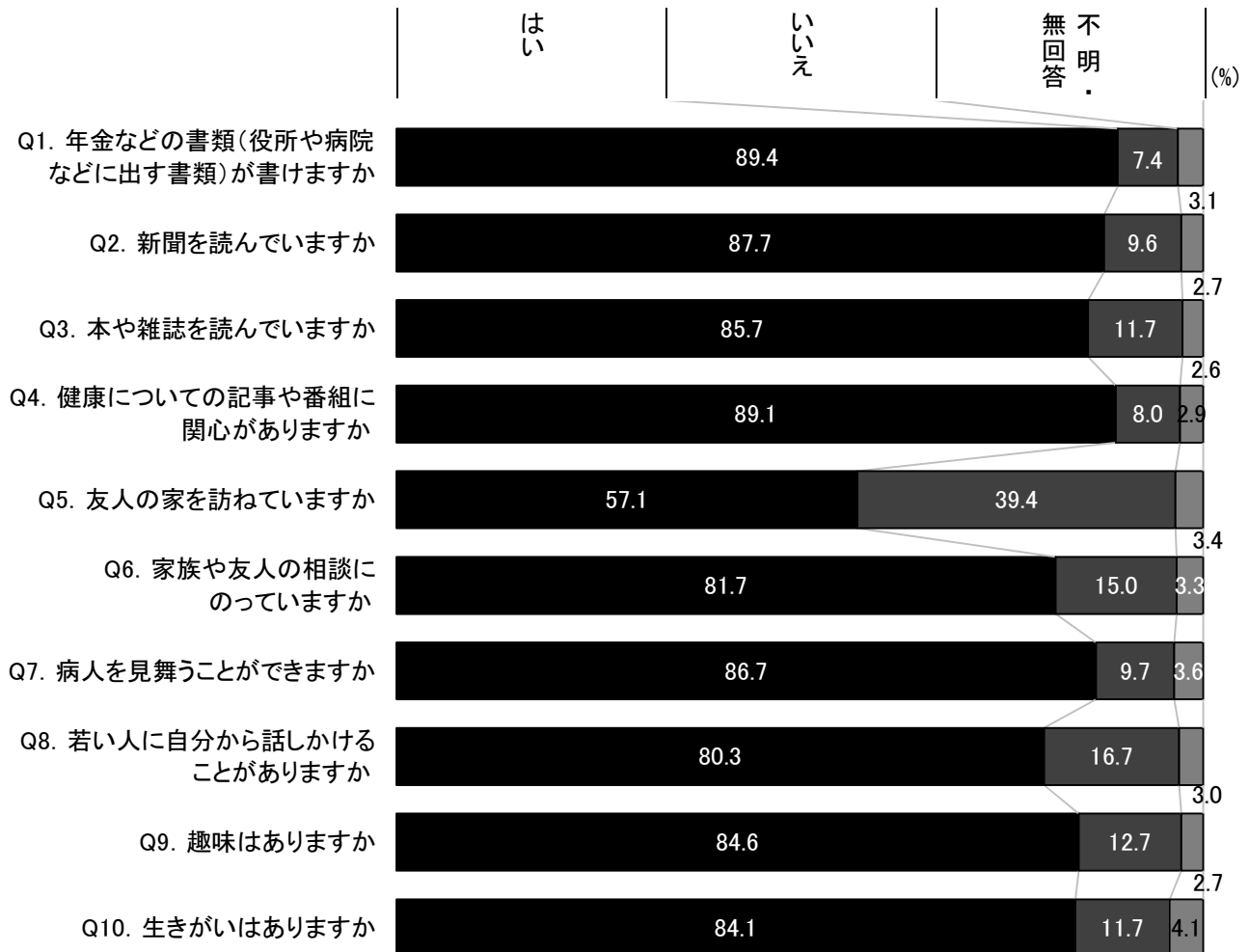
家事全般について「できている」が8割台半ば、「できていない」が1割強となっています。

1-7 社会参加

(1) 日常生活

Q 1～10. 以下の項目にお答えください。(○は1つ)

☆いずれの項目も、自立してできている回答が最多



調査結果の傾向

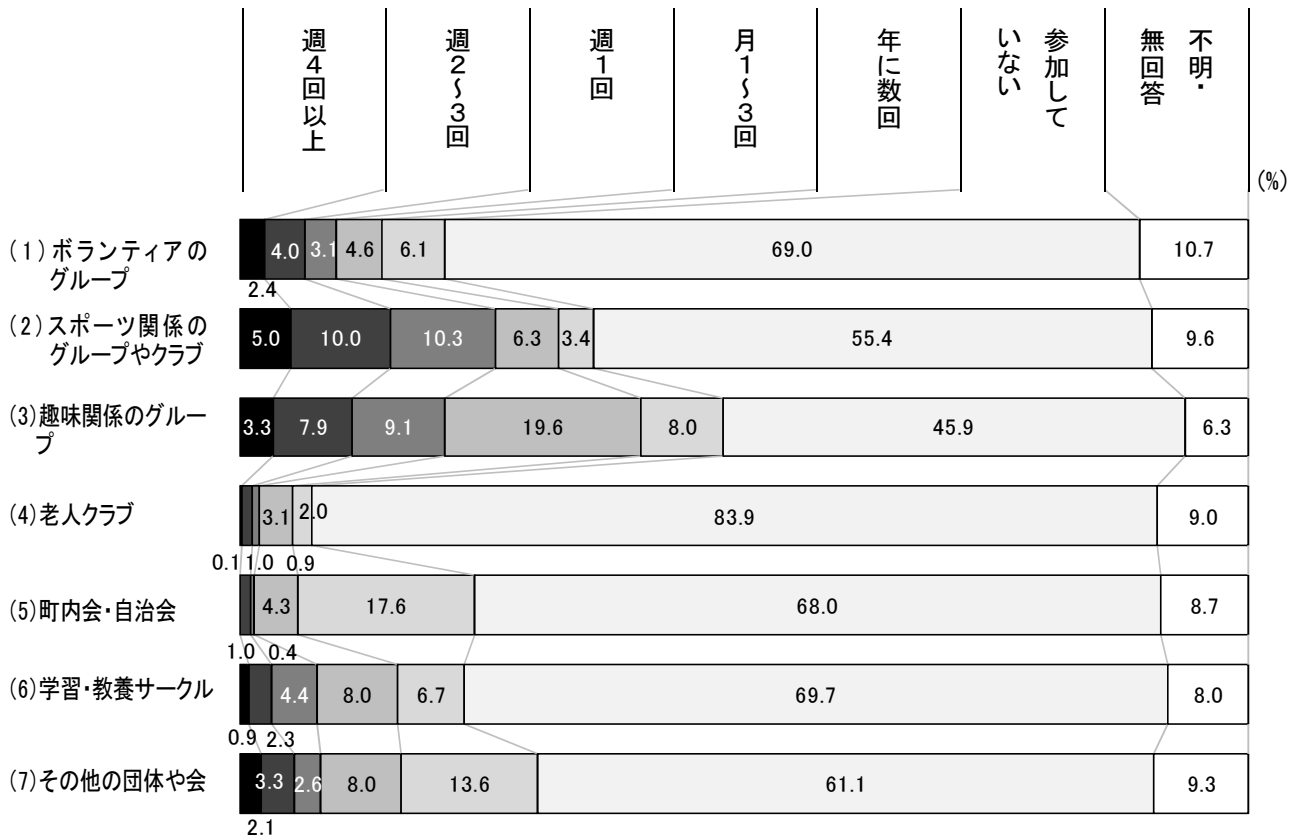
日常生活の状況についておうかがいしました。

友人の家を訪ねているか(Q5)は、「いいえ」が4割弱と他の項目よりも高く、それ以外の項目(Q5を除くQ1～10)では「はい」がいずれも8割台と高くなっています。

(2) 会・グループ等への参加頻度

Q11. 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。(○は1つ)

☆いずれの項目も「参加していない」が4割以上で最多



調査結果の傾向

会・グループ等への参加頻度についておうかがいしました。

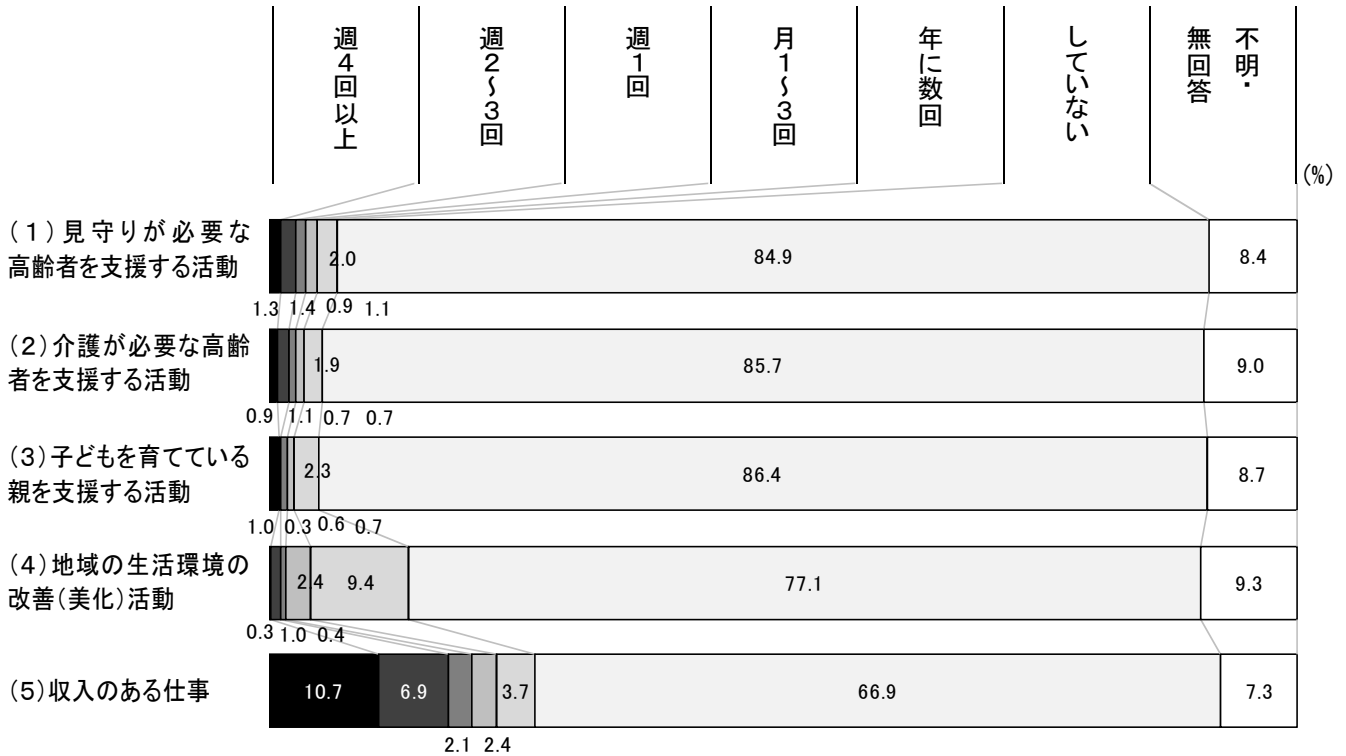
いずれの項目も「参加していない」が最多で、特に老人クラブ（Q11（4））が8割以上で高くなっています。

趣味関係のグループ（Q11（3））については、「月1〜3回」が2割弱、町内会・自治会（Q11（5））、その他の団体や会（Q11（7））では、「年に数回」が1割台と高くなっています。

(3) 社会参加活動や仕事の状況

Q12. 以下のような活動（社会参加活動や仕事）をどのくらいの頻度でしていますか。（○は1つ）

☆いずれの項目も「していない」が6割以上



調査結果の傾向

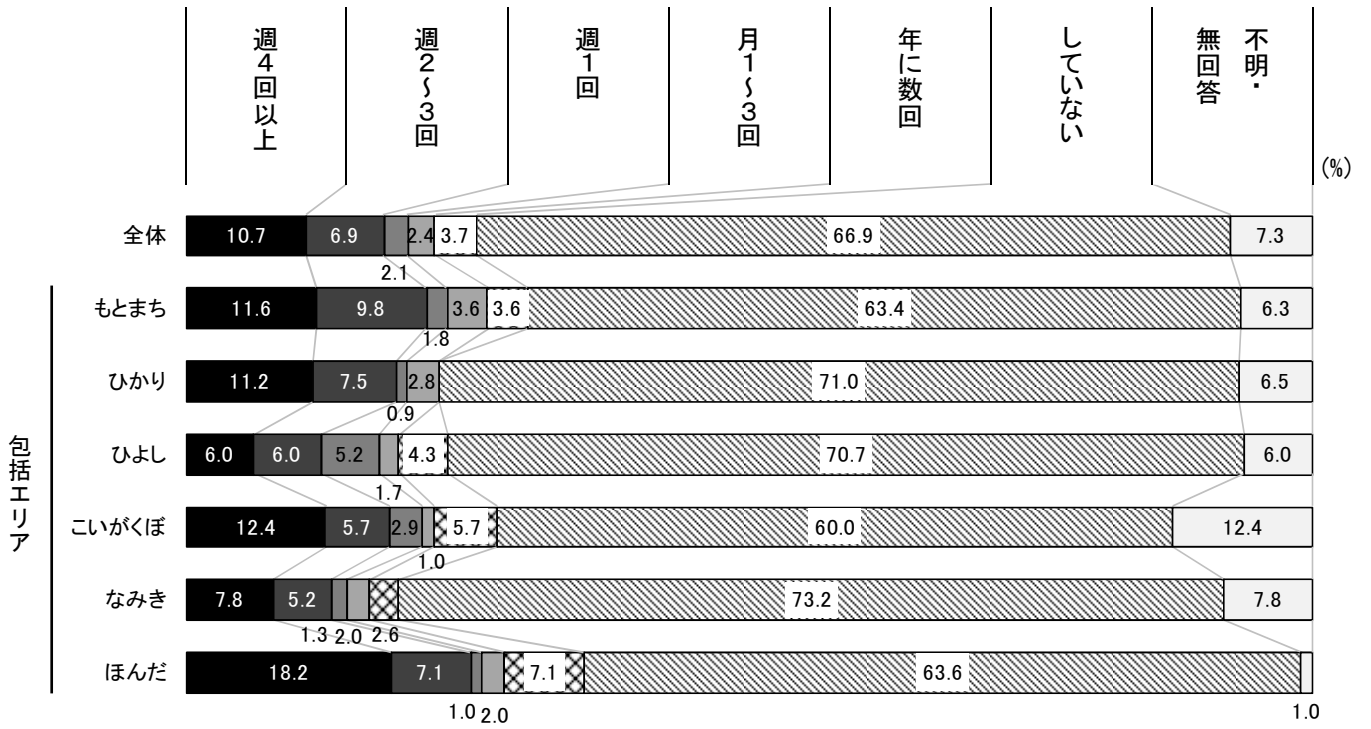
社会参加活動や仕事の状況についておうかがいしました。

いずれの項目でも「していない」が最多となっています。地域の生活環境の改善（美化）活動（Q12（4））については、「年に数回」が1割弱、収入のある仕事（Q12（5））は「週4回以上」が約1割となっています。

クロス集計分析

収入のある仕事について包括エリア別で見ると、いずれのエリアでも仕事をしていないと回答した方が6割以上となっていますが、仕事の頻度を合わせると【もとまち】【こいがくぼ】【ほんだ】では週1回以上仕事をしている方が2割以上となっており、全体平均の19.7%を上回っています。また、いずれのエリアでも仕事の頻度としては「週4回以上」の回答が多くなっています。

<Q12 (5) 収入のある仕事>

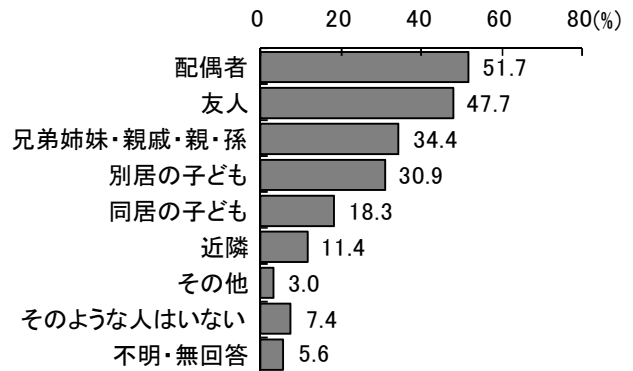
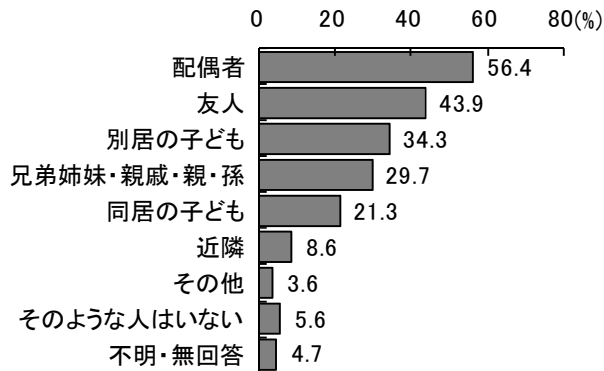


(4) たすけあい

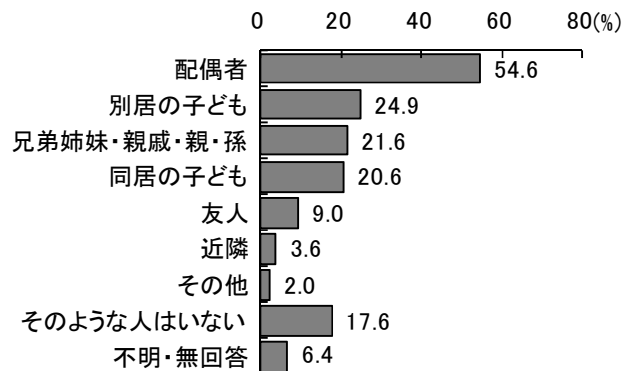
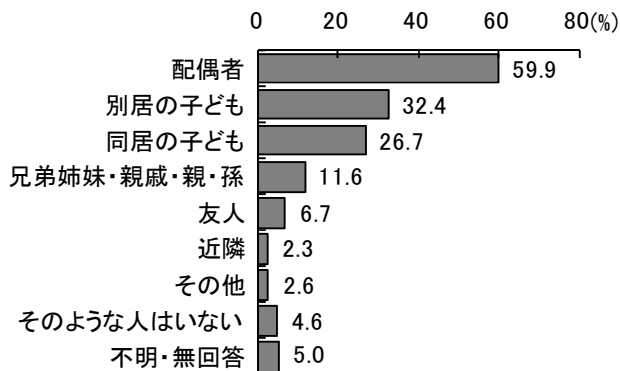
Q13. あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。(いくつでも)

☆たすけてくれる人、たすけてあげる人、ともに「配偶者」が5割以上で最多

(1)あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人 (2)反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人

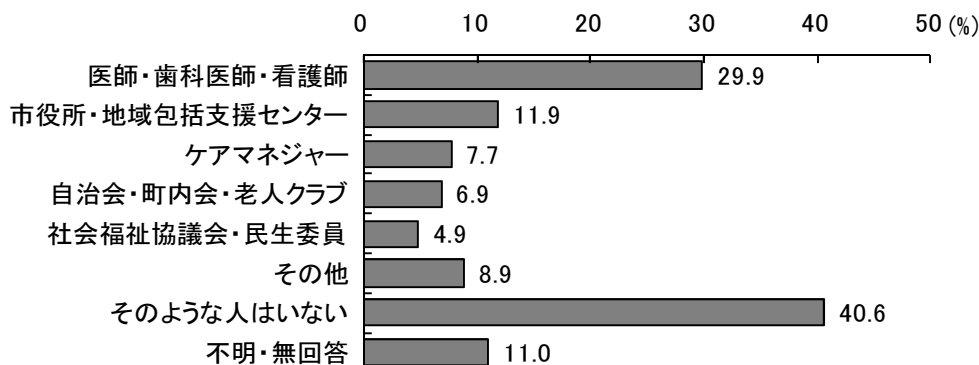


(3)あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人 (4)反対に、看病や世話をしてあげる人



Q14. 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。(いくつでも)

☆家族や友人・知人以外の相談相手は、「医師・歯科医師・看護師」が約3割



調査結果の傾向

たすけあいについておうかがいしました。

心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人(Q13(1)), 反対に心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人(Q13(2))は、いずれも「配偶者」が5割以上と最も高く、次いで「友人」が4割以上となっています。

病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人(Q13(3)), 反対に看病や世話をしてくれる人(Q13(4))は、いずれも「配偶者」が5割以上と最も高く、次いで、「別居の子ども」が2割以上と高くなっています。

家族や友人・知人以外の相談相手(Q14)については、「そのような人はいない」(40.6%)で最多。次に「医師・歯科医師・看護師」(29.9%)となっています。

クロス集計分析

包括エリア別で見ると、いずれのエリアでも「そのような人はいない」への回答が最多となっており、その次に、「医師・歯科医師・看護師」への回答が3割前後で多くなっています。「市役所・地域包括支援センター」は【ほんだ】を除くエリアでは1割以上となっています。

(%)

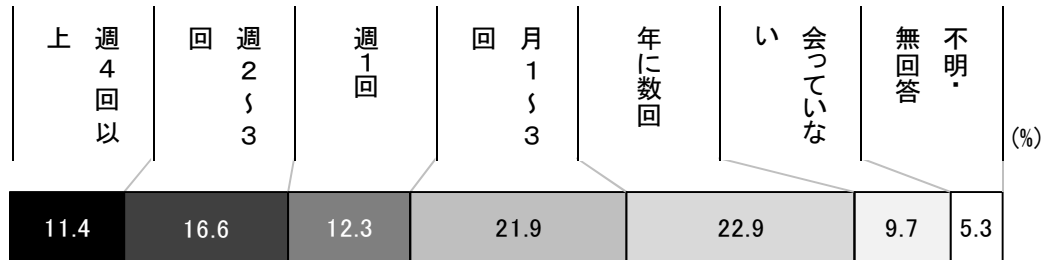
	回答者数	医師・歯科医師・看護師	市役所・地域包括支援センター	ケアマネジャー	自治会・老人クラブ	社会福祉協議会・民生委員	その他	そのような人	不明・無回答	
全体	700	29.9	11.9	7.7	6.9	4.9	8.9	40.6	11.0	
包括エリア	もとまち	112	30.4	10.7	7.1	7.1	10.7	41.1	8.9	
	ひかり	107	33.6	15.9	12.1	9.3	5.6	35.5	10.3	
	ひよし	116	32.8	13.8	9.5	6.9	6.9	8.6	44.0	6.9
	こいがくぼ	105	27.6	10.5	6.7	6.7	5.7	10.5	36.2	16.2
	なみき	153	24.8	11.8	7.2	5.9	2.0	8.5	44.4	11.8
	ほんだ	99	30.3	7.1	3.0	6.1	4.0	10.1	42.4	10.1

※網掛けは分析軸別の最大値

(5) 友人関係

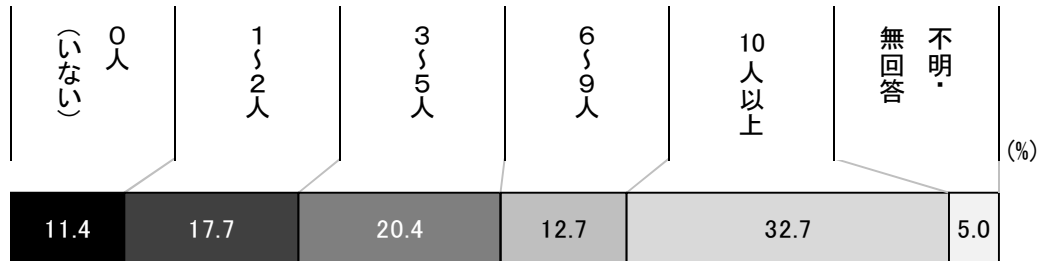
Q15-(1). 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(〇は1つ)

☆友人・知人と会う頻度は「年に数回」が2割以上で最多



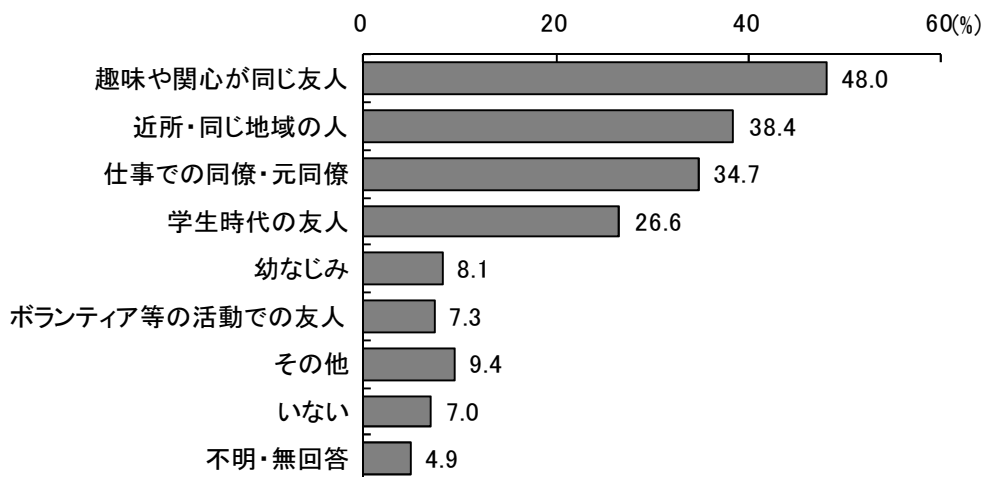
Q15-(2). この1ヶ月間、何人の友人・知人と会いましたか。(〇は1つ)

☆1ヶ月間で会った友人・知人の数は「10人以上」が3割以上で最多



Q15-(3). よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(いくつでも)

☆よく会う友人・知人は「趣味や関心が同じ友人」が5割弱で最多



調査結果の傾向

友人関係についておうかがいしました。

友人・知人と会う頻度（Q15-（1））は、「年に数回」（22.9%）が最多で、次に「月に1～3回」が2割強となっていますが、「週4回以上」（11.4%）、「週2～3回」（16.6%）、「週1回」（12.3%）を合わせた“毎週会っている”は約4割となります。

1ヶ月間で会った友人の数（Q15-（2））は、「10人以上」（32.7%）が最多で、次に、「3～5人」（20.4%）となっています。

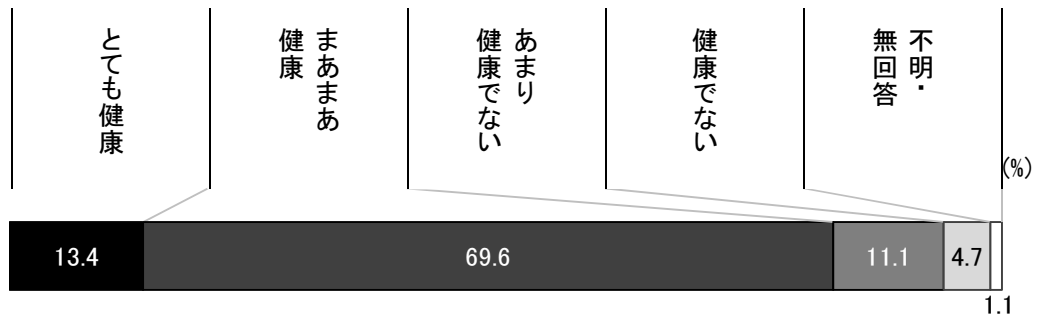
よく会う友人・知人との関係（Q15-（3））は、「趣味や関心が同じ友人」（48.0%）が最多で、次に「近所・同じ地域の人」（38.4%）、「仕事での同僚・元同僚」（34.7%）となっています。

1-8 健康

(1) 健康状態

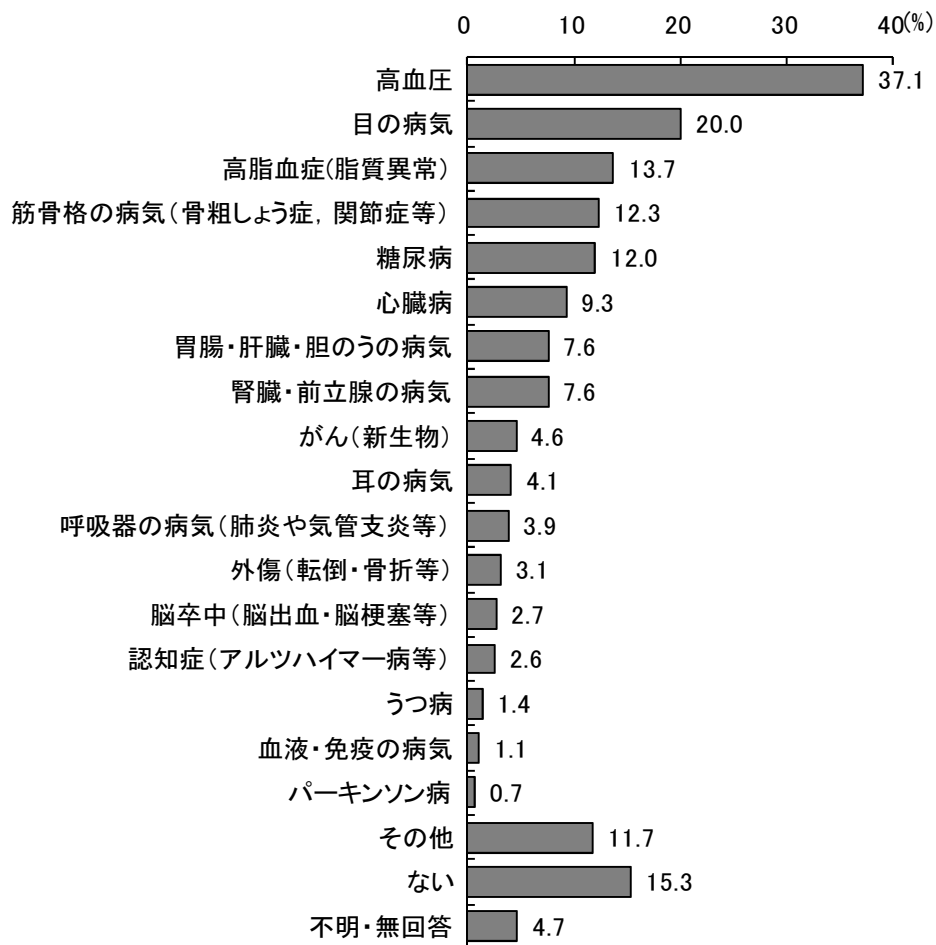
Q 1. 普段、ご自分で健康だと思いますか。(○は1つ)

☆「とても健康」と「まあまあ健康」を合わせた「健康」が8割以上



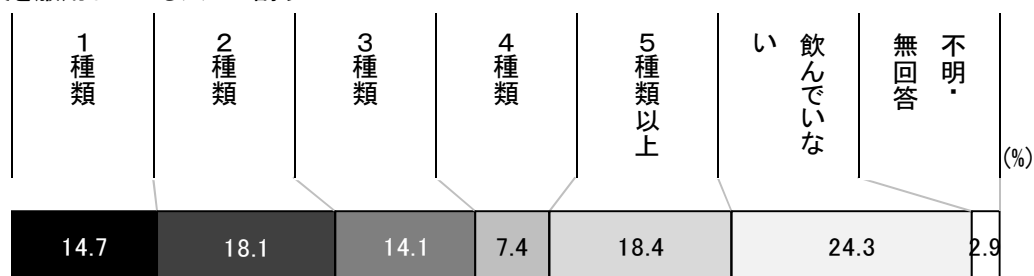
Q 2. 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(いくつでも)

☆現在治療中、または後遺症のある病気は「高血圧」が3割台後半



Q3. 現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいきますか。(〇は1つ)

☆現在何らかの薬を服用している人が7割以上



調査結果の傾向

健康状態についておうかがいしました。

自分の健康状態(Q1)については、「とても健康」(13.4%),「まあまあ健康」(69.6%)を合わせた“健康”が8割以上,「あまり健康でない」(11.1%),「健康でない」(4.7%)を合わせた“健康でない”が1割台半ばとなっています。

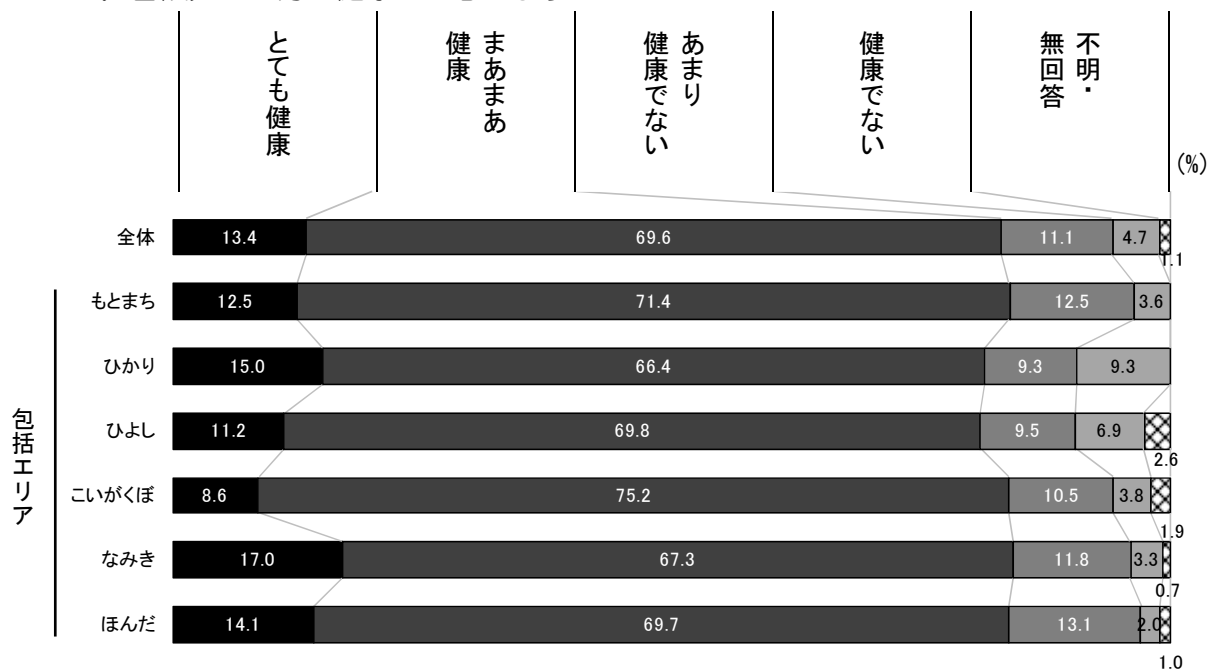
現在治療中,または後遺症のある病気(Q2)については,「高血圧」(37.1%)が最多で,次いで「目の病気」(20.0%),「高脂血症(脂質異常)」(13.7%),「筋骨格の病気(骨粗しょう症,関節症等)」(12.3%)となっています。

現在,医師の処方した薬を何種類飲んでいるか(Q3)については,「飲んでいない」(24.3%)が最多で,次いで「5種類以上」(18.4%),「2種類」(18.1%)となっています。

クロス集計分析

自分の健康状態について,包括エリア別で見ると,いずれのエリアでも「とても健康」と「まあまあ健康」を合わせた“健康”が8割以上を占めます。

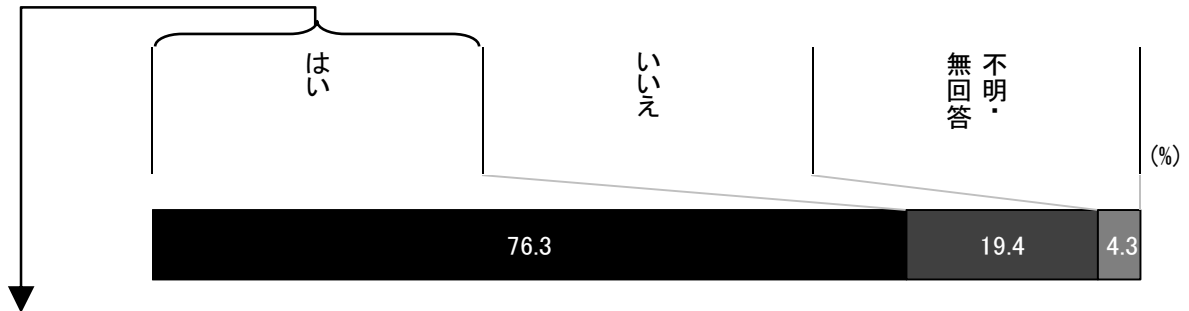
<Q1. 普段,ご自分で健康だと思いますか>



(2) 通院の状況

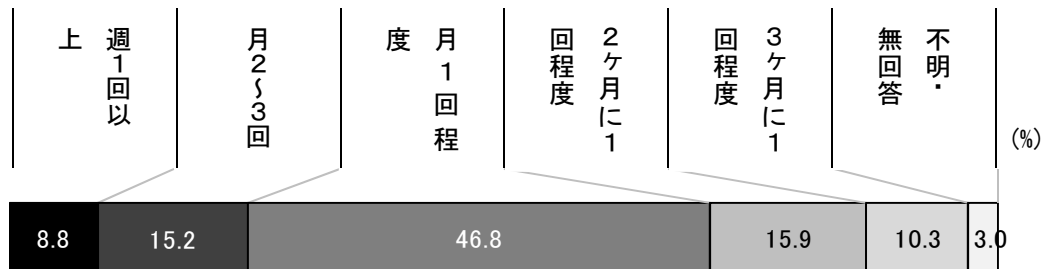
Q 4. 現在、病院・医院（診療所、クリニック）に通院していますか。（○は1つ）

☆現在、病院・医院（診療所、クリニック）に通院している人が7割台半ばで最多



Q 4-1. (通院している方のみ) その頻度は次のどれですか。（○は1つ）

☆通院頻度は、「月1回程度」が4割台半ば



Q 4-2. (通院している方のみ) 通院に介助が必要ですか。（○は1つ）

☆通院に介助が必要な方は1割未満



調査結果の傾向

通院の状況についておうかがいしました。

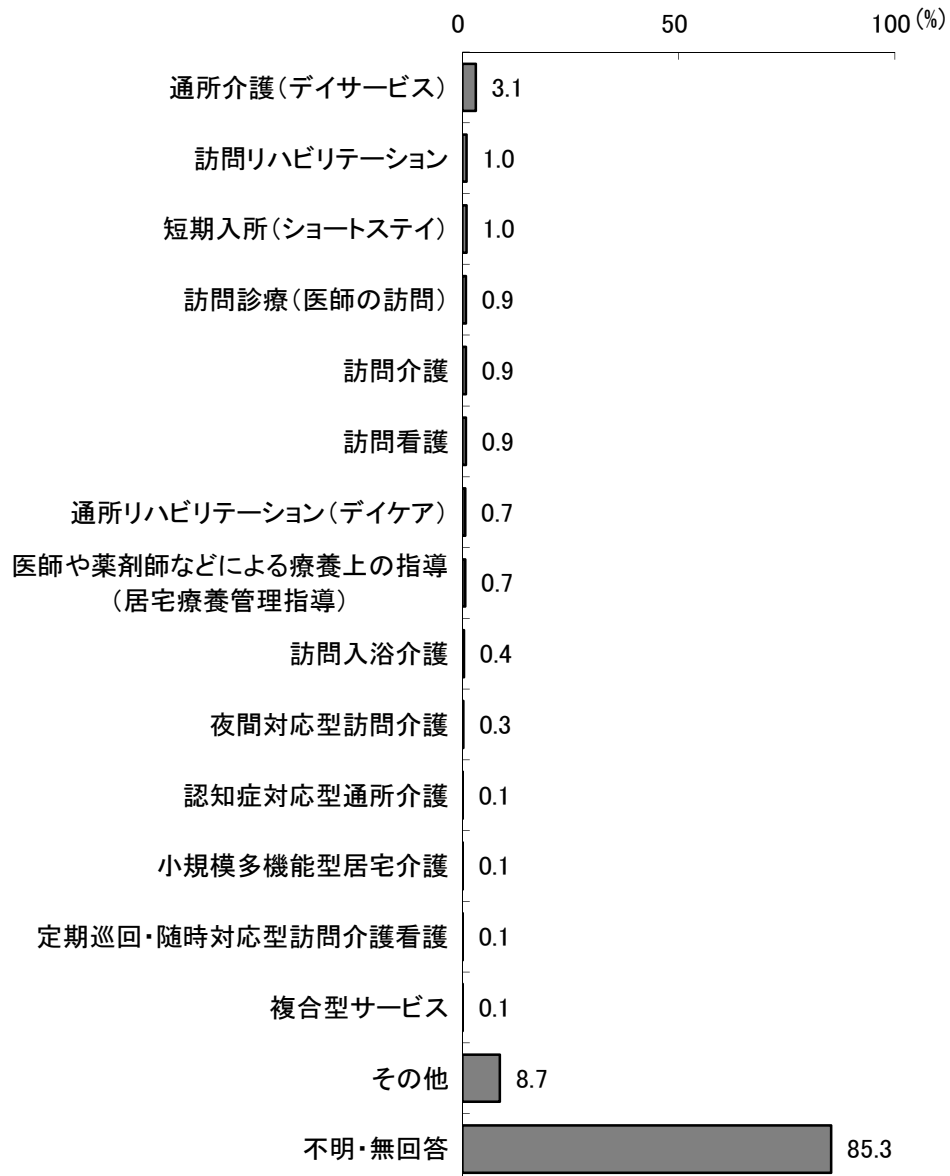
現在、病院・医院（診療所、クリニック）に通院しているか（Q4）については、「はい」が7割台半ば、「いいえ」が2割弱となっています。

次に、現在通院している人へ通院頻度（Q4-1）をうかがうと、「月1回程度」（46.8%）が最多で、通院に介助が必要か（Q4-2）については、「いいえ」が8割以上となっています。

(3) 在宅サービスの利用状況

Q 5. 以下の在宅サービスを利用していますか。(いくつでも)

☆在宅サービスの利用は1割未満



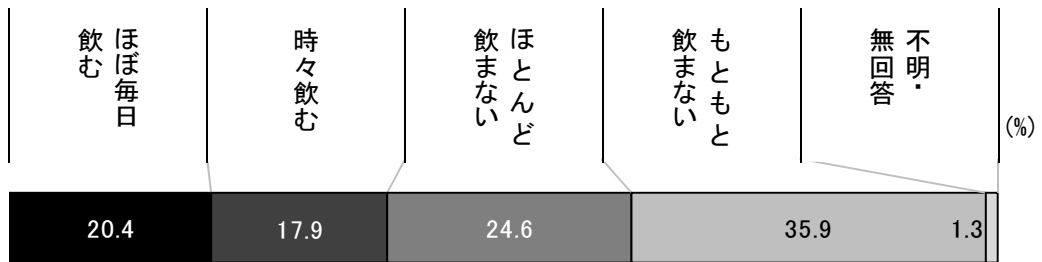
調査結果の傾向

在宅サービスの利用状況についておうかがいしたところ、いずれのサービスも1割を下回る結果となりました。

(4) 飲酒や喫煙の状況

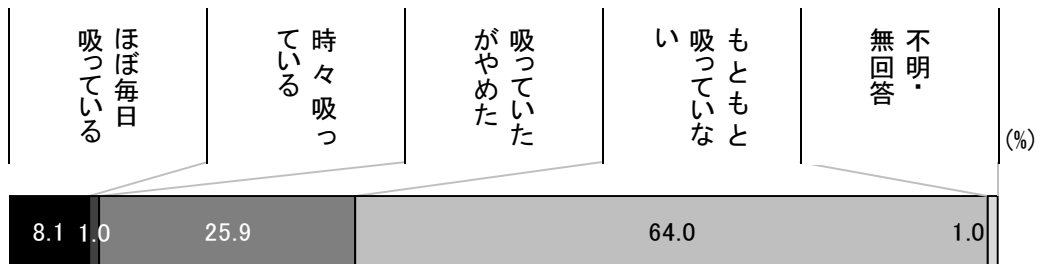
Q 6. お酒は飲みますか。(○は1つ)

☆「もともと飲まない」が3割台半ばで最多



Q 7. タバコは吸っていますか。(○は1つ)

☆「もともと吸っていない」が6割台半ばで最多



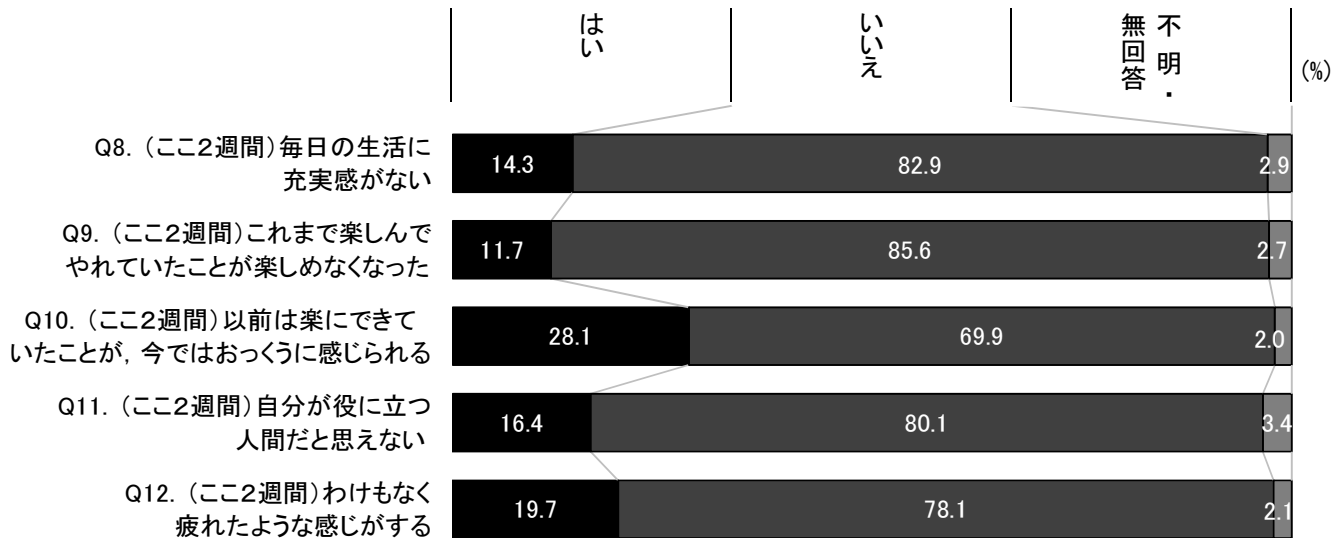
調査結果の傾向

飲酒の状況についておうかがいしたところ、「もともと飲まない」(35.9%)が最多で、喫煙の状況についても「もともと吸っていない」(64.0%)が最多となっています。

(5) ここ2週間の生活

Q8～12. 以下の項目にお答えください。(○は1つ)

☆ここ2週間で「以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられる」と回答した方が3割弱



調査結果の傾向

ここ2週間の生活についておうかがいしました。

以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられる(Q10)については、「はい」(28.1%)が他の項目よりも高くなっています。

2 総括

【本人について】

回答者は男性が4割、女性が約6割で、年齢は65～74歳が半数以上、75歳以上が4割、市内に20年以上居住している人が約75%となっています。家族などとの同居が約8割ですが、一人暮らしも約15%となっています。同居者も約75%は配偶者となっています。また、3割以上が日中一人になることがよくあると回答しています。

【年金・暮らしについて】

年金は「国民年金」が約5割、「厚生年金」が4割近くとなっています。経済的には「苦しい」「やや苦しい」が4割を超えています。一方で、「ゆとりがある」「ややゆとりがある」が5割強になっています。住居は「一戸建て」が8割近くで「持家」が8割を超えています。主に生活する部屋が2階以上の場合が約45%で、そのうちエレベーターの設置率は約26%となっています。

【介護・介助の必要性について】

約8割が「介護・介助は必要ない」と回答していますが、介護・介助の必要性がある場合、原因は、「認知症（アルツハイマー病等）」20.0%、「骨折・転倒」18.6%が上位となっています。

主な介護・介助者は「介護サービスのヘルパー」が4割、「配偶者（夫・妻）」が2割となっており、65歳以上も3割近くとなっています。

介護・介助が必要となる原因は、「認知症（アルツハイマー病等）」、「骨折・転倒」が上位を占めていることから、「認知症」「骨折・転倒」の予防を意識した介護予防の取組を行っていく必要があります。

【運動・外出について】

運動・外出については、「階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか」で「はい」が約7割となっており、他の質問項目の運動状況と比較してやや低くなっている以外、日常の歩行や外出には問題のない場合が多くなっています。また8割以上は、とくに外出を控えていないが、外出を控えている理由の多くは「足腰などの痛み」や「病気」が原因です。

外出する頻度は、買物が「週2～3日」が約3割、散歩は「ほぼ毎日」が2割台半ばでトップとなっています。外出の移動手段は「徒歩」が約8割、「電車」が5割、「自転車」や「路線バス」が4割を超えています。

外出の手段として「徒歩」の割合が高く、散歩を心がけている高齢者も比較的多いことがうかがえます。このことから「歩くこと」を取り入れた高齢者の健康づくりのメニューをさらに普及していくことが重要と考えられます。

【転倒その他身体の状況について】

「この1年間に転んだことがある」は約2割で、4割近くが「転倒に対する不安は大きい」と回答しています。また、この6ヶ月間でとくに体重減少がない割合は8割以上、BMIについては「標準」が約7割、「肥満」が2割近く、「やせ」が約1割となっています。定期的に歯科受診をしている人は5割以上、また、入れ歯を使用している人も約5割となっています。

「朝昼晩の3食」を食べているのは9割、また、食事を抜くことは「ほとんどない」が9割近くとなっています。誰かと一緒に食事をする機会が「毎日ある」が約6割、食事をともにする人は「家族」が8割で、「近

所の人や友人」である場合も3割程度見られます。

1～2割が「周りの人から物忘れがあるとされる」や「今日の日付が分からないことがある」と回答しています。しかし、物忘れの状況については問題を感じていない人が8割以上で、その日の活動を自分で判断することが「困難なくできる」が9割以上、「人に自分の考えをうまく伝えられる」が8割以上となっています。

骨折・転倒は、介護につながる要因の一つであり、転倒に対する不安が大きいと回答されている方も約4割となっています。このことから、引き続き、転倒予防に関する知識や方法の普及・啓発が必要です。

また、日頃、周囲の方から物忘れを指摘されている人の割合は1割を超えています。認知症は高齢化することで発症率も高くなることから、認知症に関する知識や予防の普及・啓発の取組が必要です。

【日常生活動作について】

日常生活について「できるし、している」という割合は、「バスや電車（自家用車でも可）で一人で外出すること」が9割近く、「日用品の買物をしている」や「支払いや預貯金の出し入れ」などが8割以上となっていますが、「自分で食事の用意をしている」は約7割とやや低くなっています。日用品の買物や食事の用意について自分でできない、できるけどしていない場合は、同居の家族がしている割合が高くなっています。

また、自分で食事を食べること、寝床に入ること、座っていること、洗面や歯磨き、排せつや入浴、50m以上の歩行、階段の昇り降り、自分で着替えなどについては9割以上が問題なく「できる」と回答しています。

排せつについて、大便の失敗はないは9割以上ですが、尿もれや尿失禁については約2割が「よくある」「ときどきある」と回答しています。

外出や日常生活動作については、約9割の方が問題なくできていることがうかがえます。その一方で、買物や食事の用意等については、同居の家族が行っていることもうかがえます。自分でできる日常生活動作を自分で行うことは、自立した生活を継続していくためにも有効であることから、そのことの周知も工夫して行っていく必要があります。

【社会参加について】

「友人の家を訪ねている」は約6割、会・グループ等への参加については、「スポーツ関係のグループやクラブ」「趣味関係のグループ」に2割以上が、次いで「ボランティアのグループ」に約1割が週1回以上参加となっています。また、週1回以上「収入のある仕事」に参加している人も2割近くとなっています。

心配事や愚痴を聞いてくれる人、反対に聞いてあげる人、看病や世話をしてくれる人、反対にしてあげる人などは、いずれも「配偶者」が半数以上で「友人」や「別居の子ども」がそれに次いでいます。また、家族や友人・知人以外の相談相手は「医師・歯科医師・看護師」の割合が高くなっています。週1回以上友人・知人と会う人は約4割で、「趣味や関心が同じ友人」や「近所・同じ地域の人」が多い状況です。

スポーツ・趣味関係のグループに週1回以上参加されている方は2割以上おり、週1回以上友人・知人と会う方は約4割いる一方で、会やグループに参加していない方も4～6割台後半と多くなっています。

他者とふれあい・交流することは、高齢者の健康づくりや介護予防の一環となり、また地域の活性化につながることから、元気な高齢者の社会参加の機会の拡充をさらに図っていく必要があります。

【健康・医療等について】

「とても健康」と「まあまあ健康」を合わせて8割以上が「健康」と回答しています。現在治療中、または後遺症のある病気については、「高血圧」が約4割、次いで「目の病気」が2割となっています。医師の処方した薬を飲んでいるかどうかでは、「飲んでいない」が最多でしたが、次いで「5種類以上」飲んでいる人が約2割となっています。

現在、病院・医院（診療所、クリニック）に通院している人は7割台半ば、通院頻度は「月1回程度」が半数近くで、通院時の介助については、8割以上が必要としていません。

在宅サービスについてはほとんど利用がみられず、最も多い「通所介護（デイサービス）」が3%程度となっています。

飲酒については「ほぼ毎日飲む」「時々飲む」をあわせて4割近く、タバコは「ほぼ毎日吸っている」「時々吸っている」をあわせて1割以下となっています。

主観的健康観では8割以上の方が「健康」と回答された一方で、ここ2週間の生活では、「以前は楽にできたことが、今ではおっくうに感じられる」と回答した方が約3割あったことから、健康づくりや介護予防に早期に取り組むことの重要性とあわせて、健康・医療に関する情報提供に努める必要があります。

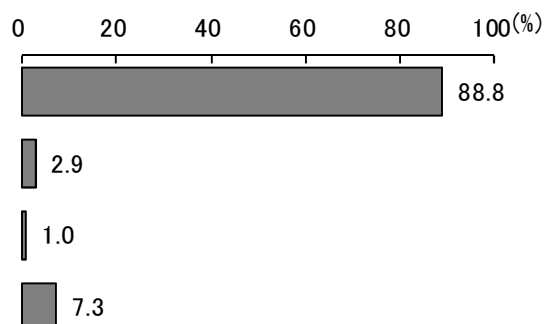
第3章 第1号被保険者調査

1 調査結果

1-1 本人の状況

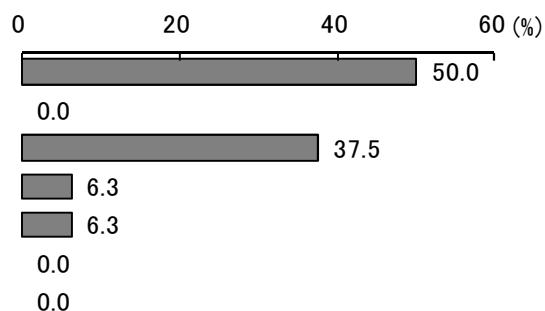
(1) 記入者

カテゴリー名	基数	構成比
あて名ご本人が記入	365	88.8
あて名ご本人に回答を確認しながら、ご本人以外の方が記入	12	2.9
あて名ご本人の立場に立って、ご本人以外の方が記入	4	1.0
不明・無回答	30	7.3
全体	411	-



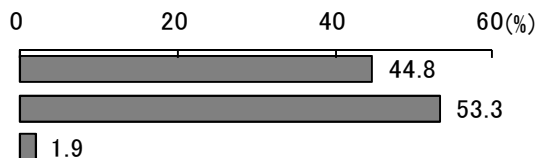
(2) 記入者の続柄 *上記(1)で、「ご本人以外の方が記入」と回答した場合

カテゴリー名	基数	構成比
配偶者	8	50.0
兄弟姉妹、親	0	0.0
子ども、孫	6	37.5
子どもの配偶者、孫の配偶者	1	6.3
親族	1	6.3
その他	0	0.0
不明・無回答	0	0.0
全体	16	-



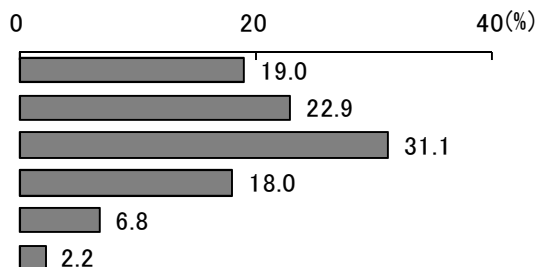
(3) 性別

カテゴリー名	基数	構成比
男性	184	44.8
女性	219	53.3
不明・無回答	8	1.9
全体	411	-



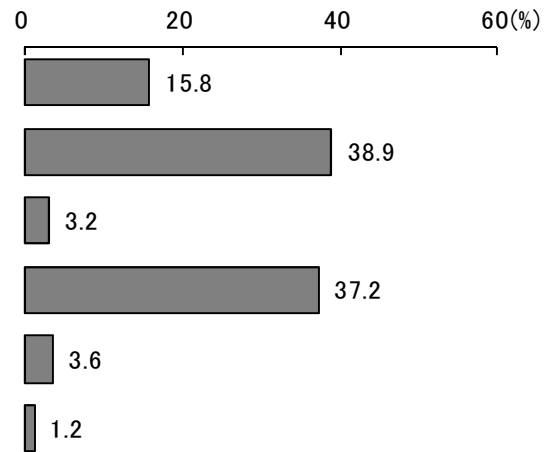
(4) 年齢

カテゴリー名	基数	構成比
65歳～69歳	78	19.0
70歳～74歳	94	22.9
75歳～79歳	128	31.1
80歳～84歳	74	18.0
85歳以上	28	6.8
不明・無回答	9	2.2
全体	411	-



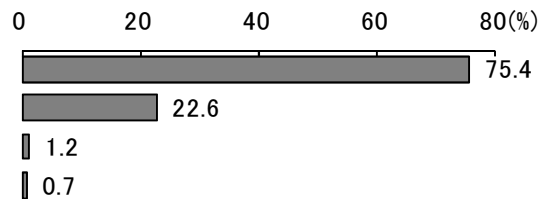
(5) 世帯構成

カテゴリー名	基数	構成比
ひとり暮らし	65	15.8
夫婦のみのふたり暮らし(ともに65歳以上)	160	38.9
夫婦のみのふたり暮らし(夫・妻のどちらかが65歳以上)	13	3.2
家族との同居(子どもと同居など)	153	37.2
その他の世帯	15	3.6
不明・無回答	5	1.2
全体	411	-



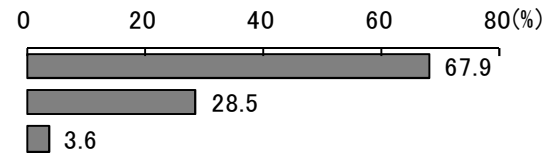
(6) 居住形態

カテゴリー名	基数	構成比
戸建て(一軒家)	310	75.4
マンション・アパートなどの集合住宅	93	22.6
その他	5	1.2
不明・無回答	3	0.7
全体	411	-



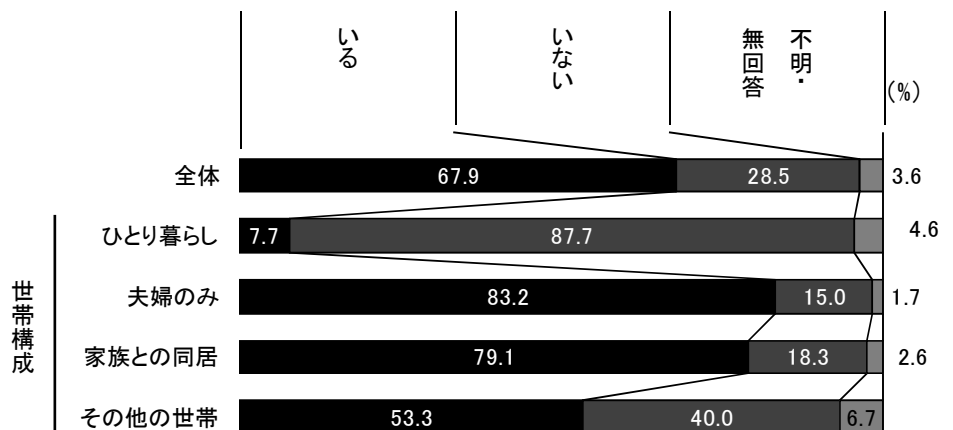
(7) 日中の同居者の有無

カテゴリー名	基数	構成比
いる	279	67.9
いない	117	28.5
不明・無回答	15	3.6
全体	411	-

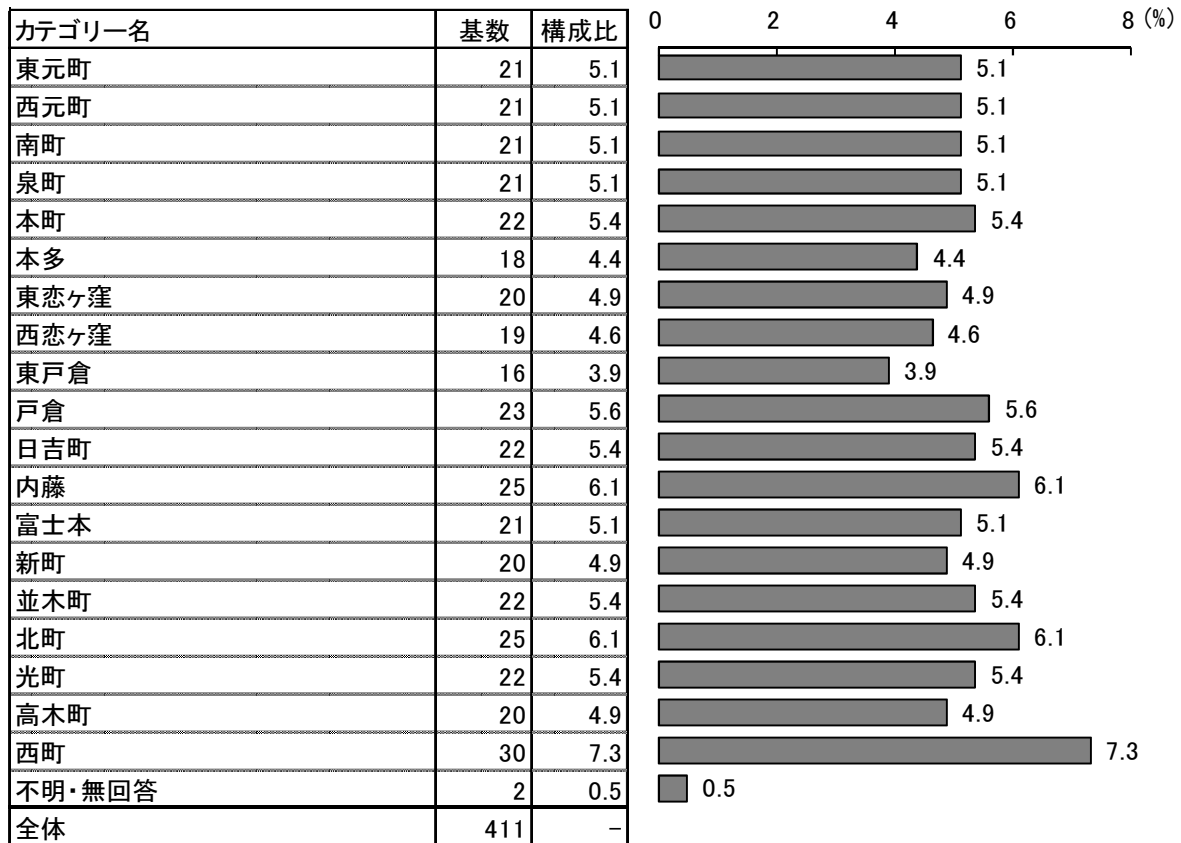


クロス集計分析

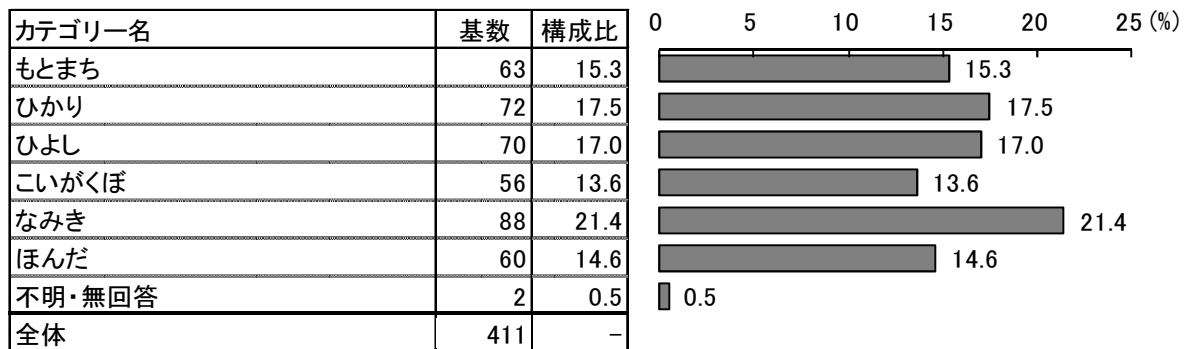
日中の同居者は、「夫婦のみ」世帯と「家族との同居」世帯において1割台が「いない」と回答しています。



(8) 居住地区

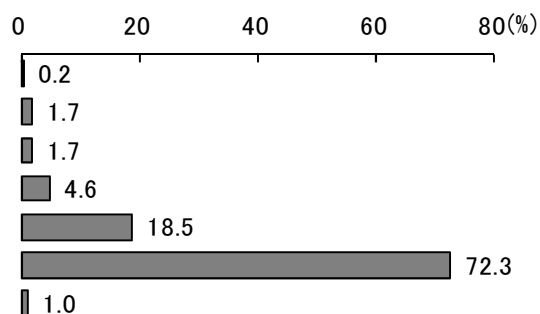


(9) 地域包括エリア



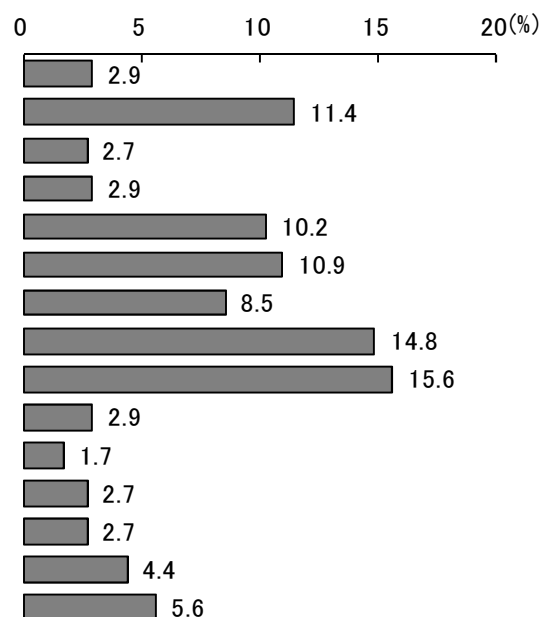
(10) 市内在住年数

カテゴリー名	基数	構成比
1年未満	1	0.2
1年以上3年未満	7	1.7
3年以上5年未満	7	1.7
5年以上10年未満	19	4.6
10年以上20年未満	76	18.5
20年以上	297	72.3
不明・無回答	4	1.0
全体	411	-



(11) 介護保険料段階

カテゴリー名	基数	構成比
第1段階	12	2.9
第2段階	47	11.4
特例第3段階	11	2.7
第3段階	12	2.9
特例第4段階	42	10.2
第4段階	45	10.9
第5段階	35	8.5
第6段階	61	14.8
第7段階	64	15.6
第8段階	12	2.9
第9段階	7	1.7
第10段階	11	2.7
第11段階	11	2.7
わからない	18	4.4
不明・無回答	23	5.6
全体	411	-

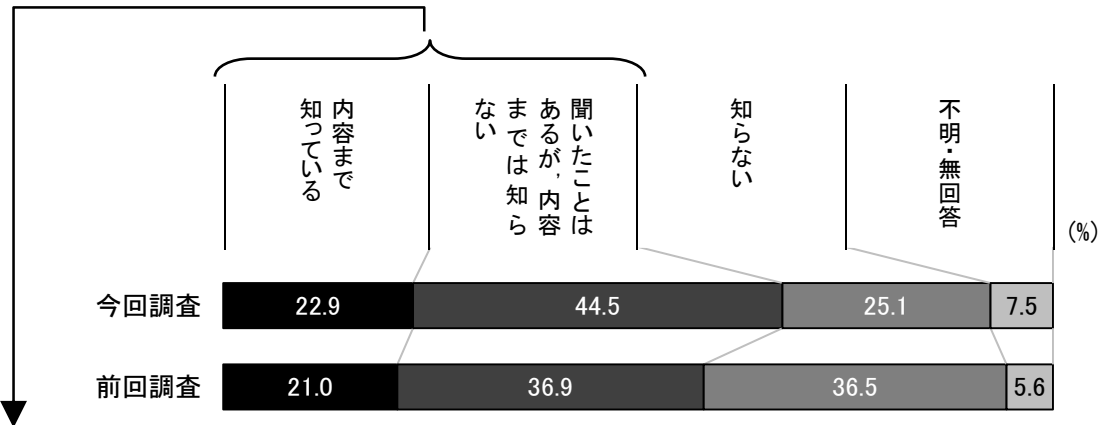


1-2 介護予防の意識・取組

(1) 「介護予防」という言葉の認知度

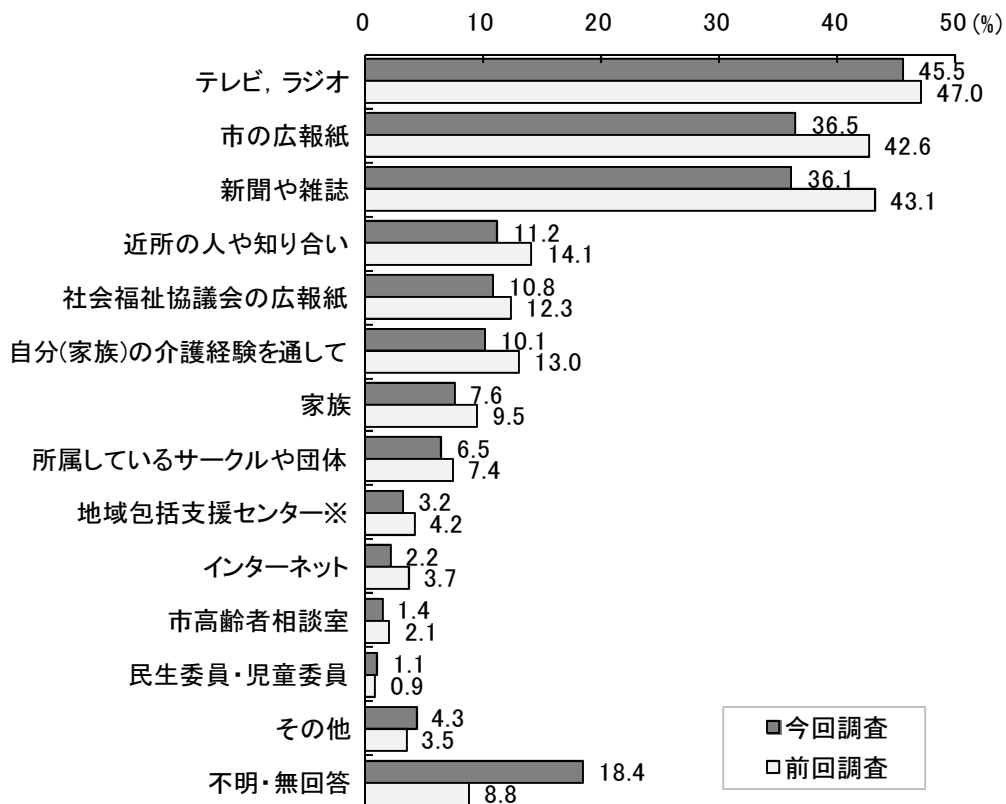
問1 あなたは、「介護予防」という言葉を知っていますか。(○は1つ)

☆「聞いたことはあるが、内容までは知らない」が4割台半ばでトップ



問1-1 どのようにして知りましたか。(あてはまるものすべてに○)

☆「介護予防」という言葉を知った経緯は、「テレビ、ラジオ」が4割台半ばでトップ



※前回調査では「地域包括支援センター・地域相談センター」

調査結果の傾向

「介護予防」という言葉の認知度（問1），言葉を知った経緯（問1-1）について、おうかがいしました。

まず、「介護予防」という言葉の認知度を聞いたところ、「内容まで知っている」は22.9%、「聞いたことはあるが、内容までは知らない」の44.5%を合わせると、認知度は67.4%となっています。

次に、「内容まで知っている」または「聞いたことはあるが、内容までは知らない」と回答した方に言葉を知った経緯を聞いたところ、「テレビ、ラジオ」(45.5%)が最多で、次いで「市の広報紙」(36.5%)、「新聞や雑誌」(36.1%)が続きます。

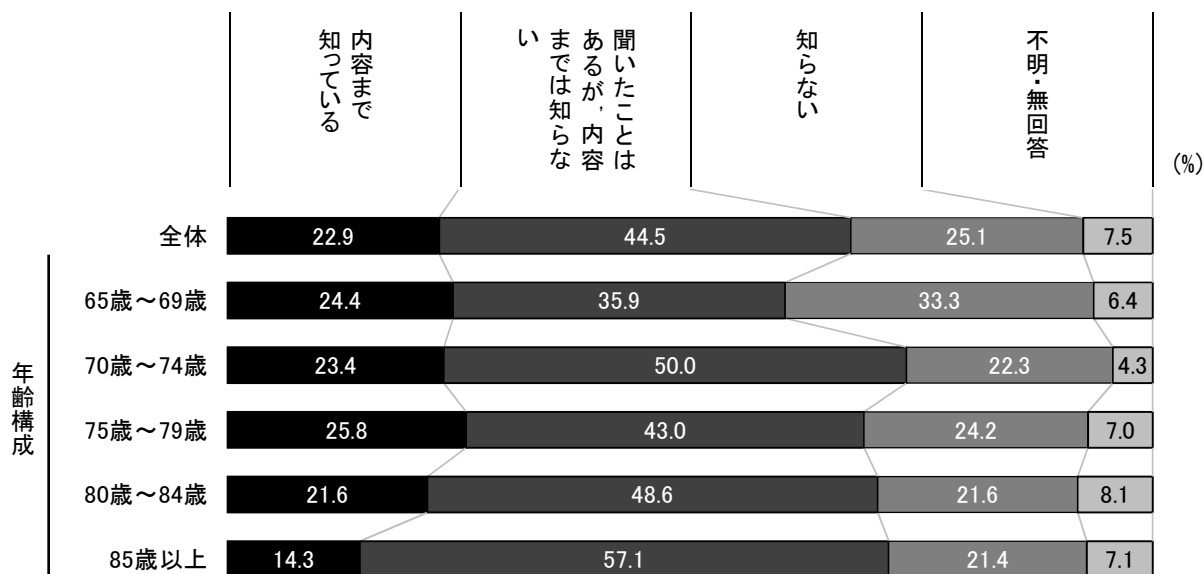
前回調査結果との比較

前回調査と比較すると、「介護予防」という言葉の認知度は前回調査（57.9%）より増加しています。

また、言葉を知った経緯では、前回調査と同様、「テレビ、ラジオ」「市の広報紙」「新聞や雑誌」が上位を占めました。全体的に、前回調査に比べてそれぞれの項目に対する回答割合が減少しています。

クロス集計分析

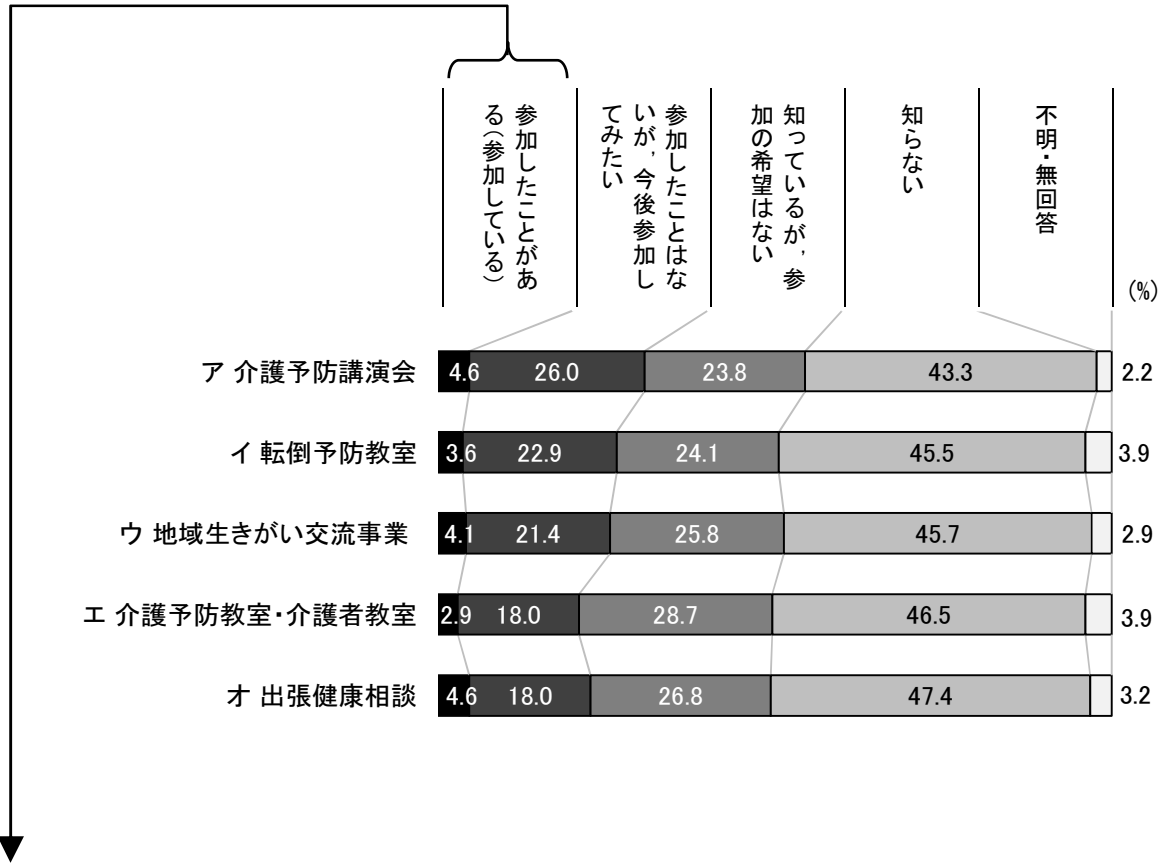
年齢構成別に見ると、「介護予防」という言葉の認知度は、【65歳～69歳】で低くなっています。



(2) 介護予防や健康保持のための各種事業の参加状況

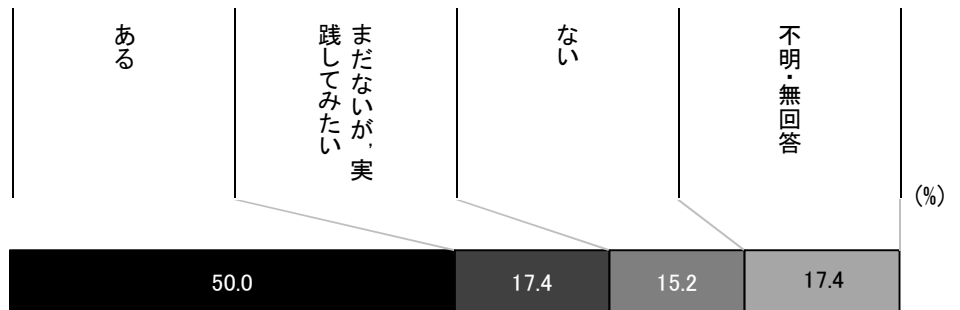
問2 本市では、次のような介護予防や健康保持のための各種事業を実施しています。それぞれの事業に参加したことがありますか。(○はそれぞれ1つずつ)

☆参加経験は、「介護予防講演会」・「出張健康相談」がトップ



問2-1 上記のいずれかの事業に参加した方にお伺いします。そこで得たことを今までに実践したことはありますか。(○は1つ)

☆事業参加後にそこで得たことを実践している方は5割



調査結果の傾向

介護予防や健康保持のための各種事業の参加状況（問2）、参加して得たことの実践経験（問2-1）について、おうかがいしました。

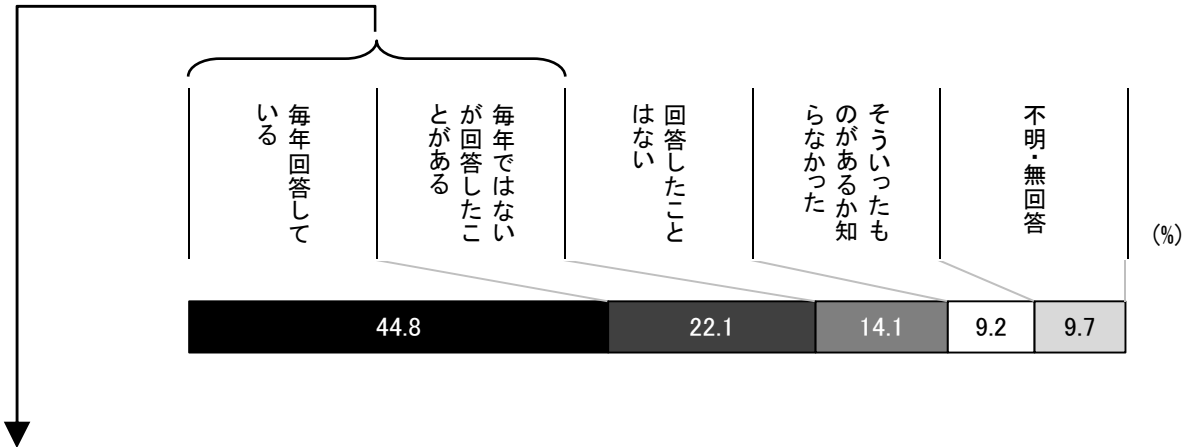
まず、各種事業の参加状況を聞いたところ、【介護予防講演会】、【転倒予防教室】、【地域生きがい交流事業】、【介護予防教室・介護者教室】、【出張健康相談】のいずれも、4割以上の方が「知らない」と回答しています。今後の参加意向は、【介護予防講演会】（26.0%）が最多で、次いで、【転倒予防教室】、【地域生きがい交流事業】と続きます。

次に、各種事業に参加したことがある方に対して、参加して得たことの実践経験を聞いたところ、「ある」と回答した方は5割と半数を占めています。

(3) 「生活機能チェックリスト」の回答状況

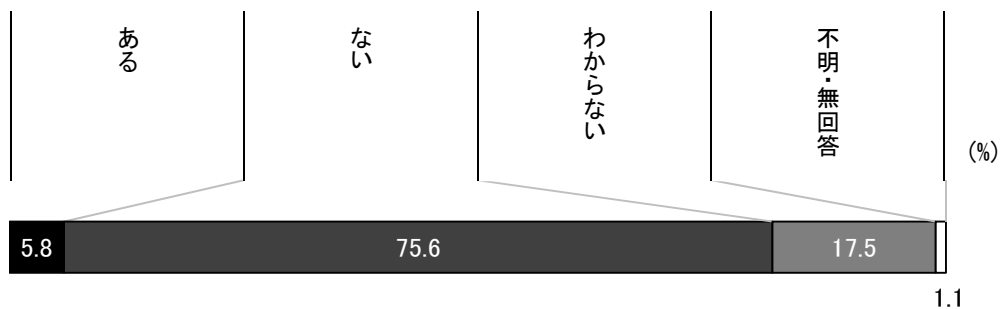
問3 「生活機能チェックアンケート（基本チェックリスト）」に、回答したことはありますか。
（○は1つ）

☆生活機能チェックアンケートは、「毎年回答している」が4割台半ばでトップ



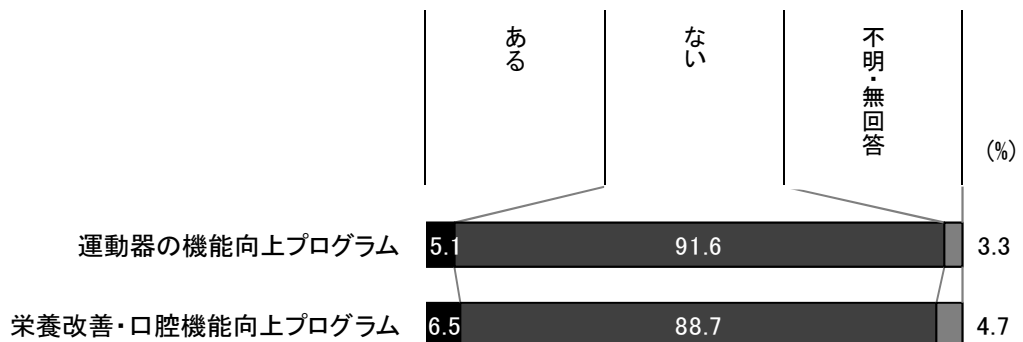
問3-1 介護予防事業への参加勧奨通知が届いたことがありますか。（○は1つ）

☆7割台半ばの方が、介護予防事業への参加勧奨通知が届いた経験が「ない」と回答



問3-2 次のような、生活機能の低下を改善する事業に参加したことはありますか。
（○はそれぞれ1つずつ）

☆いずれの事業も「ある」が1割未満



調査結果の傾向

生活機能チェックリストの回答状況(問3)、介護予防事業への参加勧奨通知が届いた経験(問3-1)、生活機能の低下を改善する事業への参加状況(問3-2)について、おうかがいしました。

まず、生活機能チェックリストの回答状況(問3)を聞いたところ、「毎年回答している」(44.8%)が最多で、「毎年ではないが回答したことがある」(22.1%)を合わせると、66.9%が“回答した経験がある”と回答しています。

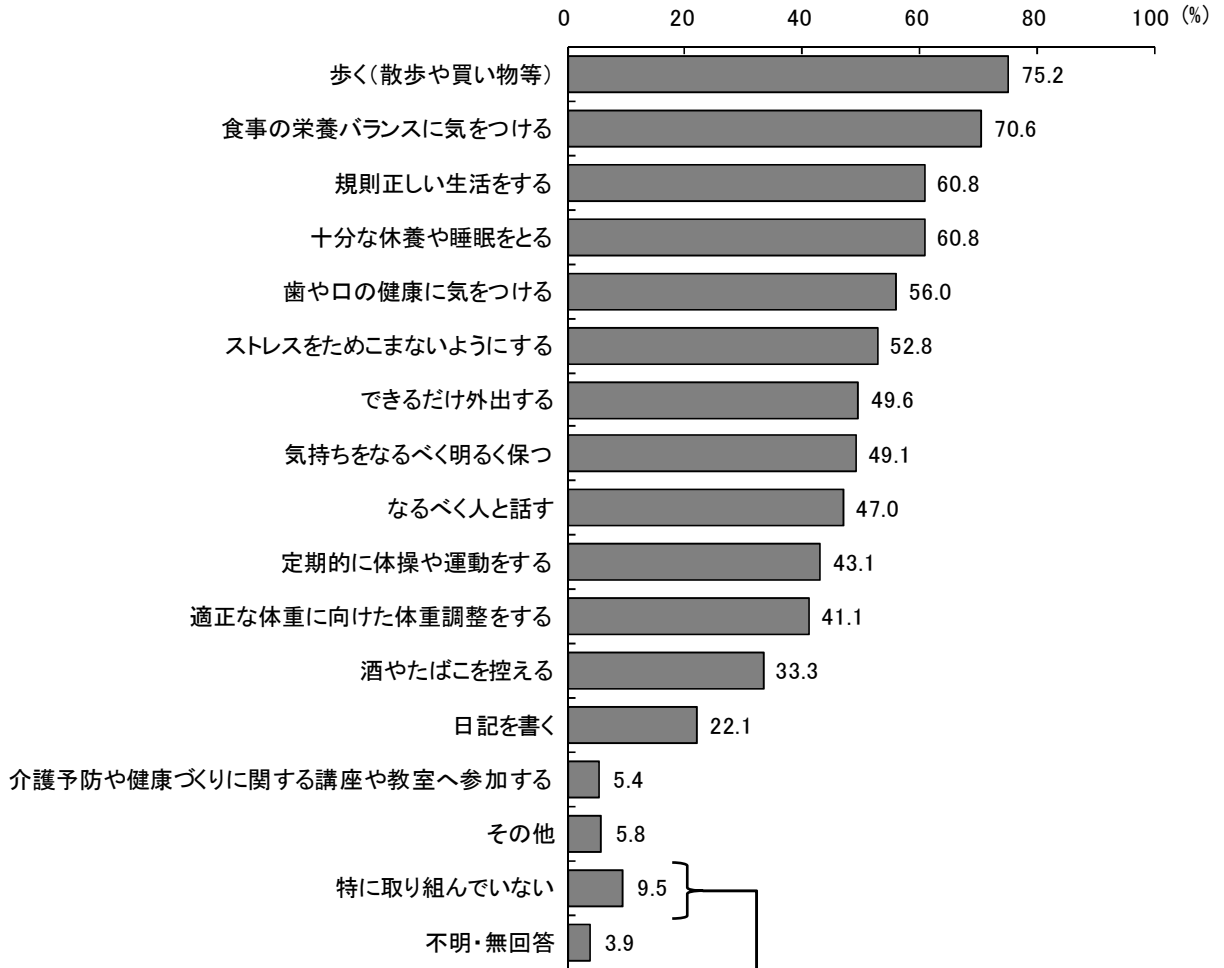
次に、「毎年回答している」又は「毎年ではないが回答したことがある」と回答した方に、介護予防事業への参加勧奨通知が届いた経験を聞いたところ、7割台半ばの方が「ない」と回答しています。

さらに、生活機能の低下を改善する事業への参加状況を聞いたところ、運動器の機能向上プログラム、栄養改善・口腔機能向上プログラムともに、8割以上の方が「ない」と回答しています。

(4) 介護予防や健康保持のために取り組んでいること

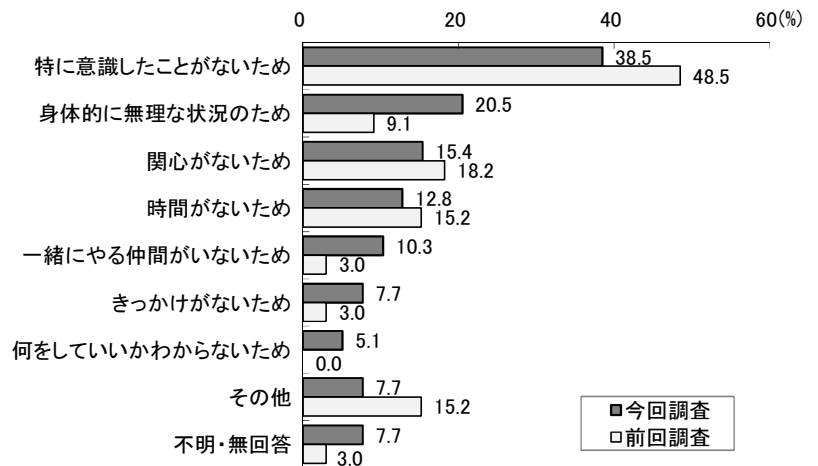
問4 介護予防や健康保持のために、日常生活の中で取り組んでいることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

☆歩く(散歩や買い物等)が7割台半ばでトップ



問4-1 取り組んでいない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

☆取り組んでいない理由は「特に意識したことがないため」がトップ



調査結果の傾向

介護予防や健康保持のために日常生活の中で取り組んでいること（問4）、取り組んでいない場合にはその理由（問4-1）について、おうかがいしました。

日常生活の中での取組を聞いたところ、半数以上の方が行っている取組としては、「歩く」（75.2%）、「食事の栄養バランスに気をつける」（70.6%）、「規則正しい生活をする」（60.8%）、「十分な休養や睡眠をとる」（60.8%）、「歯や口の健康に気をつける」（56.0%）、「ストレスをためこまないようにする」（52.8%）があげられます。取り組んでいない方にその理由を聞いたところ、「特に意識したことがないため」（38.5%）が最多となっています。

クロス集計分析

介護予防の認知度別に見ると、【内容まで知っている】方の場合、どの取組内容についても、回答割合が全体平均を上回っています。介護予防の認知度が高い方のほうが、介護予防に取り組む割合が高い傾向にあります。

(%)

	回答者数（件）	歩く（散歩や買い物）	食事の栄養バランスに気をつける	規則正しい生活をする	十分な休養や睡眠をとる	歯や口の健康に気をつける	ストレスをためこまないようにする	できるだけ外出する	気持ちをなるべく明るく保つ	なるべく人と話す
全体	411	75.2	70.6	60.8	60.8	56.0	52.8	49.6	49.1	47.0
「の介護認知予防」	内容まで知っている	94	78.7	84.0	71.3	68.1	66.0	62.8	66.0	59.6
	聞いたことはあるが、内容までは知らない	183	74.9	73.8	58.5	60.7	54.1	55.2	52.5	48.6
	知らない	103	72.8	55.3	57.3	59.2	54.4	43.7	31.1	40.8

	回答者数（件）	定期的に体操や運動をする	適正な体重に向けた体重調整をする	酒やたばこを控える	日記を書く	介護予防や健康づくりに関する講座や教室へ参加する	その他	特に取り組んでいない	不明・無回答
全体	411	43.1	41.1	33.3	22.1	5.4	5.8	9.5	3.9
「の介護認知予防」	内容まで知っている	94	60.6	53.2	42.6	26.6	13.8	6.4	4.3
	聞いたことはあるが、内容までは知らない	183	40.4	43.2	31.1	25.7	4.4	6.0	9.3
	知らない	103	33.0	33.0	34.0	11.7	-	4.9	13.6

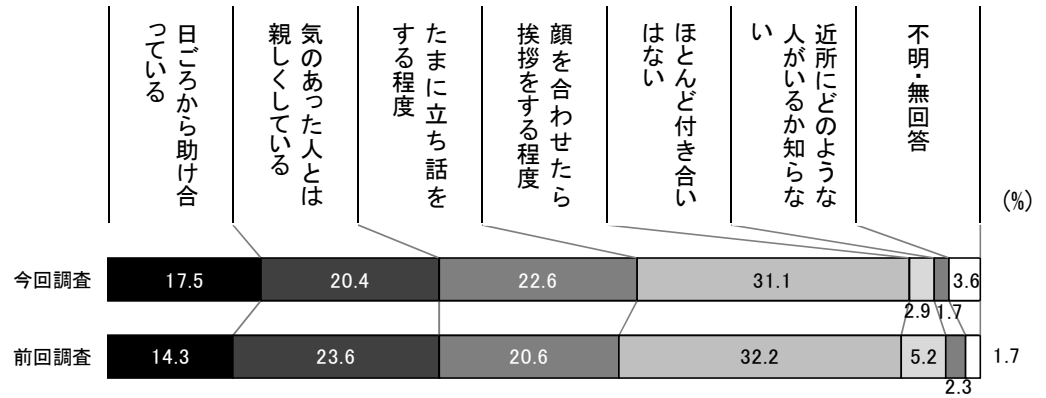
※網掛けは分析軸別の最大値

1-3 地域との交流

(1) 近所付き合いの程度

問5 あなたは、ご近所の方とどのようなお付き合いがありますか。(○は1つ)

☆近所付き合いの程度は、「顔を合わせたら挨拶をする程度」が3割強でトップ



調査結果の傾向

ご近所の方との付き合いの状況(問5)を聞いたところ、「顔を合わせたら挨拶をする程度」(31.1%)が最多となっています。

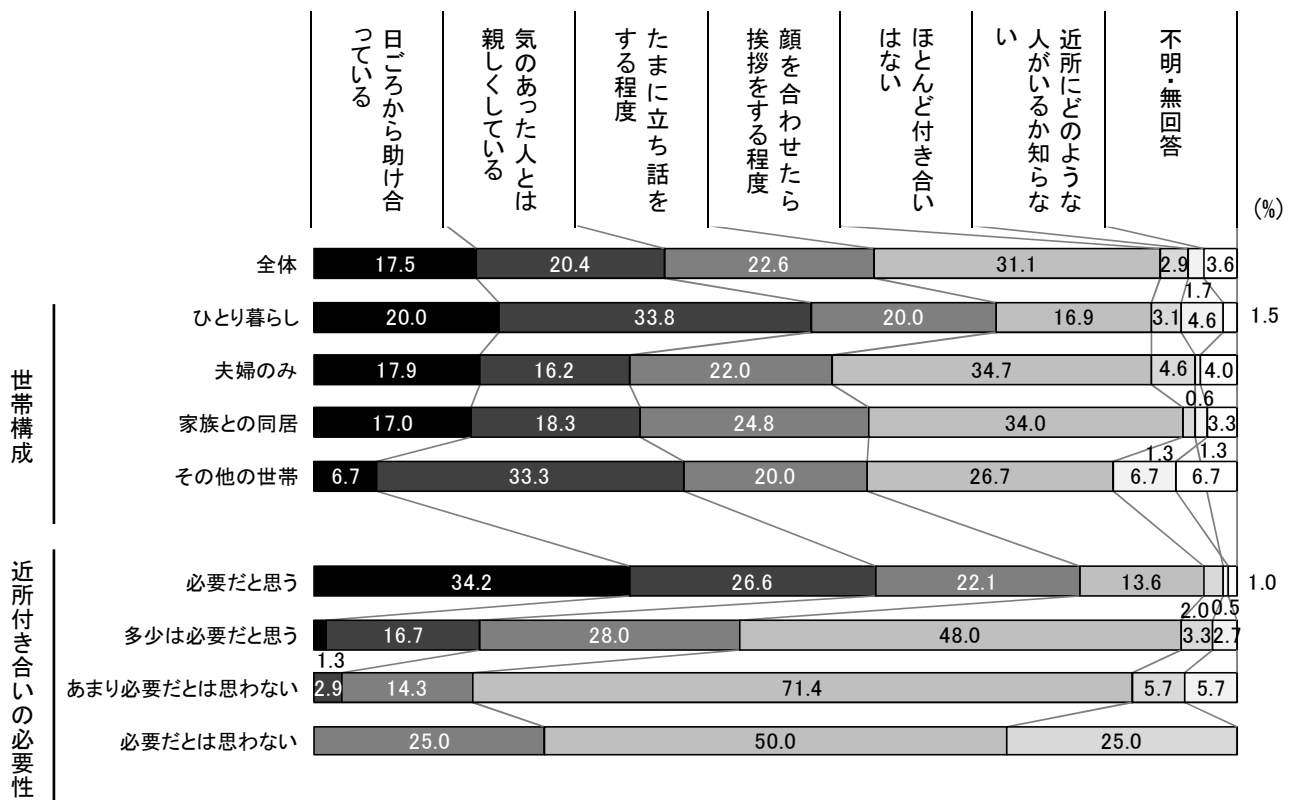
前回調査結果との比較

前回調査と比較しても、「顔を合わせたら挨拶をする程度」が最も多く、ほぼ同様の傾向となっています。

クロス集計分析

世帯構成別で見ると、【家族との同居】では、「日ごろから助け合っている」や「気のあった人とは親しくしている」の割合が、【夫婦のみ】では、「気のあった人とは親しくしている」の割合が全体平均を下回っています。

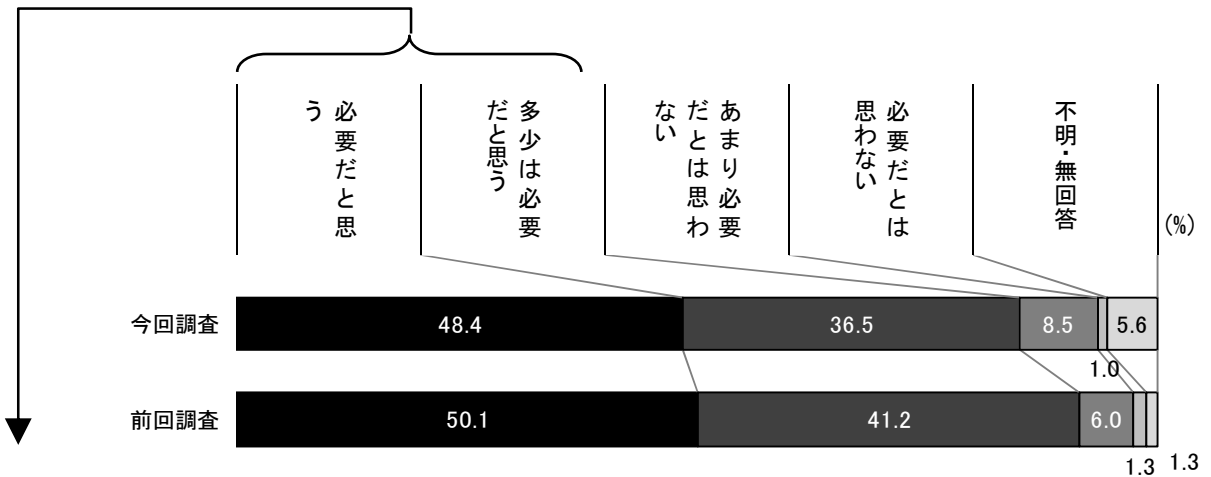
近所付き合いの必要性別で見ると、【必要だと思う】と回答した方の場合、「日ごろから助け合っている」や「気のあった人とは親しくしている」との回答が全体平均を大きく上回っており、必要性が増すと近所付き合いも深くなる傾向にあります。



(2) 近所付き合いの必要性

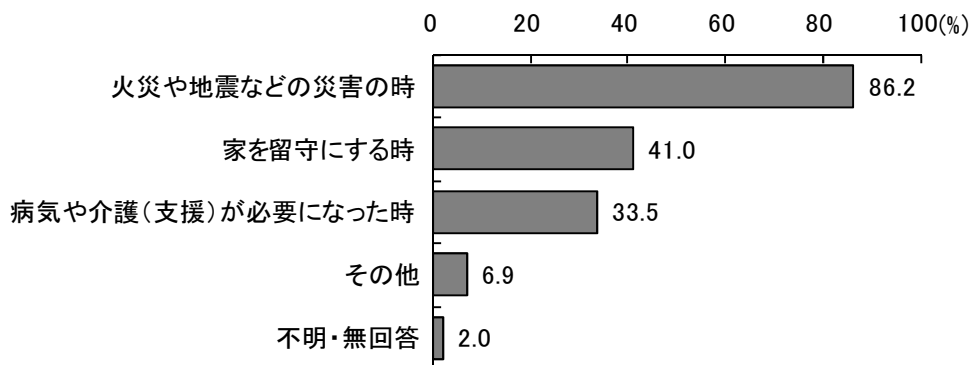
問6 あなたは、ご近所の方とお付き合いは必要だと思いますか。(○は1つ)

☆近所付き合いの必要性は、8割台半ばの方が“必要”と回答



問6-1 特にどのような時に必要だと感じますか。(あてはまるものすべてに○)

☆「火災や地震などの災害の時」が8割台後半でトップ



調査結果の傾向

近所付き合いの必要性(問6)、必要だと思う状況(問6-1)について、おうかがいしました。

まず、近所付き合いの必要性を聞いたところ、「必要だと思う」(48.4%)が最多で、「多少は必要だと思う」(36.5%)を合わせると、84.9%の方が“必要”と感じています。

次に、「必要だと思う」又は「多少は必要だと思う」と回答した方にその状況を聞いたところ、「火災や地震などの災害の時」(86.2%)が最多で、突出して多くなっています。

前回調査結果との比較

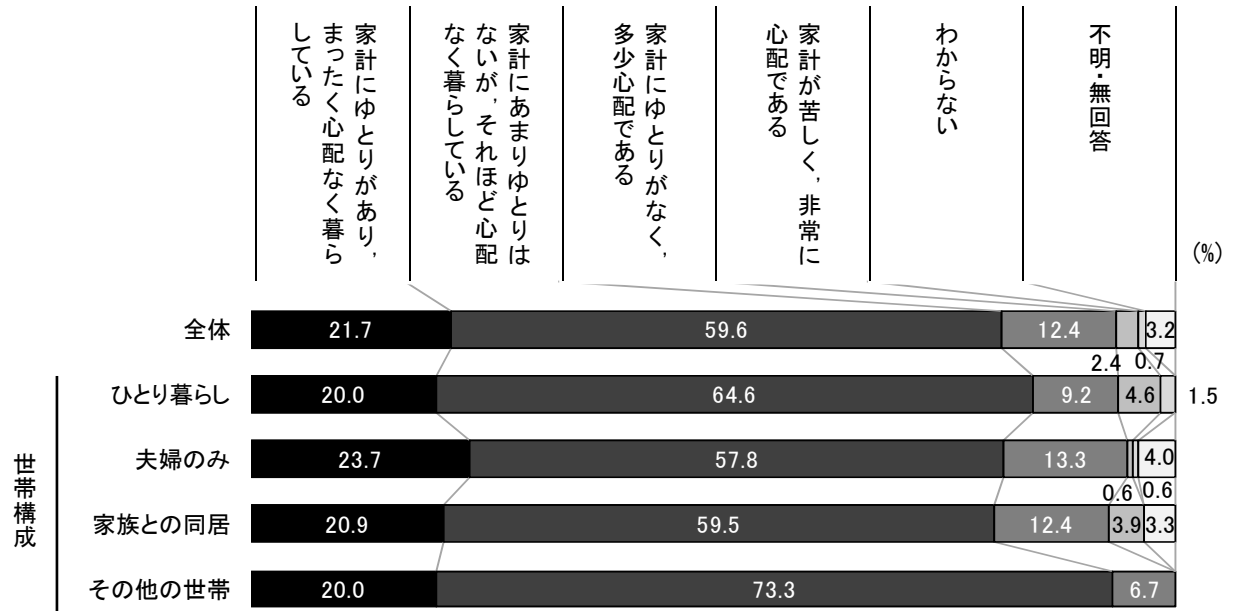
前回調査と比較しても、“必要性”は相変わらず高い値を維持しています。しかし、「必要だと思う」、「多少は必要だと思う」と回答した方は前回より減少しています。

1-4 暮らしや情報

(1) 現在の経済的な暮らし向き

問7 あなたは、現在の経済的な暮らし向きについて、どのように感じますか。(〇は1つ)

☆現在の経済的な暮らし向きは、8割強の方が“心配なく暮らしている”と回答



調査結果の傾向

現在の経済的な暮らし向き（問7）を聞いたところ、「家計にあまりゆとりはないが、それほど心配なく暮らしている」（59.6%）が最多で、「家計にゆとりがあり、まったく心配なく暮らしている」（21.7%）を合わせると、81.3%の方が“心配なく暮らしている”と回答しています。

クロス集計分析

世帯構成別で見ると、【ひとり暮らし】と【家族との同居】の場合、「家計が苦しく、非常に心配である」が全体平均と比べて高くなっています。

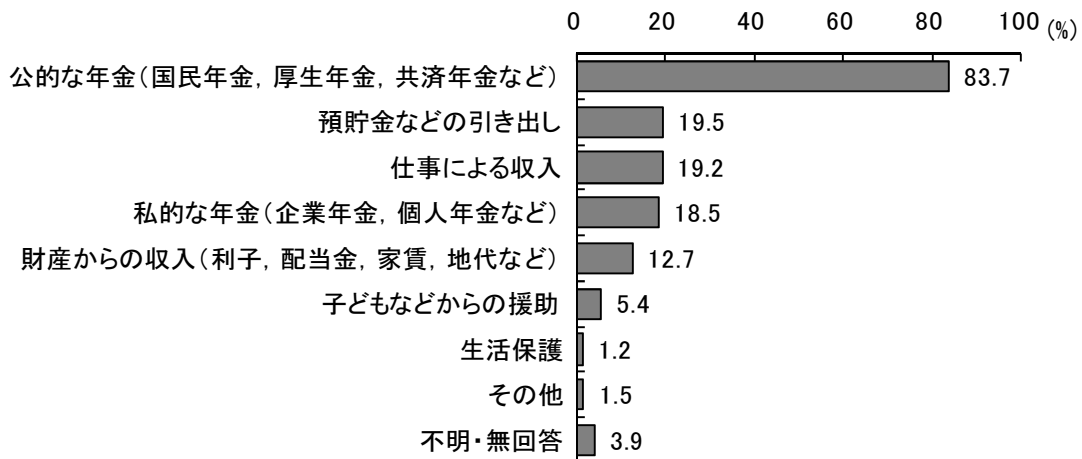
他調査結果との比較（119ページ 問2参照）

【要介護（要支援）認定者（在宅）及び家族等介護者調査】に比べて、「家計にあまりゆとりはないが、それほど心配なく暮らしている」が多くなっています。

(2) 生活を支えている主な収入源

問8 あなたの生活を支えている収入は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

☆主な収入源は、「公的な年金」が8割台前半でトップ



調査結果の傾向

生活を支えている収入(問8)を聞いたところ、8割以上の方が「公的な年金」と回答しています。他には「預貯金などの引き出し」(19.5%)、「仕事による収入」(19.2%)、「私的な年金」(18.5%)、「財産からの収入」(12.7%)があげられています。

クロス集計分析

世帯構成別で見ると、【ひとり暮らし】の場合、「生活保護」の割合が6.2%となっており、他の世帯構成に比べて多くなっています。

暮らし向き別に見ると、【家計が苦しく、非常に心配である】の場合、「公的な年金」の割合が50.0%と、他の暮らし向きに比べて少なく、「仕事による収入」の割合が40.0%と多くなっています。

(%)

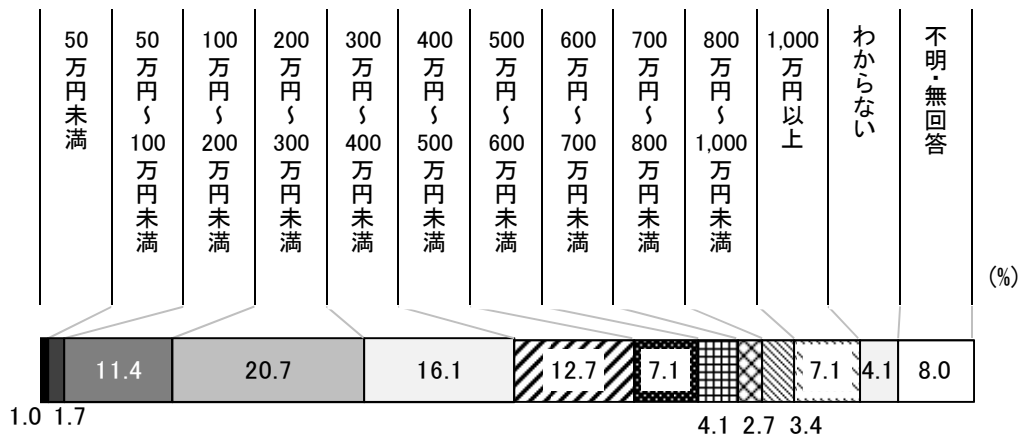
		回答者数 (件)	公的な年金 (厚生年金・国民年金など)	預貯金などの引き出し	仕事による収入	私的な年金 (企業年金など)	代子財産 (配当金、家賃、利地)	子どもなどからの援助	生活保護	その他	不明・無回答
全体		411	83.7	19.5	19.2	18.5	12.7	5.4	1.2	1.5	3.9
世帯構成	ひとり暮らし	65	80.0	27.7	12.3	16.9	16.9	4.6	6.2	3.1	6.2
	夫婦のみ	173	87.3	19.7	16.8	24.3	13.9	0.6	0.6	0.6	4.0
	家族との同居	153	81.7	15.0	25.5	13.1	10.5	9.8	-	1.3	2.6
	その他の世帯	15	86.7	26.7	20.0	20.0	6.7	20.0	-	6.7	-
暮らし向き	家計にゆとりがあり、まったく心配なく暮らしている	89	84.3	22.5	24.7	23.6	27.0	1.1	-	1.1	-
	家計にあまりゆとりはないが、それほど心配なく暮らしている	245	87.8	21.6	19.2	20.8	10.6	6.1	1.2	1.6	2.0
	家計にゆとりがなく、多少心配である	51	90.2	9.8	9.8	5.9	2.0	5.9	2.0	2.0	-
	家計が苦しく、非常に心配である	10	50.0	10.0	40.0	-	-	10.0	10.0	-	-
	わからない	3	66.7	33.3	-	33.3	-	33.3	-	-	-

※網掛けは分析軸別の最大値

(3) 世帯全員の年間総収入

問9 あなたも含めた世帯全員の年間総収入（年金，仕送りなども含む）の合計額は，およそどのくらいですか。（○は1つ）

☆世帯全員の年間総収入は，「200万円～300万円未満」が約2割でトップ



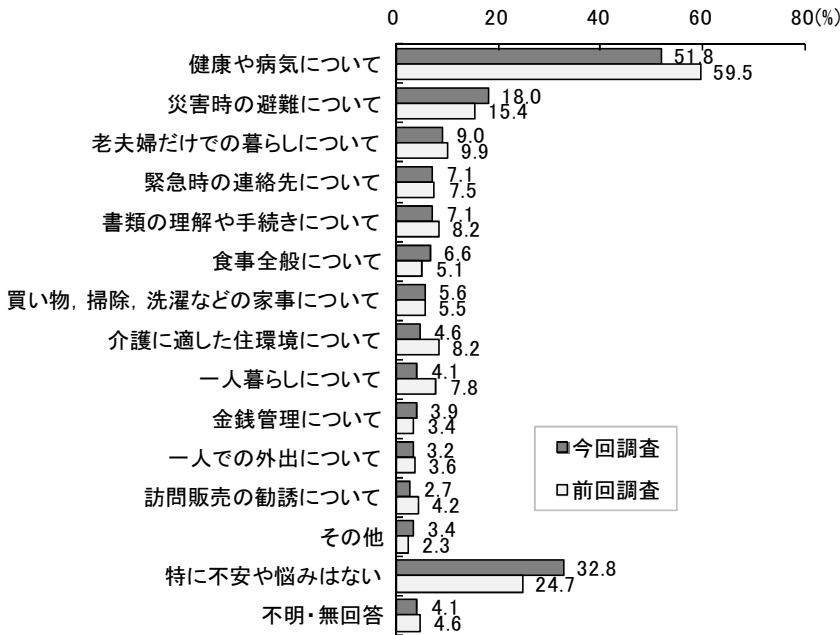
調査結果の傾向

世帯全員の年間総収入（問9）を聞いたところ，「200万円～300万円未満」（20.7%）が最多となっています。また，「1,000万円以上」という高所得層は7.1%となっています。

(4) 日常生活の中での不安や悩み

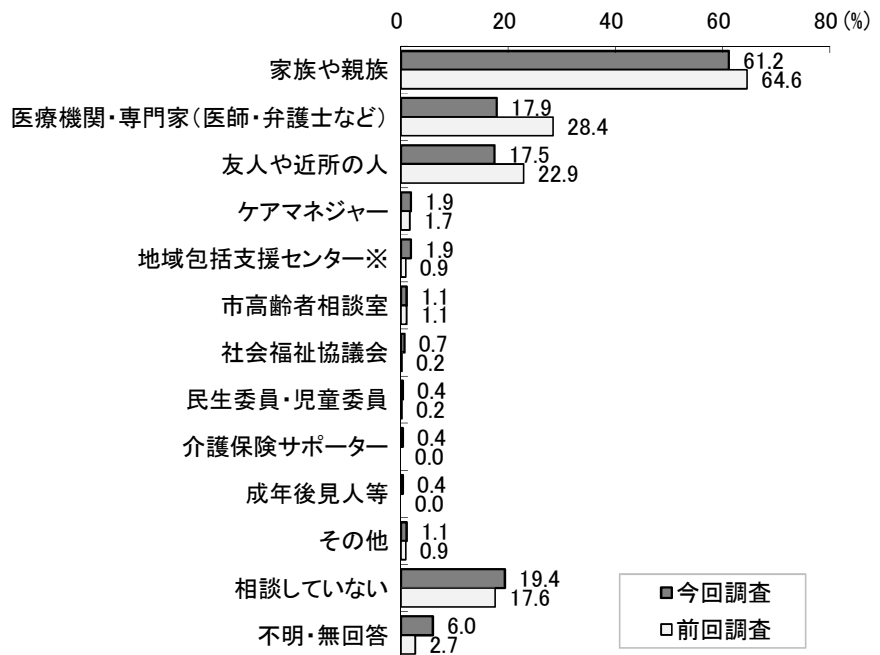
問10 あなたは、日常生活の中で「不安」や「悩み」がありますか。(あてはまるものすべてに○)

☆日常生活の不安や悩みは、「健康や病気について」が5割強でトップ



問10-1 あなたは、その「不安」や「悩み」を誰(どこ)に相談していますか。(あてはまるものすべてに○)

☆「不安」や「悩み」の相談先は、「家族や親族」が6割強でトップ



※前回調査では「地域包括支援センター・地域相談センター」

調査結果の傾向

日常生活の不安や悩みの有無（問10）、不安や悩みの相談先（問10-1）について、おうかがいしました。

日常生活の不安や悩みの有無を聞いたところ、「健康や病気について」（51.8%）が最多で、次いで「災害時の避難について」（18.0%）、「老夫婦だけの暮らしについて」（9.0%）と続きます。健康や病気が最大の不安や悩みとなっています。

次に、不安や悩みの相談先を聞いたところ、「家族や親族」（61.2%）が最多で、次いで「医療機関・専門家」（17.9%）、「友人や近所の人」（17.5%）と続きます。「地域包括支援センター」、「市高齢者相談室」、「社会福祉協議会」等の公的な機関への相談は3.7%となっています。

前回調査結果との比較

前回調査と比較すると、不安や悩みを抱えている方の割合に大きな変化はありませんが、内容としては「災害時の避難について」の回答割合が増えています。

クロス集計分析

年齢構成別で見ると、「健康や病気について」は、いずれの年代でも不安や悩みとして高くなっています。

世帯構成別で見ると、「健康や病気について」は、【家族との同居】の場合、全体平均よりも低くなっています。

(%)

		回答者数（件）	健康や病気について	災害時の避難について	老夫婦だけの暮らしについて	緊急時の連絡先について	書類の理解や手続きについて	食事全般について	買い物、掃除、洗濯などの家事について	介護に適した住環境について	一人暮らしについて	金銭管理について
全体		411	51.8	18.0	9.0	7.1	7.1	6.6	5.6	4.6	4.1	3.9
年齢構成	65歳～69歳	78	43.6	15.4	7.7	5.1	5.1	2.6	1.3	2.6	5.1	1.3
	70歳～74歳	94	56.4	20.2	6.4	4.3	4.3	7.4	3.2	8.5	5.3	5.3
	75歳～79歳	128	51.6	15.6	9.4	7.0	8.6	4.7	5.5	3.1	2.3	3.9
	80歳～84歳	74	59.5	21.6	12.2	8.1	6.8	9.5	12.2	5.4	4.1	4.1
	85歳以上	28	46.4	25.0	10.7	14.3	10.7	10.7	10.7	3.6	7.1	3.6

		回答者数（件）	健康や病気について	災害時の避難について	老夫婦だけの暮らしについて	緊急時の連絡先について	書類の理解や手続きについて	食事全般について	買い物、掃除、洗濯などの家事について	介護に適した住環境について	一人暮らしについて	金銭管理について
世帯構成	ひとり暮らし	65	56.9	20.0	-	6.2	6.2	9.2	7.7	4.6	13.8	4.6
	夫婦のみ	173	55.5	17.3	19.1	6.9	5.2	5.8	7.5	5.2	0.6	4.6
	家族との同居	153	45.1	17.0	2.0	7.2	9.8	6.5	2.6	3.3	2.6	2.6
	その他の世帯	15	60.0	20.0	6.7	13.3	-	6.7	-	13.3	20.0	6.7

		回答者数（件）	一人での外出について	訪問販売の勧誘について	その他	特に不安や悩みはな	不明・無回答
全体		411	3.2	2.7	3.4	32.8	4.1
年齢構成	65歳～69歳	78	-	-	2.6	38.5	7.7
	70歳～74歳	94	3.2	2.1	5.3	37.2	1.1
	75歳～79歳	128	4.7	3.1	3.9	32.0	3.1
	80歳～84歳	74	1.4	2.7	1.4	27.0	4.1
	85歳以上	28	7.1	7.1	3.6	32.1	7.1

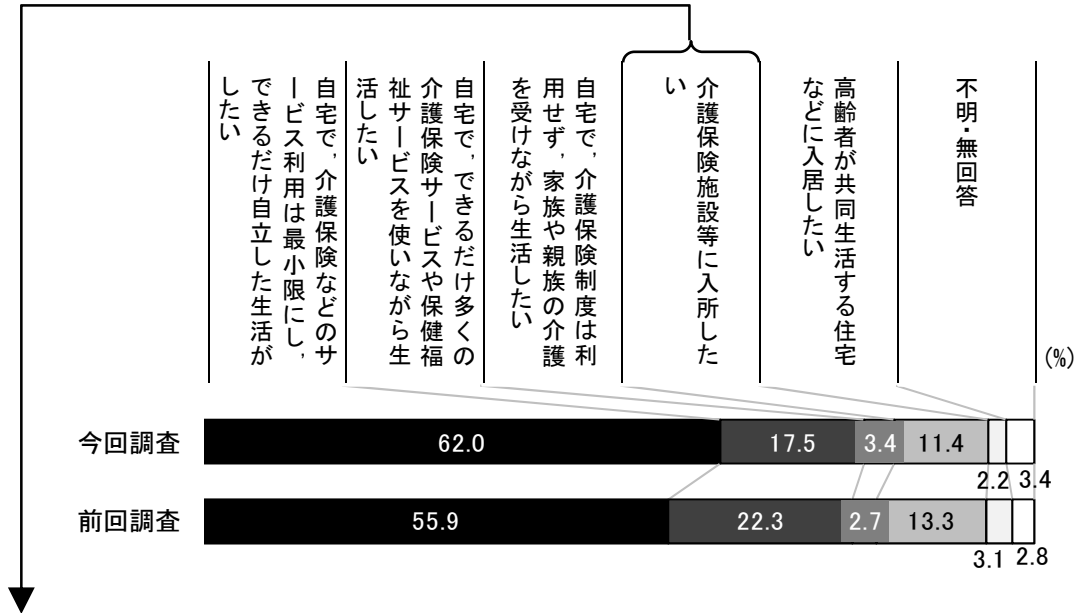
		回答者数（件）	一人での外出について	訪問販売の勧誘について	その他	特に不安や悩みはな	不明・無回答
世帯構成	ひとり暮らし	65	1.5	4.6	7.7	24.6	6.2
	夫婦のみ	173	4.0	2.9	2.9	31.8	2.3
	家族との同居	153	3.3	1.3	2.6	39.2	4.6
	その他の世帯	15	-	6.7	-	26.7	6.7

※網掛けは分析軸別の最大値

(5) 自分が希望する介護形態

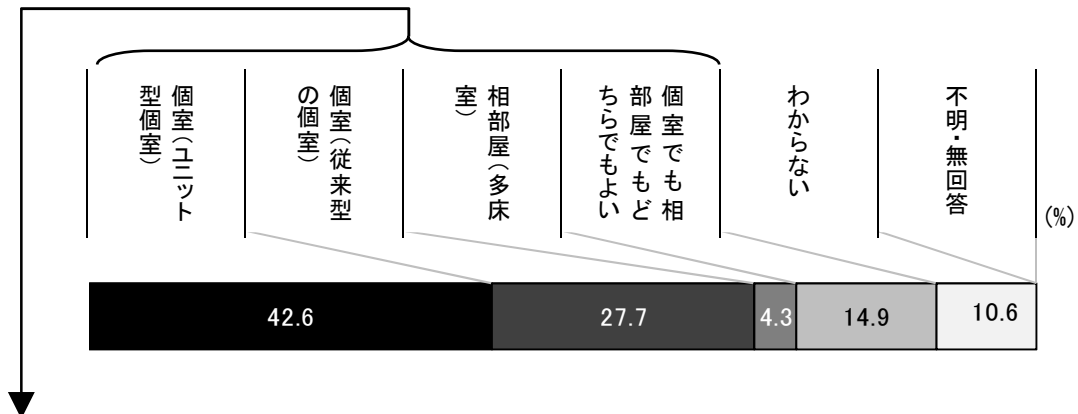
問11 あなたは、介護や支援が必要になった時、どのように暮らしたいですか。(〇は1つ)

☆「自宅で、介護保険などのサービス利用は最小限にし、できるだけ自立した生活がしたい」が6割強でトップ



問11-1 施設で生活される場合、あなたはどのような部屋を希望しますか。(〇は1つ)

☆7割強の方が“個室”を希望



問11-2 個室あるいは相部屋を希望される理由があれば、ご自由にご記入ください。

34人から回答がありました。記載内容では、「他人に気を使いたくない、迷惑をかけたくないため個室希望」(13件)が最多で、次いで「プライベート・プライバシー確保のため個室希望」(11件)、「本当は個室希望だが、金銭面で相部屋希望」(7件)と続きます。記載内容を次ページに示します。

区分	記載内容	件数
1	他人に気を使いたくない、迷惑をかけたくないため個室希望	13
2	プライベート・プライバシー確保のため個室希望	11
3	本当は個室希望だが、金銭面で相部屋希望	7
4	人付き合いも重要と考えるため相部屋希望	2
5	その他	2

※ 複数の記載内容もあることから、合計の件数と回答者数とは合致しない場合があります。

【1 他人に気を使いたくない、迷惑をかけたくないため個室希望（13件）】

- ・私自身が臭いや音等が気になり相手方の人に気を使う様だったら嫌等の理由です。
- ・ストレスがたまりやすい。
- ・どれくらいの介護が必要かによって答えは違う。自分で食べたり歩いたり身の回りのことができる間は①。それができなくなったら④。
- ・自由度が高いから。
- ・少人数でも他の方に気を使うと思うので、従来型の一人の個室が良いと今は思っています。
- ・それが本来の姿だから。
- ・他人と一緒にだとわずらわしい事もある。
- ・一日中気を使いながら生活するのは気分が重いので。
- ・人との関係が面倒。
- ・人付き合いがあまりうまくない為。
- ・私に他人との協調性がなく、かなりわがままであること、社交性もなし。
- ・相性の問題。
- ・他人と付き合いたくない。

【2 プライベート・プライバシー確保のため個室希望（11件）】

- ・必要な介護以外は一人にしておいて欲しい。
- ・気兼ねなく過ごせるには個室が良いと思っています。全面的に介護や見守りが必要な状態であれば施設の都合に従うつもりです。
- ・個室。自由に生活したいから。
- ・プライベートな時間を持ちたいから。
- ・プライバシーは守りたい。
- ・個室はプライバシーが保たれる為。
- ・出来るだけ自立して生活したいですが出来なくなったら施設に入りたいです。子供や孫たちがきてくれるような場所で出来れば個室がいいです。
- ・大人数の施設だと疲れると思う。少人数の施設だと1人1人に気を使ってくれると思う。あたたかな生活ができると思う。今後はユニット型をたくさん作って安心した老後生活を希望。
- ・気を使うタイプなので相部屋では疲れてしまう。個室が良い。
- ・四六時中他人と一緒にの生活はストレスがたまると思う。

- 出来るだけストレスの少ない居住環境で終活したい。

【3 本当は個室希望だが、金銭面で相部屋希望（7件）】

- お金がない。
- ユニット型を希望しますが、金額が高いので無理かと思えます。もう少し安い料金が良いです。
- 相部屋でも相手に合わせることができるから。
- ユニット型個室が理想ですが、1ヶ月あたりの金額が高く、無理と思えます。
- 夫が施設に入所していて具合が悪いと個室へ移ったが、一日7,000円かかって支払いが大変です。
- 主人が今施設に入所していますが、ユニット型だと年金だけだと支払いが苦しい。みんなと一緒に生活することも大切。
- 楽しいかなと思う、色々な事があると思うけど一人一人違うからお金もないし。不安はいっぱいあります。自分の身体分かります。1日1日わかりません。

【4 人付き合いも重要と考えるため相部屋希望（2件）】

- 人間関係が面倒でない。
- 基本的に自分一人の時間、空間がほしいが、やはり他の人との交わりも大事にしたい。

【5 その他（2件）】

- 一人静かに暮らしたい。
- 意味がわかりません。

調査結果の傾向

介護や支援が必要になった時の暮らし方の希望（問11）、施設生活を希望される場合の部屋の希望（問11-1）、個室や相部屋を希望される理由（問11-2）について、おうかがいしました。

まず、介護や支援が必要になった時の暮らし方の希望を聞いたところ、「自宅で、介護保険などのサービス利用は最小限にし、できるだけ自立した生活がしたい」（62.0%）が最多で、「自宅で、できるだけ多くの介護保険サービスや保健福祉サービスを使いながら生活したい」（17.5%）と「自宅で、介護保険制度は利用せず、家族や親族の介護を受けながら生活したい」（3.4%）を合わせると、82.9%の方が“自宅”を希望しています。

次に、「介護保険施設等に入所したい」と回答した方に部屋の希望を聞いたところ、「ユニット型個室」（42.6%）が最多で、「従来型の個室」（27.7%）を合わせると70.3%の方が“個室派”となっています。一方、「相部屋（多床室）」の希望は4.3%となっています。

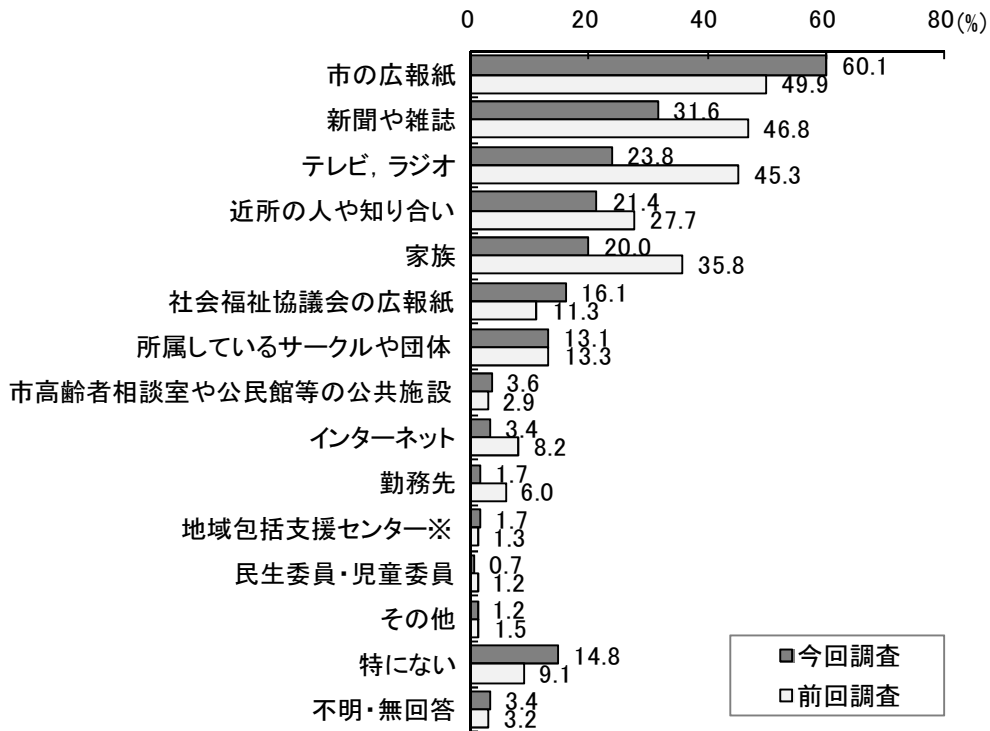
前回調査結果との比較

前回調査と比較すると、自宅を希望している方の割合に大きな変化はありませんが、「自宅で、介護保険などのサービス利用は最小限にし、できるだけ自立した生活がしたい」の割合が増えています。

(6) 健康などに関する地域情報の入手先

問12 あなたは、健康のために地域で行なっている情報をどのようなところから得ていますか。
(あてはまるものすべてに○)

☆情報の入手先は、「市の広報紙」が6割でトップ



※前回調査では「地域包括支援センター・地域相談センター」

調査結果の傾向

健康のために地域で行なっている情報の入手先（問12）を聞いたところ、「市の広報紙」（60.1%）、「新聞や雑誌」（31.6%）、「テレビ、ラジオ」（23.8%）が上位にあげられました。「インターネット」は3.4%となっています。

前回調査結果との比較

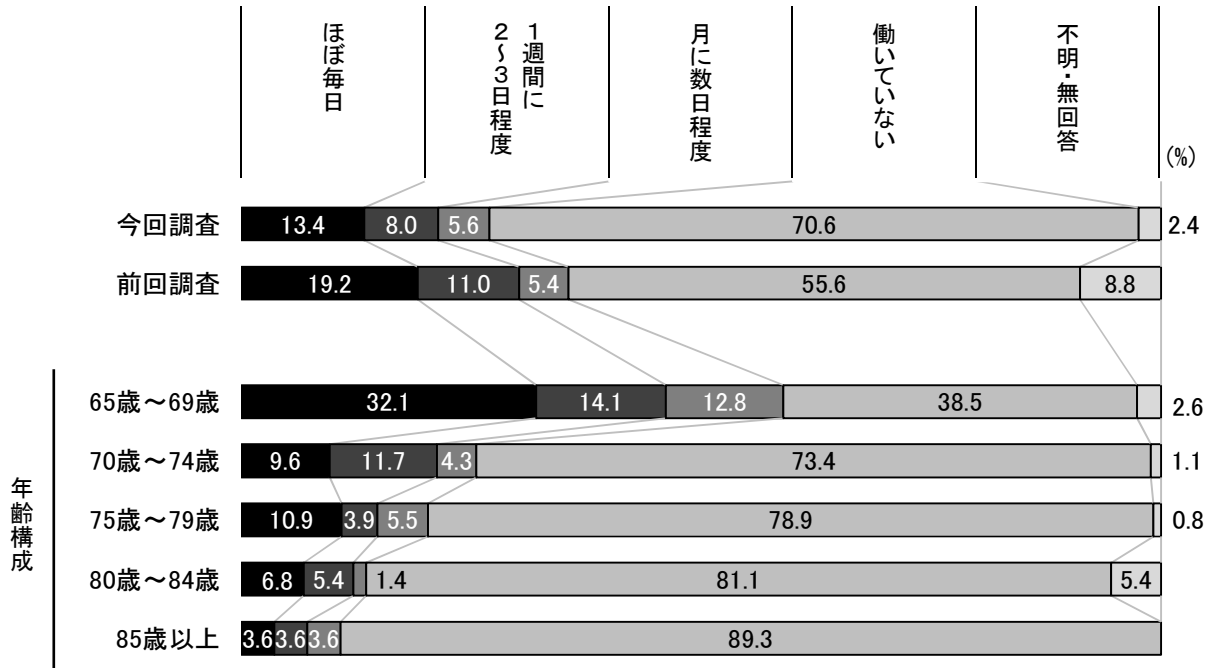
前回調査と比較すると、「市の広報紙」が大きく増え、それ以外の媒体での回答が少なくなっています。

1-5 就労意識・意向

(1) 就労状況

問13 あなたは現在、働いていますか。(○は1つ)

☆現在の就労状況は、「働いていない」が約7割でトップ



調査結果の傾向

現在の就労状況（問13）を聞いたところ、「働いていない」との回答が70.6%となっています。また、働き方としては「ほぼ毎日」（13.4%）が最多となっています。

前回調査結果との比較

前回調査と比較すると、就労状況では「働いていない」との回答が大きく増えています。

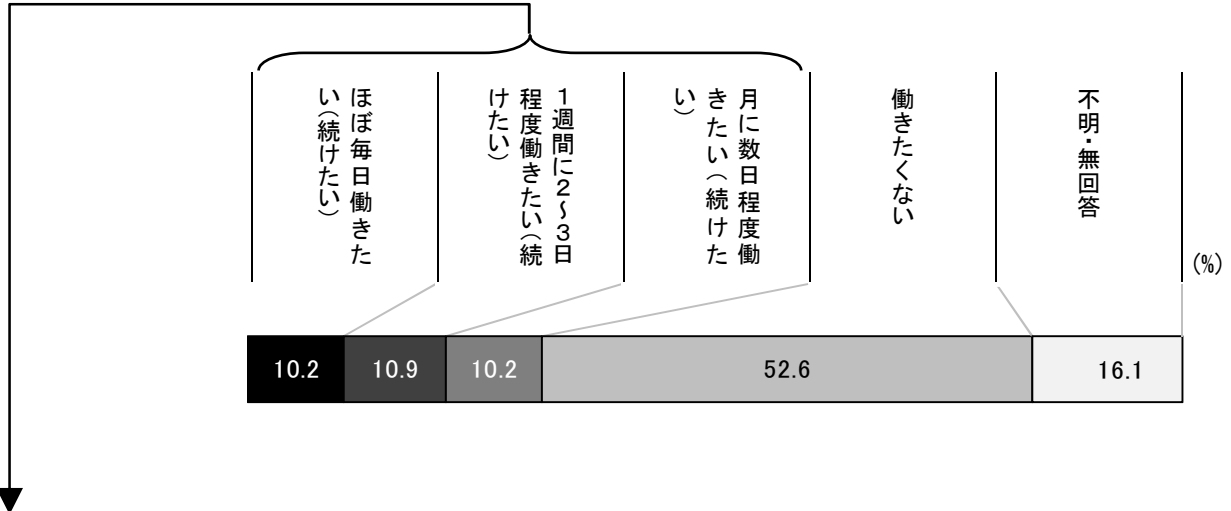
クロス集計分析

年齢構成別で見ると、現在の就労状況は、【65歳～69歳】では「ほぼ毎日」が32.1%で、「1週間に2～3日程度」（14.1%）、「月に数日程度」（12.8%）を合わせると、59.0%の方が働いています。70歳を超えると、就労している割合が3割を下回ります。

(2) 今後の就労希望

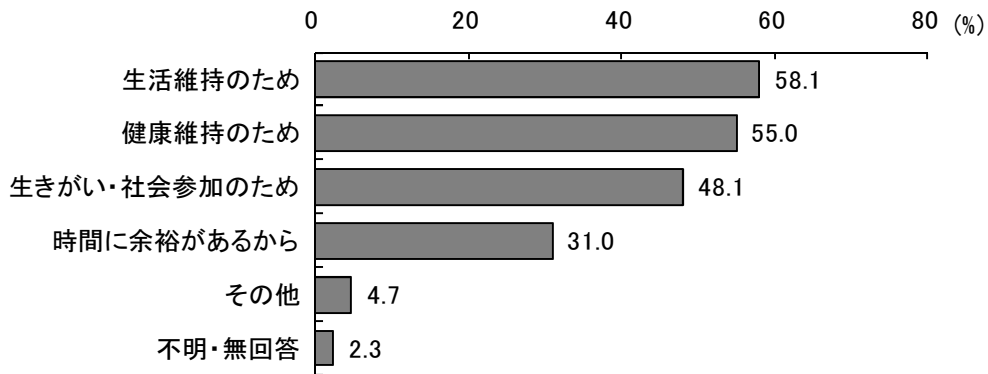
問14 今後の就労希望についてお伺いします。(○は1つ)

☆今後の就労を希望する方は3割強



問14-1 就労を希望(継続)する主な理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

☆就労を希望する理由は、「生活維持のため」が6割弱でトップ



調査結果の傾向

今後の就労希望(問14), 就労を希望する理由(問14-1)について, おうかがいしました。

まず, 今後の就労希望を聞いたところ, 「働きたくない」は52.6%で, 「不明・無回答」(16.1%)も除くと, 31.3%の方が“今後も働きたい(続けたい)”と回答しています。

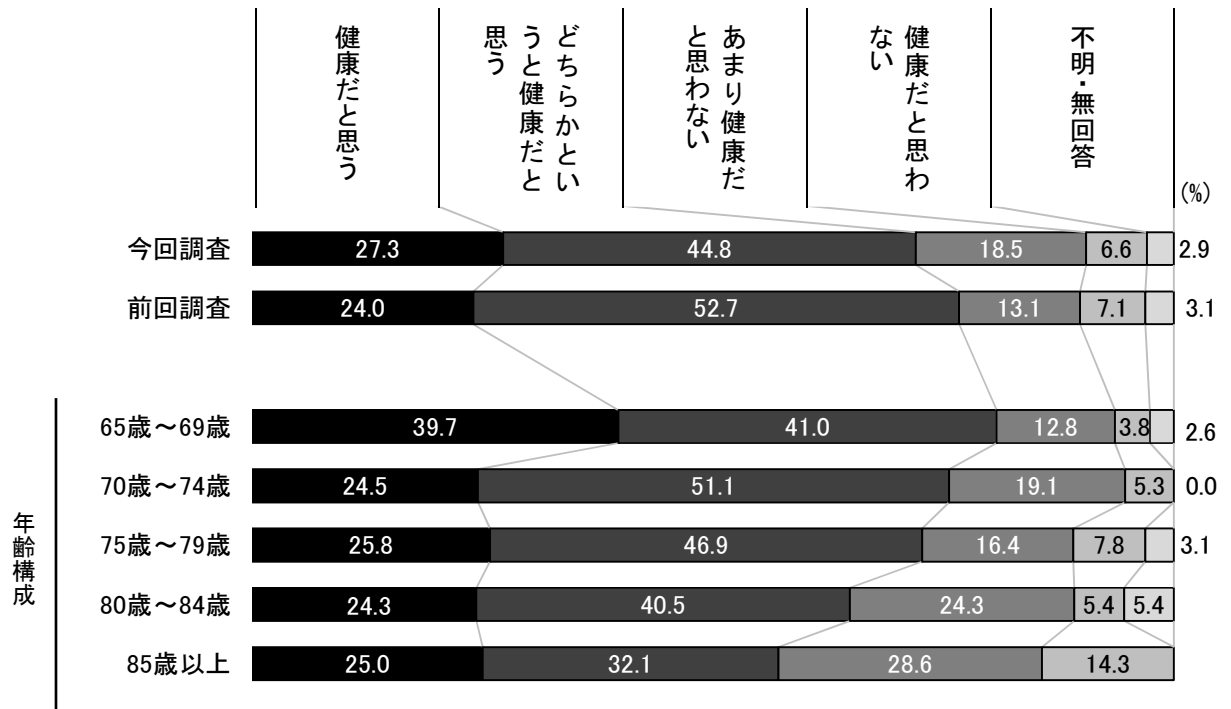
次に, 今後も就労を希望される方に, その理由を聞いたところ, 「生活維持のため」(58.1%), 「健康維持のため」(55.0%), 「生きがい・社会参加のため」(48.1%)との回答が多くあげられています。

1-6 健康状況

(1) 健康状態

問15 あなたは自分の健康状態をどう思いますか。(○は1つ)

☆7割以上の方が、自分の健康状態は“健康”と回答



調査結果の傾向

健康感(問15)を聞いたところ、「どちらかという健康だと思う」(44.8%)が最多で、「健康だと思」(27.3%)を合わせると、72.1%の方が“健康”と感じています。

前回調査結果との比較

前回調査と比較すると、“健康”と感じている方の割合が減少しています。

クロス集計分析

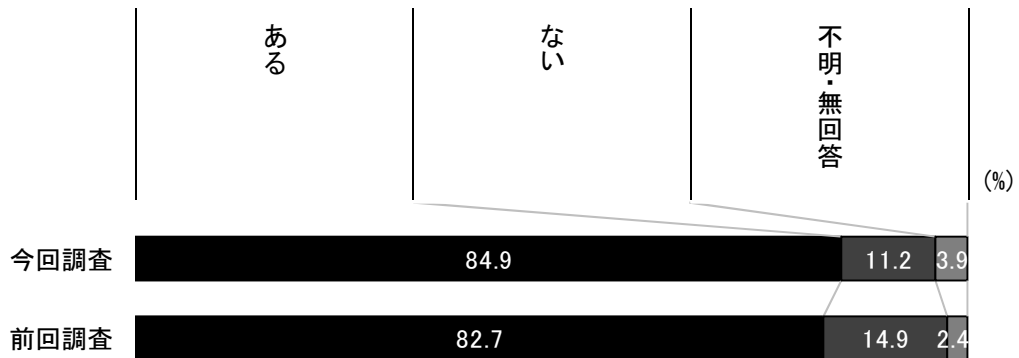
年齢構成別で見ると、年代が高くなるほど“健康”と感じる割合が少なくなっています。

(2) かかりつけ医の有無

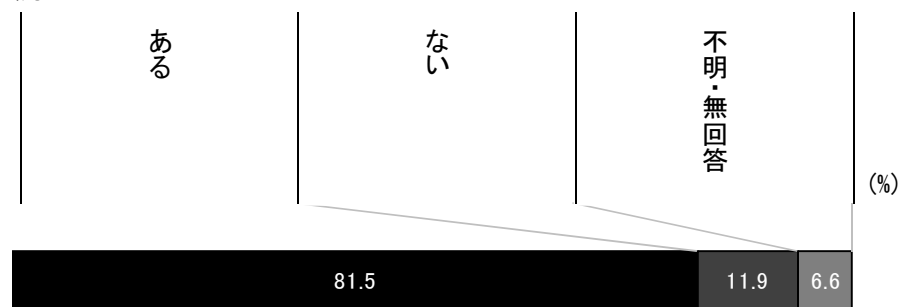
問16 あなたは、かかりつけの病院（医院）や歯科医院がありますか。（〇はそれぞれ1つずつ）

☆8割以上の方が、かかりつけの病院、かかりつけの歯科医院が「ある」と回答

<かかりつけの病院（医院）>



<かかりつけの歯科医院>



調査結果の傾向

かかりつけの病院の有無（問16）を聞いたところ、8割台半ばの方が「ある」と回答しており、かかりつけの歯科医院の有無についても8割強の方が「ある」と回答しています。

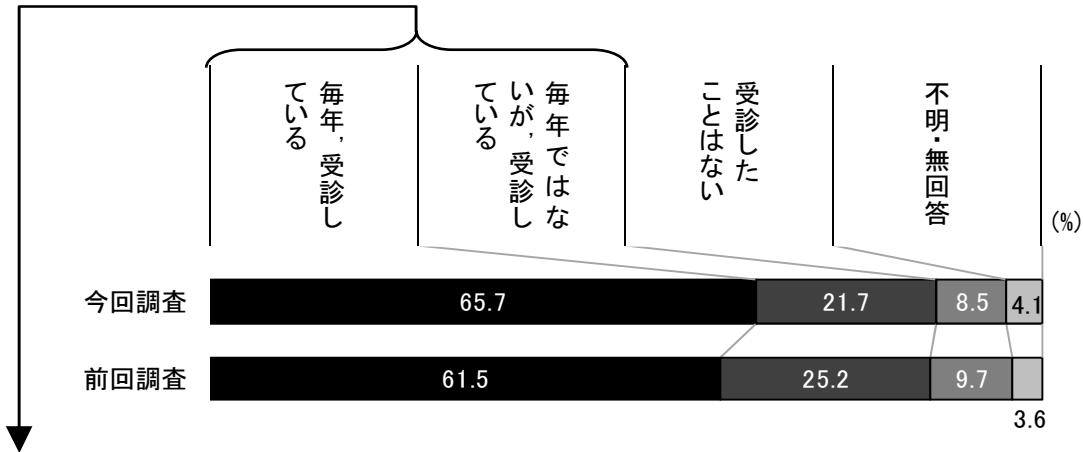
前回調査結果との比較

前回調査と比較すると、かかりつけ医のいる割合に大きな差異はありません。

(3) 健康診断の受診状況

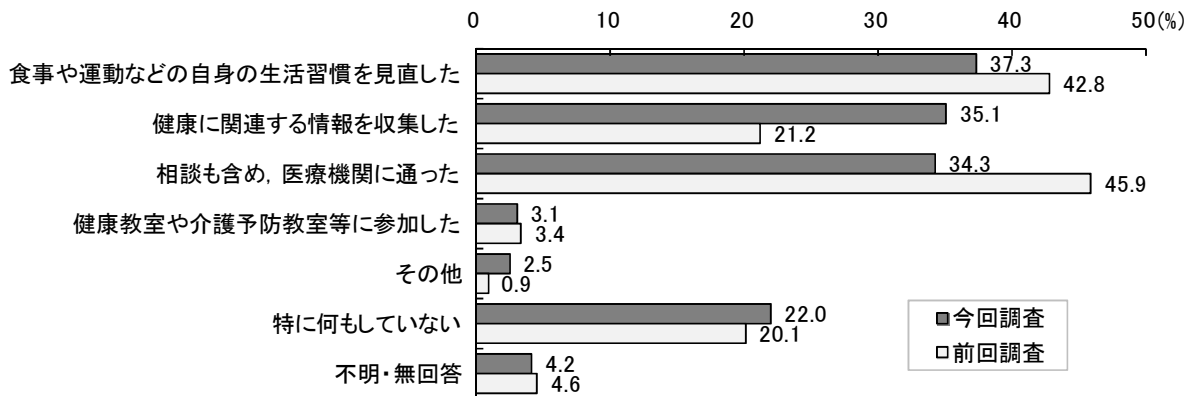
問17 あなたは、健康診断を受けていますか。(○は1つ)

☆8割台後半の方が、健康診断を“受診”と回答



問17-1 診断結果が次の行動につながりましたか。(あてはまるものすべてに○)

☆診断結果から起こした行動は、「食事や運動などの自身の生活習慣を見直した」が3割台後半でトップ



調査結果の傾向

健康診断の受診状況（問17）、診断結果からつながった行動内容（問17-1）について、おうかがいしました。

まず、健康診断の受診状況を聞いたところ、「毎年、受診している」（65.7%）が最多で、「毎年ではないが、受診している」（21.7%）を合わせると、87.4%の方が“受診している”と回答しています。

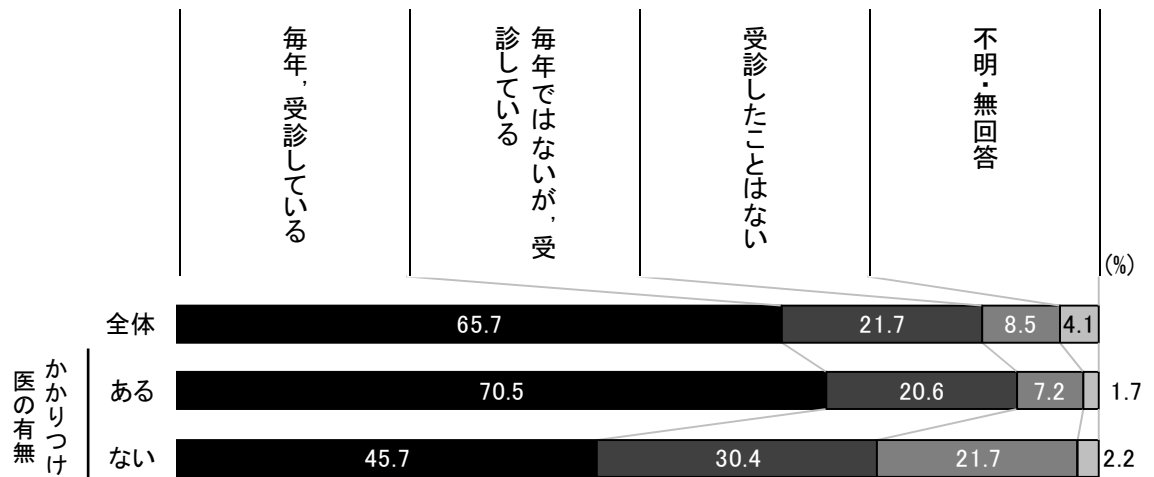
次に、“受診している”方に診断結果からつながった行動内容を聞いたところ、「食事や運動などの自身の生活習慣を見直した」（37.3%）、「健康に関連する情報を収集した」（35.1%）、「相談も含め、医療機関に通った」（34.3%）をあげる方が多くなっています。「特に何もしていない」は22.0%となっており、診断後に何らかの行動に結びつけている割合が高くなっています。

前回調査結果との比較

前回調査と比較すると、「毎年、受診している」方の割合がやや増えています。また、診断結果からつな
がった次の行動として、「健康に関連する情報を収集した」が増えています。

クロス集計分析

かかりつけ医の有無別で見ると、かかりつけ医のいる方のほうが、毎年の受診割合が多くなっています。



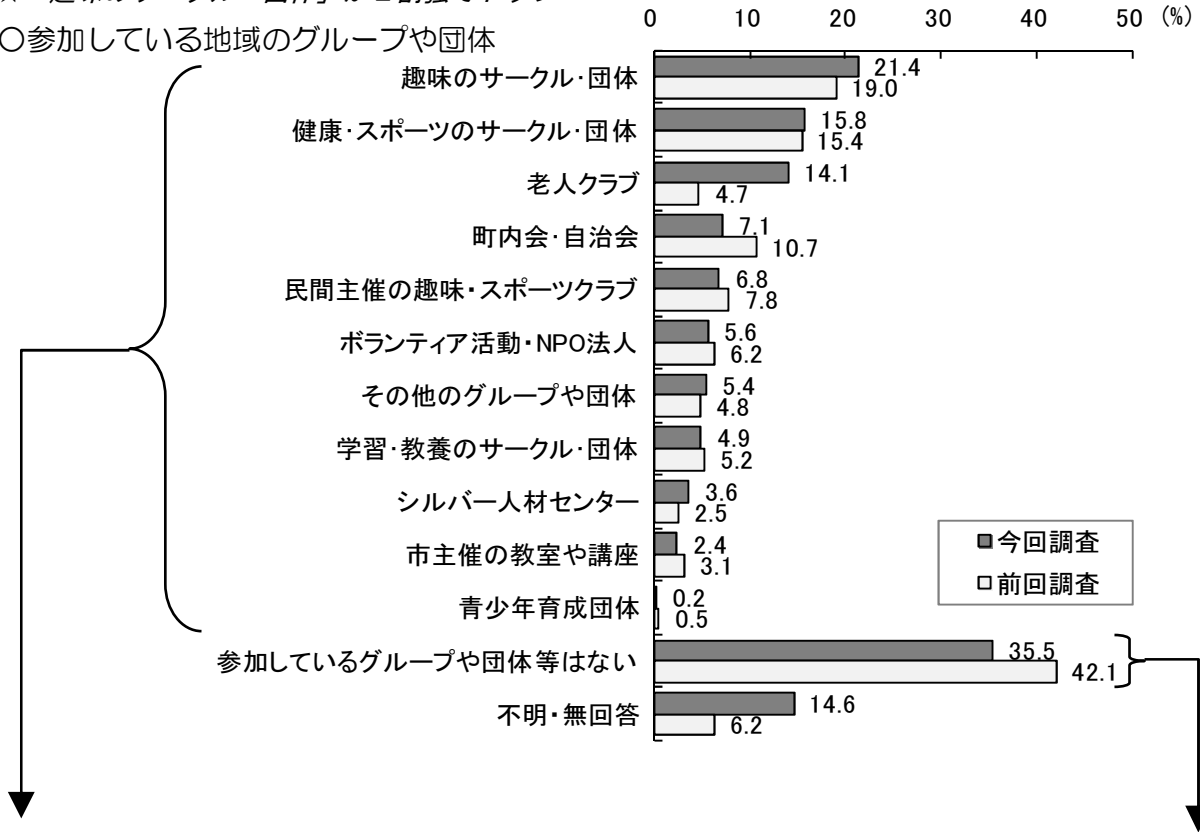
1-7 生きがいや社会参加

(1) 参加している地域活動の種類

問18 あなたが参加している地域のグループや団体等がありますか。(あてはまるものすべてに○)

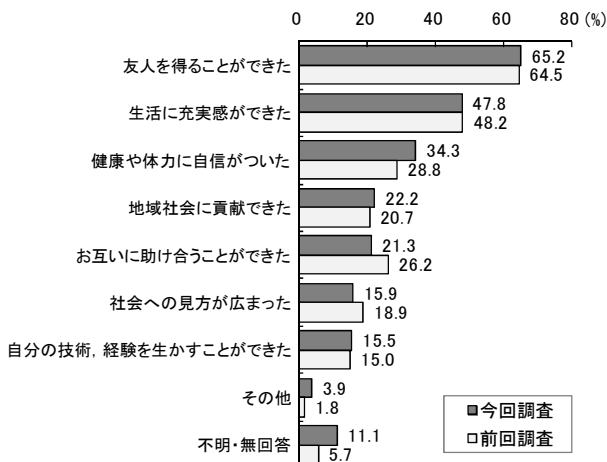
☆「趣味のサークル・団体」が2割強でトップ

○参加している地域のグループや団体



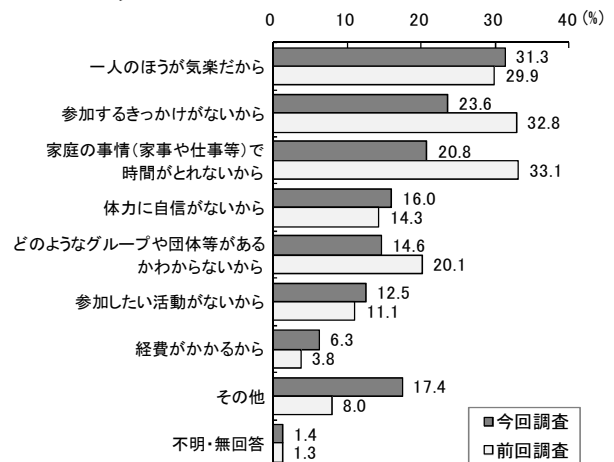
問18-1 参加して良かったと思うことはどんなことですか。(あてはまるものすべてに○)

☆「友人を得ることができた」が6割台半ばでトップ



問18-2 参加していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

☆「一人のほう気楽だから」が3割強でトップ



調査結果の傾向

地域のグループや団体等の参加状況（問18）、参加して良かった点（問18-1）、不参加の理由（問18-2）について、おうかがいしました。

まず、地域のグループや団体等の参加状況を聞いたところ、「参加しているグループや団体等はない」との回答は35.5%、「不明・無回答」は14.6%となっていることから、5割程度の方が参加していることがうかがえます。参加している内容としては、「趣味のサークル・団体」（21.4%）や「健康・スポーツのサークル・団体」（15.8%）との回答が多くなっています。

次に、参加している方に参加して良かったことを聞いたところ、「友人を得ることができた」が65.2%で最多、次いで「生活に充実感ができた」（47.8%）と続きます。

次に、参加していない方にその理由を聞いたところ、「一人のほうが気楽だから」（31.3%）、「参加するきっかけがないから」（23.6%）、「家庭の事情（家事や仕事等）で時間がとれないから」（20.8%）といった回答が多くなっています。

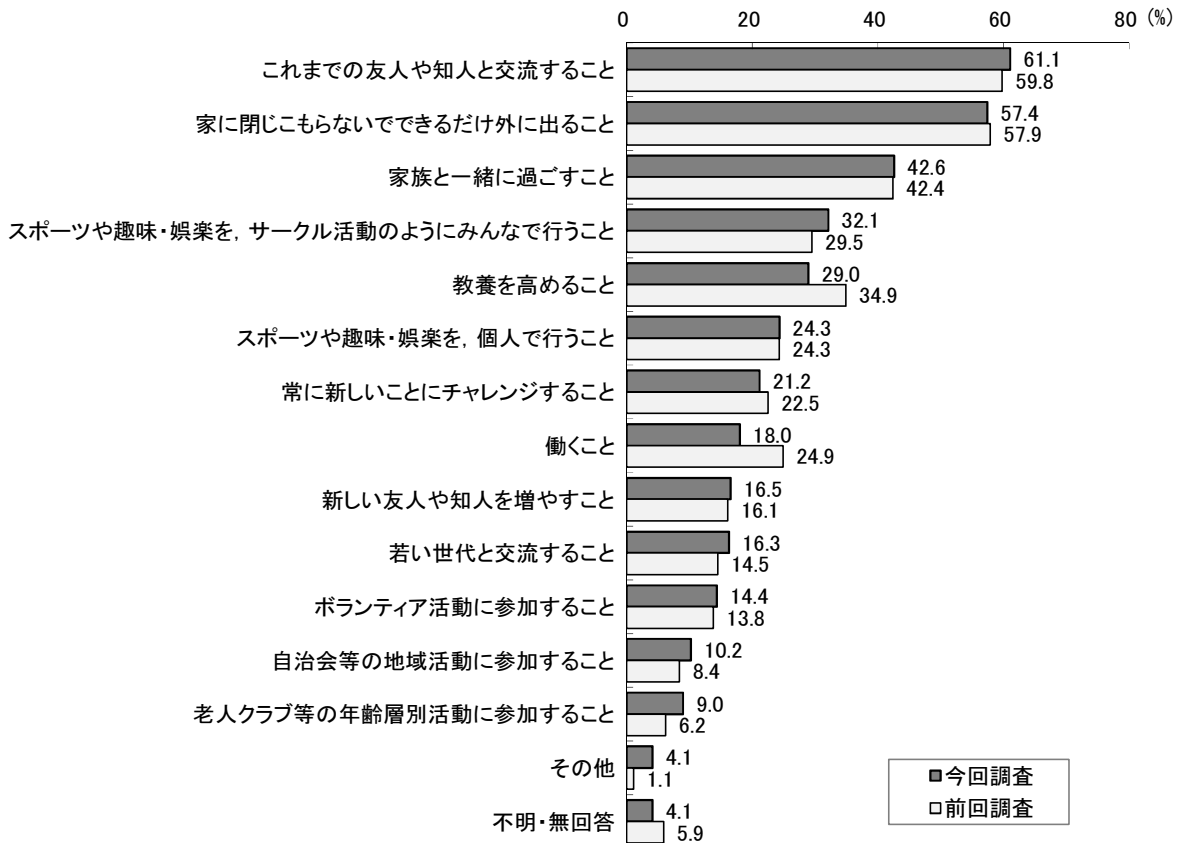
前回調査結果との比較

前回調査と比較すると、地域のグループや団体等への参加割合はやや増え、参加して良かったことは、前回同様「友人を得ることができた」がトップとなっています。参加していない理由の中で、「参加するきっかけがないから」、「家庭の事情（家事や仕事等）で時間がとれないから」といった割合が前回調査より減っています。

(2) 今後希望する活動内容

問19 今後、どのようなことを行っていきたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

☆今後希望する活動内容は、「これまでの友人や知人と交流すること」が6割強でトップ



調査結果の傾向

今後行っていきたいこと（問19）を聞いたところ、「これまでの友人や知人と交流すること」（61.1%）と「家に閉じこもらないでできるだけ外に出ること」（57.4%）との回答が多くなっています。

前回調査結果との比較

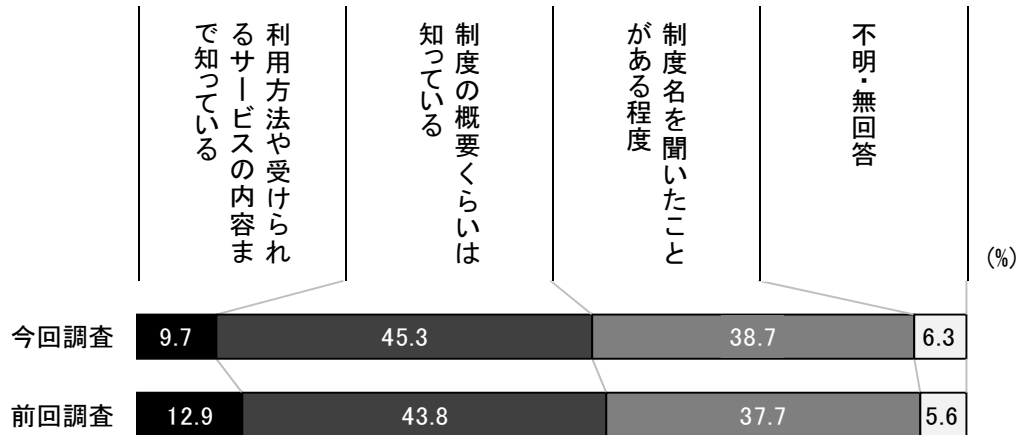
前回調査と比較すると、回答傾向に大きな差異はみられませんが、「教養を高めること」、「働くこと」の回答が少なくなっています。

1-8 介護保険制度

(1) 介護保険制度の認知度

問20 あなたは、介護保険制度についてどの程度知っていますか。(○は1つ)

☆「制度の概要くらいは知っている」が4割台半ばでトップ



調査結果の傾向

介護保険制度の認知度（問20）を聞いたところ、「制度の概要くらいは知っている」（45.3%）が最多で、内容まで知っている方は1割弱となっています。

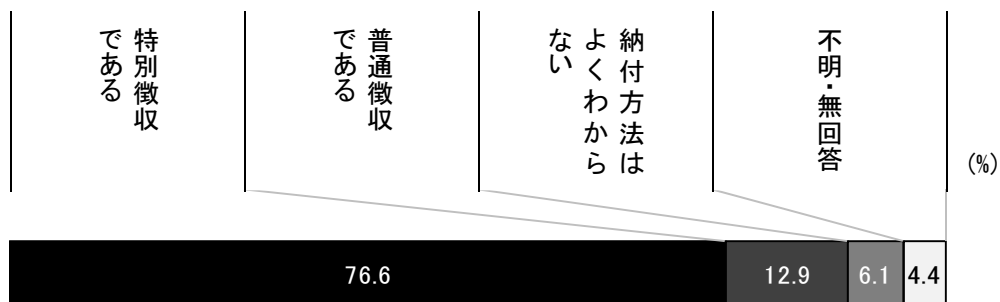
前回調査結果との比較

前回調査と比較すると、回答傾向に大きな差異はなかったものの、内容まで知っている方の割合が少なくなっています。

(2) 介護保険料の納付方法の認知状況

問21 あなたは、ご自分の介護保険料の納付方法をご存知ですか。(○は1つ)

☆「特別徴収である」が7割台後半でトップ



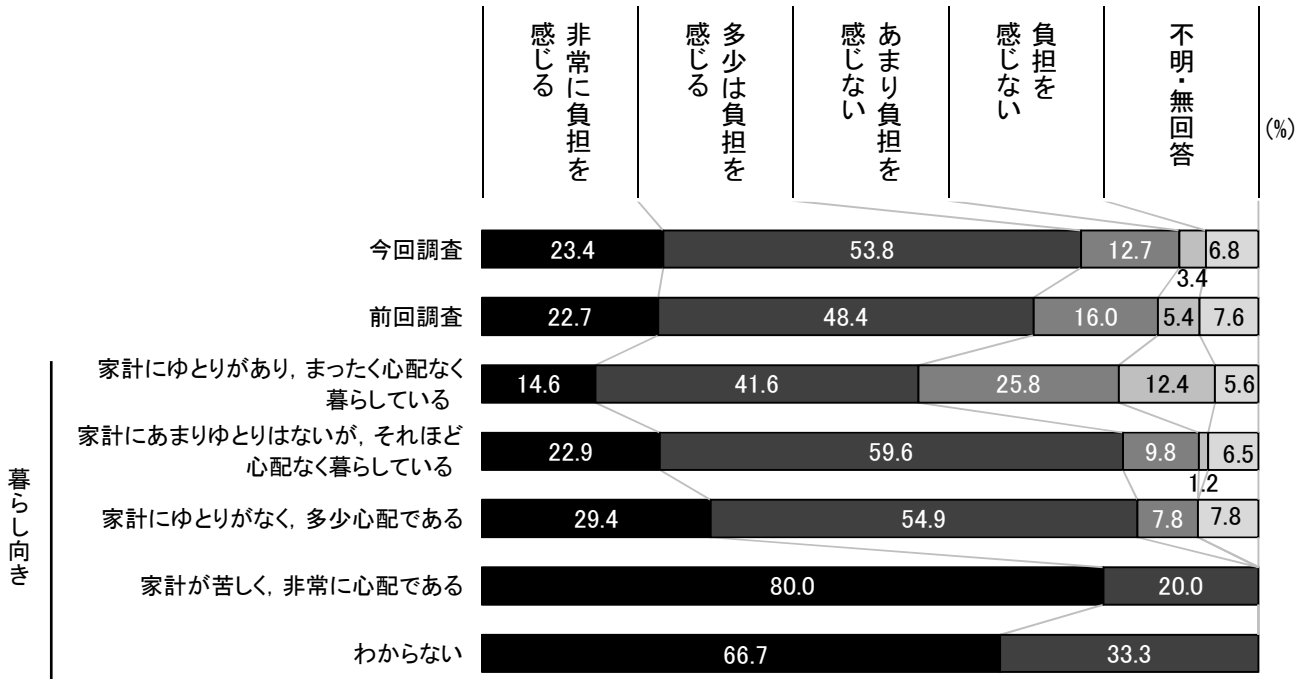
調査結果の傾向

介護保険料の納付方法について聞いたところ、「特別徴収である」（76.6%）で最多となっています。

(3) 介護保険料の負担感

問22 あなたは、現在の介護保険料について、どのように感じていますか。(○は1つ)

☆現在の介護保険料は、7割台後半の方が“負担を感じる”と回答



調査結果の傾向

介護保険料の負担感（問22）を聞いたところ、「多少は負担を感じる」（53.8%）が最多で、「非常に負担を感じる」（23.4%）を合わせると、77.2%の方が“負担を感じる”と回答しています。

前回調査結果との比較

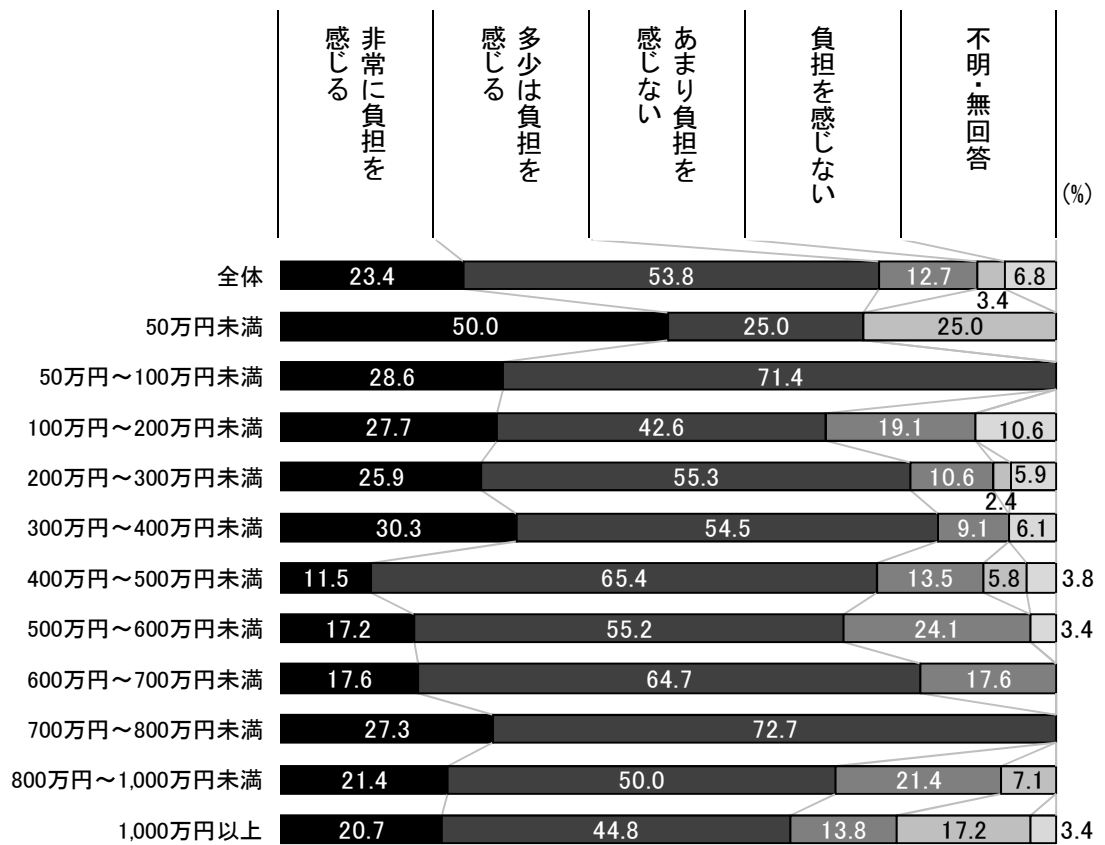
「負担を感じる」方の割合は7割台後半となり、前回調査よりも増えています。

クロス集計分析

暮らし向きの状況別で見ると、家計にゆとりがないほど「非常に負担を感じる」の回答が多くなっています。また、「家計にゆとりがあり、まったく心配なく暮らしている」でも、“負担を感じる”の回答は5割台半ばで半数以上となっています。

世帯全員の年間総収入別で見ると、「非常に負担を感じる」との回答は、全体平均と比べて、【400万円未満】の層、【700万円～800万円未満】の層で大きく上回っています。

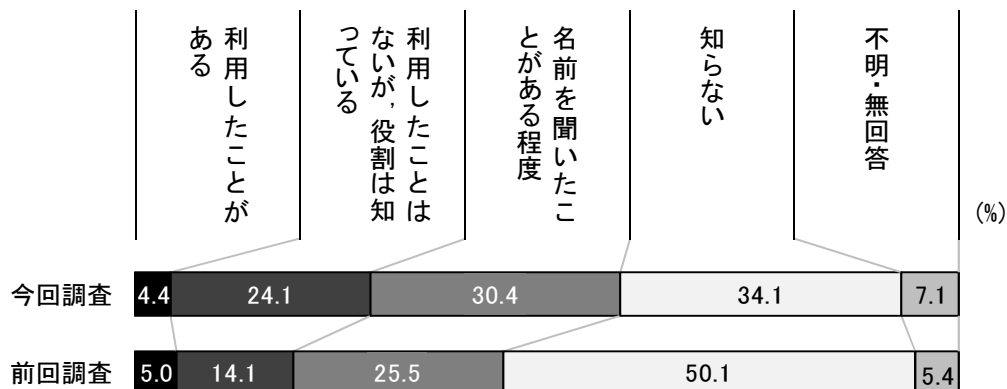
世帯全員の年間総収入



(4) 高齢者相談窓口の認知度

問23 あなたは、高齢者の相談窓口として、地域包括支援センターをご存知ですか。(〇は1つ)

☆3割台半ばの方が、地域包括支援センターは「知らない」と回答



調査結果の傾向

地域包括支援センターの認知度(問23)を聞いたところ、「知らない」(34.1%)が最多で、次いで「名前を聞いたことがある程度」(30.4%)と続きます。

他調査結果との比較 (147ページ 問18参照)

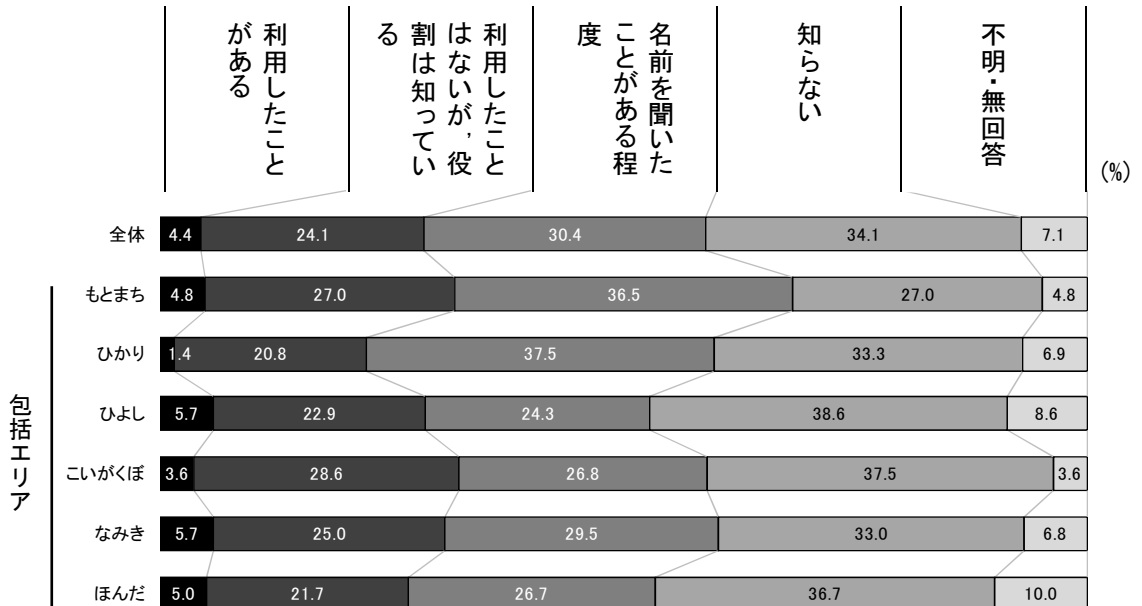
地域包括支援センターの認知度について、本調査と【要介護(要支援)認定者(在宅)及び家族等介護者調査】とを比べると、【要介護(要支援)認定者(在宅)及び家族等介護者調査】のほうが高くなっています。

前回調査結果との比較

前回調査と比較すると、地域包括支援センターの認知度は、「利用したことはないが、役割は知っている」「名前を聞いたことがある程度」が増え、「知らない」との回答は減っています。

クロス集計分析

包括エリアで見ると、地域包括支援センターの認知度について地域差はあまりみられません。【もとまち】では「知らない」（27.0%）が他のエリアよりも少なくなっています。

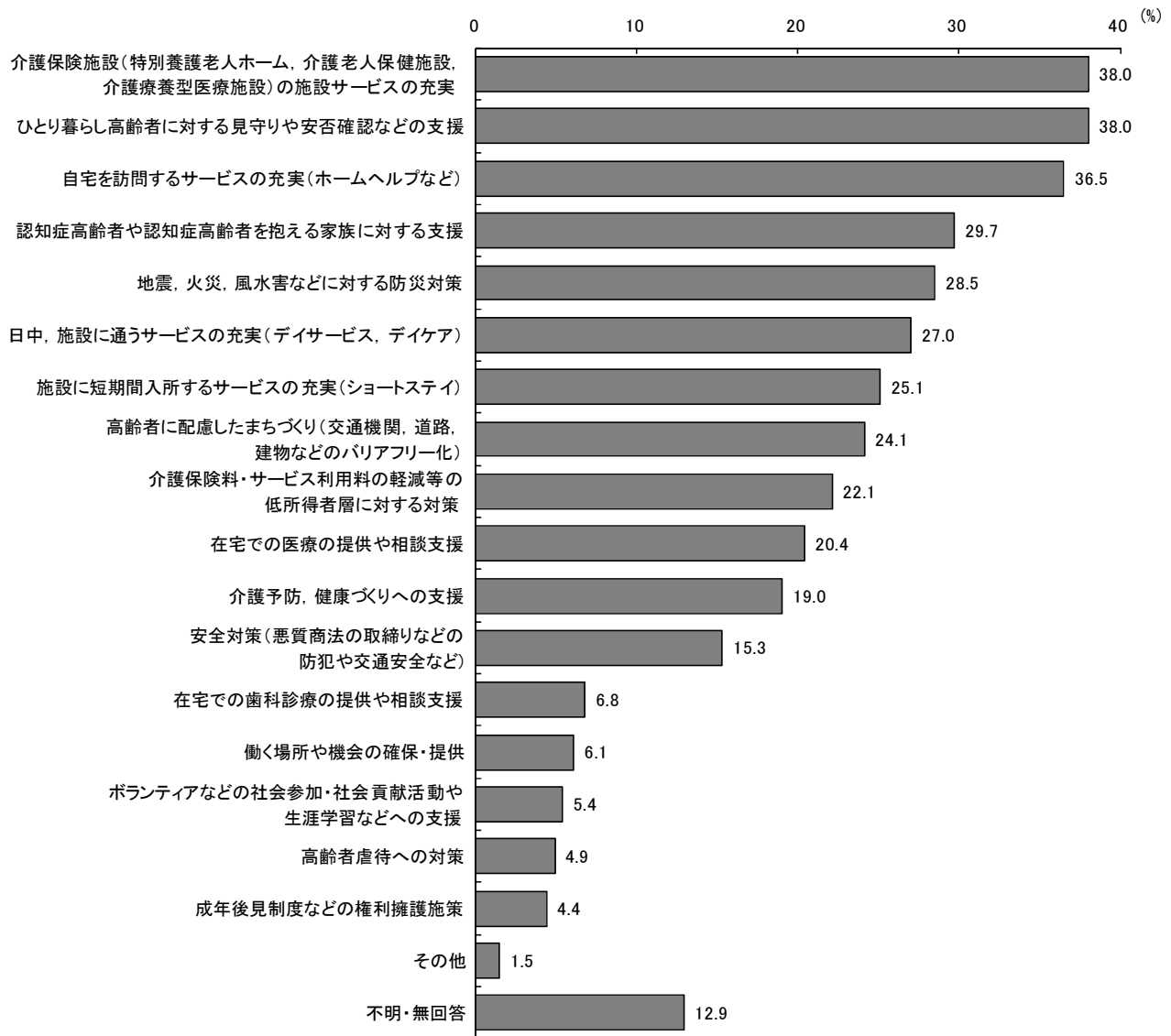


1-9 高齢者に対する施策や支援

(1) 高齢者に対する大切だと思う施策や支援

問24 高齢者に対する施策や支援で、特に大切だと思うものはどれですか。(〇は5つ以内)

☆特に大切だと思うものは、「介護保険施設の施設サービスの充実」と「ひとり暮らし高齢者に対する見守りや安否確認などの支援」がそれぞれ4割弱でトップ



調査結果の傾向

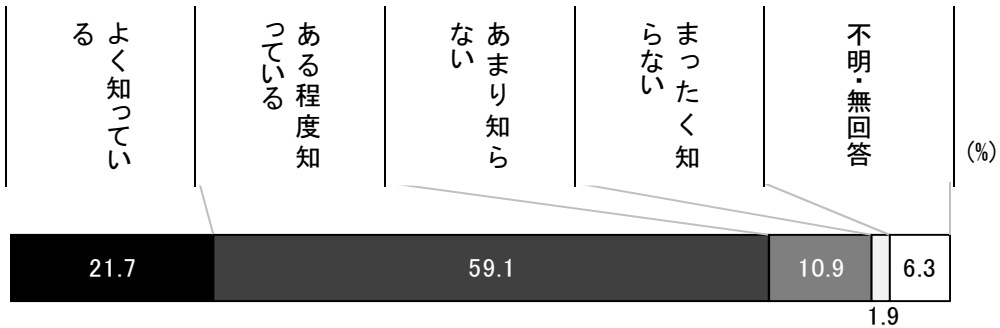
大切だと思う高齢者施策(問24)を聞いたところ、「介護保険施設(特別養護老人ホーム, 介護老人保健施設, 介護療養型医療施設)の施設サービスの充実」(38.0%), 「ひとり暮らし高齢者に対する見守りや安否確認などの支援」(38.0%), 「自宅を訪問するサービスの充実(ホームヘルプなど)」(36.5%)が3割を超える回答となっています。

1-10 認知症

(1) 認知症の理解度

問25 認知症について「どの程度」ご存知ですか。(〇は1つ)

☆ “知っている” が約8割でトップ



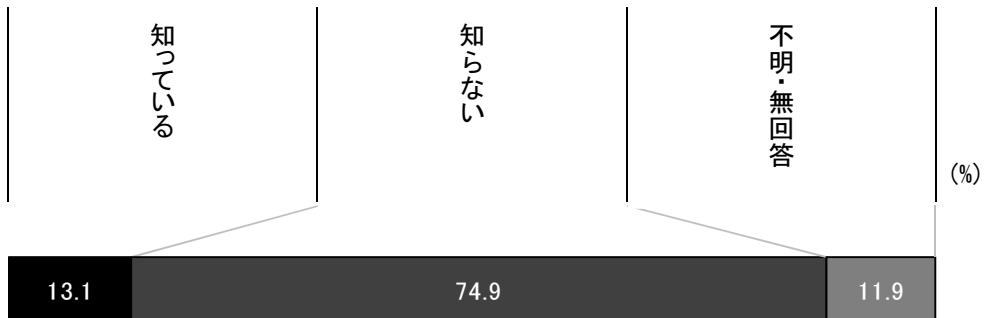
調査結果の傾向

認知症について「どの程度」ご存知か(問25)を聞いたところ、「ある程度知っている」(59.1%)と「よく知っている」(21.7%)を合わせた“知っている”が80.8%、「あまり知らない」(10.9%)、「まったく知らない」(1.9%)を合わせた“知らない”は12.8%となっています。

(2) 認知症に関する相談先

問26 認知症に関する相談先をご存知ですか。(〇は1つ)

☆ 「知らない」が7割台半ばで最多



問26ー1 認知症に関する相談先として具体的にどちらをご存知ですか。ご自由にご記入ください。

区分	記載内容	件数
1	地域包括支援センター	16
2	かかりつけ医等の医療機関	7
3	介護保険事業所	3
4	市役所	3
5	民生委員	1

※ 複数の記載内容もあることから、合計の件数と回答者数とは合致しない場合があります。

※ 「その他」を除く

調査結果の傾向

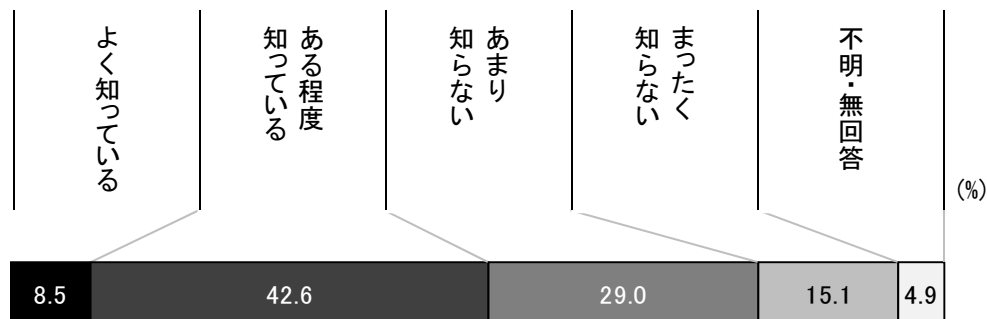
認知症に関する相談先をご存知か（問26）を聞いたところ、「知らない」（74.9%）が最多となります。

1-11 成年後見制度

(1) 成年後見制度の認知度

問27 「成年後見制度」について「どの程度」ご存知ですか。(○は1つ)

☆ “知っている” が5割強とトップ



調査結果の傾向

「成年後見制度」について「どの程度」ご存知か(問27)を聞いたところ、「ある程度知っている」(42.6%)が最多。「ある程度知っている」(42.6%)、「よく知っている」(8.5%)を合わせた“知っている”が51.1%となっている一方で、「あまり知らない」(29.0%)、「まったく知らない」(15.1%)を合わせた“知らない”が44.1%と回答を二分しています。

1-12 ご意見・ご要望等

問28 自立した豊かな生活の実現に向けて、市が力を入れるべき点など、ご意見・ご要望などがありましたらご自由にご記入ください。

99人から回答がありました。記載内容では、「道路整備・まちづくり・安全」（15件）が最多で、次いで「行政・制度」（14件）、「健康づくり・介護予防」（13件）、「生活支援・介護サービス」及び「交流・社会参加」（12件）、「保険料」（11件）と続きます。主な記載内容を以下に示します。

区分	記載内容	件数
1	道路整備・まちづくり・安全	15
2	行政・制度	14
3	健康づくり・介護予防	13
4	生活支援・介護サービス	12
5	交流・社会参加	12
6	保険料	11
7	情報提供・相談	9
8	アンケート	7
9	医療関係	5

【1 道路整備・まちづくり・安全（15件）】

- ・国分寺は坂が多いのが少し心配です。南町，東元町など駅にとか，駅ビルに買い物又は仕事などでどうしても通ることになります。出来ましたら階段にエスカレーターをつけていただけたらと考えます。多くの高齢者が喜んで出かけると思います。
- ・6年前に国分寺市に越してきた者です。畑と緑が多く大変気に入っていますが，道路が細く自動車の交通量が多いので自転車で走るのは大変です。歩道が悪すぎます。自動車を持っていない私は買い物に行くのに自転車は必要です。早く対策をたてて下さい。
- ・この市内に住んで40年近くなる間に，各所にあった広い農地がどんどん宅地化され小住宅が乱立するのに対し，市民の健康や憩いのための公園や遊歩道が全然できていない。とても悲しいと思います。
- ・戸倉地区に憩いの場となる公園。
- ・富士本3丁目の方に大きな公園があったらいつも思っております。広々とした公園で子供の遊ぶ姿を見ながら太陽を浴びる，そこでお友達や色々な方とお会いできる。公園の角の方で市の安全な野菜，その他の工芸などいろいろ。
- ・年齢とともにバスを利用することが多くなってきました。榎木戸弁天バス停は立川行も下側も歩道が狭く自転車がが多く，怖い思いをよくしています。杖を持った人たちがいつも危険に思えてなりません。
- ・市が運行している「ぶんバス」が東恋ヶ窪3丁目前などに運行して頂ければ駅まで出られますのでぜひ利用できます様お願いいたします。
- ・横断歩道以外を勝手に渡る若者や大人が多くて市内は大変危険です。突然横断しないよう指導して下さい。
- ・地域は防災無線の放送も聞こえません。市の出先機関も遠いのでとても不便に感じています。
- ・自転車の乗り方作法など，特に若者，中高校生くらいの子。とても怖い。府中街道の歩道など細くて怖

いので、車道も出られないし。

- ふんバス、東恋ヶ窪ルートが無いのは高齢者にとって非常に不便であり、外出のチャンスが少なくなる理由にもなる。市民にとって公平なサービスをしてほしい。
- ふんバスを往路通してほしいと思います。
- 道路のバリアフリー化。
- 道路幅を広くして安心して歩けるように出来れば歩道がほしいです。
- 大災害時は市立第五小学校へ避難するということだけ心得ておりますが通信不能、交通遮断等々想定しますと不安です。

【2 行政・制度（14件）】

- 介護する方の手当での充実を厚くする。
- 今のところ健康で過ごしているが、そのうちに認知症や健康に不安がある。介護制度についての知識が不足していることを実感した。
- 市議会議員の仕事が市民には見えていない。無給の民生委員に高齢者問題の相談をさせるよりも、普段何をやっているか分からない市議にその役割をさせたらどうか？市議による市政報告会開催を望む。市民との対話をし、国分寺の発展のために。
- 介護保険制度がスタートしてからまだ日が浅いせいか、医療保険に比べると、介護する側、介護される側双方にまだお互い満足するシステムが出来上がっておらず、必ずしもうまく機能しているように思えません。
- 少子高齢化の進行に鑑み、市の外観整備か、住民の移住感覚の向上か、重点の置き方を十分に考えて市政を行なってください。
- 市役所が不便な所にあるのですから出先窓口の増設をお願いします。
- 限られた予算をどんどん膨らませるよりか、その利用を重症者に向けるべきで、そうやってもらいたい。
- 何かを進めようとするれば人件費、給費が必要になると思います。市は経費を切り詰めてそちらへまわす覚悟はありでしょうか？
- 福祉予算の抜本的見直しと削減が必要。予防保全に重点化。弱者対策の効率化。
- 若い人から老人までバランスよく税金を配分することを希望します。
- 介護が必要になった時、申請するのにひどく時間がかかると聞いているが、手続その他なるべく早くできるように。
- 税金などすべて公的なものはどんどん高くなっている。行政のサービスは公務員がやるのではなく、極力少なくし人数を減らすことを考えよ。
- 老人、病人に心を込めて対応する市になってほしいです。広島県尾道市のように。
- 介護保険とは関係ないが、税金の使い方も情報がゼロに等しい。

【3 健康づくり・介護予防（13件）】

- 介護保険の利用者が減るように予防面にもっと取り組んでもらいたい。
- 西町では民生委員や社会福祉協議会などのご協力で月に1回位、夫のいない老夫人を対象に食事会を持って頂けることに感謝しています。参加者は皆、日頃不足しがちな栄養面に配慮した昼食を和気あいあい、お喋りや遊びを楽しみひとときを持つことが出来ています。
- 健康保持のためジムに通う場合、費用の補助があると良い。
- 毎朝どこそこに行くとうラジオ体操をやっているとか、何時までどこそこに行くと1時間のウォーキングに参加できるとか、気軽に参加できる集まりがあるといいな、と思います。
- 市が実施中の介護予防、健康保持の各種事業に今迄参加したことはないが、今後参加して健康維持のために役に立つようにしたいと考えています。
- 高齢者の体力づくりをする場所や交流の出来る場所、特に室外でのスペースが少ないように思います。私はスポーツをするのに府中市の施設を利用しています。増設が待たれます。
- 介護保険の予算が不足し、今後さらに不足が見込まれている中、介護予防にまで介護保険予算を使うと中途半端になる恐れがあり、重症者の介護不足にも及ぶので、介護予防に対しては個人に任せるべきである。
- ウォーキングなどお金もかからない健康法を推進していったらと思う。リズムのある生活。
- 高齢者の健康づくりへの助成の強化。
- スポーツ施設が不備。企業のスポーツ施設、クラブの一部開放、補助、相談などを施設に願う。
- 健康だから色々なこともできると思います。子供の見守り、地域の自治会のお手伝い、何かお手伝いできることで生活のリズムもでき元気をいただいて生活致しております。
- 新市役所の建設を西国分寺駅近くの地に決定して下さい。老人の健康スポーツ総合センターを併設してほしいです。
- 健康教室や介護予防教室に参加したいと思う。福生の方では1回150円でエアロビクス体操ができると聞きました。とても好評のようです。国分寺にもあればぜひ参加したいと思います。

【4 生活支援・介護サービス（12件）】

- 援助を必要とした時、希望に沿った援助を充分受けられるような受皿を充実しておいてほしい。例えば歩行困難などになった時、認知症になった時など親族と相談して、本人が安心して暮らせる体制づくりをしてもらえるような市側の体制作りをしてほしい。
- 介護サービスについて義母は要介護4でしたが頻尿の上、夜中に大声を出すので全く動けなくなるまでどこにも預かってもらえませんでした。実母は要介護4ですが、最近認知症が進んできて車椅子でないと移動できなくなったのでやっとデイサービスに通うことになりました。以上のように介護サービスを受けたくても受けられない人もいますということです。介護サービスに家族が留守の間だけでいいから、いてもらえるサービスがあるといいのですが、また、緊急の時にすぐ来てもらえるサービスがあるとありがたいです。
- 一人暮らしの高齢者が自分の家で自立した生活ができ、最期を迎えられるようにしてほしい。そのための対策を早急に練り実施に動いてもらいたい。
- 自宅で看取る24時間体制のサービスを充実して頂きたいと思います。

- 高度障害者と高度認知症の介護に重点を置き、軽症者は自立を促すこと。介護する家族への配慮が必要。
- 病気などで自立が困難な状況が生じた際の支援体制の確立。
- 市の財政も大変と伺っておりますが、ホームヘルパーさんの人数や介護施設の数や質を落とさないようお願いいたします。
- 地域密着型介護サービス拡充。
- 介護に携わるスタッフの充実。
- ショートステイ、デイサービスを増やしてほしい。
- 自立不可能になってからの支援やサービスよりも自立した生活が持続できるように支援に力を入れてもらいたい。
- 介護認定の基準が人によってずいぶん異なるのを感じています。とても難しい判断だとは思いますが、介護認定員の真の向上を望みます。

【5 交流・社会参加（12件）】

- 「さわやかプラザもとまち」と「元町公民館」を頻繁に活用し楽しい日々を送っています。また、双方の職員等の全員が心の行き届いた対応をして頂けるので色々な行事に積極的に参加し気楽に話せる友達が多くなるよう努力していく所存です。
- 例えば市立の小中高等学校を利用して自立した豊かな生活ができる様なことをたくさん計画してほしい。近場なので皆が行きやすいと思います。
- 生きがいセンターの利用がことに女性の場合少なくなり、これは入浴サービスがなくなったため、外出する機会がなくなり、家にいる人が多くなっています。お風呂を再開して交流の場となるよう、市はもっと考えるべきである。交流事業ももう少し内容を魅力ある参加しやすいものにして欲しい。
- シニア専門登録制度、例えば、子育て、教育、介護など。健康で定年退職して年代や年齢に制限されることなく働けるようにして下さい。いつまでも元気で働けるうちは働けるシニア、支えられるのではなく、支えてあげられるように。生きがい就労に力を入れてほしい。
- 高齢、無職の人に市がボランティアやシルバー人材センターなどで仕事を紹介すること。介護施設のボランティアもよい。
- 市内の公民館の中で、特に本多公民館はコーラスの練習のために月に3回ほど、利用させてもらっております。
- 図書館の利用が不便である。西国分寺駅周辺に早く施設を備えてほしい。また、現在の施設建物は老化、古すぎてきたないし気分が悪い。公民館、公会堂建物、施設が古くなった。建て替えるか、リフォームが必要です。部屋のスペースも狭すぎる。
- 国分寺市地域生きがい交流に参加しておりますが大変有り難く厚く御礼申し上げます。国分寺市民で良かったと思う日々です。
- 自治会老人会のつながりが必要で、理想は自動的に老人会に入会してくれるのが良い。
- 互いに人間関係を築ける場、老人だけでなく、交流の場があってほしい。
- 高木町には大きな公園も集会所もありません。公的な集会所は市営住宅の集会室があるのみです。できれば、三中の空き教室等を地域に開放して頂けないでしょうか？
- 以前から地域の方々から活躍の場が少なく、増やしてほしいなどの意見を聞きます。例として増えている空き家など有効に利用できるのでは、などの意見もあります。認知症予防、健康にもつながることか

と思います。

【6 保険料（11件）】

- ・介護保険料について、全段階の国分寺市、東京都、全国について金額を提示してほしい。
- ・介護保険を使わなかった場合、例えば1,000円でも返金があれば励みになるのでは？
- ・現在は介護保険を利用しておりませんので、なるべく非利用者には低額負担を、利用者には相応の負担が望ましいと思われれます。
- ・介護保険料段階の選定は「どのよう」にして決定するのか不明です。
- ・年金生活の者にとっては毎年年金は引き下げられているのに介護保険の値上げはやめるよう、保険料の使い方を考えてほしい。
- ・介護費用の負担増は家族制度の崩壊を増長しています。やはり消費税にてまかなう制度の確立を急ぐべきです。そのための消費増税は国民の支持を得ることになります。
- ・介護保険料7,741円らしいのですが、この金額がこれからの私共に何か良い結果となるのか？低額、高額保険料支払いの差は個人の介護に今後プラスとなるのか？
- ・介護保険料が高すぎる。
- ・公平なことをして頂きたい。介護保険料で特別徴収されているが、何にもされていない。ただ特別徴収されるが故に毎週働かねばならない。税負担が厳しい。30%だし。
- ・介護保険料がどのように使われているのか、本当に活かされているのか、何の情報もない。
- ・年金もなく、全然収入がなくなった場合保険料はどうやって払うんですか。

【7 情報提供・相談（9件）】

- ・特別養護老人ホームは市民が入れる所はどこにあるのですか。広報などで知らせてほしいです。デイサービスに行っている方はどのくらい月に払っておられるのですか。知りたいです。
- ・地域の民生委員など知らない。民生委員に相談すればよいのか。
- ・高齢者福祉について市報などでわかりやすい広報をお願いします。
- ・丁寧な広報をお願いしたいと思います。例えばもう少し回数を増やしてほしいです。
- ・窓口が多い割に解決に結びつかない。次の相談に移り、不安の中、また次の窓口へ紹介される。全体の流れを教えてください。あまり向き合ってもらっている感じがしない。係の方はそれぞれ親切ではありますが。役職の負担が多すぎるのでは。資格なくとも地域の中で常に相談に乗ってくれるような人を置く。
- ・私は過去他市にて民生委員などを10年ほどやっていました。当市においてもっと民生委員などを活用されてはいかがですか。
- ・成年後見制度の話を聞きましたが、それにも該当しないとのこと。銀行は簡単に成年後見人をつけた方がいいと申されますが、いろいろ難しい点があるようですね。
- ・最終的には成年後見人制度のお世話になることも考えているが、まず、そこに至るまでの間に準備しておくべきことが沢山あるだろうと思っている。
- ・改善してほしいのは窓口担当者の対応です。市は力を入れるという名目で窓口の人数を増やして税金を人件費に使うことばかり努力しているとしか見えません。パンフレットを渡すだけなら内容を表示した札を窓口を立てておけば、窓口の人数も減らせます。

【8 アンケート（7件）】

- このアンケートはやっと記入しました。目が痛い。この次から無作為でしたら外してください。
- 福祉については広報紙、新聞、テレビなどでよく耳にしたりしていますが、自分が自由に行動しているためになかなか目を向けることが少ないのが現状です。今回このようなアンケート調査で自分が老いて行くことを感じました。これからは心を入れ替えて老後を考えていきますのでよろしく願います。
- 今まで元気だったし、周りにも介護を必要とする人はいなかったのに、この関係の知識や体験は皆無である。しかしこれから先については自分や家族がどうなるかについては分からないのでそれなりのことは知っておいた方が良くとも思う。
- アンケート「ご協力のお願い」の文書は使われている用語が専門用語の漢字が多く、固い印象で一読しただけではなかなか理解しづらいものでした。これではアンケートを記入する意欲がわきませんでした。せめてアンケート票程度の優しく分かりやすい文章表現で、協力をお願いすべきではないでしょうか。
- 「アンケート～ご協力のお願い～」について。「このアンケート調査は～ご協力をお願いいたします。無記名でご回答頂いた調査内容は、国分寺市」の如く、無記名回答であること明示されたい。
- 高齢者福祉に関するアンケートの趣旨は理解できるが、85才の高齢者にとっては設問が多い。簡略化すべきものがないか、今後についてご検討をお願いしたい。
- こんなアンケートもタダでは出来ない。ムダ使いではないのか。

【9 医療関係（5件）】

- 高齢者の医療にお金がかかりすぎると思います。今の健康保険料1割を2割にして若い方の負担を少しでも少なくすべきです。老人でも日頃の生活健康のことを意識して、周りとも仲良く自立した生活を1日でも長く出来る様に心掛けるべきだと思います。
- 勤務医ですが地域で役に立てることがあれば、どのような組織があるか連絡を頂きたいと思います。
- 救急医療の充実をお願いします。
- 年齢と共に医療費が高くなり、市より医療費の報告書を拝見する方に多大の迷惑をかけていることに苦しく思っております。
- 国分寺市内で認知症に対する病院とか少しでも良くなる施設があればと、希望したいです。

2 総括

【本人について】

第1号被保険者の回答者は男性が4割以上、女性が5割以上で、年齢は65～74歳が約4割、75歳以上が5割台半ばとなっています。市内居住年数は20年以上が7割を超えています。世帯構成は夫婦二人暮らしが4割近く、一人暮らしも約15%を占めています。戸建てが7割以上で、日中に同居者がいる割合は7割に近くなっています。

【介護予防について】

「介護予防」という言葉について「内容まで知っている」は約2割、「聞いたことはあるが、内容までは知らない」を合わせると約7割となります。「テレビ、ラジオ」「市の広報紙」「新聞や雑誌」で知った割合が高くなっています。

介護予防や健康保持のための各種事業について、「参加したことがある」のはいずれも5%未満で、4割以上の方が「知らない」と回答しています。今後の参加意向は「介護予防講演会」「転倒予防教室」「地域生きがい交流事業」の順で高くなっています。

生活機能チェックリストについて「毎年回答している」は半数以下です。

また、介護予防や健康保持のために、日常生活の中で行っている取組として、「歩く」「食事の栄養バランスに気をつける」が7割以上、「規則正しい生活をする」「十分な休養や睡眠をとる」「歯や口の健康に気をつける」などが6割前後となっています。

前回調査と比較すると介護予防の認知度は高まりつつあることがうかがえますが、一方で介護予防や健康保持のための各種事業の内容を知らないと4割以上の方が回答されており、さらに介護予防や健康保持に係る各種事業の普及啓発を図っていく必要があります。

また、生活機能チェックリストの毎年回答している割合については、半数以下であることから、早期からの介護予防につなげるためにも、生活機能チェックリスト回答者の増加に向けた働きかけを実施していく必要があります。

【地域との交流について】

近所との付き合いで「日ごろから助け合っている」や「気のあった人とは親しくしている」が2割前後となっています。近所付き合いについては、「必要だと思う」「多少は必要だと思う」をあわせて8割以上が必要と回答しています。

日ごろから近所の方とお付き合いのある方は2割前後となっている一方で、8割以上の方が、近所付き合いについての必要性を認識していることがうかがえます。地域との交流は「火災や地震などの災害の時」などの助け合いにおいても重要であることから、地域の結びつきに資する取組を図っていく必要があります。

【暮らしや情報について】

経済的な暮らし向きについては、8割以上が心配なく暮らしていると回答しており、生活の収入源は「公的な年金」が8割以上、「預貯金などの引き出し」や「仕事による収入」が約2割となっています。

世帯全員の年間総収入は、200万円未満が約1割、200万～400万円未満が4割近く、400万～600万円未満が約2割となっています。600万円以上が2割近くとなっています。

日常生活での不安や悩みは、「健康や病気について」が約5割、次いで「災害時の避難について」が2割と

なっています。不安や悩みの相談先は「家族や親族」が6割以上で最も多く、次いで「医療機関・専門家」、
「友人や近所の人」が2割程度となっています。

不安や悩みの相談先として、「家族や親族」をあげている方が6割以上おり、次いで「医療機関・専門家」、
「友人や近所の人」が2割程度となっています。不安や悩みに関する相談体制は地域にも用意されているこ
とから、地域の相談体制の周知を図っていく必要があります。

【健康・医療について】

健康などに関する地域の情報の入手先は「市の広報紙」が6割、「新聞や雑誌」や「テレビ、ラジオ」が2
～3割程度となっています。「インターネット」は約3%と低い状況です。

「健康だと思う」と「どちらかという健康だと思う」を合わせて約7割となっています。また、かかり
つけの病院、かかりつけ歯科医院については、ともに8割以上が「ある」と回答しています。

健康診断については「毎年、受診している」、「毎年ではないが、受診している」を合わせると9割近くと
なっています。診断結果から食事や運動の改善などに結びつける場合も多いですが、「特に何もしていない」
も2割程度あります。

介護や支援が必要になった時の暮らし方は「自宅で、介護保険などのサービス利用は最小限にし、できる
だけ自立した生活がしたい」が6割以上と、何らかの形で「自宅」を希望する割合が8割以上となっています。

健康診断を受診されている方は9割近くいる一方で、診断結果から特に何もされていない方が2割程度い
ます。健康診断はその結果を踏まえて、食事や運動などの生活習慣の見直しに結びつくことから、受診につ
なげる支援などに取り組む必要があります。

また、かかりつけ医を持っていると回答された方は8割以上となっています。健康を保持していくうえで
も、かかりつけ医を持つことは重要ですので、そのことの周知に引き続き努める必要があります。

【生きがいや社会参加・就労について】

地域のグループや団体等については、約5割がいずれかに参加しており、「趣味のサークル・団体」や「健
康・スポーツのサークル・団体」などが多くなっています。参加していない理由として、「参加するきっか
けがないから」が約2割です。

週に2～3日以上働いている人は2割強で、「働いていない」が約7割となっています。今後については、
週に数日程度以上働きたいという希望も2割強で、就労を希望する理由は、「生活維持のため」と「健康維持
のため」の割合がともに5割を超えています。

地域のグループや団体等に参加されていると回答された方は、約5割となっています。高齢者の方が地域活
動等に参加することは生きがいの創出にもつながることから、高齢者が気軽に地域活動に参加できる環境づ
くりを推進していく必要があります。

【介護保険について】

介護保険制度については、「利用方法や受けられるサービスの内容まで知っている」「制度の概要くらい
は知っている」が合わせて5割台半ばとなっています。

介護保険料の負担感については、「非常に負担を感じる」「多少は負担を感じる」を合わせると、8割近く
が「負担を感じる」と回答しています。

相談窓口である地域包括支援センターについては、「知らない」が3割台半ばとなっています。認知度は上

がってきていますが、認知度には地域差もあります。

また、今後大切だと思う高齢者施策については「介護保険施設（特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護療養型医療施設）の施設サービスの充実」「ひとり暮らし高齢者に対する見守りや安否確認などの支援」「自宅を訪問するサービスの充実（ホームヘルプなど）」などが3割を超えています。

相談窓口である地域包括支援センターの認知度は前回の調査と比較すると上がってきていますが、知らないと回答された方が3割台半ばとなっています。地域包括支援センターは高齢者の相談窓口であることから、引き続きその周知を図っていく必要があります。

【認知症・成年後見制度について】

認知症については、「よく知っている」「ある程度知っている」をあわせて約8割となっています。認知症に関する相談先については「知らない」が7割台半ばです。

また、成年後見制度については、「よく知っている」「ある程度知っている」をあわせて約5割となっています。

認知症については約8割、成年後見制度については約5割の方が知っていると回答されています。認知症については高齢化の進行とともにその増加が予想されることから、認知症と成年後見制度に関する相談先の整備とその周知を行っていく必要があります。

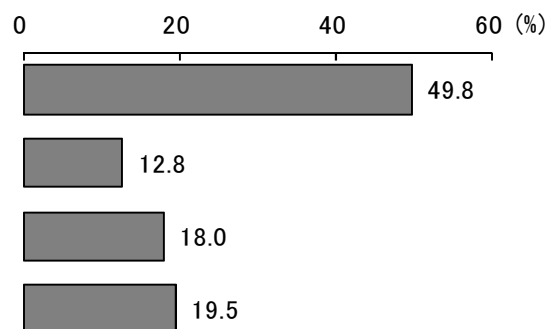
第4章 要介護（要支援）認定者（在宅） 及び家族等介護者調査

1 調査結果

1-1 本人の状況

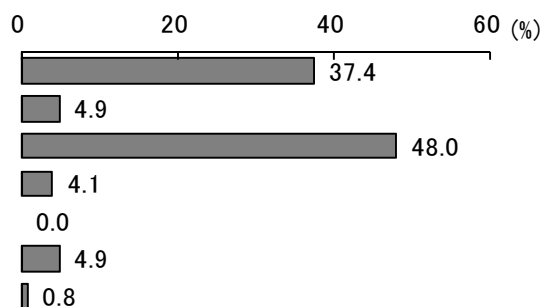
(1) 記入者

カテゴリー名	基数	構成比
あて名ご本人が記入	199	49.8
あて名ご本人に回答を確認しながら、ご本人以外の方が記入	51	12.8
あて名ご本人の立場に立って、ご本人以外の方が記入	72	18.0
不明・無回答	78	19.5
全体	400	-



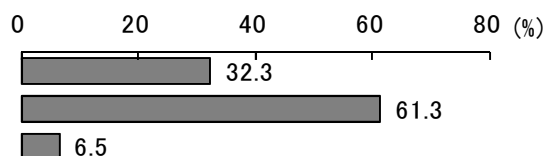
(2) 記入者の続柄 *上記(1)で、「ご本人以外の方が記入」と回答した場合

カテゴリー名	基数	構成比
配偶者	46	37.4
兄弟姉妹、親	6	4.9
子ども、孫	59	48.0
子どもの配偶者、孫の配偶者	5	4.1
親族	0	0.0
その他	6	4.9
不明・無回答	1	0.8
全体	123	-



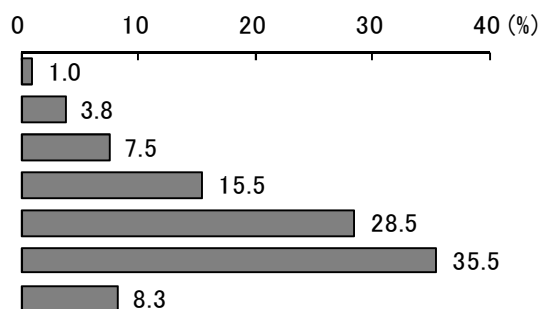
(3) 性別

カテゴリー名	基数	構成比
男性	129	32.3
女性	245	61.3
不明・無回答	26	6.5
全体	400	-



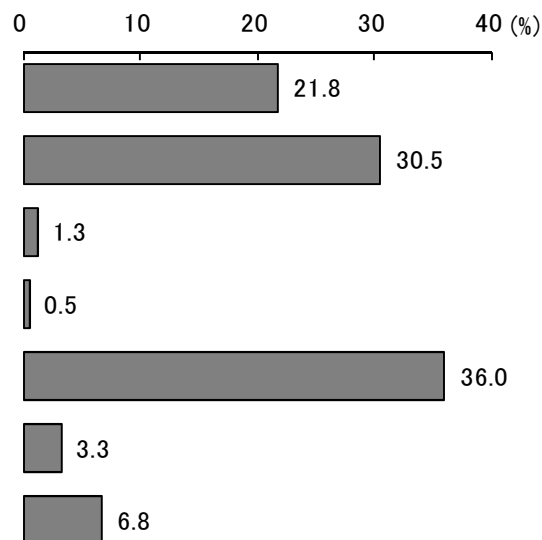
(4) 年齢

カテゴリー名	基数	構成比
40歳～64歳	4	1.0
65歳～69歳	15	3.8
70歳～74歳	30	7.5
75歳～79歳	62	15.5
80歳～84歳	114	28.5
85歳以上	142	35.5
不明・無回答	33	8.3
全体	400	-



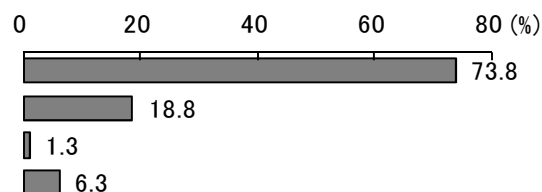
(5) 世帯構成

カテゴリー名	基数	構成比
ひとり暮らし	87	21.8
夫婦のみのふたり暮らし(ともに65歳以上)	122	30.5
夫婦のみのふたり暮らし(夫・妻のどちらかが65歳以上)	5	1.3
夫婦のみのふたり暮らし(夫・妻ともに65歳未満)	2	0.5
家族との同居(子どもと同居など)	144	36.0
その他の世帯	13	3.3
不明・無回答	27	6.8
全体	400	-



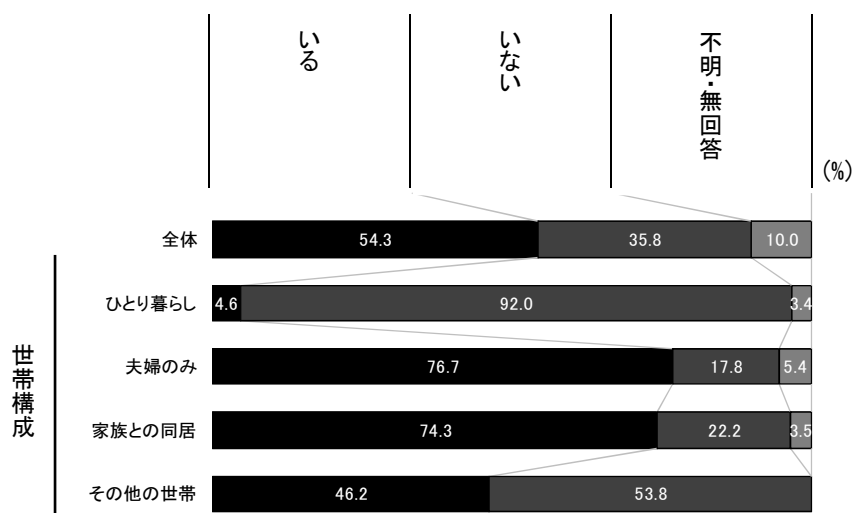
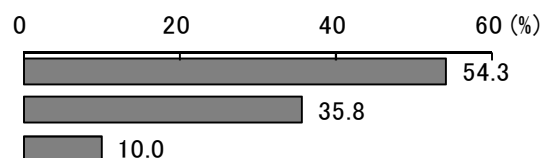
(6) 居住形態

カテゴリー名	基数	構成比
戸建て(一軒家)	295	73.8
マンション・アパートなどの集合住宅	75	18.8
その他	5	1.3
不明・無回答	25	6.3
全体	400	-



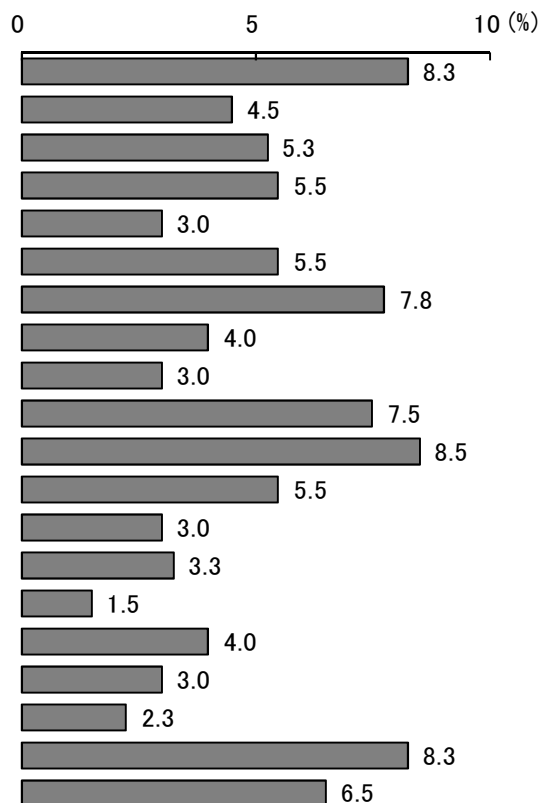
(7) 日中の同居者の有無

カテゴリー名	基数	構成比
いる	217	54.3
いない	143	35.8
不明・無回答	40	10.0
全体	400	-



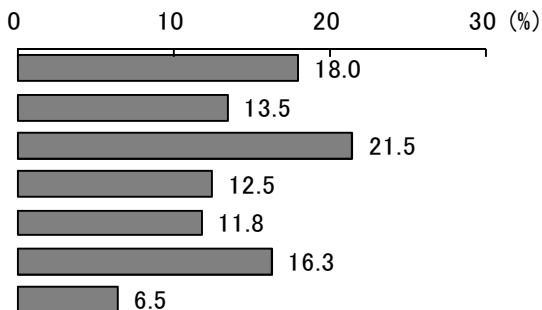
(8) 居住地区

カテゴリー名	基数	構成比
東元町	33	8.3
西元町	18	4.5
南町	21	5.3
泉町	22	5.5
本町	12	3.0
本多	22	5.5
東恋ヶ窪	31	7.8
西恋ヶ窪	16	4.0
東戸倉	12	3.0
戸倉	30	7.5
日吉町	34	8.5
内藤	22	5.5
富士本	12	3.0
新町	13	3.3
並木町	6	1.5
北町	16	4.0
光町	12	3.0
高木町	9	2.3
西町	33	8.3
不明・無回答	26	6.5
全体	400	-



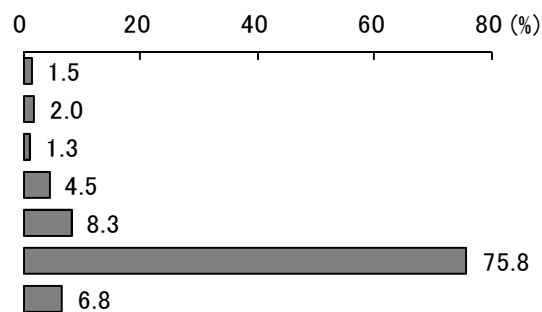
(9) 地域包括エリア

カテゴリー名	基数	構成比
もとまち	72	18.0
ひかり	54	13.5
ひよし	86	21.5
こいがくぼ	50	12.5
なみき	47	11.8
ほんだ	65	16.3
不明・無回答	26	6.5
全体	400	-

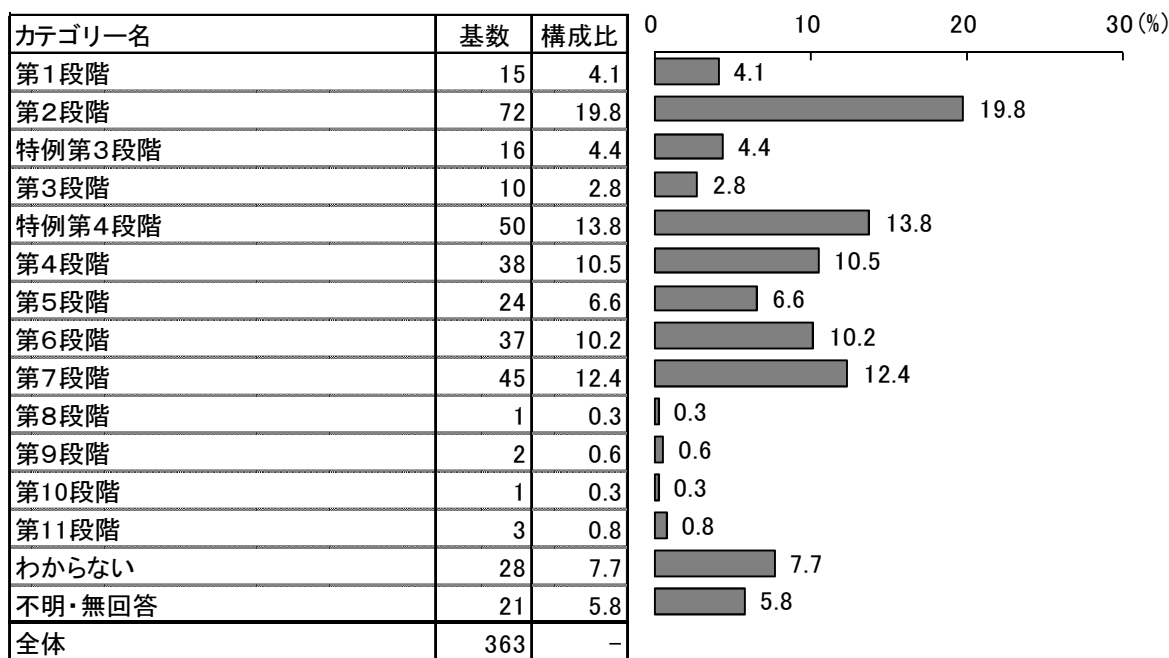


(10) 市内在住年数

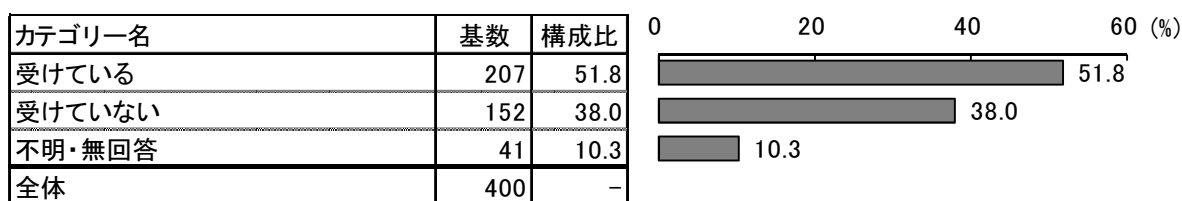
カテゴリー名	基数	構成比
1年未満	6	1.5
1年以上3年未満	8	2.0
3年以上5年未満	5	1.3
5年以上10年未満	18	4.5
10年以上20年未満	33	8.3
20年以上	303	75.8
不明・無回答	27	6.8
全体	400	-



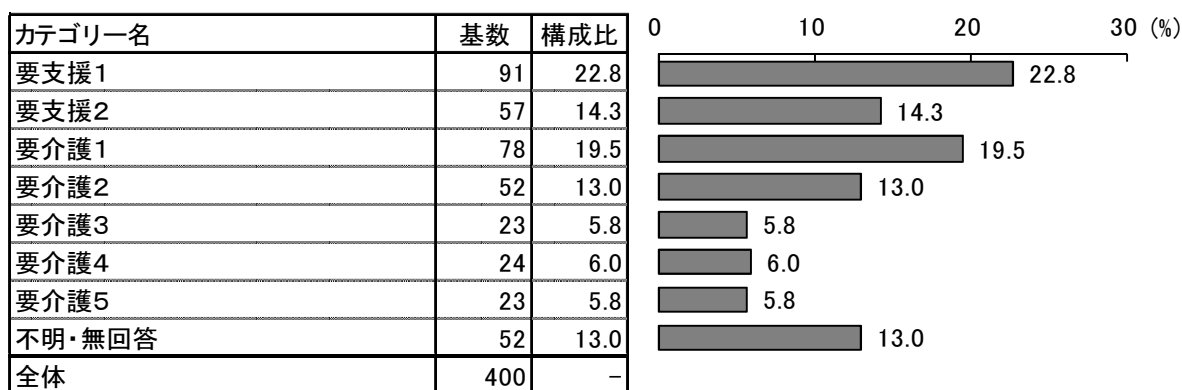
(11) 介護保険料段階 * (4) で、65歳以上と回答した場合



(12) 家族や親族等による介護



(13) 現在の要介護度

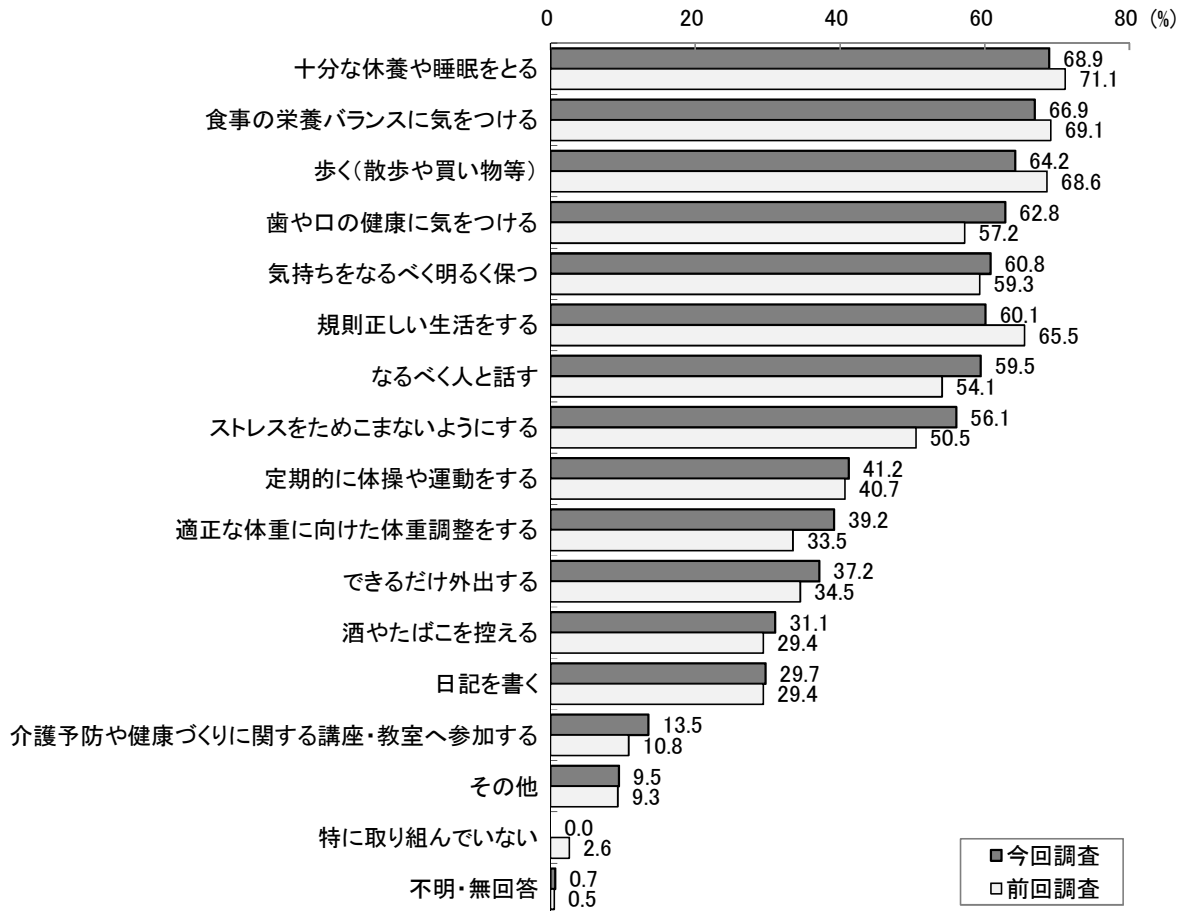


1-2 介護予防の意識・取組

(1) 介護予防や健康維持のために取り組んでいること

問1 (要支援1・2の方のみ) あなたは、介護予防や健康維持のために、日常生活の中で取り組んでいることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

☆介護予防・健康維持のために取り組んでいることは、「十分な休養や睡眠をとる」が7割弱でトップ



問1-1 取り組んでいない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

☆今回「特に取り組んでいない」の回答者がいないため、該当者なし

調査結果の傾向

要支援1・2の方を対象に、介護予防や健康維持のために日常生活の中で取り組んでいること（問1）、取り組んでいない場合にはその理由（問1-1）について、おうかがいしました。

まず、日常生活の中での取組を聞いたところ、「特に取り組んでいない」との回答は0.0%、「不明・無回答」は0.7%となっていることから、ほぼすべての方が介護予防や健康維持のために何らかの取組を行っています。半数以上の方が行っている取組としては、「十分な休養や睡眠をとる」（68.9%）、「食事の栄養バランスに気をつける」（66.9%）、「歩く」（64.2%）、「歯や口の健康に気をつける」（62.8%）、「気持ちをなるべく明るく保つ」（60.8%）、「規則正しい生活をする」（60.1%）、「なるべく人と話す」（59.5%）、「ストレスをためこまないようにする」（56.1%）があげられます。

前回調査結果との比較

項目により多少の増減はあるものの、大きく差がみられるものはなくおおむね前回と同じ結果となっています。

他調査結果との比較（67ページ 問4参照）

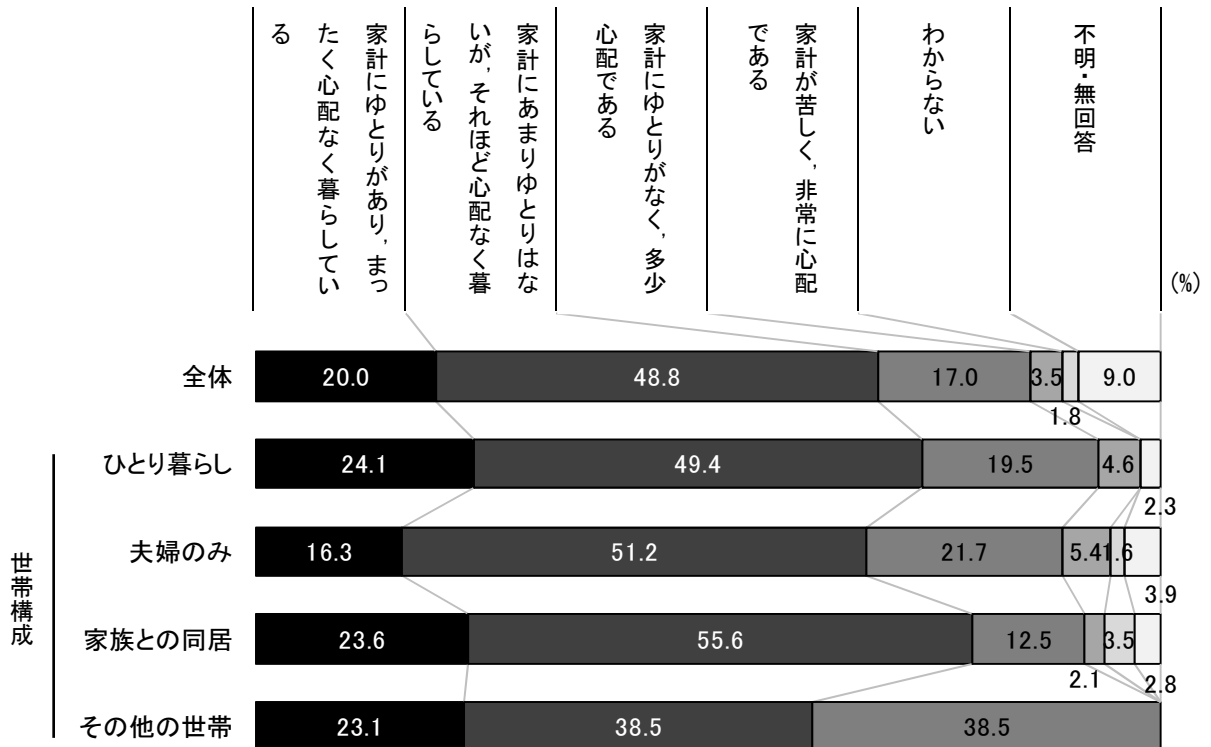
【第1号被保険者調査】よりも介護予防等に取り組む方の割合は高くなっています。「歩く」や「できるだけ外出する」を選ぶ方はやや少ないですが、「十分な休養や睡眠をとる」、「気持ちをなるべく明るく保つ」といった、生活習慣に関する項目を選ぶ方は多くなっています。

1-3 暮らしや情報

(1) 現在の経済的な暮らし向き

問2 あなたは、現在の経済的な暮らし向きについて、どのように感じますか。(〇は1つ)

☆現在の経済的な暮らし向きは、7割弱の方が「心配なく暮らしている」と回答



調査結果の傾向

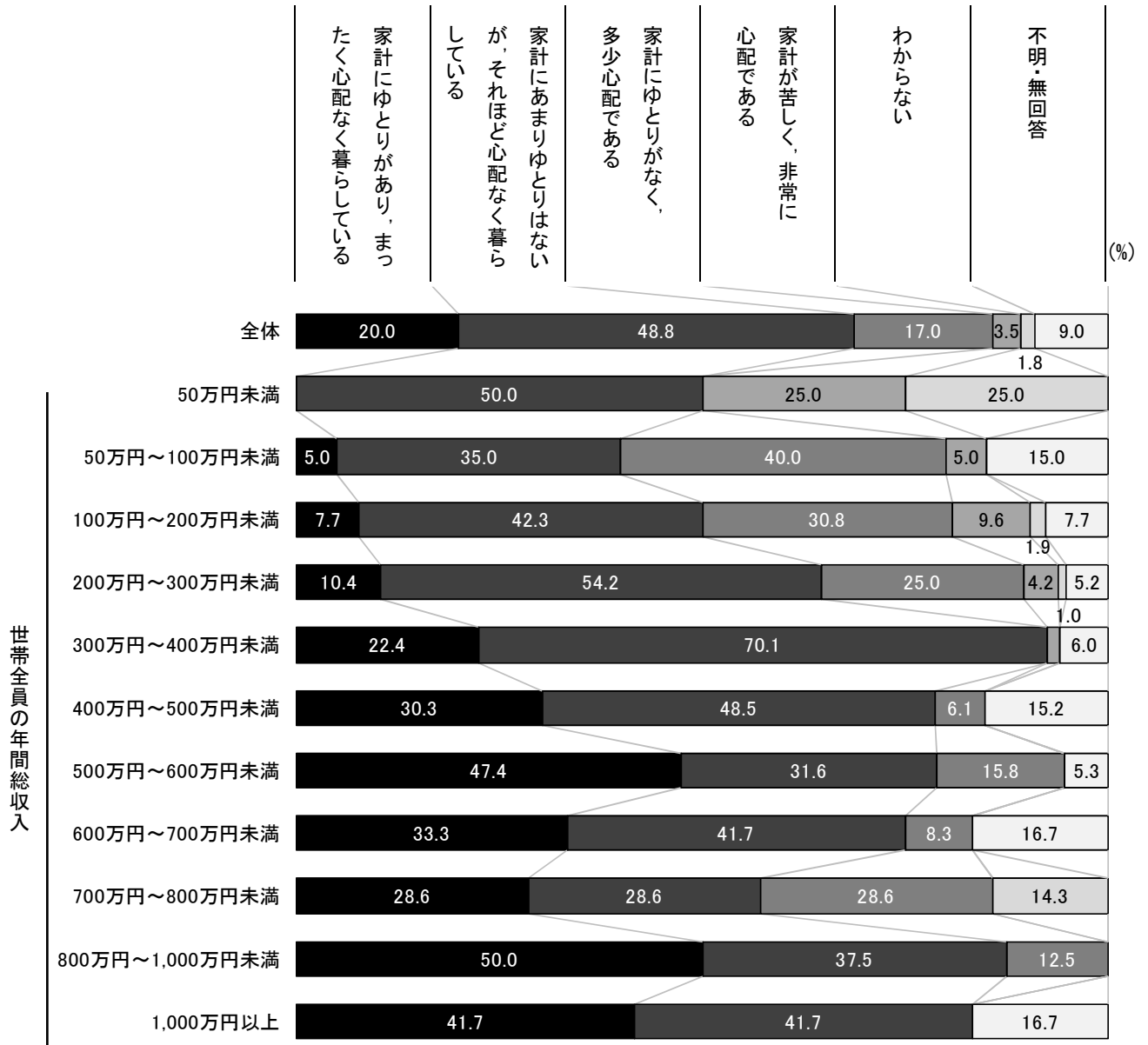
現在の経済的な暮らし向き（問2）を聞いたところ、「家計にあまりゆとりはないが、それほど心配なく暮らしている」（48.8%）が最多で、「家計にゆとりがあり、まったく心配なく暮らしている」（20.0%）と合わせると、68.8%の方が「心配なく暮らしている」と回答しています。

他調査結果との比較（72ページ 問7参照）

【第1号被保険者調査】に比べて、「家計にあまりゆとりはないが、それほど心配なく暮らしている」が少なくなっています。

クロス集計分析

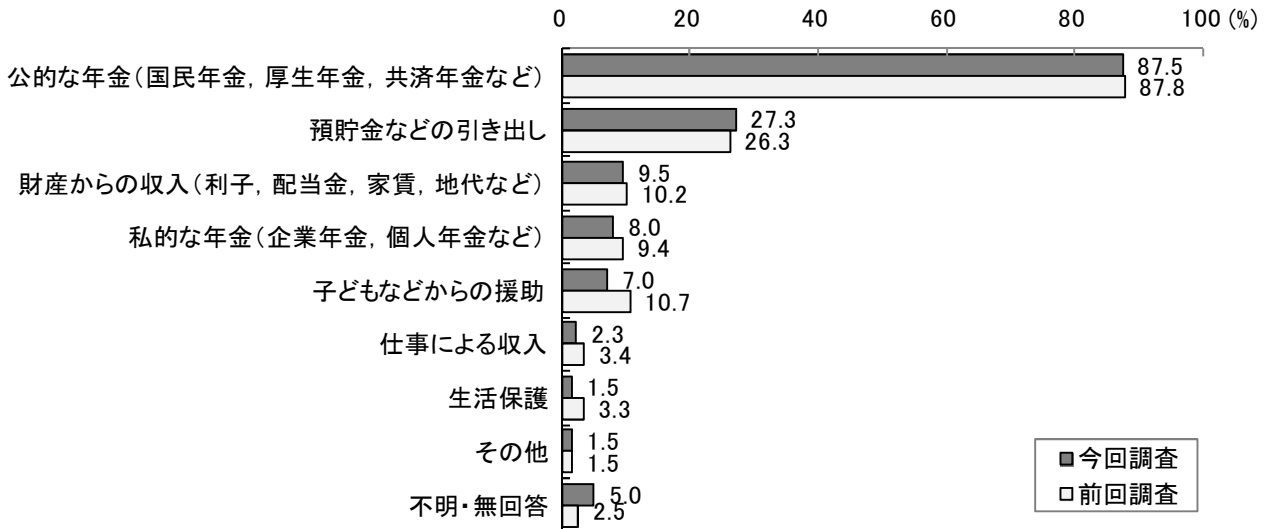
世帯全員の年間総収入別で見ると，“心配なく暮らしている”層は，【700万円～800万円未満】では割合が少なくなるものの，300万円以上になると全体平均を上回る傾向となっています。



(2) 生活を支えている主な収入源

問3 あなたの生活を支えている収入は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

☆主な収入源は「公的な年金」が8割台後半でトップ



調査結果の傾向

生活を支えている収入(問3)を聞いたところ、「公的な年金」(87.5%)が最多で、次いで「預貯金などの引き出し」(27.3%)と続きます。公的な年金が主な収入源となっています。

クロス集計分析

暮らし向き別で見ると、【家計にゆとりがあり、まったく心配なく暮らしている】場合は、「公的な年金」以外にも、「財産からの収入」「私的な年金」といった割合が、平均よりも高くなっています。また、【家計にゆとりがなく、多少心配である】の場合、「子どもなどからの援助」の割合が、「心配なく暮らしている」層よりも高くなっています。

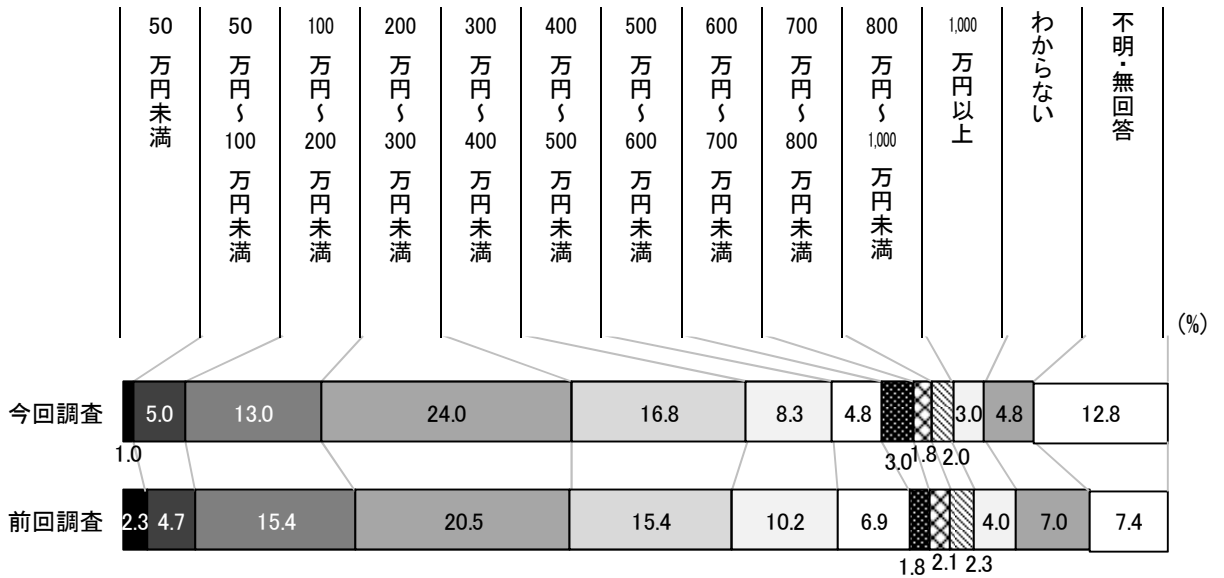
		回答者数(件)	公的な年金(国民年金, 厚生年金, 共済年金)	預貯金などの引き出し	財産からの収入(家賃, 地代)	私的な年金(企業年金, 個人年金)	子どもなどからの援助	仕事による収入	生活保護	その他	不明・無回答
全体		400	87.5	27.3	9.5	8.0	7.0	2.3	1.5	1.5	5.0
暮らし向き	家計にゆとりがあり、まったく心配なく暮らしている	80	86.3	22.5	18.8	12.5	8.8	-	-	-	7.5
	家計にあまりゆとりはないが、それほど心配なく暮らしている	195	89.7	32.8	6.2	7.7	6.2	2.6	2.1	2.1	2.6
	家計にゆとりがなく、多少心配である	68	88.2	23.5	2.9	4.4	10.3	2.9	1.5	1.5	4.4
	家計が苦しく、非常に心配である	14	85.7	14.3	-	-	7.1	-	7.1	-	-
	わからない	7	71.4	14.3	28.6	-	14.3	14.3	-	14.3	14.3

※網掛けは分析軸別の最大値

(3) 世帯全員の年間総収入

問4 あなたも含めた世帯全員の年間総収入（年金，仕送りなども含む）の合計額はおよそどのくらいですか。（○は1つ）

☆世帯全員の年間総収入は、「200万円～300万円未満」が2割台半ばでトップ



調査結果の傾向

世帯全員の年間総収入（問4）を聞いたところ、「200万円～300万円未満」（24.0%）が最多となっています。一方、「1,000万円以上」の回答は3.0%となっています。

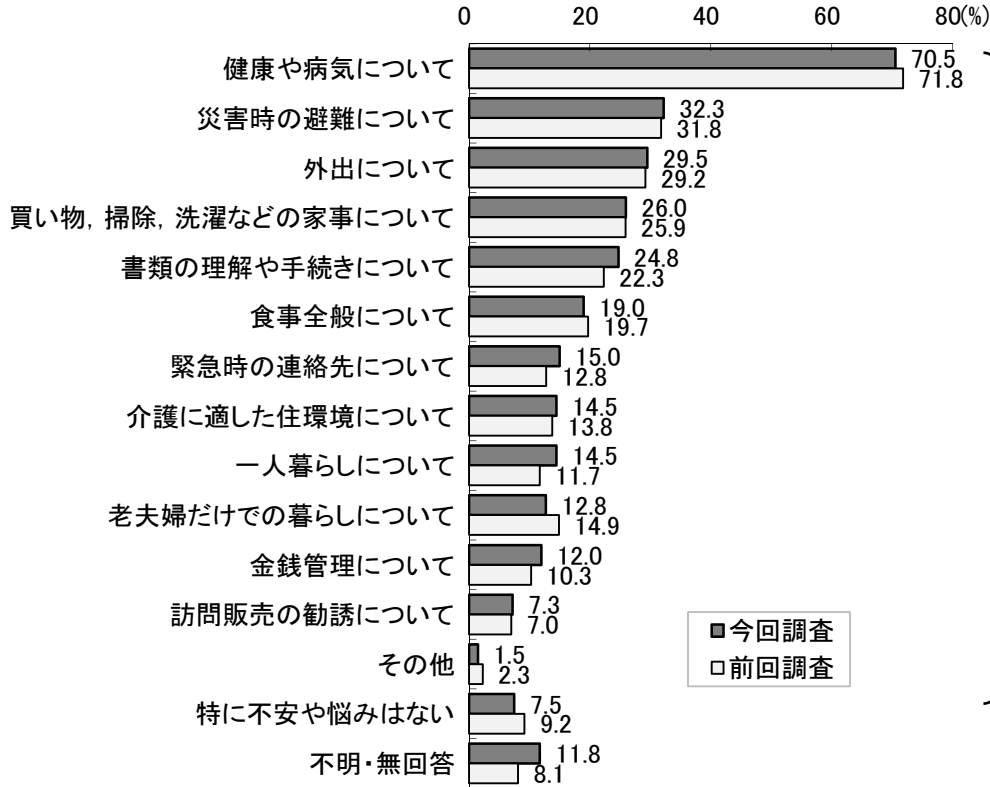
前回調査結果との比較

前回調査結果とおおむね同じ傾向となっていますが、「200万円～300万円未満」の割合がやや増加し、「200万円未満」の割合はやや減少しています。

(4) 日常生活の中での不安や悩み

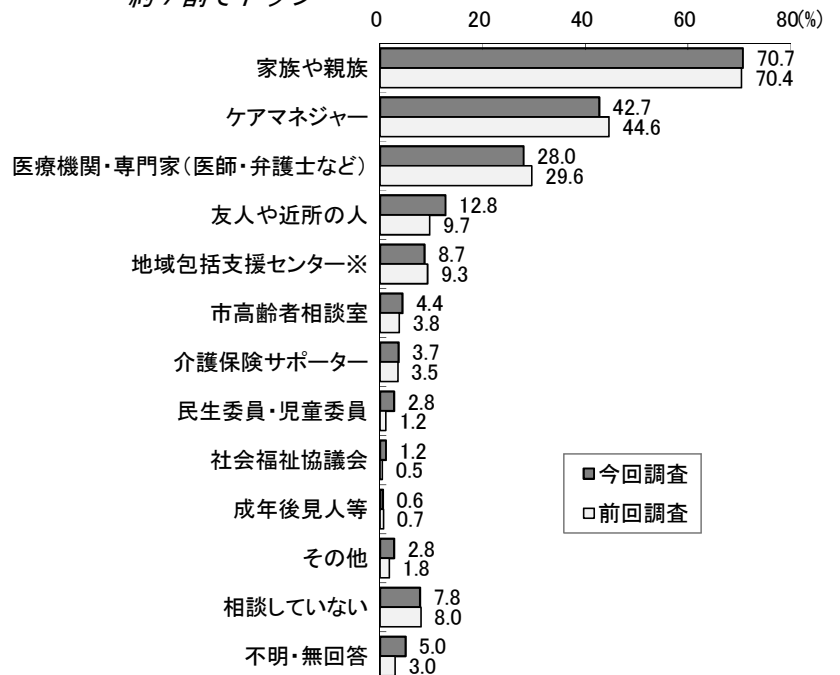
問5 あなたは、日常生活の中で「不安」や「悩み」がありますか。(あてはまるものすべてに○)

☆日常生活の不安や悩みは、「健康や病気について」が約7割でトップ



問5-1 あなたは、その「不安」や「悩み」を誰(どこ)に相談していますか。(あてはまるものすべてに○)

☆「不安」や「悩み」の相談先は、「家族や親族」が約7割でトップ



※前回調査では「地域包括支援センター・地域相談センター」

調査結果の傾向

日常生活の中での不安や悩みの有無（問5）、不安や悩みの相談先（問5-1）について、おうかがいしました。

まず、日常生活の中での不安や悩みの有無を聞いたところ、「特に不安や悩みはない」との回答は7.5%、「不明・無回答」は11.8%となっていることから、8割以上の方が何らかの不安や悩みがあることがうかがえます。不安や悩みの内容としては、「健康や病気について」（70.5%）が最多で、突出して多くなっています。次いで「災害時の避難について」（32.3%）、「外出について」（29.5%）と続きます。健康や病気が最大の不安や悩みとなっています。

次に、不安や悩みの相談先を聞いたところ、「相談していない」との回答は7.8%、「不明・無回答」は5.0%となっていることから、9割程度の方が何らかの相談先に相談しています。相談先としては「家族や親族」（70.7%）が最多、次いで「ケアマネジャー」（42.7%）、「医療機関・専門家」（28.0%）、「友人や近所の人」（12.8%）と続きます。

他調査結果との比較（76ページ 問10参照）

【第1号被保険者調査】と比べて、“不安や悩みがある方”の割合が多くなっています。「健康や病気について」、「災害時の避難について」は、【第1号被保険者調査】と順位は同じですが、回答の割合がより多く、より多くの方が抱えている問題と見ることができます。本調査では、第3位に「外出について」が入っており、外出に関する不安や悩みの解消が求められます。

前回調査結果との比較

悩みの内容及び相談先についてはおおむね前回と同じ結果となっています。

クロス集計分析（右ページ参照）

不安や悩みの内容について、要介護度別で見ると、【軽度（要支援1・2、要介護1）】と【中度（要介護2・3）】では、「外出について」「買物、掃除、洗濯などの家事について」「書類の理解や手続きについて」等が全体平均を上回る結果となっています。世帯構成別で見ると、【ひとり暮らし】では、「健康や病気について」から「介護に適した住環境について」にかけて全体平均を上回る結果となっており、ほかの世帯に比べて心配の度合いの強さがうかがえます。

相談先について、世帯構成別で見ると、【ひとり暮らし】と【夫婦のみ】で「相談していない」が全体平均を上回っています。

<不安や悩みの内容>

(%)

	回答者数 (件)	健康や病気に ついて	災害時の避難に ついて	外出について	洗濯などの家事、 掃除、	買い物、掃除、 掃除、	書類の理解や手 続きについて	食事全般につ いて	緊急時の連絡先 について	介護に適切な住 環境について	一人暮らしにつ いて	夫婦だけでの暮 らしについて
全体	400	70.5	32.3	29.5	26.0	24.8	19.0	15.0	14.5	14.5	12.8	
要介護度	軽度(要支援1・2, 要介護1)	226	70.4	34.5	31.0	28.8	29.2	19.0	15.5	12.8	19.5	11.9
	中度(要介護2・3)	75	80.0	30.7	37.3	29.3	25.3	20.0	16.0	18.7	8.0	17.3
	重度(要介護4・5)	47	63.8	31.9	21.3	8.5	12.8	12.8	12.8	17.0	-	12.8
世帯構成	ひとり暮らし	87	77.0	35.6	33.3	44.8	33.3	36.8	24.1	52.9	12.6	-
	夫婦のみ	129	73.6	37.2	29.5	27.9	19.4	14.0	10.9	3.1	12.4	35.7
	家族との同居	144	64.6	27.8	28.5	12.5	27.8	11.8	14.6	0.7	15.3	2.8
	その他の世帯	13	61.5	23.1	30.8	30.8	7.7	23.1	7.7	15.4	15.4	-

<相談先>

(%)

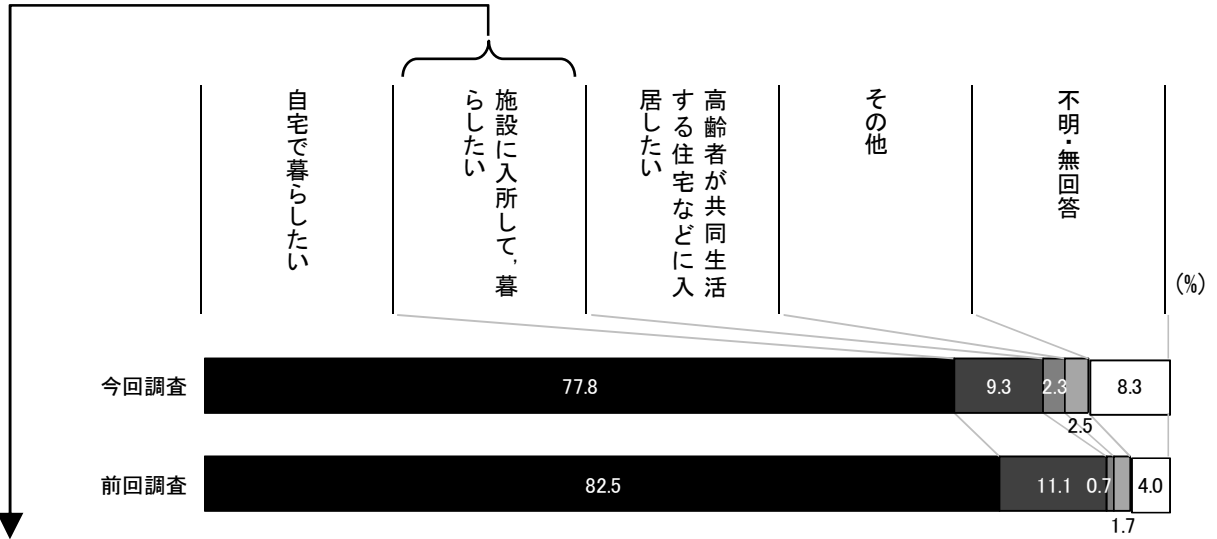
	回答者数 (件)	家族や親族	ケアマネジャー	士 家 な (医 師 ・ 弁 護 士)	医療機関・専門 家	友人や近所の人	地域包括支援セ ンター	市高齢者相談室	介護保険サポ ーター	民生委員・児童 委員	社会福祉協議会	相談していない
全体	300	70.7	42.7	28.0	12.8	8.7	4.4	3.7	2.8	1.2	7.8	
世帯構成	ひとり暮らし	75	62.7	38.7	28.0	26.7	8.0	9.3	5.3	5.3	1.3	13.3
	夫婦のみ	107	58.9	46.7	28.0	8.4	13.1	2.8	2.8	1.9	0.9	9.3
	家族との同居	108	84.3	44.4	31.5	8.3	4.6	3.7	3.7	1.9	0.9	2.8
	その他の世帯	10	80.0	30.0	10.0	-	10.0	-	-	-	-	-

※網掛けは分析軸別の最大値

(5) 自分が希望する介護形態

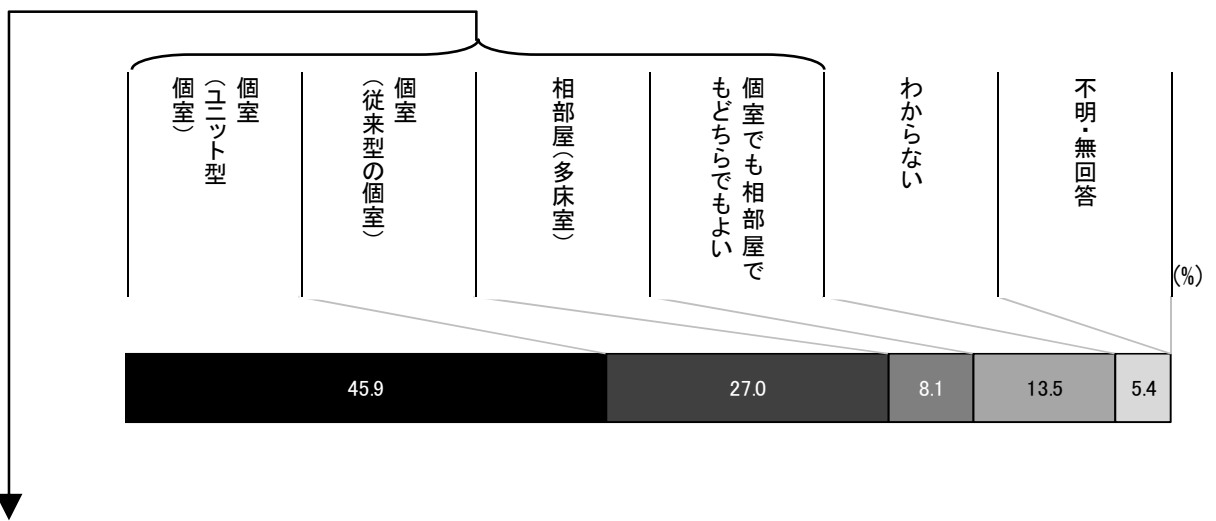
問6 あなたは、今後、どこで暮らしたいですか。(〇は1つ)

☆「自宅で暮らしたい」が7割台後半でトップ



問6-1 施設で生活される場合、あなたはどのような部屋を希望しますか。(〇は1つ)

☆7割台前半の方が“個室”を希望



問6-1-1 個室あるいは相部屋を希望される理由があれば、ご自由にご記入ください。

30人から回答がありました。記載内容では、「他人に気を使いたくない、迷惑をかけたくないため個室希望」(16件)が最多で、次いで「本当は個室希望だが、金銭面で相部屋希望」(6件)、「プライベート・プライバシー確保のため個室希望」(4件)と続きます。記載内容を次ページに示します。

区分	記載内容	件数
1	他人に気を使いたくない, 迷惑をかけたたくないため個室希望	16
2	本当は個室希望だが, 金銭面で相部屋希望	6
3	プライベート・プライバシー確保のため個室希望	4
4	人付き合いも重要と考えるため相部屋希望	2
5	その他	2

【1 他人に気を使いたくない, 迷惑をかけたたくないため個室希望 (16件)】

- ・相部屋では気心のわかるまで時間がかかり, 大勢に気を使うのが大変。
- ・いつも人と接してはならないのは「イヤ」。
- ・個室の良さと相部屋の良さ両方良いと思うがやはり自宅, 家族, と友人のおかげ。
- ・人間関係。
- ・家族が面会に来た時に相部屋だと気を使うので個室が望ましいと思います。
- ・個室。声出しをするので施設に入るには同室だといやがられると云われた事がある。
- ・家と同じ様な環境で自由に暮らしたい。
- ・気をつかうのはイヤ。自分のペースで生活したい。
- ・一人で居る方が良い。
- ・なるべくなら個室希望だが (特養ホームに入所出来たら)。
- ・今迄通りのペースで生活したいから。
- ・いずれ自宅が困難になれば施設でお世話になります。その場合, 4でお願いできればと思います。
- ・高齢になると, 相部屋は無理だと思います。感情や考え方が弾力性がなくなり, 些細なことがたえられなくなったりすると思う。個人のくらしの自由は年寄りの誰でも持ちたい最低のものです。個室が良い。
- ・従来型の個室が個人の生活を安定させる。
- ・自分で生活することが出来なくなった時は, 個室の施設で生活が出来れば有難いことと思います。
- ・自分だけの自由な時間がほしいから。

【2 本当は個室希望だが, 金銭面で相部屋希望 (6件)】

- ・経済的理由。
- ・父母二人とも同じ部屋なら料金に関係する。
- ・相部屋は料金が安いから。
- ・個室では費用が高くなるので相部屋でよい。しかし, 相部屋では健康状況, 症状等によって人間関係に不安があるが。
- ・費用の安いところ。
- ・入居した場合の月額が年金額で出来るかどうか, が心配。少しでも金額が少ない場合は相部屋しかないとするため。

【3 プライベート・プライバシー確保のため個室希望（4件）】

- ・プライバシー。
- ・プライベートあり，他人との生活に嫌です。
- ・夜静かにして眠りたい。
- ・ひとりになる時間がほしい。

【4 人付き合いも重要と考えるため相部屋希望（2件）】

- ・ユニット型のように大勢と暮らすのはわずらわしいのでせいぜい相部屋ぐらいがよい。
- ・話し相手がほしい。

【5 その他（2件）】

- ・すでに有料老人ホームに入居中。
- ・現在老人ホームに住んでいます。

調査結果の傾向

今後希望する生活場所（問6），施設生活を希望される場合の部屋の希望（問6-1），個室や相部屋を希望される理由（問6-1-1）について，おうかがいしました。

まず，今後希望する生活場所を聞いたところ，「自宅で暮らしたい」（77.8%）が最多となっています。また「施設に入所して，暮らしたい」は9.3%となっています。

次に，「施設に入所して，暮らしたい」と回答した方に部屋の希望を聞いたところ，「ユニット型個室」（45.9%）が最多，「従来型の個室」（27.0%）を合わせると，72.9%の方が“個室派”となっています。一方，相部屋（多床室）の希望は8.1%となっています。

他調査結果との比較（79ページ 問11参照）

【第1号被保険者調査】の結果と同様，生活場所は“自宅派”が大多数となっています。

部屋の希望は，【第1号被保険者調査】の結果と同様，“個室派”が多いことに変わりはありません。

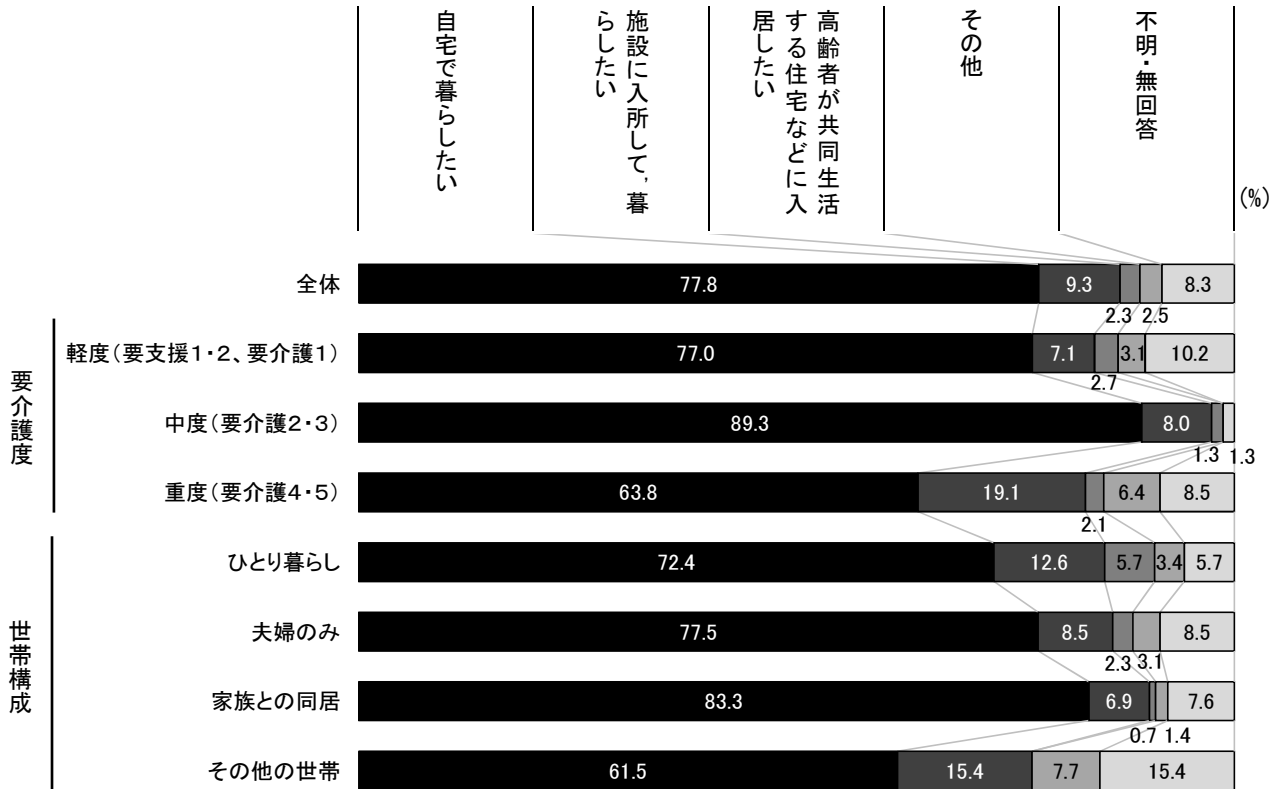
前回調査結果との比較

前回調査結果と比較すると，若干ですが「高齢者が共同生活する住宅などに入居したい」との要望が増えましたが，“自宅派”が多数であることに変わりはありません。

クロス集計分析

要介護度別で見ると、全体平均と比べて、自宅希望は【中度（要介護2・3）】で上回り、施設希望は【重度（要介護4・5）】で上回っています。

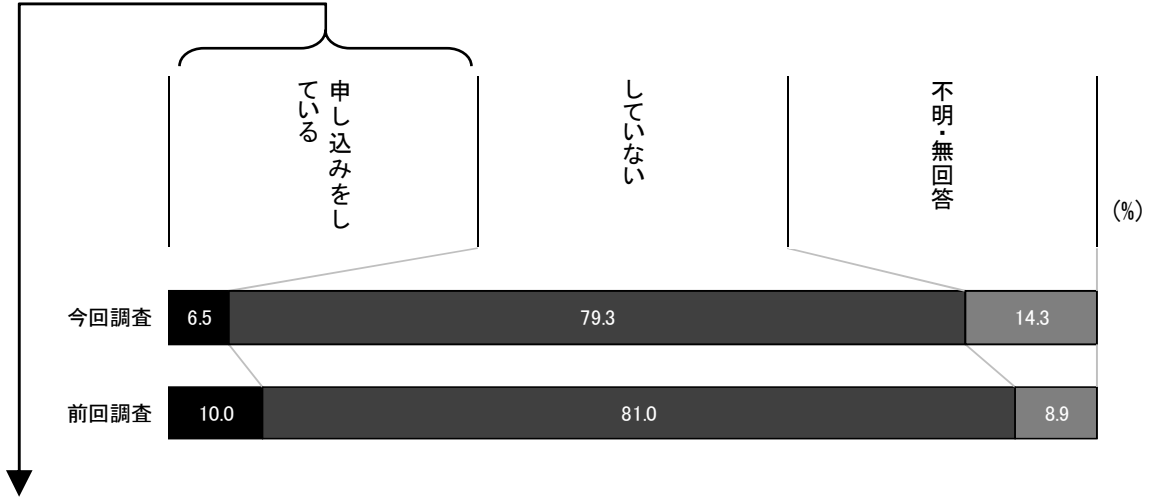
世帯構成別で見ると、【ひとり暮らし】の場合、施設希望は全体平均を上回っています。



(6) 施設への入所申し込み状況

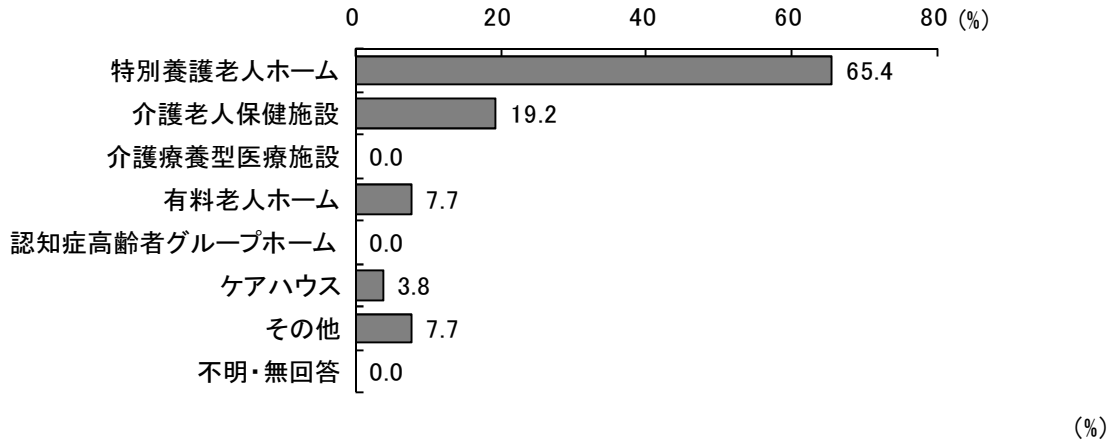
問7 あなたは、施設への入所申し込みをしていますか。(○は1つ)

☆施設への入所申し込みをしている方は1割未満



問7-1 それはどのような施設ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。また、申し込みの施設数がわかれば、()に数字をご記入ください。

☆申し込んだ施設の種類は「特別養護老人ホーム」が6割台半ばでトップ



	特別養護老人ホーム	介護老人保健施設	介護療養型医療施設	有料老人ホーム	認知症高齢者グループホーム	ケアハウス	その他
1カ所	42.3	19.2	0.0	7.7	0.0	3.8	3.8
2カ所	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3カ所	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4カ所	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5カ所以上	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

調査結果の傾向

施設への入所申込状況（問7），申し込んだ施設の種類とカ所数（問7-1）について、おうかがいしました。

まず、施設への入所申込状況を聞いたところ、「申し込みをしている」との回答は6.5%となっています。次に、申し込んだ方に施設の種類を聞いたところ、「特別養護老人ホーム」（65.4%）が最多で、次いで「介護老人保健施設」（19.2%），「有料老人ホーム」（7.7%）と続きます。

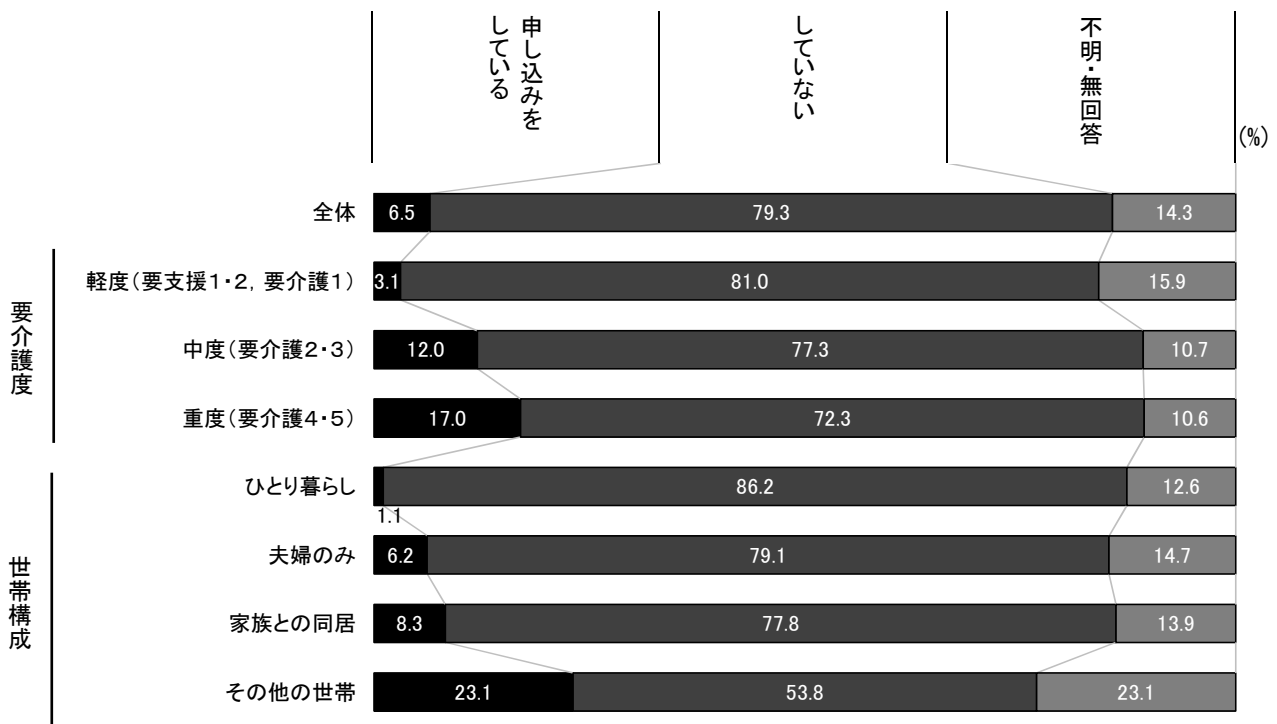
前回調査結果との比較

前回調査と比較すると、施設に入所申し込みをしている方の割合はわずかに減っています。

クロス集計分析

要介護度別で見ると、【中度（要介護2・3）】【重度（要介護4・5）】の場合、施設への入所申し込みは全体平均を大きく上回っています。

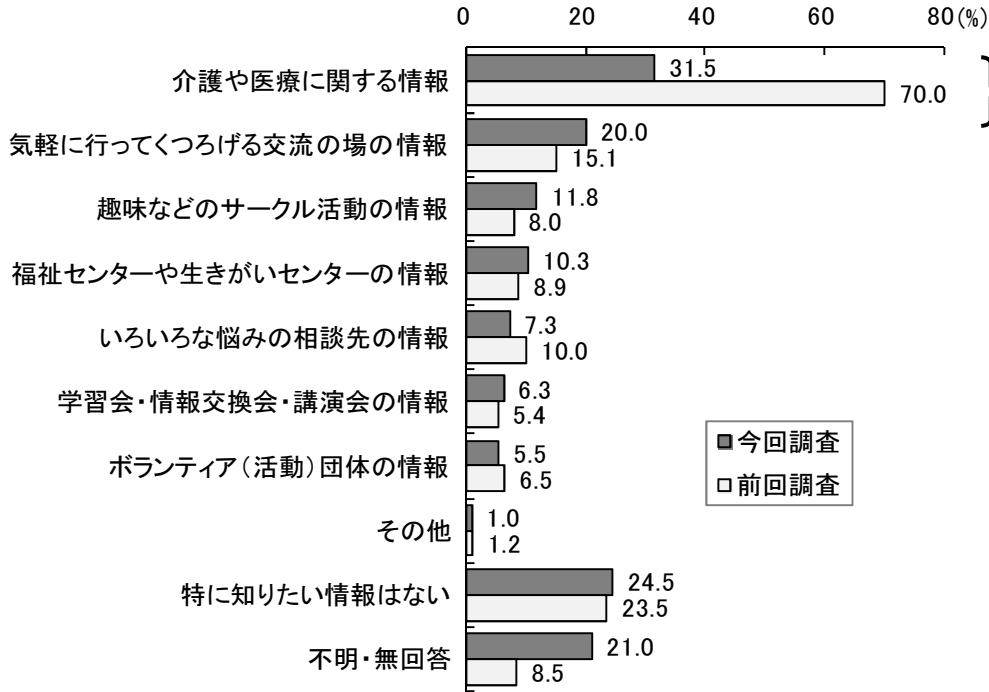
世帯構成別で見ると、【その他の世帯】の場合、施設への入所申し込みは全体平均を大きく上回っています。



(7) 地域で知りたい情報の内容

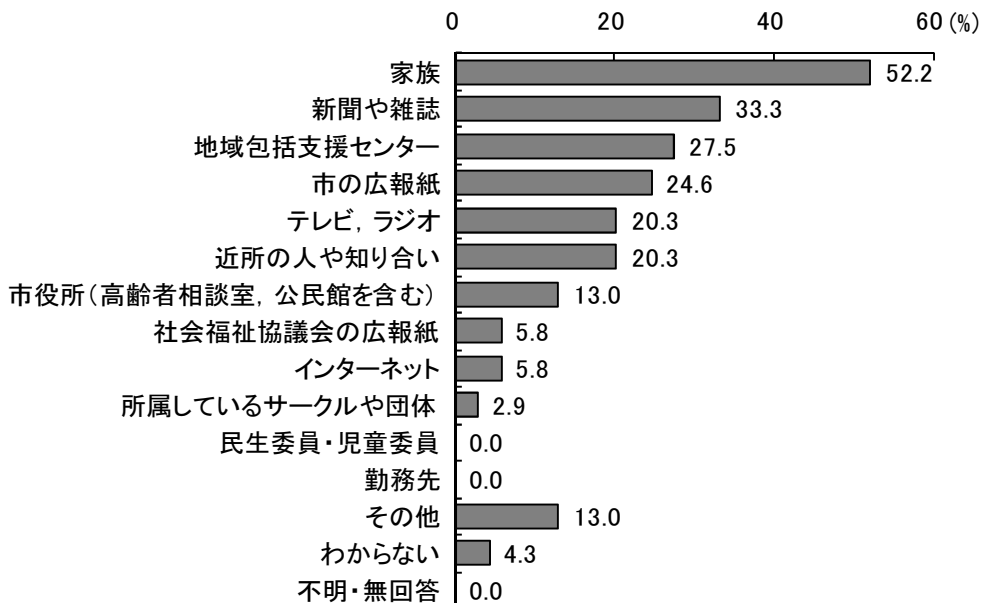
問8 あなたは、地域のどのような「情報」を知りたいですか。(○は3つ以内)

☆地域の知りたい情報は「介護や医療に関する情報」が3割強でトップ



問8-1 介護や医療に関する情報について、どのような手段で入手していますか。(あてはまるものすべてに○)

☆介護や医療に関する情報の入手先は、「家族」が5割以上でトップ



調査結果の傾向

地域で知りたい情報（問8）、介護や医療に関する情報を選んだ場合にその入手方法（問8-1）について、おうかがいしました。

まず、地域で知りたい情報を聞いたところ、「特に知りたい情報はない」との回答は24.5%、「不明・無回答」は21.0%となっていることから、5割以上の方が何らかの情報を知りたいと考えていることがうかがえます。知りたい情報内容は、「介護や医療に関する情報」（31.5%）が最多で、突出して多くなっています。

次に、介護や医療に関する情報を知りたい方にその入手方法を聞いたところ、「家族」（52.2%）が最多で、次いで「新聞や雑誌」（33.3%）、「地域包括支援センター」（27.5%）、「市の広報紙」（24.6%）、「テレビ、ラジオ」（20.3%）と続きます。

前回調査結果との比較

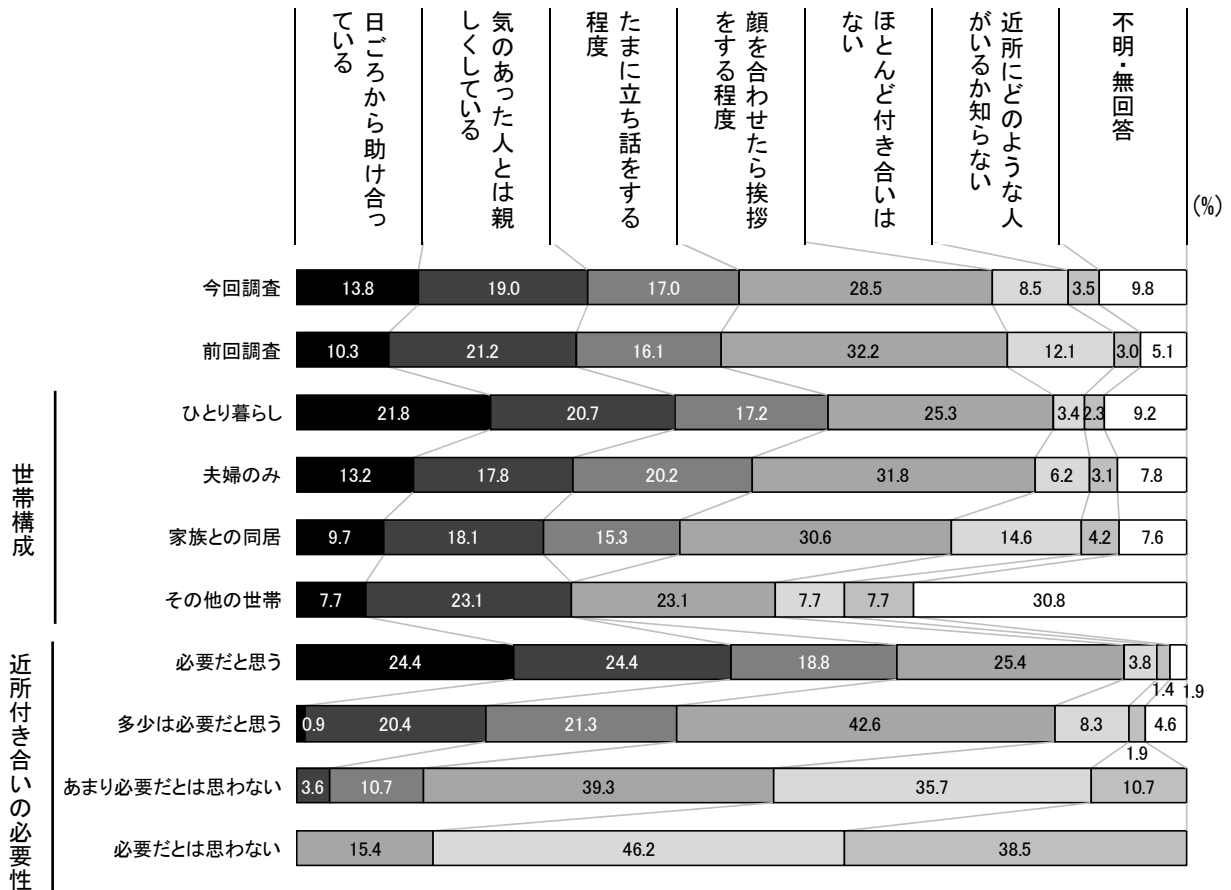
前回調査と比較すると、「特に知りたい情報はない」の回答割合に大きな変化はありませんが、前回最も多かった「介護や医療に関する情報」は、70.0%から31.5%に減少しています。また、知りたい情報として、「気軽に行ってくつろげる交流の場の情報」と「趣味などのサークル活動の情報」といった市民と交流することに関する情報に対して、回答がわずかに増えています。

1-4 地域との交流

(1) 近所付き合いの程度

問9 あなたは、ご近所の方とどのようなお付き合いがありますか。(○は1つ)

☆近所付き合いの程度は、「顔を合わせたら挨拶をする程度」が2割台後半でトップ



調査結果の傾向

ご近所の方との付き合いの状況（問9）を聞いたところ、「顔を合わせたら挨拶をする程度」（28.5%）が最多となっています。

他調査結果との比較（69ページ 問5参照）

【第1号被保険者調査】の結果に比べて、「ほとんど付き合いはない」や「近所にどのような人がいるか知らない」との回答が多くなっています。

前回調査結果との比較

前回調査と比較すると、「日ごろから助け合っている」がわずかに増加しています。

クロス集計分析

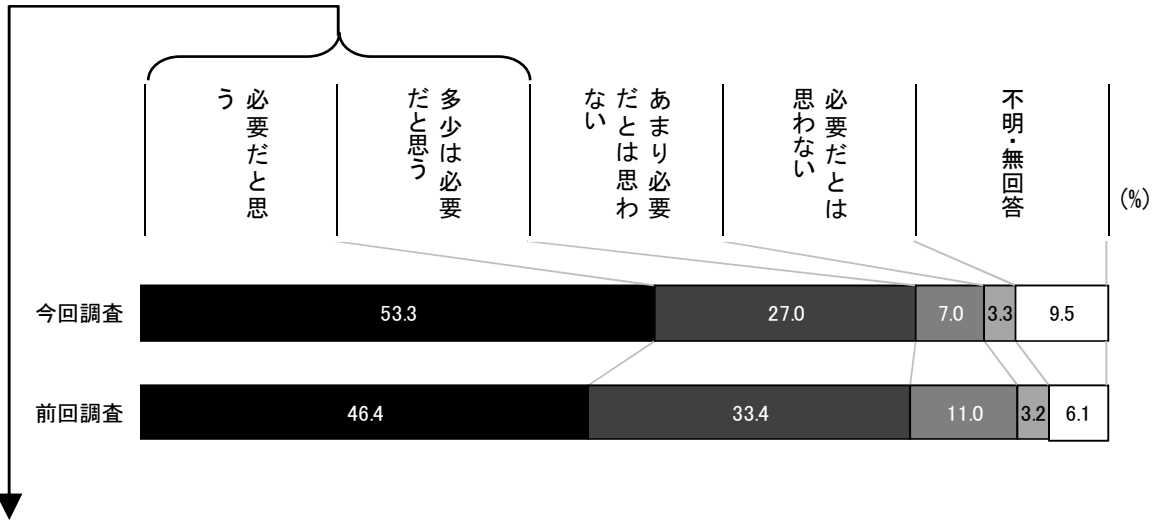
世帯構成別で見ると、【ひとり暮らし】の場合、「日ごろから助け合っている」との回答が全体平均を上回っており、近所付き合いの程度が深くなっています。

近所付き合いの必要性別で見ると、【必要だと思う】と回答した方の場合、「日ごろから助け合っている」との回答が全体平均を大幅に上回っています。

(2) 近所付き合いの必要性

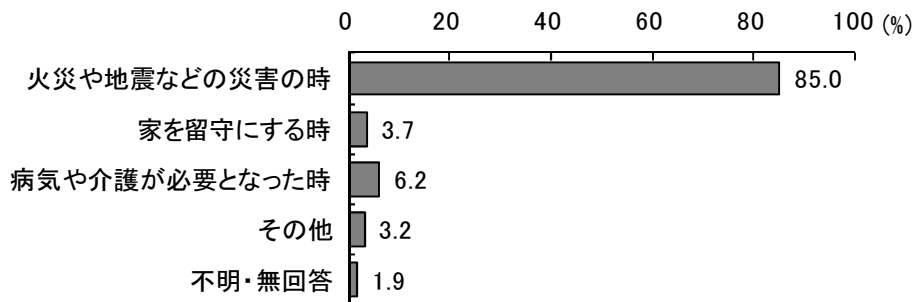
問10 あなたは、ご近所の方とお付き合いは必要だと思いますか。(○は1つ)

☆近所付き合いの必要性は約8割の方が“必要”と回答



問10-1 特にどのような時に必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

☆「火災や地震などの災害の時」が8割台半ばでトップ



調査結果の傾向

近所付き合いの必要性（問10）、必要だと思う時（問10-1）について、おうかがいしました。

まず、近所付き合いの必要性を聞いたところ、「必要だと思う」（53.3%）が最多で、「多少は必要だと思う」（27.0%）を合わせると、80.3%の方が“必要性”を感じています。

次に、“必要”と感じている方にその内容を聞いたところ、「火災や地震などの災害の時」（85.0%）が最多で、突出して多くなっています。

他調査結果との比較（71ページ 問6参照）

【第1号被保険者調査】の結果と比べて、“必要”と感じている方の割合は多くなっています。

前回調査結果との比較

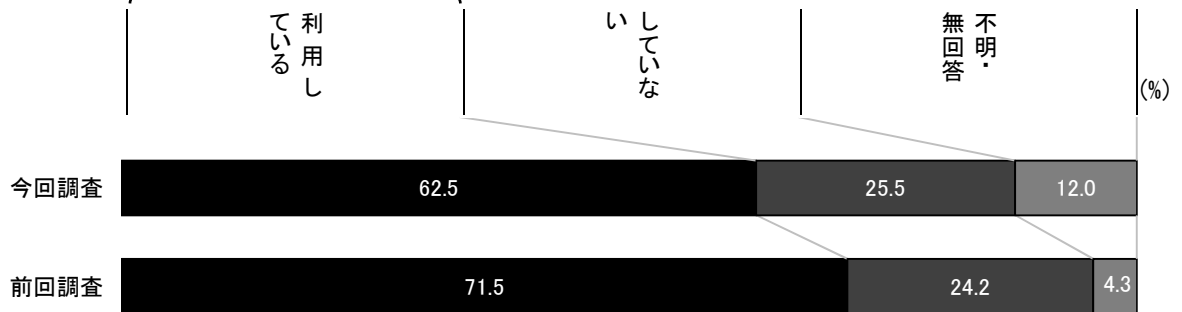
前回調査と比較すると、「必要だと思う」が増えています。

1-5 介護保険サービスの利用状況・利用意向

(1) 介護保険サービスの利用状況

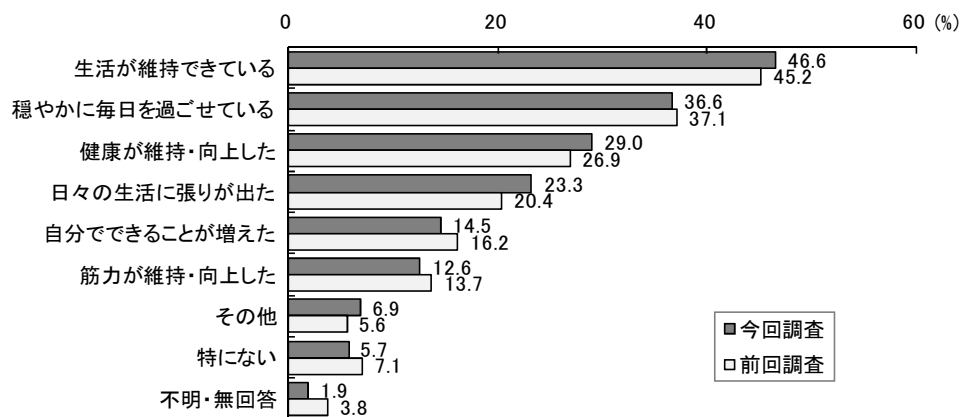
問11 あなたは現在、ご自宅で介護保険サービスを利用していますか。(〇は1つ)

☆ 6割以上の方が介護保険サービスを「利用している」と回答



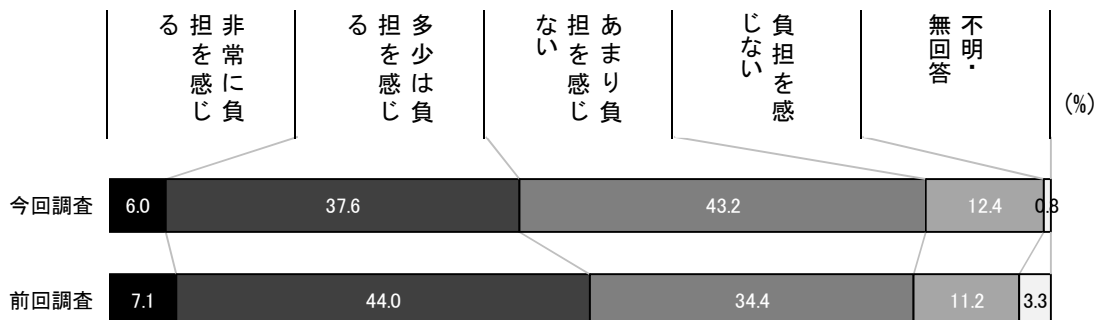
問11-1 介護保険サービスを利用したことにより、生活の中で良くなったと感じることはありますか。(〇は3つ以内)

☆ 「生活が維持できている」が4割台後半でトップ



問11-2 現在のサービス利用料の自己負担額についてどのように感じていますか。(〇は1つ)

☆ 「あまり負担を感じない」が4割台前半でトップ



調査結果の傾向

自宅での介護保険サービスの利用状況（問11）、利用したことによる生活の中での効果（問11-1）、サービス利用料の自己負担額の負担感（問11-2）について、おうかがいしました。

まず、自宅での介護保険サービスの利用状況を聞いたところ、「利用している」は62.5%となっています。

次に、利用したことによる生活の中での効果を聞いたところ、「特にない」との回答は5.7%、「不明・無回答」は1.9%となっていることから、9割以上の利用者が何らかの効果を感じていることがうかがえます。具体的な内容としては「生活が維持できている」（46.6%）が最多となっています。

次に、利用した場合のサービス利用料の自己負担額の負担感を聞いたところ、「あまり負担を感じない」（43.2%）が最多となっていますが、「非常に負担を感じる」（6.0%）と「多少は負担を感じる」（37.6%）を合わせると、43.6%の方が“負担を感じる”と回答しています。

前回調査結果との比較

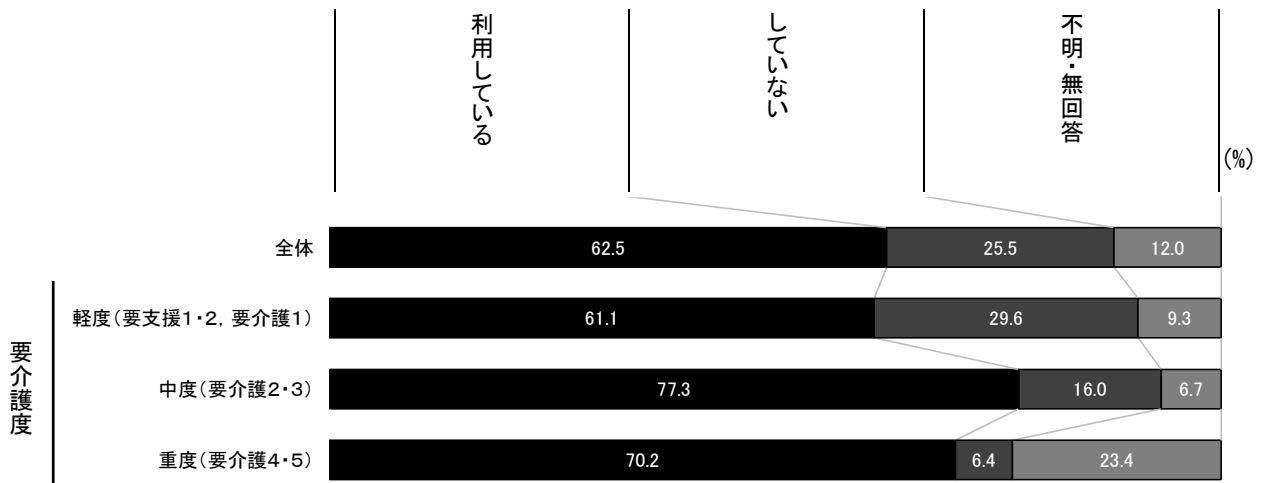
前回調査と比較すると、介護サービスの利用により生活の中で良くなっていることについては大きな変化はみられず、おおむね同様の結果となっています。

サービス利用料の自己負担感については、“負担を感じる”の割合は減り、“負担を感じない”の割合が増加しています。

クロス集計分析

自宅での介護保険サービスの利用状況について、要介護度別で見ると、【中度（要介護2・3）】の場合、利用割合は77.3%で最も多くなっています。

利用したことによる生活の中での効果について、要介護度別で見ると、「生活が維持できている」については、【軽度（要支援1・2、要介護1）】の場合、全体平均を上回っています。



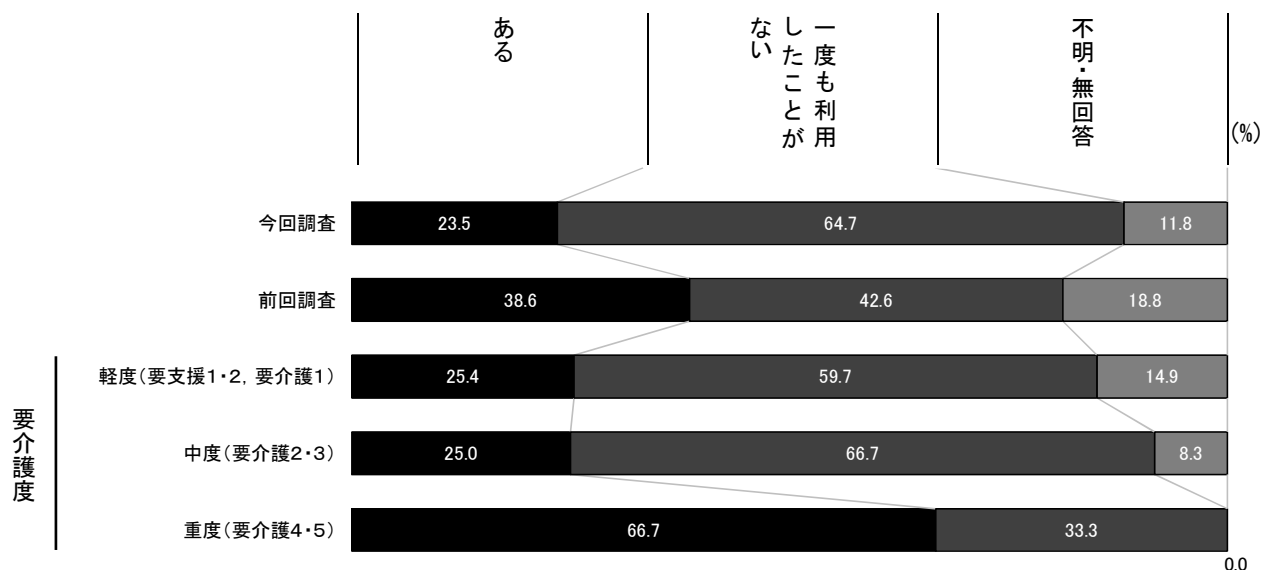
(%)

		回答者数 (件)	生活が維持でき ている	穏やかに毎日 過ごせている	健康が維持・向 上した	日々の生活に張 りが出た	自分でできるこ とが増えた	筋力が維持・向 上した	その他	特 に ない	不明・無 回答
全体		250	46.8	37.2	29.6	25.2	14.4	12.4	6.8	6.0	2.0
要 介 護 度	軽度(要支援1・2, 要介護1)	138	47.8	34.1	30.4	26.8	16.7	13.8	8.7	2.9	1.4
	中度(要介護2・3)	58	44.8	34.5	19.0	27.6	13.8	10.3	3.4	10.3	1.7
	重度(要介護4・5)	33	45.5	48.5	36.4	15.2	6.1	9.1	6.1	9.1	-

(2) (未利用者) 過去の介護保険サービスの利用経験の有無

問12 (現在、介護保険サービスを利用していない方のみ)
 今までに一度でも介護保険サービスを利用したことがありますか。(○は1つ)

☆介護保険サービスを利用した経験の「ある」方は2割台前半



調査結果の傾向

現在介護保険サービスを利用していない方に、過去の介護保険サービスの利用経験(問12)を聞いたところ、「ある」との回答は23.5%となっています。

前回調査結果との比較

前回調査と比較すると、過去に介護保険サービスの利用経験のある方が減少しています。

クロス集計分析

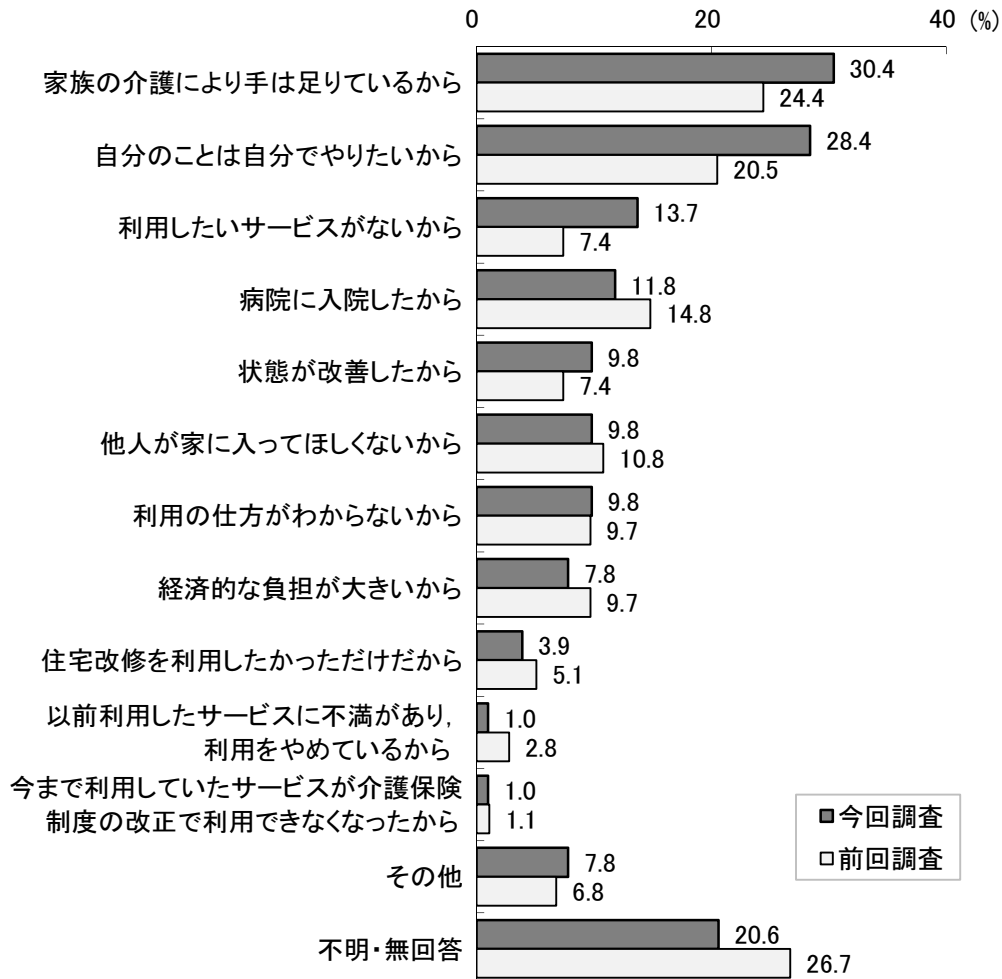
要介護度別で見ると、要介護度が高いほど、過去に介護保険サービスの利用経験がある方の割合が高くなっています。【重度(要介護4・5)】の場合、利用経験は66.7%となっています。

(3) (未利用者) 現在、介護保険サービスを利用していない理由

問13 (現在、介護保険サービスを利用していない方のみ)

現在、介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

☆介護保険サービスを利用していない理由は、「家族の介護により手は足りているから」がトップ



調査結果の傾向

現在、介護保険サービスを利用していない方にその理由(問13)を聞いたところ、「家族の介護により手は足りているから」(30.4%)が最多で、次いで「自分のことは自分でやりたいから」(28.4%)と続きます。

前回調査結果との比較

前回調査と比較すると、「家族の介護により手は足りているから」と「自分のことは自分でやりたいから」が3割前後と、前回調査よりも増えています。

(4) 今後の利用意向

問14 (すべての方) 今後の利用にあたって、「現状のまま利用を続けたい」、「回数や日数を減らしたい」、「回数や日数を増やしたい」サービスがありますか。また、現在は利用していないが、「新たに利用したい」、「サービスの内容を知りたい」サービスはありますか。該当するサービスごとに、いずれか1つに○をつけてください。(介護予防サービスを含む)

☆サービスの内容を知りたいのは、「訪問看護」「居宅療養管理指導」「住宅改修」「小規模多機能型居宅介護」「夜間対応型訪問介護」「認知症対応型通所介護」が約1割

	現状のまま利用を続けたい	回数や日数を減らしたい	回数や日数を増やしたい	新たに利用したい	サービスの内容を知りたい	該当する項目がない	不明・無回答
(1)訪問介護(身体介護中心)	11.0	0.3	1.3	2.8	8.5	25.8	50.5
(2)訪問介護(生活援助中心)	19.3	0.5	1.5	3.5	8.0	21.5	45.8
(3)訪問入浴介護	9.3	0.3	0.5	2.8	6.5	24.8	56.0
(4)訪問リハビリテーション	10.5	0.3	0.5	3.0	9.3	23.8	52.8
(5)訪問看護	8.5	0.5	0.5	2.0	10.5	24.3	53.8
(6)居宅療養管理指導	5.0	0.0	0.8	2.8	11.5	23.0	57.0
(7)通所介護(デイサービス)	26.3	0.8	4.3	2.5	5.8	17.8	42.8
(8)通所リハビリテーション(デイケア)	16.5	0.3	2.0	2.8	6.8	21.5	50.3
(9)短期入所生活介護(ショートステイ)	8.3	0.0	2.3	4.3	7.0	22.0	56.3
(10)短期入所療養介護(ショートステイ)	3.8	0.3	1.3	2.8	7.8	24.5	59.8
(11)福祉用具貸与(レンタル)・購入	26.8	-	-	3.8	6.0	14.8	48.8
(12)住宅改修	-	-	-	3.3	10.0	25.0	61.8
(13)小規模多機能型居宅介護	2.5	0.3	0.0	2.3	12.0	25.5	57.5
(14)夜間対応型訪問介護	1.8	0.3	0.3	3.0	10.5	25.3	59.0
(15)認知症対応型通所介護	3.3	0.3	0.0	1.8	11.8	25.5	57.5

調査結果の傾向

今後の利用意向(問14)を聞いたところ、サービスの内容を知りたいものとしては、「訪問看護」「居宅療養管理指導」「住宅改修」「小規模多機能型居宅介護」「夜間対応型訪問介護」「認知症対応型通所介護」がそれぞれ約1割となっています。新たに利用したいサービスとしては、「短期入所生活介護」「福祉用具貸与・購入」「訪問介護(生活援助中心)」の順で多くなっています。

クロス集計分析

サービスの今後の利用意向を要介護度別で見ると、利用継続意向が多いサービスは、【重度(要介護4・5)】の方の福祉用具貸与・購入、【中度(要介護2・3)】と【重度(要介護4・5)】の方の通所介護、【中度(要介護2・3)】の方の福祉用具貸与・購入の順となっています。次に、回数や日数を減らしたい意向は、どのサービスとも1%前後とわずかとなっています。また、回数や日数を増やしたい意向は、【重度(要介護4・5)】の方の通所リハビリテーションが約1割で最多となっています。

(%)

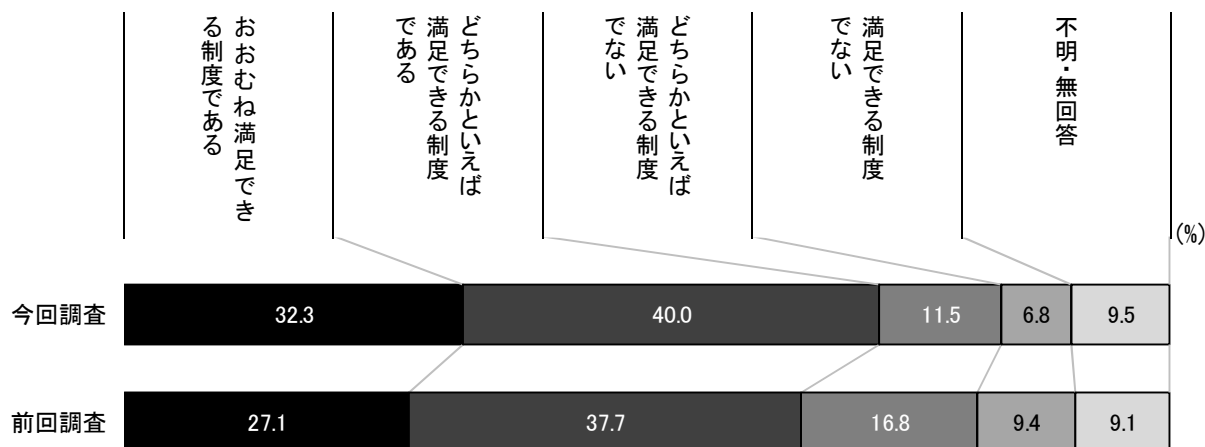
			(回 答者 数 件)	た 利 用 を の 続 け ま す	現 状 を ま け ま す	回 数 を 減 ら し た 数	回 数 を 増 や し た 数	新 た に 利 用 し た 数	内 容 を 知 り ま す	サ ー ビ ス の 目 的 が あ る と 思 わ れ ま す	不 明 ・ 無 回 答
(1)訪問介護(身体介護中心)	要 介 護 度	全体	400	11.0	0.3	1.3	2.8	8.5	25.8	50.5	
		軽度(要支援1・2, 要介護1)	226	7.1	0.4	0.9	2.7	5.8	28.8	54.4	
		中度(要介護2・3)	75	18.7	-	-	4.0	12.0	24.0	41.3	
		重度(要介護4・5)	47	21.3	-	6.4	4.3	17.0	19.1	31.9	
(2)訪問介護(生活援助中心)	要 介 護 度	全体	400	19.3	0.5	1.5	3.5	8.0	21.5	45.8	
		軽度(要支援1・2, 要介護1)	226	21.2	0.4	1.3	3.1	5.3	21.7	46.9	
		中度(要介護2・3)	75	13.3	-	2.7	5.3	13.3	20.0	45.3	
		重度(要介護4・5)	47	23.4	-	-	4.3	10.6	25.5	36.2	
(3)訪問入浴介護	要 介 護 度	全体	400	9.3	0.3	0.5	2.8	6.5	24.8	56.0	
		軽度(要支援1・2, 要介護1)	226	3.5	-	-	3.5	4.4	28.8	59.7	
		中度(要介護2・3)	75	18.7	-	2.7	2.7	9.3	21.3	45.3	
		重度(要介護4・5)	47	27.7	-	-	2.1	10.6	21.3	38.3	
(4)訪問リハビリテーション	要 介 護 度	全体	400	10.5	0.3	0.5	3.0	9.3	23.8	52.8	
		軽度(要支援1・2, 要介護1)	226	5.8	-	0.9	3.1	8.4	25.7	56.2	
		中度(要介護2・3)	75	17.3	-	-	1.3	10.7	25.3	45.3	
		重度(要介護4・5)	47	25.5	-	-	8.5	10.6	19.1	36.2	
(5)訪問看護	要 介 護 度	全体	400	8.5	0.5	0.5	2.0	10.5	24.3	53.8	
		軽度(要支援1・2, 要介護1)	226	4.9	-	-	1.8	9.3	25.7	58.4	
		中度(要介護2・3)	75	13.3	-	-	2.7	12.0	26.7	45.3	
		重度(要介護4・5)	47	25.5	-	4.3	-	17.0	21.3	31.9	
(6)居宅療養管理指導	要 介 護 度	全体	400	5.0	-	0.8	2.8	11.5	23.0	57.0	
		軽度(要支援1・2, 要介護1)	226	1.3	-	-	2.7	8.8	25.2	61.9	
		中度(要介護2・3)	75	10.7	-	1.3	1.3	18.7	24.0	44.0	
		重度(要介護4・5)	47	14.9	-	2.1	6.4	17.0	17.0	42.6	
(7)通所介護(デイサービス)	要 介 護 度	全体	400	26.3	0.8	4.3	2.5	5.8	17.8	42.8	
		軽度(要支援1・2, 要介護1)	226	19.5	0.4	4.0	2.7	5.8	19.5	48.2	
		中度(要介護2・3)	75	54.7	1.3	5.3	2.7	5.3	9.3	21.3	
		重度(要介護4・5)	47	29.8	-	8.5	2.1	4.3	23.4	31.9	
(8)通所リハビリテーション(デイケア)	要 介 護 度	全体	400	16.5	0.3	2.0	2.8	6.8	21.5	50.3	
		軽度(要支援1・2, 要介護1)	226	14.6	-	0.9	2.2	6.2	23.9	52.2	
		中度(要介護2・3)	75	26.7	-	1.3	6.7	8.0	16.0	41.3	
		重度(要介護4・5)	47	14.9	-	10.6	-	4.3	27.7	42.6	
(9)短期入所生活介護(ショートステイ)	要 介 護 度	全体	400	8.3	-	2.3	4.3	7.0	22.0	56.3	
		軽度(要支援1・2, 要介護1)	226	4.0	-	1.3	3.5	6.6	25.2	59.3	
		中度(要介護2・3)	75	20.0	-	6.7	4.0	9.3	17.3	42.7	
		重度(要介護4・5)	47	14.9	-	2.1	12.8	8.5	19.1	42.6	
(10)短期入所療養介護(ショートステイ)	要 介 護 度	全体	400	3.8	0.3	1.3	2.8	7.8	24.5	59.8	
		軽度(要支援1・2, 要介護1)	226	0.4	-	0.9	0.9	6.2	27.9	63.7	
		中度(要介護2・3)	75	9.3	-	4.0	5.3	10.7	20.0	50.7	
		重度(要介護4・5)	47	10.6	-	-	8.5	12.8	25.5	42.6	
(11)福祉用具貸与(レンタル)・購入	要 介 護 度	全体	400	26.8			3.8	6.0	14.8	48.8	
		軽度(要支援1・2, 要介護1)	226	18.6			4.0	4.9	18.6	54.0	
		中度(要介護2・3)	75	42.7			5.3	9.3	8.0	34.7	
		重度(要介護4・5)	47	59.6			2.1	6.4	6.4	25.5	
(12)住宅改修	要 介 護 度	全体	400				3.3	10.0	25.0	61.8	
		軽度(要支援1・2, 要介護1)	226				4.4	8.4	24.3	62.8	
		中度(要介護2・3)	75				2.7	14.7	26.7	56.0	
		重度(要介護4・5)	47				-	14.9	31.9	53.2	
(13)小規模多機能型居宅介護	要 介 護 度	全体	400	2.5	0.3	-	2.3	12.0	25.5	57.5	
		軽度(要支援1・2, 要介護1)	226	0.9	0.4	-	0.9	8.8	28.3	60.6	
		中度(要介護2・3)	75	5.3	-	-	5.3	21.3	20.0	48.0	
		重度(要介護4・5)	47	6.4	-	-	4.3	14.9	27.7	46.8	
(14)夜間対応型訪問介護	要 介 護 度	全体	400	1.8	0.3	0.3	3.0	10.5	25.3	59.0	
		軽度(要支援1・2, 要介護1)	226	0.9	0.4	-	2.2	9.3	25.2	61.9	
		中度(要介護2・3)	75	2.7	-	1.3	4.0	16.0	25.3	50.7	
		重度(要介護4・5)	47	4.3	-	-	6.4	12.8	31.9	44.7	
(15)認知症対応型通所介護	要 介 護 度	全体	400	3.3	0.3	-	1.8	11.8	25.5	57.5	
		軽度(要支援1・2, 要介護1)	226	1.3	-	-	1.3	10.2	26.5	60.6	
		中度(要介護2・3)	75	5.3	1.3	-	2.7	16.0	24.0	50.7	
		重度(要介護4・5)	47	8.5	-	-	2.1	17.0	29.8	42.6	

1-6 介護保険制度の評価

(1) 介護保険制度の満足度

問15 あなたは、介護保険制度についてどのように思いますか。(○は1つ)

☆介護保険制度について7割以上の方が“満足できる制度である”と回答



調査結果の傾向

介護保険制度の満足度（問15）を聞いたところ、「どちらかといえば満足できる制度である」（40.0%）が最多で、「おおむね満足できる制度である」（32.3%）と合わせると、72.3%の方が“満足できる制度”と評価しています。

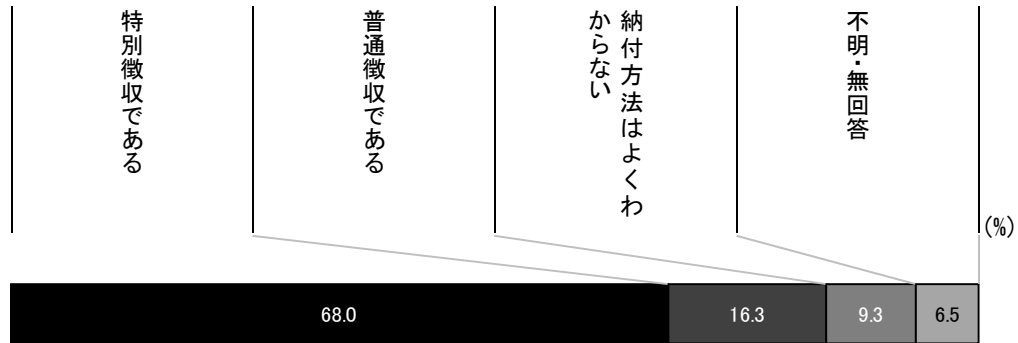
前回調査結果との比較

前回調査と比較すると、“満足できる制度”と評価している方の割合は増えています。

(2) 介護保険料の納付方法

問16 あなたは、ご自分の「介護保険料の納付方法」をご存知ですか。(〇は1つ)

☆介護保険料納付方法について、「特別徴収」が7割弱でトップ



調査結果の傾向

介護保険料の納付方法（問16）を聞いたところ、「特別徴収である」（68.0%）が最も多く、次いで「普通徴収である」（16.3%）、「納付方法はよくわからない」（9.3%）の順となっています。

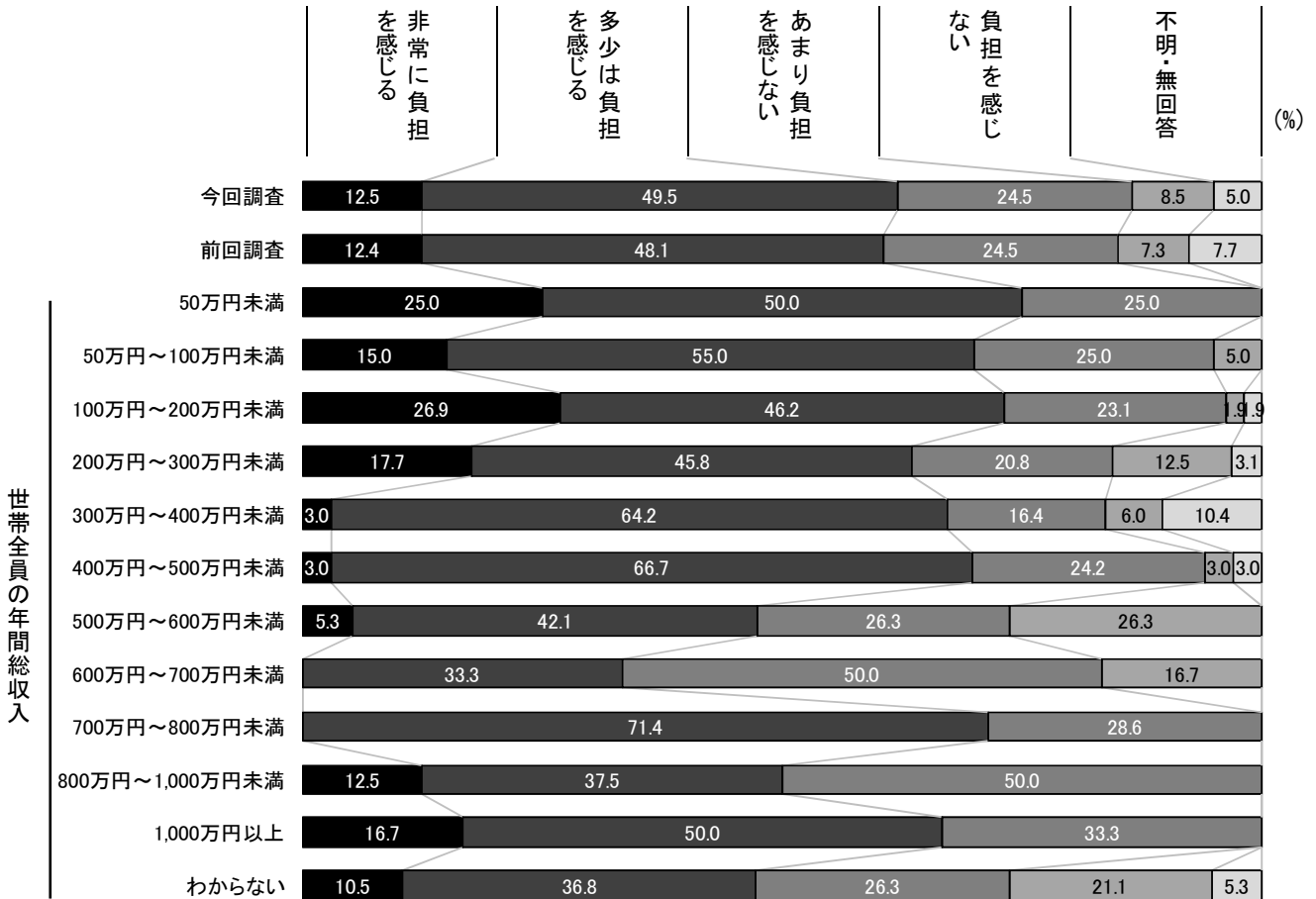
他調査結果との比較（92ページ 問21参照）

【第1号被保険者調査】の結果と比べて、「特別徴収である」の方が少なくなっています。

(3) 介護保険料の負担感

問17 あなたは、現在の介護保険料についてどのように感じていますか。(○は1つ)

☆現在の介護保険料は、6割強の方が“負担を感じる”と回答



調査結果の傾向

介護保険料の負担感（問17）を聞いたところ、「多少は負担を感じる」（49.5%）が最多で、「非常に負担を感じる」（12.5%）を合わせると、62.0%の方が“負担を感じる”と回答しています。

他調査結果との比較（93ページ 問22参照）

【第1号被保険者調査】の結果に比べて，“負担を感じる”方の割合は少なくなっています。

前回調査結果との比較

前回調査と比較すると、おおむね同様の結果となっています。

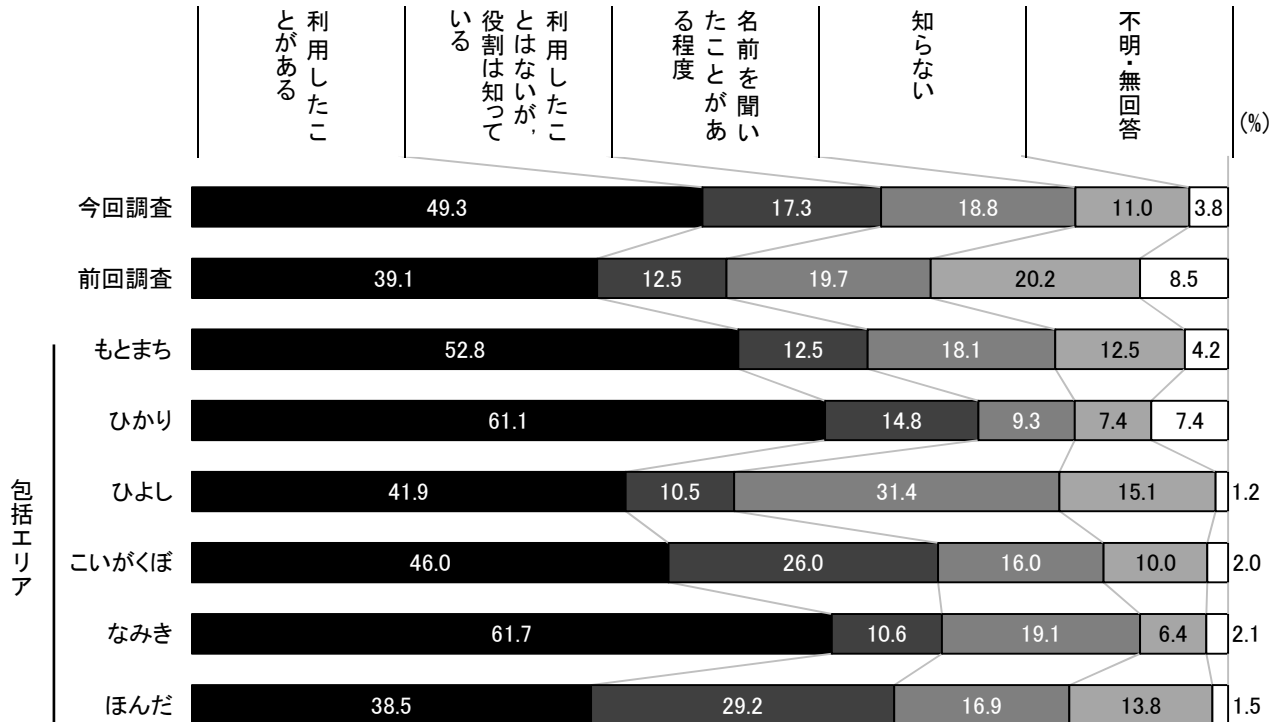
クロス集計分析

世帯全員の年間総収入別で見ると、「50万円未満」と「100万円～200万円未満」の場合、「非常に負担を感じる」が全体平均を大幅に上回っています。

(4) 高齢者の相談窓口の周知度

問18 あなたは、高齢者の相談窓口として、地域包括支援センターをご存知ですか。(〇は1つ)

☆5割弱の方が地域包括支援センターを「利用したことがある」と回答



調査結果の傾向

地域包括支援センターの認知度（問18）について、おうかがいしました。

地域包括支援センターの認知度を聞いたところ、「利用したことがある」（49.3%）が最多で、「知らない」（11.0%）、「不明・無回答」（3.8%）を除くと、認知度は8割強となっています。

他の調査結果との比較（95ページ 問23参照）

【第1号被保険者調査】の結果と比べて、地域包括支援センターの認知度は高くなっています。（第1号被保険者調査58.9%、要介護（要支援）認定者（在宅）及び家族等介護者調査85.4%）

前回調査結果との比較

前回調査と比較すると、「利用したことがある」が増加し、「知らない」はおよそ半減しています。

クロス集計分析

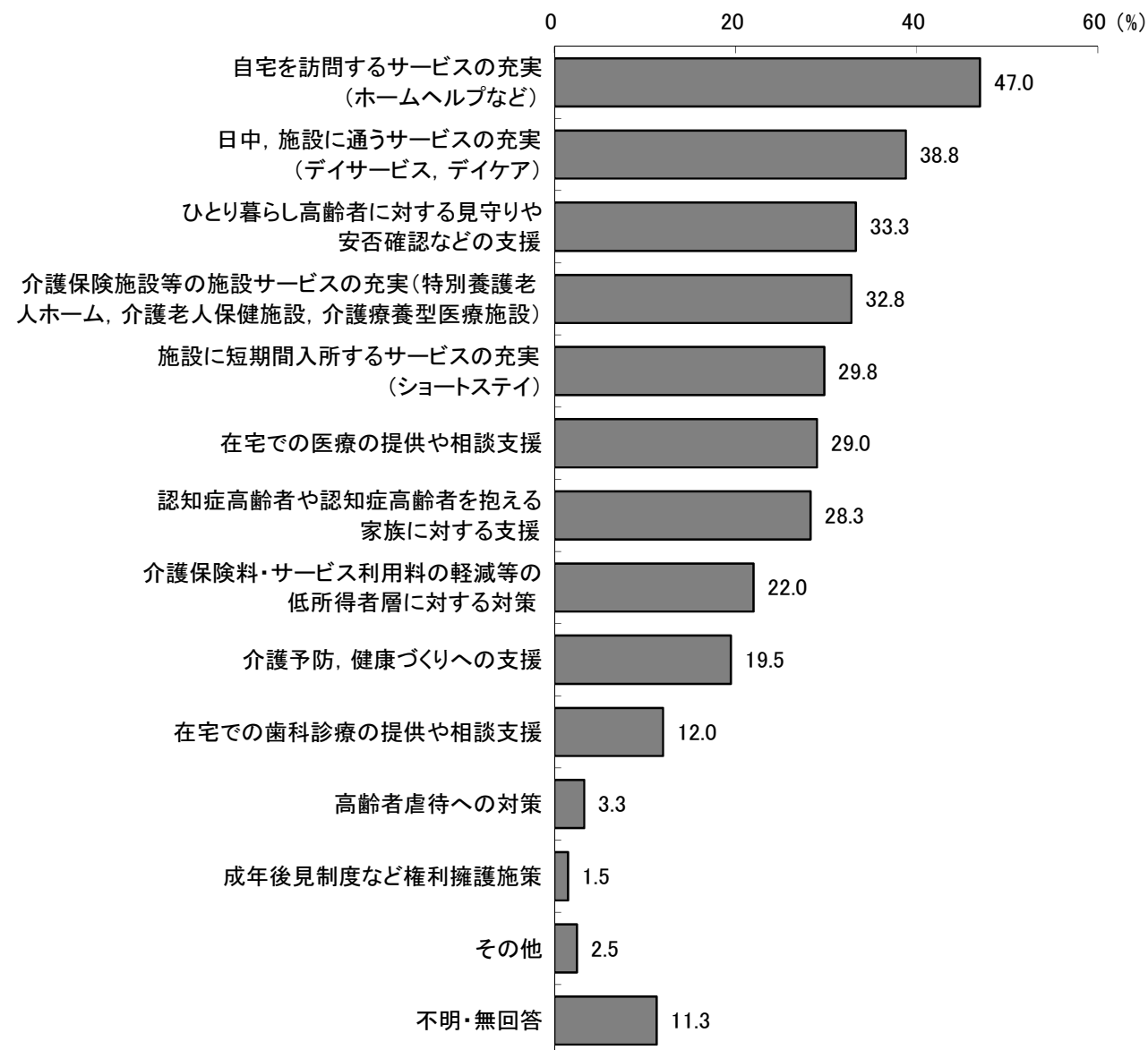
包括エリア別で見ると、地域包括支援センターの認知度は、おおむねいずれのエリアでも8割から9割と、地区による差はあまりない結果となっています。

1-7 要支援・要介護の方を支える施策や支援

(1) 要支援・要介護の方を支える大切だと思う施策や支援

問19 要支援・要介護の方を支える施策や支援で、特に大切だと思うものはどれですか。(〇は5つ以内)

☆施策や支援で大切なことは、「自宅を訪問するサービスの充実」が4割台後半でトップ



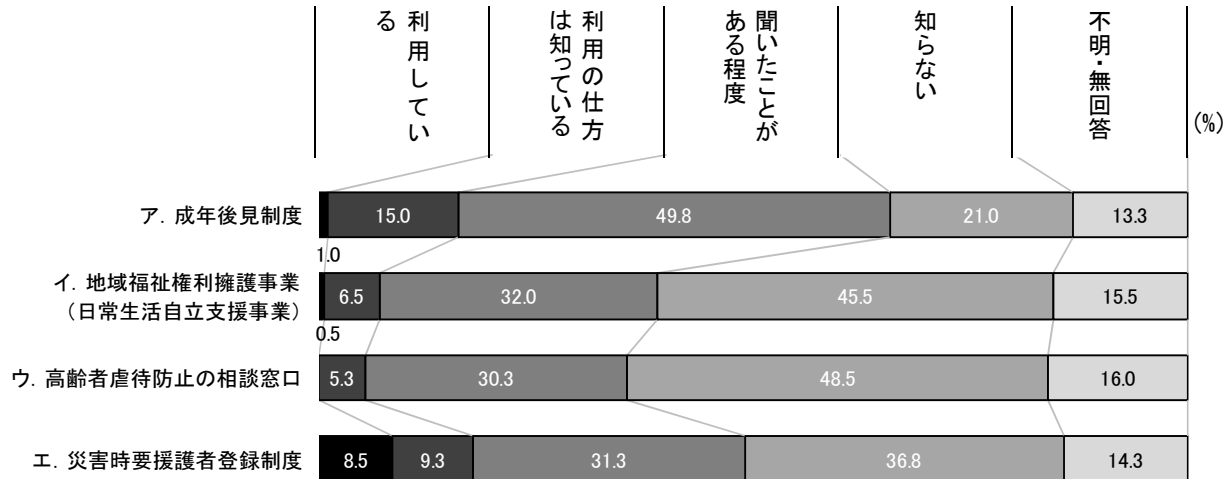
調査結果の傾向

特に大切だと思う要支援・要介護の方を支える施策や支援(問19)を聞いたところ、「自宅を訪問するサービスの充実」(47.0%)が最多で、次いで「日中、施設に通うサービスの充実」(38.8%)、「ひとり暮らし高齢者に対する見守りや安否確認などの支援」(33.3%)、「介護保険施設等の施設サービスの充実」(32.8%)と続きます。訪問サービス、通所サービス、施設サービス及びひとり暮らし高齢者に対する支援が上位に並んでいます。

(2) 制度や事業の認知度

問20 あなたは、次の制度や事業について、どの程度知っていますか。(〇はそれぞれ1つずつ)

☆認知度で最も多いのは「成年後見制度」で6割台半ば



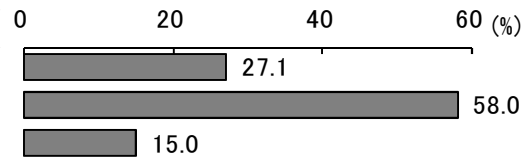
調査結果の傾向

制度や事業の認知状況（問20）を聞いたところ、成年後見制度では「知らない」（21.0%）、「不明・無回答」（13.3%）も除くと認知度は最も高く、6割台半ばとなります。認知度はそれぞれ地域福祉権利擁護事業では39.0%、高齢者虐待防止の相談窓口では35.6%、災害時要援護者登録制度では49.1%となります。「利用している」で最も多いのは災害時要援護者登録制度で8.5%となっています。また、地域福祉権利擁護事業と高齢者虐待防止の相談窓口では「知らない」が4割以上で半数近い回答となります。

1-8 主介護者の状況

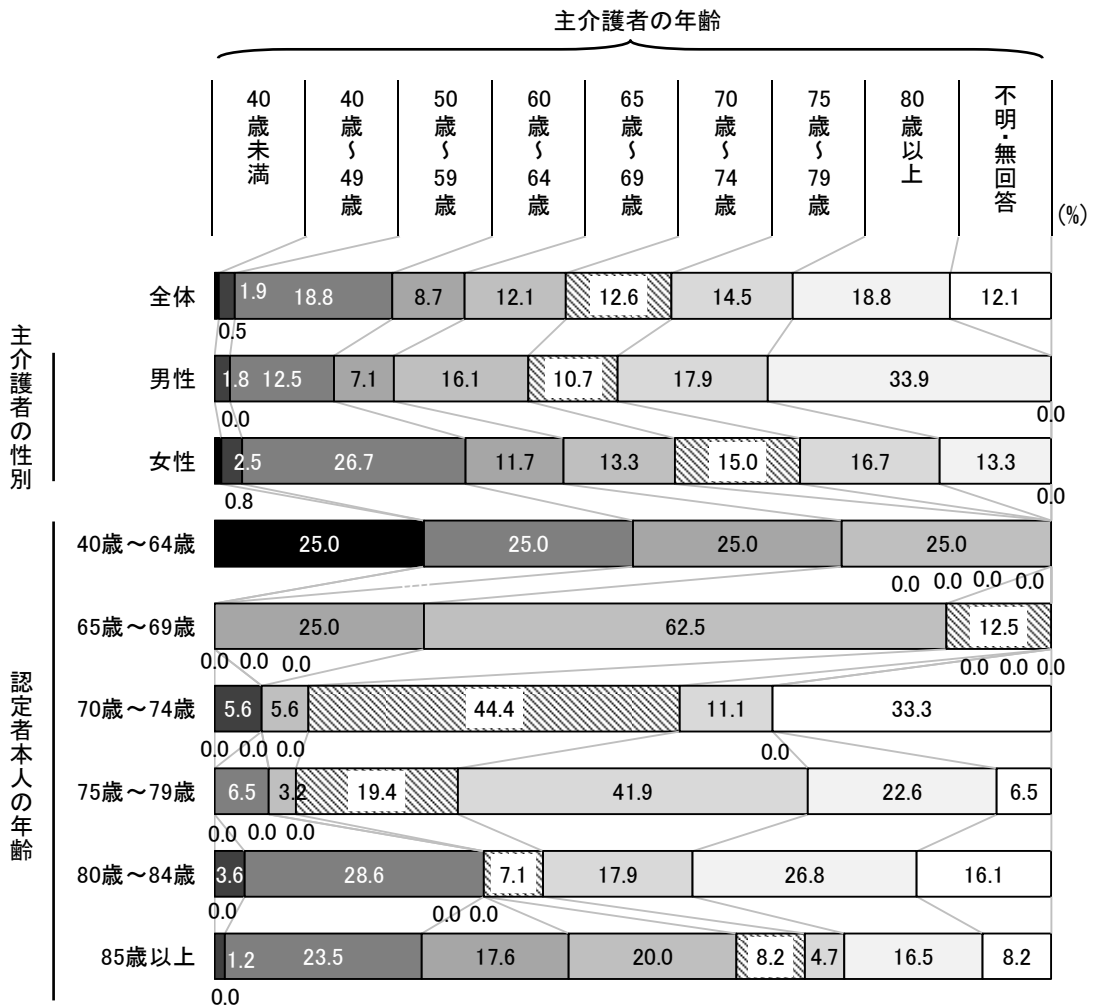
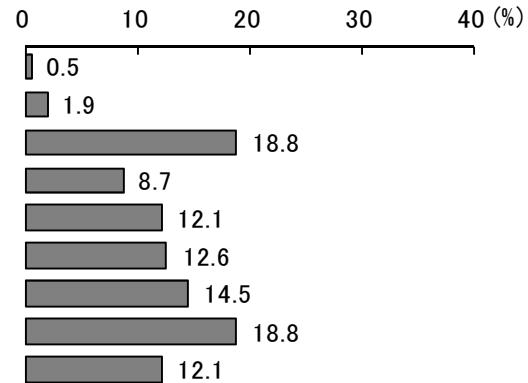
(1) 性別

カテゴリー名	基数	構成比
男性	56	27.1
女性	120	58.0
不明・無回答	31	15.0
全体	207	-



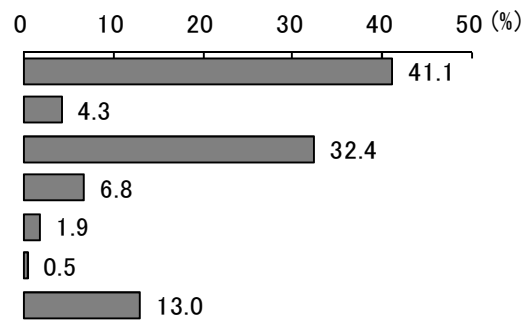
(2) 年齢

カテゴリー名	基数	構成比
40歳未満	1	0.5
40歳～49歳	4	1.9
50歳～59歳	39	18.8
60歳～64歳	18	8.7
65歳～69歳	25	12.1
70歳～74歳	26	12.6
75歳～79歳	30	14.5
80歳以上	39	18.8
不明・無回答	25	12.1
全体	207	-



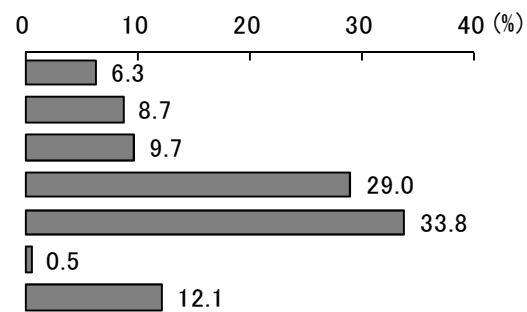
(3) ご本人との続柄

カテゴリー名	基数	構成比
配偶者	85	41.1
兄弟姉妹, 親	9	4.3
子ども, 孫	67	32.4
子どもの配偶者, 孫の配偶者	14	6.8
親族	4	1.9
その他	1	0.5
不明・無回答	27	13.0
全体	207	-



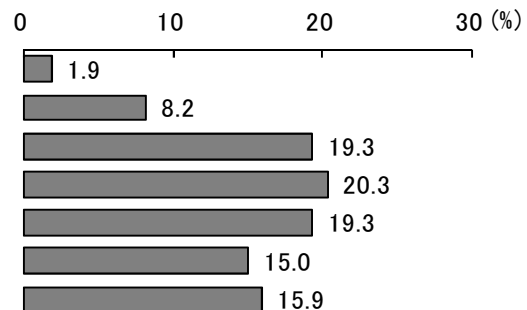
(4) 職業 (介護者)

カテゴリー名	基数	構成比
自営業・自由業	13	6.3
勤め人	18	8.7
パート・アルバイト	20	9.7
専業主婦(夫)	60	29.0
無職	70	33.8
その他	1	0.5
不明・無回答	25	12.1
全体	207	-



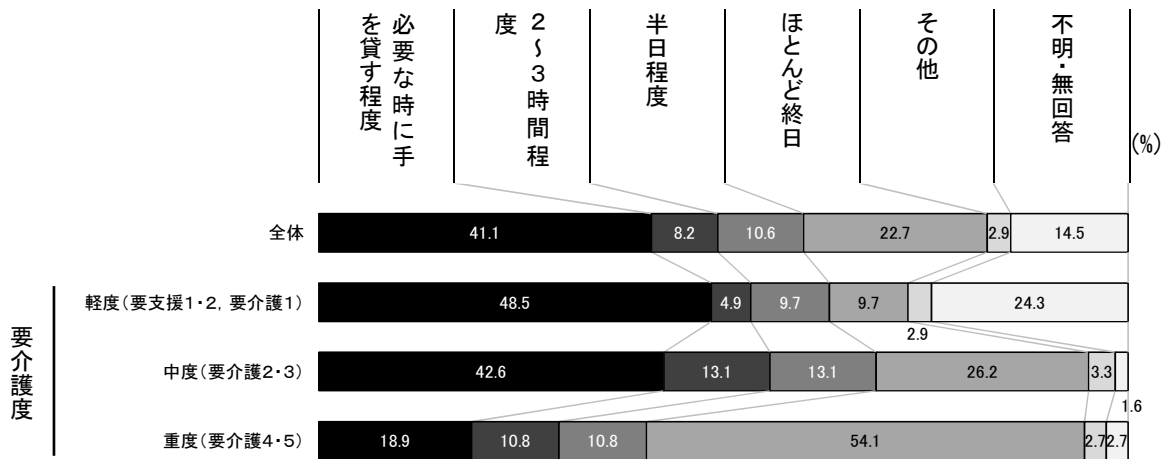
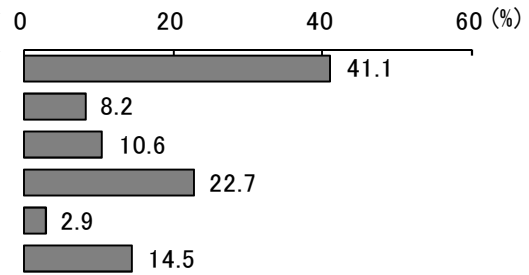
(5) 介護年数

カテゴリー名	基数	構成比
半年未満	4	1.9
半年以上1年未満	17	8.2
1年以上3年未満	40	19.3
3年以上5年未満	42	20.3
5年以上10年未満	40	19.3
10年以上	31	15.0
不明・無回答	33	15.9
全体	207	-



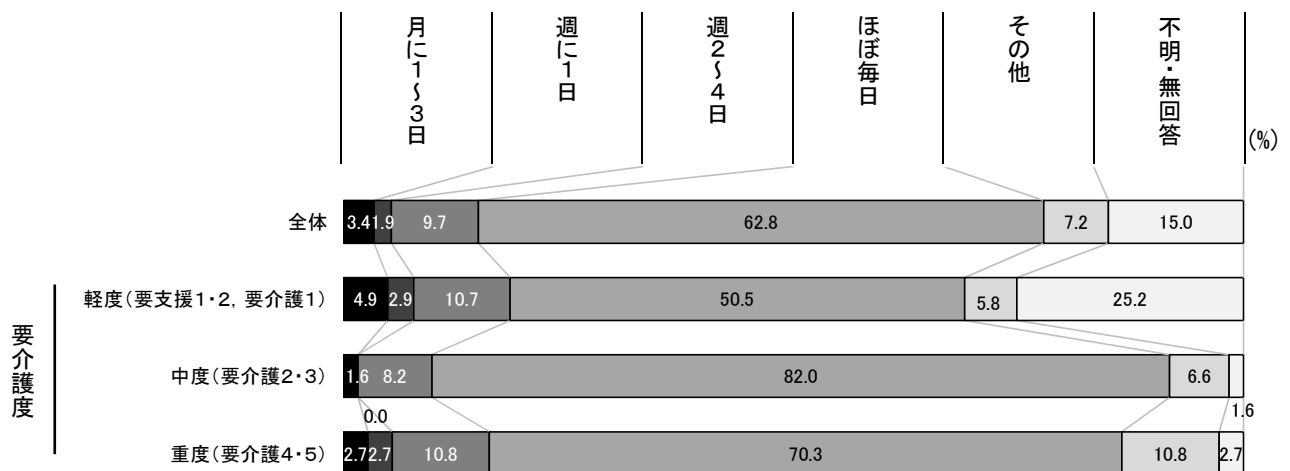
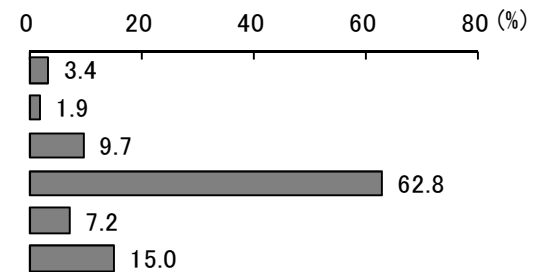
(6) 介護時間

カテゴリー名	基数	構成比
必要な時に手を貸す程度	85	41.1
2～3時間程度	17	8.2
半日程度	22	10.6
ほとんど終日	47	22.7
その他	6	2.9
不明・無回答	30	14.5
全体	207	-



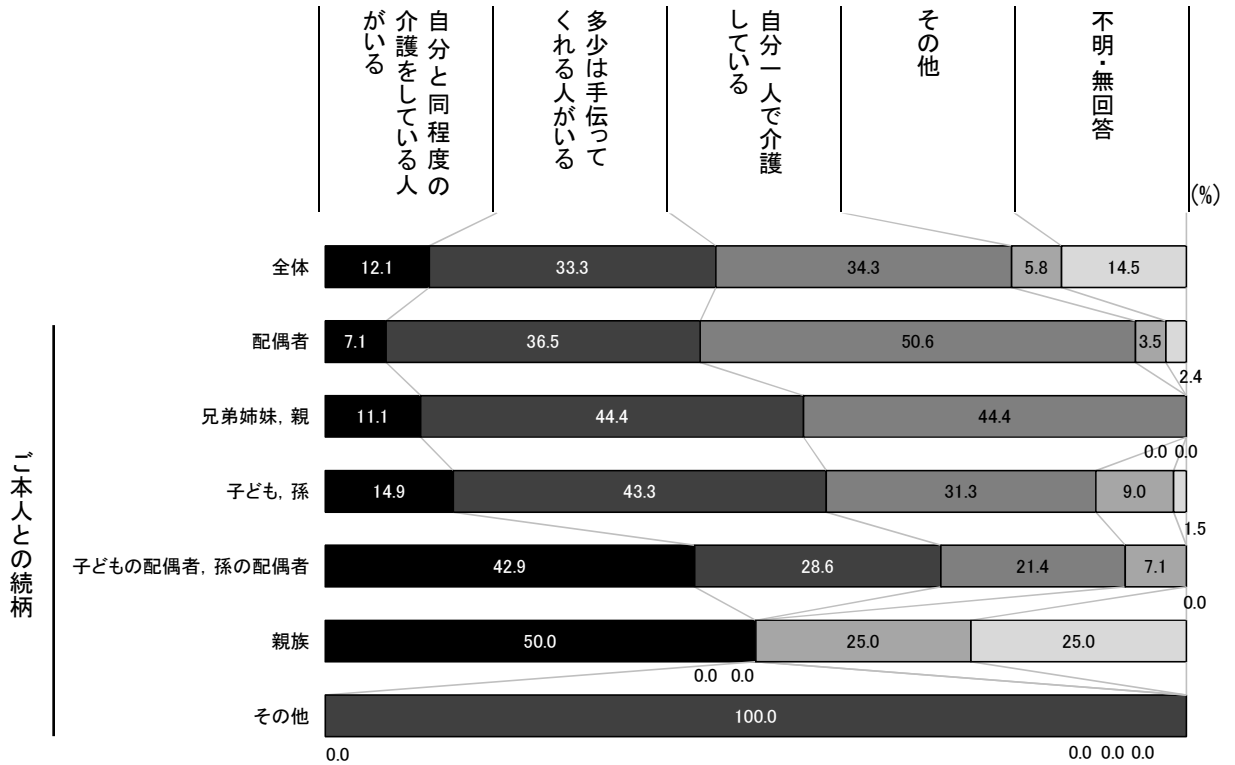
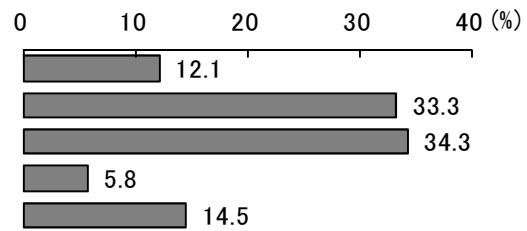
(7) 介護頻度

カテゴリー名	基数	構成比
月に1～3日	7	3.4
週に1日	4	1.9
週2～4日	20	9.7
ほぼ毎日	130	62.8
その他	15	7.2
不明・無回答	31	15.0
全体	207	-



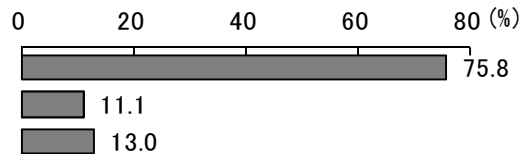
(8) 主介護者以外に介護に携わっている人の有無

カテゴリー名	基数	構成比
自分と同程度の介護をしている人がいる	25	12.1
多少は手伝ってくれる人がいる	69	33.3
自分一人で介護している	71	34.3
その他	12	5.8
不明・無回答	30	14.5
全体	207	-



(9) 本人との同居

カテゴリー名	基数	構成比
同居している	157	75.8
同居していない	23	11.1
不明・無回答	27	13.0
全体	207	-

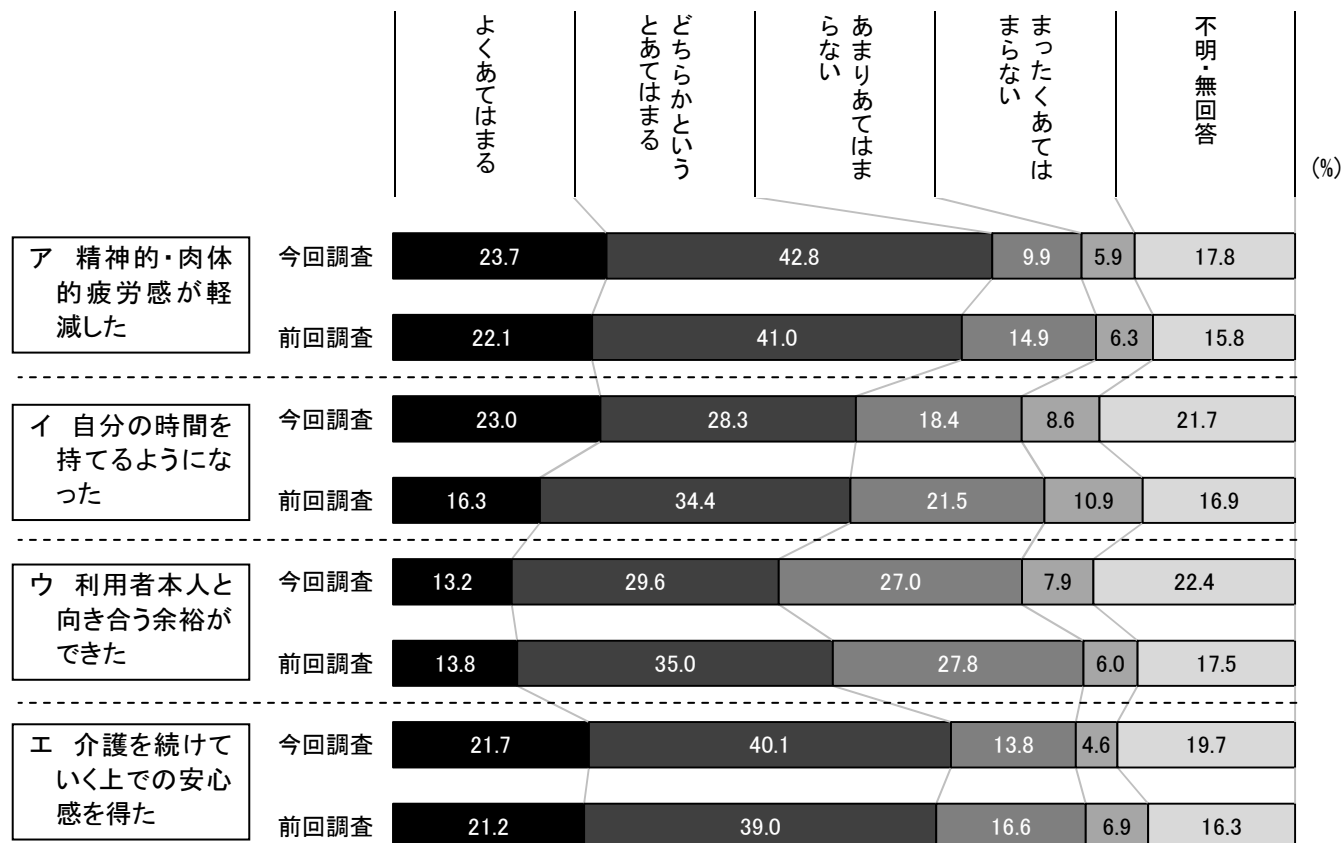


1-9 介護の状況（主介護者）

（1）（利用者）サービス利用による介護負担の変化

問21 ご本人が介護保険サービスを利用することにより、主介護者のあなたの介護負担に変化がありましたか。ア～エの各項目について、最も近いものをそれぞれ1つずつ選んで○をつけてください。

☆精神的・肉体的疲労感の軽減について、6割台後半が“あてはまる”と回答



調査結果の傾向

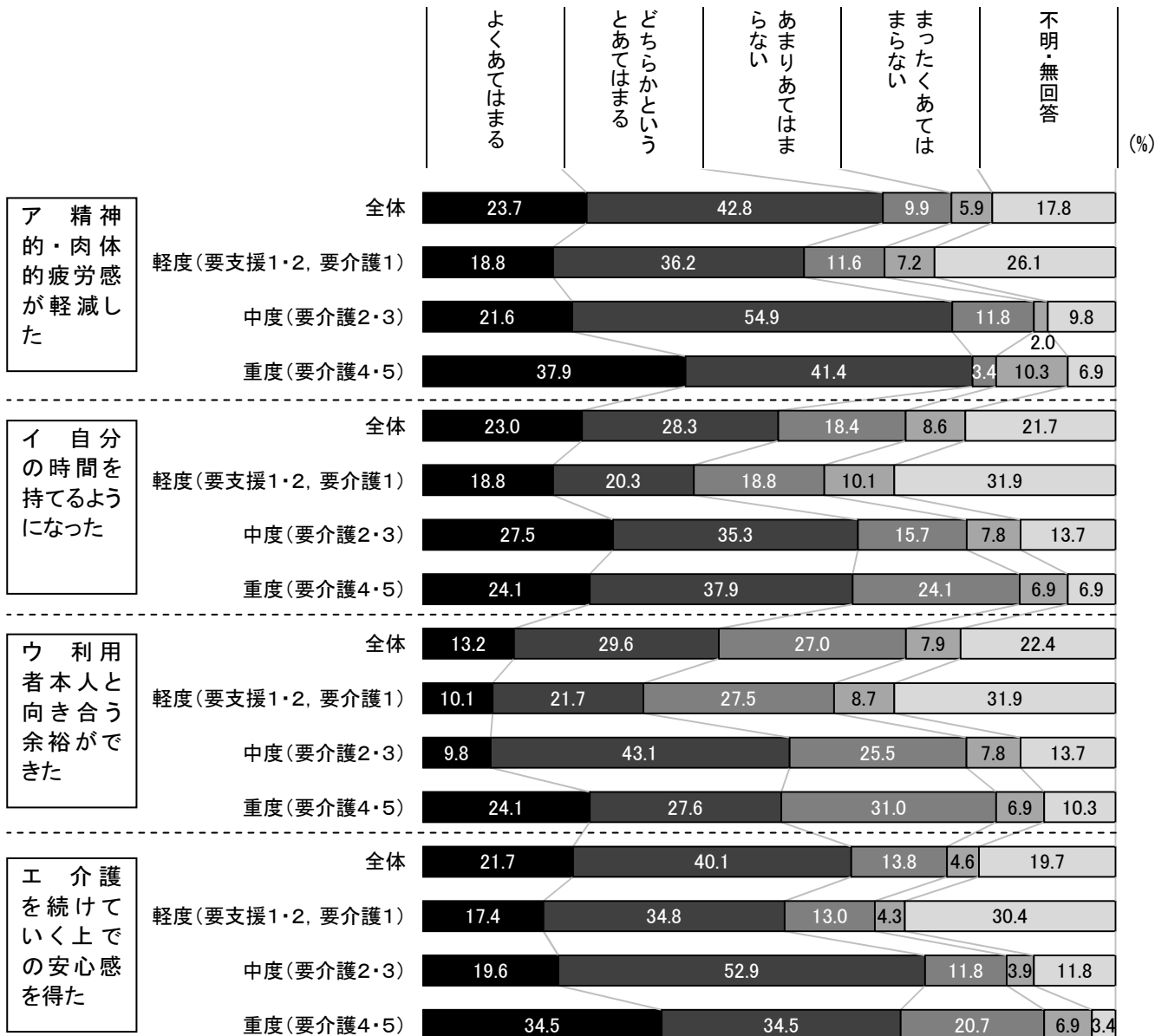
介護サービスを利用している方の主介護者に対して、介護保険サービスを利用することによる主介護者の介護負担の変化（問21）を聞いたところ、「ア 精神的・肉体的疲労感が軽減した」、「エ 介護を続けていく上での安心感を得た」の2項目で、「よくあてはまる」と「どちらかというとあてはまる」を合わせた“あてはまる”との回答が6割を超えています。

前回調査結果との比較

前回調査との比較では、「ウ 利用者本人と向き合う余裕ができた」の項目で、“あてはまる”の回答がやや減っていますが、おおむね同様の結果となっています。

クロス集計分析

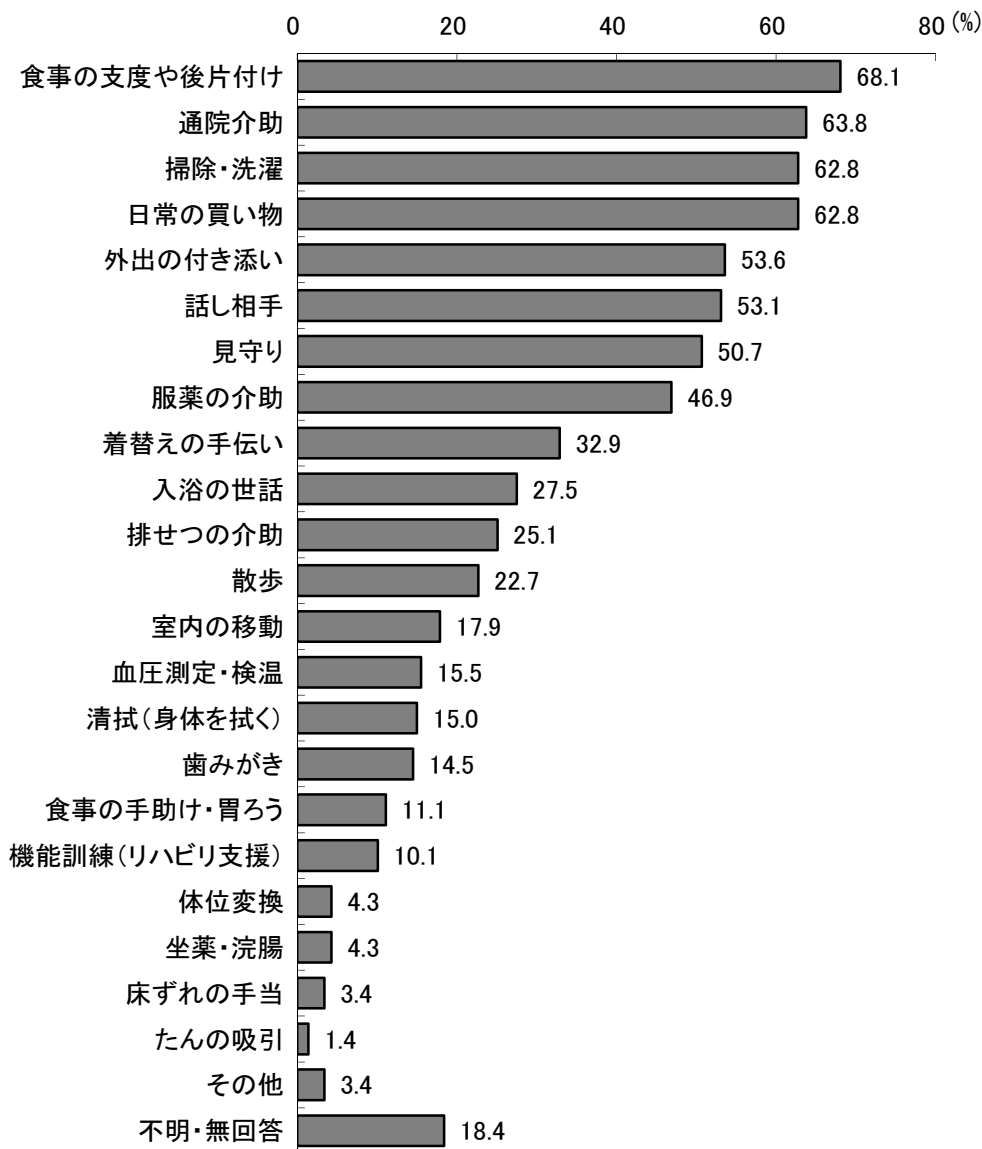
要介護度別に見ると、「ア 精神的・肉体的疲労感が軽減した」の項目は要介護度があがるほど“あてはまる”の割合が多くなりますが、それ以外の項目では【中度（要介護2・3）】と【重度（要介護4・5）】の“あてはまる”の割合は同等か、あるいは【重度（要介護4・5）】の割合が少ない傾向がみられる一方、【中度（要介護2・3）】に比べて「あまりあてはまらない」の割合が多くなっています。



(2) 介護・介助の内容

問22 現在、主介護者のあなたが、ご本人のために介護や介助している内容は何か。(あてはまるものすべてに○)

☆介護・介助の内容は、「食事の支度や後片付け」が6割台後半でトップ



調査結果の傾向

主介護者が行っている介護や介助内容(問22)を聞いたところ、「食事の支度や後片付け」(68.1%)が最多で、次いで「通院介助」(63.8%)、「掃除・洗濯」と「日常の買い物」(62.8%)と続きます。

クロス集計分析

要介護度別で見ると、【軽度（要支援1・2, 要介護1）】、【中度（要介護2・3）】の場合では「食事の支度や後片付け」が、【重度（要介護4・5）】の場合では「食事の支度や後片付け」と「掃除・洗濯」が最多となっています。

<主介護者が行っている介護や介助内容(上位20位)>

(%)

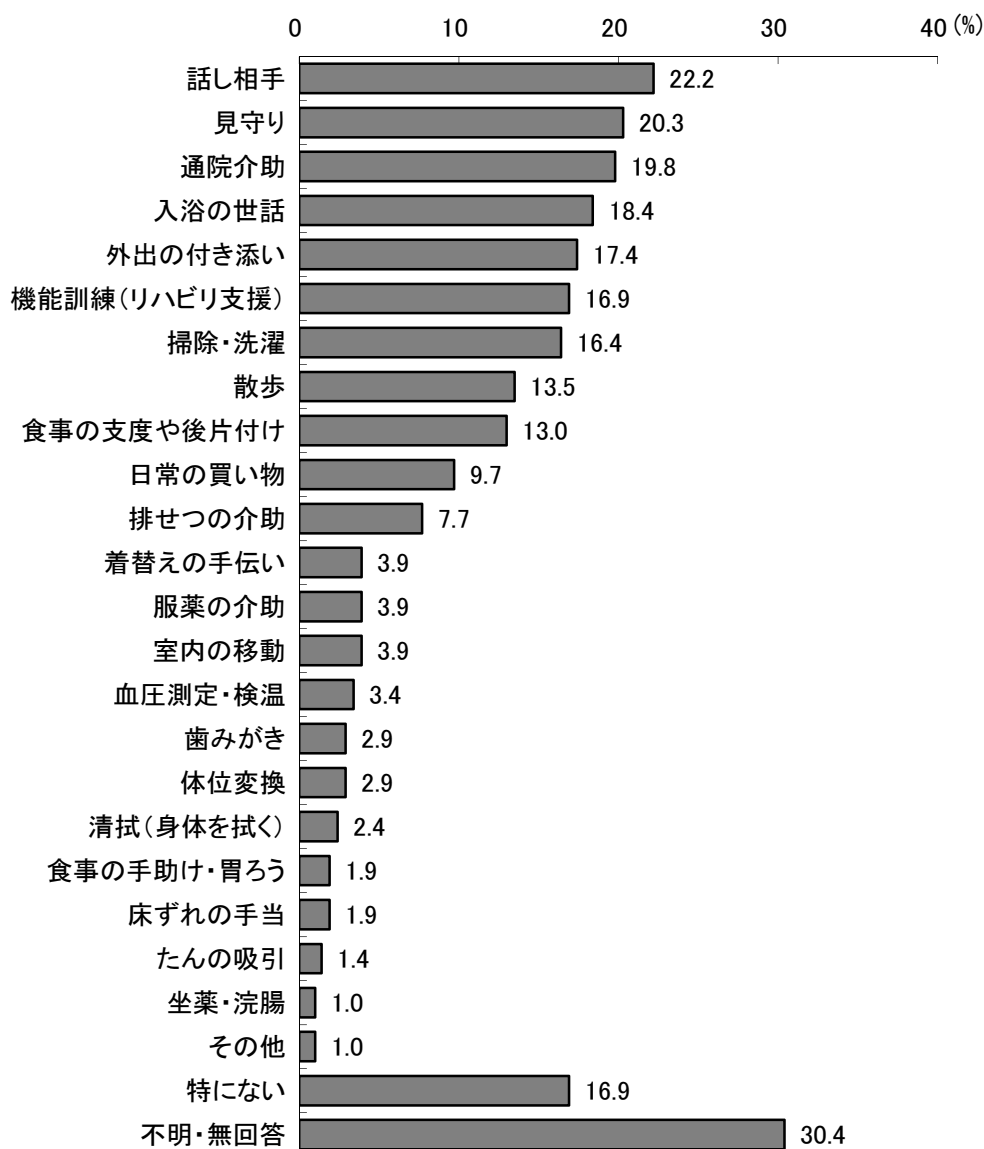
		(回答者数)	後食事の支度や片付け	通院介助	掃除・洗濯	日常の買い物	い外出の付き添	話し相手	見守り	服薬の介助	い着替えの手伝	入浴の世話
全体		207	68.1	63.8	62.8	62.8	53.6	53.1	50.7	46.9	32.9	27.5
要介護度	軽度(要支援1・2, 要介護1)	103	59.2	56.3	50.5	54.4	47.6	46.6	45.6	35.9	15.5	21.4
	中度(要介護2・3)	61	80.3	77.0	77.0	72.1	65.6	57.4	52.5	55.7	47.5	41.0
	重度(要介護4・5)	37	83.8	70.3	83.8	81.1	59.5	73.0	70.3	70.3	62.2	27.0
		(回答者数)	排せつの介助	散歩	室内の移動	温血圧測定・検	拭清拭(身体を)	歯みがき	け食事のろ手助	ハ機能訓練(リ)	体位変換	坐薬・浣腸
全体		207	25.1	22.7	17.9	15.5	15.0	14.5	11.1	10.1	4.3	4.3
要介護度	軽度(要支援1・2, 要介護1)	103	5.8	22.3	4.9	8.7	4.9	3.9	1.9	6.8	-	1.0
	中度(要介護2・3)	61	29.5	31.1	16.4	19.7	19.7	19.7	14.8	8.2	3.3	9.8
	重度(要介護4・5)	37	75.7	13.5	59.5	29.7	37.8	37.8	32.4	24.3	18.9	5.4

※網掛けは分析軸別の最大値

(3) 事業者に依頼したいもの

問23 現在、主介護者のあなたが介護や介助している内容の中で、今後事業者に依頼したいものがありますか。(※選択肢の中には、現行の介護保険制度では事業者にお願ひできないものも含まれています。)(あてはまるものすべてに○)

☆事業者に依頼したいものは、「話し相手」が2割強でトップ



調査結果の傾向

主介護者が行っている介護や介助内容で、今後事業者に依頼したいもの(問23)を聞いたところ、「話し相手」(22.2%)が最多で、次いで「見守り」(20.3%)、「通院介助」(19.8%)と続きます。

クロス集計分析

要介護度別で見ると，【軽度（要支援1・2，要介護1）】の場合，「見守り」が，【中度（要介護2・3）】の場合，「入浴の世話」が，【重度（要介護4・5）】の場合では「話し相手」が最多となっています。

<事業者に依頼したい内容（上位20位）>

(%)

	(回答者数)	話し相手	見守り	通院介助	入浴の世話	外出の付き添い	機能訓練（リハビリ支援）	掃除・洗濯	散歩	食事の支度や後片付け	日常の買い物
全体	207	22.2	20.3	19.8	18.4	17.4	16.9	16.4	13.5	13.0	9.7
要介護度	軽度(要支援1・2, 要介護1)	103	17.5	18.4	17.5	9.7	12.6	14.6	11.7	9.7	9.7
	中度(要介護2・3)	61	21.3	16.4	23.0	26.2	23.0	18.0	21.3	16.4	13.1
	重度(要介護4・5)	37	40.5	32.4	24.3	32.4	21.6	29.7	13.5	13.5	21.6

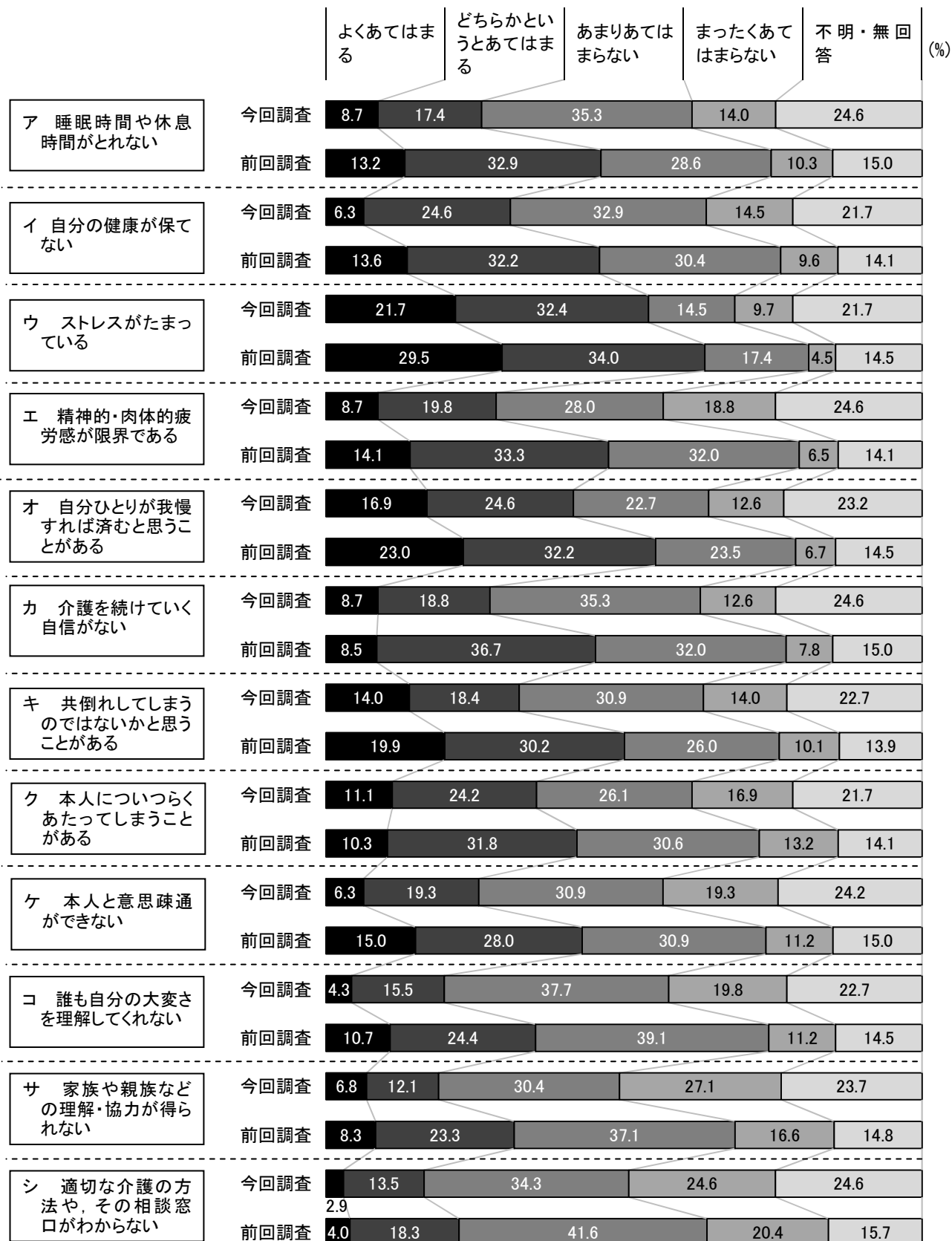
	(回答者数)	排泄の介助	着替の伝い	服薬の介助	室内の移動	検温・血圧測定	歯みがき	体位変換	清拭（身体）	食事の手洗い	床ずれの手
全体	207	7.7	3.9	3.9	3.9	3.4	2.9	2.9	2.4	1.9	1.9
要介護度	軽度(要支援1・2, 要介護1)	103	2.9	1.9	2.9	1.9	2.9	-	1.0	1.0	-
	中度(要介護2・3)	61	4.9	1.6	4.9	4.9	6.6	3.3	1.6	4.9	1.6
	重度(要介護4・5)	37	27.0	10.8	5.4	8.1	2.7	2.7	13.5	2.7	5.4

※網掛けは分析軸別の最大値

(4) 介護をする上での悩み

問24 次のア～シの各項目について、主介護者のあなたの状態や気持ちに最も近いものを、それぞれ1つずつ選んで○をつけてください。(○はそれぞれ1つずつ)

☆ストレスがたまっていることについて、5割台半ばの方が“あてはまる”と回答



調査結果の傾向

主介護者の状態や気持ちに最も近いもの（問24）を聞いたところ、「よくあてはまる」と「どちらかというにあてはまる」を合わせた“あてはまる”と4割以上の方が回答した項目は、「ウ ストレスがたまっている」（54.1%）、「オ 自分ひとりが我慢すれば済むと思うことがある」（41.5%）となっています。

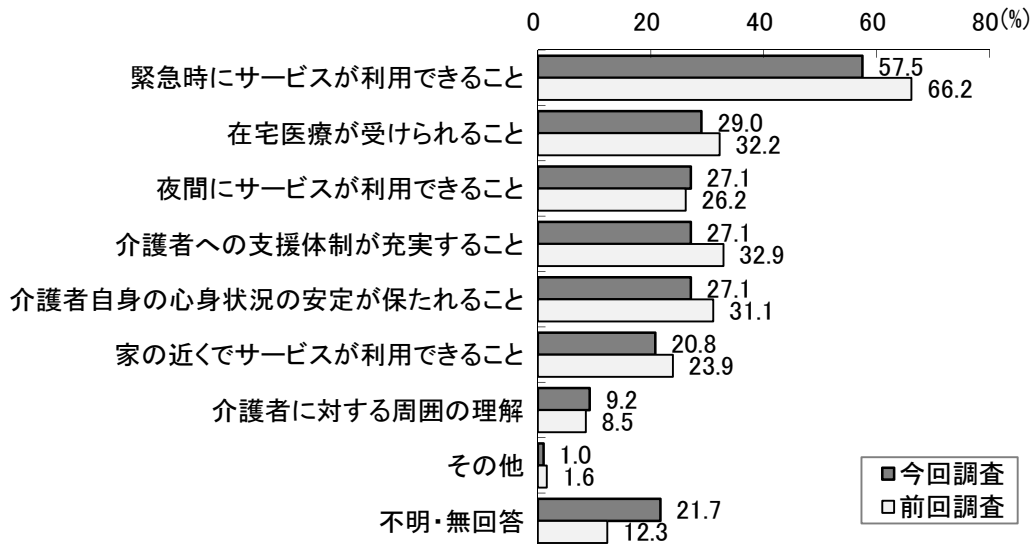
前回調査結果との比較

前回調査結果との比較では、“あてはまる”の割合は、いずれの項目でも減少している傾向がみられます。

(5) 在宅で介護する上での重要な条件

問25 ご本人を在宅で介護する上で、主介護者のあなたはどのようなことが重要だと思いますか。(〇は3つ以内)

☆「緊急時にサービスが利用できること」が約6割でトップ



調査結果の傾向

主介護者に対して、在宅で介護する上で重要なこと(問25)を聞いたところ、「緊急時にサービスが利用できること」(57.5%)が最多で、突出して多くなっています。

クロス集計分析

要介護度別で見ると、【中度(要介護2・3)】の場合では、「在宅医療が受けられること」と「夜間にサービスが利用できること」を除く項目において、全体平均を上回る結果となっています。【重度(要介護4・5)】の場合では、「介護者に対する周囲の理解」以外の項目で、全体平均を上回る結果となっています。

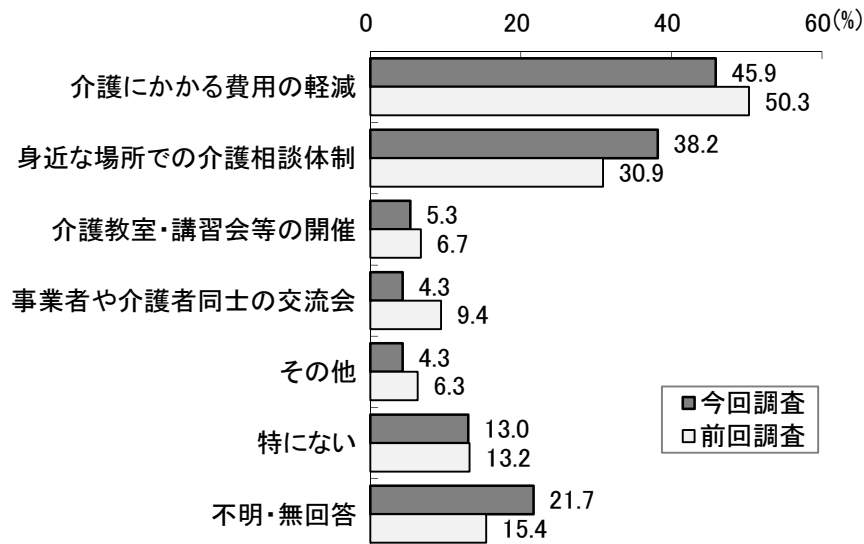
		回答者数(件)	緊急時にサービスが利用できること	在宅医療が受けられること	夜間にサービスが利用できること	介護者への支援体制が充実すること	介護者自身の心身状況が安定すること	家の近くでサービスが利用できること	介護者に対する周囲の理解	その他	不明・無回答
全体		207	57.5	29.0	27.1	27.1	27.1	20.8	9.2	1.0	21.7
要介護度	軽度(要支援1・2, 要介護1)	103	52.4	26.2	27.2	19.4	24.3	16.5	8.7	1.0	30.1
	中度(要介護2・3)	61	60.7	27.9	21.3	37.7	31.1	26.2	11.5	-	14.8
	重度(要介護4・5)	37	73.0	43.2	40.5	29.7	29.7	24.3	5.4	2.7	2.7

※網掛けは分析軸別の最大値

(6) 家族等介護者への支援内容

問26 家族等介護者に対して、どのような支援があればよいと思いますか。(〇は2つ以内)

☆介護者への支援は「介護にかかる費用の軽減」が4割台半ばでトップ



調査結果の傾向

家族等介護者に対して望まれる支援内容(問26)を聞いたところ、「介護にかかる費用の軽減」(45.9%)が最多となっています。次いで「身近な場所での介護相談体制」(38.2%)と続きます。

前回調査結果との比較

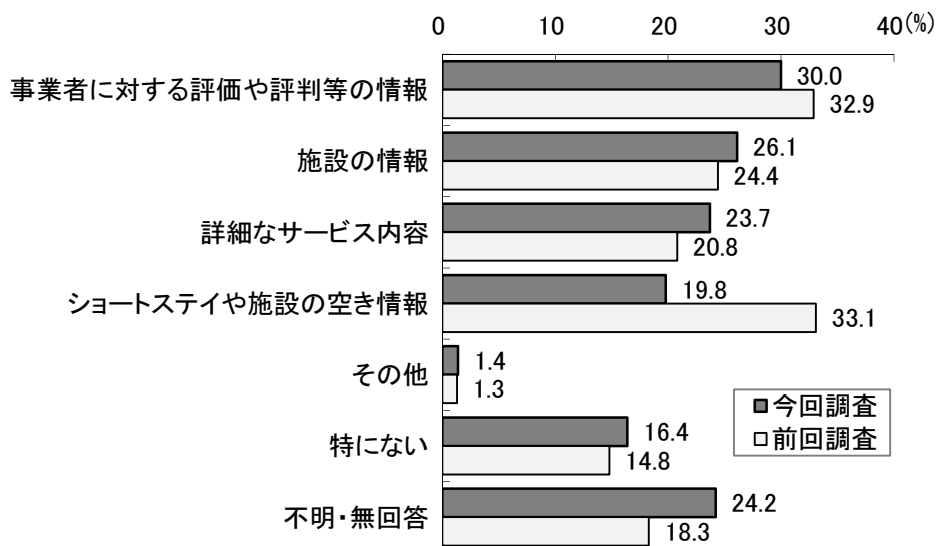
前回調査との比較では、「介護にかかる費用の軽減」の回答がわずかに減少しているものの、「身近な場所での介護相談体制」が4割弱と前回調査よりも増えています。

1-10 不足していると思われる情報やサービス（主介護者）

（1）介護保険事業者に関して不足している情報内容

問27 介護保険事業者に関する情報で、不足していると思うものはありますか。（○は2つ以内）

☆不足している情報内容は、「事業者に対する評価や評判等の情報」が3割でトップ



調査結果の傾向

介護保険事業者に関する情報で不足しているもの（問27）を聞いたところ、「事業者に対する評価や評判等の情報」（30.0%）、「施設の情報」（26.1%）との回答が多くなっています。

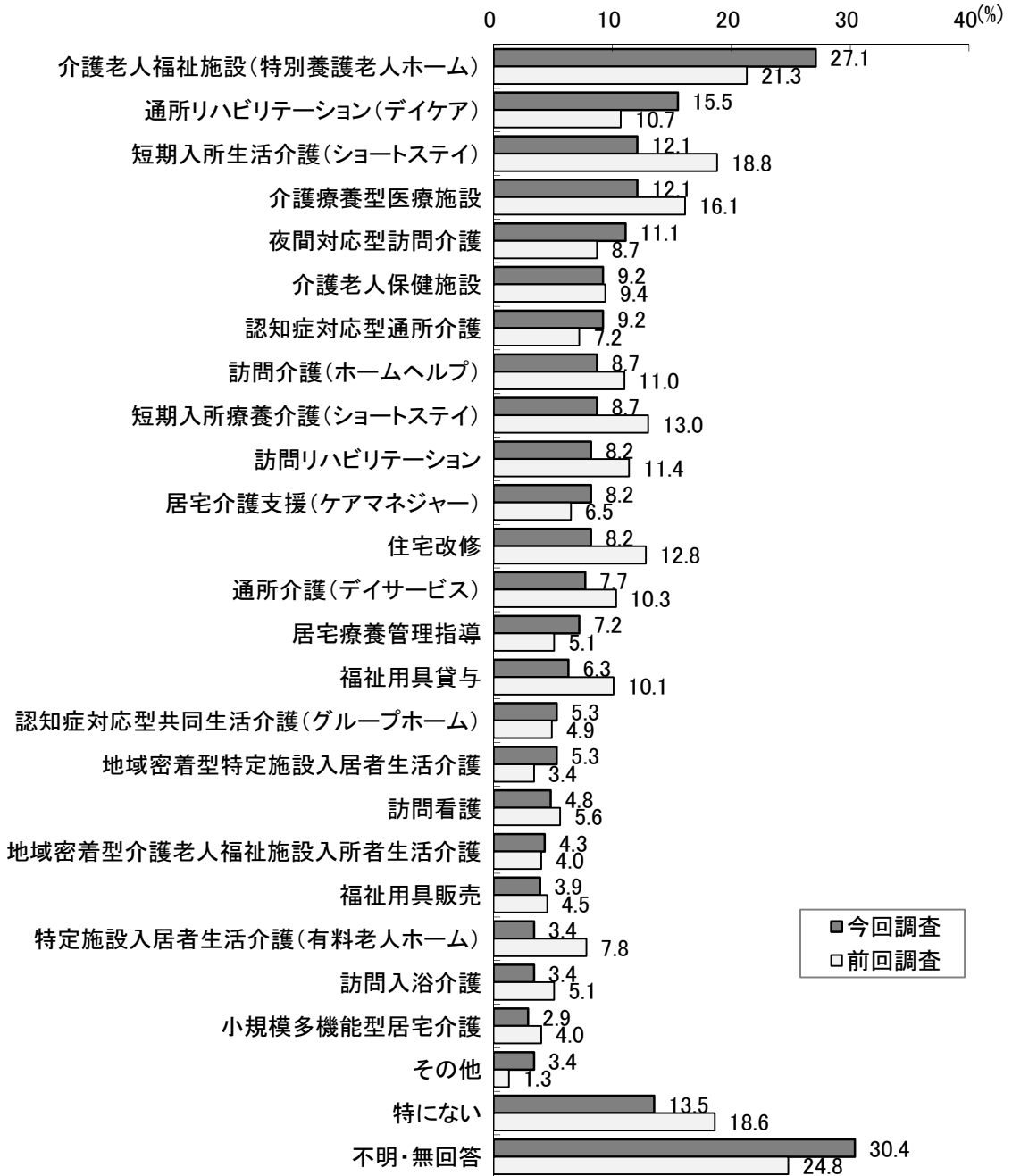
前回調査結果との比較

前回調査と比較すると、不足している情報として、前回最も多かった「ショートステイや施設の空き情報」は4位になり、前回2位の「事業者に対する評価や評判等の情報」が1位となっています。

(2) 不足あるいは利用しづらいサービス種類

問28 介護保険サービスの利用に際して、不足していると思うサービスはありますか。(介護予防サービスを含む。)(あてはまるものすべてに○)

☆不足あるいは利用しづらいサービスは、「介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)」が3割弱でトップ



調査結果の傾向

家族等介護者に、介護保険サービスの利用に際して、不足あるいは利用しづらいと思うサービス（問28）を聞いたところ、「介護老人福祉施設」（27.1%）、「通所リハビリテーション」（15.5%）、「短期入所生活介護」と「介護療養型医療施設」（12.1%）が上位を占めています。施設利用やショートステイをあげる方が比較的多くなっています。

前回調査結果との比較

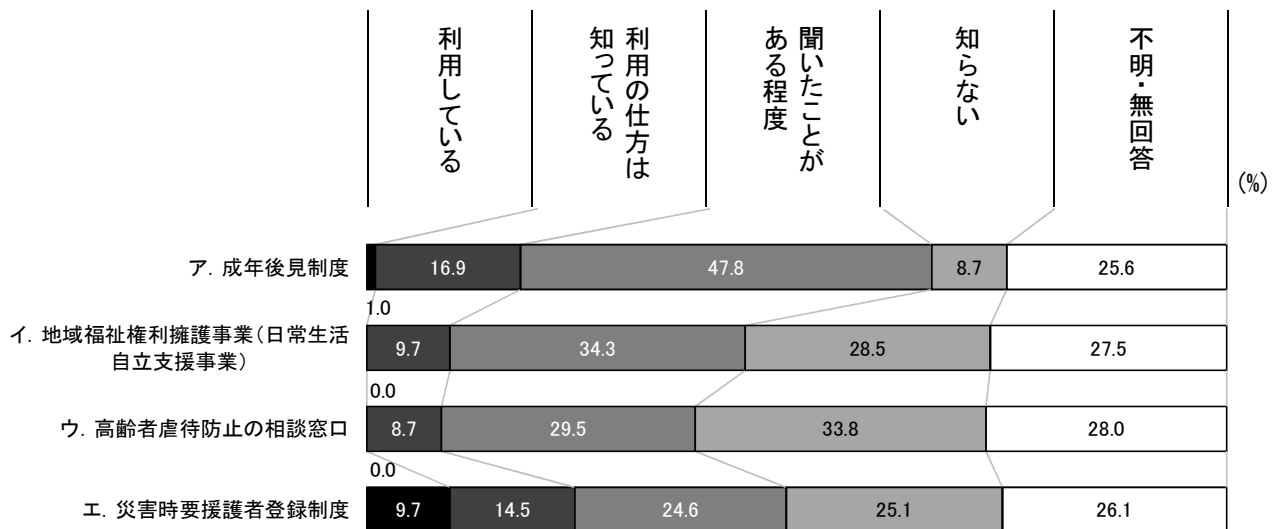
前回調査と比較すると、前回同様に「介護老人福祉施設」が最多となっています。

1-11 成年後見制度・地域福祉権利擁護事業（日常生活自立支援事業）の認知度（主介護者）

(1) 成年後見制度・地域福祉権利擁護事業（日常生活自立支援事業）の認知度

問29 主介護者のあなたは、次の制度や事業について、どの程度知っていますか。（それぞれ〇は1つつ）

☆3割弱の方が、地域福祉権利擁護事業を「知らない」と回答



調査結果の傾向

家族等介護者に、成年後見制度や地域福祉権利擁護事業等の認知度（問29）を聞いたところ、成年後見制度については、「聞いたことがある程度」（47.8%）が最多で、「利用している」（1.0%）と「利用はしていないが、利用の仕方は知っている」（16.9%）を合わせると、65.7%の方が“知っている”と回答しています。

地域福祉権利擁護事業については、「聞いたことがある程度」（34.3%）が最多であり、“知っている”との回答は44.0%となっています。

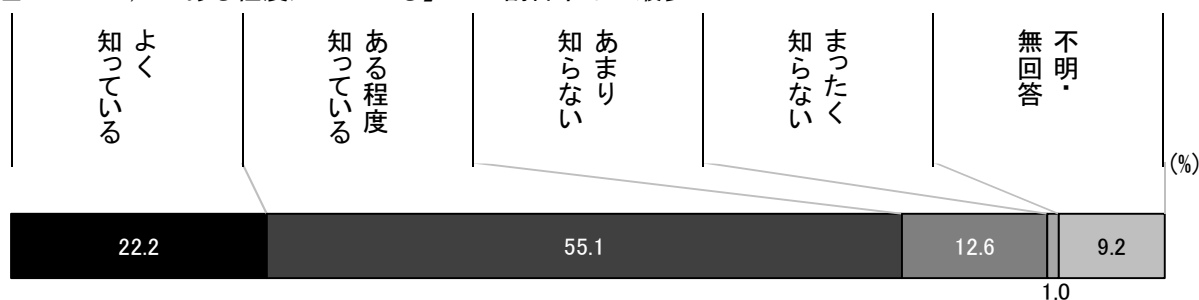
高齢者虐待防止の相談窓口については、「知らない」（33.8%）が最多であり、「聞いたことがある程度」を含め“知っている”との回答は38.2%となっています。

災害時要援護者登録制度については、「知らない」（25.1%）が最多であり、“知っている”との回答は48.8%となっています。

(2) 認知症

問30 認知症について「どの程度」ご存知ですか。(〇は1つ)

☆認知症について、「ある程度知っている」が5割台半ばで最多

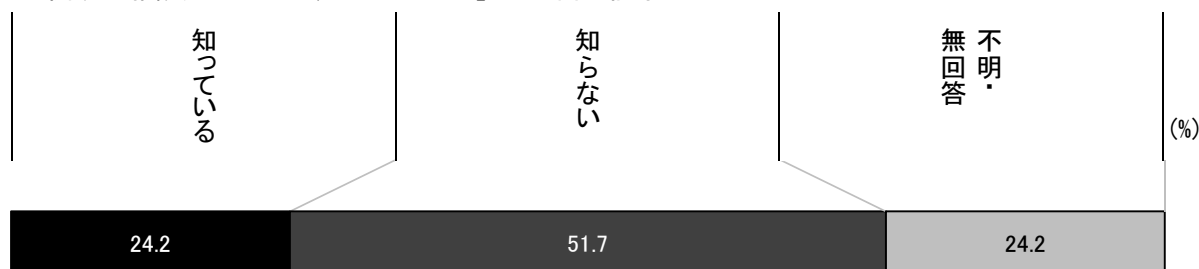


調査結果の傾向

認知症については、「ある程度知っている」(55.1%)が最多で、「よく知っている」(22.2%)を合わせて“知っている”は77.3%で8割弱となっています。

問31 認知症に関する相談先をご存知ですか。(〇は1つ)

☆認知症に関する相談先について、「知らない」が5割台前半



問31-1 認知症に関する相談先として具体的にどちらをご存知ですか。ご自由にご記入ください。

区分	記載内容	件数
1	地域包括支援センター	23
2	かかりつけ医等の医療機関	17
3	介護保険事業所, ケアマネジャー	5

※ 複数の記載内容もあることから、合計の件数と回答者数とは合致しない場合がある。

※ 「その他」を除く

調査結果の傾向

認知症に関する相談先については、「知らない」(51.7%)が「知っている」(24.2%)を上回っています。

1-12 ご意見・ご要望

問32 現行の介護保険制度や保険者（国分寺市）の施策や事業等に対してご意見・ご要望などがありましたらご自由にご記入ください。

135人から回答がありました。記載内容では、「生活支援や介護サービスについて」（33件）が最多で、次いで「行政・制度」（32件）、「情報提供・相談」（18件）、「施設関係」（11件）と続きます。主な記載内容を以下に示します。

区分	記載内容	件数
1	生活支援・介護サービス	33
2	行政・制度	32
3	情報提供・相談	18
4	施設関係	11
5	経済的支援	9
6	医療	7
7	まちづくり・移動・安全	7
8	健康づくり・介護予防	5
9	アンケート	5
10	要介護認定	4
11	保険料	4

【1 生活支援・介護サービス（33件）】

- ・毎日介護に追われている家族介護の人達に年1回でもよろしいので心を癒す物を贈って戴ければ皆さん喜ばれるのではないのでしょうか。
- ・通院等の車，足がない。主介護が視力が弱く困る。
- ・ケアマネジャーが横暴，約束の時間にわざと遅れて来る。利用者をばかにしている。
- ・介護の仕事をする方々のレベルの向上が一番では？と感じています。
- ・足，腰に不安があり，歩ける距離もますます小さくなる状況ですが，楽しみに出かけるデイサービスにとても感謝しています。ますますサービスが充実して，多くの人が楽しみにできる場が提供していただければと思います。
- ・介護されている者の支援だけでなく，介護に追われている者への支援も充実してもらいたい。
- ・主介護者にとって，時に息抜きが出来るために，デイケアやショートステイは充実して頂きたい。
- ・市内にももう少し充実したデイケアがあると良い。
- ・デイサービスは友達も出来て話が弾みとても明るく過ごせた。
- ・デイサービスセンターの入浴サービスを受け，感謝しております。今後とも利用できますよう，ご高配のほどよろしくお願い申し上げます。
- ・訪問介護ヘルパーの人手不足。
- ・デイケアの充実。

- デイケアやショートステイを利用しながら介護しています。とても助かっています。場合によっては、デイサービスの時間が多少とも延長できるとよいのですが。
- 市外のデイサービスにも福祉タクシーが一割負担で使えると良い。
- 地域密着型サービスを更にきめ細かく配慮して頂きたいと願います。
- ヘルパーさんに禁止事項が多過ぎる。
- 特に夏の暑さ冬の寒さの時、介護を充実して頂けると助かります。大変困ってしまいましたので。
- ヘルパーさんについて。身体介護と、生活援助と区別されているため、頼みたいことがあっても、この範囲内で、と決まりが多くて、言いたいことを言えず、難しい。
- ヘルパーさんの社会的身分制度が低いと思います。利用者がまるで自分が雇っている使用人のように振る舞うことを見聞きします。高齢者が増えるにしたがって、介護の分野も大変になり、家庭に入るヘルパーより施設に務めたいと思う若い人が多いようです。ヘルパーも正規社員は少なくパートが多いようです。パートの社会的地位をあげ、パートでもいいからヘルパーの希望者を増やしていかないと将来看護人がいなくなるでしょう。
- 一人ひとり事情が違うのだから、もっと工夫して楽しいデイケアにして欲しい。歩く練習、読書、テレビ、友人になった人との会話、昼寝等々、何人かが見守っていれば、自由な楽しい時間もつくれるはず。デイケアに通う人も多くなると思うので毎日同じことの繰り返しではない、研修、工夫も必要と思った。
- デイサービスを利用させて頂いていますが特に不都合は感じていません。
- 介護者が急な外出や2～3日の外出時、安心して入居できる場所。一人で家で生活ができないので、家を空けられない。
- 訪問看護や生活支援に来ていただいて本当に良かったと思います。普段一人での生活では話し相手もなくさびしい思いで一杯ですが、皆さんの明るく元気な姿にふれるだけでもこちら元気になる生きがいを感じております。
- 今は寝たきりになっていないが、そうなった時を考えると支援体制は充分でないと思う。
- 身体的に不自由な点もあり、ヘルパーさんの手を借りたいと思うこと（拭き掃除、洗濯、買い物等）が多々あります。
- 小規模多機能型居宅介護を身近に利用できるようにして欲しい。風邪やけがなどの小さなことでぐっとQOLが下がり援助の手が必要となる。緊急時の支援体制を充実させて欲しい。今以上に介護が必要になると対応不能となるので、とても不安である。同居人がいればその人が介護することが前提になっている制度と感ずることがある。同居人の仕事や生活を考慮してもらいたい。
- 主介護者が外出したとき、アルツハイマー病の高齢者と時間を共にしてくれる方の助けが欲しい。
- ホームヘルプでお願い出来る範囲が狭く、時間も短いので、もう少しお願い出来れば良いと思います。
- 現在歩行困難でもヘルパーの通院付き添い、家族と共用の場のそうじ等は自費になり経済的に大変です。特例をもうけて頂ければと思っています。
- ケアマネジャーの不足、デイケア、ショートステイ等の施設の人不足（一日中放っておく）など、人的な不足が感ずられる。
- しゃがむことの出来ない不自由さやリハビリのためのウォーキング等にヘルパーさんがいて下さったと思います。主人がいて元気ならそれは不可とのことでした。こんな時に手助けをしていただけたとの話を聞くにつけ悲しい思いをします。元気な主人も足腰に不具合の出る年齢です。心配しながら世話になっています。ぜいたくなお願いでしょうかね！

- ・介護者が短期不在の時のヘルパーさん利用は無理と言われ、今後緊急時や単発な利用ができるようにしてほしい。
- ・介護は終日、毎日必要であり、デイサービス、ショートステイだけではカバーしきれないところに問題がある。

【2 行政・制度（32件）】

- ・介護保険制度についてはありがたいことだと思っています。
- ・介護保険制度の改正が行われると聞いていますが、支援については地方自治体に移ると、サービス内容が低下するのではないかと心配です。
- ・私はこの介護制度は本当にありがたい制度であると考えています。感謝しています。
- ・市民、皆様のおかげで成り立っている制度で非常に有難く思っております。感謝いたしております。
- ・介護保険制度のおかげですいぶん体に余裕ができ、元気をもらっています。このまま、介護保険制度が存続していくことを切に希望します。
- ・介護保険がはじまった2000年には、家族が同居しているかどうかにかかわらず、利用できたはずなのに、今は2世帯住宅だと介護者が同居しているとのことで生活援助がしてもらえない。おかしいでしょう。
- ・高齢者がどんどん増えるこの時代、国分寺市は福祉制度への取組みに積極的にかかわっていると思う。
- ・現行の介護保険制度があり大変助かっています。
- ・老人が多くなり、介護保険制度が現状維持していくのは困難になると思います。制度の見直しが必要になると思います。
- ・介護保険制度はまだまだ内容を検討して欲しい所が沢山あります。融通のきかない所が多くみうけられます。その人の状態によって変化させてもいいと思います。
- ・今は介護保険の利用を使用しないているが、今後主介護者が病気になった時にどの程度の支援が受けられるのか心配である。
- ・介護保険制度で老後の幸せは望めないと思う。
- ・高齢者のあふれている現実に対策が追い付いていない。何か一つでも制度利用するのに書類が多すぎるし、時間がかかりすぎる。
- ・高齢者が増え、若い人達への負担が大きくなっていくのが心配です。私達高齢者はできるだけ自立し、ゆとりは福祉へまわす制度ができてほしいと思います。
- ・介護保険により、たしかに利用者には多くのメリットがありますが、介護者は楽になるわけではありません。むしろ手続きで大変。
- ・国分寺市は税金など高い！カード（住民票など出せる）をつくっても市役所までいかないで使用できない。国分寺駅前出張所にもカードが使える様に設置を希望する。
- ・現在は要支援と判定され、その枠内の支援をうけて非常に感謝しております。
- ・認知症はないが介護が必要という高齢者の対策が遅れている。介護する者、される者にとって、とても難しい制度利用の仕方にとまどう。
- ・介護保険は高いと思っていましたが、有難い制度だということがわかりました。
- ・介護支援がしていただきたい時、支援を得るのに時間がかかる。介護事業者との契約の多さ、書類を簡素化してほしい。

- 介護保険制度に大変感謝しています。
- 週4日通所でお世話になっています。今の介護支援に大変満足しています。
- 地域によって介護保険の利用の格差があるようです。同じように保険料を負担しているのにいざ利用となると中々認められない様で、不安です。
- 同居親族がいる場合、「家事の援助」に介護保険は使えないとのことですが、共倒れにならないために、何とかならないものですか。老々介護、本当に大変です。
- 介護保険制度に感謝し、国分寺市に住んでいたことに幸せを感じています。
- デイとヘルパーの併用は介護保険をオーバーしてしまうため負担は高額となってしまいます。そのため現在は月～金の内の二日間だけヘルパーを利用して家族の仕事の体制をやりくりしているのが現状である。家族全員がフルタイムで働いても、高額な負担にならないような仕組みが必要である。
- 介護保険制度が厳しくなることへの不安は感じています。
- 軽度の認知症の母と世帯は別で同居しています。屋根が一つのところに同居をしているということで、自宅を訪問する介護支援が受けられません。自宅介護を基本とする介護保険制度であるならば、再度検討していただきたい。
- 介護保険は掃除など利用出来ないため、人材センターの方に時々お願いしています。
- 主介護者の健康状態は現在は考えられていません。介護する者が、病気になってしまっても利用できる介護保険の範囲は限られています。これからは老々介護が多くなりますので考えて欲しいです。
- 他市より全体的に利用等に制限が強い。
- 何とか費用の負担減となるような制度に見直しして欲しい。全国どこでも同じサービスを受けることの出来るように地域差を無くすように努めて欲しい。

【3 情報提供・相談（18件）】

- ケアマネジャーさんが親切に相談にのって下さっています。
- 介護保険制度のこの情報を多くして欲しい。
- 市報などで情報は充分入って来るので助かっている。
- 有料老人ホームの紹介はしていただけるのでしょうか。
- 必要になったら市の福祉課や妻のケアマネジャーと相談するつもりなので今意見や要望はない。
- 地域包括支援センターの方々、支援センターの相談をしていただいたケアマネジャーの方々その時々にあった介護支援をしていただき感謝致しております。
- 施設へ入所することを考えた時、費用はどの位かかるか、入所出来る施設がどこにあるのか等の情報がどこへたずねたらよく解るのか等、知りたく思います。
- もしもの時、後見人の制度を利用したいと思っていますが、信用出来る後見人を考えると二の足を踏みます。年金に関する書類やその他の通信事務等の処理ができなくなりそうです。
- 参考になる情報を知りたいと思いますのでできるだけ資料を配布して頂きたい。お願いします。
- 国分寺市では、市報により色々利用させて頂く有難さが、認知症の検査も定期的に呼びかけて頂けたら、と考える時があり、一人暮らしの高齢者は知らぬ間に、とならぬ様をお願いしたいと願って居ります。
- 法律用語や専門用語を聞いてもよく分からないことがあって困ります。

- ・介護サービスについてはすべて現在のケアマネジャーさんから聞き、国分寺市から聞いたことは全くない。
- ・有料老人ホームの数量と空き具合。
- ・介護者が不在中の代行をして貰える方法についてどういう方法があるか、数時間～1日の単位でどう出来るものがあるのか、知りたいと思っています。
- ・介護保険制度にはほんとうに助けられています。ありがたいです。ただ残念なこと。もっと早く知って利用したかった。
- ・情報交換の場が無い。
- ・ケアマネジャーさんは大変お忙しくて、たくさん相談したくても、あまり私だけが時間を取って頂くのは申し訳ないので、単純にグチを聞いて下さるシステムがあればうれしいです。電話相談やメールやツイッター等でも、こぼせばストレス解消になると思うので。
- ・相談センターに行って質問するとケアマネジャーをつければよいと言われ、具体的には助けてもらえなかった。

【4 施設関係（11件）】

- ・少子高齢化の時代に、在宅介護に持っていく方針は現実的に厳しいと思います。もっと施設を増やす方向にもって行くべきだと思います。
- ・特養の充実。
- ・特別養護老人ホームの数が少ない。入居が厳しくなったので、介護する人の居ない家では大変困る。
- ・特別養護老人ホームの入所を希望していますが、何十人、何百人待ちと言われます。何とかならないものでしょうか。
- ・施設に入所する必要が起きた場合、市内の施設に待つことなく入所出来るようにしてほしい。
- ・特別養護老人ホームが多くあると心配がなくなります。
- ・市内の特別養護老人ホーム施設増を是非お願いしたい。負担が多少増額になっても信頼出来るから。
- ・施設の充実、サービスの充実を願っています。
- ・超高齢化人口の増加、介護対象者の急増等に伴って諸老人ホームが数多く設置され、希望者の多くが入居できる社会への構築が強く望まれるので、その施策を進めてほしい。
- ・不安なのは四六時中寝たきりになった場合にすぐに入れる施設。
- ・施設に入ったら残った家族の生活費に重圧がかかりそうなので、有難いことだけど、苦勞が目に見えている様で悲しく思えて来ます。

【5 経済的支援（9件）】

- ・介護保険料以外の諸税が年々増えるので年金生活、老後の生活にどう負担になって行くか心配。
- ・お金のない不安があり、ただ生活できているだけ。精神的な安定が持てない。
- ・1キロメートル以上歩行が大変負担なのでタクシー割引等出来ればお願いしたいです。
- ・国民年金で生活が大変です。看ている者が倒れそうです。
- ・経済的支援があれば助かります。
- ・とにかく色々とお金のかからない様にして下さい。生活していけません。
- ・年金生活低所得者に配慮して頂ければと思います。

- ・経済的に大変な人もいることを優先に考えてほしい。介護は家族の負担が多いので介護支援の家族に税が軽くなるようにしてほしい。
- ・要介護2の母は、病院に行く時はタクシーで行きます。医療費は助かりますが近くてもタクシー代がばかになりません。タクシー券とかあると助かります。

【6 医療（7件）】

- ・市の財政が大変だとは存じておりますが、少々でも昭和病院へ加担して頂ければと思うことがございます。
- ・認知症の専門病院を増やして欲しい。
- ・病院は3ヶ月で、行き場が無く、点滴で生かされている状態なのに、移動せざるを得ない現実。タンの吸引、体位の移動、意思がまるで無く、ただ命をつなぐ延命処置。
- ・医院が近くでするので通常は心配しませんが、夜勤や休日の体調の変調がある時が一番心配です。
- ・老々介護と言いますが、医師のアドバイスをどうしたら実行出来るか配慮頂きたいと思います。
- ・リハビリ病院を退院したばかりですので、今後どのように介護あるいはケアしていけば良いのか、不安。
- ・現在入院中で介護は未だに利用していない。退院後について検討課題である。

【7 まちづくり・移動・安全（7件）】

- ・一人暮らしをつけねらってオレオレ詐欺、販売の押し売り、ガス会社とか何か名前をつけてくる男性、これまで何度かありました。
- ・一人暮らしの定期的な見守りをお願いしたい。
- ・一人で住んでいるので心配です。
- ・1人暮らしなので、倒れた時、どのようにしたらよいかわからない。
- ・バスは、手おし車があるので、バスは無理なので歩いております。これですっかりつかれます。バスは一回で乗れるようなバスをお願い申し上げます。そうでないとバスに乗れず、タクシーを使いますが、料金が大変です。よろしく願い申し上げます。
- ・孤独死防止策として緊急非常連絡用ベル設置を検討する必要ありと思われれます。
- ・公民館や、地域センターといった、近所でお年寄りが気軽にに行ける行事（コミュニケーションの場、歌う、見る等）があると良いです。

【8 健康づくり・介護予防（5件）】

- ・増々高齢化社会になっていきますので、サービス対応になる前の方の対策も含めて考えてほしいです。
- ・超高齢者の健康維持のための運動施策。特に要支援1、2の人はまだ自力で歩けるので、その健康を維持するため必要と思います。デイサービス施設でやったらどうでしょうか。費用がある程度高くなっても仕方ないです。
- ・老人は元気と思っていても変化が大きいので、このレベルではこの程度の予防介護（例、筋力低下を防ぐための運動等）が必要というような目安があると非常にありがたく思います。
- ・健康に気をつけ、転倒等、最大限気をつけたい。
- ・介護を受ける状況にならないような健康維持について、施設、人員、コミュニケーションの場や費用などを充実して誰でも参加できるようにしたい。

【9 アンケート (5件)】

- ・介護保険サービスを受けていないのでアンケートの内容によっては解答に困るもの有り。
- ・まどろっこしいアンケートなど取ってないで、今日にも自死するかもしれない私を早く助けて下さい。
- ・このアンケート、年末の忙しい時期に困りました。一考されたし。
- ・いったい何をどうしたら介護が楽になるのか、自分でもわからないので答えられない。
- ・今回のアンケートの質問形式は、作った人の視点であって、回答者に立っての視点で作られていない。わかりづらい。

【10 要介護認定 (4件)】

- ・要介護度の認定の仕方に不満を感じます。現在「要介護1」ですが、1度「要支援1」まで落とされた時は憤慨しました。
- ・今年要介護1から要支援2になりました。去年と比べ体調がよくなったとはあまり言えず、むしろ痛む箇所があちこち増えて辛い思いをしております。何故、支援が2となったのか一寸疑問に思っているところです。
- ・もう少しルールに対して幅をもたせて頂きたいと思います。初の話し合いの時の症状と今の症状とは違っているのに、初の話し合いにこだわるのはおかしいのではないかと。
- ・初めに来て頂いた方にいろいろお話をしてもそれを実際に審査する人との差が出ると思います。その辺がちょっと心配です。

【11 保険料 (4件)】

- ・介護費用の低減。
- ・現況の介護保険料が高すぎると思います。
- ・要介護1ではおむつは全部自己負担になっていて、量が増えて行くばかりの今、負担額が多くなり、今後不安です。
- ・健康な方々にしたら、高い介護保険料かもしれませんがお陰様で、デイサービス、レンタル等利用させて頂いてとてもありがたいと思っています。

2 総括

【本人について】

回答者は男性が3割、女性が約6割で、年齢は75歳以上が8割で、市内に20年以上居住している人が約75%となっています。夫婦二人暮らしが約3割、一人暮らしが2割で、日中の同居家族がいない場合が3割台半ばとなっています。約半数が家族や親族等による介護を受けています。

また、ほぼすべての人が、介護予防や健康保持のために何らかの取組を行っているとして回答し、「十分な休養や睡眠をとる」「食事の栄養バランスに気をつける」「歩く」「歯や口の健康に気をつける」「気持ちをなるべく明るく保つ」「規則正しい生活をする」などが主な内容となっています。

【年金・暮らしについて】

現在の経済的な暮らし向きは、7割弱の方が「心配なく暮らしている」と回答していますが、年収300万円以下の場合では苦しい状況がうかがえます。主な収入源は「公的な年金」が約9割、「預貯金などの引き出し」が約3割となっています。世帯全員の年間総収入は200万円未満が2割近く、200万～400万円が約4割、400万円以上が約2割となっています。

日常生活での不安や悩みについては、「健康や病気について」が7割で突出し、「災害時の避難について」や「外出について」が3割前後となっています。不安や悩みの相談先としては「家族や親族」が7割、「ケアマネジャー」が4割以上となっています。

今後希望する生活場所は「自宅で暮らしたい」が約8割、「施設に入所して、暮らしたい」は約1割で、実際に施設へ入所申し込みをしている人が6.5%となっています。

知りたい情報については、「介護や医療に関する情報」が約3割、次いで「気軽に行ってくつろげる交流の場の情報」が2割、「趣味などのサークル活動の情報」が約1割となっています。医療や介護の情報については家族を通じて入手している場合が多い状況です。

住み慣れた地域での生活を継続することを希望される方が多いことがうかがえることから、医療や介護に関する情報提供に努めるとともに、その情報等が入手しやすいように工夫する必要があります。

【地域との交流について】

近所との付き合いで「日ごろから助け合っている」又は「気のあった人とは親しくしている」が合わせて3割を超える程度となっている。一方で、近所付き合いについては8割以上が必要と回答しており、近所付き合いについての必要性を認識していることがうかがえます。地域との交流は「火災や地震などの災害の時」などの助け合いにおいても重要であることから、地域の結びつきに資する取組を図っていく必要があります。

【介護保険サービスについて】

自宅で介護保険サービスを「利用している」のは約6割で、利用したサービスの自己負担額については、「非常に負担を感じる」と「多少は負担を感じる」を合わせて4割台前半、「負担を感じない」「あまり負担を感じない」が5割以上となっています。また、今後も利用を続けたいサービスについては「通所介護（デイサービス）」と「福祉用具貸与（レンタル）・購入」の割合が高くなっています。

未利用者について、過去に介護保険サービスの利用経験が「ある」と回答したのは2割台前半で、未利用であること理由は、「家族の介護により手は足りているから」や「自分のことは自分でやりたいから」が主なものとなっています。

介護保険制度については、「おおむね満足できる制度である」と「どちらかといえば満足できる制度である」をあわせて7割以上が満足できると評価し、介護保険料については、「多少は負担を感じる」「非常に負担を感じる」を合わせて6割以上が負担を感じると回答しています。

介護保険制度について、「おおむね満足」「どちらかといえば満足」を合わせて7割以上の方が満足と制度の評価をされている一方で、介護保険料については6割以上の方が負担を感じられています。介護保険制度のしくみの周知を引き続き行う必要があります。

【地域生活の支援について】

高齢者の相談窓口である地域包括支援センターについては、約5割が「利用したことがある」と回答しています。前回調査と比較しおよそ半減していますが、「知らない」と回答された方が約1割います。地域包括支援センターは高齢者の相談窓口であることから、さらなる周知に努める必要があります。

要支援・要介護の方を支える施策や支援について、大切だと思うものは、「自宅を訪問するサービスの充実」が5割に近く、次いで「日中、施設に通うサービスの充実」「ひとり暮らし高齢者に対する見守りや安否確認などの支援」「介護保険施設等の施設サービスの充実」などが3割を超えています。このことから、住み慣れた地域で生活を継続していくためにも、在宅での介護や生活を支援する施策を充実していく必要があります。

その他の制度や事業について、利用が比較的多いのは「災害時要援護者登録制度」が1割近くで、「成年後見制度」が1.0%と「地域福祉権利擁護事業」が0.5%でわずかとなっており、「高齢者虐待防止の相談窓口」は0.0%となっています。

【主介護者の状況について】

主たる介護者は女性の割合が多く、また65歳以上が約6割となっています。続柄は「配偶者」又は「子ども、孫」がほとんどです。介護時間は「必要な時に手を貸す程度」が約4割、「ほとんど終日」が2割を超え、「自分一人で介護している」場合は3割を超えています。

介護保険サービスを利用することで「精神的・肉体的疲労感が軽減した」や「介護を続けていく上での安心感を得た」という回答が6割を超えています。介護や介助の内容は、「食事の支度や後片付け」「通院介助」「掃除・洗濯」「日常の買い物」などが多くなっています。

今後事業者に依頼したい介護や介助については、「話し相手」「見守り」「通院介助」「入浴の世話」「外出の付き添い」「機能訓練（リハビリ支援）」「掃除・洗濯」の順で多くなっています。

在宅で介護する上で重要なこととしては、「緊急時にサービスが利用できること」の割合が高く、家族等介護者が望む支援としては、「介護にかかる費用の軽減」と「身近な場所での介護相談体制」が求められています。介護者の負担や不安を軽減するためにも、身近な介護相談体制の整備と、緊急時に対応可能なサービスの充実に努める必要があります。

介護保険事業者に関しては、「事業者に対する評価や評判等の情報」「施設の情報」などの情報が求められており、不足あるいは利用しづらいと思うサービスについては「介護老人福祉施設」が約3割、次いで「通所リハビリテーション」「短期入所生活介護」「介護療養型医療施設」「夜間対応型訪問介護」などが1割台となっています。

利用が比較的多いのは「災害時要援護者登録制度」が1割近くで、「成年後見制度」は1.0%、「地域福祉権利擁護事業」と「高齢者虐待防止の相談窓口」は0.0%となっています。

成年後見制度や地域福祉権利擁護事業の認知度は、「成年後見制度」、「災害時要援護者登録制度」、「地域福祉権利擁護事業」、「高齢者虐待防止の相談窓口」の順に高く、成年後見制度が6割台半ばと高くなっています。

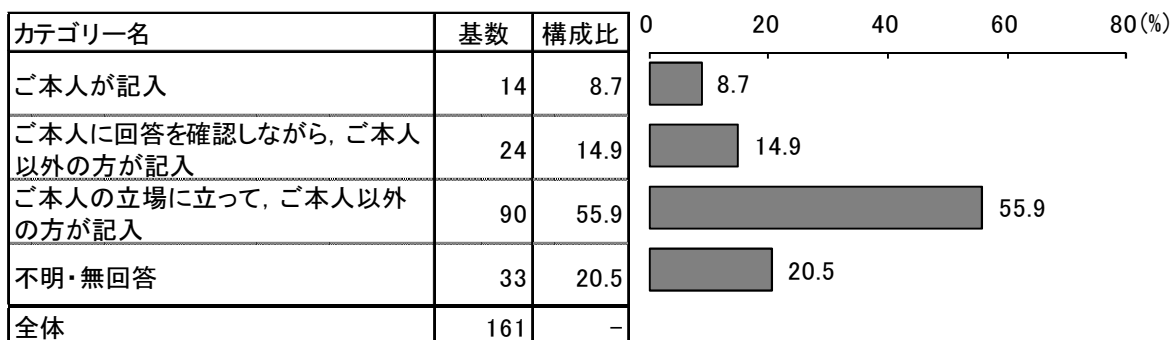
認知症については8割近くが「知っている」と回答していますが、認知症の相談先については「知らない」が5割以上となっており、「知らない」が「知っている」を上回っています。相談窓口の周知を進める際に、「認知症」についても相談が可能なことを伝達する必要があると考えられます。

第5章 施設等利用者及び家族状況調査

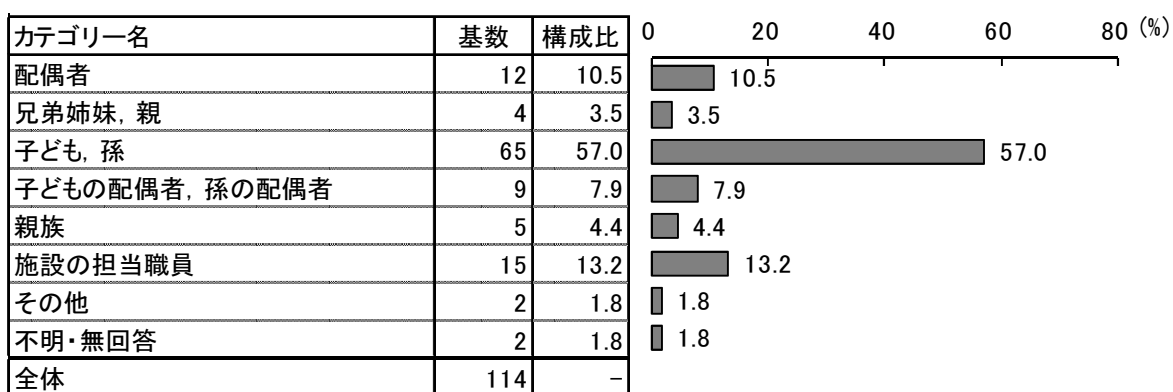
1 調査結果

1-1 本人の状況

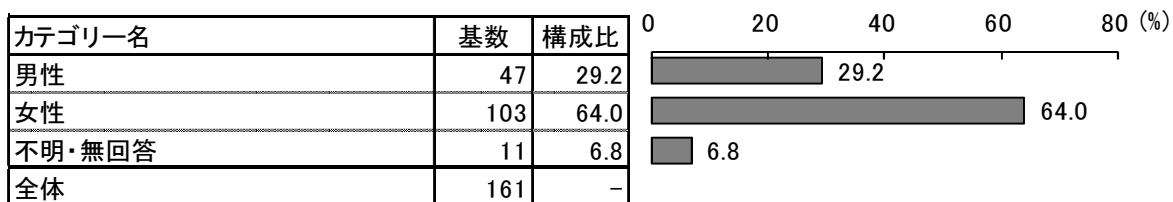
(1) 記入者



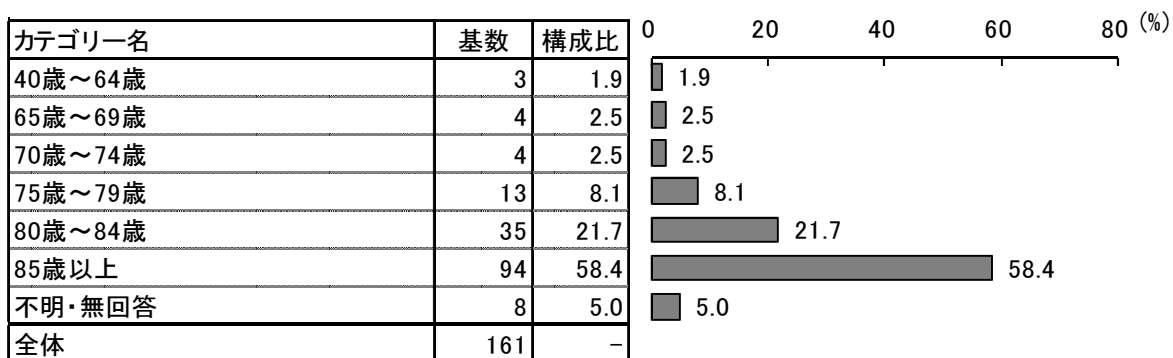
(2) 記入者の続柄 *上記(1)で、「ご本人以外の方が記入」と回答した場合



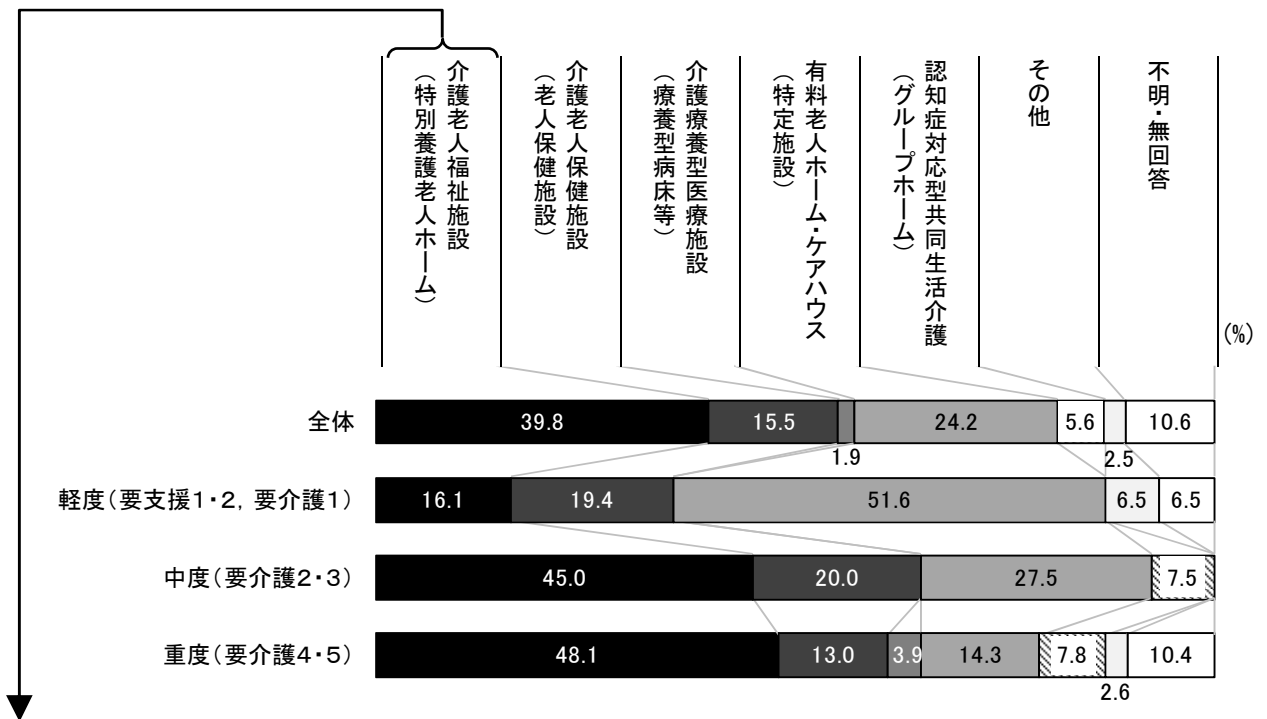
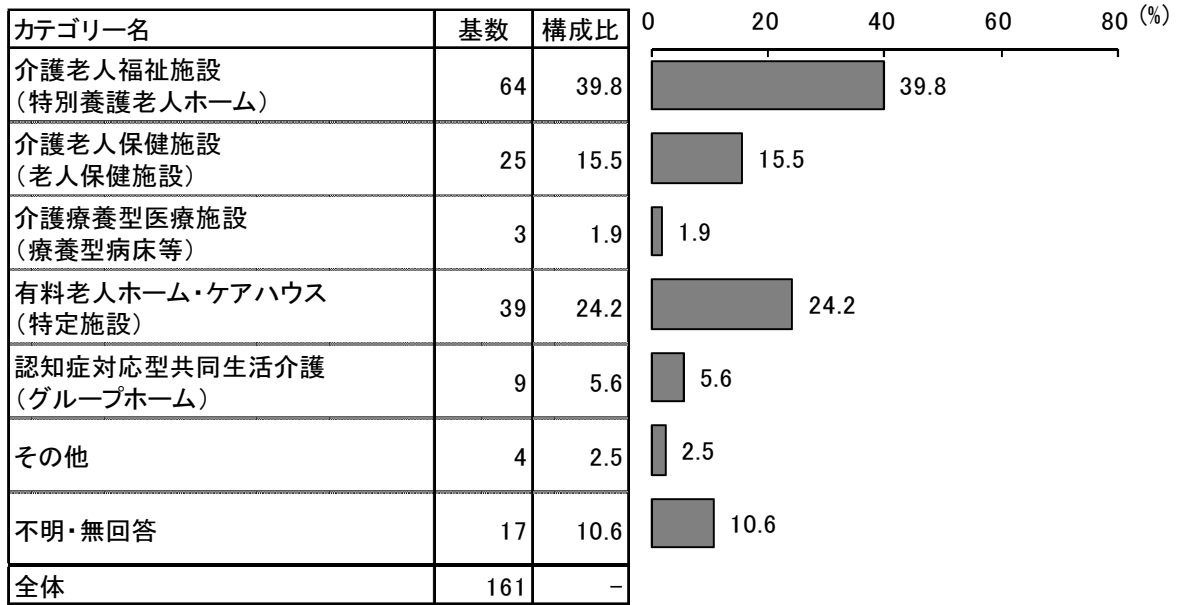
(3) 性別



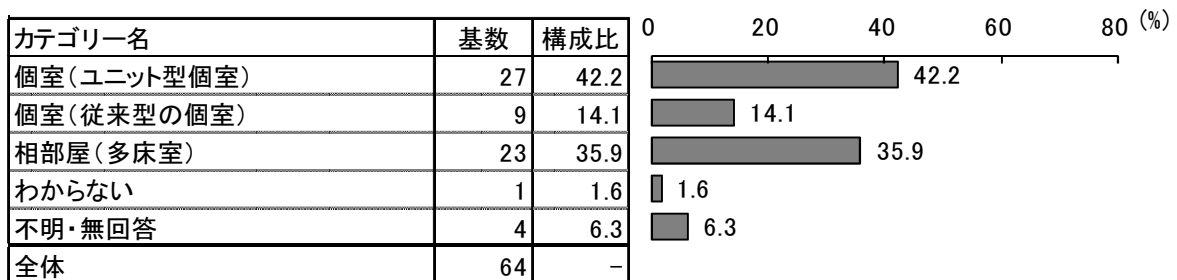
(4) 年齢



(5) 施設の種類の



(6) 介護老人福祉施設の居室のタイプ



(7) 入所（入居）理由（〇は3つ以内）



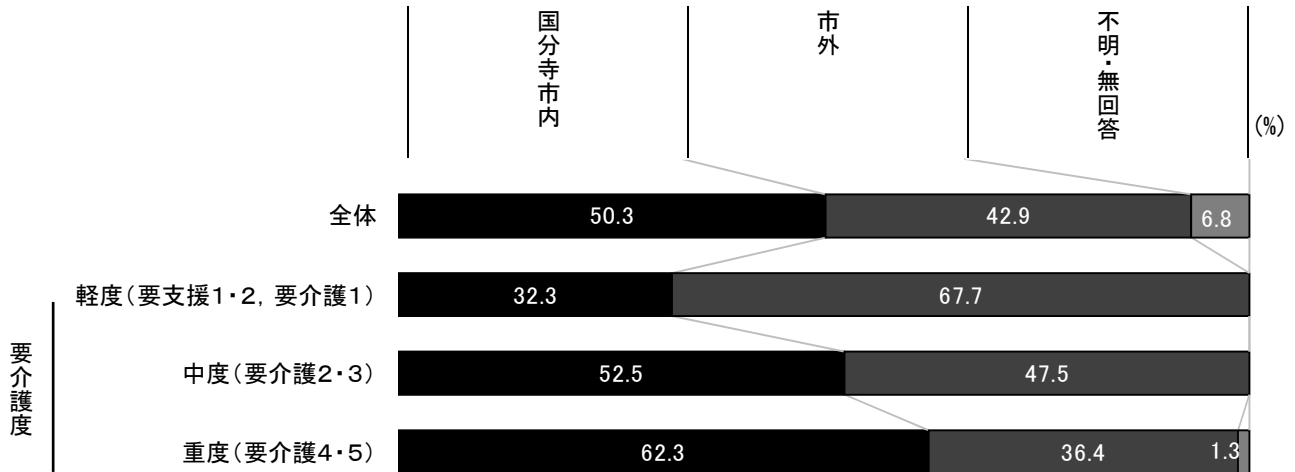
(%)

	回答者数（件）	24時間介護やケアが受けられるから	一人で住むには不安があるから	専門的な介護やケアが受けられるから	介護者が高齢等のため、身体介護が困難になったから	ケア内容や設備などがいいから	自宅から近いから	手厚い介護を必要とするから	自宅の構造は介護に適さないから	家族に迷惑をかけたくないから	医療的な対応を受けられるから	（入居）を希望したから	防犯、防災などの面で安心できるから	費用負担が安くなるから	その他	不明・無回答	
全体	161	62.7	31.1	28.6	19.9	17.4	14.9	13.0	13.0	11.2	10.6	8.1	3.1	0.6	6.8	6.8	
要介護度	軽度（要支援1・2、要介護1）	31	48.4	61.3	6.5	12.9	12.9	9.7	6.5	9.7	16.1	9.7	29.0	6.5	-	12.9	-
	中度（要介護2・3）	40	62.5	37.5	37.5	17.5	25.0	10.0	15.0	17.5	12.5	5.0	-	2.5	5.0	-	
	重度（要介護4・5）	77	75.3	19.5	35.1	27.3	18.2	20.8	16.9	14.3	7.8	11.7	2.6	3.9	-	6.5	2.6

※網掛けは分析軸別の最大値

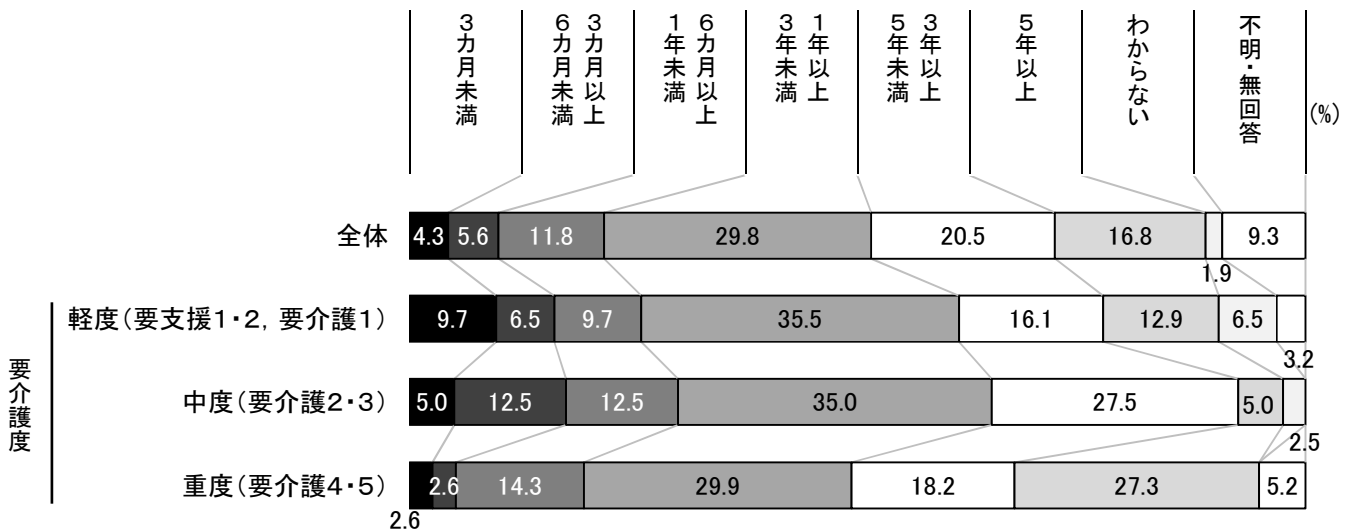
(8) 施設の所在地

カテゴリー名	基数	構成比
国分寺市内	81	50.3
市外	69	42.9
不明・無回答	11	6.8
全体	161	-

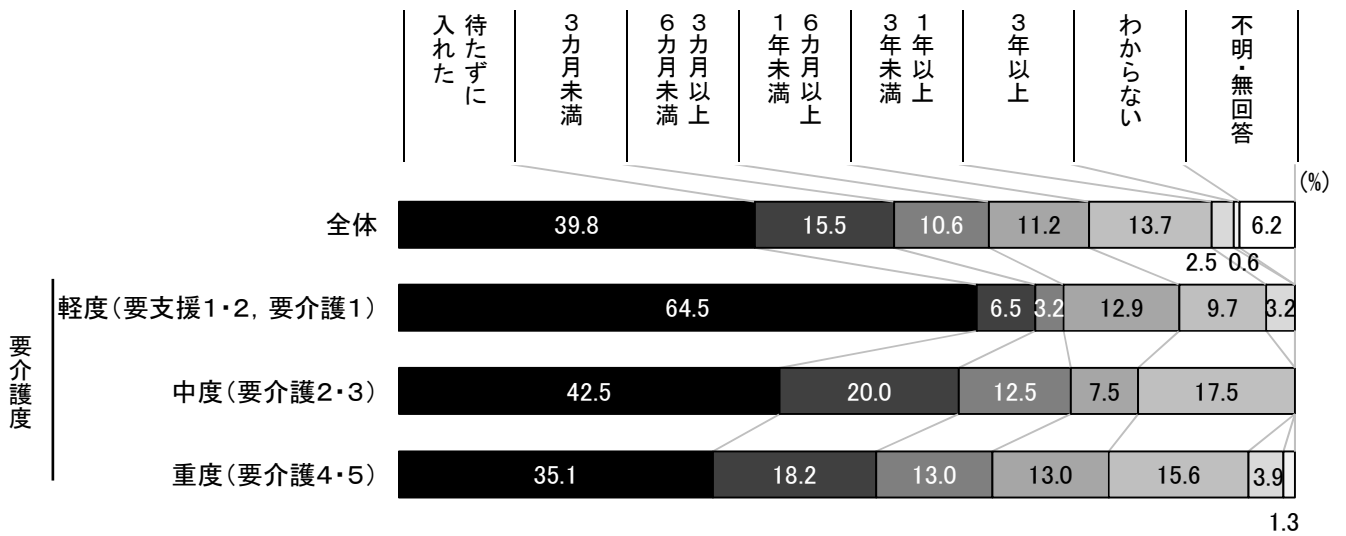
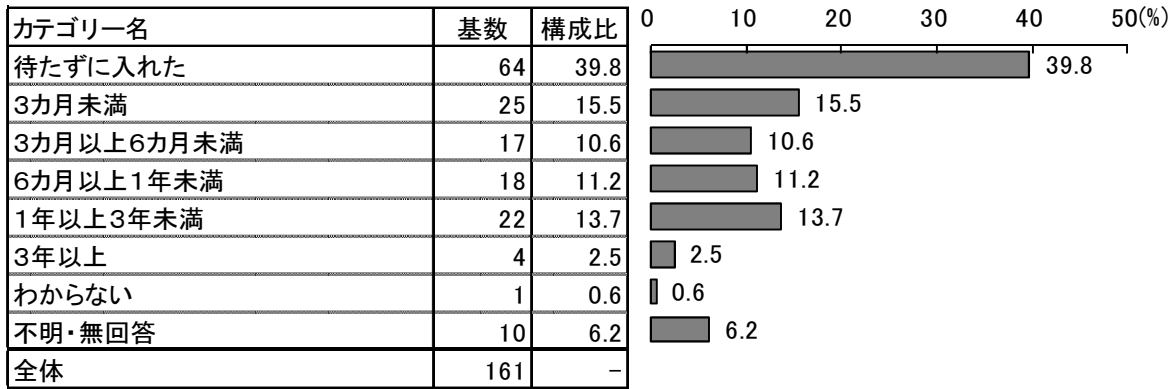


(9) 施設の入所期間

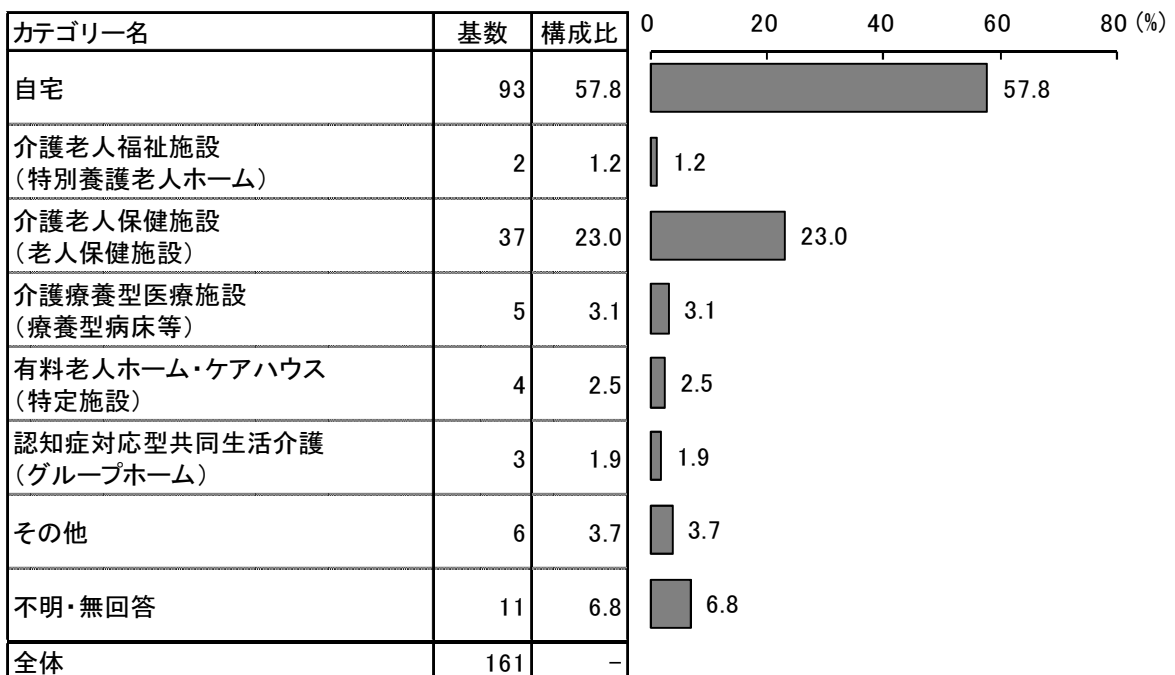
カテゴリー名	基数	構成比
3カ月未満	7	4.3
3カ月以上6カ月未満	9	5.6
6カ月以上1年未満	19	11.8
1年以上3年未満	48	29.8
3年以上5年未満	33	20.5
5年以上	27	16.8
わからない	3	1.9
不明・無回答	15	9.3
全体	161	-

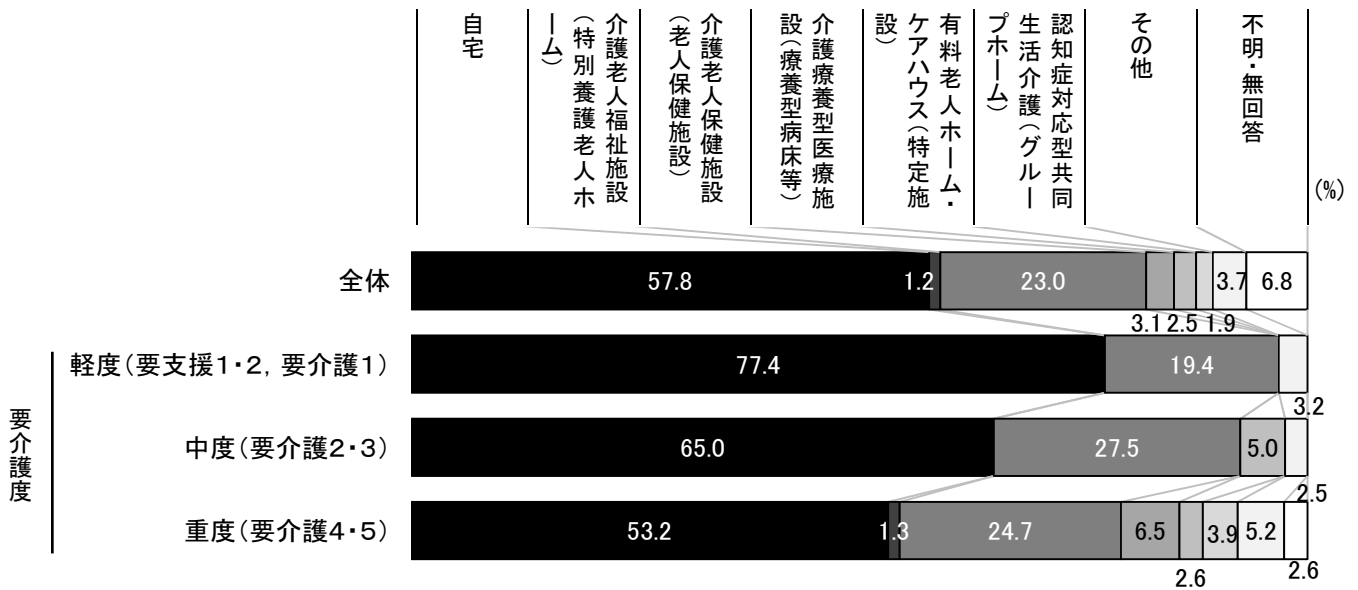


(10) 入所待機期間

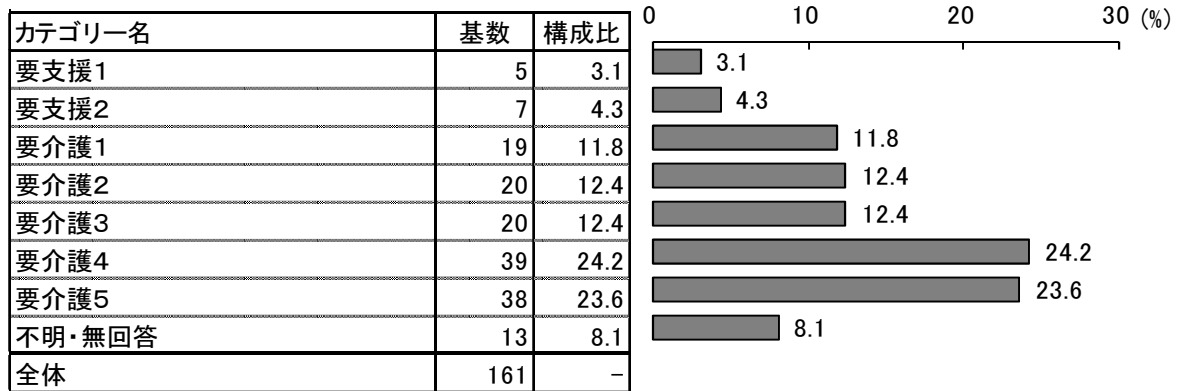


(11) 以前お住まいの施設あるいは住まい

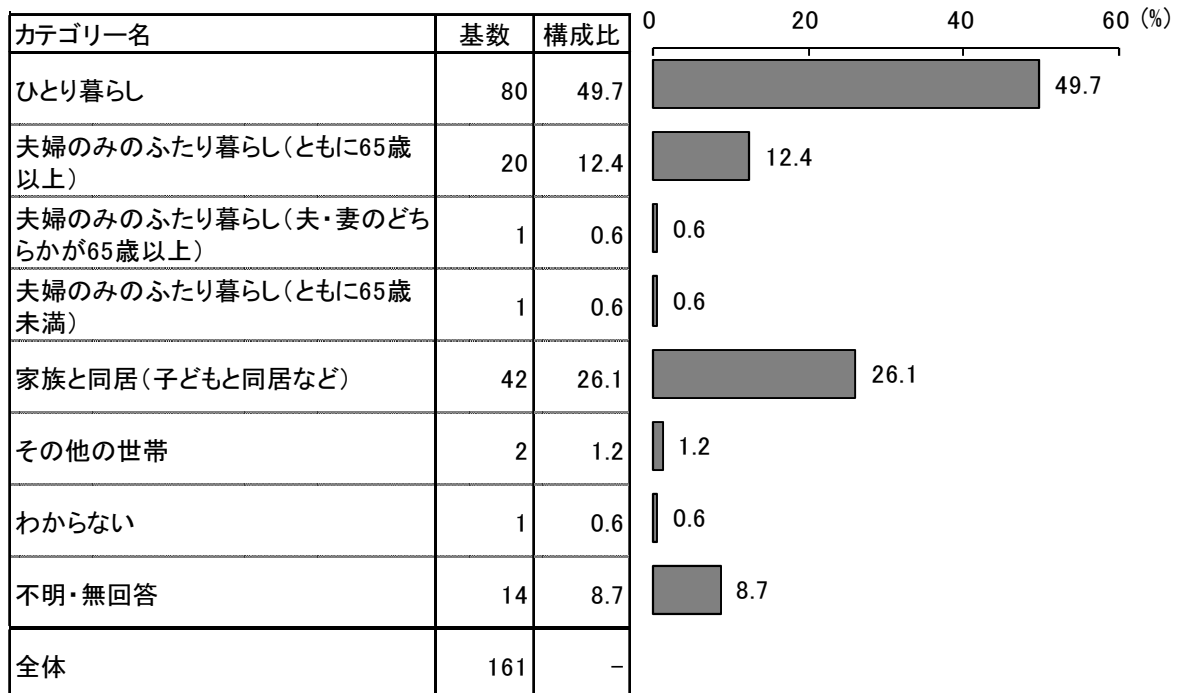




(12) 現在の要介護度



(13) ご本人の家族構成

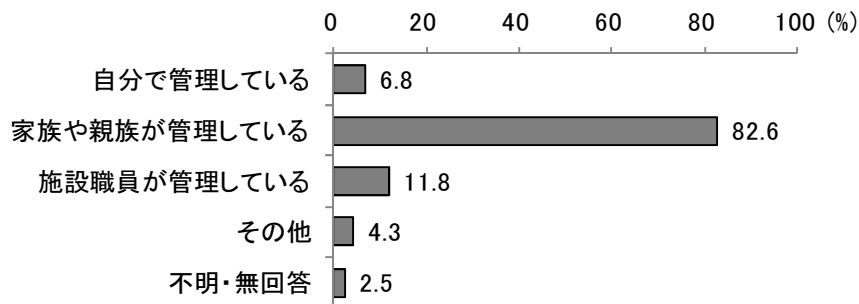


1-2 施設での生活

(1) 日常的な金銭管理

問1 ご本人の日常的な金銭管理・預貯金通帳等の管理は誰が行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

☆日常的な金銭管理は「家族や親族が管理している」が8割以上でトップ



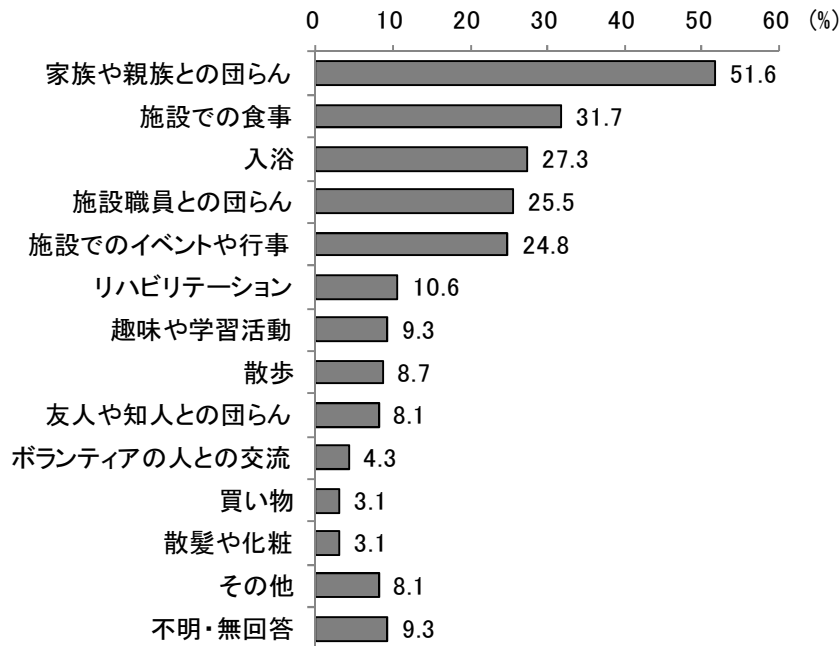
調査結果の傾向

日常的な金銭管理・預貯金通帳等の管理先(問1)を聞いたところ、「家族や親族が管理している」(82.6%)が最多で、「自分で管理している」(6.8%)は1割未満にとどまっています。

(2) 日頃の楽しみ

問2 ご本人が、日頃楽しみにしていることは何ですか。(〇は3つ以内)

☆日頃の楽しみは「家族や親族との団らん」が5割強でトップ



調査結果の傾向

日頃楽しみにしていること(問2)を聞いたところ、「家族や親族との団らん」(51.6%)が最多で、次いで「施設での食事」(31.7%)、「入浴」(27.3%)と続きます。

クロス集計分析

要介護度別に見ると、【軽度(要支援1・2, 要介護1)】の場合、「施設でのイベントや行事」(29.0%)、「趣味や学習活動」(19.4%)、「散歩」(16.1%)、「友人や知人との団らん」(12.9%)、「買い物」(9.7%)が全体平均を大きく上回っています。【中度(要介護2・3)】の場合、「施設での食事」(40.0%)、「施設でのイベントや行事」(30.0%)、「趣味や学習活動」(15.0%)が全体平均を大きく上回っています。【重度(要介護4・5)】の場合、「施設職員との団らん」(31.2%)が全体平均を大きく上回っています。

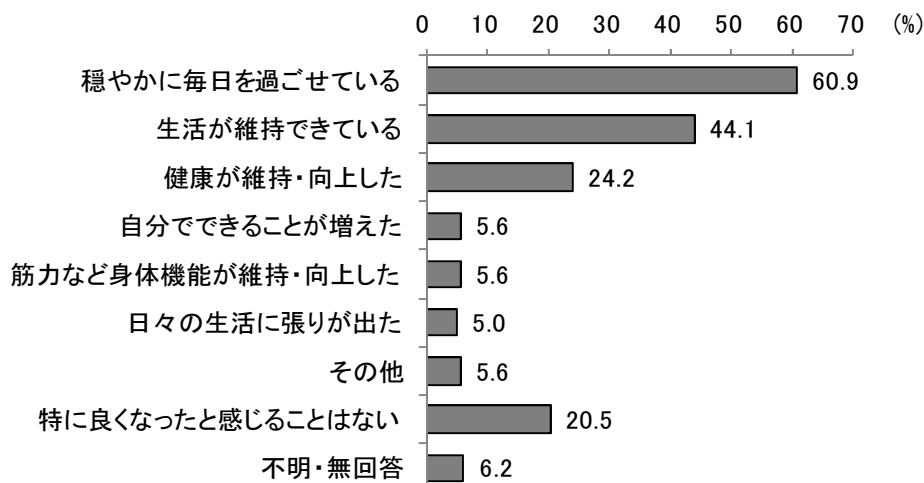
		回答者数(件)	家族や親族との団らん	施設での食事	入浴	施設職員との団らん	施設でのイベントや行事	リハビリテーション	趣味や学習活動	散歩	友人や知人との団らん	ボランティアの人との交流	買い物	散髪や化粧	その他	不明・無回答
全体		161	51.6	31.7	27.3	25.5	24.8	10.6	9.3	8.7	8.1	4.3	3.1	3.1	8.1	9.3
要介護度	軽度(要支援1・2, 要介護1)	31	45.2	25.8	22.6	9.7	29.0	12.9	19.4	16.1	12.9	3.2	9.7	3.2	9.7	9.7
	中度(要介護2・3)	40	52.5	40.0	30.0	30.0	30.0	12.5	15.0	10.0	5.0	7.5	2.5	5.0	7.5	7.5
	重度(要介護4・5)	77	53.2	29.9	31.2	31.2	16.9	9.1	2.6	6.5	6.5	3.9	-	2.6	9.1	7.8

※網掛けは分析軸別の最大値

(3) 入所（入居）して良くなったと感じること

問3 現在の施設に入所（入居）してから、ご本人の生活の中で良くなったと感じることはありますか。（○は3つ以内）

☆ご本人の生活で良くなったと感じることは「穏やかに毎日を過ごせている」が6割でトップ



調査結果の傾向

入所（入居）してから良くなったと感じること（問3）を聞いたところ、「穏やかに毎日を過ごせている」（60.9%）が最多で、「生活が維持できている」（44.1%）、「健康が維持・向上した」（24.2%）と続きます。

クロス集計分析

要介護度別に見ると、【軽度（要支援1・2，要介護1）】の場合、「健康が維持・向上した」（32.3%）が全体平均を上回っています。【中度（要介護2・3）】の場合、「自分でできることが増えた」（15.0%）、「日々の生活に張りが出た」（12.5%）が全体平均を大きく上回っています。

(%)

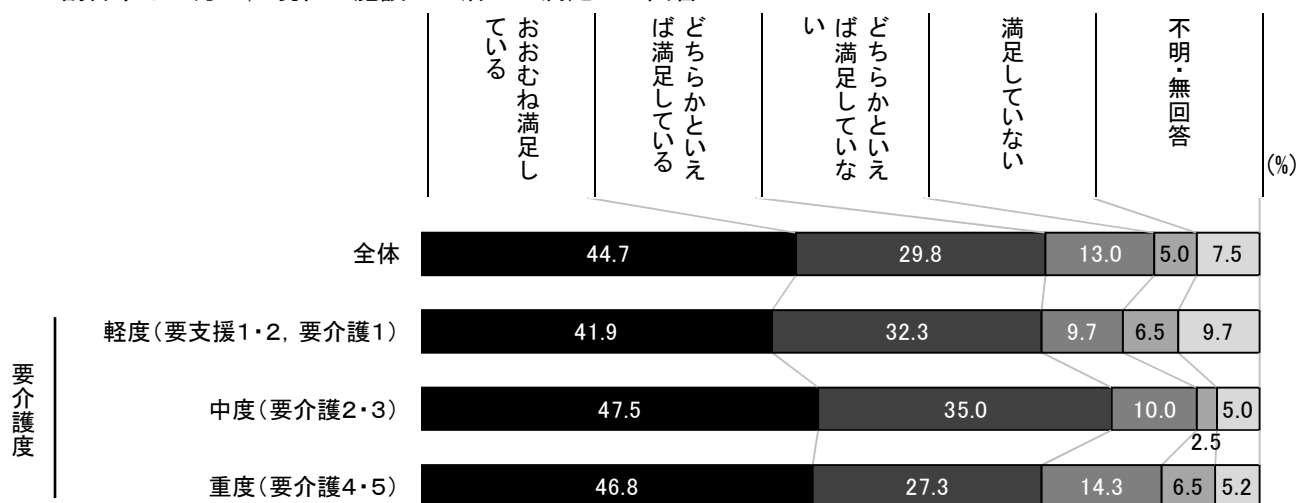
	回答者数（件）	穏やかに毎日を過ごせている	生活が維持できている	健康が維持・向上した	自分でできることが増えた	筋力など身体機能が維持・向上した	日々の生活に張りが出た	その他	特に良くなったと感じることはない	不明・無回答	
全体	161	60.9	44.1	24.2	5.6	5.6	5.0	5.6	20.5	6.2	
要介護度	軽度(要支援1・2, 要介護1)	31	54.8	48.4	32.3	6.5	6.5	6.5	9.7	22.6	9.7
	中度(要介護2・3)	40	77.5	50.0	32.5	15.0	5.0	12.5	7.5	15.0	2.5
	重度(要介護4・5)	77	58.4	41.6	16.9	-	5.2	1.3	2.6	23.4	3.9

※網掛けは分析軸別の最大値

(4) 施設生活の満足度

問4 ご本人は、現在の施設での生活にどの程度満足していますか。(○は1つ)

☆7割台半ばの方が、現在の施設の生活に“満足”と回答



調査結果の傾向

施設での生活の満足度(問4)を聞いたところ、「おおむね満足している」(44.7%)が最多で、「どちらかといえば満足している」(29.8%)と合わせると、74.5%の方が“満足”と回答しています。

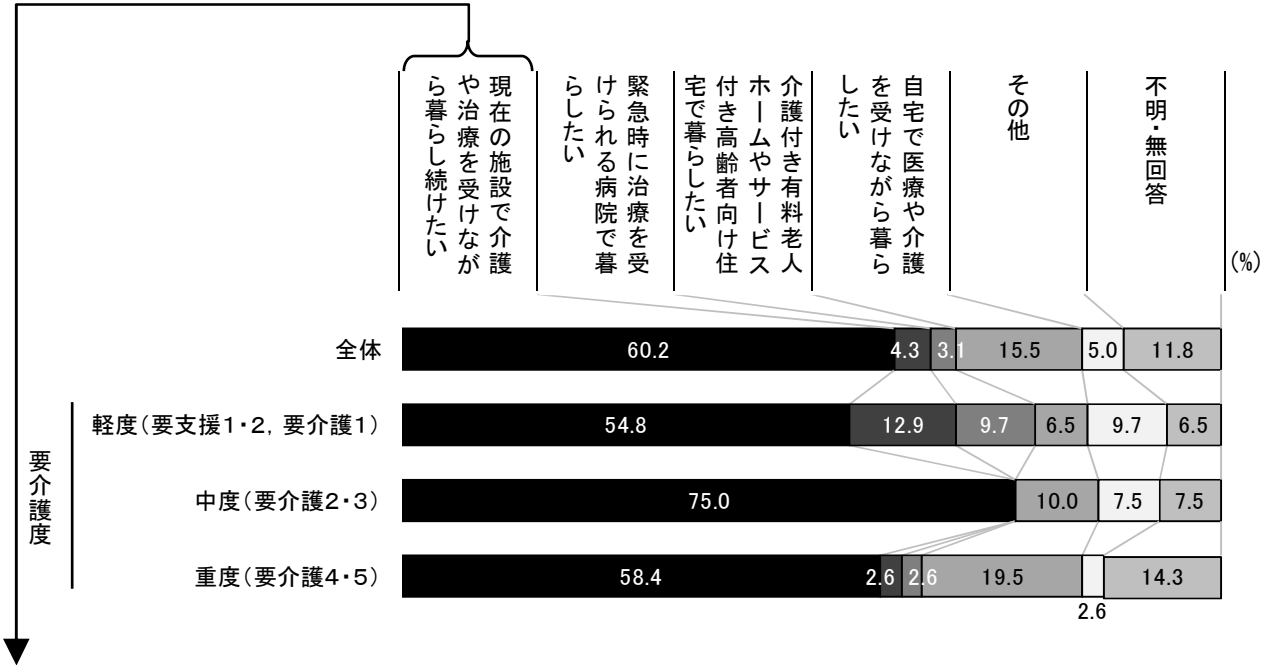
クロス集計分析

要介護度別に見ると、【中度(要介護2・3)】の場合、「おおむね満足している」(47.5%)と「どちらかといえば満足している」(35.0%)を合わせた82.5%の方が“満足”と回答しており、全体平均を上回っています。

(5) 最終的に暮らしたい場所

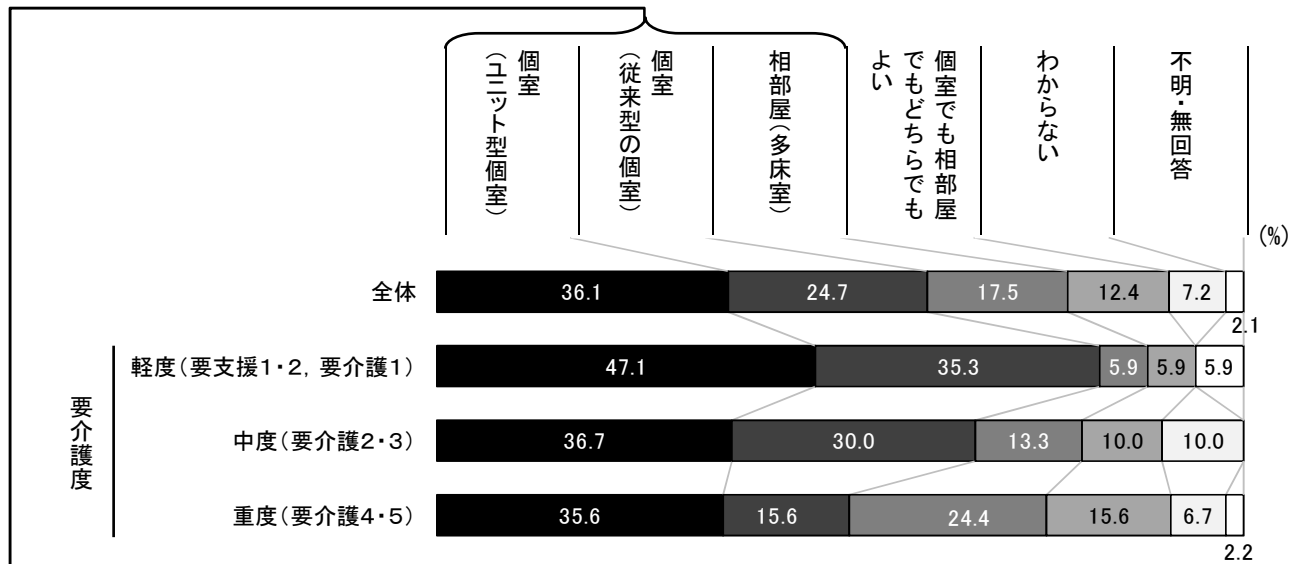
問5 ご本人は最終的に、どのような場所で暮らしたいですか。(○は1つ)

☆最終的な生活場所は「現在の施設で介護や治療を受けながら暮らし続けたい」が6割強でトップ



問5-1 施設で生活される場合、ご本人はどのような部屋を希望しますか。(○は1つ)

☆6割強の方が“個室”を希望



問5-1-1へ

問5-1-1 個室あるいは相部屋を希望される理由があれば、ご自由にご記入ください。

30人から回答がありました。記載内容では、「他人に気を使いたくない、迷惑をかけたくないため個室希望」（15件）が最多で、次いで「プライベート・プライバシー確保のため個室希望」（7件）、「本当は個室希望だが、金銭面で相部屋希望」（6件）と続きます。記載内容を以下に示します。

区分	記載内容	件数
1	他人に気を使いたくない、迷惑をかけたくないため個室希望	15
2	プライベート・プライバシー確保のため個室希望	7
3	本当は個室希望だが、金銭面で相部屋希望	6
4	一人はさみしいので相部屋希望	2
5	人付き合いも重要と考えるため相部屋希望	1

※ 複数の記載内容もあることから、合計の件数と回答者数とは合致しない場合があります。

【1 他人に気を使いたくない、迷惑をかけたくないため個室希望（15件）】

- 他人との間で（認知症のため）自分の着るものなどが区別できずにけんかや争いが起きることを防げる。
- 母親は高齢であり、自分自身も自己主張も強く個室は適している為。
- 他の人に遠慮する必要がないので個室を希望。
- 本人の自由で動ける。
- 気兼ねなく過ごせる。
- 特にありませんが、今の施設に満足しています。又、家族（母を見ている次男）としても今の施設がアットホームでとても満足しています。
- 他人に迷惑かけないで済むし、問題のトラブルを避ける事が出来る。
- 他人と一緒にだと煩わしいので個室がいい。
- 相部屋だと同じ部屋の利用者さんからカゼがうつってしまうので個室がいいです（以前、カゼがうつって心不全を起こした為）。
- わずらわしさが無い。よく眠れる。
- 他のかたに迷惑をかけずゆっくりと過ごせるから。
- 現在従来型の個室に居住していますが、そこでの暮らしに十分満足しており、終末期を含め今後も同所で適切な介護、医療サービスを受けられると思うから。
- 個室を希望する理由、自分を認知症と認めないこともあり、周りの人とコミュニケーションがはかれないうことで相手に問題があると意識し、孤立感を増大させている感があります。
- 少人数だと一人ひとりにもっとケアできるため。
- 相部屋だと同居者との相性がある。個室の方が気楽。

【2 プライベート・プライバシー確保のため個室希望（7件）】

- 個人のプライバシーが保たれるよう。
- 家族が部屋に出入りしやすい。

- ・個室希望、自宅のように静かに暮らせて、家族も面会しやすいから。
- ・家庭的な雰囲気ですタッフの方々、入居者の方々と食事・ゲーム体操などをしてすごし、ゆっくり休む時には個室で寝たり、訪ねてきた娘と話したり、壁に絵や写真を貼って楽しい雰囲気にしているのが良いと思う。
- ・プライバシーの確保は名目。入居中の有料ホームは夫婦部屋の他は全部個室。
- ・自分の時間が確保出来、他人に気兼ねなく過ごせる。
- ・1. プライバシー。2. 浴室がついている。

【3 本当は個室希望だが、金銭面で相部屋希望（6件）】

- ・相部屋のほうが安いから。
- ・1人では淋しいから。又、費用の問題から。
- ・スペースも広く、料金も個室より安いから。
- ・入居費用の問題と相手の方の質に依って個室を希望しますが費用によっては相部屋になっても良い。
- ・個室は費用が負担できないから。
- ・費用。

【4 一人はさみしいので相部屋希望（2件）】

- ・一人では淋しいので多床室で同じ年代の人と暮らしたい。
- ・相部屋希望。個室は一人では淋しい。相部屋は人の出入りで人との交流がある。

【5 人付き合いも重要と考えるため相部屋希望（1件）】

- ・周りと会話ができるから。

調査結果の傾向

最終的に暮らしたい場所（問5）、施設で生活される場合の部屋の希望（問5-1）についておうかがいしました。

まず、最終的に暮らしたい場所を聞いたところ、「現在の施設で介護や治療を受けながら暮らし続けたい」（60.2%）が最多となっているが、「自宅で医療や介護を受けながら暮らしたい」との回答も15.5%ありました。

次に、施設で生活される場合どのような部屋を希望するかを聞いたところ、「個室（ユニット型個室）」（36.1%）と「個室（従来型の個室）」（24.7%）と合わせて、60.8%の方が“個室派”となっています。

クロス集計分析

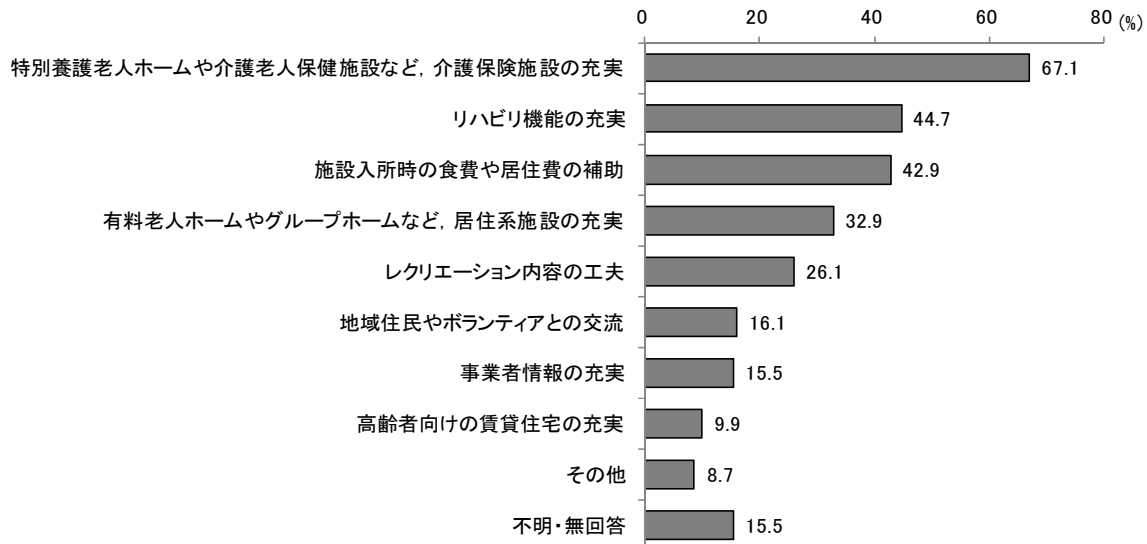
最終的に暮らしたい場所について、要介護度別に見ると、【軽度（要支援1・2、要介護1）】の場合、「緊急時に治療を受けられる病院で暮らしたい」（12.9%）及び「介護付き有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅で暮らしたい」（9.7%）が全体平均を大きく上回っています。

希望の部屋については、要介護度別に見ると、【軽度（要支援1・2、要介護1）】の場合、「個室（ユニット型個室）」（47.1%）が全体平均を大きく上回り、【重度（要介護4・5）】の場合は、「相部屋（多床室）」（24.4%）が全体平均を大きく上回っています。

1-3 施設サービスで大切なこと

問6 施設サービスで、特に大切だと思うものはどれですか。(〇は5つ以内)

☆施設サービスで特に大切だと思うことは、「特別養護老人ホームや介護老人保健施設など、介護保険施設の充実」が6割台後半でトップ



調査結果の傾向

施設サービスで特に大切だと思うこと(問6)を聞いたところ、「特別養護老人ホームや介護老人保健施設など、介護保険施設の充実」(67.1%)が最多で、次いで「リハビリ機能の充実」(44.7%)、「施設入所時の食費や居住費の補助」(42.9%)と続きます。

クロス集計分析

要介護度別に見ると、【中度(要介護2・3)】の場合、「特別養護老人ホームや介護老人保健施設など、介護保険施設の充実」(82.5%)、「施設入所時の食費や居住費の補助」(57.5%)が全体平均を上回っています。

		回答者数(件)	特別養護老人ホームや介護老人保健施設の充実	リハビリ機能の充実	施設入所時の食費や居住費の補助	有料老人ホームやグループホームなど、居住系施設の充実	レクリエーション内容の工夫	地域住民やボランティアとの交流	事業者情報の充実	高齢者向けの賃貸住宅の充実	その他	不明・無回答
全体		161	67.1	44.7	42.9	32.9	26.1	16.1	15.5	9.9	8.7	15.5
要介護度	軽度(要支援1・2, 要介護1)	31	54.8	29.0	45.2	38.7	25.8	9.7	12.9	6.5	3.2	19.4
	中度(要介護2・3)	40	82.5	55.0	57.5	40.0	32.5	15.0	15.0	12.5	12.5	5.0
	重度(要介護4・5)	77	70.1	50.6	39.0	31.2	24.7	18.2	18.2	10.4	9.1	14.3

※網掛けは分析軸別の最大値

1-4 ご意見・ご要望

問7 施設での生活の質を向上させるために必要なことなど、ご意見・ご要望などがありましたらご自由にご記入ください。

63人から回答がありました。記載内容では、「施設関係（設備・運営面）」（29件）、「人員・待遇・質の向上」（27件）への回答が特に多くなっています。主な記載内容を以下に示します。

区分	記載内容	件数
1	施設関係（設備・運営面）	29
2	人員・待遇・質の向上	27
3	健康づくり・医療関係	3
4	行政・制度	3
5	交流・社会参加	1
6	アンケート	1

※ 複数の記載内容もあることから、合計の件数と回答者数とは合致しない場合があります。

【1 施設関係（設備・運営面）（29件）】

- ・①日中の生活にメリハリをつけて、日中は離床し、ホールにて他の入居者と共にレクや行事に参加して、他者と関わりを持ち、生活を活発にしていく。②リハビリを実施し、現在の身体機能を維持する。③施設とご家族の協力があって良い施設での生活が維持できると思う。④美味しい食事（おやつ）。
- ・施設の生活は自分自身ではなく、相手方の向上につながっている。問題としては皆が自分の過去にやった趣味をふくめてもっと前に出てやってほしい。
- ・せめて入居者2名に対し1名のヘルパーさんをつけること。入居者1人1人のことをしっかり把握している責任者がいること。
- ・生活上必要なものを管理できていること。
- ・とても快適です。人も親切で大変楽しく、施設の中で楽しく暮らしております。快適な毎日の暮らしです。快適な暮らしです。毎日が楽しい思いです。友人も。
- ・食事は生活の中の楽しみの大きな要素であり、質の向上を望む。
- ・施設とは特養のことか？有料ホーム？特養であれば、100人待ちの現状からすると、入居は不可能に近い。そんなに待てる訳はない。入れもしない特養への要望を聞かれてもそんなことは関係ないと言わざるを得ない。有料ホームのことであれば、市が要望を聞いても無意味。
- ・①施設の充実（廊下（南側）のテーブルの設置）、②衛生面（窓側の清掃（台所・植木鉢））、③入浴（時間を延長して入所者を丁寧に洗う）、④職員の態度（言葉、行動）の充実をする。
- ・買い物など外出したいが、現ホームでは希望通りには外出できない。月1回くらい外出できたら良いと思う。
- ・費用が安い施設の拡充を希望するが、それが難しい場合、費用の補助を希望する。
- ・現在、他市の老健施設に入っており、家族の訪問に苦慮しております。実は当初、国分寺市の老健施設に入居しておりましたが、3ヶ月ごとに入退居になり、次の入所先から自宅に近い老健に入居希望を提出しましたが、長年在住の方が優先入居されており、私のような転入時期が浅いものは希望入居ができ

ず、やむを得ず他市の老健施設に入居しております。入居者選定において不公平が生じないように明確な基準などを明示願いたい。

- 施設内が暗い（節約のため）。
- 施設内でのリハビリ計画書どおりの実施。その状況及び成果についての情報交換を密にすることが望ましい。（特に形だけの、つまりなおざりのリハビリにならぬよう。）
- 唯一の楽しみが食事、おやつなので工夫が必要。
- 特に入所高齢者の場合の健康管理・病状管理について施設・担当医師・家族間の連携を密にすることが必要。
- 最後の看取りまで施設内でできないものでしょうか。
- 市内に老健、ショートステイ等増設できないか。近くの府中市に特養があっても国分寺は対応しないなど。都会中心となり、バランスを考えて（もちろん参入業者、予算、土地などのこともありましょうが）、地域と連携してショートステイ、老健を増設できないでしょうか。
- 現在利用させて頂いている施設は皆さんとても親切で、リハビリも熱心にやって頂いて本当に感謝しています。このような施設が増えてくれたら嬉しいです。
- もう少しスペースにゆとりがあると良いと思う。トイレは各部屋にあると良い。
- 食事の介助やリハビリなど、なるべく密接に可能な限り時間をかけて欲しい。
- 自由に外出できるように。食事を年齢にあったものにしてほしい。
- 入居者には認知の方が多く、入居者同士の会話が困難なことが多い。職員・ボランティアの方がたとの会話の機会を増やしていただきたい。
- 入浴回数（現在週2回）の増加。
- 施設での生活で特に大切と感じるのは、介護者とのコミュニケーションと食事だと思います。また年齢を重ねると、本人自ら積極的に意見するというより受身になりがちなので、食事等も個人によって多少好みやカロリー量なども工夫が必要なのではないかと感じます。
- 入所者の心のケア及び個々のリハビリ計画・実施の強化をお願いします。
- 施設の小ささ。
- 新しい施設であるため、生活全体の充実がまだなされていないように思われる。他の施設の研修を多くして、良いところを取り入れて行って欲しい。レクリエーションは殆んどなく、口腔ケアなどは本人ができない人はやっているようだが、少しでもできると手伝いをしてくれないように思われる。要望できる人はいいが、できない人は困る。全員が必ずやるようなシステムができていない。
- 以前入居していたグループホームではレクリエーション内容が充実していたが、現在の施設でほとんど無い。是非充実させて欲しい。
- 最低必要物質の購入を願えればと思う。

【2 人員・待遇・質の向上（27件）】

- 施設の質の向上は設備などではなく、働く職員の方の質の向上である。職員の十分な人数と労働にみあった給与が不足している。それなくして入所者への要望を求めても、職員には酷というものである。たまには外へ連れ出して欲しいと思うが、無理だと思っている。
- 経済力も生活には重要なことですが、それに従事される介護士のかたがたの努力をもっと認めてあげてください。

- スタッフの数が足りないと思います。一生懸命して頂いていますが、余裕がないのが見て取れます。重労働なのでなんとかならないかといつも思う次第です。
- 介護者の入所者に対する公平無私な接し方が望まれます。相部屋の場合、特定の入所者に対する介護者の特別な感情は公平さを欠き、結果として差別を生むことになると思います。入所者に対しては平等な態度、姿勢で臨んで欲しいものです。
- なかなか言葉が出なくても職員の方に声をかけてもらえると良い。土日祝日などでも看護師さんに出勤していただくと安心である。
- 介護士さんの人数が不足。食事時の補助員がほしい。
- 行きたいときにトイレぐらい行かせて欲しい。手が足りないように思います。
- 職員の待遇の改善。教育。
- なんといいっても老人介護に携わるスタッフの方々の理解と老人へのいたわりの気持ちが重要だと感じます。どんなに立派な設備であれ、カリキュラムであれ、それを運用する人たちの気持ちによって簡単に良くも悪くもなります。年を取ると人は「優しくされること」のみを望むものだと思います。
- スタッフの心、施設によって違いを感じます。A→家族にTELがよくかかってくる。(→片手のサービス)。B→家族にあまりTELがかかってこない。(→これは本人の気持ちが穏やかにさせている。安心して家族も家族自身の時間を持てる。両手のサービス。入所者の気持ちや状態をキチンと把握してくれている中でサービス提供して下さる。)
- よくやっていると思います。お陰で私(夫)の方の仕事も安心して続けられます。
- 介護スタッフが不足していて、思うように介護していただけない。
- 1週間か10日に1回は向うが、スタッフの方々と連絡しあって入居者の様子が良くわかり助かる。行事も多く、このことで家族の方々と会話も多くなり、会議によって現況もわかって安心している。入居者の母と会話は不十分でも、笑顔や「ありがとう」、「あなたも体に気をつけてね」という言葉に安心感と勇気を与えられてありがたいことです。
- 介護職員の増員。
- 声を出して自分の意見をいうことがはばかられる。施設の上層部に気に障ったことをいうと何かにつけてにらまれる。身の回りを全体的に世話にならなければならなくなると、今からでも思うことや自分の言いたいことは口から出さないで貝になりたい。ある一部についてです。
- 職員のスキルアップと人手不足の解消。
- 介護士及び看護師の体調を見ると腰痛が考えられるので、施設ではその配慮及び診断を考えてやるべき。
- 今の特養はアットホーム的で職員の対応ぶりにも満足しています。給与体系はわかりませんので、一般論ですが職員の給料を上げ、介護職員は輝ける職業だと世に誇れるようにしたい。
- 介護職員の方の優遇。大変な仕事なので。
- 職員不足のためかとても忙しそうです。ゆっくりとていねいに介護していただければと思います。
- 職員の人数が少なく職員の対応に余裕が無い。人材難とは思いますが、職員のレベルアップ、待遇改善を図って欲しい。
- 介護職員の数が足りない。もっと人数を増やして入所者一人一人によりきめ細やかに対応してもらえたらと思う。今すぐにできなければボランティア等をもっと活用してほしい。
- 介護者の各々の個人的なスキルの違いや入所者との接し方にまだまだ足りない所が多くあるように見受けられます。

- ・介護スタッフの定着率の上昇。介護スタッフの労働環境。労働条件の改善。介護スタッフ（一人あたり）入所比率の改善。医療スタッフの配置の拡充。
- ・介護していただく職員、パートのご苦勞に本人も私も感謝しています。この仕事・職業が社会にとって重要で意義のあるものであることを実感しました。担当する方、特に若い方が誇りを持って臨めるよう、公的にも一度バックアップしていただきたく思います。
- ・介護士の不足。
- ・職員の質の向上を願います。

【3 健康づくり・医療関係（3件）】

- ・施設における医療行為が異常に高い。例）①血液測定②体温測定③酸素測定④心音測定で所要時間4～5分くらい。これで44,000円/月を最低取られている。
- ・療養型病床が足りず、重度の医療介護が必要な人の受け皿が少ない。認知症とそれ以外は分けてほしい。
- ・筋肉が弱ってきている。散歩、筋力トレーニングが必要。

【4 行政・制度（3件）】

- ・国分寺市の財政は住民税に頼っている現状において、納税者にも優遇措置をされたい。
- ・介護保険制度の充実。
- ・毎月の施設利用料が年金を上回るので、市から補助してもらえると助かります。（今よりもう少し増額できれば良い）

【5 交流・社会参加（1件）】

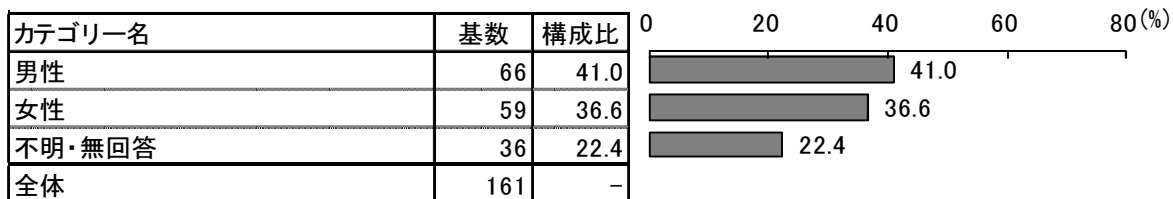
- ・老人だけを狭い場所に囲い込むのではなく、幼稚園や支援学級との併設・交流、中高生との介護実習を通じた交流など、若い世代とのふれあいをもつことにより、楽しく生きがいを持って暮らせるのではないかと思います。

【6 アンケート（1件）】

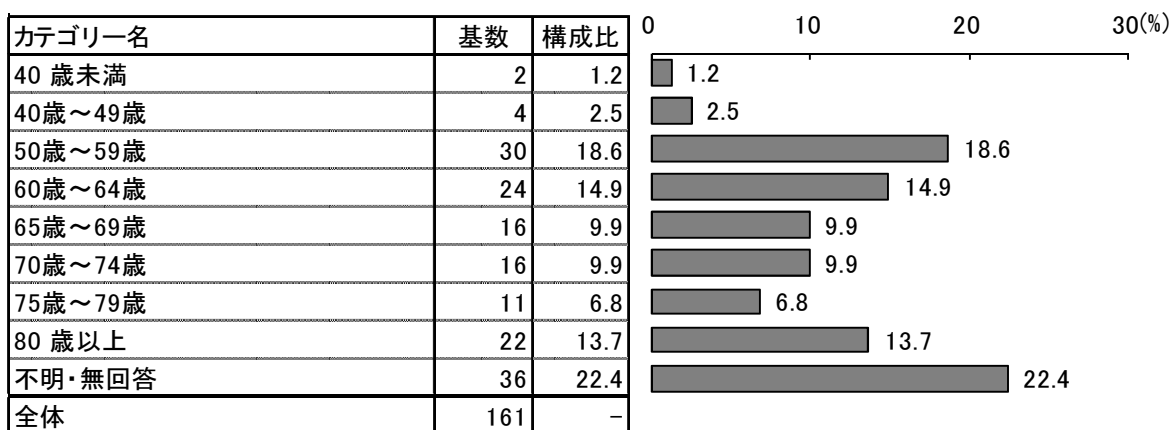
- ・質問の内容によって、ご本人が答えづらいものがありました。内容によってはご検討して頂きたいと感じるものがありました。

1-5 家族等介護者の状況

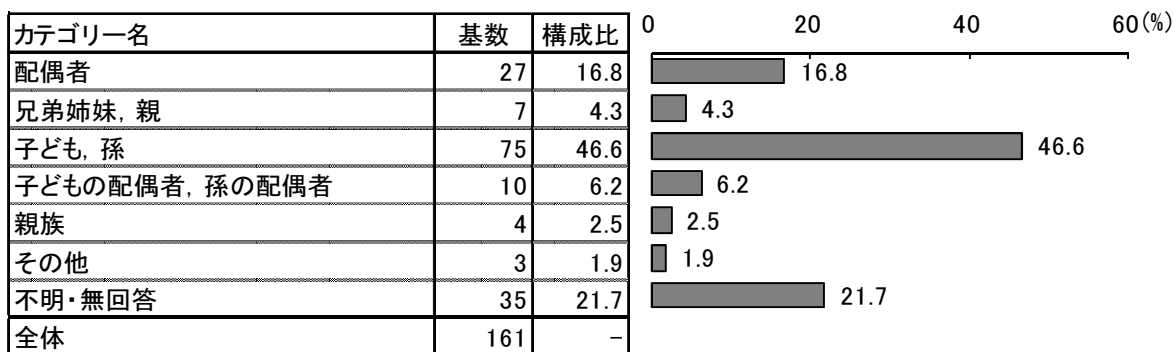
(1) 性別（介護者）



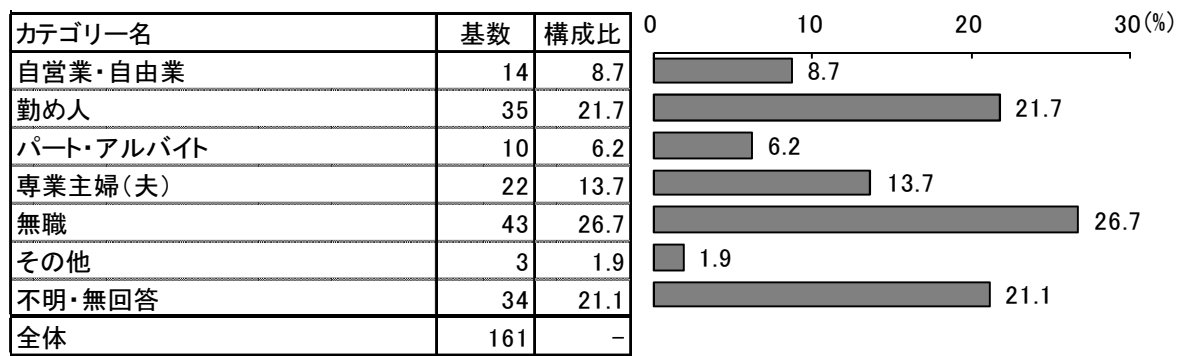
(2) 年齢（介護者）



(3) 続柄（介護者）



(4) 職業（介護者）



2 総括

【本人について】

性別は男性が3割、女性が6割以上で、年齢は85歳以上が約6割、80歳以上では8割となっています。入所施設は「介護老人福祉施設」が4割、「介護老人保健施設」が1割半、「有料老人ケアホーム・ケアハウス」が2割以上で、施設の所在地は、国分寺市内が5割、市外が4割となっています。入所期間は「1年以上3年未満」が最も多くなっています。

入所（入居）の理由は、「24時間介護やケアが受けられるから」が6割以上と最も多くなっています。また、要介護度は要介護4や5の割合が高くなっています。

【入所待機期間について】

「待たずに入れた」が約4割で最多に対し、「3カ月未満」から「3年以上」の幅で待機した人がいます。軽度の方が待機期間が短い割合が多い状況です。また入所前の居住場所は、約6割が「自宅」、約2割が「介護老人保健施設」でした。

【施設での生活について】

日常的な金銭管理・預貯金通帳等の管理については「家族や親族が管理している」割合が8割を超えています。

日頃楽しみにしていることは「家族や親族との団らん」が約5割、次いで「施設での食事」が約3割、「入浴」が3割近くとなっています。

入所（入居）してから良くなったと感じることは「穏やかに毎日を過ごせている」ことや「生活が維持できている」が多くなっています。施設での生活については7割台半ばが“満足している”と回答しています。

最終的に暮らしたい場所については「現在の施設で介護や治療を受けながら暮らし続けたい」が6割、「自宅で医療や介護を受けながら暮らしたい」が1割台半ばとなっています。このことは施設を終の棲家として考えていることがうかがえることから、施設生活での楽しみがより充実したものとなるよう支援していく必要があります。また施設については6割が個室を希望しています。

施設サービスで大切だと思うことは、「特別養護老人ホームや介護老人保健施設など、介護保険施設の充実」が7割近く、次いで「リハビリ機能の充実」、「施設入所時の食費や居住費の補助」などが4割を超えています。

【家族介護者の状況について】

男性が4割以上で女性を上回っています。続柄は「子ども、孫」が半数近く、年齢は65歳以上が4割で、「無職」の割合が高くなっています。

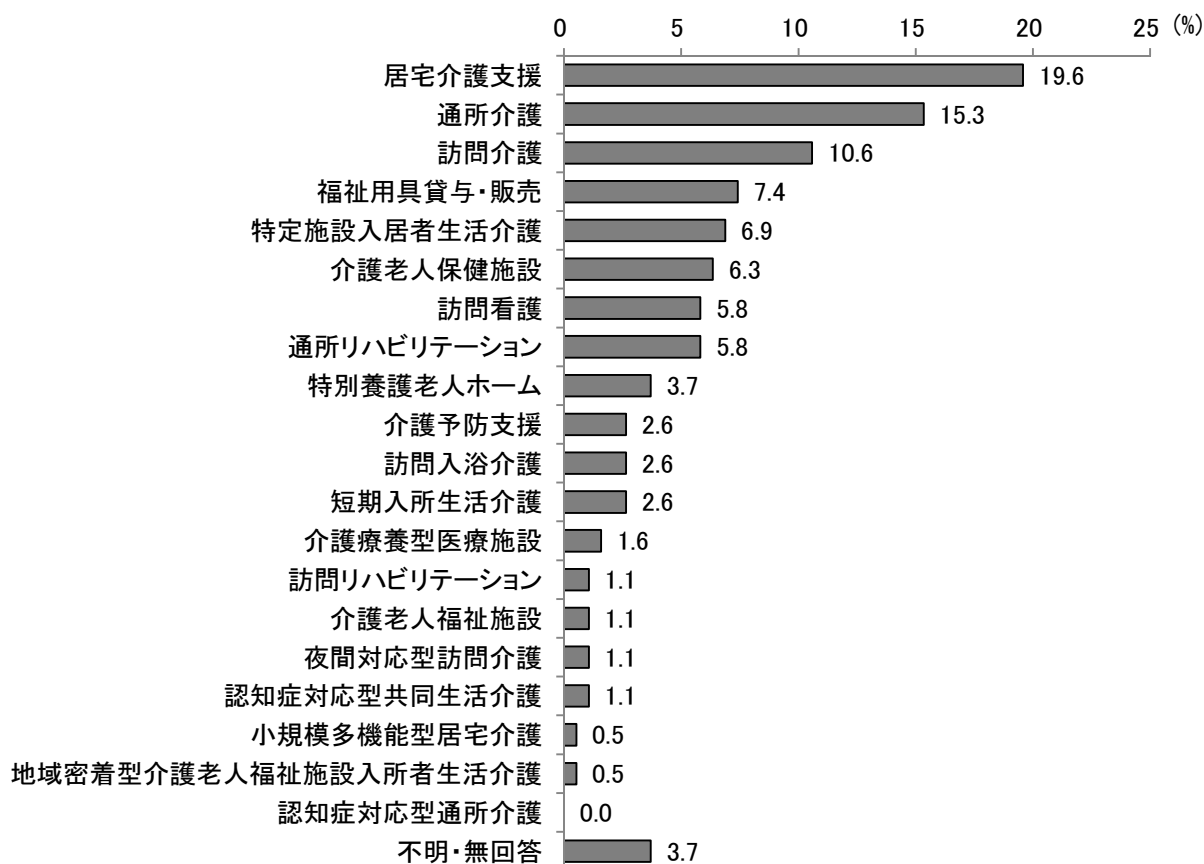
家族介護者の状況としては、65歳以上の方が4割となっていることから、「老老介護」への支援を検討する必要があります。

第6章 介護保険事業者調査

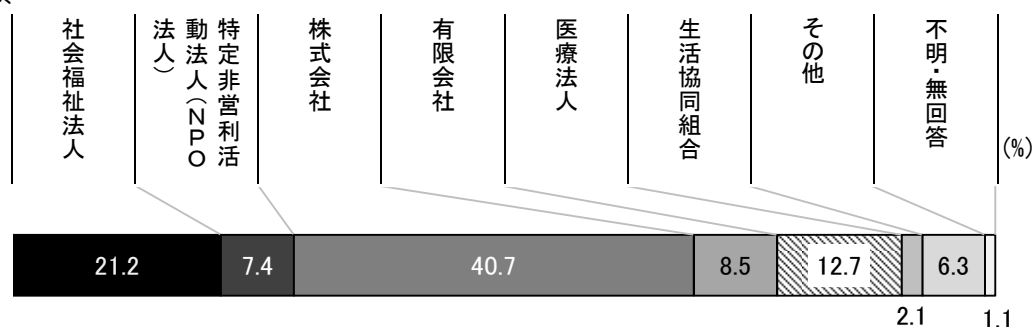
1 調査結果

1-1 事業所の概要

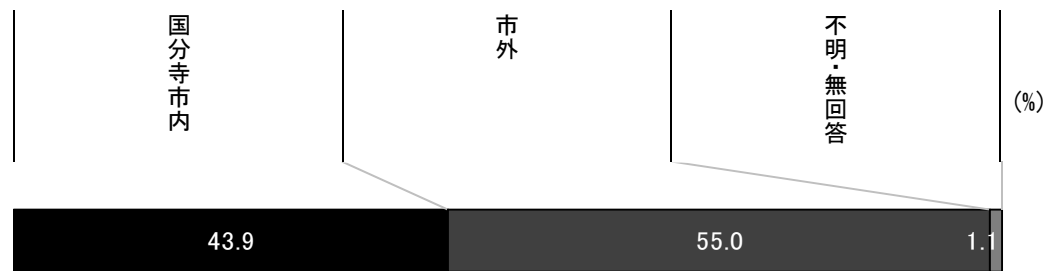
(1) 事業種別（介護予防を含む）



(2) 法人格の種類



(3) 事業所の所在地



(%)

		回答者数 (件)	国分寺市内	市外	不明・無回答
全体		189	43.9	55.0	1.1
事業種別	介護予防支援	5	100.0	-	-
	居宅介護支援	37	51.4	45.9	2.7
	訪問介護	20	55.0	45.0	-
	訪問入浴介護	5	20.0	80.0	-
	訪問看護	11	27.3	72.7	-
	訪問リハビリテーション	2	50.0	50.0	-
	通所介護	29	62.1	37.9	-
	通所リハビリテーション	11	45.5	54.5	-
	短期入所生活介護	5	40.0	60.0	-
	特定施設入居者生活介護	13	38.5	61.5	-
	福祉用具貸与・販売	14	-	100.0	-
	介護老人福祉施設	9	22.2	77.8	-
	介護老人保健施設	12	16.7	75.0	8.3
	介護療養型医療施設	3	-	100.0	-
	夜間対応型訪問介護	2	100.0	-	-
	認知症対応型通所介護	-	-	-	-
	小規模多機能型居宅介護	1	100.0	-	-
	認知症対応型共同生活介護	2	100.0	-	-
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	1	100.0	-	-	

※網掛けは分析軸別の最大値

(4) 職員体制

		正規職員			正規職員以外(※1)		
		男	女	計	男	女	計
常勤 (※2)	回答数	184件		184件	77件		77件
	人数計	1,093人	1,930人	3,044人	248人	997人	1,245人
	平均	7.7人	10.9人	16.5人	5.2人	13.1人	16.2人
	最大値	75人	372人	447人	28人	273人	301人
短時間 (※3)	回答数	81件		81件	13件		13件
	人数計	143人	423人	581人	9人	238人	257人
	平均	3.2人	5.3人	7.2人	3.0人	19.8人	19.8人
	最大値	43人	29人	52人	6人	37人	37人
登録ヘルパー (※4)	回答数	43件		43件	15件		15件
	人数計	97人	216人	313人	25人	330人	355人
	平均	5.1人	5.5人	7.3人	2.5人	22.0人	23.7人
	最大値	25人	40人	65人	5人	79人	82人

注：合計値のみを回答している事業所があるため、男女の集計値と計の値は合致しない場合があります。

ここでは、以下のとおり分類します。

※1 「正規職員以外」：「派遣・契約・臨時・パートタイム」職員などの者

※2 「常勤労働者」：事業所の定める所定労働時間を全て勤務する者

※3 「短時間労働者」：1日の所定労働時間又は1週間の労働日数が常勤労働者より少ない者（登録ヘルパーを除く）

※4 「登録ヘルパー」：働くことができる時間を事業所に登録しておき、本人の都合の良い時だけ勤務する者（訪問介護事業者のみ）

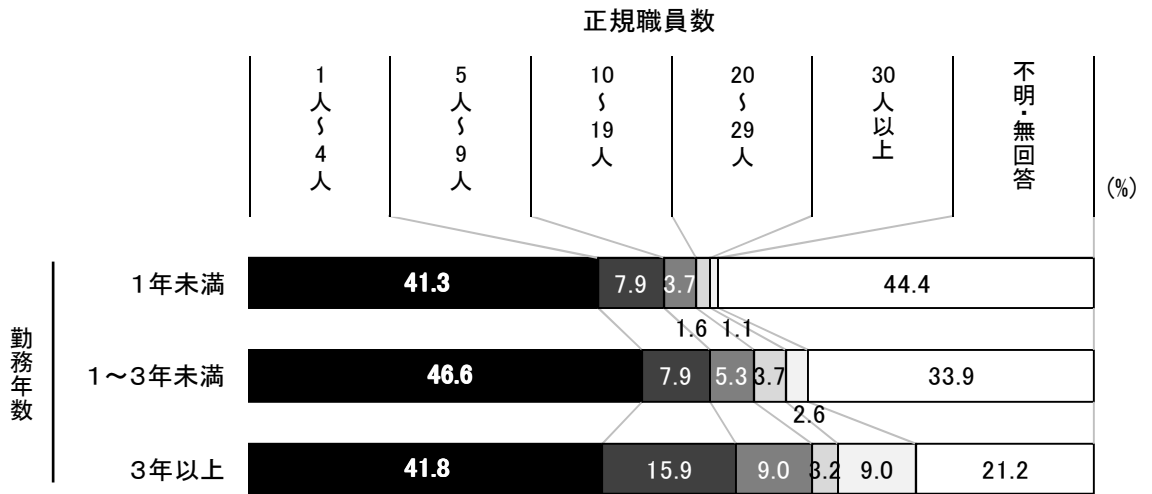
調査結果の傾向

事業所の職員体制(4)を聞いたところ、常勤労働者の場合は1事業所平均で正規職員16.5人、正規職員以外16.2人となっています。

短時間労働者の場合は1事業所平均で7.2人で、正規職員以外は19.8人となっています。

登録ヘルパーの場合は1事業所平均で7.3人で、正規職員以外は23.7人となっています。

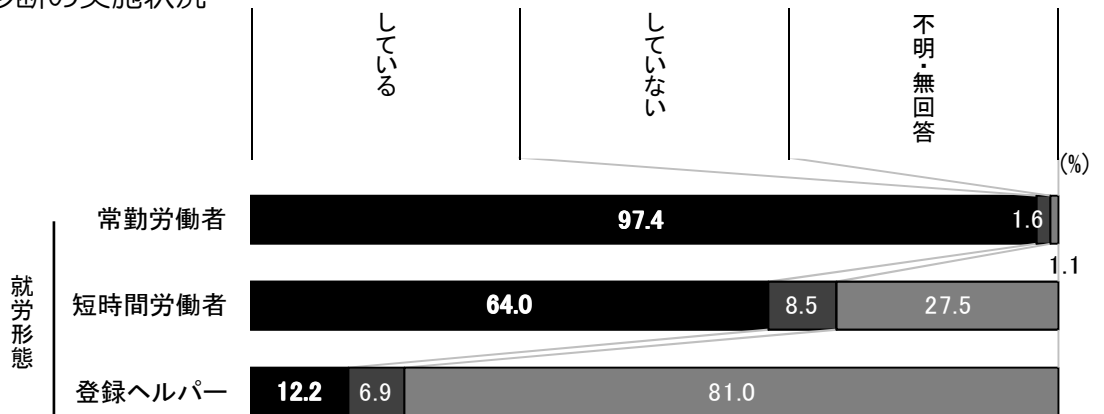
(5) 正規職員の勤務年数別割合



調査結果の傾向

正規職員の勤務年数別割合(5)を聞いたところ、いずれの項目でも「1人～4人」が4割以上となっています。

(6) 定期健康診断の実施状況



調査結果の傾向

定期健康診断の実施状況(6)を聞いたところ、【常勤労働者】は97.4%、【短時間労働者】は64.0%、【登録ヘルパー】は12.2%が「している」という結果となっています。

(7) 採用人数・離職人数

問2 1年間（平成24年4月1日から平成25年3月31日まで）で、貴事業所で採用した人数、離職した人数についてお伺いします。

☆1事業所あたりの平均採用人数は、正規職員で5.8人、正規職員以外で1.6人

○採用人数

		正規職員			正規職員以外		
		男	女	計	男	女	計
常勤	回答数	100件		100件	12件		12件
	人数計	216人	361人	582人	7人	12人	19人
	平均	3.1人	4.5人	5.8人	1.2人	1.5人	1.6人
	最大値	27人	34人	61人	2人	3人	4人
短時間	回答数	47件		47件	59件		59件
	人数計	53人	178人	234人	67人	229人	296人
	平均	2.3人	4.3人	5.0人	1.9人	4.2人	5.0人
	最大値	7人	30人	33人	5人	32人	34人

※合計値のみを回答している事業所があるため、男女の集計値と計の値は合致しない場合があります。

○離職人数

		正規職員			正規職員以外		
		男	女	計	男	女	計
常勤	回答数	86件		86件	7件		7件
	人数計	132人	273人	406人	3人	8人	11人
	平均	2.5人	3.8人	4.7人	1.5人	1.1人	1.6人
	最大値	10人	30人	36人	2人	2人	3人
短時間	回答数	36件		36件	55件		55件
	人数計	41人	137人	178人	53人	203人	256人
	平均	1.6人	4.4人	4.9人	1.9人	4.1人	4.7人
	最大値	4人	27人	30人	5人	39人	43人

※合計値のみを回答している事業所があるため、男女の集計値と計の値は合致しない場合があります。

調査結果の傾向

1年間の採用人数と離職人数（問2）を聞いたところ、1事業所あたり平均採用人数は、常勤の正規職員で5.8人、正規職員以外で1.6人、短時間労働者の正規職員で5.0人、正規職員以外も5.0人となっています。

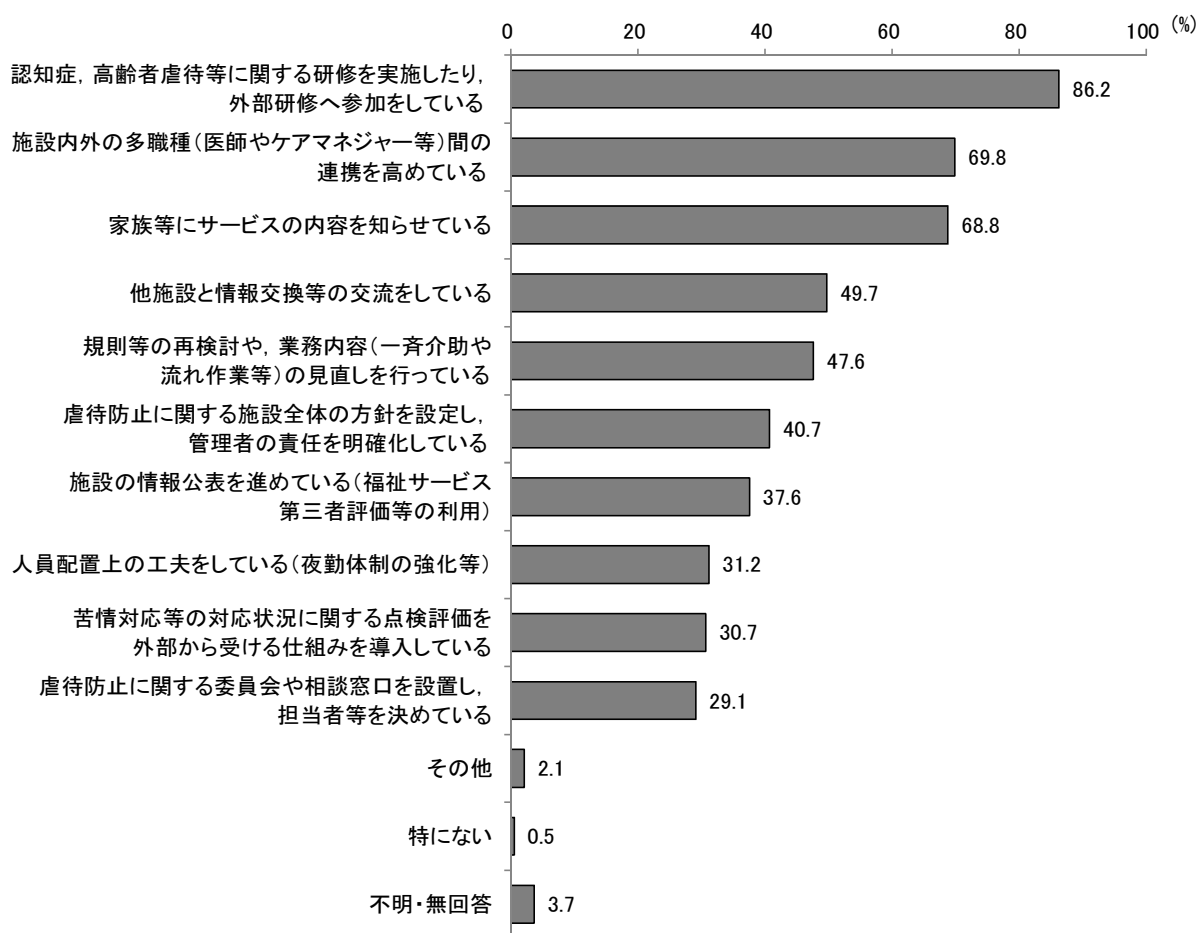
また、1事業所あたり平均離職人数は、常勤の正規職員で4.7人、正規職員以外で1.6人、短時間労働者の正規職員で4.9人、正規職員以外は4.7人となっています。

1-2 利用者の人権尊重

(1) 利用者の人権尊重や虐待防止に向けた取組

問3 貴事業所において、利用者の意思や尊厳の尊重、施設内での虐待防止等、利用者の人権を擁護するために講じている取組にはどのようなものがありますか。(あてはまるものすべてに○)

☆施設内での虐待防止等、利用者の人権を擁護するために講じている取組は、「認知症、高齢者虐待等に関する研修を実施したり、外部研修へ参加をしている」が8割台半ばでトップ



調査結果の傾向

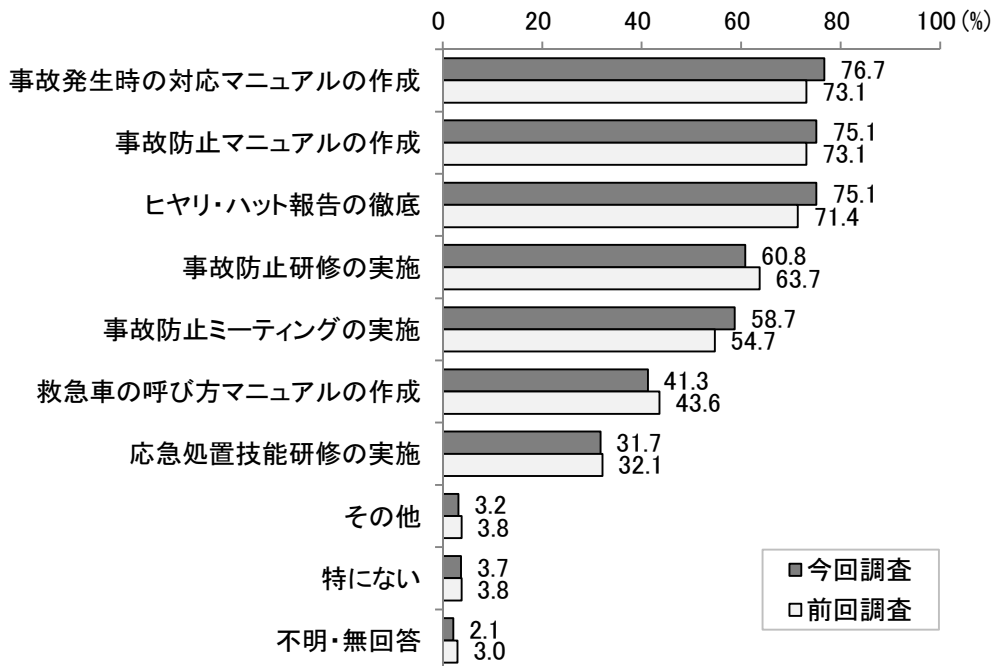
利用者の人権擁護のために講じている取組内容(問3)を聞いたところ、「認知症、高齢者虐待等に関する研修を実施したり、外部研修へ参加をしている」(86.2%)が最多で、次いで「施設内外の多職種(医師やケアマネジャー等)間の連携を高めている」(69.8%)、「家族等にサービス内容を知らせている」(68.8%)の順で多くなっています。

1-3 事故防止や感染予防の取組

(1) 事故防止等の取組内容

問4 サービス提供を通して利用者の身に起こり得る「事故（例：転倒・誤嚥等）」について、貴事業所で事故防止や、事故を最小限に止めるために講じている取組にはどのようなものがありますか。（あてはまるものすべてに○）

☆事故防止のための取組内容は、「事故発生時の対応マニュアルの作成」が7割台半ばでトップ



調査結果の傾向

事故防止の取組内容（問4）を聞いたところ、「事故発生時の対応マニュアルの作成」（76.7%）が最多で、次いで「事故防止マニュアルの作成」（75.1%）、「ヒヤリ・ハット報告の徹底」（75.1%）の順で多くなっています。

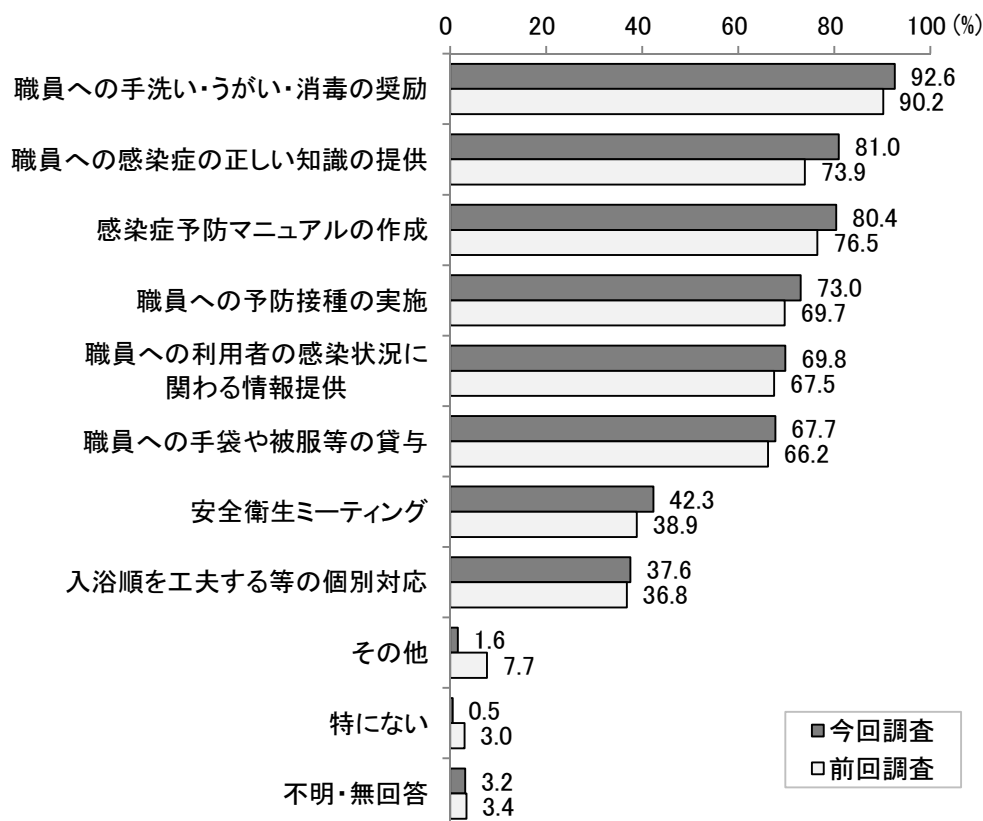
前回調査結果との比較

前回調査と比較すると、おおむね前回と同様の結果となっています。

(2) 感染症の発症に対する予防策の取組内容

問5 サービス提供を通して利用者の身に起こり得る「感染症の発症」（職員から利用者，利用者から利用者，来訪者等の部外者から利用者）について，貴事業所で講じている予防策にはどのようなものがありますか。（あてはまるものすべてに○）

☆感染症への予防策の取組内容は，「職員への手洗い・うがい・消毒の奨励」が9割以上でトップ



調査結果の傾向

感染症の発症に対する予防策の取組内容（問5）を聞いたところ，「職員への手洗い・うがい・消毒の奨励」（92.6%）が最多で，次いで「職員への感染症の正しい知識の提供」（81.0%），「感染症予防マニュアルの作成」（80.4%），「職員への予防接種の実施」（73.0%）と続きます。

前回調査結果との比較

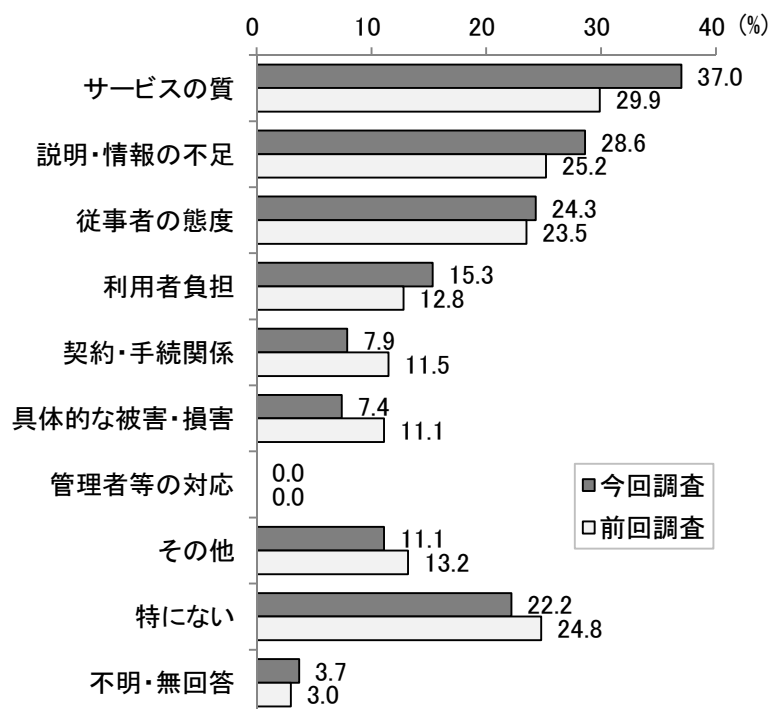
前回調査と比較すると，「職員への感染症の正しい知識の提供」がやや増加し上位2位となっていますが，おおむね前回と同様の結果となっています。

1-4 利用者からの苦情・相談内容とその対応

(1) 利用者やその家族からの苦情や相談内容

問6 利用者やその家族から、どのような「苦情」や「相談」が多いですか。(〇は3つ以内)

☆利用者やその家族からの苦情や相談内容は、「サービスの質」が3割台後半でトップ



調査結果の傾向

利用者やその家族からの苦情や相談内容で多いもの(問6)を聞いたところ、「特にない」との回答が22.2%、「不明・無回答」は3.7%となっていることから、7割以上の事業所は何らかの苦情や相談内容を受けていることがうかがえます。その内容としては、「サービスの質」(37.0%)が最多で、次いで「説明・情報の不足」(28.6%)、「従事者の態度」(24.3%)と続きます。

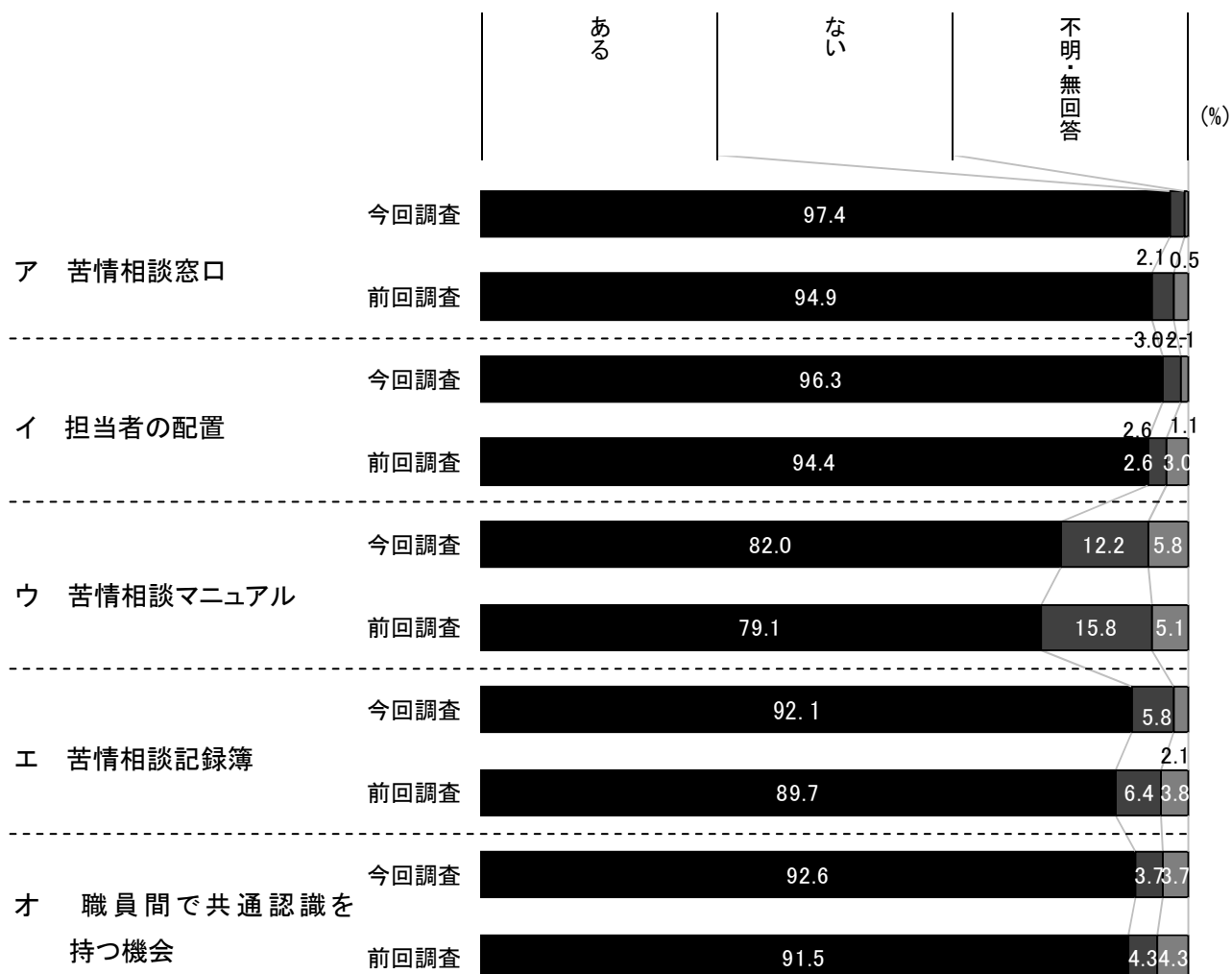
前回調査結果との比較

前回調査と比較すると、最多の「サービスの質」が増えた一方、「契約・手続関係」及び「具体的な被害・損害」はわずかですが減っています。

(2) 苦情や相談の対応体制の有無

問7 「苦情」や「相談」の対応体制についてお伺いします。(〇はそれぞれ1つずつ)

☆苦情相談マニュアルで対応している事業所は8割強



調査結果の傾向

苦情や相談の対応体制の有無(問7)を聞いたところ、9割以上の事業所で、「ア 苦情相談窓口」や「イ 担当者の配置」、「エ 苦情相談記録簿」、「オ 職員間で共通認識を持つ機会」を設けています。アからオの5つの項目のうち、設置が最も少なかったのは「ウ 苦情相談マニュアル」で、82.0%となっています。

前回調査結果との比較

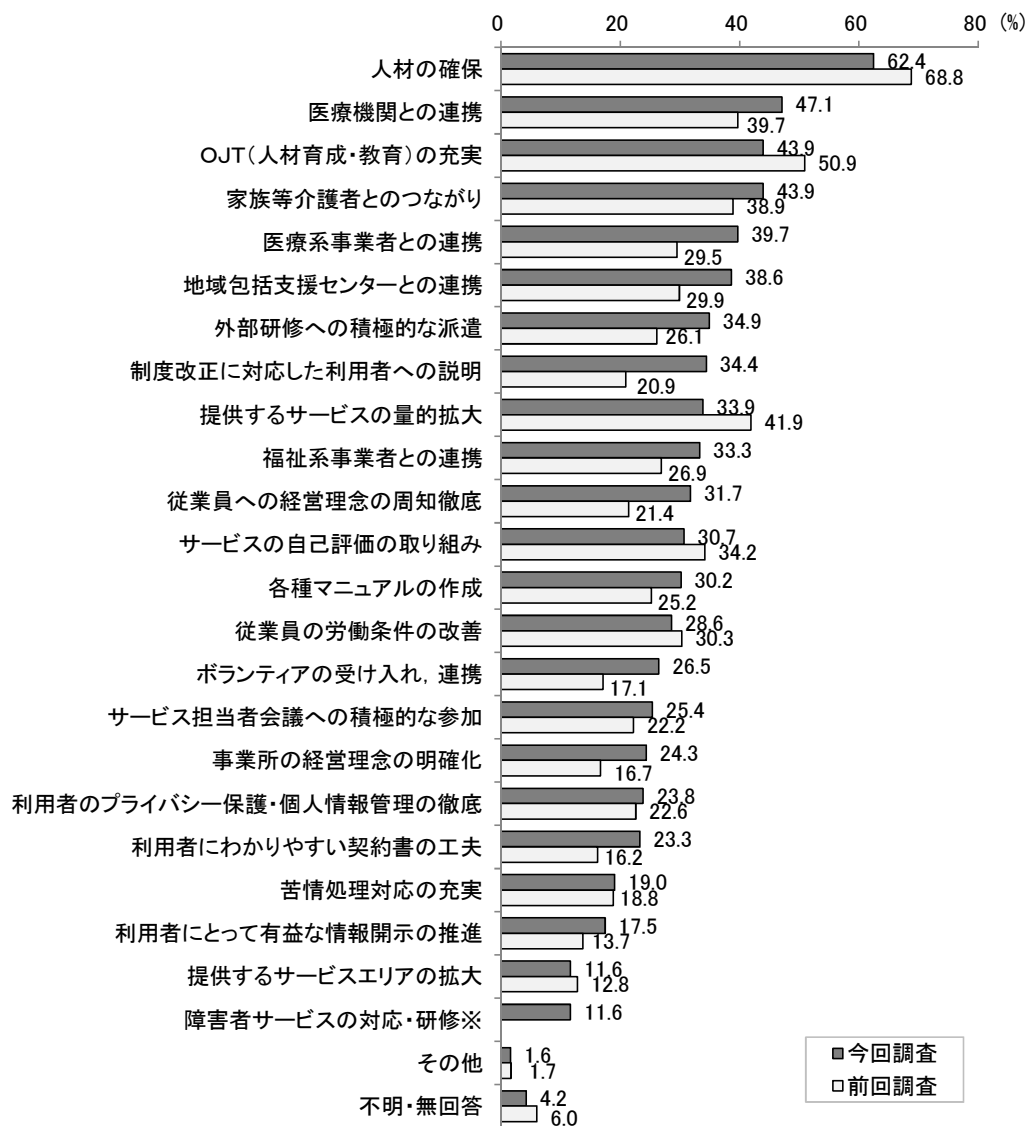
前回調査と比較すると、全項目で「ある」の割合がわずかながら増えています。

1-5 サービスの質の向上に向けた課題

(1) 課題となっている内容

問8 貴事業所で課題となっているものはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

☆事業所で課題となっているものは、「人材の確保」が6割台前半でトップ



※「障害者サービスの対応・研修」は新規の項目

調査結果の傾向

事業所で課題となっているもの(問8)を聞いたところ、「人材の確保」(62.4%)が最多で、次いで「医療機関との連携」(47.1%)、「OJTの充実」、「家族等介護者とのつながり」(ともに43.9%)と続きます。上位3つに人材関係の課題が2つ入っています。

前回調査結果との比較

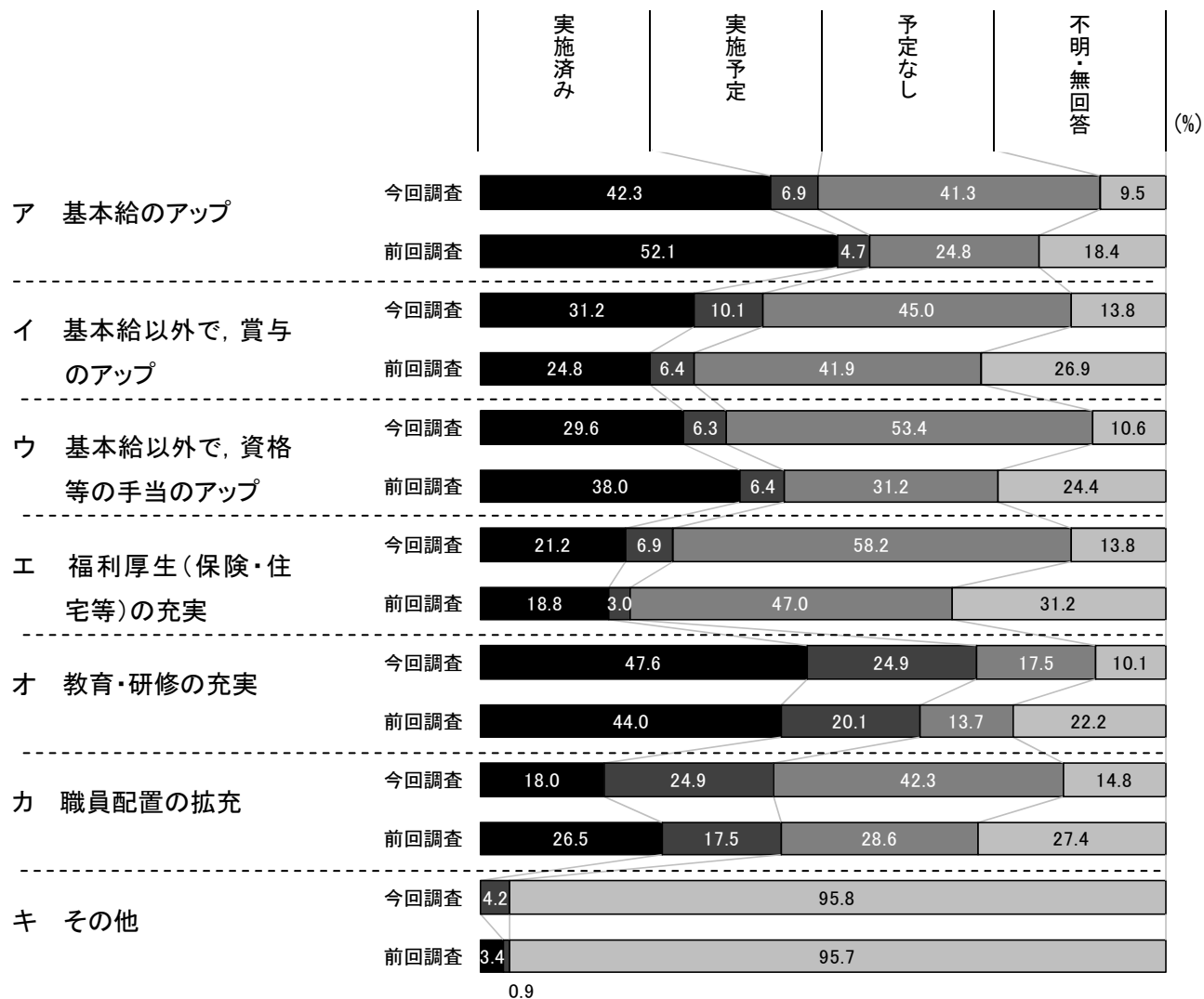
前回調査と比較すると、「医療機関との連携」が前回より増えているほか、「医療系事業者との連携」、「地域包括支援センターとの連携」、「福祉系事業者との連携」といった多職種との連携を課題とする事業所が増えています。

1-6 介護報酬改定や処遇改善等の影響

(1) 平成24年4月以降の介護職員の処遇改善の取組状況

問9 平成24年4月以降の、貴事業所における介護職員の処遇改善の取組状況について、お伺いします。(〇はそれぞれ1つずつ)

☆4割以上の事業所が、基本給のアップ、教育・研修の充実を「実施済み」と回答



調査結果の傾向

平成24年4月以降の介護職員の処遇改善の取組状況(問9)を聞いたところ、「実施済み」の割合が多い順に、「オ 教育・研修の充実」、「ア 基本給のアップ」、「イ 基本給以外で、賞与のアップ」となっています。

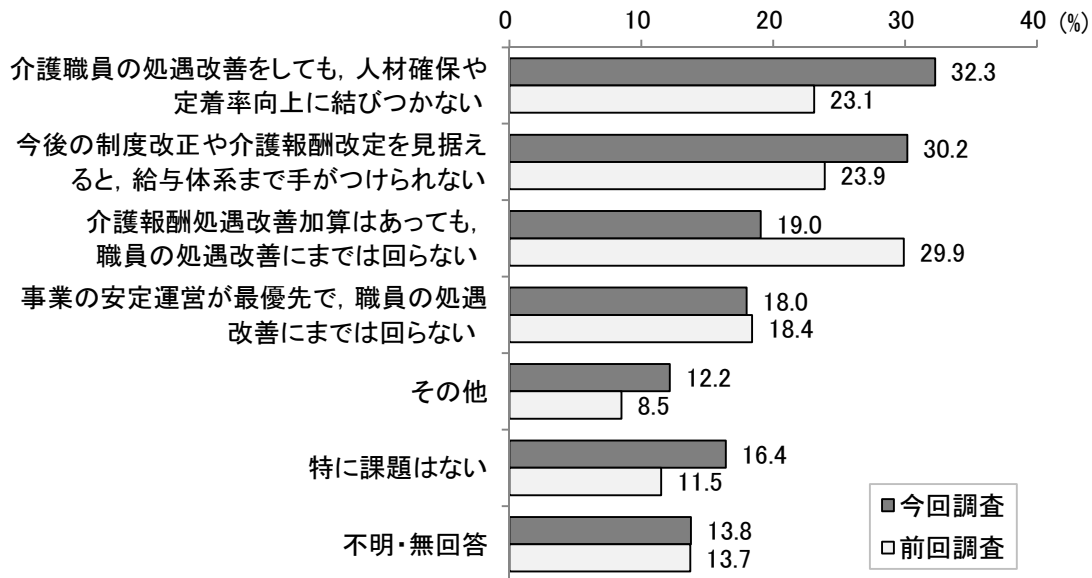
前回調査結果との比較

前回調査と比較すると、いずれも「予定なし」の割合が増えています。

(2) 介護職員の処遇改善を行う上での課題

問10 貴事業所では、介護職員の処遇改善を行う上で、どのような課題があると考えますか。
(あてはまるものすべてに○)

☆介護職員の処遇改善を行う上での課題は、「介護職員の処遇改善をしても、人材確保や定着率向上に結びつかない」が3割台前半でトップ



調査結果の傾向

介護職員の処遇改善を行う上での課題（問10）を聞いたところ、「介護職員の処遇改善をしても、人材確保や定着率向上に結びつかない」（32.3%）が最多で、次いで「今後の制度改正や介護報酬改定を見据えると、給与体系まで手がつけられない」（30.2%）と続きます。

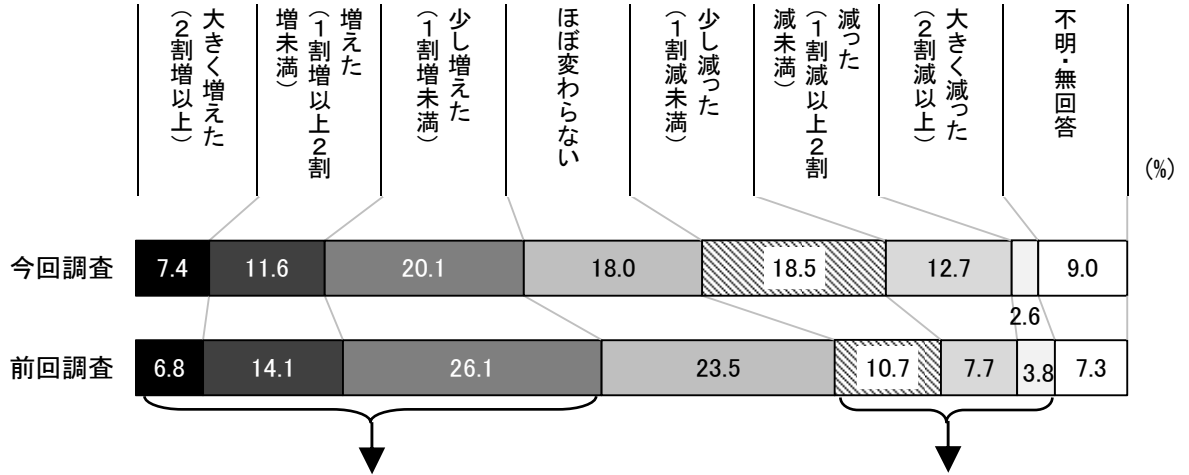
前回調査結果との比較

前回調査と比較すると、「介護報酬処遇改善加算はあっても、職員の処遇改善にまでは回らない」の割合が減る一方、「介護職員の処遇改善をしても、人材確保や定着率向上に結びつかない」と「今後の制度改正や介護報酬改定を見据えると、給与体系まで手がつけられない」の回答が増えています。

(3) 前年度との収入差

問11 貴事業所では、平成24年度の収入額は、前年度（平成23年度）に比べてどうなりましたか。（○は1つ）

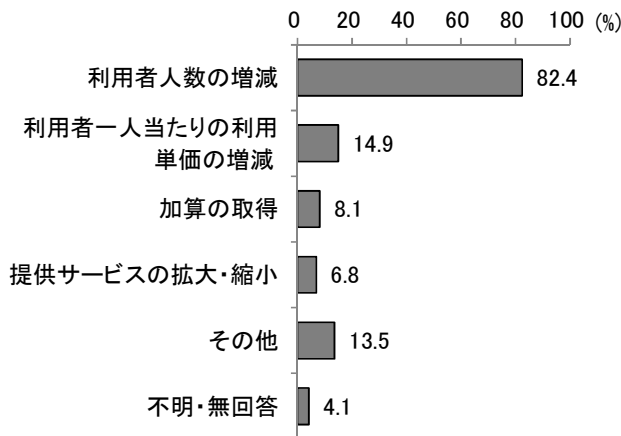
☆平成24年度の収入額が前年度（平成23年度）と比べて“増収”と回答した事業所は4割弱



問11-1 収入額が増減した理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

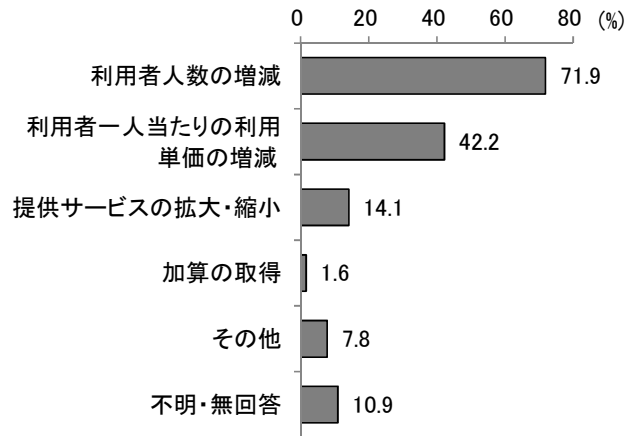
収入額が増えた理由

☆収入額が増えた理由は「利用者人数の増減」が8割前半でトップ



収入額が減った理由

☆収入額が減った理由は「利用者人数の増減」が7割強でトップ



調査結果の傾向

前年度（平成23年度）と比べた収入差（問11），増減した理由（問11-1）について、おうかがいしました。

まず、前年度（平成23年度）と比べた収入差を聞いたところ，“増収”（「大きく増えた」、「増えた」、「少し増えた」の合計）が39.1%、「ほぼ変わらない」が18.0%，“減収”（「少し減った」、「減った」、「大きく減った」の合計）が33.8%となり，“増収”が最多となっています。

次に、増減した事業所にその理由を聞いたところ、収入額が増えた理由、減った理由とも、「利用者人数の増減」が最多となっています。

前回調査結果との比較

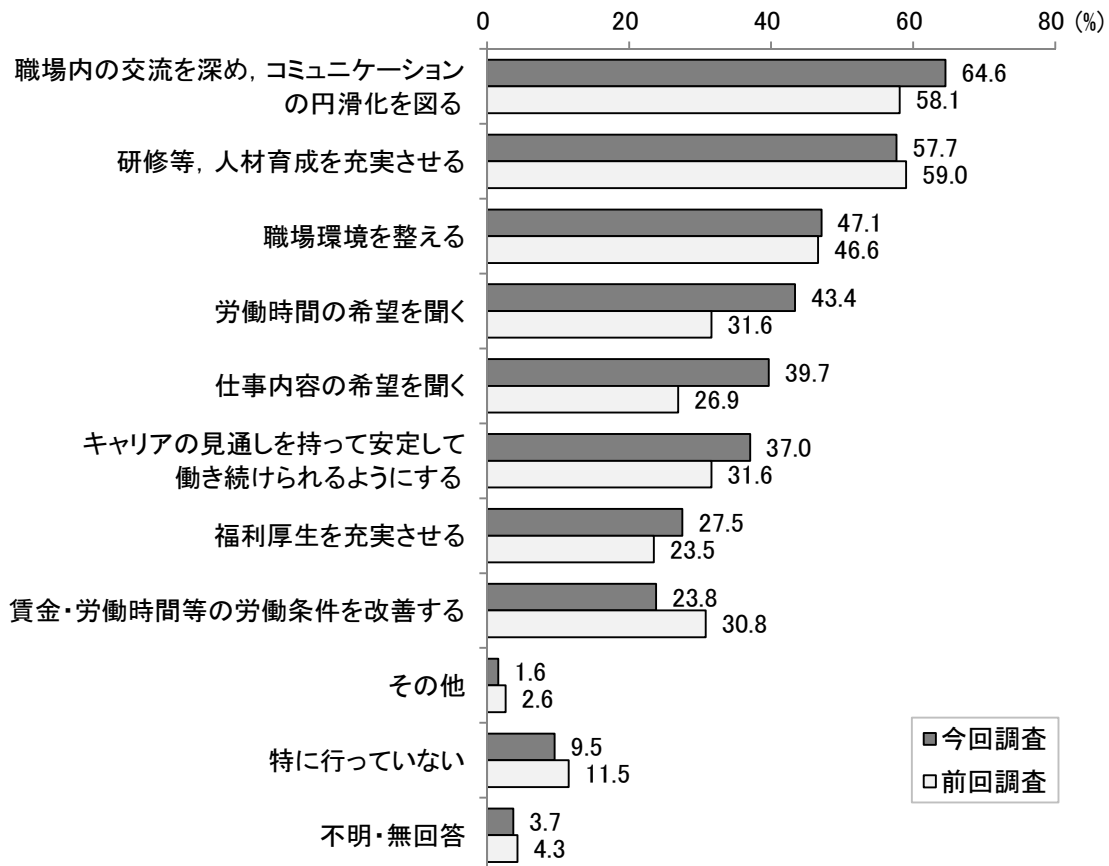
前回調査と比較すると，“増収”が減少し，“減収”が増加しています。

1-7 人材の確保

(1) 職員の早期離職の防止や定着促進に向けた取組

問12 貴事業所では、職員の早期離職の防止や定着促進に向けた取組を行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

☆職員の早期離職の防止や定着促進に向けた取組は、「職場内の交流を深め、コミュニケーションの円滑化を図る」が6割台半ばでトップ



調査結果の傾向

職員の早期離職の防止や定着促進に向けた取組（問12）を聞いたところ、「特に行っていない」との回答は9.5%、「不明・無回答」は3.7%となっていることから、8割以上の事業所で何らかの取組を行っていることがうかがえます。取組内容として回答の多かったものとしては、上位より「職場内の交流を深め、コミュニケーションの円滑化を図る」（64.6%）、「研修等、人材育成を充実させる」（57.7%）の順となっています。

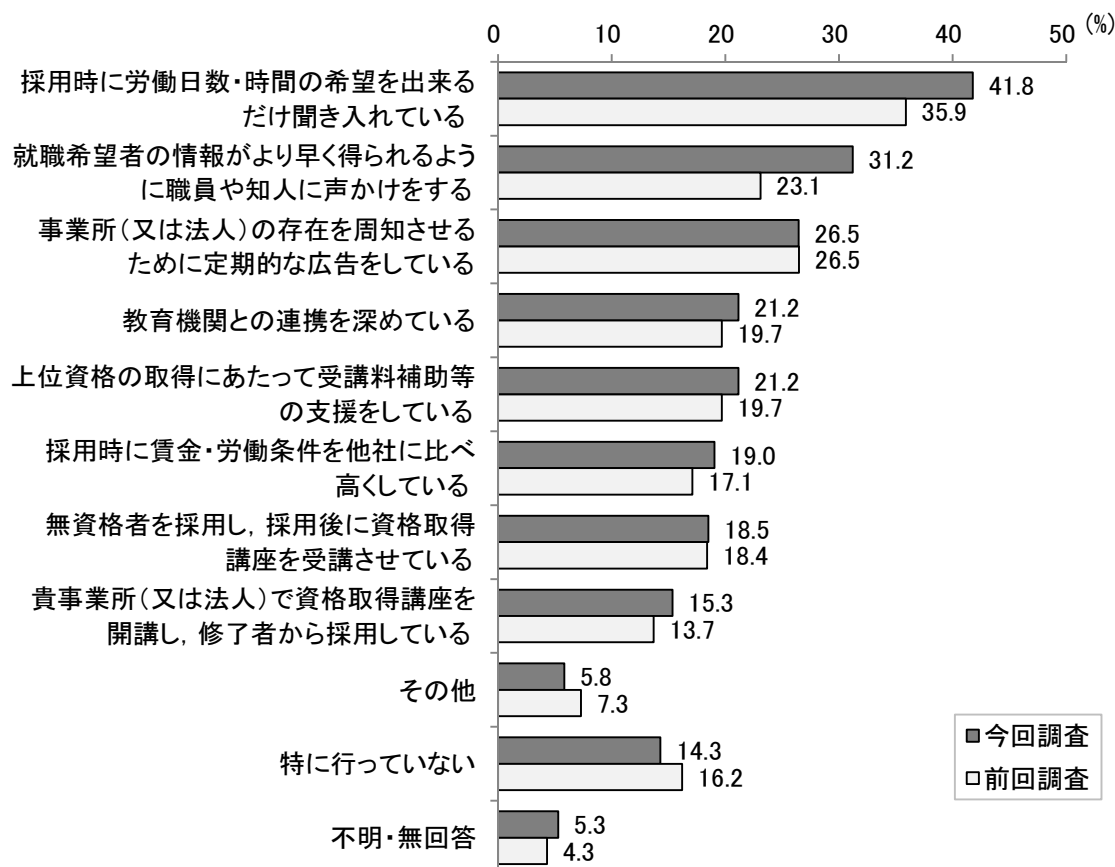
前回調査結果との比較

前回調査と比較すると、最多の「職場内の交流を深め、コミュニケーションの円滑化を図る」のほか、「労働時間の希望を聞く」、「仕事内容の希望を聞く」といった、職員とよく話す機会を設ける内容の項目が増えています。

(2) 人材確保に向けた取組

問13 貴事業所では、人材確保に向けた取組を行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

☆人材確保に向けた取組は、「採用時に労働日数・時間の希望を出来るだけ聞き入れている」が4割強でトップ



調査結果の傾向

人材確保に向けた取組(問13)を聞いたところ、「特に行っていない」との回答は14.3%、「不明・無回答」は5.3%となっていることから、8割以上の事業所で人材確保に向けた何らかの取組を行っていることがうかがえます。取組内容として回答の多かったものとしては、上位より「採用時に労働日数・時間の希望を出来るだけ聞き入れている」(41.8%)、「就職希望者の情報がより早く得られるように職員や知人に声かけをする」(31.2%)、「事業所(又は法人)の存在を周知させるために定期的な広告をしている」(26.5%)の順となっています。

前回調査結果との比較

前回調査と比較すると、「就職希望者の情報がより早く得られるように職員や知人に声かけをする」の回答が増えています。

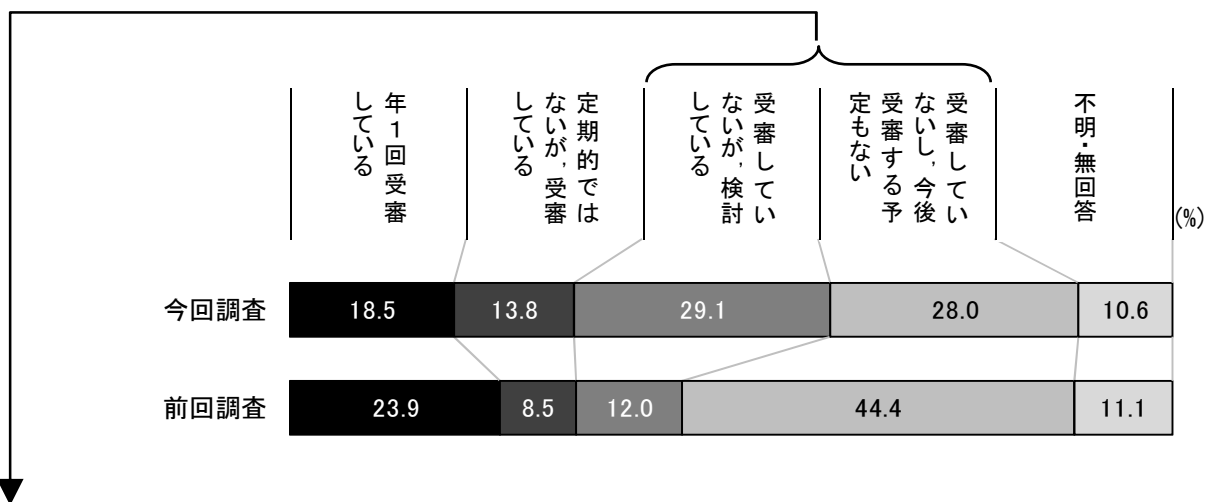
1-8 第三者評価の受審状況

(1) 福祉サービス第三者評価の受審状況

設問は、居宅介護支援、訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、通所介護、短期入所生活介護、特定施設入居者生活介護、福祉用具貸与、介護老人福祉施設、介護老人保健施設、小規模多機能型居宅介護、認知症対応型共同生活介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護の各サービスを提供している事業者がお答えください。

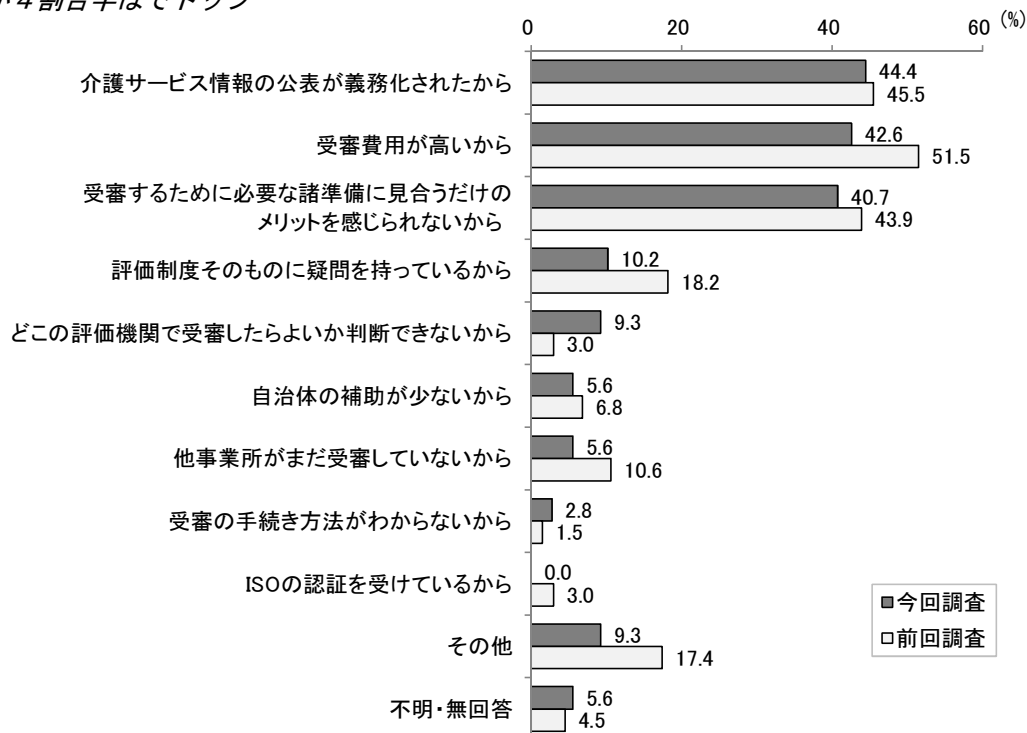
問14 「東京都福祉サービス評価推進機構」が認証した「第三者評価機関」による「福祉サービス第三者評価」を受けていますか。また、受けるお考えはありますか。(○は1つ)

☆福祉サービス第三者評価の受審状況は、「受審していないが、検討している」が3割弱でトップ



問14-1 受審していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

☆福祉サービス第三者評価を受審していない理由は、「介護サービス情報の公表が義務化されたから」が4割台半ばでトップ



調査結果の傾向

福祉サービス第三者評価の受審状況（問14）、受審していない理由（問14-1）について、おうかがいしました。

まず、福祉サービス第三者評価の受審状況を聞いたところ、「年1回受審している」が18.5%で、「定期的ではないが、受審している」（13.8%）を合わせると、32.3%が“受審している”と回答しています。

次に、“受審していない”事業所にその理由を聞いたところ、「介護サービス情報の公表が義務化されたから」（44.4%）が最多で、次いで「受審費用が高いから」（42.6%）、「受審するために必要な諸準備に見合うだけのメリットを感じられないから」（40.7%）と続きます。

前回調査結果との比較

前回調査と比較すると、“受審している”割合は変わりませんでした。が、「受審していないが、検討している」が大きく増えています。

受審しない理由は、全般的に前回よりも割合が少なくなりましたが、「どこの評価機関で受審したらよいか判断できないから」がやや増えています。

1-9 ご意見・ご要望

問15 介護保険制度や保険者（国分寺市）に対してのご意見・ご要望など，ご自由にご記入ください。

46人から回答がありました。記載内容では，「生活支援・介護サービス」（15件）が最多で，次に「事業所・人員」及び「行政・制度」（10件），と続きます。主な記載内容を以下に示します。

区分	記載内容	件数
1	生活支援・介護サービス	15
2	事業所・人員	10
3	行政・制度	10
4	施設関係（設備・運営面）	5
5	情報提供・相談	4
6	道路整備・まちづくり	1
7	経済的支援	1

【1 生活支援・介護サービス（15件）】

- ・通所介護において利用時間6～8時間が望ましいのではないかと。5～7時間だと利用者もあまり長い時間過ごせないし，7～9時間になると職員の勤務時間も長くなりメリットが多いとは言いがたい。
- ・緊急ショートステイの利用については制約が多く，利用が難しいことがある。緊急ショートステイの役割が果たされていないこともある。
- ・地域密着型特定サービスについて。一事業所のみでは利用者が選択できない状況になっている。
- ・精神疾患の家族や本人のプランについて。ケアマネは一人での訪問になっているが，危険な状況が予想された場合は，どこで支援をして頂けるのでしょうか考えて欲しい。
- ・他市に比べ横出しサービスが少ない。独居の方やお金が無い方へのサービスを充実してほしい。緊急通報設置の基準が他市に比べてとても厳しい。
- ・居宅サービスの充実をはかる必要がある。特に孤立化防止のため通い易く落ちつける小規模通所施設の充実が大切です。
- ・年末年始の対応について，役所が休みの際の連絡体制が明確になっているかが不安。日・祝の利用出来るデイサービスが少ない。泊りのできる施設の需要はあるが対応可能なところが少ない。
- ・高齢者の見守りについて市，社協，NPO，民生委員，地域包括等さまざまな所でそれぞれの仕組みで行っており統一感がなく漏れも多い。今後地域包括ケアシステムを構築していく上で整理が必要だと思う。緊急ショートステイの増床が必要。
- ・緊急時受け入れ用のベッドを行政の力でもっと増やして頂けたらと思います。
- ・通所介護における入浴介助加算が低い。サービスのニーズは高いがサービスコストに比べて収入が少ない。在宅，病院，介保サービス事業所が常に利用者の一定のADL状況が分かり，引き継ぎしやすいシステムがほしい。
- ・通所介護施設（デイサービス）において，個別機能訓練の要望は高いものの人件費の問題により，PT，

OT, STの複数名の配置は難しく、その要望に十分応えることが難しくなっています。個別機能訓練の加算点数の引き上げをして頂ければと思います。

- 入浴を一人行うごとにかかる経費に対して加算の点数ではまかないきれず、入浴サービスを行えば行うほど赤字になるのが実情です。入浴加算の点数を見直して頂ければ幸いです。
- 国は在宅での介護の方向へ舵とりを行っている様だが、現実問題、在宅で看取りまで行える様なケースはまれである。家族の力量（介護力）、経済力、サービス側の人材（人数、質）の問題。すべてがそこそこそろってはじめて行えるものと実感します。多様な方々のニーズや環境に合ったものを無理なく設定できるのが望ましい。決まりきった形でなく。又、力を入れるべきは予防でありその前段階で大切なのは日常生活を一人で行える自立心です。少しお手伝いをすれば一人で行える時期の“生活援助”こそ重要であると思います（見守りを含め）。
- 横出しサービスに当たる送迎サービスの事業者は1カ所だけであり、利用困難な場合がある。利用したい時に利用できないこともある。
- 色んな事業所との話の中で、国立は交通費が（タクシー券）出るのに国分寺は申請しないと身障者の交通費が出ないとの話が出ます。めんどくさくして申請させないのかね、との話です。間違いであればすみません。

【2 事業所・人員（10件）】

- 施設が増え在宅支援の根本的な考え方が変化してきている。ご利用者、家族本意の介護とは何なのか。経営との兼ね合いも難しい。お泊りが問題になった時期もあったが介護の質よりも楽な介護が求められている気がしています。小規模の一般デイは細やかな対応が特徴ですが、月の半分近くをショートに行かれるご利用者に対しどう対応すれば良いのか苦慮しています。ご利用者は減るばかりです。ショートの事故でデイを続けられなくなったご利用者もいます。在宅において通所介護は大切な役目を持っていると思います。
- 人員確保、維持が難しく夜間対応など働く方に負担をかけられない状況にある。緊急時対応や緊急時訪問など電話の用件も大変であり所長が負担している状況。労働条件を良くすることがこれ以上困難である。
- 職員人材確保が難しくなっており利用者の入所を制限する状況となっている。
- 依然として利用者不足に対する対策に多くの時間と資金を費やしており職員への処遇改善まで至りません。デイサービス利用にあたっての待機者をご紹介頂けると大変助かります。
- 最近クレーム的利用者や家族がふえているが、利用者を保護するための苦情相談窓口等はあるも事業所を守る法が介護保険法の中にある。
- 介護従事者やサービス提供責任者に対する研修の提供がない。（特に実技研修）都内では年間の研修スケジュールを掲載して（保険者が主催）勉強出来るシステムになっているところもある。以前実施していた「介護道場」の市からのバックアップもなくなり研修の場がない。
- 国内人口が減少しつつある一方、高齢化率は高まり続け、介護事業利用者の増加は確実ですが、それを担う職員の確保が、次第に難しくなっています。職員の確保・定着に向けた介護職員処遇改善加算も、全体の賃金水準を高めるには程遠く、介護職員の低賃金、転職率の高止まり、きつい労働から、毎年新規入職者数に近い離職者（過半数が他産業への転職）が発生し、介護福祉士養成校の学生も定員割れの状態が続いていることから、将来にわたり職員の確保が難しい状況が続くものと考えられます。

- ・訪問入浴，訪問看護の事業所です。当社では365日24時間ガンバル体制を取り頑張っていく予定です。利用する方に是非すすめてくださるようお願い致します。また，営業の機会を与えていただけのでしたらその時はおうかがい致します。職員の改善，当社の改善は収入増で成り立つものです。現在収入減なので利用してくださる方がいらっしやいましたらすずめていただくようお願い致します。
- ・ハローワークの資料によりますと介護業界は安い賃金，厳しい労働条件など求人に対しての求職者が恒常的に不足しており特に三多摩は厳しいことが分ります。経営面からみてもよいサービスを維持するためにより人材確保に努力することが最大の目標です。一事業所で解決できるのではなく，又処遇改善対策も介護報酬からの収入安定があってはじめて着手できることだと思います。
- ・介護保険制度を充実させるために国の方針は「在宅重視」路線を強化しています。在宅を支える事業の中心となる在宅サービス分野，ヘルパー事業，通所サービス，ショートステイ事業が現状充実しているとは言い難い。これらの事業所は経営的に苦しい状況にあります。単位の削減や人材確保が困難など一事業所だけでは努力の仕様がありません。当所は人材確保にハローワークにお世話になっておりますが紹介者が2年間ない状況です。

【3 行政・制度（10件）】

- ・介護保険の介護度の認定を各市町村の認定士が認定するのでは公平性を欠くのではないか。支払う側が値段を決めている様ではないか。精神鑑定ではないが独立した外部の機関の人が認定に携わるべきと思うが。
- ・次期改正で要支援者が介護保険の給付サービスから市町村の地域支援事業へ移ります。地域支援事業の財源は介護保険財政の3～4%以内と決められています。しかし予防給付は介護保険財政の5%以上もあるため，市町村事業に移行するとサービスは切り捨てになりかねません。人員や施設の基準等の質や内容に関わることは市町村の裁量になるため市町村で格差が生じることが懸念されます。予防給付，要支援1・2が地域支援事業に移行して現状の収益が得られないと事業の運営に大きく影響してきます。
- ・いろいろな居宅事業から良く聞く話。地域住民を支えるためにと考えている人達の気持ちを支援して欲しい。包括の職員教育に力を入れて欲しい。研修をされていますが実践が伴っていない。予防プランが充実し自立に向けたためのプランを作成するためには予防に特化した事業を検討して欲しい。
- ・申請書類が何枚もあり手間がかかる。もう少し簡素化していただければありがたい。
- ・もっと市民の声をきける場をつくって欲しい。団地の1人暮らしの高齢者に目を向けるようおねがいしたい。しっかりしてそうだが認知低下がかなりある方がいらっしやる。
- ・制度が変更になる度に利用者に説明をしても利用者や家族が，介護保険制度が複雑になり使いにくくなるばかりで利用を控えることもある。介護の本幹が崩壊するのではと危惧する。もっと利用出来る制度になってもらいたい。病院から在宅へ医療と介護の連携と位置付けているが，求められる責任が増えるのに賃金が医療と大きな差がある。ぜひ報酬単価を上げてほしい。
- ・高齢者が増加する一方，高齢者の単身世帯や老々介護の増加等，家庭の介護力が低下する中で職員が確保できないことは，介護保険制度のみでなく，社会の仕組み自体の崩壊につながりかねません。また，介護報酬は公定で，各施設が独自に料金設定できる部分は少なく，かつさまざまな制約があり，サービスの質を問われる一方で，収支をバランスさせることが都市部では厳しくなっています。
- ・財政の危機と利用者負担の増加が盛んにマスコミで報道され，危機脱却のためにインフレーターゲットを設け，賃金引上げを目指すのであれば，収入の大半を介護報酬に依存する介護事業について，報酬体系

の根本的な見直しが必要と思います。介護難民大量発生解決への処方箋を示し、多くの市民が安心して老後を迎えられ、介護事業者も安心して事業継続できる社会保障制度の実現を期待します。

- 老健と医療保険制度については利用者からも不満の訴えがある一方、施設としてすべて負担できないこともある。介護保険と医療保険は切り離してほしい。
- 2割負担へ向かう中、自費の依頼にどう対処すべきか。自費にも限度額超のための自費、保険対象外のサービスの自費などいろいろあるが後者についてケアマネジャーはどこまで関与すべきでしょうか。

【4 施設関係（設備・運営面）（5件）】

- この度地域に不足していたショートベッド40床を含めた老健を開設します。入所定員120名。
- 特別養護老人ホームへの入所について。独居の方の入所が難しくなっている。入所中の通院、亡くなった時の対応など、家族がいなければ受入困難傾向がみられる。
- 特定施設（有料）は一時金が高く、医療依存度の高い方は入居できない、重度の方は入居できない等のイメージを多く持たれておりますが、実際には胃ろう、IVH等の方なども入居いただいているため、選択肢の一つとしてもっと認識を持っていただきたいと思います。地域や医療施設との関係や横のつながりを持ちたいと考えますが、上手く行ってないため横のつながりや近隣で顔のわかる関係をつくって行くための方法があればと思います。
- 現在、国分寺市民の入居希望者が比較的少なめな状況である。当園は他行政の契約ベッドも多数あるため、申込みを行えば必ず入居できるという訳ではないが、もっと申込者が多くても良い状況だと認識している。そのため、市外の契約ベッドについてより広く周知して下さることを望む。
- 施設に入るとADLが急速に低下する（ショートステイ e t c）ご利用者が多い。リスク管理を重視するあまり退所後の不調が目立つ。

【5 情報提供・相談（4件）】

- 介護保険制度改定は法律上やむを得ないことと認識しているが正式な情報伝達（もしくは周知）があまりにも遅すぎると思う。唯一の収入源である介護保険制度改定の情報は少なくとも3か月以上前には周知するようにしてほしい。
- 27年度の制度改正に伴う対応（要支援1・2の通所介護・訪問介護）について、できるだけ早めに市の動向をお知らせしていただきたく思います。
- 在宅復帰したいという利用者（家族）が減っている中、本人と家族が自宅に戻ってみたいと希望され、家族の介護力に多少問題はあっても地域包括支援センターと居宅事業者と連携をとって短期間であっても在宅に戻そうと地域包括に相談したところ、「在宅は無理ではないか」言われてしまい家族が途方に暮れたケースがあった。一方的に「無理」と言わずできるだけ在宅復帰できるような支援をしていくというスタンスで関わって欲しい。
- 介護保険でできるサービスの範囲について最低限の考え方は国等あるいはマスコミがもっと宣伝すべきと思われる。（グレーゾーンについて、どのような研修でも話題になるだけで解決策、具体策が見出せない）。

【6 道路整備・まちづくり（1件）】

- 今後高齢者の方がより増加してくるためお身体の不自由な方も多くなると考えられるので、車いすやシニアカー等での移動がしやすい環境が必要だと感じています。段差や歩道の改善も必要ですが、そういった方々が外出しやすいように配慮を求めるために周知して頂くことも必要だと考えています。

【7 経済的支援（1件）】

- 経済的に厳しい方は、必要なサービスを利用できない。経済的な負担を考え、ご本人・家族がサービスを控えてしまうことがある。状態の悪化につながることを考えられる。

2 総括

【事業所の概要】

事業所は「居宅介護支援」が約2割、「通所介護」、「訪問介護」が1割を超えています。法人格は「株式会社」が4割、「社会福祉法人」が約2割、「医療法人」が1割以上となっています。事業所の所在地は「国分寺市内」が4割以上、「市外」が5割半ばとなっています。職員体制は、「常勤」、「短時間」、「登録ヘルパー」からなります。いずれも正規職員と正規職員以外からなりますが、常勤労働者の場合は1事業所平均で正規職員：正規職員以外の比率はほぼ1：1となっています。

【利用者の人権擁護・事故防止等について】

利用者の人権擁護のための取組としては「認知症、高齢者虐待等に関する研修を実施したり、外部研修へ参加をしている」が9割近く、次いで「施設内外の多職種間の連携を高めている」や「家族等にサービス内容を知らせている」が7割近くとなっています。

事故防止の取組については「事故発生時の対応マニュアルの作成」、「事故防止マニュアルの作成」、「ヒヤリ・ハット報告の徹底」が7割程度にとどまっており、さらに徹底する必要があります。

また、感染症の発症に対する予防策としては「職員への手洗い・うがい・消毒の奨励」が9割以上、次いで「職員への感染症の正しい知識の提供」、「感染症予防マニュアルの作成」が約8割となっています。

このことから、人権擁護・事故防止等の取組については、研修・マニュアル作り・知識の提供等に高い割合の回答があり、各事業者とも意識が高く、関心の高さが伺われます。引き続き、その徹底と対応が望まれます。

【苦情や相談について】

9割以上の事業所で、苦情相談窓口や担当者の配置、苦情相談記録簿、職員間で共通認識を持つ機会を設けています。利用者やその家族からの苦情や相談内容で多いものは、「サービスの質」が4割近く、次いで「説明・情報の不足」が約3割、「従事者の態度」が2割半ばとなっています。前回の調査に比べて全ての項目で対応が向上していますが、一方では、苦情や相談内容において「説明・情報の不足」が3割あり、前回より3.4%上昇しており改善が必要です。

サービスの向上に向けた課題としては、「人材の確保」が6割を超え、次いで「医療機関との連携」、「OJTの充実」、「家族等介護者とのつながり」が4割を超え、サービスの担い手となる人材確保が非常に重要であり、さらに、日々の業務を通してのスキルアップが重要となります。

【職員の処遇改善】

平成24年4月以降の介護職員の処遇改善の取組は、実施済みの割合が4割以上の取組として「教育・研修の充実」、「基本給のアップ」と回答しています。

介護職員の処遇改善を行う上での課題は、「介護職員の処遇改善をしても、人材確保や定着率向上に結びつかない」、「今後の制度改正や介護報酬改定を見据えると、給与体系まで手がつけられない」が3割を超えています。また、前年度（平成23年度）と比べた事業所の収入状況は、増収が約4割に対して、減収が3割強となっており、いずれも原因は「利用者人数の増減」となっています。

職員の早期離職の防止や定着促進に向け、8割以上の事業所が何らかの取組を行っています。主な取組は「職場内の交流を深め、コミュニケーションの円滑化を図る」、「研修等、人材育成を充実させる」などが多くなっています。

また、人材確保に向けた取組として、4割以上の事業所が「採用時に労働日数・時間の希望を出来るだけ聞き入れている」と回答しています。

基本給のアップ等を実施して処遇改善を図っている一方で、職員が定着していかない現状があります。安定したサービスの提供には介護職員が安心して働ける環境の整備が求められます。

また、「今後の制度改正や介護報酬改定を見据えると、給与体系まで手がつけられない」が3割あり、事業者にとっても制度改正等は不安定要因となっている現状があります。

【福祉サービス第三者評価の受審状況について】

福祉サービス第三者評価の受審については、約3割が“受審している”と回答しています。一方、“受審していない”場合の理由は、「介護サービス情報の公表が義務化されたから」、「受審費用が高いから」、「受審するために必要な諸準備に見合うだけのメリットを感じられないから」などが主な理由となっており、利用者が安心して利用できるためにも第三者評価の受審を進めるよう働きかける必要があります。

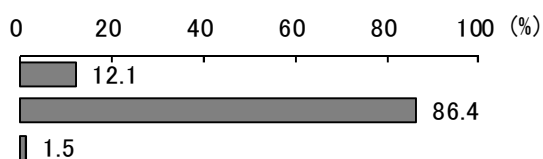
第7章 ケアマネジャー調査

1 調査結果

1-1 ご本人の状況

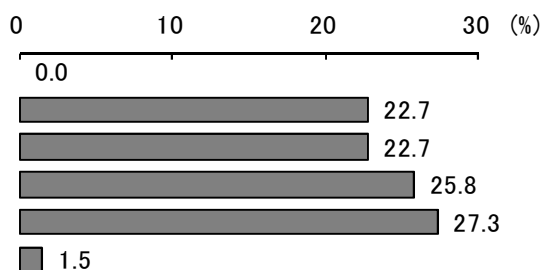
(1) 性別

カテゴリー名	基数	構成比
男性	8	12.1
女性	57	86.4
不明・無回答	1	1.5
全体	66	-



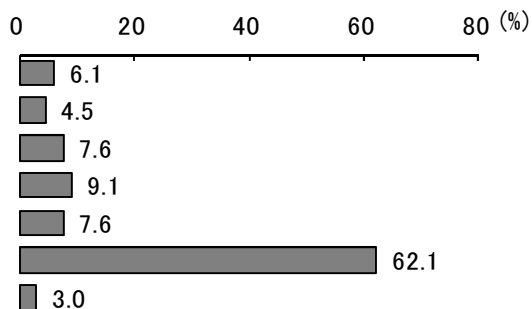
(2) 年齢

カテゴリー名	基数	構成比
30歳未満	0	0.0
30～39歳	15	22.7
40～49歳	15	22.7
50～59歳	17	25.8
60歳以上	18	27.3
不明・無回答	1	1.5
全体	66	-



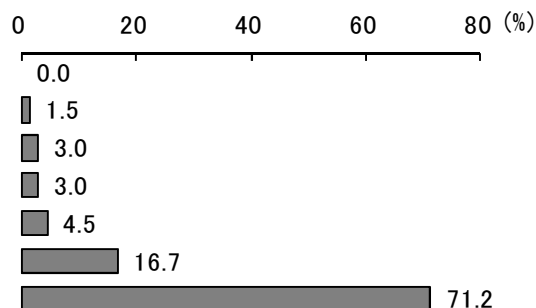
(3) ケアマネジャー経験年数

カテゴリー名	基数	構成比
1年未満	4	6.1
1～2年未満	3	4.5
2～3年未満	5	7.6
3～4年未満	6	9.1
4～5年未満	5	7.6
5年以上	41	62.1
不明・無回答	2	3.0
全体	66	-



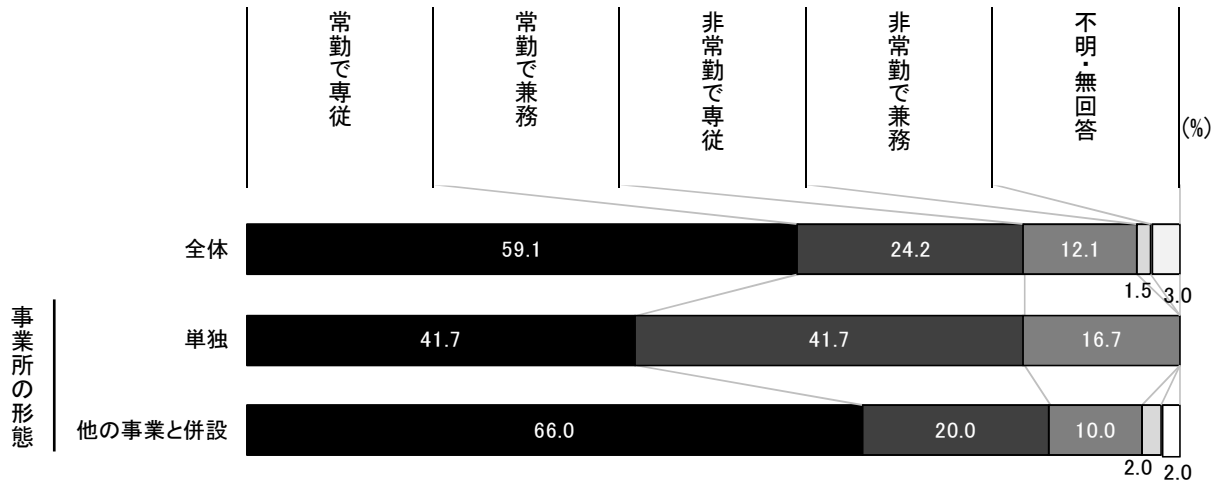
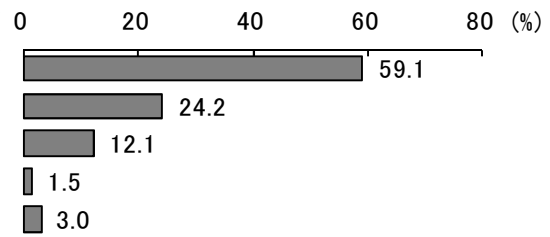
(4) ケアマネジャー以外の相談業務等経験年数

カテゴリー名	基数	構成比
1年未満	0	0.0
1～2年未満	1	1.5
2～3年未満	2	3.0
3～4年未満	2	3.0
4～5年未満	3	4.5
5年以上	11	16.7
不明・無回答	47	71.2
全体	66	-



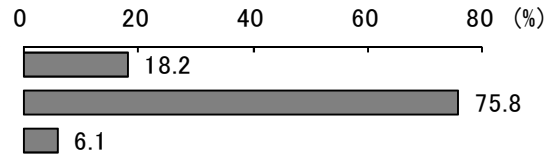
(5) 就業業務形態

カテゴリー名	基数	構成比
常勤で専従	39	59.1
常勤で兼務	16	24.2
非常勤で専従	8	12.1
非常勤で兼務	1	1.5
不明・無回答	2	3.0
全体	66	-



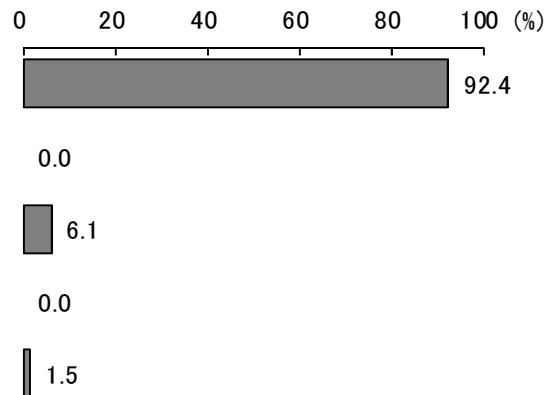
(6) 事業所の形態

カテゴリー名	基数	構成比
単独	12	18.2
他の事業と併設	50	75.8
不明・無回答	4	6.1
全体	66	-

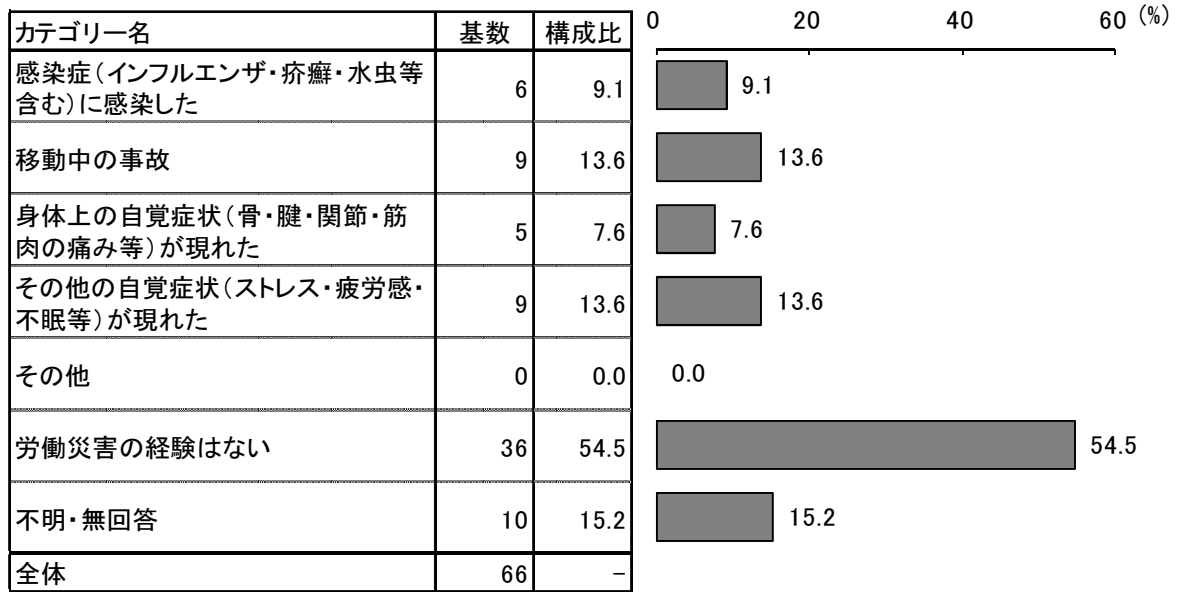


(7) 健康診断の受診状況

カテゴリー名	基数	構成比
職場で定期的に受けている	61	92.4
職場で不定期だが受けている	0	0.0
職場で実施されていないので自費で受けている	4	6.1
受けていない	0	0.0
不明・無回答	1	1.5
全体	66	-



(8) 労働災害の経験 (あてはまるものすべてに○)

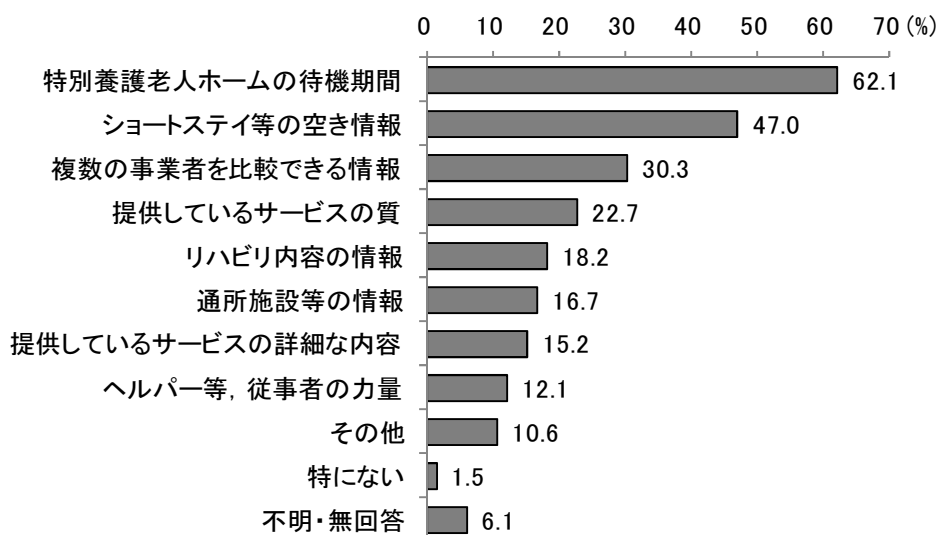


1-2 利用者から望まれる事業者情報

(1) 利用者から「提供してほしい」または「不足」との声が多い情報

問2 利用者から「提供してほしい」または「不足している」との声が多い事業者情報は何か。(〇は3つ以内)

☆利用者から「提供してほしい」または「不足している」との声が多い情報は、「特別養護老人ホームの待機期間」が6割以上でトップ



調査結果の傾向

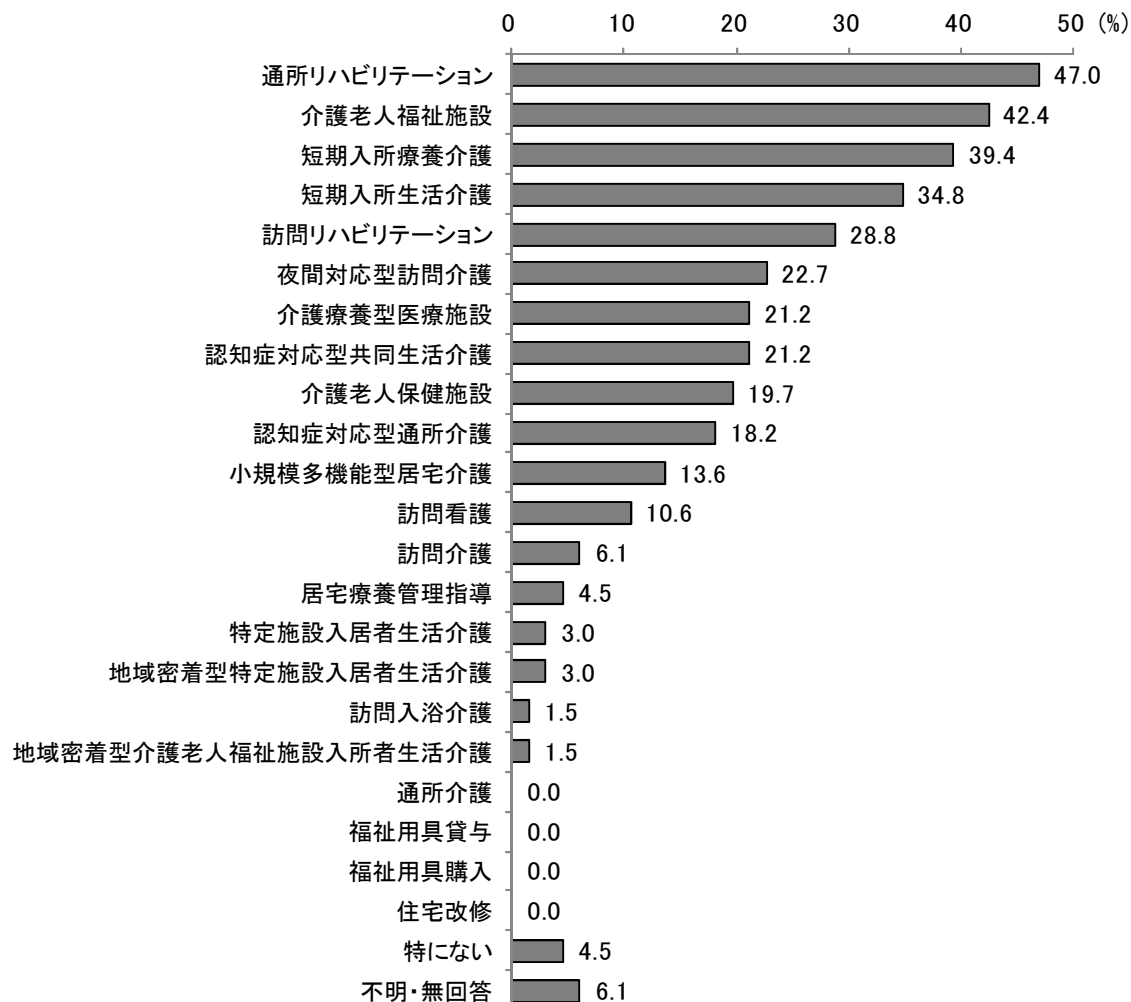
利用者から「提供してほしい」または「不足している」との声が多い事業者情報(問2)を聞いたところ、「特別養護老人ホームの待機期間」(62.1%)と「ショートステイ等の空き情報」(47.0%)の2つが突出して多くなっています。

1-3 サービスの供給

(1) 供給不足と感じられるサービスの種類

問3 ケアマネジャーから見て、供給が不足していると感じられるサービスはありますか。(あてはまるものすべてに○)

☆供給が不足していると感じられるサービスは、「通所リハビリテーション」が4割台後半でトップ



問3-1 問3で不足していると回答したサービスについて、代替方法があれば、主なサービス3つについてまでご記入ください。

区分	不足と感じるサービス名	件数	主な代替方法
1	短期入所生活介護	10	・お泊りデイサービス (6件) ・有料ホームのショートステイ (2件) ・市外 (1件)
2	通所リハビリテーション	9	・機能訓練特化型デイサービス (3件) ・市外 (1件) ・通所介護や訪問リハビリテーションで代替 (1件)
3	介護老人福祉施設	7	・ショートステイ, お泊りデイ (3件) ・老健施設, 有料ホーム (2件)

※ 複数の記載内容もあることから、合計の件数と回答者数とは合致しない場合があります。

※ 「その他」を除く

調査結果の傾向

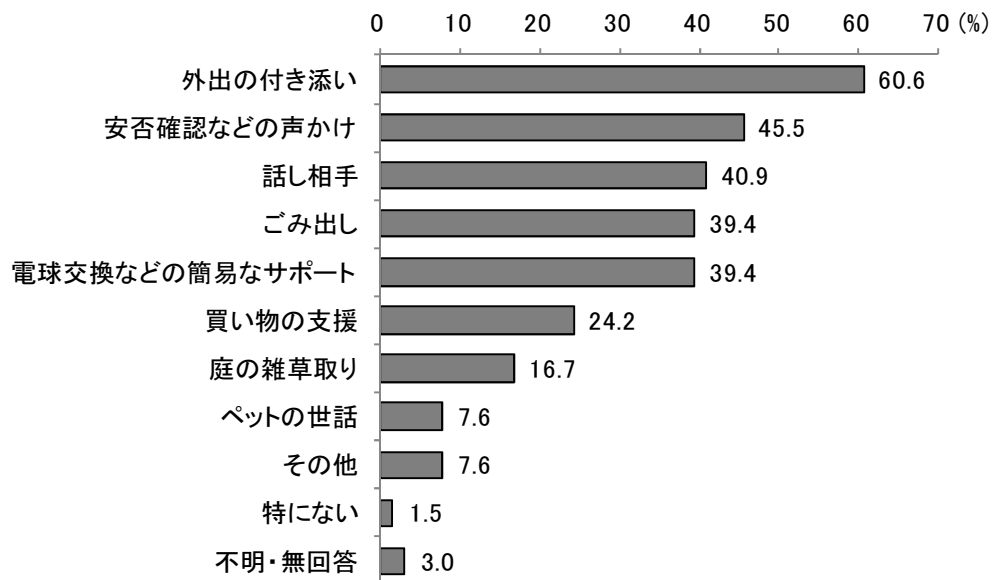
ケアマネジャーから見て、供給が不足していると感じられるサービス（問3）及び不足していると感じられるサービスの代替方法（問3-1）について、おうかがいしました。

供給が不足していると感じられるサービスを聞いたところ、「通所リハビリテーション」（47.0%）が最多で、次いで「介護老人福祉施設」（42.4%）、「短期入所療養介護」（39.4%）と続きます。

（2）在宅生活を送る上で必要と思われるサービスや支援内容

問4 介護保険サービスのメニュー以外で、在宅生活を送る上で必要と思われるサービスや支援内容がありますか。（○は3つ以内）

☆介護保険サービス以外で、在宅生活を送る上で必要と思われるサービスや支援内容は、「外出の付き添い」が6割強でトップ



調査結果の傾向

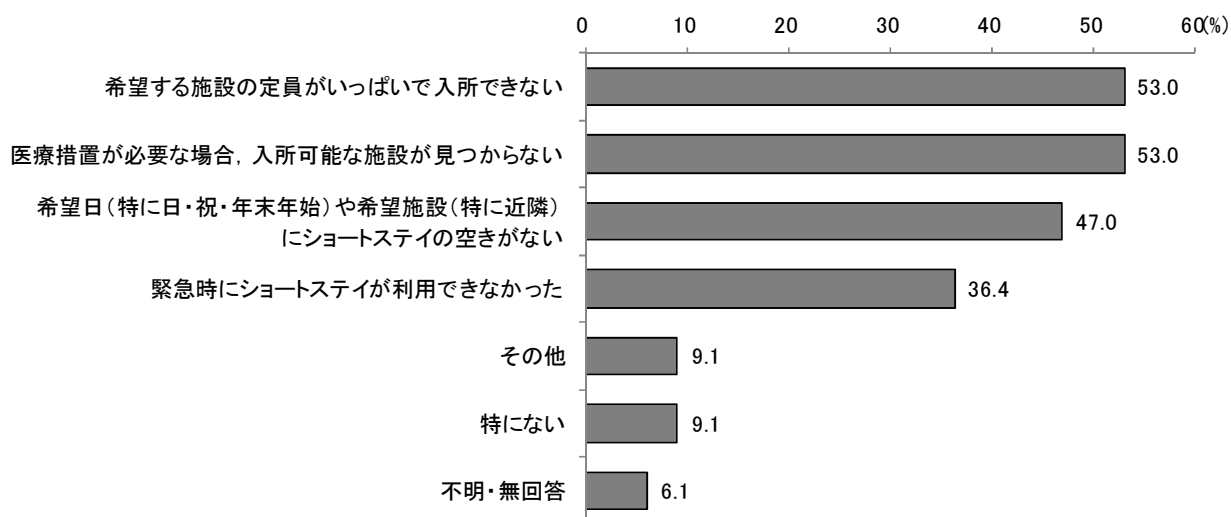
介護保険サービスのメニュー以外で、在宅生活を送る上で必要と思われるサービスや支援内容（問4）を聞いたところ、「外出の付き添い」（60.6%）が最多で、次いで「安否確認などの声かけ」（45.5%）、「話し相手」（40.9%）と続きます。生活支援サービスのニーズが上位を占めています。

1-4 苦情・相談事例

(1) 利用者やその家族から寄せられる苦情や相談で多いもの

問5 利用者やその家族から寄せられる苦情や相談は、どのようなものが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

☆利用者やその家族から寄せられる苦情や相談は、「希望する施設の定員がいっぱいで入所できない」、「医療措置が必要な場合、入所可能な施設が見つからない」がそれぞれ5割前半でトップ



調査結果の傾向

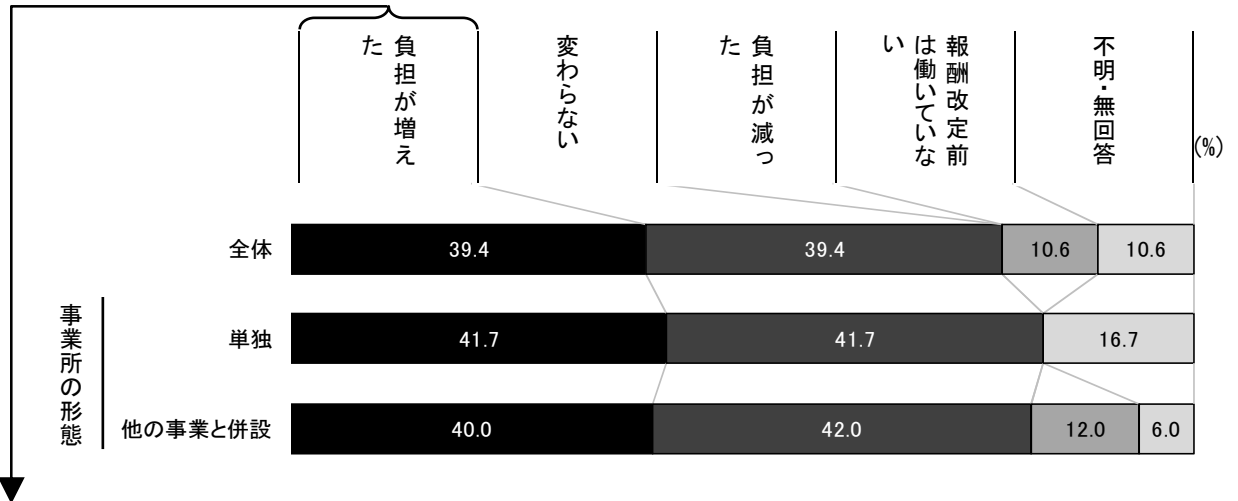
利用者やその家族から寄せられる苦情や相談で多いもの(問5)を聞いたところ、「希望する施設の定員がいっぱいで入所できない」、「医療措置が必要な場合、入所可能な施設が見つからない」(それぞれ53.0%)が最多で、次いで「希望日(特に日・祝・年末年始)や希望施設(特に近隣)にショートステイの空きがない」(47.0%)と続きます。「特にない」との回答は9.1%であり、多くの利用者やその家族から何らかの苦情や相談が寄せられている状況がうかがえます。

1-5 業務内容

(1) 平成24年4月の報酬改定後の業務負担感の変化

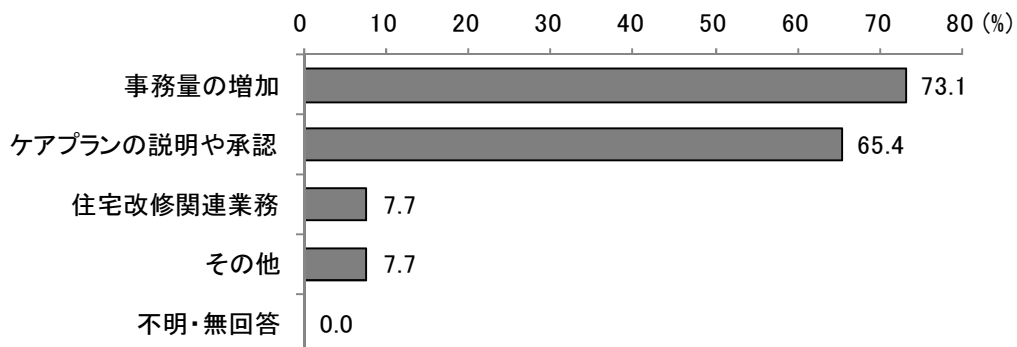
問6 平成24年4月の報酬改定後の業務負担感について伺います。(○は1つ)

☆報酬改定後の業務負担感は、4割弱の方が「負担が増えた」と回答



問6-1 どのような点で負担が増えたと感じますか。(あてはまるものすべてに○)

☆負担が増えたと感じる点は、「事務量の増加」が7割以上でトップ



調査結果の傾向

平成24年4月の報酬改定後の業務負担感(問6)、負担が増えたと感じる点(問6-1)について、おうかがいしました。

まず、平成24年4月の報酬改定後の業務負担感を聞いたところ、「負担が増えた」と「変わらない」がそれぞれ39.4%で回答を二分しています。

次に、「負担が増えた」と回答した方に、その内容を聞いたところ、「事務量の増加」(73.1%)が最多となっています。

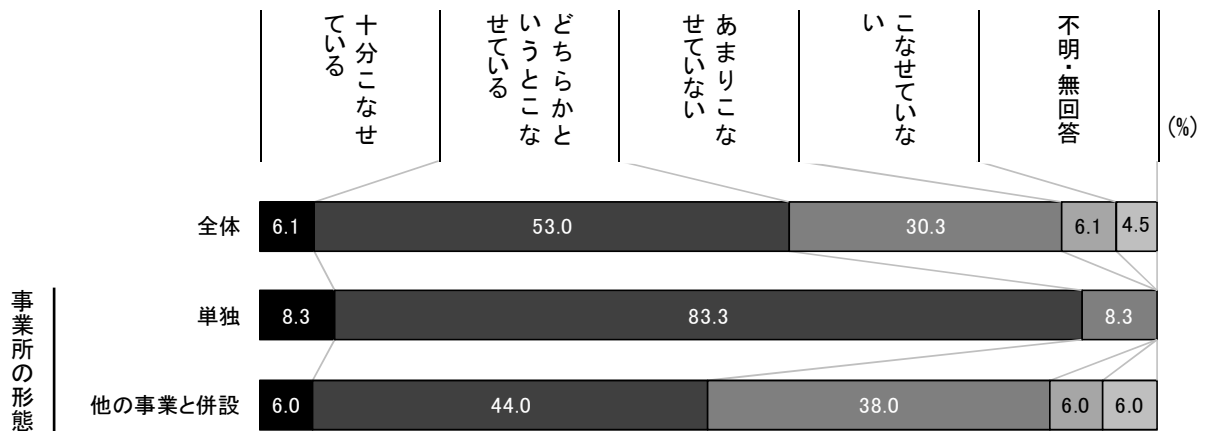
クロス集計分析

事業所の形態別で見ると、いずれの事業所形態でも「負担が増えた」、「変わらない」がほぼ同程度で回答を二分しています。

(2) 受け持ち仕事量の評価

問7 あなた自身で受け持つ仕事量について、どのように評価しますか。(○は1つ)

☆受け持つ仕事量について、6割弱の方が“こなせている”と評価



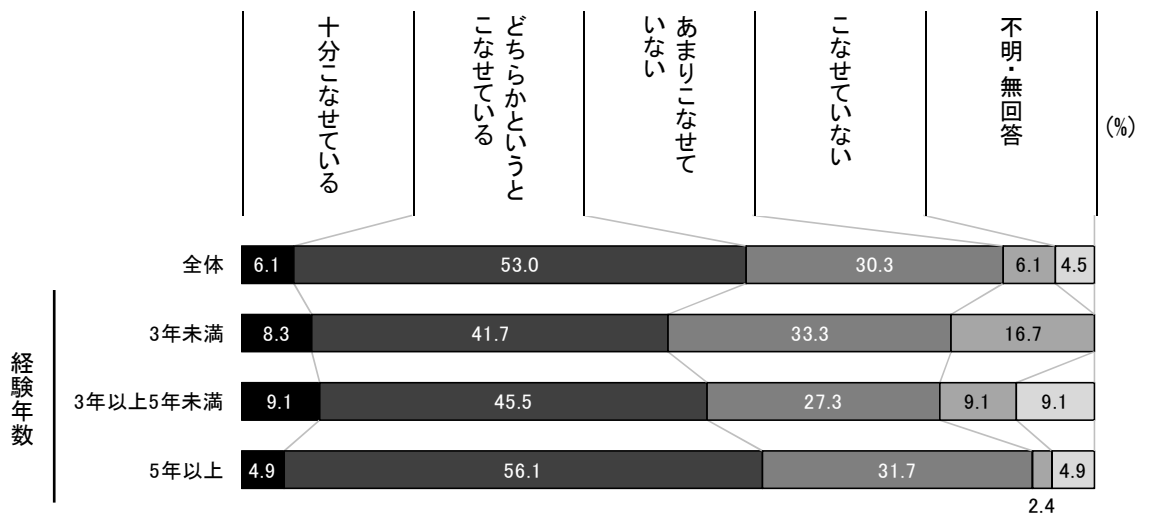
調査結果の傾向

受け持つ仕事量についての評価（問7）を聞いたところ、「どちらかというところこなせている」（53.0%）が最多で、「十分こなせている」（6.1%）を合わせると、59.1%の方が“こなせている”と評価しています。

クロス集計分析

事業所の形態別で見ると、【単独】の場合のほうが【他の事業と併設】に比べて“こなせている”との評価が高くなっています。

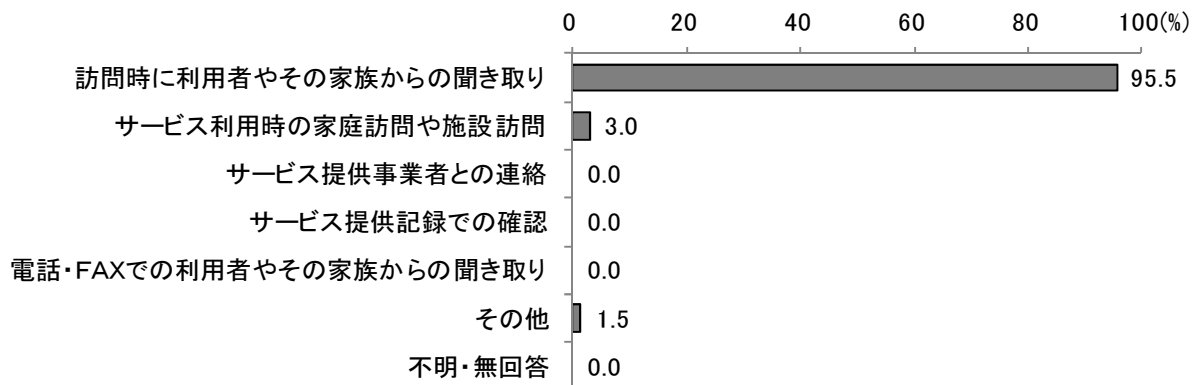
経験年数別で見ると、【3年未満】では“こなせている”という評価が他の年数よりも低くなっています。



(3) サービスの質についての履行確認の方法

問8 「ケアプラン」に基づいたサービスが提供されているかどうか、また、「契約」事項が守られているかどうかの確認は、ケアマネジメント業務の一部です。サービスの質（中身）についての履行確認はどのような方法で行っていますか。（あてはまるものすべてに○）

☆サービスの質（中身）についての履行確認は、「訪問時に利用者やその家族からの聞き取り」が回答のほぼ全数でトップ



調査結果の傾向

サービスの質（中身）についての履行確認の方法（問8）を聞いたところ、「訪問時に利用者やその家族からの聞き取り」（95.5%）が回答の大半となっています。

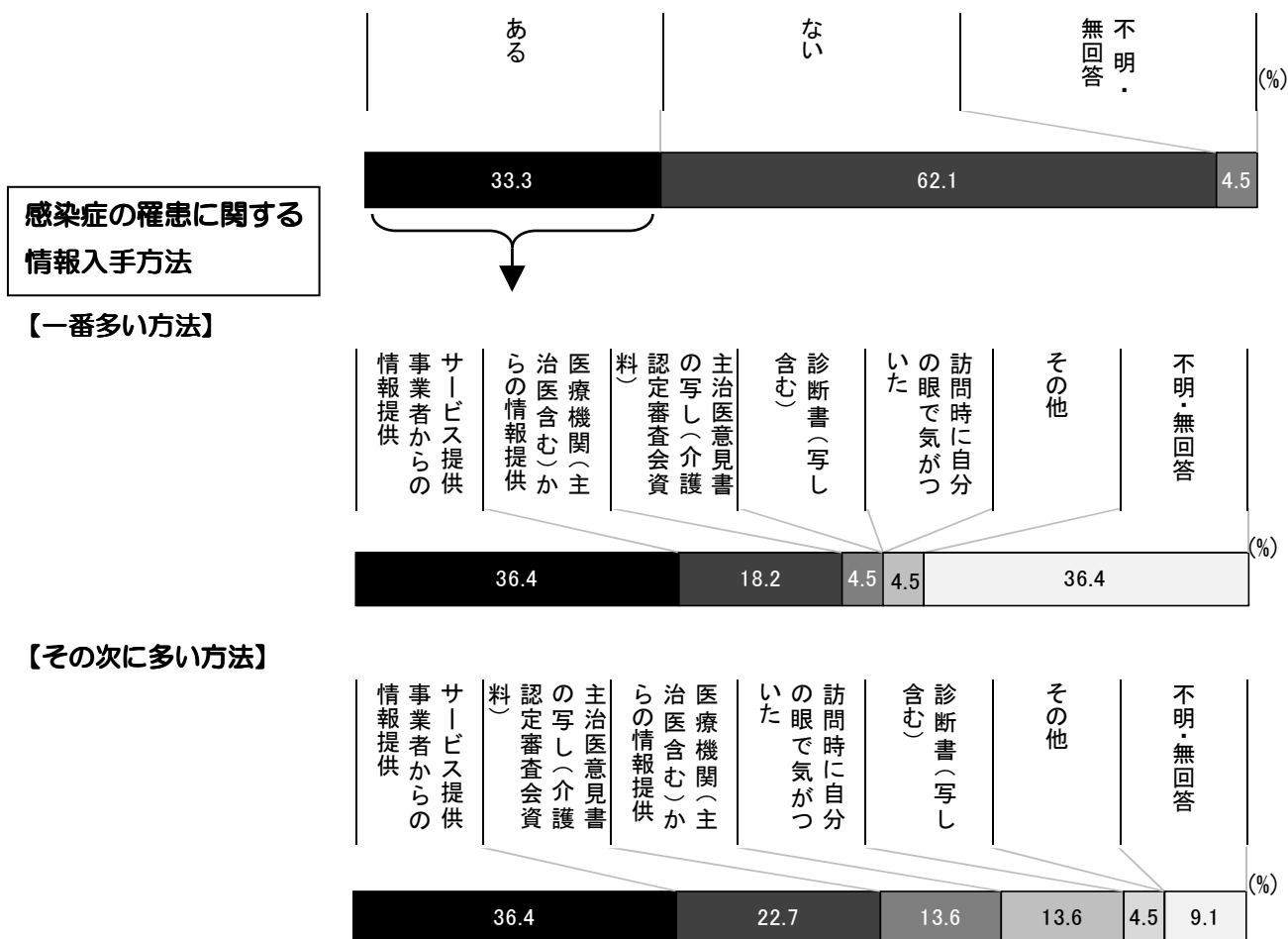
1-6 感染症

(1) 利用者等が感染症に気が付いていないケースの有無，情報入手方法

問9 利用者が感染症に罹っているかどうかを確認する手段としては，利用者やその家族からの申し出が主なものとして考えられます。しかし，(1)「利用者やその家族自身が感染症に気が付いていない場合」や，(2)「サービスを利用し始めてから感染したり，発症した場合」なども多く見受けられます。このような状況での感染症罹患に関する情報入手方法として，一番多いものに◎を，その次に多いものに○をつけてください。

問9 (1) 利用者やその家族自身が感染症に気が付いていないケースに直面したことがありますか。(○は1つ)

☆3割台前半の方が，利用者や家族が感染症に気が付いていないケースに直面したことが「ある」と回答



調査結果の傾向

利用者やその家族自身が感染症に気が付いていないケースに直面した経験(問9(1))と，感染症の罹患に関する情報入手方法について，おうかがいしました。

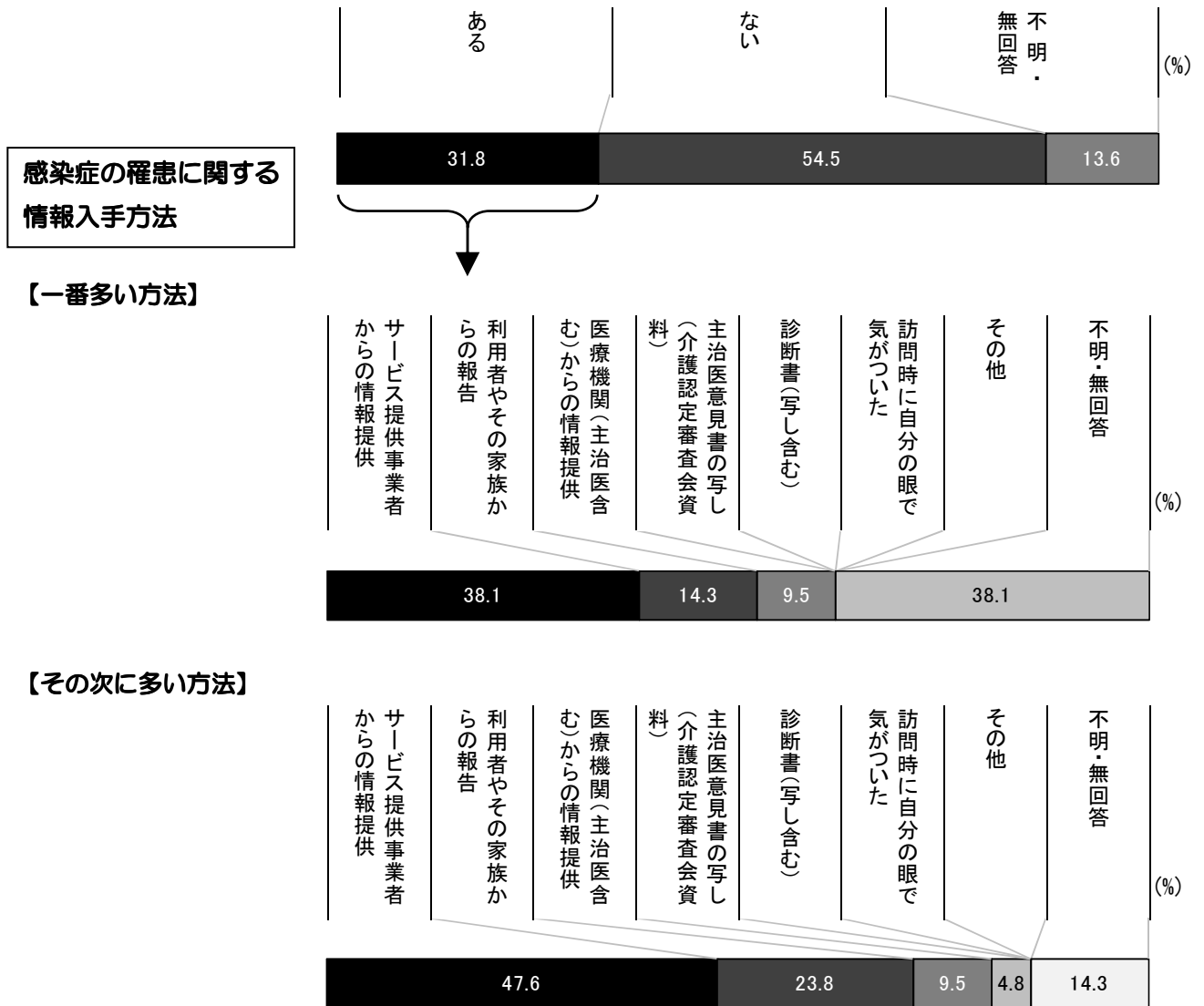
まず，利用者やその家族自身が感染症に気が付いていないケースに直面した経験を聞いたところ，「ある」は33.3%となっています。

次に，「ある」と回答した方に情報入手方法を聞いたところ，一番多い方法として「サービス提供事業者からの情報提供」(36.4%)，次に「医療機関(主治医含む)からの情報提供」(18.2%)との回答となっています。

(2) サービスを利用し始めてから感染したり発症したケースの有無，情報入手方法

問9 (2) サービスを利用し始めてから感染したり，発症したケースに直面したことがありますか。(〇は1つ)

☆3割強の方が，サービスを利用し始めてから感染したり，発症したケースに直面したことが「ある」と回答



調査結果の傾向

サービスを利用し始めてから感染したり，発症したケースに直面した経験(問9(2))と，感染症の罹患に関する情報入手方法についておうかがいしました。

まず，サービスを利用し始めてから感染したり，発症したケースに直面した経験を聞いたところ，「ある」は31.8%となっています。

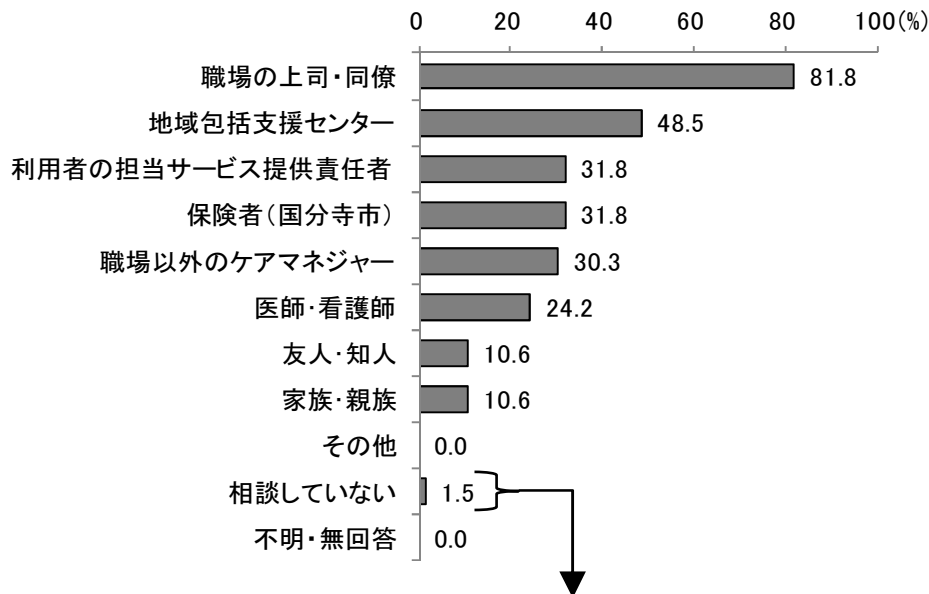
次に，「ある」と回答した方に情報入手方法を聞いたところ，一番多い方法として「サービス提供事業者からの情報提供」(38.1%)，「利用者やその家族からの報告」(14.3%)との回答が多くなっています。

1-7 業務上の悩みや問題点

(1) 業務上の悩みや問題点の相談相手、相談していない理由

問10 あなたは、業務上の「悩み」や「問題点」を誰に相談していますか。(あてはまるものすべてに○)(※選択肢「友人・知人」,「家族・親族」については守秘義務を伴うものを除く。)

☆業務上の悩みや問題点の相談相手は、「職場の上司・同僚」が8割強でトップ



問10-1 相談していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

☆相談していない理由は、「忙しくて相談する時間がとれないから」,「自分で解決しているから」にそれぞれ1件

回答者は1人で、「忙しくて相談する時間がとれないから」,「自分で解決しているから」に回答がありました。

調査結果の傾向

業務上の悩みや問題点の相談相手(問10), 相談していない場合の理由(問10-1)について、おうかがいしました。

まず、業務上の悩みや問題点の相談相手を聞いたところ、「相談していない」は1.5%で、98.5%の方が誰かに相談しています。相談相手としては「職場の上司・同僚」(81.8%)が最多で、次いで「地域包括支援センター」(48.5%)と続きます。

次に、相談していない場合の理由を聞いたところ、「忙しくて相談する時間がとれないから」,「自分で解決しているから」に1件の回答がありました。

クロス集計分析

経験年数別で見ると、5年未満の場合、「職場の上司・同僚」が9割を超えています。また、【3年未満】では「地域包括支援センター」（58.3%）、「利用者の担当サービス提供責任者」、「保険者（国分寺市）」（それぞれ41.7%）、「医師・看護師」（33.3%）への回答が全体平均を上回っています。【3年以上5年未満】では「利用者の担当サービス提供責任者」、「職場以外のケアマネジャー」（それぞれ45.5%）への回答が全体平均を上回っています。

(%)

	回答者数 (件)	職場の 上司・同僚	地域 包括 支援 セン ター	利用 者の 担 当 サ ー ビ ス 提 供 責 任 者	保 険 者 (国 分 寺 市)	職 場 以 外 の ケ ア マ ネ ジ ャ ー	医 師 ・ 看 護 師	友 人 ・ 知 人	家 族 ・ 親 族	そ の 他	相 談 し て い な い	不 明 ・ 無 回 答
全体	66	81.8	48.5	31.8	31.8	30.3	24.2	10.6	10.6	-	1.5	-
経験 年 数	3年未満	12	91.7	58.3	41.7	41.7	25.0	33.3	16.7	16.7	-	-
	3年以上5年未満	11	90.9	45.5	45.5	27.3	45.5	27.3	-	9.1	-	-
	5年以上	41	75.6	46.3	24.4	26.8	26.8	22.0	12.2	9.8	-	2.4

※網掛けは分析軸別の最大値

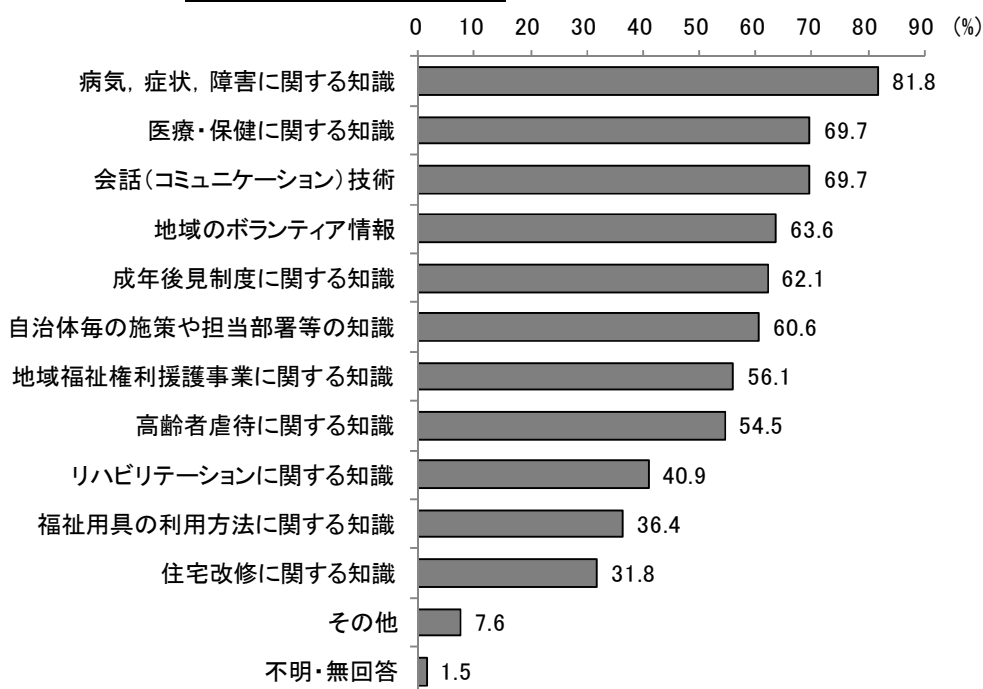
1-8 ケアマネジメントの質の向上

(1) 質の向上に向けて必要な知識、向上させたい知識

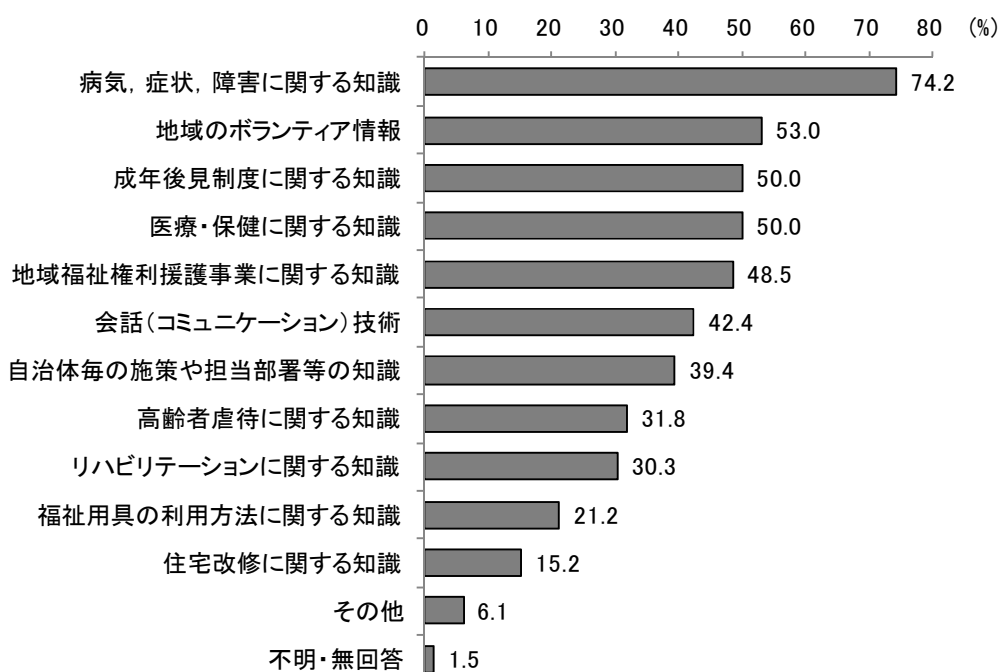
問11 ケアマネジメントの質の向上に向けて、どのような「知識」が必要だと思えますか。また、更に向上させたいと思えますか。(あてはまるものすべてに○)

☆ケアマネジメントの質の向上に向けて、必要だと思われる知識・更に向上させたい知識ともに「病気、症状、障害に関する知識」がトップ

<質の向上に向けて、必要だと思われる知識>



<質の向上に向けて、更に向上させたい知識>



調査結果の傾向

ケアマネジメントの質の向上に向けて、必要だと思われる知識、更に向上させたい知識（問11）を聞いたところ、ともに「病気、症状、障害に関する知識」が最多となっています。また、必要だと思われる知識については、次いで「医療・保健に関する知識」（69.7%）、「会話（コミュニケーション）技術」（69.7%）、「地域のボランティア情報」（63.6%）が続きます。

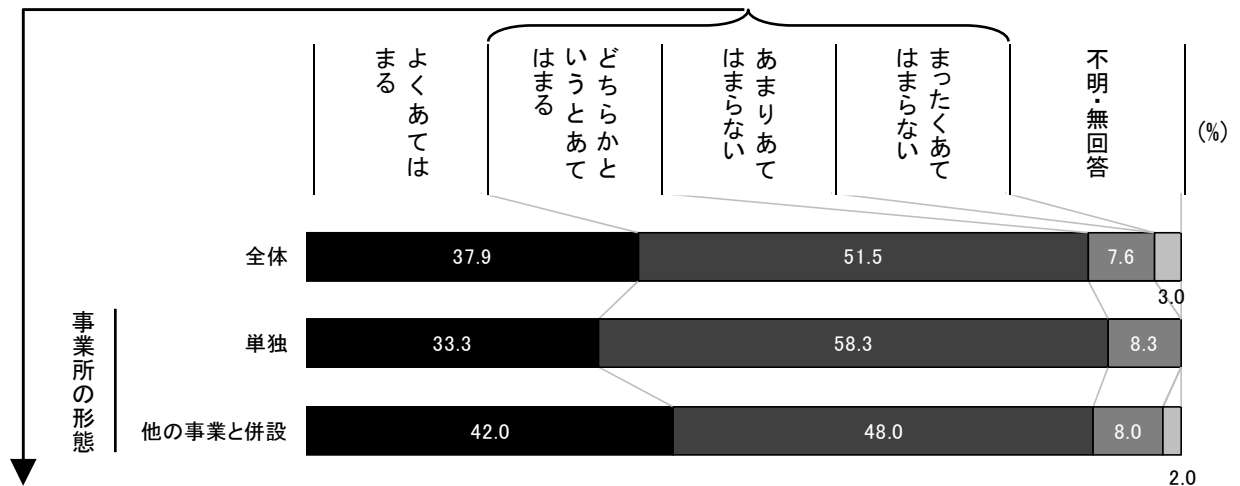
向上させたい知識では、次いで「地域のボランティア情報」（53.0%）、「成年後見制度に関する知識」、「医療・保健に関する知識」（それぞれ50.0%）と続きます。

1-9 サービス担当者会議の開催

(1) サービス担当者会議の適切な開催

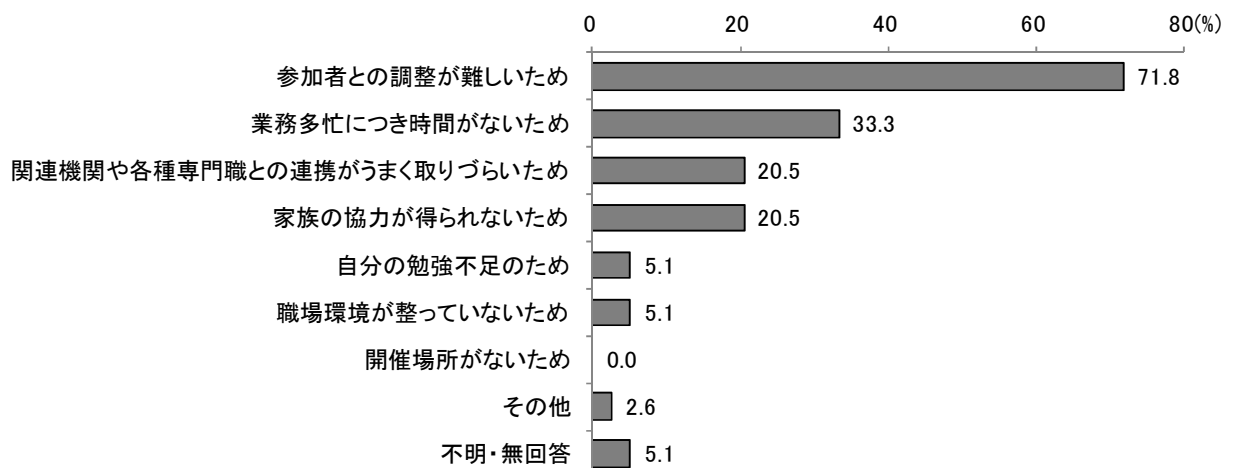
問12 サービス担当者会議について伺います。利用者の心身の状態や環境の変化、保健・福祉・医療サービスの利用状況及び経過などから、サービス担当者会議を開催する機会を的確に捉えて、適切に開催していますか。(○は1つ)

☆サービス担当者会議の適切な開催は、9割弱の方が“あてはまる”と回答



問12-1 問12で「2」～「4」のいずれかを選んだのはどのようなことが原因ですか。(あてはまるものすべてに○)

☆「参加者との調整が難しいため」が7割強でトップ



調査結果の傾向

サービス担当者会議の適切な開催（問12），適切に開催できないことがある場合の理由（問12-1）について、おうかがいしました。

まず、サービス担当者会議の適切な開催について聞いたところ、「どちらかというとはまる」（51.5%）が最多で、「よくあてはまる」（37.9%）を合わせると、89.4%の方が適切に会議を開催しています。

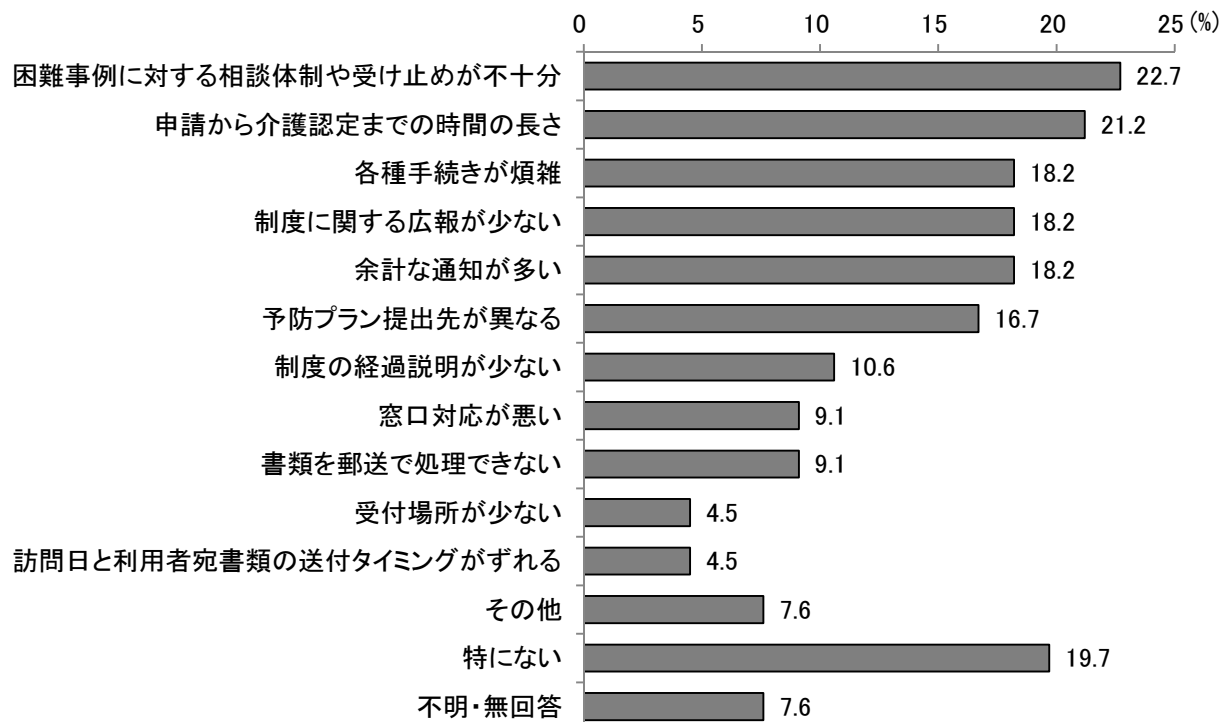
次に、「どちらかというとはまる」、「あまりあてはまらない」、「まったくあてはまらない」と回答した方にその理由を聞いたところ、「参加者との調整が難しいため」（71.8%）が最多となっています。

1-10 保険者に対する評価

(1) 保険者に対して不満に感じること

問13 保険者（国分寺市）に対して不満に感じることは、どのようなことですか。（あてはまるものすべてに○）

☆保険者に対して不満に感じることは、「困難事例に対する相談体制や受け止めが不十分」が2割台前半でトップ



クロス集計分析

経験年数別で見ると、【3年未満】の場合、「制度に関する広報が少ない」（33.3%）、「制度の経過説明が少ない」、「窓口対応が悪い」（それぞれ16.7%）等への回答が全体平均を上回っており、制度の周知に関することが多い傾向にあります。

また、【3年以上5年未満】の場合は「特にない」（36.4%）、「各種手続きが煩雑」（27.3%）、「5年以上」の場合は「申請から介護認定までの時間の長さ」（29.3%）、「困難事例に対する相談体制や受け止めが不十分」（26.8%）、「余計な通知が多い」（24.4%）等への回答が全体平均を上回っています。

(%)

	回答者数 (件)	や困難事例 に対する相 談体制	申請から 介護認定 までの時 間	各種手続 きが煩雑	制度に関 する広報 が少ない	余計な通 知が多い	予防プラ ン提出先 が異なる	制度の経 過説明が 少ない	窓口対応 が悪い	書類を郵 送で処理 できない	受付場所 が少ない	訪問日と 利用者宛 書類の送 付	その他	特にな い	不明・無 回答
全体	66	22.7	21.2	18.2	18.2	18.2	16.7	10.6	9.1	9.1	4.5	4.5	7.6	19.7	7.6
経験年数	3年未満	12	25.0	-	8.3	33.3	8.3	16.7	16.7	-	-	8.3	8.3	8.3	8.3
	3年以上5年未満	11	9.1	18.2	27.3	9.1	9.1	-	18.2	9.1	9.1	-	9.1	36.4	9.1
	5年以上	41	26.8	29.3	19.5	17.1	24.4	17.1	12.2	4.9	12.2	4.9	4.9	17.1	7.3

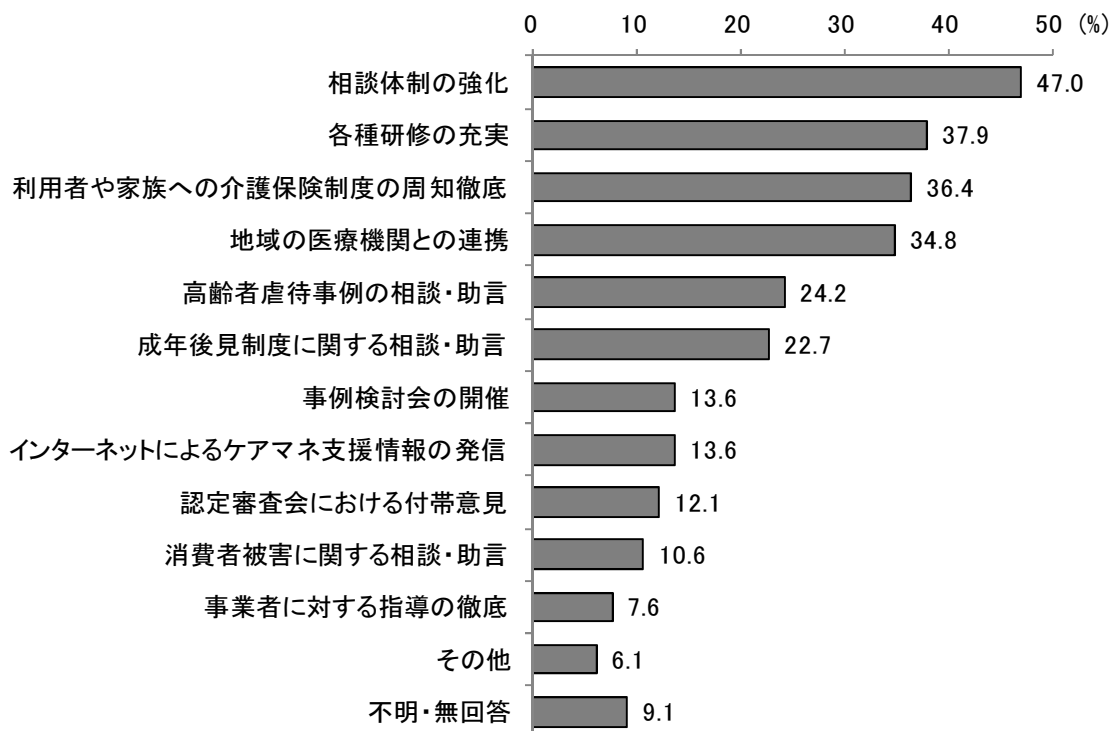
※網掛けは分析軸別の最大値

1-11 ケアマネジャーへの支援

(1) 保険者に望まれるケアマネジャーへの支援内容

問14 保険者（国分寺市）が行うケアマネジャーへの包括的支援として、どのようなことが望まれますか。（あてはまるものすべてに○）

☆望まれるケアマネジャーへの包括的支援として「相談体制の強化」が4割台後半でトップ



調査結果の傾向

保険者が行うケアマネジャーへの包括的支援として望まれること（問14）を聞いたところ、「相談体制の強化」（47.0%）が最多で、次いで「各種研修の充実」（37.9%）、「利用者や家族への介護保険制度の周知徹底」（36.4%）、「地域の医療機関との連携」（34.8%）と続きます。

クロス集計分析

経験年数別で見ると、【3年未満】の場合、「相談体制の強化」(58.3%)、「事例検討会の開催」(25.0%)等への回答が全体平均を大きく上回っており、相談や情報共有等に関することがあげられます。また、【3年以上5年未満】の場合は「利用者や家族への介護保険制度の周知徹底」(45.5%)、「消費者被害に関する相談・助言」(27.3%)等、【5年以上】の場合は「各種研修の充実」(48.8%)、「地域の医療機関との連携」(39.0%)等への回答が全体平均を上回っています。

		(%)													
		回答者数 (件)	相談体制の 強化	各種研修の 充実	利用者や家族 への介護保 険	地域の医療 機関との連 携	高齢者虐待 事例の相談 ・助言	成年後見 制度に関す る相談・助 言	事例検討会 の開催	インターネット によるケア の発信	認定審査会 における付 帯意見	消費者被害 に関する相 談・助言	事業者に対 する指導の 徹底	その他	不明・無 回答
全体		66	47.0	37.9	36.4	34.8	24.2	22.7	13.6	13.6	12.1	10.6	7.6	6.1	9.1
経験年数	3年未満	12	58.3	33.3	16.7	25.0	16.7	16.7	25.0	8.3	-	-	8.3	-	16.7
	3年以上5年未満	11	45.5	-	45.5	36.4	27.3	27.3	-	9.1	9.1	27.3	-	18.2	9.1
	5年以上	41	46.3	48.8	39.0	39.0	26.8	24.4	14.6	17.1	17.1	9.8	7.3	2.4	7.3

※網掛けは分析軸別の最大値

(2) 保険者に相談したい内容

問15 保険者（国分寺市）に相談したいことがありますか。ご自由にご記入ください。

6人から回答がありました。記載内容では、「連携体制について」(3件)が最多で、次いで「困難事例について」、「勤務状況について」(1件)と続きます。主な記載内容を以下に示します。

区分	記載内容	件数
1	連携体制について	3
2	困難事例について	1
3	勤務状況について	1
4	その他	1

【1 連携体制について (3件)】

- ・相談時の対応はとても良くして頂いていると思います。利用者、家族への制度説明は、個別のケアプラン作成相談の前に行って頂きたい。
- ・先日開催していただいた精神科のドクター（女性）の講義がとても参考になり良かった。又おねがいしたいです。
- ・ケアマネが担当していると、ケアマネ任せで、相談や、大変な時力になってくれない印象がある。認定結果が出ると知らんぷりするイメージ。

【2 困難事例について（1件）】

- 精神の方の困難ケースを相談しても、ケアマネを支援する姿勢がなかった。他市では率先して同行訪問しています。

【3 勤務状況について（1件）】

- ボーナス査定において、地域連携の為会議に出席し活動しても管理者より担当CPを制限されて、担当CPが少ないと法人に報告され、ボーナスの減額をされた。パワハラを受け、高齢者相談員に内緒で相談しました。現在は何とか査定基準をもどしてもらいましたが、今後も地域活動についての評価が低く心配です。

【4 その他（1件）】

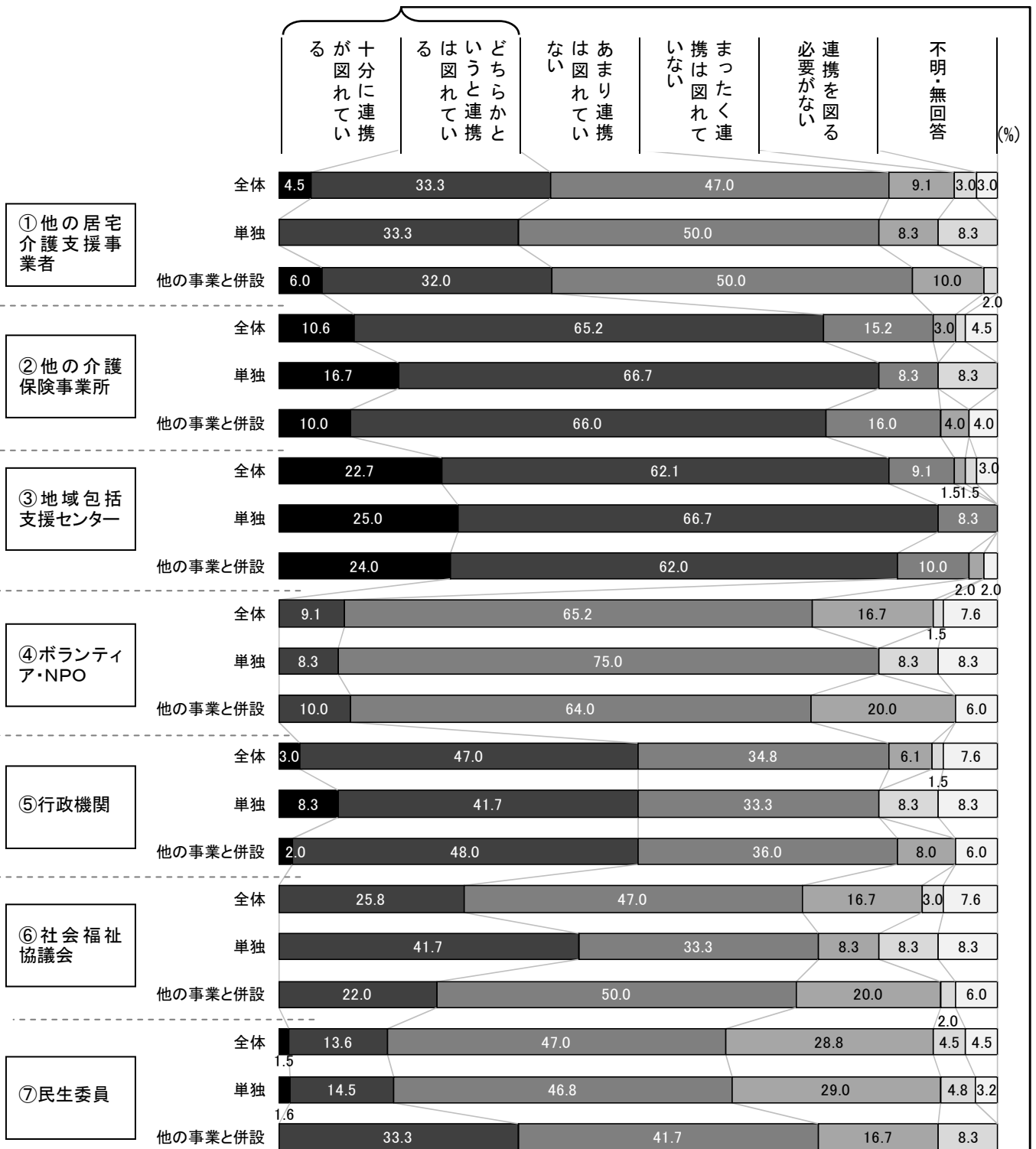
- いつも監査にひっかからないか、自分の業務（特にモニタリングの方法、モニタリングの記録、内容、書類等）が妥当なのか、びくびくしています。気軽に相談できればと思います。

1-12 関係機関との連携

(1) 関係機関との連携状況

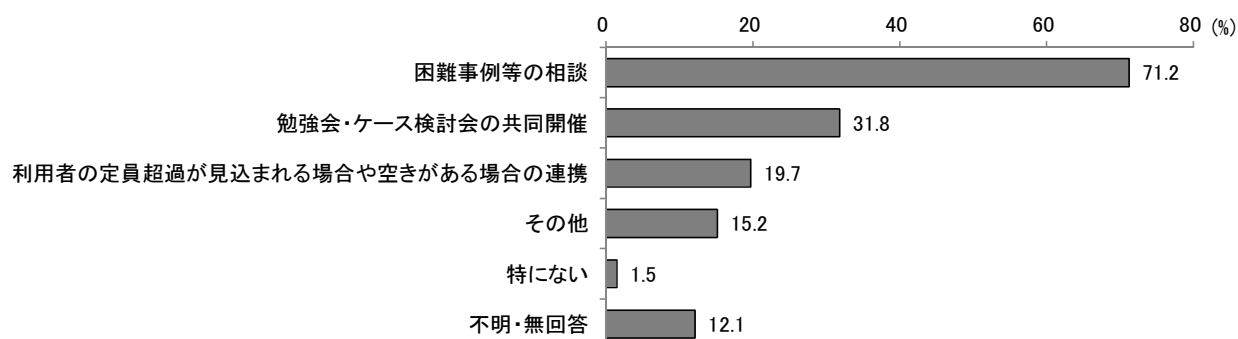
問16 関係機関との連携について伺います。次にあげる人たちとの連携状況はいかがですか。
(○はそれぞれ1つずつ)

☆関係機関との連携については、他の介護保険事業所や地域包括支援センターで7割以上の方が“連携が図れている”と回答



問17 上記の人たちとどのような連携を取っていますか。(あてはまるものすべてに○)

☆関係機関との連携方法は、「困難事例等の相談」が7割強でトップ



調査結果の傾向

関係機関との連携状況（問17）、連携の方法（問17-1）について、おうかがいしました。

まず、関係機関との連携状況を聞いたところ、「他の居宅介護支援事業者」、「ボランティア・NPO」、「社会福祉協議会」、「民生委員」については「あまり連携は図れていない」への回答が4割以上となっています。また、「他の介護保険事業所」、「地域包括支援センター」については、「どちらかという連携は図れている」、「十分に連携が図れている」を合わせた“連携が図れている”が7割以上となっています。

次に、“連携が図れている”場合の連携の方法を聞いたところ、「困難事例等の相談」（71.2%）、「勉強会・ケース検討会の共同開催」（31.8%）との回答が多くあげられています。

クロス集計分析

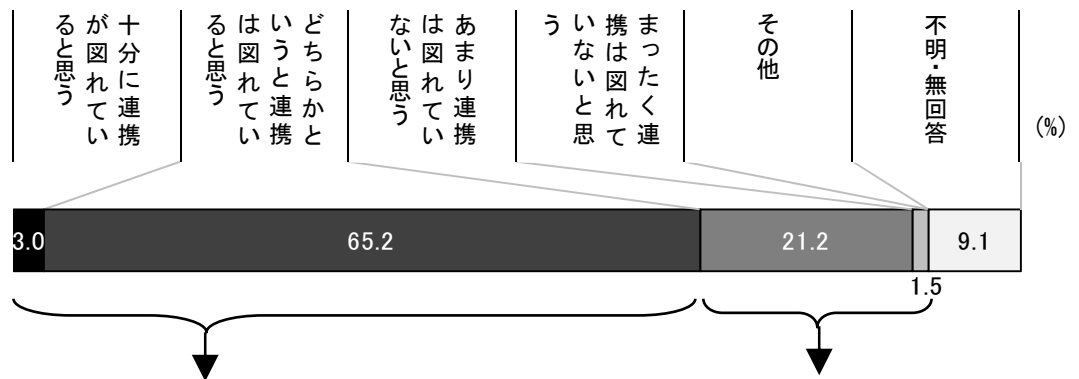
事業所の形態別で見ると、【単独】、【他の事業と併設】の形態で関係機関との連携状況が大きく異なっている状況は見られないものの、「社会福祉協議会」との連携状況では【単独】が「どちらかという連携は図れている」の回答が全体平均、【他の事業と併設】よりも多くなっています。

1-13 医療との連携

(1) かかりつけ医との連携状況

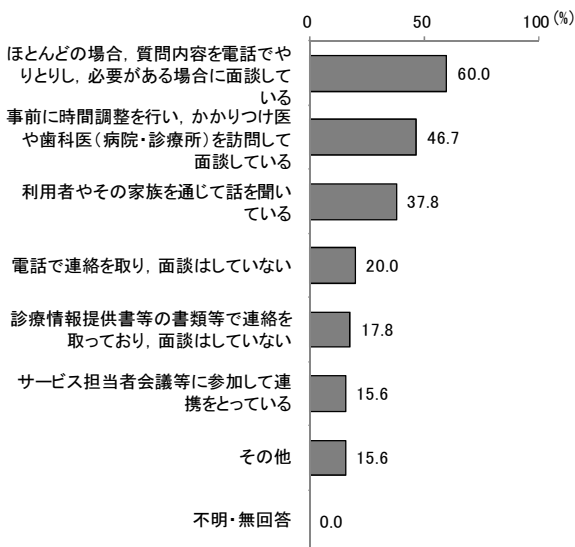
問18 あなたの事業所において、かかりつけ医や歯科医との連携が必要だと思うケースでは、実際に連携が図れていると思いますか。(○は1つ)

☆かかりつけ医との連携については、7割弱の方が“連携が図れていると思う”と回答



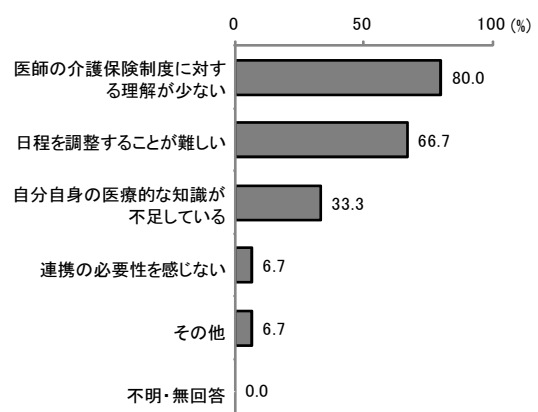
問18-1 かかりつけ医や歯科医との連携はどのような方法で行っていますか。(○は3つ以内)

☆「ほとんどの場合、質問内容を電話でやりとりし、必要がある場合に面談している」が6割でトップ



問18-2 医療との連携が図れていない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

☆「医師の介護保険制度に対する理解が少ない」が8割でトップ



調査結果の傾向

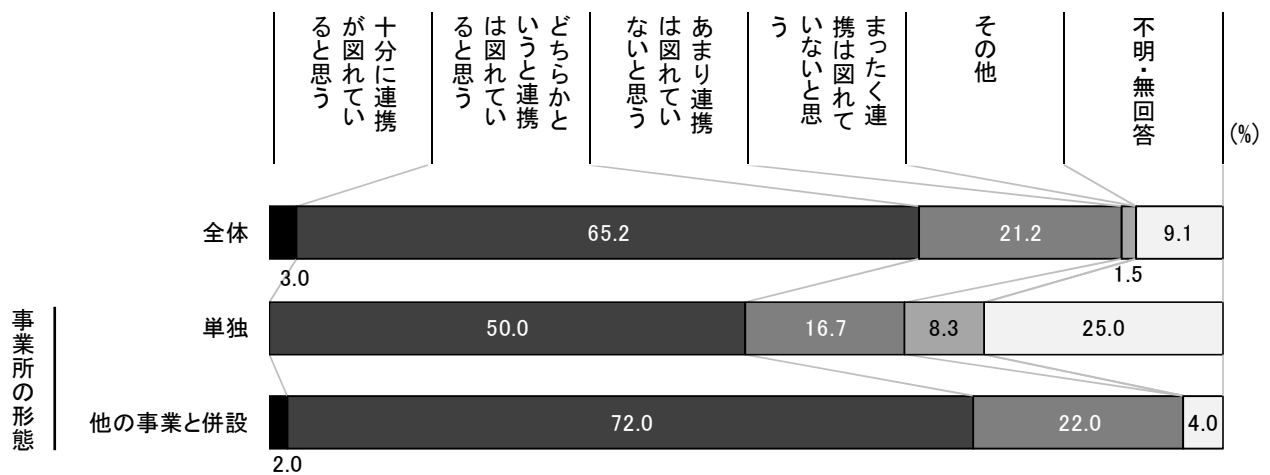
かかりつけ医との連携状況（問18）、連携の方法（問18-1）について、おうかがいしました。

まず、かかりつけ医との連携状況を聞いたところ、「どちらかという連携は図れていると思う」（65.2%）が最多で、「十分に連携が図れていると思う」（3.0%）を合わせると、68.2%の方が“連携が図れていると思う”と回答しています。

次に、“連携が図れていると思う”場合の連携の方法を聞いたところ、「ほとんどの場合、質問内容を電話でやりとりし、必要がある場合に面談している」（60.0%）、「事前に時間調整を行い、かかりつけ医や歯科医（病院・診療所）を訪問して面談している」（46.7%）との回答が多くあげられています。

クロス集計分析

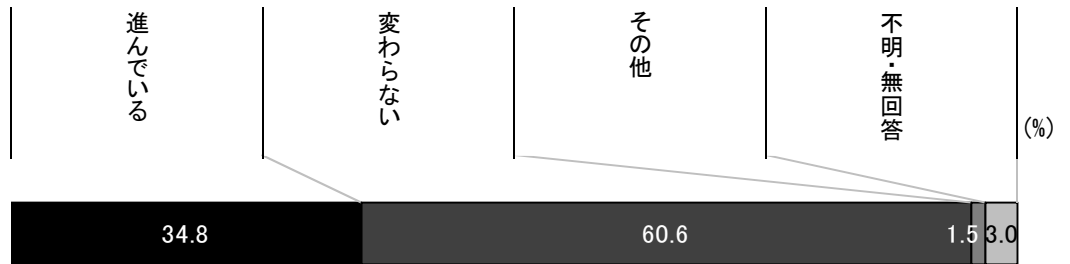
事業所の形態別で見ると、【単独】は、「どちらかという連携は図れていると思う」が全体平均よりも下回り、【他の事業と併設】は大きく上回っています。



(2) 退院加算が増えたことによる、医療機関との連携状況

問19 あなたの事業所において、退院加算が増えたことにより、医療機関との連携が進んでいますか。(〇は1つ)

☆「変わらない」が6割強でトップ



調査結果の傾向

退院加算が増えたことによる医療連携の進捗度(問19)を聞いたところ、「変わらない」(60.6%)が最多となっています。一方、「進んでいる」との回答は34.8%となっています。

1-14 ご意見・ご要望

問20 介護保険制度や保険者（国分寺市）に対してのご意見・ご要望など、ご自由にご記入ください。

31人から回答がありました。記載内容では、「行政・制度」（11件）が最多で、次いで「情報提供・相談」（7件）、「生活支援・介護」及び「施設関係」（4件）と続きます。主な記載内容を以下に示します。

区分	記載内容	件数
1	行政・制度	11
2	情報提供・相談	7
3	生活支援・介護	4
4	施設関係	4
5	要介護認定	3
6	医療関係	1
7	事業所・人員	1

【1 行政・制度（11件）】

- ・包括センターから新規依頼がきたとしてもすぐにサービスがつかないケースもあり（もう少しサービスにつながるところまで包括が関わって下さってもよい気がします）。また新たに別のケースでもすぐにサービスがつかなければCMに収入がない制度も納得がいかない。また予防支援に関しても手間等は同じなのに収入がかなり低くなっているのもおかしい制度である。さらに委託なのでプランや給付管理等々包括までそれぞれに持参しなければならないと思うと、支援はやはり市が持つべきなのかなとも思う。制度としても支援と介護の人の差があいまいな気がする。
- ・書類が多すぎる。いろいろな点でもっと融通をきかせてほしい。
- ・介護度よりの限度額の制限を解除してほしい。誰でも1割で利用できるようにしてほしい。
- ・ターミナルの場合、申請したら状態にかかわらず、要介護2以上にしてほしい。
- ・今後地域包括ケアの実現に向けてケアマネジャーの連携の役割も増してくると思われませんが、業務量が多く現状目一杯でもあり業務量の軽減を望みます。また、関わる様々な職種がそれぞれレベルアップして良いケアが行えるような教育体制、環境整備をして頂きたいと思います。
- ・更新申請用紙を前月の末には（1日には提出できる位に）届いている状態にしてほしい。
- ・他市に比べ、サービスを受けるのに制限が厳しい。お年寄りにやさしいまちであってほしいです。
- ・要支援者に対する保険者の施策を十分な支援となるよう配慮して下さい。訪問の度、利用者からの不安が上っています。より自立支援が推進出来るサービスの提供を願います。
- ・制度の対応などは、柔軟に対応して下さっていると感じている。介護度が出て、ケアマネが担当につくと、包括も支援してくれないと感じている。大変と感じている事例への支援など、どこが関わってくれるのか？
- ・市が行う高齢者関係の施設や事業について、各担当部署ごとに行うのも、他の関連部署と情報共有、協力体制づくりをしていただきたい（ごみ収集、災害対策なども含む）。

- ・更新書類、遅延通知、結果等、字が小さい、余計な通知が多い様に思う。高齢者は大変です。ケアマネジャーがいるとすべてケアマネジャーに、という風潮があるように思う。是非介護保険制度以外の部署の方との連携強化を役所内でも行ってほしい。

【2 情報提供・相談（7件）】

- ・広報紙の福祉サービス一覧を拡張してほしい。
- ・制度改正時等に現時点でわかっている情報を定期的に出してほしい。
- ・ケアプランについて相談（TEL）したところ、ホームページで確認、または事業所内の同僚ケアマネに相談をと案内されそのようにしたが、他市でケアマネ業務をしていた時、制度に精通し気軽に相談できた職員さんがいたことを思い出し、融通がきかないかな？と思ったことがあります。
- ・以前、市役所の窓口で相談をしたら「個別な話に意見できない」と聞いてもらえなかった（サービス内容算定についての内容）。それなら、どこで相談できるか紹介するなど、もう少しケアマネ支援をしてほしいのではととても残念でした。
- ・電話対応や、市役所内の雰囲気が悪い。相談等しにくい。私達を感じるので、一般のお客様はもっとだと思えます。実際お客様からケアマネに言われています。包括は対応がとても良いです。安心感があります。
- ・27年度改正について、早めに市としての対応を検討し、対応について情報をケアマネジャーへも流してほしい。
- ・サービス事業所の状況や運用の仕方など、情報が不明瞭な感じである。

【3 生活支援・介護（4件）】

- ・要支援1はかなり元気な方が多いので、通所、訪問看護以外サービスを廃止すべきです。ケアマネ支援に力を入れて行って欲しい。
- ・夜間対応型訪問介護事業所が少なく選べない。
- ・オムツ支給について。要介護3以上というしぼりをつけるなら、40～60代の人にも広げてほしい。同じ介護保険の被保険者だから。
- ・配食サービスの値段が少し高い。

【4 施設関係（4件）】

- ・介護保険で施設があることはいろいろな意味でサービス提供が充実します。例えば国分寺にある老健2つはすぐ近くにあって、市内全体から考えると片寄っていると感じています。施設設置は全体のバランスを考えてお願いします。
- ・緊急時に利用できる施設が少ない。介護と支援について利用者が理解しにくい。自宅で介護が困難になった場合の入所先、特養の入所の受け入れについて、介護度の重い方から入所できているのか？
- ・特別養護老人ホームを増やして欲しい。
- ・高齢者施設（横出しサービス）をもっと充実させてほしい。

【5 要介護認定（3件）】

- 審査会ですが、極端に介護度が軽度で判定された。たとえば「要介護3→要支援へ」区分変更をかける
と以前の介護度にもどったりする。審査会のやり方に問題があるのではないのでしょうか？区分変更をか
けるということは、費用や時間や手間がかかることなので、もっと配慮してほしい。
- ガン末期の方の場合、要介護2に位置づけてほしい。変化が早く、区分変更が間に合わないことがあり、
少し先を見据えて必要な人には、当初から特殊寝台のレンタルが必要なケースが多いので（要介護1で
もレンタルできるが、退院時間にあわなかったりするし、すぐ悪くなることが見こせる場合、手続きが
面倒）。
- 介護保険の対象者は多岐に渡る。特に症状が不安定な方、末期癌の方、若年の方等、一律ではなく適切
な判定をお願いしたい。

【6 医療関係（1件）】

- 在宅のケアプランを重視していない医師が多くいる。ソーシャルワーカー、ケースワーカーとの話にも
ともと、時間をとってくれる医師はそのまま、自身が家族と話せば十分と考えている医師もそのまま、
退院時直前になり、家族から相談が来る。制度だけできても（地域包括ケアについて等もそうだが）、
現場は十分な働き手がない、時間がない、質の低下の悪循環を感じる。

【7 事業所・人員（1件）】

- 連携を行う上で（地域ケア等）重要なことは、人づくりだと考えています。自分達の技術力を向上させ
るため、研修も色々ありますが、参加していこうとする気力がないことも生じています。更新研修だけ
とか臨床心理士の事務量とか職場環境とか、人間関係を重視するのが優先されて、新しいことを受け入
れることに閉鎖的になっていることも多いと考えられます。

2 総括

【本人について】

回答したケアマネジャーは女性の割合が9割に近く、年齢は30歳代から60歳代がほぼ均等になっています。経験年数は5年以上が6割を超えています。3割以上が何らかの労働災害を経験し、その内容では移動中の事故やストレス・不眠等が多くなっています。

【利用者に関して】

利用者からよく望まれる事業者情報は、「特別養護老人ホームの待機期間」と「ショートステイ等の空き情報」が多くなっています。供給不足と感じているサービスは「通所リハビリテーション」, 「介護老人福祉施設」, 「短期入所療養介護」の割合が高く、介護保険サービスのメニュー以外で在宅生活を送る上で必要と思われるサービスは「外出の付き添い」, 「安否確認などの声かけ」が上位を占めています。

利用者や家族からの苦情や相談は、「希望する施設の定員がいっぱいで入所できない」, 「医療措置が必要な場合、入所可能な施設が見つからない」などが半数以上となっています。

利用希望の多い特別養護老人ホーム等の情報は迅速な個別対応が難しいですが、利用者にとっては重要な情報です。制度利用全般に渡って相談や適切なアドバイス等を行い対応していくことが重要となります。

また、利用者やその家族自身が感染症に気が付いていないケースに直面したことがあるかどうかについては、約3割が「ある」と回答しています。

【業務に関して】

平成24年4月の報酬改定後に「負担が増えた」という回答は4割で、その内容は「事務量の増加」が多数を占め、負担は増加している状況です。仕事は約6割が「十分こなせている」, 「どちらかというこなせている」状況であり、残りの3割は“こなせていない”と回答しています。過度の負担となっており早急な改善が求められています。

業務上の悩みや問題点の相談先は「職場の上司・同僚」が8割以上、「地域包括支援センター」が4割以上となっています。

今後のケアマネジメントの質の向上に向けては、「病気、症状、障害に関する知識」, 「医療・保健に関する知識」, 「会話（コミュニケーション）技術」, 「地域のボランティア情報」, 「成年後見制度に関する知識」が、さらに向上させたい知識の上位5つでした。

サービス担当者会議については、約9割が適切に会議を開催していると回答しています。

【保険者（国分寺市）について】

保険者に対しては、「困難事例に対する相談体制や受け止めが不十分」, 「申請から介護認定までの時間の長さ」などが主な不満となっています。

保険者が行うケアマネジャーへの支援として望まれることは、「相談体制の強化」が5割近く、次いで「各種研修の充実」, 「利用者や家族への介護保険制度の周知徹底」, 「地域の医療機関との連携」が3割を超えています。

利用者・家族への制度の周知徹底や困難ケースに対して保険者からの何らかの支援、相談体制の充実等が求められています。

【関係機関との連携について】

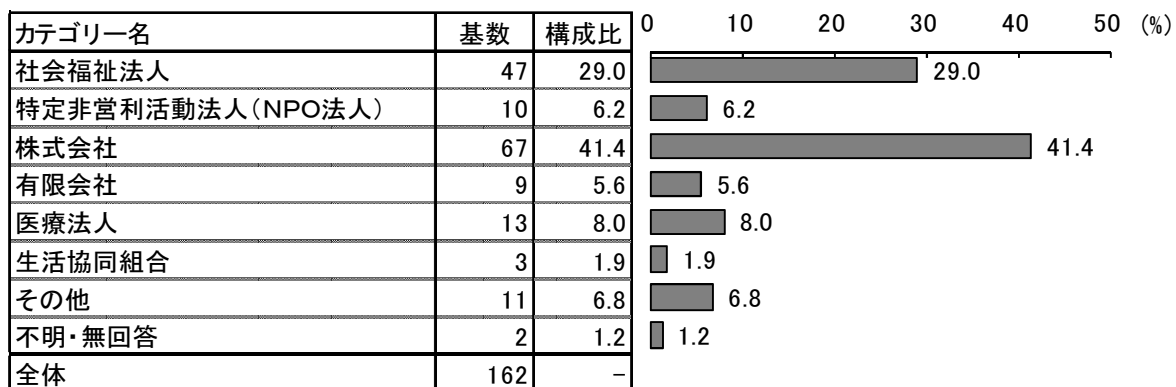
関係機関との連携状況については、連携方法として「困難事例等の相談」を約7割、「勉強会・ケース検討会の共同開催」を約3割が回答しています。また、かかりつけ医との連携については、約7割が“連携が図れていると思う”と回答している一方、「あまりあるいはまったく図れていないと思う」が2割あります。連携が取れるような仕組みが必要となります。

第 8 章 介護職員等調査

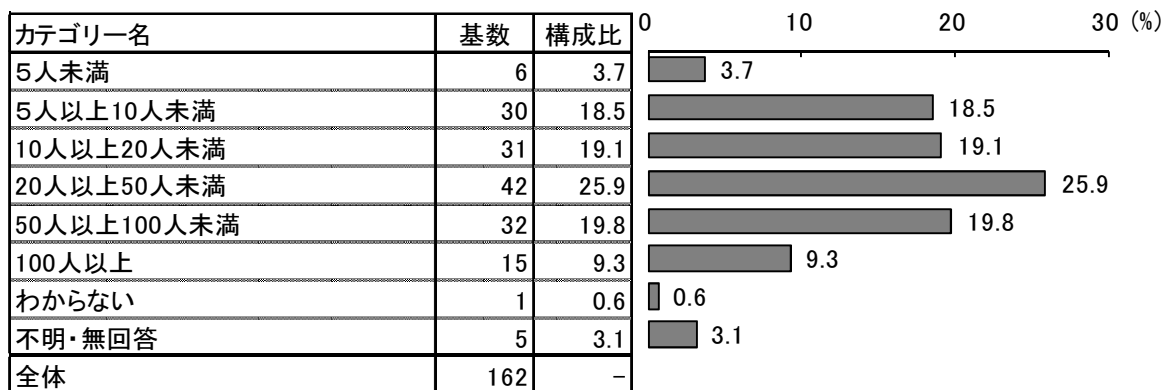
1 調査結果

1-1 ご本人の状況

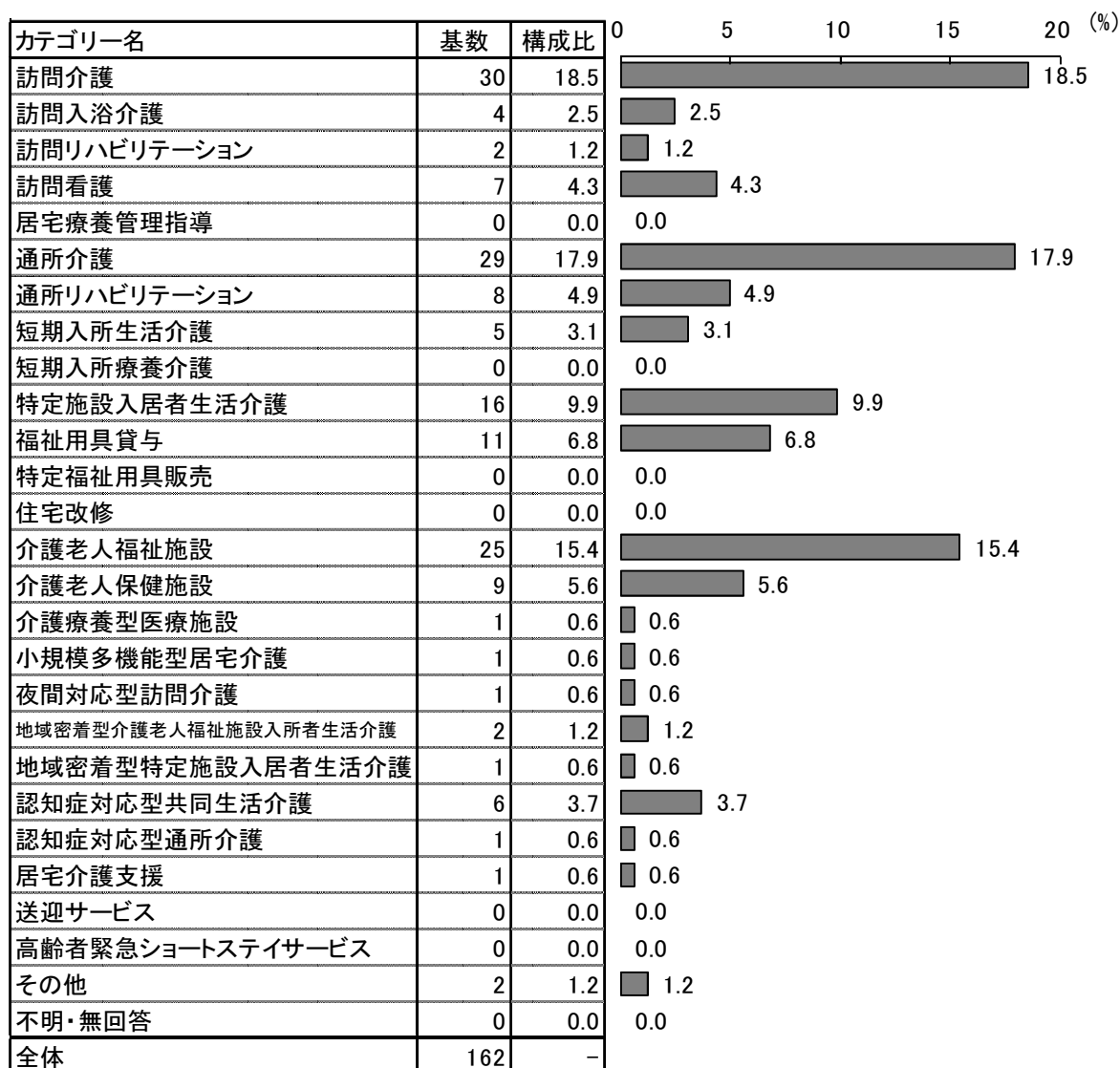
(1) 事業所の経営主体



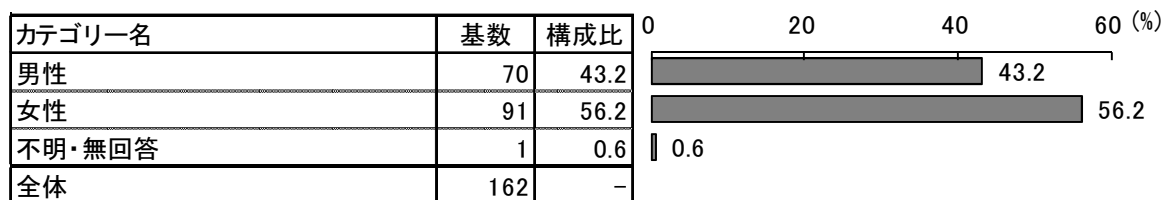
(2) 事業所の従業員規模



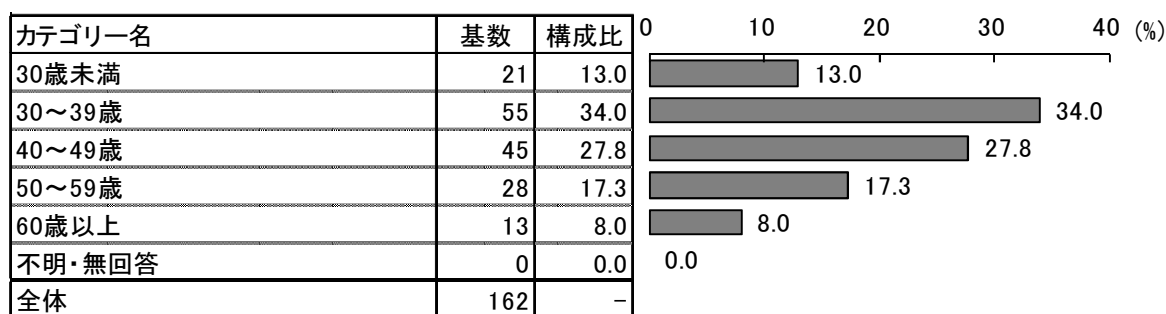
(3) 事業所の介護サービス種類



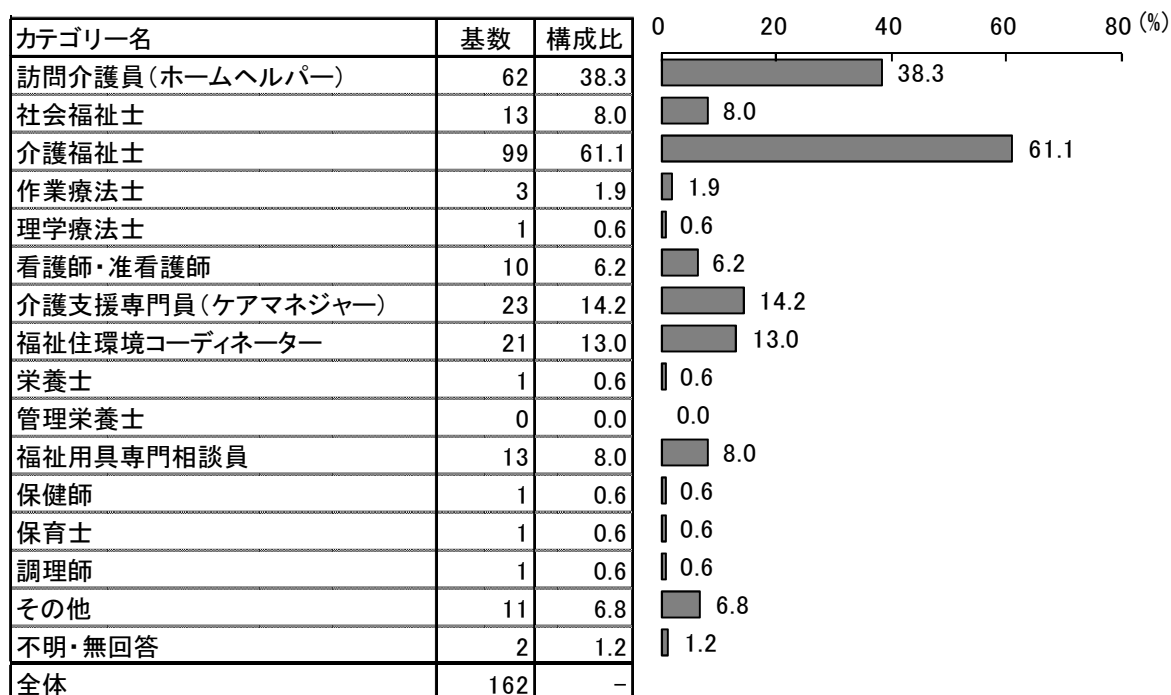
(4) 性別



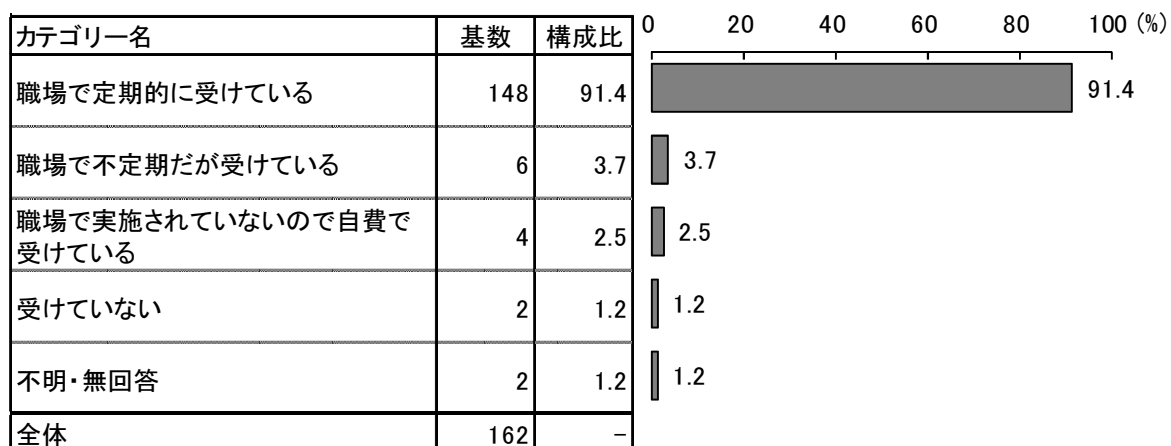
(5) 年齢



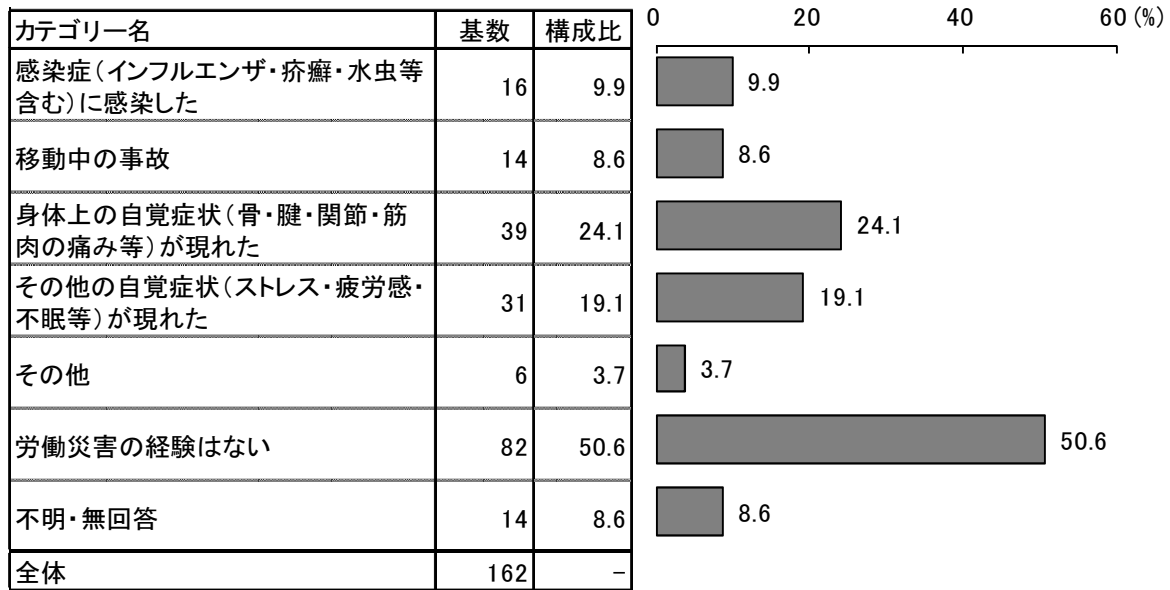
(6) 現在取得している介護に関する資格 (あてはまるものすべてに○)



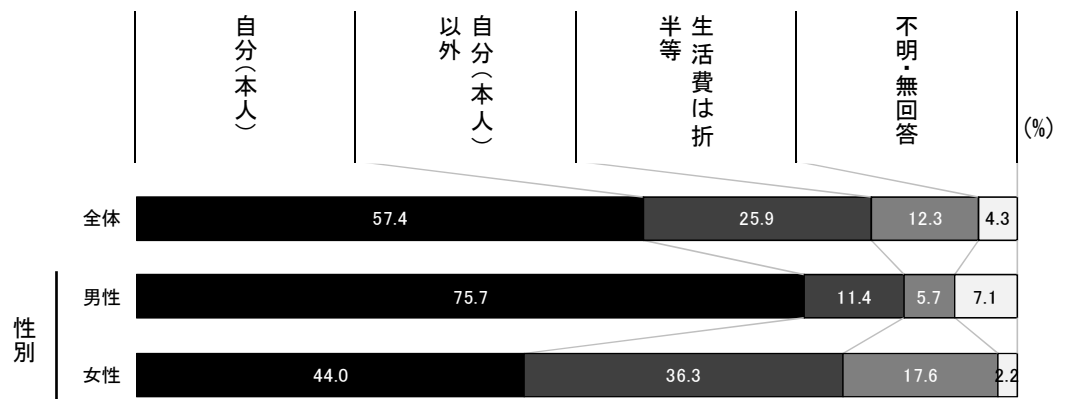
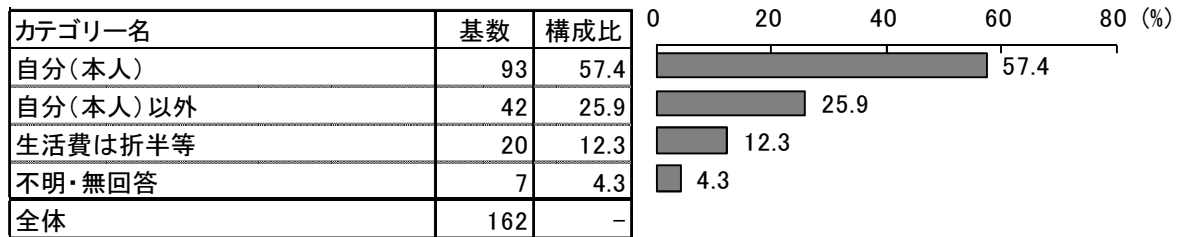
(7) 健康診断の受診状況



(8) 労働災害の経験 (あてはまるものすべてに○)



(9) 主たる生計維持者

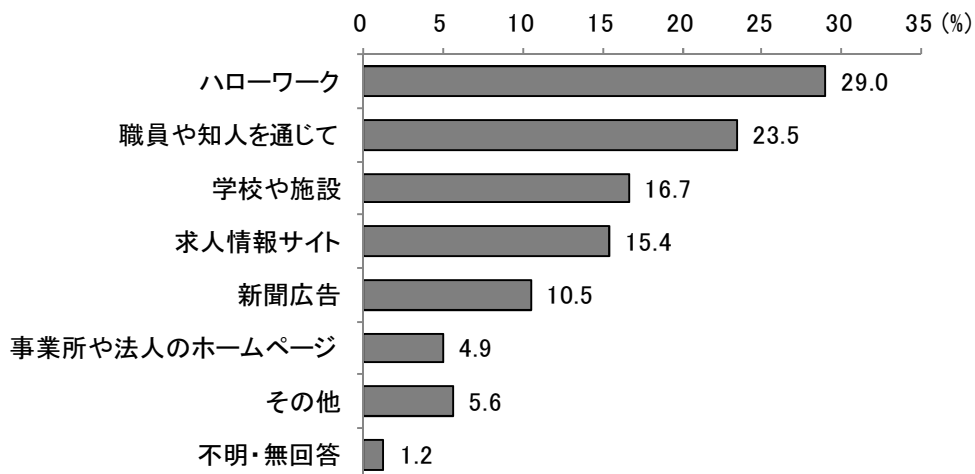


1-2 現在の職場の状況

(1) 事業所を知ったきっかけ

問3 あなたが現在働いている事業所を知ったきっかけは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

☆事業所を知ったきっかけは、「ハローワーク」が3割弱でトップ



調査結果の傾向

現在働いている事業所を知ったきっかけ(問3)を聞いたところ、「ハローワーク」(29.0%)が最多で、次いで「職員や知人を通じて」(23.5%)、「学校や施設」(16.7%)と続きます。

クロス集計分析

性別で見ると、男女ともに上位2回答が「ハローワーク」、「職員や知人を通じて」となっていますが、【男性】では3位回答は「学校や施設」(18.6%)、【女性】は「求人情報サイト」(16.5%)となっています。

(%)

		回答者数 (件)	ハローワーク	職員や知人を通じて	学校や施設	求人情報サイト	新聞広告	事業所や法人のホームページ	その他	不明・無回答
全体		162	29.0	23.5	16.7	15.4	10.5	4.9	5.6	1.2
性別	男性	70	35.7	22.9	18.6	14.3	7.1	4.3	1.4	1.4
	女性	91	24.2	24.2	14.3	16.5	13.2	5.5	8.8	1.1

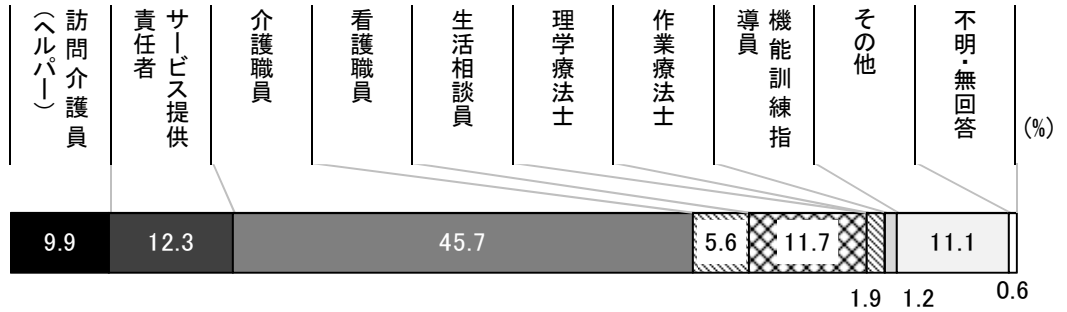
※網掛けは分析軸別の最大値

(2) 現在働いている事業所での就労状況

問4 現在働いている事業所でのあなたの就労状況についてお伺いします。

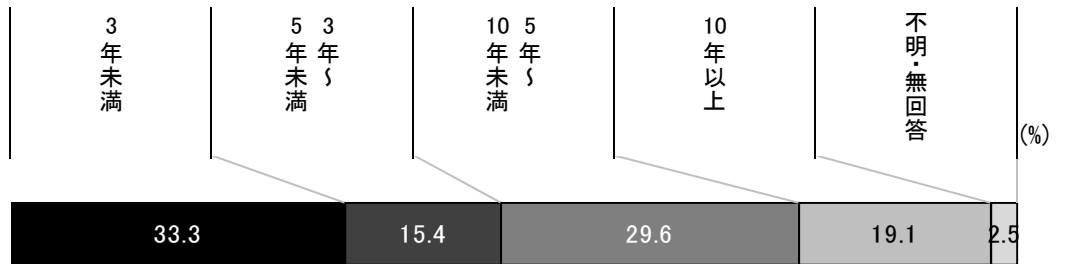
☆現在の主な仕事は「介護職員」が4割台半ばでトップ

(1) 【現在の主な仕事】

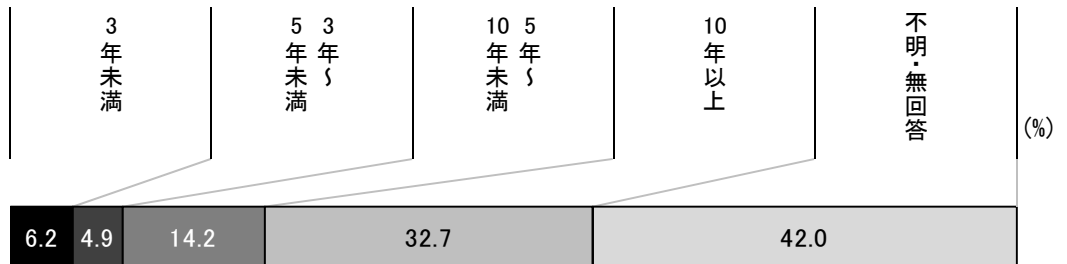


(2) 【仕事の経験年数】

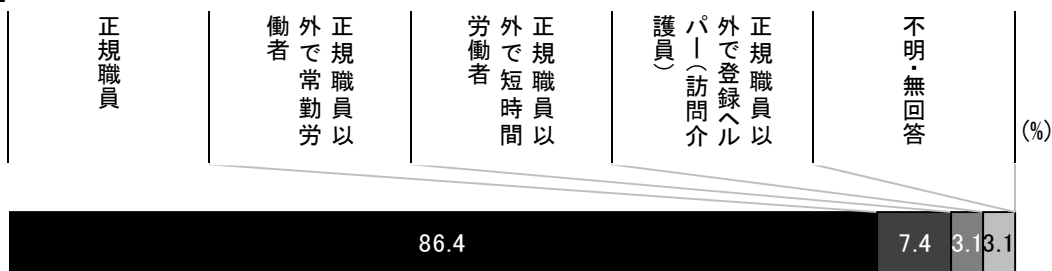
(現在の事業所)



(他事業所も含む)



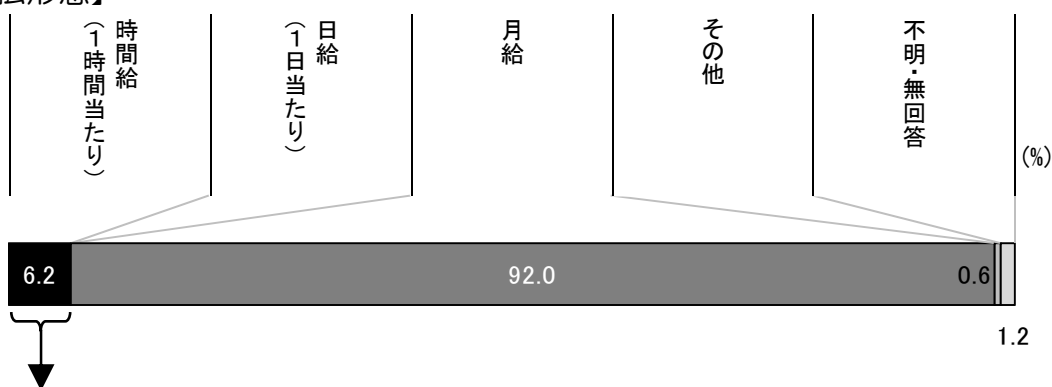
(3) 【就業形態】



(4) 【週の所定労働時間】

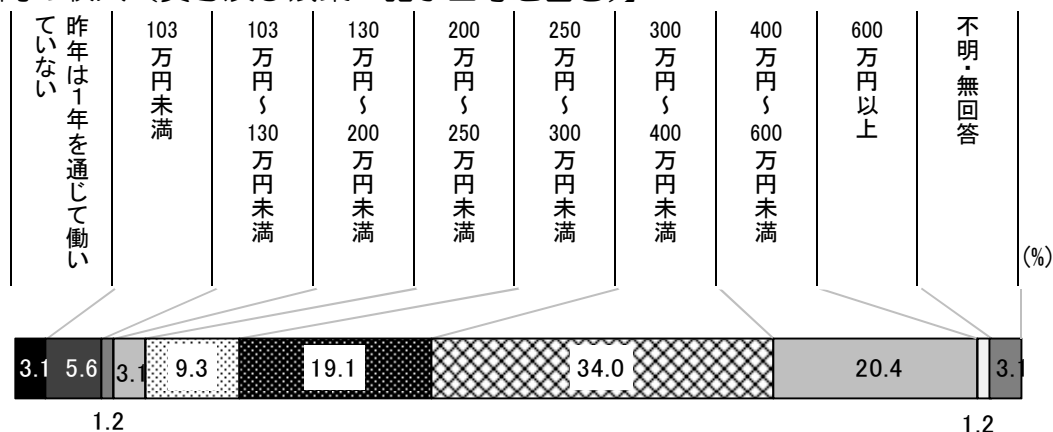
回答数	平均
154件	39.16時間

(5) 【賃金の支払形態】



	回答数	平均
時間給	9件	1,272.22円

(6) 【昨年1年間の収入（賞与及び残業・諸手当等を含む）】



調査結果の傾向

現在の主な仕事（問4（1））、仕事の経験年数（問4（2））、就業形態（問4（3））、週の所定労働時間（問4（4））、賃金の支払形態（問4（5））、昨年1年間の収入（問4（6））について、おうかがいしました。

現在の主な仕事を聞いたところ、「介護職員」（45.7%）が最多となっています。

仕事の経験年数を聞いたところ、現在の事業所は「3年未満」（33.3%）が最多で、他事業所も含めた経験年数は「10年以上」（32.7%）が最多となっています。

就業形態を聞いたところ、「正規職員」が86.4%となっています。

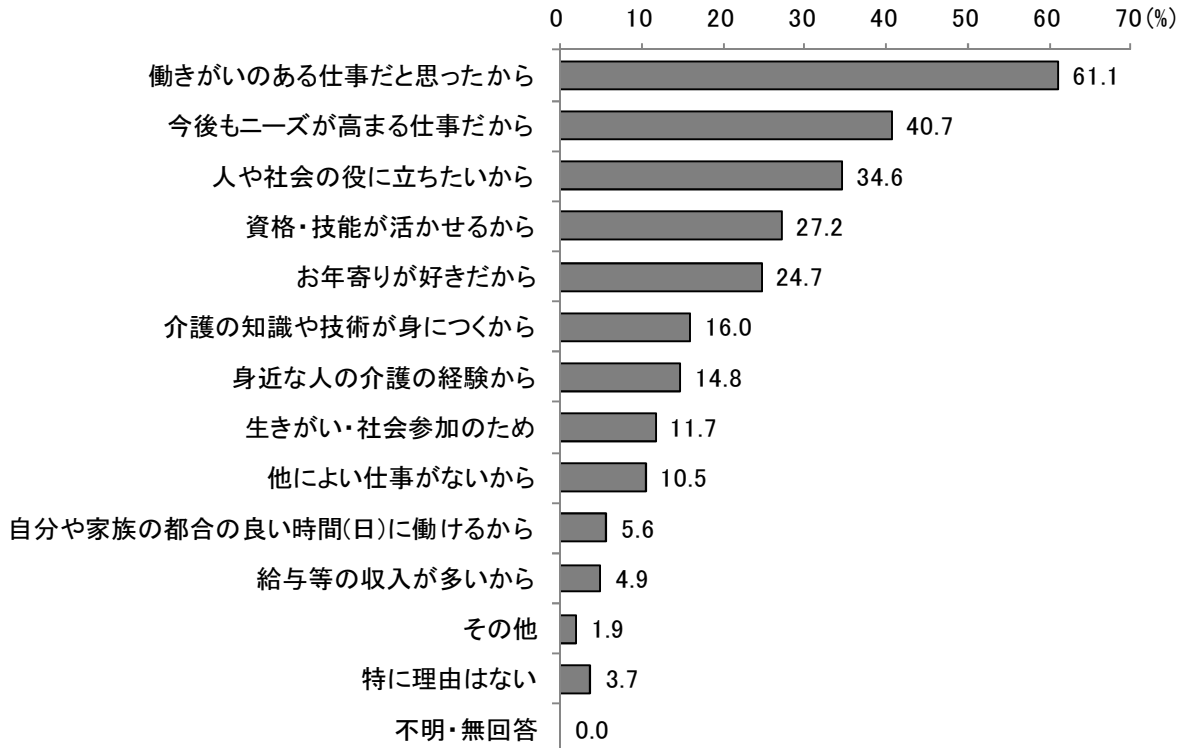
週の所定労働時間を聞いたところ、「平均39.16時間」となっています。賃金の支払形態は「月給」が92.0%で最多、支払形態が「時間給」の場合は、平均時給1,272.22円となっています。

昨年1年間の収入を聞いたところ、「300万円～400万円未満」（34.0%）が最多となっています。

(3) 仕事を選んだ理由

問5 あなたが現在の仕事を選んだ理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

☆現在の仕事を選んだ理由は「働きがいのある仕事だと思ったから」が6割強でトップ



調査結果の傾向

現在の仕事を選んだ理由(問5)を聞いたところ、「働きがいのある仕事だと思ったから」(61.1%)が最多で、次いで「今後もニーズが高まる仕事だから」(40.7%)、「人や社会の役に立ちたいから」(34.6%)と続きます。

クロス集計分析

性別で見ると、【男性】の場合、「働きがいのある仕事だと思ったから」(51.4%)が全体平均を下回っていますが、「今後もニーズが高まる仕事だから」(45.7%)、「人や社会の役に立ちたいから」(41.4%)が全体平均を上回っています。【女性】の場合、「働きがいのある仕事だと思ったから」(68.1%)、「資格・技能が活かせるから」(33.0%)が全体平均を大きく上回っています。

(%)

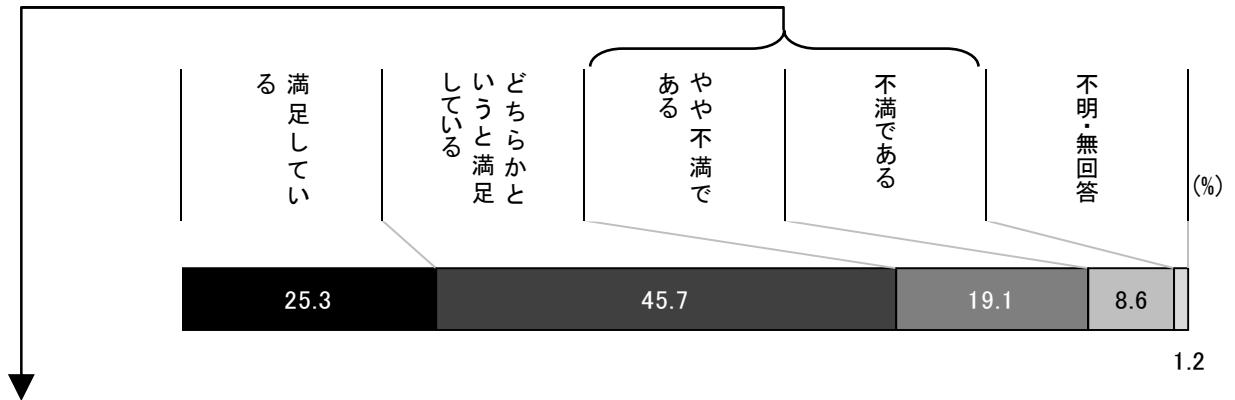
	回答者数(件)	働きがいのある仕事だと思ったから	今後もニーズが高まる仕事だから	人や社会の役に立ちたいから	資格・技能が活かせるから	お年寄りが好きだから	介護の知識や技術が身につくから	身近な人の介護の経験から	生きがい・社会参加のため	他によい仕事がないから	自分や家族の都合の良い時間(日)に働けるから	給与等の収入が多いから	その他	特に理由はない	不明・無回答
全体	162	61.1	40.7	34.6	27.2	24.7	16.0	14.8	11.7	10.5	5.6	4.9	1.9	3.7	0.0
性別															
男性	70	51.4	45.7	41.4	18.6	18.6	11.4	10.0	7.1	15.7	1.4	-	2.9	4.3	-
女性	91	68.1	36.3	28.6	33.0	29.7	18.7	18.7	15.4	6.6	8.8	8.8	1.1	3.3	-

※網掛けは分析軸別の最大値

(4) 仕事の満足度

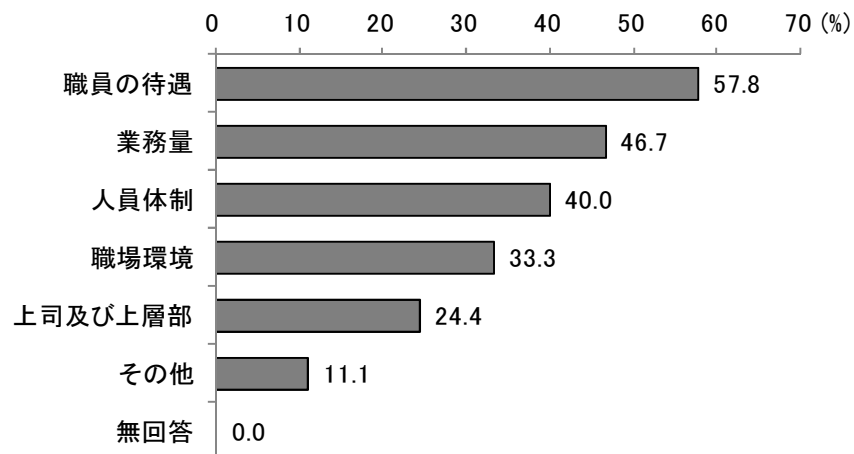
問6 現在の仕事について満足していますか。(○は1つ)

☆現在の仕事について、7割強の方が“満足”と回答



問6-1 不満の理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

☆不満の理由について、「職員の待遇」が半数以上



調査結果の傾向

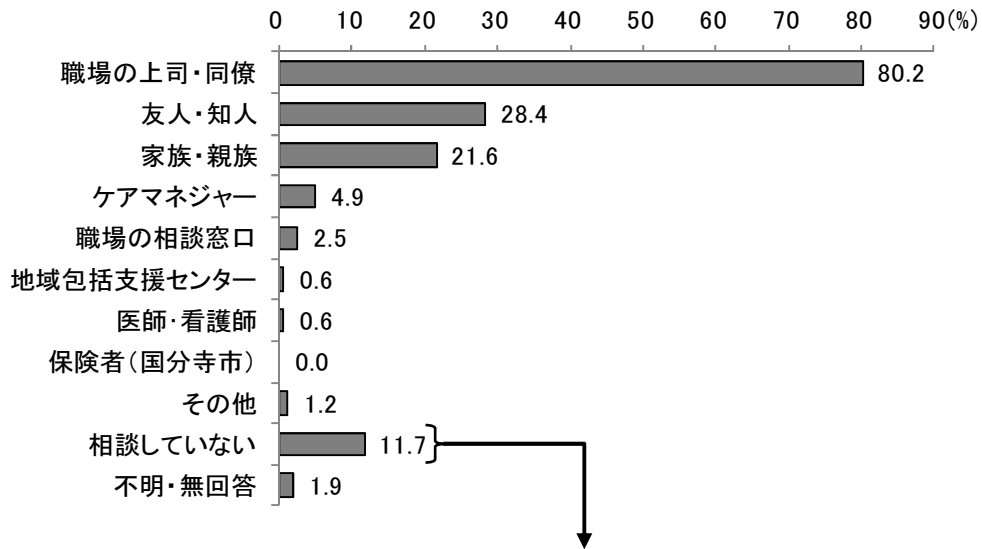
現在の仕事に対する満足度(問6)、不満の場合の理由(問6-1)について、おうかがいしました。

まず、現在の仕事に対する満足度を聞いたところ、「どちらかという満足している」(45.7%)が最多で、「満足している」(25.3%)を合わせると、71.0%の方が“満足”と感じています。

(5) 現在働く上での不安や悩み

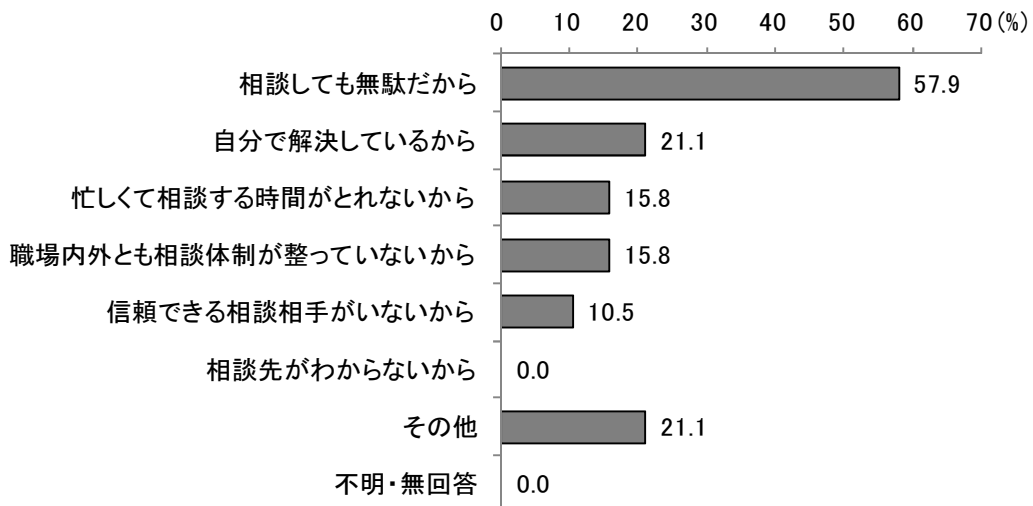
問7 あなたは、業務上の「悩み」や「問題点」を誰に相談していますか。(あてはまるものすべてに○)(※選択肢「友人・知人」、「家族・親族」については守秘義務を伴うものを除く。)

☆業務上の「悩み」や「問題点」の相談相手は、「職場の上司・同僚」が8割強でトップ



問7-1 相談していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

☆相談しない理由について、「相談しても無駄だから」が半数以上



調査結果の傾向

業務上の「悩み」や「問題点」の相談相手(問7)、相談していない理由(問7-1)について、おうかがいしました。

まず、業務上の「悩み」や「問題点」の相談相手を聞いたところ、「職場の上司・同僚」(80.2%)が最多で、「相談していない」との回答は11.7%、「不明・無回答」は1.9%となっていることから、8割以上の方に何らかの相談相手がいることがうかがえます。

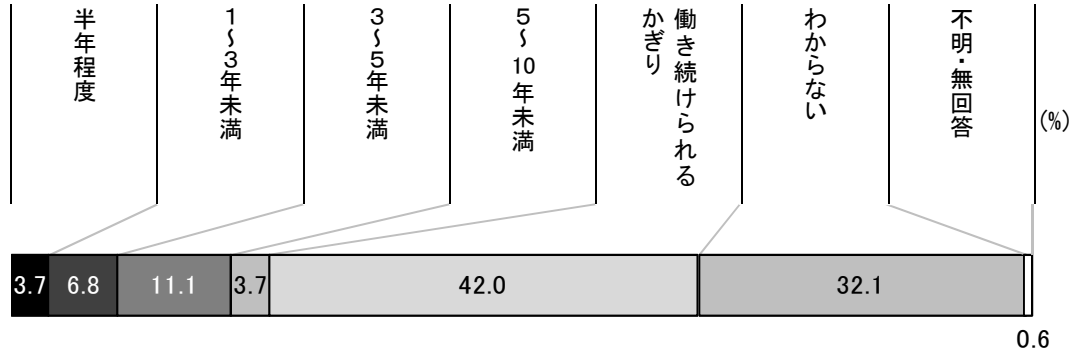
次に、「相談していない」と回答した方にその理由を聞いたところ、「相談しても無駄だから」(57.9%)が最多で、「自分で解決しているから」(21.1%)、「忙しくて相談する時間がとれないから」、「職場内外とも相談体制が整っていないから」(それぞれ15.8%)と続きます。

(6) 介護に関する仕事の就労継続意向

問8 介護に関する仕事の就労意向についてお伺いします。

(1) 現在働いている事業所での仕事をいつまで続けたいですか。(〇は1つ)

☆現在働いている事業所での継続意向は、「働き続けられるかぎり」が4割強でトップ

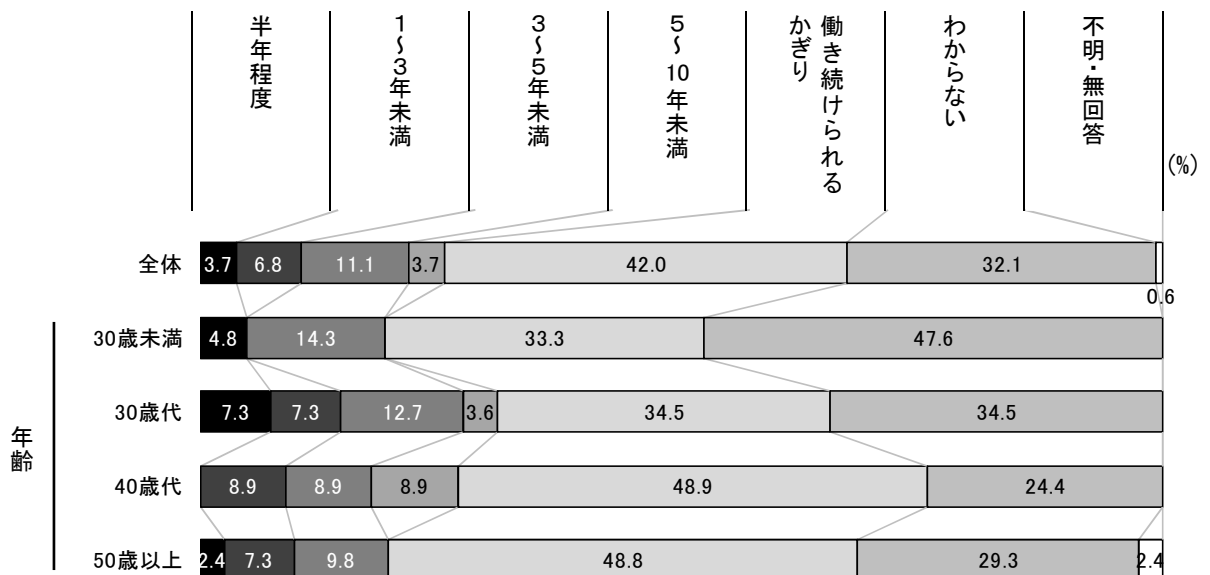


調査結果の傾向

介護に関する仕事の就労意向について、現在働いている事業所での就労継続意向（問8（1））を聞いたところ、「働き続けられるかぎり」（42.0%）が最多で、次に「わからない」（32.1%）が続きます。

クロス集計分析

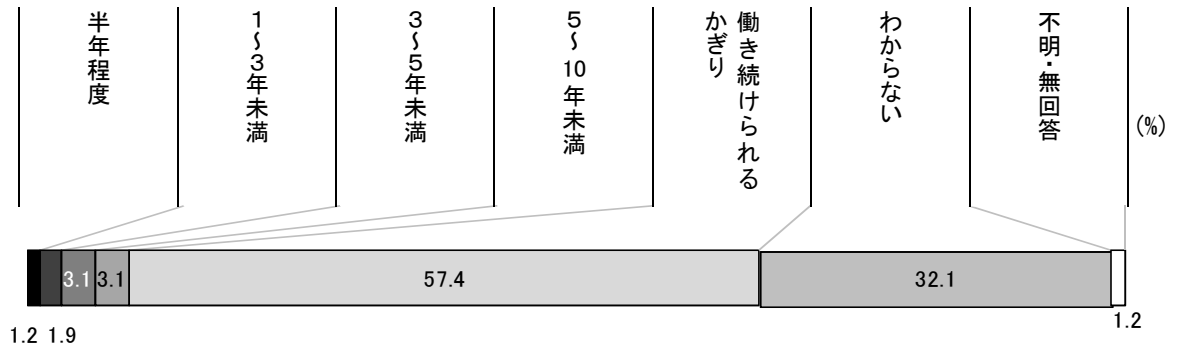
年齢別で見ると、40歳以上の場合、「働き続けられるかぎり」が他の年代と比べて多い一方、30歳未満では「働き続けられるかぎり」が少なくなり、「わからない」（47.6%）の回答が多くなっています。



問8 介護に関する仕事の就労意向についてお伺いします。

(2) 現在働いている事業所を問わず、介護に関する仕事をいつまで続けたいですか。(〇は1つ)

☆介護に関する仕事の継続意向は、「働き続けられるかぎり」が5割台後半でトップ

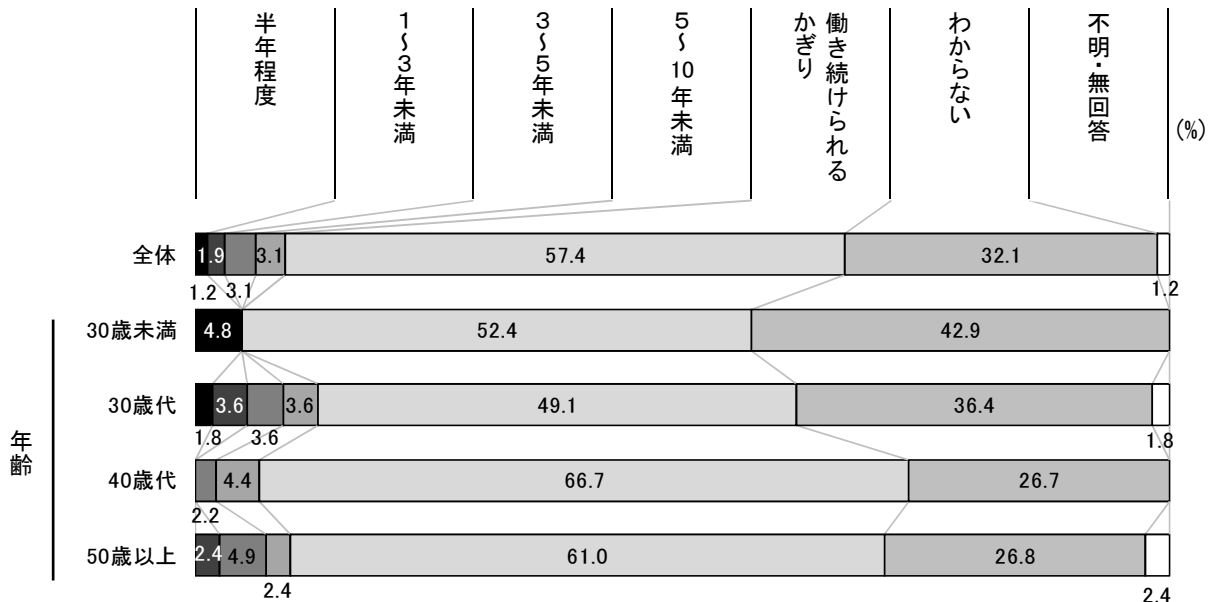


調査結果の傾向

現在働いている事業所を問わず、介護に関する仕事の継続意向（問8（2））を聞いたところ、「働き続けられるかぎり」（57.4%）が最多となっています。

クロス集計分析

年齢別で見ると、40歳以上では、「働き続けられるかぎり」が6割以上で他の年代と比べて高くなっています。30歳未満の場合、「わからない」（42.9%）が他の年代と比べて高くなっています。

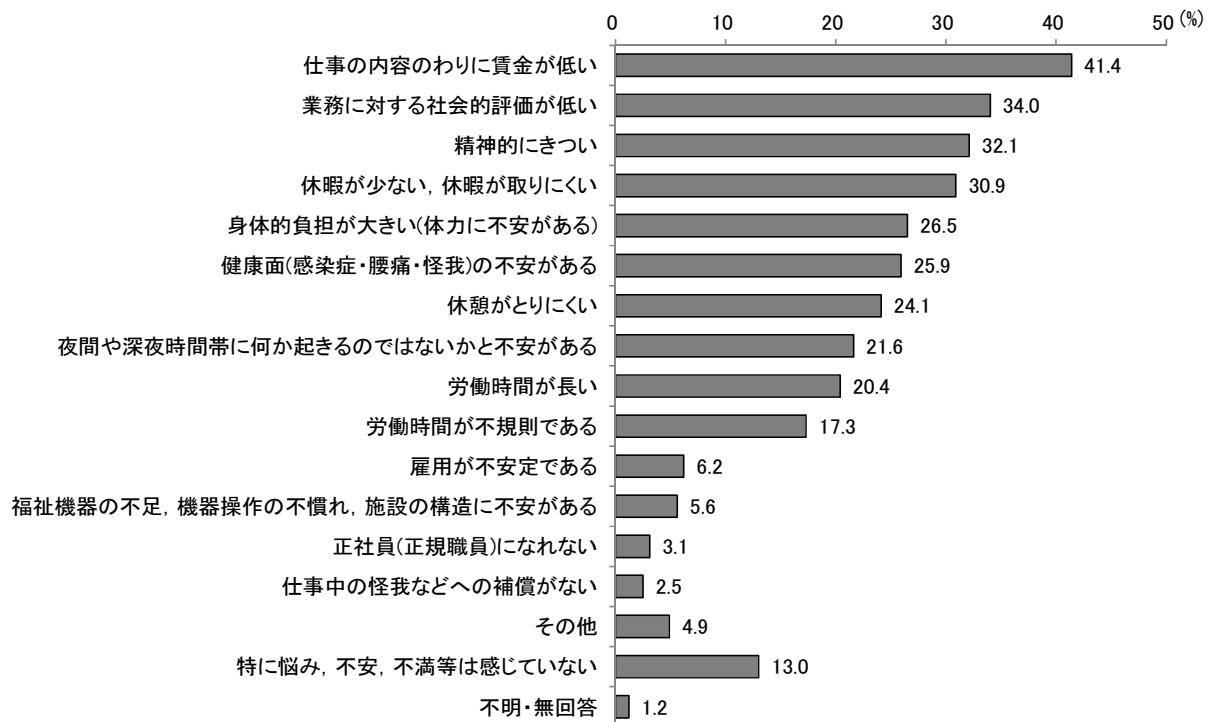


(7) 現在働く上での不安や悩み

問9 あなたが現在働く上での不安や悩みについてお伺いします。

(1) 労働条件・仕事の負担について、悩み、不安、不満等を感じていることはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

☆労働条件・仕事の負担についての悩み、不安、不満等は、「仕事の内容のわりに賃金が低い」が4割強でトップ



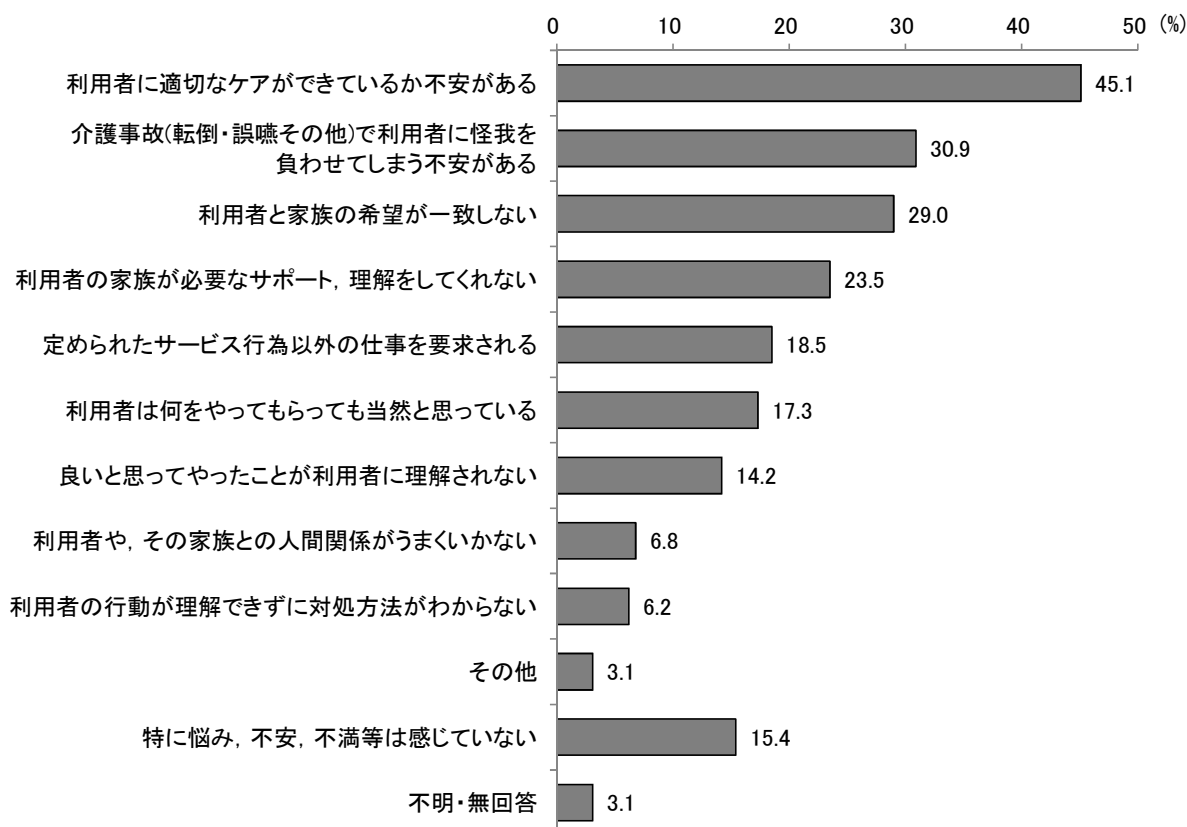
調査結果の傾向

労働条件・仕事の負担に関する悩み、不安、不満等（問9（1））を聞いたところ、「特に悩み、不安、不満等を感じていない」との回答は13.0%、「不明・無回答」は1.2%となっていることから、8割以上の方が何らかの悩み、不安、不満等を感じていることがうかがえます。その内容としては「仕事の内容のわりに賃金が低い」（41.4%）が最多で、次いで「業務に対する社会的評価が低い」（34.0%）、「精神的にきつい」（32.1%）と続きます。

問9 あなたが現在働く上での不安や悩みについてお伺いします。

(2) 利用者及び利用者の家族について、悩み、不安、不満等を感じていることはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

☆利用者及び家族についての悩み、不安、不満等は、「利用者に適切なケアができていないか不安がある」が4割台半ばでトップ



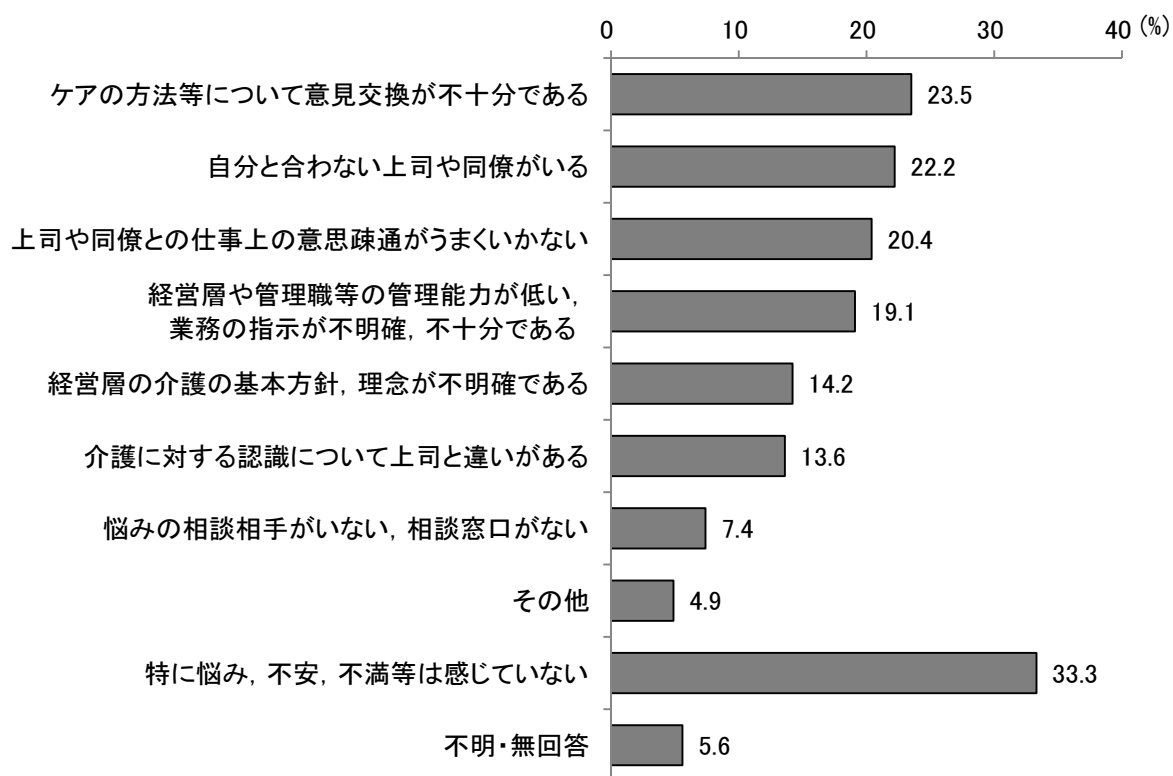
調査結果の傾向

利用者やその家族に関する悩み、不安、不満等(問9(2))を聞いたところ、「特に悩み、不安、不満等を感じていない」との回答は15.4%、「不明・無回答」は3.1%となっていることから、8割以上の方が何らかの悩み、不安、不満等を感じていることがうかがえます。その内容としては「利用者に適切なケアができていないか不安がある」(45.1%)が最多で、次いで「介護事故で利用者に怪我を負わせてしまう不安がある」(30.9%)、「利用者と家族の希望が一致しない」(29.0%)と続きます。

問9 あなたが現在働く上での不安や悩みについてお伺いします。

(3) 職場での人間関係等について、悩み、不安、不満等を感じていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

☆職場での人間関係等についての悩み、不安、不満等は、「ケアの方法等について意見交換が不十分である」が2割台前半でトップ



調査結果の傾向

職場での人間関係等に関する悩み、不安、不満等（問9（3））を聞いたところ、「特に悩み、不安、不満等を感じていない」との回答は33.3%、「不明・無回答」は5.6%となっていることから、6割以上の方が何らかの悩み、不安、不満等を感じていることがうかがえます。その内容としては、「ケアの方法等について意見交換が不十分である」（23.5%）が最多で、次いで「自分と合わない上司や同僚がいる」（22.2%）、「上司や同僚との仕事上の意思疎通がうまくいかない」（20.4%）と続きます。

(8) 利用者やその家族からあげられた介護保険以外のサービスニーズ

問10 利用者やその家族の方から、介護保険以外のサービスでこんなサービスがあればといったご意見やご要望はありましたか。ご自由にご記入ください。

23人から回答がありました。記載内容では、「掃除・食事等家事支援」(8件)が最多で、次いで「外出時の付き添い」(5件)、「デイサービス」(3件)と続きます。主な記載内容を以下に示します。

区分	記載内容	件数
1	掃除・食事等家事支援	8
2	外出時の付き添い	5
3	デイサービス	3
4	旅行等外出レクリエーション	1

※ 複数の記載内容もあることから、合計の件数と回答者数とは合致しない場合があります。

※ 「その他」を除く

【1 掃除・食事等家事支援(8件)】

- 朝のゴミ捨て。災害時の対応。
- ベランダそうじ。大そうじ(換気扇そうじ他)。
- 同居家族がいるが生活支援の要望。窓ふき、庭の手入れ。
- 買物を頼まれる等。
- 大そうじまではいかないが、普段行う掃除以外のていねいな掃除をして欲しいと要望が多い。シルバーもいっばいで利用出来ない。ゴミ捨てケアはあるがケアサービス時間と合わない。
- ヘルパーさんの生活サービスでの窓そうじ等の制限をなくして欲しい。
- 美容に関すること。薬などの受け取り。買物。
- 家具の移動、障子貼り、庭の手入れ。

【2 外出時の付き添い(5件)】

- 院内の付き添い、手続き代行、中待ちが長すぎるので。
- 困った時、すぐやってもらいたい事がある。困った時すぐいっしょに病院にいてもらいたい。
- 外出や通院の付き添いなど(買い物などへの付き添い)が依頼できないだろうかと要望がありました。
- 趣味のものの買い物に同行して欲しい。
- 不定期の外出介助(自費)。

【3 デイサービス(3件)】

- 要支援者のデイサービスでの入浴。
- 通所介護事業所内で理学療法士による個別リハビリテーションができればという意見は聞きます。
- 毎日デイで入浴したい。ショートステイ中もデイを利用したい。送迎付きの体操教室なら行きたい。

【4 旅行等外出レクリエーション(1件)】

- 施設内で家族会等を定期的に催しているが屋外での家族会、旅行等の要望が出ている。

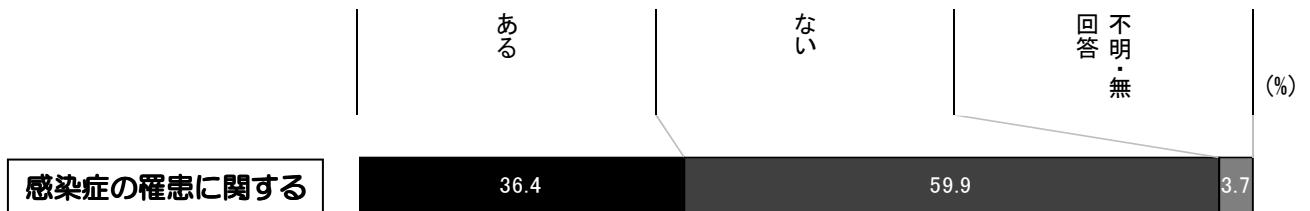
1-3 感染症

(1) 利用者等が感染症に気がついていないケースの有無，情報入手方法

問11 利用者が感染症に罹っているかどうかを確認する手段としては、「利用者やその家族」からの「申し出」が主なものとして考えられます。しかし、(1)「利用者やその家族自身が感染症に気がついていない場合」や、(2)「サービスを利用し始めてから感染したり、発症した場合」なども多く見受けられます。このような状況での感染症罹患に関する情報入手方法として、一番多いものに◎を、その次に多いものに○をつけてください。

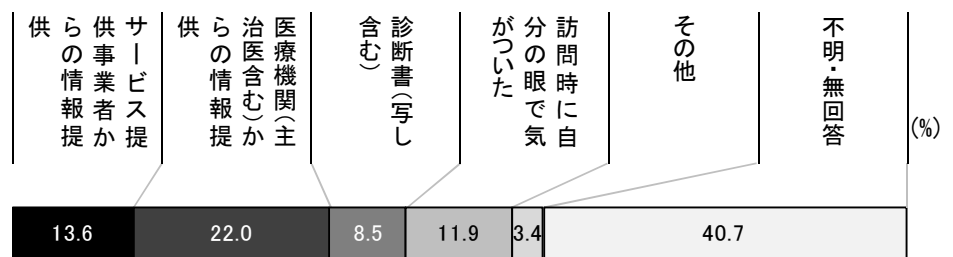
問11 (1) 利用者やその家族自身が感染症に気がついていないケースに直面したことがありますか。(○は1つ)

☆ 3割台半ばの方が、利用者や家族が感染症に気がついていないケースに直面したことが「ある」と回答

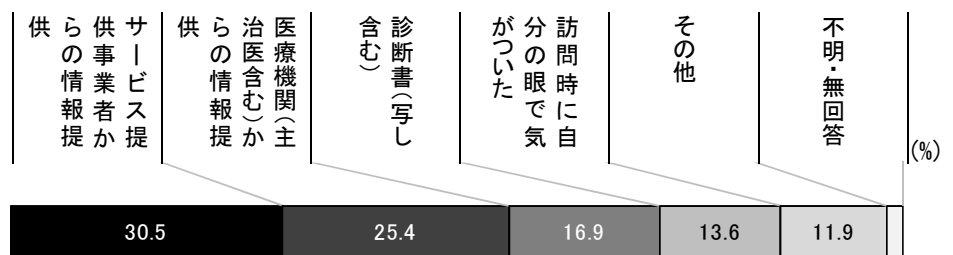


感染症の罹患に関する情報入手方法

【一番多い方法】



【その次に多い方法】



調査結果の傾向

利用者やその家族自身が感染症に気がついていないケースに直面した経験(問11(1))と、感染症の罹患に関する情報入手方法について、おうかがいしました。

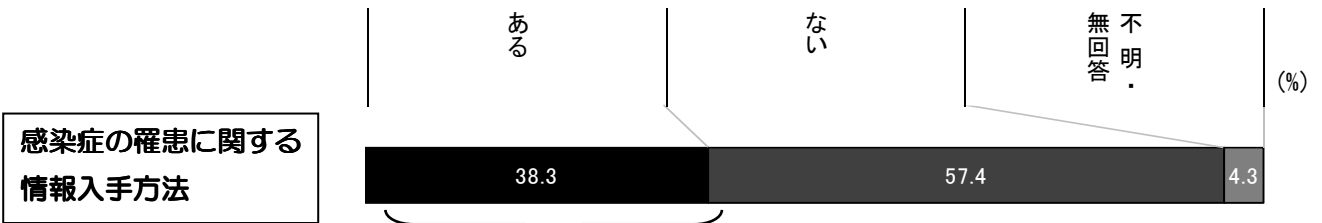
まず、利用者やその家族自身が感染症に気がついていないケースに直面した経験を聞いたところ、「ある」は36.4%となっています。

次に、「ある」と回答した方に情報入手方法を聞いたところ、【一番多い方法】として「医療機関(主治医含む)からの情報提供」(22.0%)、「サービス提供者からの情報提供」(13.6%)との回答が多くなっています。

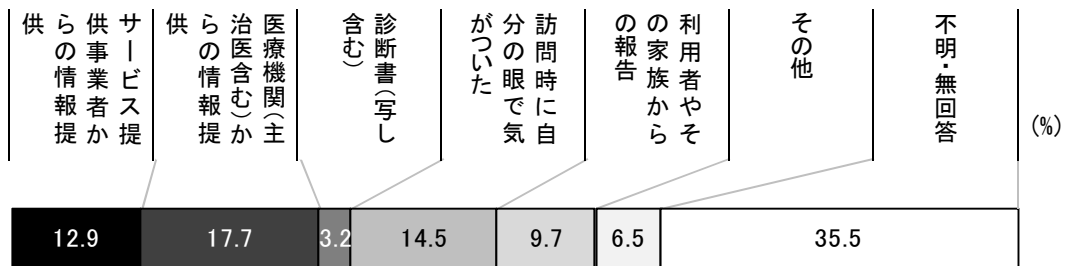
(2) サービスを利用し始めてから感染したり発症したケースの有無，情報入手方法

問11 (2) サービスを利用し始めてから感染したり，発症したケースに直面したことがありますか。(○は1つ)

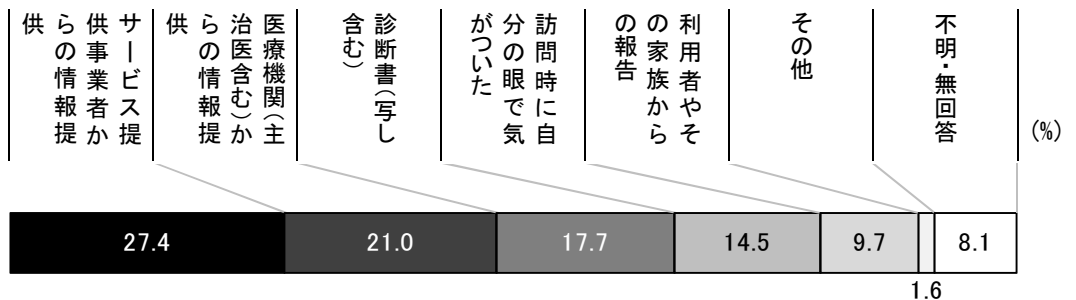
☆4 割弱の方が，サービスを利用し始めてから感染したり，発症したケースに直面したことが「ある」と回答



【一番多い方法】



【その次に多い方法】



調査結果の傾向

サービスを利用し始めてから感染したり，発症したケースに直面した経験（問11（2））と，感染症の罹患に関する情報入手方法について，おうかがいしました。まず，サービスを利用し始めてから感染したり，発症したケースに直面した経験を聞いたところ，「ある」は38.3%となっています。次に，「ある」と回答した方に情報入手方法を聞いたところ，【一番多い方法】として「医療機関（主治医含む）からの情報提供」（17.7%），「訪問時に自分の眼で気がついた」（14.5%）との回答が多くなっています。

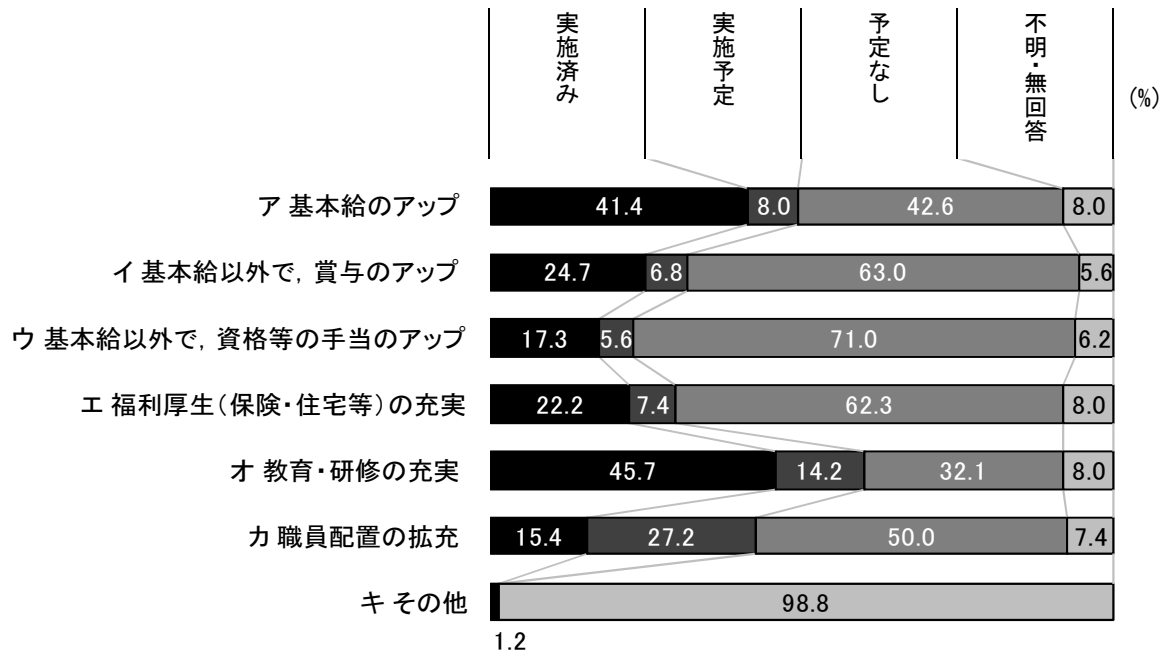
1-4 介護報酬改定や処遇改善の状況

(1) あなた自身の処遇改善状況

職員に対する処遇全般の設問になりますので、訪問看護など人員配置基準上、介護職員のいないサービスを提供されている方もご回答ください。

問12 現在働いている事業所で、平成24年4月以降のあなた自身の処遇改善の状況についてお伺いします。(〇はそれぞれ1つつ)

☆基本給のアップの「実施済み」は4割強



調査結果の傾向

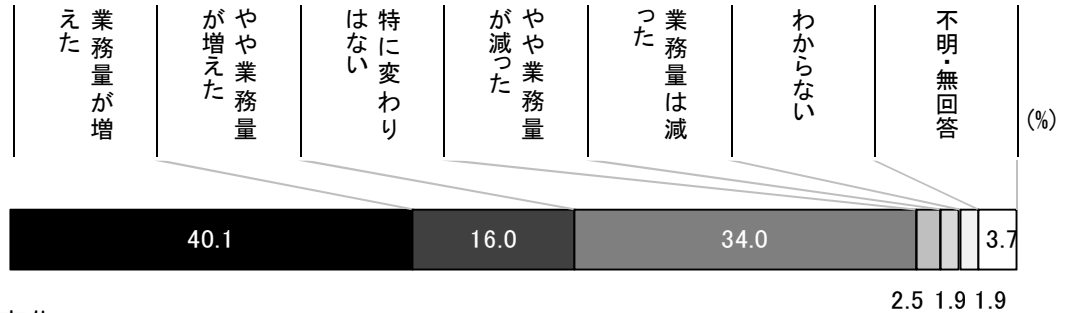
現在働いている事業所での処遇改善状況(問12)を聞いたところ、実施済みの割合が多かったものは、「オ 教育・研修の充実」(45.7%)、「ア 基本給のアップ」(41.4%)の順となっています。

(2) 平成24年4月以降のあなたの仕事内容や職場環境への影響度

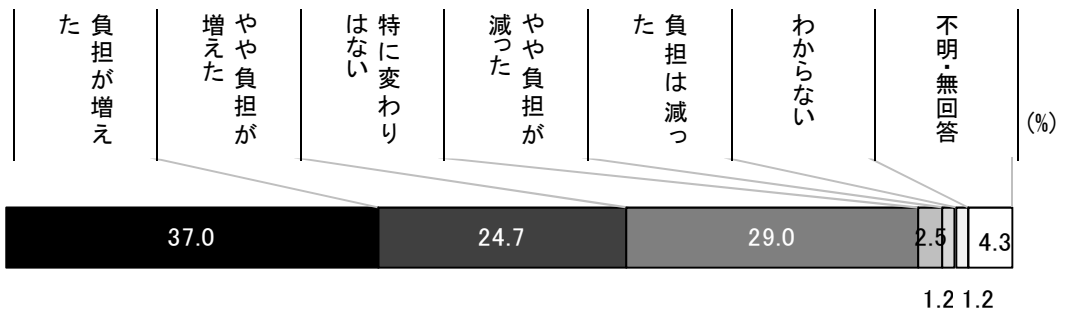
問13 現在働いている事業所で、平成24年4月以降のあなたの仕事内容や職場環境への影響についてお伺いします。(〇はそれぞれ1つずつ)

☆業務量・業務負担は増えているが、労働条件に特に変わりはない

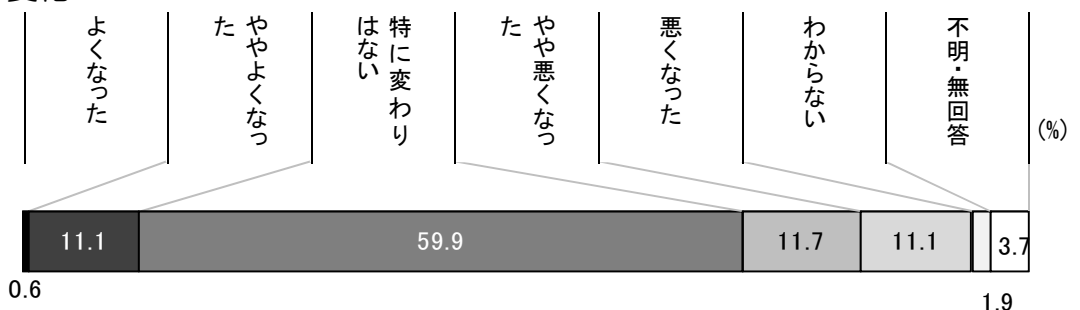
ア 業務量の変化



イ 業務負担の変化



ウ 労働条件の変化



調査結果の傾向

平成24年4月以降のあなたの仕事内容や職場環境への影響として、業務量の変化（問13ア）、業務負担の変化（問13イ）、労働条件の変化（問13ウ）について、おうかがいしました。

業務量の変化を聞いたところ、「業務量が増えた」（40.1%）が最多で、「やや業務量が増えた」（16.0%）を合わせると、56.1%の方が“増えた”と回答しています。

業務負担の変化を聞いたところ、「負担が増えた」（37.0%）が最多で、「やや負担が増えた」（24.7%）を合わせると、61.7%の方が“増えた”と回答しています。

労働条件の変化を聞いたところ、「特に変わりはない」（59.9%）が最多となっています。

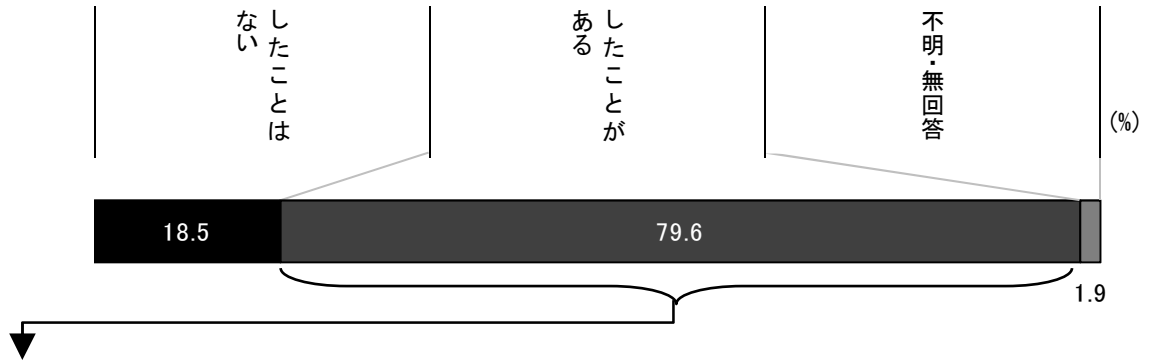
以上をまとめると、平成24年4月以降の仕事内容については、業務量、業務負担ともに増える一方で、労働条件は特に変わりはないと感じている方が多くなっています。

1-5 以前働いていた職場の状況

(1) 現在の仕事に就く前の就労状況

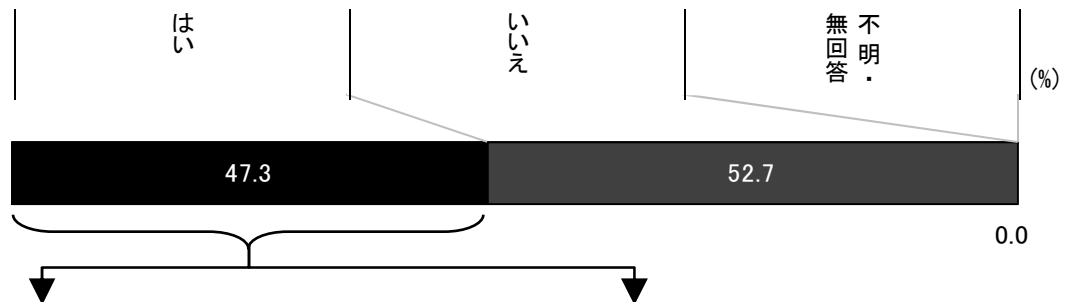
問14 現在の仕事に就く前に、収入の伴う仕事をしたことがありますか。(○は1つ)

☆約8割の方が、収入の伴う仕事を「したことがある」と回答



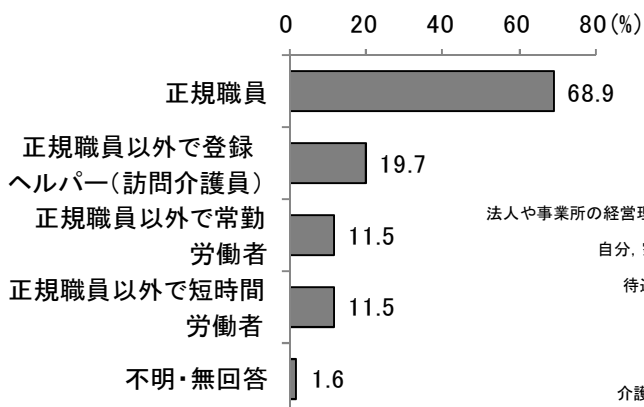
問14-1 現在の仕事に就く以前の仕事では、介護サービスに関わっていましたか。(○は1つ)

☆以前の仕事で介護サービスに関わっていた経験について、4割台後半の方が「はい」と回答



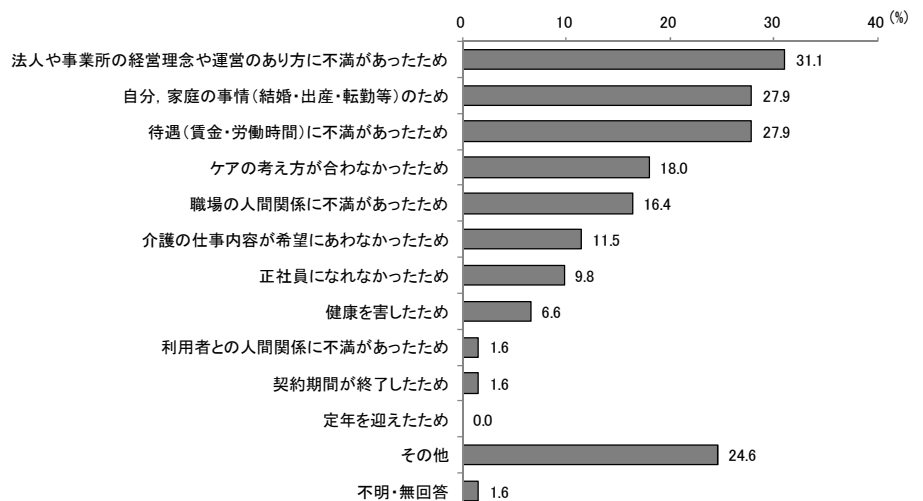
問14-1-1 現在の仕事に就く以前に、介護サービスに関わっていた方にお伺いします。その時の就業形態はどれですか。(あてはまるものすべてに○)

☆「正規職員」が7割弱でトップ



問14-1-2 現在の仕事に就く以前に、介護サービスに関わっていた方にお伺いします。その仕事をやめた理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

☆以前、介護の仕事をやめた理由は「法人や事業所の経営理念や運営のあり方に不満があったため」が3割強でトップ



調査結果の傾向

現在の仕事に就く前に、収入の伴う仕事をしたことがあるかどうか（問14）、就労経験がある方に介護サービスへの従事経験の有無（問14-1）、以前介護サービスに関わっていた時の就業形態（問14-1-1）、その仕事をやめた理由（問14-1-2）について、おうかがいしました。

まず、現在の仕事に就く前に、収入の伴う仕事をしたことがあるかどうかを聞いたところ、「したことがある」が79.6%となっており、現在の仕事に就く前になんらかの別の仕事をしたことがある方が多くなっています。

次に、就労経験がある方に介護サービスへの従事経験の有無を聞いたところ、「はい」が47.3%となっています。

そして、以前介護サービスに関わっていた方に、その時の就業形態を聞いたところ、「正規職員」（68.9%）が最多となっています。その仕事をやめた理由としては、「法人や事業所の経営理念や運営のあり方に不満があったため」（31.1%）が最多となっています。

1-6 ご意見・ご要望

問15 介護保険制度や保険者（国分寺市）に対してのご意見・ご要望など，ご自由にご記入ください。

24人から回答がありました。記載内容では、「事業所・人員・待遇」（8件）が最多で，次いで「生活支援・介護」（7件），「行政・制度」（4件），「アンケート」（2件）と続きます。主な記載内容を以下に示します。

区分	記載内容	件数
1	事業所・人員・待遇	8
2	生活支援・介護	7
3	行政・制度	4
4	アンケート	2
5	情報提供・相談	1
6	施設関係	1
7	道路整備・まちづくり	1

【1 事業所・人員・待遇（8件）】

- ・職員の給与が低すぎてモチベーションやプロ意識を保てないと思います。
- ・人手不足というか人員配置に余裕がないせいか利用者（入居者）に対してゆっくり向き合えない感があります。仕事の割にその対価も低い様に思います。
- ・職員に対する待遇が悪く質が低下しているように思う。
- ・やりがいのある仕事ですが，心身共に負担が大きく収入も低い，将来的に不安がある。現状では高齢者は増えるが介護の担い手が需要と供給のバランスがとれず負担だけが増えて行くと思われるため，人材の確保のため，せめて一般的な水準の収入になるようにして欲しい。
- ・他の保険者にも言えることだが，介護保険事業者に不正があって報告があったにも関わらず事実をもみ消すことが暗黙の了解になっている。情報公開とは逆行し事実の隠蔽をし既得権益を手放したくないからといって保身に逃げることは絶対にやめて下さい。高齢者や障害者は生身の人間です。お金ではありません。
- ・形ばかりの監査では分からないことが多いと思います。職員の勤務実態や利用者の生活の状態を知って欲しいと思います。
- ・小規模の生活が認知症の方々にとって，人間としての生活を送れる有利な生活の場となっていることを痛感しています。グループホーム間（他業者）での意見交換の場が必要と思われます。（既にあっても末端職員に届いていません。）
- ・採用時のハローワークの求人票とは異なり，昇給はありましたが資格取得後の資格手当が支給されていません。運営が厳しい現れとなっていますので改善策を見直して下さい。

【2 生活支援・介護（7件）】

- 入浴加算の点数が低いため、入浴を一人行うごとに経費が赤字となり、適正な運営を行う中での維持・継続を図ることを難しくしています。具体的には入浴にかかる人件費、水道、ガス、電気等の光熱費またその他、備品等が必要な状況です。入浴加算の点数を引き上げて頂ければ幸いです。
- 介護保険で実施できるサービスと利用者が実際してほしいサービスとにギャップがあると感じることがあります。家のまわりの草ムシリや調理の代行などは介護保険の範囲外かと思いますが、利用者は望んでいる場合が多いと思います。市民ボランティアなどの活用でフォローできるのではないかと思います。国分寺市ではそういった活動はあるのでしょうか。
- 要支援でも受けられるサービスを増やしてほしい。
- 介護保険認定のばらつきが感じられる。
- 一人暮らしがとて多くなってきていると思います。介護保険で受けられるサービスはなんでもうけようとなさる方が多い。介護保険でできないことも「だまっていけばわからないでしょう」とか「人と人との気持ちがあれば」とか無理をいう。訪問介護をお手伝いと思ったり、上から目線の方も多くなってきました。本当に必要な方に必要な介護を。
- 同居家族がいる場合の生活援助の提供について。ケアマネによってバラツキがあるので徹底してほしい。介護給付と予防給付の対応。分けられているのがかえってサービスの関わりが難しい。自立支援、自己決定が根底にあれば区別する必要はないのでは。
- デイサービスに関しては「認知症対応型通所介護」を提供する事業所が市内に少ないと思います。実際には認知症を発症され専門的なケアを必要としている状態の方でも、一般の通所介護で受け入れざるを得ないケースをたくさん見てきました。「通所介護」の利用者、本人、双方にとってあまり良くない状況ではないかと思っています。国分寺市の方が周辺市の通所介護をされている場合、認知症を発症しケアが難しくなっても「認知症対応型通所介護」への移行ができず対応に困ってしまう、あるいは辞めて頂くケースも多々あります。

【3 行政・制度（4件）】

- 現在の介護保険制度では利用する側も仕事として関わる側も不満、不便が多く、満足には至らない。ワーク・ライフ・バランスの様な認識が行政に必要だと思います。現場では多くの男性スタッフが給料面を理由に退職。一般企業では介護（親の）を理由に退職、この負のスパイラルを何とかしなければ人が人を介護する時代は終わると思います。
- 制度改正のたびに利用者、事業所の混乱があり、良い方向に行っていないことが明確でとても不満。措置時代にまた戻るのか。利用者本位のサービスが行えない現状があり、制度と利用者の狭間にいることに時々苦痛を感じる。介護の仕事が好きなので介護保険とは関係ない所で（有償サービスなど）働きたいと考えることがよくある。
- 今後団塊世代の方が高齢を迎えた時の介護保険について、どの様になるのか今から準備し考える必要があると思います。認知症高齢者が増えない様、市としても何らかのアプローチ等考え積極的に考えて欲しいと思います。
- 自己負担を増やすべき。

【4 アンケート（2件）】

- 問5について250万～300万未満と300万～400万未満の表記について。例，299万と300万で1万違うだけで大きく（100万）の差が出る。
- 国分寺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画を策定するにあたり今回のアンケートが活用され国分寺市特有の色が出てくることを望みます（福祉・医療に強いまちづくり）。

【5 情報提供・相談（1件）】

- 研修等の情報があれば知りたい。

【6 施設関係（1件）】

- 市内にもう少し認知症対応型通所介護施設を増やしてほしい。混合型だと認知症の方は混乱するのでは。

【7 道路整備・まちづくり（1件）】

- 車椅子が通れる歩道を増やして下さい。ムーちゃん広場（JA）の様な車でも行ける寛げる所を作して下さい。

2 総括

【本人について】

事業所の経営主体は「株式会社」が約4割で最多、次いで「社会福祉法人」が約3割となっており、介護サービス種類は「訪問介護」、「通所介護」、「介護老人福祉施設」の順に多くなっています。

性別は「女性」が6割近くを占め、「男性」は4割を超える程度となっています。年齢は30歳代～40歳代が6割以上となっています。資格は「介護福祉士」が約6割、「訪問介護員（ホームヘルパー）」が約4割、「介護支援専門員（ケアマネジャー）」が約1割台半ばとなっています。

【職場の状況について】

現在働いている事業所を知ったきっかけは、「ハローワーク」が約3割で最多で、次いで「職員や知人を通じて」が2割以上となっています。現在の主な仕事は、「介護職員」が4割台半ばで最も多くなっています。仕事の経験年数は、現在の事業所では「3年未満」が3割以上で最多ですが、他の事業所での経験年数も含めると「10年以上」との回答が3割を超えて最多となっています。就業形態は「正規職員」が9割近くで最多です。週の所定労働時間の平均は「約40時間」が最多で、年間の収入は「300万円～400万円未満」が3割台半ばで最も多くなっています。

現在の仕事を選んだ理由は、「働きがいのある仕事だと思ったから」が約6割で最多で、次いで「今後もニーズが高まる仕事だから」が4割となっています。

仕事に対しては約7割が「満足している」と回答していますが、「やや不満」と「不満」をあわせた“不満”も2割台後半存在します。“不満”と回答した方に、不満の理由を尋ねると、「職員の待遇」との回答が6割弱で最多であり、次いで「業務量」が4割台半ばとなっています。

業務上の悩みや問題点の相談相手は、「職場の上司・同僚」が約8割で最多ですが、「相談していない」との回答も約1割存在します。「相談していない」と回答した方に、相談していない理由を尋ねると、「相談しても無駄だから」との回答が6割弱で最多となっています。

介護に関する仕事の就労継続意向について尋ねたところ、現在働いている事業所での就労継続意向は「働き続けられるかぎり」が約4割で最多となっています。また、現在働いている事業所を問わず、介護に関する仕事の就労継続意向についても「働き続けられるかぎり」が5割台後半で最多となっています。

現在働く上での不安や悩みについて尋ねたところ、以下のような回答が得られました。

- (1) まず、労働条件・仕事の負担に関する悩み、不安、不満等について尋ねたところ、「仕事の内容のわりに賃金が低い」が4割以上で最多で、次いで「業務に対する社会的評価が低い」、「精神的にきつい」、「休暇が少ない、休暇が取りにくい」などが3割を超える結果となりました。この点については、介護職が果たす社会的役割に対する理解の促進及び労働環境の更なる整備が求められます。
- (2) 次に、利用者及び利用者の家族に関する悩み、不安、不満等について尋ねたところ、「利用者に適切なケアができていないか不安がある」が4割台半ばで最多でした。この点については、同僚間や事業所内で業務に関する意見交換が十分にできるような環境の整備が求められます。また、業務に関する疑問を受けとめるサポート体制についても更なる整備が必要です。
- (3) そして、職場での人間関係等に関する悩み、不安、不満等について尋ねたところ、「特に悩み、不安、不満等は感じていない」との回答が3割以上で最多でしたが、次いで「ケアの方法等について意見交換が不十分である」との回答も2割以上みられました。この点についても、十分な意見交換

や相談のできる環境づくりが必要です。

【介護報酬や処遇改善の状況について】

現在働いている事業所での処遇改善状況については、「基本給のアップ」、「教育・研修の充実」などは4割以上が「実施済み」と回答していますが、基本給以外の賞与・資格等手当・福利厚生の実施などは「実施済み」との回答が1割台後半から2割台前半となっています。

平成24年4月の報酬改定後の仕事内容については、業務量、業務負担ともに6割前後が“増えた”と回答している一方で、労働条件については「特に変わりはない」との回答が約6割で最多となっています。この点については、処遇改善が基本給のアップに留まっている現状と、業務量・業務負担については増えたと感じられる状況が発生しています。介護職の処遇改善に向け、取り組んでいく必要があります。

【以前働いていた職場の状況について】

現在の仕事に就く以前の職場で介護サービスに関わっていた方に、その仕事をやめた理由を聞いたところ、「法人や事業所の経営理念や運営のあり方に不満があったため」が約3割で最多で、次いで「自分、家庭の事情（結婚・出産・転勤等）のため」、「待遇（賃金・労働時間）に不満があったため」などが3割弱となっています。

第 9 章 資料編

国分寺市地域福祉計画 高齢者福祉に関するアンケート (日常生活圏域ニーズ調査)

～ご協力のお願い～

市民の皆様には日ごろから福祉行政にご協力いただき、ありがとうございます。
国分寺市では、現在、福祉分野の総合的・包括的な行政計画として社会福祉法に基づく地域福祉計画の策定を予定しています。その中の高齢者に関する「国分寺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」を策定いたします。つきましては、市民の皆様の実態を把握し、計画づくりに参考資料としたいと思ひ、アンケートを実施することといたしました。このアンケート調査は、65歳以上の方（概ね1,000名）を本市の介護保険台帳から無作為に抽出し、ご協力をお願いするものです。ご回答いただいた調査内容は、計画策定の参考として利用するものであり他の目的に利用することは一切ありません。

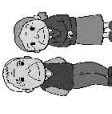
お忙しいところお手数をおかけしますが、賛言をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成25年12月


国分寺市長 井澤 邦夫

ご記入にあたって

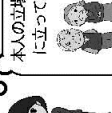
1. お答えは、あてはまる番号を選んで○印をつけてください。
2. 「その他（ ）」を選ぶ方は、カッコ内にその内容を具体的に記入してください。
3. 「1つ」や「3つ以内」などの指定がある時は、その範囲内で○印をつけてください。
4. 数字を記入する欄は右詰め（例、0 6 2 kg）でご記入ください。
5. ご記入は、鉛筆・ボールペンでご記入ください。
6. ご記入いただきました回答は厳格的に処理し、国分寺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定の際に参考資料として活用させていただきます。なお、記入の状況は、次ページで伺っています。
7. この調査票は下記の方がご記入頂けます。なお、記入しながら、ご本人に確認しながら、ご本人以外の方が記入



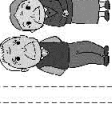
ご本人



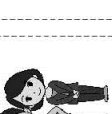
記入



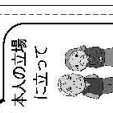
ご本人の立場に立って



ご本人



ご本人以外の方が記入



ご家族等

ご記入いただきましたら、同封の返信用封筒に封入のうえ、
平成25年12月27日(金) (回答期限) までにご投函ください。

○ご不明な点がございましたら、お手数ですが、下記までお問い合わせください。
国分寺市福祉保健部介護保険課 〒185-8501 国分寺市戸倉一丁目6番地1
電話：042-325-0111 内線(536) ※(日)(祝) 除く9時～17時

あて名ご本人の状況について

調査票の記入日 □□月□□日

★この調査票はどなたがご記入なさいますか。(○は1つ)

1. あて名ご本人の記入
2. あて名ご本人に回答を確信しなから、ご本人以外の方が記入
3. あて名ご本人の立場に立って、ご本人以外の方が記入

★ご記入された方はどなたですか。(○は1つ)

1. 配偶者
2. 兄弟姉妹
3. 子ども、孫
4. 子どもの配偶者、孫の配偶者
5. 親族
6. その他(具体的に)

★ あて名ご本人(以下、「あなた」)についてお伺いします。
次のF1～F4について、あてはまるものを1つずつ選んで○をつけてください。

F1 性別	1. 男性	2. 女性		
F2 年齢	1. 65歳～69歳	3. 75歳～79歳	5. 85歳以上	
	2. 70歳～74歳	4. 80歳～84歳		
F3 居住地区	1. 東元町	6. 本多	11. 日吉町	16. 北町
あなたのお住まいのまちはどち	2. 西元町	7. 東窓ヶ窪	12. 内藤	17. 光町
らですか。	3. 南町	8. 西窓ヶ窪	13. 雷工本	18. 高木町
	4. 桑町	9. 東戸倉	14. 新町	19. 西町
	5. 本町	10. 戸倉	15. 並木町	
F4 市内在住年数	1. 1年未満	4. 5年以上10年未満		
	2. 1年以上3年未満	5. 10年以上20年未満		
	3. 3年以上5年未満	6. 20年以上		

質問の該当する答えの番号に○をつけ、数字記入欄は数字を記入してください。

問1 あなたの家族や生活状況について

- Q1. 家族構成をお教えください
1. 一人暮らし
 2. 家族など同居(二世帯住宅を含む)
 3. その他(施設入居など)
- ⇒ Q2へ ⇒ Q1-1, 2へ ⇒ Q2へ
- Q1-1. (家族など同居されている方のみ) 自分を含めて何人で暮らしていますか。また、同居されている方はどなたですか(いくつでも)
- 人
1. 配偶者(夫・妻)
 2. 息子
 3. 娘
 4. 子の配偶者
 5. 孫
 6. 兄弟・姉妹
 7. その他
- Q1-2. (家族など同居されている方のみ) 日中、一人になることがありますか
1. よくある
 2. たまにある
 3. ない

Q2. あなたは、普段の生活であなたの介護・介助が必要ですか

1. 介護・介助が必要ない ⇒ Q3へ
 2. 何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない ⇒ Q2-1へ
 3. 現在、何らかの介護・介助を受けている (介護認定を受けていない介護認定を受けている介護認定を受けている場合も含む) ⇒ Q2-1~3へ

Q2-1. (介護・介助が必要の方のみ) 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか (いくつでも)

1. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等) 2. 心臓病 3. がん (悪性新生物)
 4. 呼吸器の病気 (肺炎・肺がん等) 5. 関節の病気 (リウマチ等) 6. 認知症 (アルツハイマー病等)
 7. パーキンソン病 8. 糖尿病 9. 視覚・聴覚障害
 10. 骨折・転倒 11. 骨粗鬆症 12. 高齢による衰弱
 13. その他 () 14. 不明

Q2-2. (介護・介助を受けている方のみ) 主にあなたの介護・介助を受けていますか

1. 配偶者(夫・妻) 2. 息子 3. 娘 4. 子の配偶者
 5. 孫 6. 兄弟・姉妹 7. 介護サービスの利用 8. その他 ()

Q2-3. (介護・介助を受けている方のみ) 主に介護・介助している方の年齢は、次のどれですか

1. 65歳未満 2. 65~74歳 3. 75~84歳 4. 85歳以上

Q3. 年金の種類は次のどれですか

1. 国民年金 2. 厚生年金 (企業年金あり) 3. 厚生年金 (企業年金なし)
 4. 共済年金 5. 無年金 6. その他

Q4. 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか

1. 苦しい 2. やや苦しい 3. ややゆとりがある 4. ゆとりがある

Q5. お住まいは、一戸建て、または集合住者のどちらですか

1. 一戸建て 2. 集合住者

Q6. お住まいは、次のどれにあたりますか

1. 持家 2. 民間賃貸住宅 3. 公営賃貸住宅(市・都営、都市機構、公社等) 4. 借間 5. その他
 ⇒ Q7-1へ

Q7. お住まい(主に生活する別荘)は2階以上にありますか

1. はい 2. いいえ
 ⇒ Q7-1へ ⇒ 問2へ

Q7-1. (2階以上の方) お住まいにエレベーターは設置されていますか

1. はい 2. いいえ

問2 運動・外出について

Q1. 階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか

1. はい 2. いいえ

Q2. 椅子に座った状態から立ち上がりやすに立ち上がっていますか

1. はい 2. いいえ

Q3. 15分位続けて歩いていますか

1. はい 2. いいえ

Q4. 5m以上歩けますか

1. はい 2. いいえ

Q5. 週に1回以上は外出していますか

1. はい 2. いいえ

Q6. 昨年と比べて外出の回数が減っていますか

1. はい 2. いいえ

Q7. 外出を控えていますか

⇒ Q7-1へ ⇒ Q8へ

Q7-1. (外出を控えている方のみ) 外出を控えている理由は、次のどれですか (いくつでも)

1. 病気 2. 障害 (脳卒中の後遺症など) 3. 足腰などの痛み 4. トイレの心配(失禁など)
 5. 耳の障害 (聞こえの心配など) 6. 目の障害 7. 外での楽しみがない
 8. 経済的に出られない 9. 交通手段がない 10. その他 ()

Q8. 買物、散歩で外出する頻度はどのくらいですか (それぞれ1つ)

A. 買物…1. ほぼ毎日 2. 週4~5日 3. 週2~3日 4. 週1日 5. 週1日未満
 B. 散歩…1. ほぼ毎日 2. 週4~5日 3. 週2~3日 4. 週1日 5. 週1日未満

Q9. 外出する際の移動手段は何ですか (いくつでも)

1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク 4. 自動車 (自分で運転) 5. 自動車 (人に乗せてもらう)
 6. 電車 7. 路線バス 8. 病院や施設のカラ 9. 車いす 10. 電動車いす (カート)
 11. 歩行器・シルバーカー 12. タクシー 13. その他 ()

問3 転倒について

Q1. この1年間に転んだことがありますか

1. はい 2. いいえ

Q2. 転倒に対する不安は入れていますか

1. はい 2. いいえ

Q3. 背中が丸くなってきましたか

1. はい 2. いいえ

Q4. 以前に比べて歩く速度が遅くなってきてお感じですか

1. はい 2. いいえ

Q5. 杖を使っていますか

1. はい 2. いいえ

問4 口腔・栄養について

Q1. 6ヶ月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか

1. はい 2. いいえ

Q2. 身長 cm 体重 kg

Q3. 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか

1. はい 2. いいえ

Q4. お茶や汁物等で湿せることがありますか

1. はい 2. いいえ

Q5. 口の大きさが狭くなりましたか

1. はい 2. いいえ

Q6. 歯磨き (人にやってもらう場合も含む) を毎日していますか

1. はい 2. いいえ

Q7. 定期的に歯科受診 (健診を含む) をしていますか

1. はい 2. いいえ

Q8. 入れ歯を使用していますか

1. はい 2. いいえ
 ⇒ Q8-1, 2へ ⇒ Q9へ

Q8-1. (入れ歯のある方のみ) 噛み合わせは良いですか

1. はい 2. いいえ

Q8-2. (入れ歯のある方のみ) 毎日入れ歯の手入れをしていますか

1. はい 2. いいえ

Q9. 1日の食事の回数は何回ですか

1. 朝晩の2食 2. 朝晩の2食 3. 朝晩の2食 4. 昼晩の2食 5. 1食 6. その他

Q10. 食事を抜くことがありますか

1. 毎日ある 2. 週に何度かある 3. 月に何度かある 4. ほとんどない

Q11. 自分一人だけでなく、どなたかと食事をもとにする機会はありますか 1. 毎日ある 2. 週に何度かある 3. 月に何度かある 4. 年に何度かある 5. ほとんどない ⇒ Q11-1ハ ⇒ Q11-1ハ ⇒ Q11-1ハ ⇒ Q11-1ハ ⇒ Q11-1ハ ⇒ 問5ハ
Q11-1. (どなたかと食事をもとにする機会がある方のみ) 食事をもとにする人ほどなたですか (いくつでも) 1. 家族 2. 近所の人や友人 3. ティーサービスの仲間 4. その他

問5 物忘れについて
Q1. 周りの人から(いつも同じ事を聞く)などの物忘れがあると言われますか 1. はい 2. いいえ
Q2. 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか 1. はい 2. いいえ
Q3. 今日が何月何日かわからない時がありますか 1. はい 2. いいえ
Q4. 5分前のことが思い出せませんか 1. はい 2. いいえ
Q5. その日の活動(食事をする、衣服を選ぶなど)を自分で判断できますか 1. 困難なくできる 2. いくらか困難であるが、できる 3. 判断するときに、他人からの合図や見守りが必要 4. ほとんど判断できない
Q6. 人に自分の考えをうまく伝えられますか 1. 伝えられる 2. いくらか困難であるが、伝えられる 3. あまり伝えられない 4. ほとんど伝えられない

問6 日常生活について
Q1. バスや車で一人で外出していますか(自家用車でも可) 1. できるし、している 2. できるけどしていません 3. できない
Q2. 日用品の買物をしていますか 1. できるし、している 2. できるけどしていません 3. できない ⇒ Q3ハ ⇒ Q2-1ハ ⇒ Q2-1ハ
Q2-1. (日用品の買物をしていない、できない方のみ) 日用品の買物をする人は主にどなたですか 1. 同居の家族 2. 別居の家族 3. ヘルパー 4. 配達を依頼 5. その他
Q3. 自分で食事の用意をしていますか 1. できるし、している 2. できるけどしていません 3. できない ⇒ Q4ハ ⇒ Q3-1ハ ⇒ Q3-1ハ
Q3-1. (自分で食事の用意をしていない、できない方のみ) 食事の用意をする人は主にどなたですか 1. 同居の家族 2. 別居の家族 3. ヘルパー 4. 配達サービスを利用 5. その他
Q4. 請求書の支払いをしていますか 1. できるし、している 2. できるけどしていません 3. できない
Q5. 残料金の出入入れをしていますか 1. できるし、している 2. できるけどしていません 3. できない
Q6. 食事は自分で食べられますか 1. できる 2. 一部介助(おかずを切ってもらするなど)が食べればできる 3. できない
Q7. 寝床に入るとき、何らかの介助を要りますか 1. 受けたい 2. 一部介助が食べればできる 3. 全体的な介助が必要

Q8. 座っていることができますか 1. できる 2. 支えが必要 3. できない
Q9. 自分で洗面や歯磨きができますか 1. できる 2. 一部介助が食べればできる 3. できない
Q10. 自分でトイレができますか 1. できる 2. 一部介助(他人に支えてもらう)が食べればできる 3. できない
Q11. 自分で入浴ができますか 1. できる 2. 一部介助(他人に支えてもらう)が食べればできる 3. できない
Q12. 50m以上歩けますか 1. できる 2. 一部介助(他人に支えてもらう)が食べればできる 3. できない
Q13. 階段を昇り降りできますか 1. できる 2. 介助が食べればできる 3. できない
Q14. 自分で着替えができますか 1. できる 2. 介助が食べればできる 3. できない
Q15. 大便の失禁がありますか 1. はい 2. ときどきある 3. よくある
Q16. 尿もれや尿失禁がありますか 1. はい 2. ときどきある 3. よくある
Q17. 家事全般ができていますか 1. できている 2. できていない

問7 社会参加について
Q1. 年金などの書類(紛失や補給などに出す書類)が書けますか 1. はい 2. いいえ
Q2. 新聞を読んでいますか 1. はい 2. いいえ
Q3. 本や雑誌を読んでいきますか 1. はい 2. いいえ
Q4. 趣味についての記事や番組に脚音がありますか 1. はい 2. いいえ
Q5. 友人の家を訪ねていきますか 1. はい 2. いいえ
Q6. 家族や友人の相談にのっていますか 1. はい 2. いいえ
Q7. 病人を見舞うことができますか 1. はい 2. いいえ
Q8. 若い人に自分から話しかけることがありますか 1. はい 2. いいえ
Q9. 趣味がありますか 1. はい 2. いいえ
Q10. 生きがいはありますか 1. はい 2. いいえ
Q11. 以下のような会・グループ等(どのくらいの頻度で参加していますか) (1) ボランティアのグループ (2) スポーツ関係のグループやクラブ 1. 週4回以上 2. 週2~3回 3. 週1回 4. 月1~3回 5. 年に数回 6. 参加していません (3) 趣味関係のグループ 1. 週4回以上 2. 週2~3回 3. 週1回 4. 月1~3回 5. 年に数回 6. 参加していません (4) 老人クラブ 1. 週4回以上 2. 週2~3回 3. 週1回 4. 月1~3回 5. 年に数回 6. 参加していません

(5) 町内会・自治会
1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない

(6) 学習・教習サークル
1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない

(7) その他の団体や会
1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない

Q12. 以下のような活動(社会参加活動や仕事)をどのくらい頻度でしていますか
(1) 見守りが必要な高齢者を支援する活動
1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. していない

(2) 介護が必要な高齢者を支援する活動
1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. していない

(3) 子どもを育てている親を支援する活動
1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. していない

(4) 地域の生活環境の改善(美化)活動
1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. していない

(5) 収入のある仕事
1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. していない

Q13. あなたとまわりの人の「たすけあい」についてお答えください。
あてはまるすべてに○をしてください。あてはまる人がいない場合は「8. そのような人はいない」に○をつけてください。

(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人(いくつでも)
1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣 6. 友人 7. その他() 8. そのような人はいない

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人(いくつでも)
1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣 6. 友人 7. その他() 8. そのような人はいない

(3) あなたの病気で数日間高熱したときに、看病や世話をしてくれる人(いくつでも)
1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣 6. 友人 7. その他() 8. そのような人はいない

(4) 反対に、看病や世話をしてくれる人(いくつでも)
1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣 6. 友人 7. その他() 8. そのような人はいない

Q14. 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手をお答えください(いくつでも)
1. 自治会・町内会・老人クラブ
2. 社会福祉協議会・民生委員
3. ケアマネジャー
4. 医師・歯科医師・看護師
5. 市役所・地域包括支援センター
6. その他
7. そのような人はいない

Q15. 友人関係についてお答えください
(1) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか
1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 会っていない
(2) この1ヶ月間、何人の友人・知人と会いましたか
同じ人にも何度会っても1人と数えることとします
1. 0人(いない) 2. 1～2人 3. 3～5人 4. 6～9人 5. 10人以上

(3) よく会う友人・知人はどんな種類の人ですか(いくつでも)
1. 近所・同じ地域の人 2. 幼なじみ 3. 学生時代の友人 4. 仕事での同僚・元同僚
5. 趣味や関心が同じ友人 6. ボランティア等の活動での友人 7. その他 8. いない

問8 健康について

Q1. 普段、ご自分で健康だと思いますか
1. とても健康 2. まあまあ健康 3. あまり健康でない 4. 健康でない

Q2. 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか(いくつでも)
1. 高血圧 2. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) 3. 心臓病 4. 糖尿病 5. 高脂血症(脂質異常症)
6. 呼吸器の病気(肺炎や慢性気管支炎等) 7. 腎臓・肝臓・胆のうの病気 8. 腎臓・前立腺の病気
9. 筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等) 10. 外傷(転倒・骨折等) 11. がん(新生物)
12. 血液・免疫の病気 13. うつ病 14. 認知症(アルツハイマー病等) 15. パーキンソン病
16. 目の病気 17. 耳の病気 18. その他() 19. ない

Q3. 現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいますか
1. 1種類 2. 2種類 3. 3種類 4. 4種類 5. 5種類以上 6. 飲んでいない

Q4. 現在、病院・医院(診療所、クリニック)に通院していますか 1. はい 2. いいえ
→ Q4-1、2へ → Q5へ

Q4-1. (通院している方のみ) その頻度は次のどれですか。
1. 週1回以上 2. 月2～3回 3. 月1回程度 4. 2ヶ月に1回程度 5. 3ヶ月に1回程度

Q4-2. (通院していない方のみ) 通院に介助が必要ですか 1. はい 2. いいえ

Q5. 以下の在宅サービスを利用していますか(いくつでも)
1. 訪問診療(医師の訪問) 2. 訪問介護 3. 夜間救急訪問介護 4. 訪問入浴介護
5. 訪問看護(医師/リハビリテーション) 7. 通所介護(デイサービス)
8. 認知症対応型通所介護 9. 通所リハビリテーション(デイケア)
10. 小規模多機能型居宅介護 11. 短期入所(ショートステイ)
12. 医師や薬剤師などによる療養上の指導(居宅介護支援指導)
13. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 14. 総合サービス 15. その他()

Q6. お酒は飲みますか
1. ほろほろ飲む 2. 時々飲む 3. ほとんど飲まない 4. ちとちと飲まない

Q7. タバコは吸っていますか
1. ほろほろ吸っている 2. 時々吸っている 3. 吸っていたがやめた 4. ちとちと吸っていない

Q8. (ここ2週間) 毎日の生活にご満足がいない
1. はい 2. いいえ

Q9. (ここ2週間) これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった 1. はい 2. いいえ

Q10. (ここ2週間) 以前は桑にできていたことが、今ではおぼろげに感じられる 1. はい 2. いいえ

Q11. (ここ2週間) 自分が寝た立っ人間だと感じない 1. はい 2. いいえ

Q12. (ここ2週間) わけもなく疲れたような感じがする 1. はい 2. いいえ

アンケートは以上で終了です。ご協力ありがとうございました。
回答の終わったアンケート調査票は、同封の返信用封筒に入れて12月27日(金)までにポストに投函してください。(切手は不要です。)

国分寺市地域福祉計画 高齢者福祉に関するアンケート (第1号被保険者)

～ご協力のお願い～

本調査票は、平成25年11月1日(基準日)時点で要介護(要支援)認定を受けていない被保険者の中からご回答いただく方を無作為に選んで送付させていただきます。その後、資格喪失(市外転出など)された方や要介護(要支援)認定をお受けになっている場合は、本調査票への回答は不要です。お手数をかけし恐縮に存じますが、送付物すべてを返信用封筒に封入の上、ご返送いただきますようお願い申し上げます。

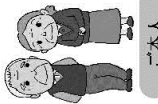
ご記入にあたって

1. お答えは、あてはまる番号を選んで○印をつけてください。
2. 「その他()」を選んだ方は、カッコ内にその内容を具体的に記入してください。
3. 「1つ」や「3つ以内」などの指定がある時は、その範囲内で○印をつけてください。
4. ご記入は、納筆・ポールペンでご記入ください。
5. ご記入いただきました回答は統計的に処理し、国分寺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定の際に参考資料として活用させていただきます。
6. この調査票は下記の方がご記入頂きます。なお、記入の状況は、次ページで向っています。

宛名のご本人が記入



ご本人に確認しながら、ご本人以外の方が記入



ご本人の立場に立って、ご本人以外の方が記入



ご記入いただきましたら、同封の返信用封筒に封入のうえ、
平成25年12月27日(金)(回答期限)までにご投函ください。

○ご不明な点などがございましたら、お手数ですが、下記までお問い合わせください。

国分寺市福祉保健部介護保険課 〒185-8501 国分寺市戸倉一丁目6番地1
電話：042-325-0111 内線(536) ※(土)(日)(祝)除く9時～17時

1. あて名ご本人の状況について

★この調査票はどなたがご記入なさいますか。(○は1つ)

1. あて名ご本人が記入
2. あて名ご本人に回答を確認しながら、ご本人以外の方が記入
3. あて名ご本人の立場に立って、ご本人以外の方が記入

★ご記入された方はどなたですか。(○は1つ)

- | | |
|----------|-----------------|
| 1 配偶者 | 4 子どもの配偶者、孫の配偶者 |
| 2 兄弟姉妹、親 | 5 親族 |
| 3 子ども、孫 | 6 その他(具体的に) |

★あて名ご本人(以下、「あなた」)についてお伺いします。
次のF1～F8について、あてはまるものを1つずつ選んで○をつけてください。

F 1	性別	1 男性	2 女性		
F 2	年齢	1 65歳～69歳	3 75歳～79歳	5 85歳以上	
		2 70歳～74歳	4 80歳～84歳		
F 3	世帯構成 どなたかと同居していますか。	1 ひとり暮らし	2 夫婦のみふたり暮らし(ともに65歳以上)	3 夫婦のみふたり暮らし(夫・妻のどちらかが65歳以上)	
		4 家族との同居(子どもと同居など)	5 その他の世帯()		
F 4	居住形態 あなたのお住まいは次のうち、どれですか。	1 戸建て(一軒家)	2 マンション・アパートなどの集合住宅	3 その他()	
F 5	日中、家でいっしょにいる家族等はありますか。	1 いる	2 いない		
F 6	居住地区 あなたのお住まいのまちはどちらですか。	1 東元町	6 本多	11 日吉町	16 北町
		2 西元町	7 東恋ヶ窪	12 内藤	17 光町
		3 南町	8 西恋ヶ窪	13 富士本	18 高木町
		4 泉町	9 東戸倉	14 新町	19 西町
		5 本町	10 戸倉	15 並木町	
F 7	市内在住年数	1 1年未満	4 5年以上 10年未満	7 10年以上 20年未満	10 20年以上
		2 1年以上 3年未満	5 10年以上 20年未満	8 20年以上	
		3 3年以上 5年未満	6 20年以上		
F 8	介護保険料段階 ※別紙「アンケートへのご協力のお願いの下部に印字されている、あなたの介護保険料段階をご記入ください。	1 第1段階	6 第4段階	11 第9段階	14 第11段階
		2 第2段階	7 第5段階	12 第10段階	13 第11段階
		3 特別第3段階	8 第6段階	13 第11段階	14 わからない
		4 第3段階	9 第7段階	10 第8段階	
		5 特別第4段階	10 第8段階		

2. 介護予防の意識・取組について

問1 あなたは、「介護予防※」という言葉を知っていますか。(○は1つ)

- 1 内容まで知っている 2 聞いたことはあるが、内容までは知らない 3 知らない

問1-1 どのようなようにして知りましたか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 自分(家族)の介護経験を通して 8 テレビ、ラジオ
 2 家族 9 インターネット
 3 近所の人や知り合い 10 新聞や雑誌
 4 所属しているサークルや団体 11 市高齢者相談室
 5 民生委員・原委委員 12 地域包括支援センター
 6 市の広報紙 13 その他()
 7 社会福祉協議会の広報紙

【参考】介護予防とは

ご自身の運動機能や栄養状態といった個々の要素の改善をめざすだけでなく、それらを通じて、個々の生活の質の向上をめざすものです。本市では介護予防のための様々な事業を行っています。

問2 本市では、次のような介護予防や健康保持のための各種事業を実施しています。それぞれの事業に参加したことがありますか。(○はそれぞれ1つずつ)

ア 介護予防講座 毎年1回、様々な年齢層の方に幅広く介護予防を知っていただくために講師を招いて実施。	1 参加したことがある(参加している) 2 参加したことはないが、今後参加してみたい 3 知っているが、参加の希望はない 4 知らない
イ 転倒予防教室 各地域包括支援センターで開催。 転倒予防のワゴンポイント講座と身体づくりの体操等。	1 参加したことがある(参加している) 2 参加したことはないが、今後参加してみたい 3 知っているが、参加の希望はない 4 知らない
ウ 地域生さがい交流事業 生さがいセンター6館で開催。 生さがい、創作及び文化活動、介護予防及び健康増進などの講座や交流を実施。	1 参加したことがある(参加している) 2 参加したことはないが、今後参加してみたい 3 知っているが、参加の希望はない 4 知らない
エ 介護予防教室・介護者教室 各地域包括支援センターで開催。 介護予防の情報提供、介護を要する方・介護をしている方のための支援のための情報交換等。	1 参加したことがある(参加している) 2 参加したことはないが、今後参加してみたい 3 知っているが、参加の希望はない 4 知らない
オ 出張健康相談 地域包括支援センターの相談員が、市内の公共施設(公民館、生さがいセンター等)へ出張し、健康相談、高齢者の生活や介護に係る相談、血圧測定等を実施。	1 参加したことがある(参加している) 2 参加したことはないが、今後参加してみたい 3 知っているが、参加の希望はない 4 知らない

問2のいずれかの事業に参加した方にお伺いします。

問2-1 そこで得たことを今までに実践したことはありますか。(○は1つ)

- 1 ある 2 まだないが、実践してみたい 3 ない

問3 「生活機能チェックアンケート(基本チェックリスト)※」に、回答したことはありますか。(○は1つ)

- 1 毎年回答している 3 回答したことはない
 2 毎年ではないが回答したことがある 4 ぞういったものがあるが知らなかった

【参考】生活機能チェックアンケート(基本チェックリスト)とは

65歳以上の方(要支援・要介護認定を受けている方を除く)へ、毎年1回、個別にアンケートを送付し回答をいただくことで生活機能の低下傾向(寝い含む)の有無を確認します。回答があった方の中で生活機能の低下が見られる方には、市から個別に介護予防事業への参加勧奨通知が送付されます。

問3-1 介護予防事業への参加勧奨通知が届いたことがありますか。(○は1つ)

- 1 ある 2 ない 3 わからない

問3-2 次のような、生活機能の低下を改善する事業に参加したことはありますか。

(○はそれぞれ1つずつ)

運動器の機能向上プログラム	1 ある	2 ない
栄養改善・口腔機能向上プログラム	1 ある	2 ない

問4 介護予防や健康保持のために、日常生活の中で取り組んでいることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 歩く(散歩や買い物等) 10 なるべく人と話す
 2 定期的に体操や運動をする 11 できるだけ外出する
 3 食事の栄養バランスに気をつける 12 気持ちをなるべく明るく保つ
 4 規則正しい生活をする 13 ストレスをためこまないようにする
 5 十分な休養や睡眠をとる 14 介護予防や健康づくりに関する講座や教室へ参加する
 6 煙やたばこを控える 15 その他()
 7 歯や口の健康に気をつける
 8 適正な体重に向けた体重調整をする
 9 日記を書く 16 特に取り組んでいない

問4-1 取り組んでいない理由は何か。(あてはまるものすべてに○)

- 1 時間がいないため 5 一緒にやる仲間がいないため
 2 向をしていいかわからないため 6 身体的に無理な状況のため
 3 きっかけがないため 7 特に意識したことがないため
 4 関心がないため 8 その他()

3. 地域との交流について

問5 あなたは、ご近所の方とどのようなお付き合いがありますか。(○は1つ)

- 1 日ごろから助け合っている
- 2 気のあった人とは親しくしている
- 3 たまに立ち話をする程度
- 4 顔を合わせたら挨拶をする程度
- 5 ほとんど付き合いはない
- 6 近所にどのような人がいるか知らない

問6 あなたは、ご近所の方とのお付き合いは必要だと感じますか。(○は1つ)

- 1 必要だと思わない
- 2 必要だと思おう
- 3 あまり必要だとは思わない
- 4 必要だとは思わない

問6-1 特にどのような時に必要だと感じますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 火災や地震などの災害の時
- 2 家を留守にする時
- 3 病気や介護(支援)が必要になった時
- 4 その他()

4. 暮らしや情報について

問7 あなたは、現在の経済的な暮らし向きについて、どのように感じますか。(○は1つ)

- 1 家計にゆとりがあり、まったく心配なく暮らしている
- 2 家計にあまりゆとりはないが、それほど心配なく暮らしている
- 3 家計にゆとりがなく、多少心配である
- 4 家計が苦しく、非常に心配である
- 5 わからない

問8 あなたの生活を支えている収入は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 仕事による収入
- 2 公的な年金(国民年金、厚生年金、共済年金など)
- 3 私的な年金(企業年金、個人年金など)
- 4 預貯金などの引き出し
- 5 財産からの収入(利子、配当金、家賃、地代など)
- 6 子どもなどからの援助
- 7 生活保護
- 8 その他()

問9 あなたも含めた世帯全員の年間総収入(年金、仕送りなども含む)の合計額は、およそどのくらいですか。(○は1つ)

- 1 50万円未満
- 2 50万円~100万円未満
- 3 100万円~200万円未満
- 4 200万円~300万円未満
- 5 300万円~400万円未満
- 6 400万円~500万円未満
- 7 500万円~600万円未満
- 8 600万円~700万円未満
- 9 700万円~800万円未満
- 10 800万円~1,000万円未満
- 11 1,000万円以上
- 12 わからない

問10 あなたは、日常生活の中で「不安」や「悩み」がありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 健康や病気について
- 2 食事全般について
- 3 買い物、掃除、洗濯などの家事について
- 4 介護に逼った生活調音について
- 5 一人での外出について
- 6 一人暮らしについて
- 7 老夫婦だけの暮らしについて
- 8 緊急時の連絡先について
- 9 金銭管理について
- 10 書類の理解や手続きについて
- 11 災害時の避難について
- 12 訪問販売の勧誘について
- 13 その他()
- 14 特に不安や悩みはない

問10-1 あなたは、その「不安」や「悩み」を誰(どこ)に相談していますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 家族や親族
- 2 友人や近所の人
- 3 ケアマネジャー
- 4 民生委員・児童委員
- 5 介護保険サポーター
- 6 成年後見人等
- 7 市高齢者相談室
- 8 地域包括支援センター
- 9 社会福祉協議会
- 10 医療機関・専門家(医師・弁護士など)
- 11 その他()
- 12 相談していない

問11 あなたは、介護や支援が必要になった時、どのように暮らしたいですか。(○は1つ)

- 1 自宅で、介護保険などのサービス利用は最小限にし、できるだけ自立した生活がしたい
- 2 自宅で、できるだけ多くの介護サービスや保健福祉サービスを使いながら生活したい
- 3 自宅で、介護保険制度は利用せず、家族や親族の介護を受けながら生活したい
- 4 介護施設等に入所したい
- 5 高齢者が共同生活する住宅などに住みたい

問11-1 施設で生活される場合、あなたはどのような部屋を希望しますか。(○は1つ)

- 1 個室(ユニット型※個室)
- 2 個室(従来型の個室)
- 3 相部屋(多床室)
- 4 個室でも相部屋でもどちらでもよい
- 5 わからない

【参考】ユニット型とは

入居者が10名程度で1つのユニットをつくり、少人数の家庭的な雰囲気の中で、専属のスタッフが入居者一人一人の個性や生活のリズムに合ったケアを行います。
ユニットごとに複数の個室、食堂、談話スペースなどが設けられています。

問11-2 個室あるいは相部屋を希望される理由があれば、ご自由にご記入ください。

【参考】施設で生活される場合の1か月あたりの金額の目安 (円) (特別養護老人ホームの場合)

	非課税(第2段階)		課税(第4段階)	
	ユニット型 個室	従来型 個室	ユニット型 個室	多床室
食費	12,000	12,000	42,000	42,000
居住費	25,000	13,000	60,000	10,000
介護サービス費(1割負担分)	15,000	15,000	29,800	28,700
合計	52,000	40,000	131,800	80,700

※上記金額は大まかな目安です。所得段階、要介護度、入所施設等によって金額に多少の増減があります。この他にも日常生活費などの負担があります。

問12 あなたは、健康のために地域で行なっている情報をどのようなところから得ていますか。
(あてはまるものすべてに○)

1 家族	8 インターネット
2 近所の人や知り合い	9 新聞や雑誌
3 所属しているサークルや団体	10 勤務先
4 民生委員・児童委員	11 市高齢者相談室や公民館等の公共施設
5 市の広報紙	12 地域包括支援センター
6 社会福祉協議会の広報紙	13 その他()
7 テレビ、ラジオ	14 特になし

5. 就労意識・意向について

問13 あなたは現在、働いていますか。(○は1つ)

1 ほぼ毎日	2 1週間に2～3日程度	3 月に数日程度	4 働いていない
--------	--------------	----------	----------

問14 今後の就労希望についてお伺いします。(○は1つ)

1 ほぼ毎日働きたい(続けたい)	4 働きたくない
2 1週間に2～3日程度働きたい(続けたい)	
3 月に数日程度働きたい(続けたい)	

→問14-1 就労を希望(継続)する主な理由は何か。(あてはまるものすべてに○)

1 生活維持のため	4 時間に余裕があるから
2 健康維持のため	5 その他()
3 生きがい・社会参加のため	

6. 健康状況について

問15 あなたは自分の健康状態をどう思いますか。(○は1つ)

1 健康だと思う	3 あまり健康だと思わない
2 どちらかというと健康だと思う	4 健康だと思わない

問16 あなたは、かかりつけの病院(医院)や歯科医院がありますか。(○はそれぞれ1つずつ)

かかりつけの病院(医院)	1 ある	2 ない
かかりつけの歯科医院	1 ある	2 ない

問17 あなたは、健康診断を受けていますか。(○は1つ)

1 毎年、受診している	()
2 毎年ではないが、受診している	
3 受診したことはない(理由があれば)	

→問17-1 診断結果が次の行動につながりましたか。(あてはまるものすべてに○)

1 健康に関連する情報を収集した	4 健康教室や介護予防教室等に参加した
2 相談も含め、医療機関に通った	5 その他()
3 食事や運動などの自身の生活習慣を見直した	6 特に何もしていない

7. 生きがいや社会参加について

問18 あなたが参加している地域のグループや団体等がありますか。(あてはまるものすべてに○)

1 老人クラブ	8 青少年育成団体
2 町内会・自治会	9 ボランティア活動・NPO法人
3 趣味のサークル・団体	10 シルバー人材センター
4 健康・スポーツのサークル・団体	11 その他のグループや団体
5 学習・教養のサークル・団体	()
6 民間主催の趣味・スポーツクラブ	12 参加しているグループや団体等はない
7 市主催の教室や講座	

→問18-1 参加して良かったと思うことはどんなことですか。(あてはまるものすべてに○)

1 友人を得ることができた	5 地域社会に貢献できた
2 生活に充実感ができた	6 社会への見方が広まった
3 健康や体力に自信がついた	7 自分の技術、経験を生かすことができた
4 お互いに助け合うことができた	8 その他()

問18-2は、問18で「12 参加しているグループや団体等はない」と答えた方にお伺いします。

問18-2 参加していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------------|---------------------------|
| 1 参加したい活動がないから | 5 経費がかかるから |
| 2 一人のぼうが気楽だから | 6 体力に自信がないから |
| 3 どのようなグループや団体等があるかわからないから | 7 家庭の事情(家事や仕事等)で時間がとれないから |
| 4 参加するきっかけがないから | 8 その他() |

すべての方にお伺いします。

問19 今後、どのようなことを行っていきたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|----------------------------------|
| 1 働くこと |
| 2 教養を高めること |
| 3 スポーツや趣味・娯楽を、サークル活動のようにみんなで行うこと |
| 4 スポーツや趣味・娯楽を、個人で行うこと |
| 5 ボランティア活動に参加すること |
| 6 自治会等の地域活動に参加すること |
| 7 老人クラブ等の年齢層別活動に参加すること |
| 8 家族と一緒に過ごすこと |
| 9 これまでの友人や知人と交流すること |
| 10 新しい友人や知人を増やすこと |
| 11 若い世代と交流すること |
| 12 家に関じこもらないでできるだけ外に出ること |
| 13 常に新しいことにチャレンジすること |
| 14 その他() |

8. 介護保険制度について

問20 あなたは、介護保険制度についてどの程度知っていますか。(○は1つ)

- | |
|----------------------------|
| 1 利用方法や受けられるサービスの内容まで知っている |
| 2 制度の概要くらいは知っている |
| 3 制度名を知っている程度 |

問21 あなたは、ご自分の介護保険料の納付方法※をご存知ですか。(○は1つ)

- | | | |
|-----------|-----------|----------------|
| 1 特別徴収である | 2 普通徴収である | 3 納付方法はよくわからない |
|-----------|-----------|----------------|

【参考】介護保険料の納付方法について

特別徴収・・・年金から自動的に天引きにより納付する方法です。

普通徴収・・・納付書により金融機関・市役所の窓口や、口座振替で納付する方法です。

問22 あなたは、現在の介護保険料※について、どのように感じていますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 非常に負担を感じる | 3 あまり負担を感じない |
| 2 多少は負担を感じる | 4 負担を感じない |

【参考】介護保険料の金額について

介護保険料の金額は介護保険料段階によって異なり、国分寺市の場合、介護保険料段階は第1段階(月額1,108円)から第11段階(月額10,175円)まであります。全段階の中間に位置する第4段階の金額は、国分寺市が月額4,425円、東京都平均が4,992円、全国平均が4,972円となっています。

問23 あなたは、高齢者の相談窓口として、地域包括支援センター(※)をご存知ですか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 1 利用したことがある | 3 名前を聞いたことがある程度 |
| 2 利用したことはないが、役割は知っている | 4 知らない |

【参考】地域包括支援センターとは

介護予防給付のケアプラン作成をはじめ、地域の高齢者や家族の方の相談、各種サービスや介護保険制度の説明と各種の申請を受け付けています。また、権利擁護(成年後見制度・高齢者虐待・消費者被害等)に関する相談、介護予防や高齢期の健康づくりに関する相談や事業の紹介ができる場所です。市内の地域包括支援センターは、以下の通りです。

センター名	住所	電話
国分寺市地域包括支援センター (市高齢者相談室)	泉町2-3-8 みずみプラザ1階	042-321-1301
国分寺地域包括支援センターもとまち	東元町2-5-17 さわかみプラザもとまち1階	042-301-5001
国分寺地域包括支援センターひかり	光町3-13-34 国分寺ひかり診療所3階	042-573-4058
国分寺地域包括支援センターひよし	日吉町4-32-6 うれしの里1階	042-300-1405
国分寺地域包括支援センターこいがくぼ	西恋ヶ窪1-50-1 にんじんホーム1階	042-300-6024
国分寺地域包括支援センターなみき	並木町3-12-2 至誠ホームミナ1階	042-300-3702
国分寺地域包括支援センターほんだ	本多2-3-3 国分寺市商工会館3階	042-300-2339

※平成25年10月1日をもって、国分寺地域相談センターひよし、こいがくぼ、なみきは、国分寺地域包括支援センターに移行し、国分寺地域包括支援センターほんだが新たに整備されました。

9. 高齢者に対する施策や支援について

問24 高齢者に対する施策や支援で、特に大切だと思うものはどれですか。(〇は5つ以内)

- 1 自宅を訪問するサービスの充実 (ホームヘルプなど)
- 2 日中、施設に通うサービスの充実 (デイサービス、デイケア)
- 3 施設に短期間入所するサービスの充実 (ショートステイ)
- 4 介護保険施設 (特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護療養型医療施設) の施設サービスの充実
- 5 介護保険料・サービス利用料の軽減等の低所得者層に対する対策
- 6 認知症高齢者や認知症高齢者を抱える家族に対する支援
- 7 ひとり暮らし高齢者に対する見守りや安否確認などの支援
- 8 高齢者虐待への対策
- 9 成年後見制度などの権利擁護施策
- 10 介護予防、健康づくりへの支援
- 11 在宅での医療の提供や相談支援
- 12 在宅での通科診療の提供や相談支援
- 13 ホランディアなどの社会参加・社会貢献活動や生涯学習などへの支援
- 14 働く場所や機会の確保・提供
- 15 高齢者に配慮したまちづくり (交通機関、道路、建物などのバリアフリー化)
- 16 安全対策 (雷撃対策の取組みなどの防犯や交通安全など)
- 17 地震、火災、風水害などに対する防災対策
- 18 その他 ()

10. 認知症について

問25 認知症について「どの程度」ご存知ですか。(〇は1つ)

- 1 よく知っている
- 2 ある程度知っている
- 3 あまり知らない
- 4 まったく知らない

問26 認知症に関する相談先(※)をご存知ですか。(〇は1つ)

- 1 知っている
- 2 知らない

※認知症については、市内の地域包括支援センターでも相談ができます。

問26-1 認知症に関する相談先として具体的にどちらをご存知ですか。ご自由にご記入ください。

11. 成年後見制度について

問27 「成年後見制度※」について「どの程度」ご存知ですか。(〇は1つ)

- 1 よく知っている
- 2 ある程度知っている
- 3 あまり知らない
- 4 まったく知らない

【参考】成年後見制度とは
認知症や知的・精神障害があり、判断能力の面でハンディキャップを負っている方の権利を守るために、契約や法的手続きの場面で、法律面からサポートする制度。

12. ご意見・ご要望等について

問28 自立した豊かな生活の実現に向けて、市が力を入れるべき点など、ご意見・ご要望などがありましたらご自由にご記入ください。

アンケートは以上で終了です。ご協力ありがとうございました。
回答の終わったアンケート調査票は、同封の返信用封筒に入れて 12月27日(金) までにポストに投函してください。(切手は不要です。)

**国分寺市地域福祉計画
高齢者福祉に関するアンケート
(要介護(要支援)認定者(在宅)及び家族等介護者)
～ご協力のお願い～**

本調査票は、平成25年11月1日(基準日)時点で要介護(要支援)認定を受けている被保険者の中からお答えいただく方を無作為に選んで送付させていただいております。現在、資格喪失(市外転出など)された方や更新申請で非該当となられた場合は、本調査票への回答は不要です。恐れ入りますが、送付物すべてを返信用封筒に封入の上、ご返送いただきますようお願い申し上げます。

ご記入にあたって

1. お答えは、あてはまる番号を選んでO印をつけてください。
2. 「その他()」を選んだ方は、カッコ内にその内容を具体的に記入してください。
3. 「1つ」や「3つ以内」などの指定がある時は、その範囲内でO印をつけてください。
4. ご記入は、鉛筆・ボールペンでご記入ください。
5. ご記入いただきました回答は統計的に処理し、国分寺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定の際に参考資料として活用させていただきます。

1～9ページの問20までは、介護保険の認定を受けているご本人についての質問です。

宛名のご本人が記入

ご本人に確認しながら、ご本人以外の方が記入

ご本人に確認しながら、ご本人以外の方が記入

ご本人の立場に立って、ご本人以外の方が記入

10ページのF1～14ページの問31～1までは、ご本人の主介護者であるご家族等にお答えいただく質問です。※ただし、該当する方がいらっしゃらない場合は、ご記入不要です。

ご記入いただきましたら、同封の返信用封筒に封入のうえ、
平成25年12月27日(金)(回答期限)までにご投函ください。

Oご不明な点などがございましたら、お手数ですが、下記までお問い合わせください。

国分寺市福祉保健部介護保険課 千185-8501 国分寺市戸倉一丁目6番地1
電話：042-325-0111 内線(536) ※(土)(日)(祝)除く9時～17時

1. あて名ご本人の状況について

★この調査票はどなたがご記入なさいますか。(Oは1つ)

1. あて名ご本人が記入
2. あて名ご本人に回答を確認しながら、ご本人以外の方が記入
3. あて名ご本人の立場に立って、ご本人以外の方が記入

▶★ご記入された方はどなたですか。(Oは1つ)

1. 配偶者
2. 兄弟姉妹、親
3. 子ども、孫
4. 子どもの配偶者、孫の配偶者
5. 親族
6. その他(具体的に)

★介護保険の認定を受けている方ご本人(以下、「あなた」)についてお伺いします。次のF1～F10について、あてはまるものを「つ」ずつ選んでOをつけてください。

F1 性別	1 男性	2 女性		
F2 年齢	1 40歳～64歳	3 70歳～74歳	5 80歳～84歳	
	2 65歳～69歳	4 75歳～79歳	6 85歳以上	
F3 世帯構成	1 ひとり暮らし	2 夫婦のみのふたり暮らし(ともに65歳以上)	3 夫婦のみのふたり暮らし(夫・妻のどちらかが65歳以上)	
	4 夫婦のみのふたり暮らし(夫・妻ともに65歳未満)	5 家族との同居(子どもと同居など)	6 その他の世帯()	
F4 居住形態	1 戸建て(一軒家)	2 マンション・アパートなどの集合住宅	3 その他()	
F5 日中、家でいっしょにいる家族等はいいますか。	1 いる	2 いない		
F6 居住地区	1 東元町	6 本多	11 日吉町	16 北町
	2 西元町	7 東忍ヶ窪	12 内藤	17 光町
	3 南町	8 西忍ヶ窪	13 富士本	18 高木町
	4 泉町	9 東戸倉	14 新町	19 西町
	5 本町	10 戸倉	15 並木町	
F7 市内在住年数	1 1年未満	4 5年以上10年未満	5 10年以上20年未満	6 20年以上
	2 1年以上3年未満	3 3年以上5年未満		
F8 介護保険料段階	(65歳以上の方のみお答えください。)			
※別紙「アンケートのご協力をお願い」の下部に印字されている、あなたの介護保険料段階をご記入ください。	1 第1段階	6 第4段階	11 第9段階	
	2 第2段階	7 第5段階	12 第10段階	
	3 特別第3段階	8 第6段階	13 第11段階	
	4 第3段階	9 第7段階	14 わかちらい	
	5 特別第4段階	10 第8段階		

F9 家族や親族等による介護を受けていますか。 1 受けている 2 受けていない

F10 現在の要介護度 ※ただし、有効期間が満了している方で新しい給付が出ている場合は、有効期間満了時の要介護度を記入してください。

1 要支援1	3 要介護1
2 要支援2	4 要介護2
	5 要介護3
	6 要介護4
	7 要介護5

問1と問1-1の説明は、要支援1・2の方のみお答えください。
要介護1～要介護5の方は、問2へお進みください。

2. 介護予防の意識・取組について

問1 あなたは、介護予防や健康維持のために、日常生活の中で取り組んでいることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1 歩く(散歩や買い物等)	10 なるべく人と話す
2 定期的に体操や運動をする	11 できるだけ外出する
3 食事の栄養バランスに気を付ける	12 気持ちよくなるべく明るく居る
4 規則正しい生活をする	13 ストレスをためこまないようにする
5 十分な休養や睡眠をとる	14 介護予防や健康づくりに関する講座・教室へ参加する
6 酒やたばこを控える	15 その他()
7 歯や口の健康に気を付ける	16 特に取り組んでいない
8 適正な体重に向けた体重調整をする	
9 日記を書く	

問1-1 取り組んでいない理由は何か。(あてはまるものすべてに○)

1 時間がないため	6 身体的に無理な状況のため
2 何をしてもいいかわからないため	7 特に意識したことがないため
3 きっかけがないため	8 参加できるところがないため
4 一緒にやる仲間がないため	9 その他()
5 関心がないため	

3. 暮らしや情報について

問2 あなたは、現在の経済的な暮らし向きについて、どのように感じますか。(○は1つ)

1 家計にゆとりがあり、まったく心配なく暮らしている
2 家計にあまりゆとりはないが、それほど心配なく暮らしている
3 家計にゆとりがなく、多少心配である
4 家計が苦しく、非常に心配である
5 わからない

問3 あなたの生活を支えている収入は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1 仕事による収入	6 子どもなどからの援助
2 公的な年金(国民年金, 厚生年金, 共済年金など)	7 生活保護
3 私的な年金(企業年金, 個人年金など)	8 その他()
4 預貯金などの引き出し	
5 財産からの収入(利子, 配当金, 家賃, 地代など)	

問4 あなたも含めた世帯全員の年間総収入(年金, 仕送りなども含む)の合計額はおよそどのくらいですか。(○は1つ)

1 50万円未満	5 300万円～400万円未満	9 700万円～800万円未満
2 50万円～100万円未満	6 400万円～500万円未満	10 800万円～1,000万円未満
3 100万円～200万円未満	7 500万円～600万円未満	11 1,000万円以上
4 200万円～300万円未満	8 600万円～700万円未満	12 わからない

問5 あなたは、日常生活の中で「不安」や「悩み」がありますか。(あてはまるものすべてに○)

1 健康や病気について	8 緊急時の連絡先について
2 食事全般について	9 金銭管理について
3 買い物, 掃除, 洗濯などの家事について	10 書類の理解や手続きについて
4 介護に週した生調について	11 災害時の避難について
5 外出について	12 訪問販売の勧誘について
6 一人暮らしについて	13 その他()
7 夫婦だけの暮らしについて	14 特に不安や悩みはない(問6へお進みください)

問5-1 あなたは、その「不安」や「悩み」を誰(どこ)に相談していますか。(あてはまるものすべてに○)

1 家族や親族	7 高齢者相談室
2 友人や近所の人	8 地域包括支援センター
3 ケアマネジャー	9 社会福祉協議会
4 民生委員・児童委員	10 医療機関・専門家(医師・弁護士など)
5 介護保険サポーター	11 その他()
6 成年後見人等	12 相談していない

問6 あなたは、今後、どこで暮らしたいですか。(○は1つ)

- 1 自宅で暮らしたい
2 施設に入所して、暮らしたい
3 高齢者が共同生活する住宅などに入居したい
4 その他()

問6-1 施設で生活される場合、あなたはどのような部屋を希望しますか。(○は1つ)

- 1 個室(ユニット型※個室)
2 個室(従来型の個室)
3 相部屋(多床室)
4 個室でも相部屋でもどちらでもよい
5 わからない

【参考】ユニット型とは

入居者が10名程度で1つのユニットをつくり、少人数の家庭的な雰囲気の中で、専属のスタッフが入居者一人一人の個性や生活のリズムに沿ってケアを行います。
ユニットごとに複数の個室、食堂、談話スペースなどが設けられています。

問6-1-1 個室あるいは相部屋を希望される理由があれば、ご自由にご記入ください。

【参考】施設で生活される場合の1か月あたりの金額の目安(円)(特別養護老人ホームの場合)

	非課税(第2段階)		課税(第4段階)	
	ユニット型 個室	従来型 多床室	ユニット型 個室	従来型 多床室
食費	12,000	12,000	42,000	42,000
居住費	25,000	13,000	60,000	35,000
介護サービス費(1割負担分)	15,000	15,000	29,800	27,200
合計	52,000	40,000	131,800	104,200

※上記金額は大まかな目安です。所得段階、要介護度、入所施設等によって金額に多少の増減があります。この他にも日常生活費などの負担があります。

問7 あなたは、施設への入所申し込みをしていますか。(○は1つ)

- 1 申し込みをしている
2 していない

問7-1 それほどのような施設ですか。次の1~7のうち、あてはまるものすべてに○をつけてください。また、申し込みの力所数がわかれば、()に数字をご記入ください。

- 1 特別養護老人ホーム () 力所
2 介護老人保健施設 () 力所
3 介護療養型医療施設 () 力所
4 有料老人ホーム () 力所
5 認知症高齢者グループホーム () 力所
6 ケアハウス () 力所
7 その他 () 力所

問8 あなたは、地域のどのような「情報」を知りたいですか。(○は3つ以内)

- 1 ボランティア(活動)団体の情報
2 守習会・情報交換会・講演会の情報
3 趣味などのサークル活動の情報
4 気軽に行的つくるける交流の場の情報
5 福祉センターや生きがいセンターの情報
6 介護や医療に関する情報
7 いろいろな悩み相談先の情報
8 その他()
9 特に知りたい情報はない

問8-1 介護や医療に関する情報について、どのような手段で入手していますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 家族
2 近所の人や知り合い
3 所属しているサークルや団体
4 民生委員・児童委員
5 市の広報紙
6 社会福祉協議会の広報紙
7 テレビ、ラジオ
8 インターネット
9 新聞や雑誌
10 勤務先
11 市役所(高齢者相談室、公民館を含む)
12 地域包括支援センター
13 その他()
14 わからない

4. 地域との交流について

問9 あなたは、ご近所の方とどのようなお付き合いがありますか。(○は1つ)

- 1 日ごろから助け合っている
2 気のあった人とは親しくしている
3 だまに立ち話をする程度
4 顔を合わせたら挨拶をする程度
5 ほとんど付き合いはない
6 近所にどのような人がいるか知らない

問10 あなたは、ご近所の方とお付き合いは必要だと思いますか。(○は1つ)

- 1 必要だと思つ
2 多少は必要だと思つ
3 あまり必要だとは思わない
4 必要だとは思わない

問10-1 特にどのような時に必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 火災や地震などの災害の時
2 家を留守にする時
3 病气や介護が必要となった時
4 その他()

6. 介護保険制度の評価について

問15 あなたは、介護保険制度についてどのように思いますか。(○は1つ)

- 1 おおむね満足できる制度である 3 どちらかといえれば満足できる制度でない
2 どちらかといえれば満足できる制度である 4 満足できる制度でない

問16 あなたは、ご自分の「介護保険料の納付方法※」をご存知ですか。(○は1つ)

- 1 特別徴収である 2 普通徴収である 3 納付方法はよくわからぬ

【参考】介護保険料の納付方法について

特別徴収・・・年金から自動的に天引きにより納付する方法です。
普通徴収・・・納付書により金融機関・市役所の窓口や、口座振替で納付する方法です。

問17 あなたは、現在の介護保険料(※)についてどのように感じていますか。(○は1つ)

- 1 非常に負担を感じる 3 あまり負担を感じない
2 多少は負担を感じる 4 負担を感じない

【参考】介護保険料の金額について

介護保険料の金額は介護保険料段階によって異なり、国分寺市の場合、介護保険料段階は第1段階(月額1,108円)から第11段階(月額10,175円)まであります。全段階の中間に位置する第4段階の金額は、国分寺市が月額4,425円、東京都平均が4,992円、全国平均が4,972円となっています。

問18 あなたは、高齢者の相談窓口として、地域包括支援センター(※)をご存知ですか。(○は1つ)

- 1 利用したことがある 3 名前を聞いたことがある程度
2 利用したことはないが、役割は知っている 4 知らない

【参考】地域包括支援センターとは

介護予防給付のケアプラン作成をはじめ、地域の高齢者や家族の方の相談、各種サービスや介護保険制度の説明と各種申請を受け付けています。また、権利擁護(成年後見制度・高齢者虐待・消費者被害等)に関する相談、介護予防や高齢者の健康づくりに関する相談や専門の紹介ができる場所です。市内の地域包括支援センターは、以下の通りです。

センター名	住所	電話
国分寺市地域包括支援センター(市高齢者相談室)	泉町2-3-8 いずみプラザ1階	042-321-1301
国分寺市地域包括支援センターもとまち	東元町2-5-17 さわやかプラザもとまち1階	042-301-5001
国分寺市地域包括支援センターひかり	光町3-13-34 国分寺ひかり診療所3階	042-573-4058
国分寺市地域包括支援センターひよし	日吉町4-32-6 うれしの里1階	042-300-1405
国分寺市地域包括支援センターこいがくぼ	西恋ヶ窪1-50-1 にんじんホーム1階	042-300-6024
国分寺市地域包括支援センターなみき	並木町3-12-2 至誠ホームミニナ1階	042-300-3702
国分寺市地域包括支援センターほんだ	本多2-3-3 国分寺市商工会館3階	042-300-2339

※平成28年10月1日をもって、国分寺市地域包括支援センターひよし、こいがくぼ、なみきは、国分寺市地域包括支援センターに移行し、国分寺市地域包括支援センターほんだが新たに整備されました。

7. 要支援・要介護の方を支える施策や支援について

問19 要支援・要介護の方を支える施策や支援で、特に大切だと思えるものはどれですか。(○は5つ以内)

- 1 自宅を訪問するサービスの充実(ホームヘルプなど)
2 日中、施設に通うサービスの充実(デイサービス、デイケア)
3 施設に短期間入所するサービスの充実(ショートステイ)
4 介護施設等の施設サービスの充実(特別養老ホーム、介護老人保健施設、介護療養型医療施設)
5 介護保険料・サービス利用料の軽減等の低所得者層に対する対策
6 認知症高齢者や認知症高齢者を抱える家族に対する支援
7 ひとり暮らし高齢者に対する見守りや安否確認などの支援
8 高齢者虐待への対策
9 成年後見制度など権利擁護施策
10 介護予防、健康づくりへの支援
11 在宅での医療の提供や相談支援
12 在宅での歯科診療の提供や相談支援
13 その他()

問20 あなたは、次の制度や事業について、どの程度知っていますか。(○はそれぞれ1つずつ)

	利用している	利用の仕方を知っている	利用していない
ア. 成年後見制度 認知症や知的・精神障害があり、判断能力の十分な方の権利を守るために、契約や法的手続の場面で、法律面からサポートする制度	1	2	3
イ. 地域福祉権利擁護事業 (日常生活自立支援事業) 判断能力が十分な方へのサービスで、福祉サービスの利用支援や日常的金融管理サービス、書類等の預かりサービスなどがある	1	2	3
ウ. 高齢者虐待防止の相談窓口※ 虐待をうけた高齢者、または、虐待をうけたと思われる高齢者を発見した時の相談先	1	2	3
エ. 災害時要援護者登録制度 災害発生時に自力での避難が困難な方を対象に、地域の支援者(民生委員・児童委員、社会福祉協議会、国分市消防署、自治会・町内会)が、安否確認や避難の介助を行うための制度	1	2	3

※現在、高齢者虐待の相談窓口は市の高齢者相談室です。また、地域包括支援センターにおいても在宅などでの高齢者虐待防止への取り組みを進めています。

引き続き、「ご本人を主に介護している方」(以下、「主介護者のあなた」)がいらっしゃる場合は、主介護者の方が以下の設問にご回答ください。
なお、主介護者の方がいない場合は、「13. ご意見・ご要望について」にお進みください。

◆◆ここからは、主介護者のあなたにお伺いします。◆◆

8. 主介護者のあなたの状況について

★主介護者のあなたについてお伺いします。

次のF1～F9について、あてはまるものを1つずつ選んでOをつけてください。

F1 性別	1 男性	2 女性						
F2 年齢	1 40歳未満	4 60歳～64歳	7 75歳～79歳	2 40歳～49歳	5 65歳～69歳	8 80歳以上	3 50歳～59歳	6 70歳～74歳
F3 ご本人との続柄 ご本人からみて、主介護者のあなたはどのような続柄ですか。	1 配偶者	4 子どもの配偶者、孫の配偶者	2 兄弟姉妹、親	5 親族	3 子ども、孫	6 その他()		
F4 職業	1 自営業・自由業	4 専業主婦(夫)	2 勤め人	5 無職	3 パート・アルバイト	6 その他()		
F5 介護年数 ご本人の介護を何年されていますか。	1 半年未満	4 3年以上5年未満	2 半年以上1年未満	5 5年以上10年未満	3 1年以上3年未満	6 10年以上		
F6 介護時間 ご本人に対して、1日どの程度、介護にたずさわっていますか。	1 必要な時に手を貸す程度	4 ほとんど終日	2 2～3時間程度	5 その他()	3 半日程度			
F7 介護頻度 ご本人に対して、月または週のうち、どの程度介護にたずさわっていますか。	1 月に1～3日	4 ほぼ毎日	2 週に1日	5 その他()	3 週2～4日			
F8 他の介護者 主介護者のあなた以外に、ご本人の介護にたずさわっている方はいますか。	1 自分と同程度の介護をしている人がいる	2 多少は手伝ってくれる人がいる	3 自分一人で介護している	4 その他()				
F9 主介護者のあなたはご本人と同居されていますか。	1 同居している	2 同居していない						

9. 介護の状況について

問 21は、現在、ご本人が介護保険サービスを利用されている主介護者の方のみお答えください。

問 21 主介護者が介護保険サービスを利用することにより、主介護者のあなたの介護負担に変化が
ありましたか。ア～エの各項目について、最も近いものをそれぞれ1つずつ選んでOをつ
けてください。

	ほとんどは ありません	あまり ありません	あまり ありません	ほとんど ありません
ア 精神的・肉体的疲労感が軽減した	1	2	3	4
イ 自分の時間を持てるようになった	1	2	3	4
ウ 利用者本人と向き合う余裕ができた	1	2	3	4
エ 介護を続けていく上での安心感を得た	1	2	3	4

すべての方にお答えください。

問 22 現在、主介護者のあなたが、ご本人のために介護や介助している内容は何か。(あては
まるものすべてにO)

1 歯みがき	9 室内の移動	17 坐業・洗腸
2 清拭(身体を拭く)	10 外出の付き添い	18 血圧測定・検温
3 着替えの手伝い	11 通院介助	19 機能訓練(リハビリ支援)
4 入浴の世話	12 掃除・洗濯	20 散歩
5 排せつの介助	13 日常の買い物	21 見守り
6 食事の支度や後片付け	14 体位変換	22 話し相手
7 食事の手助け・胃ろう	15 床ずれの手当	23 その他()
8 服薬の介助	16 たんの吸引	

問 23 現在、主介護者のあなたが介護や介助している内容の中で、今後事業者に依頼したいものは
ありますか。(※選択肢の中には、現行の介護保険制度では事業者にお願できないもの
も含まれています。)(あてはまるものすべてにO)

1 歯みがき	9 室内の移動	17 坐業・洗腸
2 清拭(身体を拭く)	10 外出の付き添い	18 血圧測定・検温
3 着替えの手伝い	11 通院介助	19 機能訓練(リハビリ支援)
4 入浴の世話	12 掃除・洗濯	20 散歩
5 排せつの介助	13 日常の買い物	21 見守り
6 食事の支度や後片付け	14 体位変換	22 話し相手
7 食事の手助け・胃ろう	15 床ずれの手当	23 その他()
8 服薬の介助	16 たんの吸引	24 特になし

問24 次のア～シの各項目について、主介護者のあなたの状態や気持ちに最も近いものを、それぞれ1つずつ選んで○をつけてください。(○はそれぞれ1つずつ)

	よくあてはまる	多少あてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
ア 睡眠時間や休息時間がとれない	1	2	3	4
イ 自分の健康が保てない	1	2	3	4
ウ ストレスがたまっている	1	2	3	4
エ 精神的・肉体的疲労感が限界である	1	2	3	4
オ 自分ひとりが我慢すれば済むと思うことがある	1	2	3	4
カ 介護を続けていく自信がない	1	2	3	4
キ 共倒れしてしまうのではないかと思うことがある	1	2	3	4
ク 本人についていくあたってしまうことがある	1	2	3	4
ケ 本人と意思疎通ができない	1	2	3	4
コ 誰も自分の大変さを理解してくれない	1	2	3	4
サ 家族や親族などの理解・協力が得られない	1	2	3	4
シ 適切な介護の方法や、その相談窓口がわからない	1	2	3	4

問25 ご本人を在宅で介護する上で、主介護者のあなたはどのようなことが重要だと思いますか。(○は3つ以内)

1 緊急時にサービスが利用できること	5 介護者に対する周囲の理解
2 夜間にサービスが利用できること	6 介護者への支援体制が充実すること
3 家の近くでサービスが利用できること	7 介護者自身の心身状況の安定が保たれること
4 在宅医療が受けられること	8 その他 ()

問26 家族等介護者に対して、どのような支援があればよいと思いますか。(○は2つ以内)

1 介護にかかる費用の軽減	4 事業者や介護者同士の交流会
2 身近な場所での介護相談体制	5 その他 ()
3 介護教室・講習会等の開催	6 特にない

10. 不足しているものについて

問27 介護保険事業者に関する情報で、不足していると思うものはありますか。(○は2つ以内)

1 事業者に対する評価や評判等の情報	4 施設の情報
2 ショートステイや施設の空き情報	5 その他 ()
3 詳細なサービス内容	6 特にない

問28 介護保険サービスの利用に際して、不足していると思うサービスはありますか。(介護予防サービスを含む)。(あてはまるものすべてに○)

自宅を訪問するサービス	
1 訪問介護(ホームヘルプ)	13 住宅改修
2 訪問入浴介護	施設サービス
3 訪問リハビリテーション	14 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)
4 訪問看護	15 介護老人保健施設
5 居宅療養管理指導	16 介護療養型医療施設
施設に通って受けるサービス	
6 通所介護(デイサービス)	17 小規模多機能型居宅介護
7 通所リハビリテーション(デイケア)	18 夜間対応型訪問介護
施設等に入所して受けるサービス	
8 短期入所生活介護(ショートステイ)	19 地域密着型介護老人福祉施設(入所者生活介護)
9 短期入所療養介護(ショートステイ)	20 地域密着型特定施設(入居者生活介護)
10 特定施設(有料老人ホーム)	21 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)
福祉用具	
11 福祉用具貸与	22 認知症対応型通所介護
12 福祉用具販売	その他
	23 居宅介護支援(ケアマネジャー)
	24 その他 ()
	25 特にない

11. 制度や窓口の認知度について

問 29 主介護者のあなたは、次の制度や事業について、どの程度知っていますか。(それぞれ○は1つずつ)

	利用している	利用の仕方 は知っている	利用していない	聞いたことが ある程度	知らない
ア. 成年後見制度 認知症や知的・精神障害があり、判断能力の不十分な方の権利を守るために、契約や法的手続の場で、法律面からサポートする制度	1	2	3	4	
イ. 地域福祉権利擁護事業 (日寄生活自立支援事業) 判断能力が不十分な方へのサービスで、福祉サービスの利用支援や日常的金融管理サービス、書類等の預かりサービスなどがある	1	2	3	4	
ウ. 高齢者虐待防止の相談窓口※ 虐待をうけた高齢者、または、虐待をうけたと思われる高齢者を発見した時の相談先	1	2	3	4	
エ. 災害時要援護者登録制度 災害発生時に自力での避難が困難な方を対象に、地域の支援者（民生委員・児童委員、社会福祉協議会、国分寺消防署、自治会・町内会）が、安否確認や避難の介助を行うための制度	1	2	3	4	

※現在、高齢者虐待の相談窓口は市の高齢者相談室です。また、地域包括支援センターにおいても在宅などでの高齢者虐待防止への取り組みを進めています。

12. 認知症について

問30 認知症について「どの程度」ご存知ですか。(○は1つ)

1 よく知っている	3 あまり知らない
2 ある程度知っている	4 まったく知らない

問31 認知症に関する相談先(※)をご存知ですか。(○は1つ)

1 知っている	2 知らない
---------	--------

※認知症については、市内の地域包括支援センターで相談ができます。

→問31-1 認知症に関する相談先として、具体的にどちらをご存知ですか。ご自由にご記入ください。

13. ご意見・ご要望について

すべての方がお答えください。

問 32 現行の介護保険制度や保険者（国分寺市）の施策や事業等に対してご意見・ご要望などがありましたらご自由にご記入ください。

アンケートは以上で終了です。ご協力ありがとうございました。
 回答の終わったアンケート調査票は、同封の返信用封筒に入れて**12月27日(金)**までにポストに投函してください。(切手は不要です。)


国分寺市地域福祉計画 高齢者福祉に関するアンケート (施設等利用者及び家族状況) ～ご協力のお願い～

本調査票は、平成25年11月1日(基準日)時点で要介護(要支援)認定を受けている施設等の入所(入居)者の中からご回答いただく方を無作為に選んで送付させていただきます。現在、施設等を退所されている場合は、本調査票への回答は不要です。恐れ入りますが、送付物すべてを返信用封筒に封入の上、ご返送いただきますようお願い申し上げます。

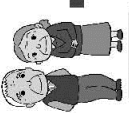
ご記入にあたって

1. 質問は、施設に入所されているご本人が記入してください。
2. ご本人の記入が難しい場合は、本人以外の方(ご家族等)が、ご本人に確認しながらもしくはご本人の立場に立って、記入してください。(施設の方へ:お手数ですが、ご家族が施設訪問された時に調査票をお渡しください。)
3. ご本人の記入が難しい場合で、ご家族等の記入が難しい場合には、恐れ入りますが担当職員の方がわかる範囲でご記入いただけますよう、お願い申し上げます。
4. お答えは、あてはまる番号を選んでO印をつけてください。「その他()」を選んだ方は、カッコ内にその理由を具体的に記入してください。
5. 「1つ」や「3つ以内」などの指定がある時は、その範囲内でO印をつけてください。
6. ご記入は、鉛筆・ボールペンでご記入ください。
7. ご記入いただきました回答は統計的に処理し、国分寺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画画策の際に参考資料として活用させていただきます。

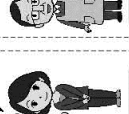
1～5ページの問7までは、施設等入所者ご本人についての質問です。




死名のご本人が記入



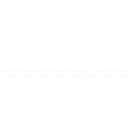
ご本人
ご本人
ご家族等



記入



ご本人、ご家族等の記入が難しい場合は、わかる範囲で担当職員の方が記入
本人の立場に立って



担当職員

5ページのF1～F4は、ご本人のご家族にお答えいただく質問です。
※ただし、該当する方がいらっしゃらない場合は、ご記入不要です。

ご記入いただきましたら、同封の返信用封筒に封入のうえ、
平成25年12月27日(金)(回答期限)までにご投函ください。
○ご不明な点などがございましたら、お手数ですが、下記までお問い合わせください。

国分寺市福祉保健部介護保険課 〒185-8501 国分寺市戸倉一丁目6番地1
電話: 042-325-0111 内線 (536) ※ (土) (日) (祝) 除く9時～17時

1. 施設等入所者ご本人(以下、「ご本人」)の状況について

★この調査票は、どなたがご記入なさいますか。(Oは1つ)

- 1 ご本人が記入
- 2 ご本人に回答を確認しながら、ご本人以外の方が記入
- 3 ご本人の立場に立って、ご本人以外の方が記入

★ご記入された方はどなたですか。(Oは1つ)

- 1 配偶者
- 2 兄弟姉妹、親
- 3 子ども、孫
- 4 子どもの配偶者、孫の配偶者
- 5 親族
- 6 施設の担当職員
- 7 その他(具体的に)

★ご本人の状況についてお伺いします。

F1 性別 (Oは1つ)	1 男性	2 女性				
F2 年齢 (Oは1つ)	1 40歳～64歳	3 70歳～74歳	5 80歳～84歳	2 65歳～69歳	4 75歳～79歳	6 85歳以上
F3 施設の種類 現在入所(入居)している施設はどれですか。(Oは1つ)	<ol style="list-style-type: none"> 1 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム) 2 介護老人保健施設(老人保健施設) 3 介護療養型医療施設(療養型病床等) 4 有料老人ホーム・ケアハウス(特定施設) 5 認知症対応型共同生活介護(グループホーム) 6 その他(具体的に) 					
F3-1 居室のタイプはどれですか。(Oは1つ)	<ol style="list-style-type: none"> 1 個室(ユニット型※個室) 2 個室(従来型の個室) 3 相部屋(多床室) 4 わからぬ 					
F4 入所(入居)理由 現在の施設に入所(入居)した主な理由は、何ですか。(Oは3つ以内)	<ol style="list-style-type: none"> 1 24時間介護やケアが受けられるから 2 専門的な介護やケアが受けられるから 3 ケア内容や設備などがいいから 4 手厚い介護を必要とするから 5 一人で住むには不安があるから 6 家族に迷惑をかけたくないから 7 介護者が高齢等のため、身体介護が困難になったから 8 ご本人が現在の施設入所(入居)を希望したから 9 自宅の構造は介護に適さないから 10 防犯、防災などの面で安心できるから 11 医療的な対応を受けられるから 12 費用負担が安くなるから 13 自宅から近いから 14 その他() 					

F 5 施設の所在地 (○は1つ)	1 国分寺市内 2 市外
F 6 施設の入所期間 現在入所(入居)している施設は、どのくらいの間、利用されていますか。(○は1つ)	5 3年以上5年未満 6 5年以上 7 わからない
F 7 入所待機期間 現在の施設に申込みをしながら入所(入居)するまで、どの程度待ちましたか。(○は1つ)	1 待たずに入れた 2 3か月未満 3 3か月以上6か月未満 4 6か月以上1年未満 5 1年以上3年未満 6 3年以上 7 わからない
F 8 以前お住まいの施設 あるいは住まっていた施設に、入所(入居)する前に、入所(入居)していた施設(あるいはお住まいはどれですか。(○は1つ)	1 自宅 2 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム) 3 介護老人保健施設(老人保健施設) 4 介護療養型医療施設(療養型病床等) 5 有料老人ホーム・ケアハウス(特定施設) 6 認知症対応型共同生活介護(グループホーム) 7 その他(具体的に)
F 9 現在の要介護度 ※ただし、有効期間が満了している方で新しい結果が出ていない方は、有効期間満了時の介護度を記入してください。	1 要支援1 2 要支援2 3 要介護1 4 要介護2 5 要介護3 6 要介護4 7 要介護5
F 10 ご本人の家族構成 (○は1つ)	1 ひとり暮らし 2 夫婦のみ(ふたり暮らし(ともに65歳以上)) 3 夫婦のみ(ふたり暮らし(夫・妻のどちらかが65歳以上)) 4 夫婦のみ(ふたり暮らし(ともに65歳未満)) 5 家族と同居(子どもと同居など) 6 その他の世帯 7 わからない

2. 施設での生活について

問1 ご本人の日常的な金銭管理・預貯金通帳等の管理は誰が行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

1 自分で管理している	3 施設職員が管理している
2 家族や親族が管理している	4 その他()

問2 ご本人が、日頃楽しみにしていることは何ですか。(○は3つ以内)

1 家族や親族との団らん	8 散歩
2 友人や知人との団らん	9 趣味や学習活動
3 施設職員との団らん	10 リハビリテーション
4 ボランティアの人との交流	11 買い物
5 施設でのイベントや行事	12 散髪や化粧
6 施設での食事	13 その他()
7 入浴	

問3 現在の施設に入所(入居)してから、ご本人の生活の中で良くなったと感じることはありますか。(○は3つ以内)

1 穏やかに毎日を過ごせている	5 健康が維持・向上した
2 生活が維持できている	6 筋力など身体機能が維持・向上した
3 自分でできることが増えた	7 その他()
4 日々の生活に張りが出た	8 特に良くなったと感じることはない

問4 ご本人は、現在の施設での生活にどの程度満足していますか。(○は1つ)

1 おおむね満足している	3 どちらかといえは満足していない
2 どちらかといえは満足している	4 満足していない

問5 ご本人は最終的に、どのような場所で暮らしたいですか。(○は1つ)

- 1 現在の施設で介護や治療を受けながら暮らしたい
- 2 緊急時に治療を受けられる病院で暮らしたい
- 3 介護付き有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅で暮らしたい
- 4 自宅で医療や介護を受けながら暮らしたい
- 5 その他 ()

問5-1 施設で生活される場合、ご本人はどのような部屋を希望しますか。(○は1つ)

- 1 個室(ユニット型個室)
- 2 個室(従来型の個室)
- 3 相部屋(多床室)
- 4 個室でも相部屋でもどちらでもよい
- 5 わからない

問5-1-1 個室あるいは相部屋を希望される理由があれば、ご自由にご記入ください。

【参考】施設で生活される場合の1か月あたりの金額の目安(円)(特別養護老人ホームの場合)

	非課税(第2段階)		課税(第4段階)	
	ユニット型 個室	従来型 個室	ユニット型 個室	従来型 個室
食費	12,000	12,000	42,000	42,000
居住費	25,000	13,000	60,000	35,000
介護サービス費(1割負担分)	15,000	15,000	29,800	27,200
合計	52,000	40,000	131,800	104,200

※上記金額は大まかな目安です。所得段階、要介護度、入所施設等によって金額に多少の増減があります。この他にも日常生活費などの負担があります。

3. 施設サービスで大切なことについて

問6 施設サービスで、特に大切だと思うものはどれですか。(○は5つ以内)

- 1 特別養護老人ホームや介護老人保健施設など、介護保険施設の充実
- 2 有料老人ホームやグループホームなど、居住系施設の充実
- 3 高齢者向けの賃貸住宅の充実
- 4 リハビリ機能の充実
- 5 レクリエーション内容の工夫
- 6 事業者情報の充実
- 7 地域住民やボランティアとの交流
- 8 施設入所時の食費や居住費の補助
- 9 その他 ()

4. ご意見・ご要望について

問7 施設での生活の質を向上させるために必要なことなど、ご意見・ご要望などがありましたらご自由にご記入ください。

次頁からはご本人の家族の方がお答えください。ご家族がいない方、ご家族が遠方にお住まいのため回答できない場合はこれで調査は終了です。ご協力ありがとうございます。返信用封筒に入れて、ご返送ください。

5. 家族等介護者の状況について

ご本人の家族等介護者にお伺いします。あてはまるものを1つずつ選んで○をつけてください。

F 1 性別	1 男性	2 女性	
F 2 年齢	1 40歳未満 2 40歳～49歳 3 50歳～59歳	4 60歳～64歳 5 65歳～69歳 6 70歳～74歳	7 75歳～79歳 8 80歳以上
F 3 ご本人との続柄 ご本人からみて、主介護者のあなただはどのような続柄ですか	1 配偶者 2 兄弟姉妹、親 3 子ども、孫	4 子どもの配偶者、孫の配偶者 5 親族 6 その他()	
F 4 職業	1 自営業・自由業 2 勤め人 3 パート・アルバイト	4 専業主婦(夫) 5 無職 6 その他()	

アンケートは以上で終了です。ご協力ありがとうございました。
 回答の終わったアンケート調査票は、同封の返信用封筒に入れて**12月27日(金)**までにポストに投函してください。(切手は不要です。)

国分寺市地域福祉計画 高齢者福祉に関するアンケート (介護保険事業者)

～ご協力のお願い～

本調査は、国分寺市とその周辺地域に所在し、国分寺市民にサービス提供されている事業者を対象として、サービス種別毎に実施しています。従いまして、複数のサービスを提供されている法人等につきましては、事業者所在地毎に、サービス種別毎に本調査票を送付させていただきます。お手数をお掛けし恐縮と存じますが、サービス種別毎にご協力賜りますようお願い申し上げます。

ご記入にあたって

1. ご回答にあたっては、一部の設問を除き**11月1日時点での状況をご記入**ください。
2. 裏紙の事業種別欄に印字されたサービスについてご記入ください。
3. 設問によっては、職員の人数を記入頂く場合がありますが、「業務」「専任」あわせの数でご記入ください。
4. 貴事業所単独で判断がつかない設問については、意見調整をお願いいたします。
5. お答えは、あてはまる番号を選んで○印をつけてください。
6. 「その他（ ）」を選んだ方は、カッコ内にその内容を具体的に記入してください。
7. 「1つ」や「3つ以内」などの指定がある時は、その範囲内で○印をつけてください。
8. ご記入は、鉛筆・ボールペンでご記入ください。
9. ご記入いただいた回答は統計的に処理し、国分寺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定の際に参考資料として活用させていただきます。統計的に処理するため、事業者は特定されません。

●本調査票は、次の事業についてご記入ください。

事業種別	
-------------	--

ご記入いただきましたら、同封の返信用封筒に封入のうえ、
平成25年12月27日（金）（回答期限）までにご投函ください。

○ご不明な点などがございましたら、お手数ですが、下記までお問い合わせください。

国分寺市福祉保健部介護保険課 〒185-8501 国分寺市戸倉一丁目6番地1
電話：042-325-0111 内線（536） ※（土）（日）（祝）除く9時～17時

★すべての事業種別で共通の様式を使用しておりますので、事業種別によっては設問・選択肢がそぐわない場合がございます。ご記入いただける範囲でご協力をお願いいたします。
●すべての回答は管理者の方がご記入ください。

事業所名				
所在地	市 区			
連絡先	電話	（ ）	FAX	（ ）
ご記入者名				役職

1. 貴事業所の概要

問1 次の(1)～(5)について、あてはまるものを1つずつ選んで○をつけてください。

<p>(1) 法人格の種類</p> <p>(2) 貴事業所の所在地</p> <p>(3) 貴事業所の職員体制</p> <p>(右表の枠内に、該当する人数を記入してください)</p> <p>(4) 上記「正規職員」の勤務年数（該当する人数を記入してください）</p> <p>(5) 定期健康診断の実施状況（労働安全衛生法規定）</p>	<p>1 社会福祉法人</p> <p>2 特定非営利活動法人（NPO法人）</p> <p>3 株式会社</p> <p>4 有限会社</p> <p>5 医療法人</p> <p>6 生活協同組合</p> <p>7 その他</p> <p>1 国分寺市内</p> <p>2 市外</p> <p>ここでは、以下のとおり分類します。</p> <p>・常勤労働者(※1)：事業所の定める所定労働時間をすべて勤務する者</p> <p>・短時間労働者(※2)：1日の所定労働時間又は1週間の労働日数が、常勤労働者より少ない者（登録ヘルパーを除く）</p> <p>・登録ヘルパー(※3)：働くことができるときは時間外に勤務する者(訪問介護事業所のみ)</p> <p>・正規職員以外(※4)：「派遣・契約・臨時・パートタイム」職員などの者</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2">正規職員</th> <th colspan="2">正規職員以外(※4)</th> </tr> <tr> <th>男</th> <th>女</th> <th>男</th> <th>女</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(人)</td> <td style="text-align: center;">(人)</td> <td style="text-align: center;">(人)</td> <td style="text-align: center;">(人)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td colspan="2">計</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">(※1)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">(※1)</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">(※2)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">(※2)</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">(※3)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">(※3)</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">(※4)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">(※4)</td> </tr> </table> <p>【正規職員の勤務年数別内訳】</p> <p>1年未満(人) 1～3年未満(人) 3年以上(人)</p> <p>※(人)の数字の合計が、上記表の太枠の合計に合うようにご記入ください。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>常勤労働者</th> <th>1 している</th> <th>2 していない</th> </tr> <tr> <th>短時間労働者</th> <th>1 している</th> <th>2 していない</th> </tr> <tr> <th>登録ヘルパー（訪問介護事業者のみ）</th> <th>1 している</th> <th>2 していない</th> </tr> </table>	正規職員		正規職員以外(※4)		男	女	男	女	(人)	(人)	(人)	(人)	計		計		(※1)		(※1)		(※2)		(※2)		(※3)		(※3)		(※4)		(※4)		常勤労働者	1 している	2 していない	短時間労働者	1 している	2 していない	登録ヘルパー（訪問介護事業者のみ）	1 している	2 していない
正規職員		正規職員以外(※4)																																									
男	女	男	女																																								
(人)	(人)	(人)	(人)																																								
計		計																																									
(※1)		(※1)																																									
(※2)		(※2)																																									
(※3)		(※3)																																									
(※4)		(※4)																																									
常勤労働者	1 している	2 していない																																									
短時間労働者	1 している	2 していない																																									
登録ヘルパー（訪問介護事業者のみ）	1 している	2 していない																																									

問2 平成24年度（平成24年4月1日から平成25年3月31日まで）で、貴事業所で採用した人数、
離職した人数についてお伺いします。

(1) 採用した人数

	正規職員		正規職員以外		計
	男	女	男	女	
常勤労働者					
短時間労働者					

(2) 離職した人数

	正規職員		正規職員以外		計
	男	女	男	女	
常勤労働者					
短時間労働者					

2. 利用者の人権の尊重について

問3 貴事業所において、利用者の意思や尊厳の尊重、施設内での虐待防止等、利用者の人権を擁護するために講じている取組にはどのようなものがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 認知症、高齢者虐待等に関する研修を実施したり、外部研修へ参加をしている
- 2 他施設と情報交換等の交流をしている
- 3 人員配置上の工夫をしている(夜勤体制の強化等)
- 4 施設内外の多職種(医師やケアマネジャー等)間の連携を高めている
- 5 規則等の再検討や、業務内容(一斉介助や流石作業等)の見直しを行っている
- 6 虐待防止に関する施設全体の方針を設定し、管理者の責任を明確化している
- 7 虐待防止に関する委員会や相談窓口を設置し、担当者を決めている
- 8 苦情対応等の対応状況に関する点検評価を外部から受ける仕組みを導入している
- 9 家族等にサービスの内容を知らせている
- 10 施設の情報公表を進めている(福祉サービス第三者評価等の利用)
- 11 その他()
- 12 特にない

3. 事故防止、感染予防の取組について

問4 サービス提供を通して利用者の身に起こり得る「事故(例:転倒・誤嚥等)」について、貴事業所で事故防止や、事故を最小限に止めるために講じている取組にはどのようなものがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 事故防止マニュアルの作成
- 2 事故防止研修の実施
- 3 事故防止ミーティングの実施
- 4 ヒヤリ・ハット報告の徹底
- 5 事故発生時の対応マニュアルの作成
- 6 救急車の呼び方マニュアルの作成
- 7 仮急処置研修の実施
- 8 その他()
- 9 特にない

問5 サービス提供を通して利用者の身に起こり得る「感染症の発症」(職員から利用者、利用者から利用者、来訪者等の部外者から利用者)について、貴事業所で講じている予防策にはどのようなものがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 感染症予防マニュアルの作成
- 2 職員への感染症の正しい知識の提供
- 3 職員への利用者の感染状況に関わる情報提供
- 4 職員への手袋や被服等の貸与
- 5 安全衛生ミーティング
- 6 職員への手洗い・うがい・消毒の奨励
- 7 職員への予防接種の実施
- 8 入浴服を工夫する等の個別対応
- 9 その他()
- 10 特にない

4. 利用者からの苦情・相談内容とその対応について

問6 利用者やその家族から、どのような「苦情」や「相談」が多いですか。(○は3つ以内)

- 1 サービスの質
- 2 従事者の態度
- 3 管理者等の対応
- 4 説明・情報の不足
- 5 契約・手続関係
- 6 具体的な被害・損害
- 7 利用者負担
- 8 その他()
- 9 特にない

問7 「苦情」や「相談」の対応体制についてお伺いします。(○はそれぞれ1つずつ)

	ある	ない
ア 苦情相談窓口	1	2
イ 担当者の配置	1	2
ウ 苦情相談マニュアル	1	2
エ 苦情相談記録簿	1	2
オ 職員間で共通認識を持つ機会	1	2

5. サービスの質の向上に向けた課題について

問8 貴事業所で課題となっているものはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------|---------------------------|
| 【経営面】 | 13 制度改正に対応した利用者への説明 |
| | 14 利用者にかかりやすい説明書の工夫 |
| | 15 利用者のプライバシー保護・個人情報管理の徹底 |
| 【人材面】 | 16 サービス担当会議への積極的な参加 |
| | 17 苦情処理対応の充実 |
| 【連携】 | 18 家族等介護者とのつながり |
| | 19 福祉系事業者との連携 |
| | 20 医療系事業者との連携 |
| | 21 医療機関との連携 |
| | 22 地理包括支援センターとの連携 |
| | 23 ホランディアの受け入れ、連携 |
| | 24 その他 () |
| 【サービスの質】 | 10 各種マニュアルの作成 |
| | 11 サービスの自己評価の取り組み |
| | 12 利用者にとって有益な情報開示の推進 |

6. 報酬改定や処遇改善等の影響について

職員に対する処遇全般の設問になりますので、訪問看護など人員配置基準上、介護職員のいないサービスを提供されている事業所様もご回答ください。

問9 平成24年4月以降の、貴事業所における介護職員の処遇改善の取組状況について、お伺いします。(○はそれぞれ1つずつ)

	実施済み	実施予定	予定なし
ア 基本給のアップ	1	2	3
イ 基本給以外で、賞与のアップ	1	2	3
ウ 基本給以外で、資格等の手当のアップ	1	2	3
エ 福利厚生(保険・住居等)の充実	1	2	3
オ 教育・研修の充実	1	2	3
カ 職員配置の拡充	1	2	3
キ その他 ()	1	2	3

問10 貴事業所では、介護職員の処遇改善を行う上で、どのような課題があると考えますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---------------------------------------|
| 1 介護報酬処遇改善加算はあっても、職員の処遇改善にまでは回らない |
| 2 事業の安定運営が最優先で、職員の処遇改善にまでは回らない |
| 3 介護職員の処遇改善をしても、人材確保や定率率向上に結びつかない |
| 4 今後の制度改正や介護報酬改定を見据えると、給与体系まで手がつけられない |
| 5 その他 () |
| 6 特に課題はない |

問11 貴事業所では、平成24年度の収入額は、前年度(平成23年度)に比べてどうなりましたか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1 大きく増えた(2割増以上) | 5 少し減った(1割減未満) |
| 2 増えた(1割増以上2割増未満) | 6 減った(1割減以上2割減未満) |
| 3 少し増えた(1割増未満) | 7 大きく減った(2割減以上) |
| 4 ほぼ変わらない | |

問11-1 収入額が増減した理由は何か。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|-----------|
| 1 利用者人数の増減 | 4 加算の取得 |
| 2 利用者一人当たりの利用単価の増減 | 5 その他 () |
| 3 提供サービスの拡大・縮小 | |

7. 人材の確保について

問12 貴事業所では、職員の早期離職の防止や定着促進に向けた取組を行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------------|--------------------------------|
| 1 賃金・労働時間等の労働条件を改善する | 6 キャリアの発達しを持って安定して働き続けられるようにする |
| 2 労働時間の希望を聞く | 7 研修等、人材育成を促させる |
| 3 仕事内容の希望を聞く | 8 福利厚生を充実させる |
| 4 職場環境を整える | 9 その他 () |
| 5 職場内の交流を深め、コミュニケーションの円滑化を図る | 10 特に行っていない |

問13 貴事業所では、人材確保に向けた取組を行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--------------------------------------|
| 1 教育機関との連携を深めている |
| 2 貴事業所(又は法人)で資格取得講座を開講し、修了者から採用している |
| 3 就労希望者の情報がより早く得られるように職員や和人に声かけをする |
| 4 貴事業所(又は法人)の存在を周知させるために定期的な広告を出している |
| 5 採用時に賃金・労働条件を他社に比べ高くしている |
| 6 採用時に労働日数・時間の希望を出来るだけ聞き入れている |
| 7 無資格者を採用し、採用後に資格取得講座を受講させている |
| 8 上位資格の取得にあたって受講料補助等の支援をしている |
| 9 その他 () |
| 10 特に行っていない |

8. 第三者評価の受審状況について

★この設問は、居宅介護支援、訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、通所介護、短期介護、短期入所生活介護、特定施設入居者生活介護、福祉用具貸与、介護老人福祉施設、介護老人保健施設、小規模多機能型居宅介護、認知症対応型共同生活介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護の各サービスを提供している事業者がお答えください。

★上記以外のサービス提供事業者は、「9. ご意見・ご要望について」へお進みください。

問14 「東京都福祉サービス評価推進機構」が認証した「第三者評価機関」による「福祉サービス第三者評価」を受けていますか。また、受けるお考えはありますか。(○は1つ)

- 1 年1回受審している
- 2 定期的ではないが、受審している
- 3 受審していないが、検討している
- 4 受審していないし、今後受審する予定もない

問14-1 受審していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 受審費用が高いから
- 2 自治体の補助が少ないから
- 3 この評価機関で受審したらよいか判断できないから
- 4 受審の手続き方法がわからないから
- 5 他事業所がまだ受審していないから
- 6 介護サービス情報の公表が義務化されたから
- 7 ISOの認証を受けているから
- 8 受審するために必要な評価機関に符合だけのメリットを感じられないから
- 9 評価制度そのものに疑問を持っているから
- 10 その他 ()

9. ご意見・ご要望について

問15 介護保険制度や保険者（国分寺市）に対してのご意見・ご要望など、ご自由にご記入ください。

記入例：
 ・介護保険施設、緊急シヨートステイ施設、地域密着型サービス等の整備が不十分のため、利用者の利用意向にあった適切なサービス供給に支援をきかしている
 ・夜間対応型訪問介護の需要に応えられない状況である

アンケートは以上で終了です。ご協力ありがとうございました。
 回答の終わったアンケート調査票は、同封の返信用封筒に入れて12月27日（金）までにポストに投函してください。(切手は不要です。)

国分寺市地域福祉計画 高齢者福祉に関するアンケート (ケアマネジャー)

～ ご協力のお 願 い ～

皆様には日ごろから当市の保健福祉行政にご理解・ご協力いただき、ありがとうございます。国分寺市では、現在、保健福祉分野の総合的・包括的な行政計画として社会福祉法に基づく地域福祉計画の策定を予定しています。その中の高齢者編として、「国分寺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」を策定いたします。つきましては、ケアマネジャーの皆様から、業務の状況や当市の高齢者福祉施策に対するご意見等をできるだけ多くお聞きすることが大変重要と考え、アンケートを実施することといたしました。このアンケート調査は、国分寺市ケアマネジャー連絡会に所属されている居宅介護支援事業所のケアマネジャー及び国分寺市民にサービス提供されている居宅介護支援事業所のケアマネジャーを対象にご協力をお願いするものです。ご回答いただいた調査内容は、国分寺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定の参考として利用するものであり、回答者個人が特定されたり、他の目的に利用することは一切ありません。お忙しいところ、お手数をおかけしますが、趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成25年12月

国分寺市長 井澤 邦夫

ご記入にあたって

1. お答えは、あてはまる番号を選んで○印をつけてください。
2. 「その他（ ）」を選んだ方は、カッコ内にその内容を具体的に記入してください。
3. 「1つ」や「3つ以内」などの指定がある時は、その範囲内で○印をつけてください。
4. ご記入は、鉛筆・ボールペンでご記入ください。
5. ご記入いただきました回答は統計的に処理し、国分寺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定の際に参考資料として活用させていただきます。

ご記入いただきましたら、同封の返信用封筒に封入のうえ、
平成25年12月27日（金）（回答期限）までにご投函ください。

○ご不明な点などがございましたら、お手数ですが、下記までお問い合わせください。

国分寺市福祉保健部介護保険課 〒185-8501 国分寺市戸倉一丁目6番地1
電話：042-325-0111 内線（536） ※（土）（日）（初）除く9時～17時

◆あなたご自身の状況

問1 次の（1）～（7）についてお伺いします。

(1) 性別	1 男性	2 女性	
(2) 年齢	1 30歳未満	3 40～49歳	5 60歳以上
	2 30～39歳	4 50～59歳	
(3) 経歴年数	① 介護支援専門員業務経歴年数 □□ □□ 年 □□ □□ 月		
	② 上記①以外の相談業務・ケアコーディネーター業務経歴年数 □□ □□ 年 □□ □□ 月 (○以外の年数)		
(4) 就業形態 ()には、兼務している業務を記入してください。	1 単独で専従		
	2 単独で兼務 (兼務業務:)		
	3 非単独で専従		
	4 非単独で兼務 (兼務業務:)		
(5) 事業所の業務形態	1 単独 2 他の事業と併設		
(6) 健康診断の受診状況 (○は1つ)	1 職場で定期的に受けている		
	2 職場で不定期だが受けている		
	3 職場で実施されていないので自費で受けている		
	4 受けていない (理由:)		
(7) 労働災害の経験 (あてはまるものすべてに○)	1 感染症 (インフルエンザ・麻疹・水虫等含む) に感染した		
	2 移動中の事故		
	3 身体上の自覚症状 (骨・腱・関節・筋力の痛み等) が現れた		
	4 その他の自覚症状 (ストレス・疲労感・不眠等) が現れた		
	5 その他 ()		
	6 労働災害の経験はない		

1. 利用者から望まれる事業者情報について

問2 利用者から「提供してほしい」または「不足している」との声が多い事業者情報は何ですか。(○は3つ以内)

1 ジョイントステイ等の空き情報	6 通所施設等の情報
2 ヘルパー等、従事者の力量	7 特別介護老人ホームの待機期間
3 複数の事業者を比較できる情報	8 リハビリ内容の情報
4 提供しているサービスの質	9 その他 ()
5 提供しているサービスの詳細な内容	10 特になし

2. サービスの供給について

問3 ケアマネジャーから見て、供給が不足していると感じられるサービスはありますか。（あてはまるものすべてに○）

1 訪問介護	10 特定施設入居者生活介護	19 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
2 訪問入浴介護	11 福祉用具貸与	20 地域密着型特定施設入居者生活介護
3 訪問介護（特）	12 福祉用具購入	21 認知症対応型共同生活介護
4 訪問看護	13 在宅改修	22 認知症対応型通所介護
5 居宅療養管理指導	14 介護老人福祉施設	23 特になし
6 通所介護	15 介護老人保健施設	
7 短期入所生活介護	16 介護療養型医療施設	
8 短期入所介護	17 小規模多機能型居宅介護	
9 短期入所療養介護	18 夜間対応型訪問介護	

問3-1 問3で不足していると回答したサービスについて、代替方法があれば、主なサービス3つについてまでご記入ください。（サービス番号欄には、問3の選択肢の番号を記入してください。）

サービス番号	代替方法

問4 介護保険サービスのメニュー以外で、在宅生活を送る上で必要と思われるサービスや支援内容はありますか。（○は3つ以内）

1 ごみ出し	5 話し相手	9 その他
2 外出の付き添い	6 電球交換などの簡易なサポート	()
3 買い物支援	7 履の替取り	10 特になし
4 安否確認などの声かけ	8 ベットの世話	

3. 苦情・相談事例について

問5 利用者やその家族から寄せられる苦情や相談は、どのようなものが多いですか。（あてはまるものすべてに○）

1 希望する施設の定員がいっぱいで入所できない
2 医療措置が必要な場合、入所可能な施設が見つからない
3 希望日（特）（日・祝・年末年始）や希望施設（特）（近隣）にショートステイの空きがない
4 緊急時にショートステイが利用できなかった
5 その他（)
6 特になし

4. 業務内容について

問6 平成24年4月の報酬改定後の業務負担感について伺います。（○は1つ）

1 負担が増えた	3 負担が減った
2 変わらない	4 報酬改定前は働いていない

問6-1 どのような点で負担が増えたと感じますか。（あてはまるものすべてに○）

1 ケアプランの説明や承認	3 事務量の増加
2 在宅改修関連業務	4 その他（)

問7 あなた自身で受け持つ仕事量について、どのように評価しますか。（○は1つ）

1 十分こなせている	3 あまりこなせていない
2 どちらかというとこなせている	4 こなせていない

問8 「ケアプラン」に基づいたサービスが提供されているかどうか、また、「契約」事項が守られているかどうかの確認は、ケアマネジメント業務の一部です。サービスの質（中身）についての履行確認はどのような方法で行っていますか。（あてはまるものすべてに○）

1 訪問時に利用者やその家族からの聞き取り	4 サービス提供記録での確認
2 サービス提供事業者との連絡	5 電話・FAXでの利用者やその家族からの聞き取り
3 サービス利用時の記録確認や施設訪問	6 その他（)

5. 感染症について

問9 利用者が感染症に罹っているかどうかを確認する手段としては、利用者やその家族からの申し出が主なものとして考えられます。しかし、(1)「利用者やその家族自身が感染症に気がついていない場合」や、(2)「サービスを利用し始めてから感染したり、発症した場合」など、(1)利用者やその家族自身が感染症に気がついていないケースに直面したことがありますか。（○は1つ）

1 ある	2 ない
------	------

●情報入手方法（一番多いものに◎を、その次に多いものに○を）

1 サービス提供事業者からの情報提供	4 診断書（写し含む）
2 医療機関（主治医含む）からの情報提供	5 訪問時に自分の眼で気がついた
3 主治医感染管理室の写し（介護認定審査会資料）	6 その他（)

(2) サービスを利用し始めてから感染したり、発症したケースに直面したことがありますか。（○は1つ）

1 ある	2 ない
------	------

●情報入手方法（一番多いものに◎を、その次に多いものに○を）

1 サービス提供事業者からの情報提供	5 訪問時に自分の眼で気がついた
2 医療機関（主治医含む）からの情報提供	6 利用者やその家族からの報告
3 主治医感染管理室の写し（介護認定審査会資料）	7 その他（)
4 診断書（写し含む）	

6. 業務上の悩みや問題点について

問 10 あなたは、業務上の「悩み」や「問題点」を誰に相談していますか。(あてはまるものすべてに○)(※選択肢「7」,「8」については守秘義務を伴うものを除く。)

- 1 職場の上司・同僚
- 2 職場以外のケアマネジャー
- 3 利用者の担当サービス提供責任者
- 4 保険者(国分寺市)
- 5 地域包括支援センター
- 6 医師・看護師
- 7 友人・知人※
- 8 家族・親戚※
- 9 その他()
- 10 相談していない

問 10-1 相談していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 忙しくて相談する時間がどれくらいから
- 2 職場内外とも相談体制が整っていないから
- 3 信頼できる相談相手がいらないから
- 4 相談先がわからないから
- 5 相談しても無駄だから
- 6 自分で解決しているから
- 7 その他()

7. ケアマネジメントの質の向上について

問 11 ケアマネジメントの質の向上に向けて、どのような「知識」が必要だと思いますか。また、更に向上させたいと思いませんか。

【質の向上に向けて、必要だと思われる知識】(あてはまるものすべてに○)

- 1 自治体毎の施策や担当部署等の知識
- 2 成年後見制度に関する知識
- 3 地域福祉権利擁護事業に関する知識
- 4 在宅改修に関する知識
- 5 医療・保健に関する知識
- 6 リハビリテーションに関する知識
- 7 福祉用具の利用方法に関する知識
- 8 高齢者虐待に関する知識
- 9 病気(認知症等)、症状(麻痺・痛み・発作・日差変動等)、障害(高次脳機能障害等)に関する知識
- 10 会話(コミュニケーション)技術
- 11 地域のボランティア情報
- 12 その他()

【質の向上に向けて、更に向上させたい知識】(あてはまるものすべてに○)

- 1 自治体毎の施策や担当部署等の知識
- 2 成年後見制度に関する知識
- 3 地域福祉権利擁護事業に関する知識
- 4 在宅改修に関する知識
- 5 医療・保健に関する知識
- 6 リハビリテーションに関する知識
- 7 福祉用具の利用方法に関する知識
- 8 高齢者虐待に関する知識
- 9 病気(認知症等)、症状(麻痺・痛み・発作・日差変動等)、障害(高次脳機能障害等)に関する知識
- 10 会話(コミュニケーション)技術
- 11 地域のボランティア情報
- 12 その他()

8. サービス担当者会議の開催について

問 12 サービス担当者会議について伺います。利用者の心身の状態や環境の変化、保健・福祉・医療サービスの利用状況及び経過などから、サービス担当者会議を開催する機会を的確に捉えて、適切に開催していますか。(○は1つ)

- 1 よくあてはまる
- 2 どちらかというとあてはまる
- 3 あまりあてはまらない
- 4 まったくあてはまらない

問 12-1 問 12で「2」～「4」のいずれかを選んだのはどのようなことが原因ですか。

(あてはまるものすべてに○)

- 1 業務多忙につき時間がないため
- 2 参加者との調整が難しいため
- 3 開催場所がないため
- 4 自分の勉強不足のため
- 5 職場環境が整っていないため
- 6 関連機関や各種専門職との連携がうまく取りづらいため
- 7 家族の協力が得られないため
- 8 その他()

9. 保険者に対する評価について

問 13 保険者(国分寺市)に対して不満に感じることは、どのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 受付場所が少ない
- 2 窓口対応が悪い
- 3 書類を郵送で処理できない
- 4 各種手続きが煩雑
- 5 予防プラン提出先が異なる
- 6 申請から介護認定までの時間の長さ
- 7 困難事例に対する相談体制や受け止めが不十分
- 8 制度に関する広報が少ない
- 9 制度の経過説明が少ない
- 10 訪問日と利用者預書種の送付タイミングがずれる
- 11 余計な通知が多い
- 12 その他()
- 13 特になし

10. ケアマネジャーへの支援について

問 14 保険者(国分寺市)が行うケアマネジャーへの包括的支援として、どのようなことが望まれますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 各種研修の充実
- 2 事例検討会の開催
- 3 相談体制の強化
- 4 地域の医療機関との連携
- 5 認定審査会における町帯意見
- 6 利用者や家族への介護保険制度の周知徹底
- 7 事業者に対する指導の徹底
- 8 インターネットによるケアマネ支援情報の発信
- 9 高齢者虐待事例の相談・助言
- 10 成年後見制度に関する相談・助言
- 11 消費者被害に関する相談・助言
- 12 その他()

問 15 保険者(国分寺市)に相談したいことがありますか。ご自由にご記入ください。

11. 関係機関との連携について

問16 関係機関との連携について伺います。次にあげる人たちの連携状況はいかがでしょうか。
(○はそれぞれ1つずつ)

	十分連携が 図れている	どちらかど ちらと連携は 図れている	あまり連携は 図れていない	まったく連携は 図れていない	連携を図る 必要がない
①他の居宅介護支援事業者	1	2	3	4	5
②他の介護保険事業所	1	2	3	4	5
③地域包括支援センター	1	2	3	4	5
④ボランティア・NPO	1	2	3	4	5
⑤行政機関	1	2	3	4	5
⑥社会福祉協議会	1	2	3	4	5
⑦民生委員	1	2	3	4	5

問17 上記の人たちとどのような連携を取っていますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 勉強会、ケース検討会の共同開催
- 2 利用者の症負担超過が見込まれる場合や空きがある場合の連携
- 3 困難事例等の相談
- 4 その他()
- 5 特になし

12. 医療との連携について

問18 あなたの事業所において、かかりつけ医や歯科医との連携が必要だと感じるケースでは、実際に連携が図れていると思いますか。(○は1つ)

- 1 十分に連携が図れていると思う
- 2 どちらかという連携は図れていると思う
- 3 あまり連携は図れていないと思う
- 4 まったく連携は図れていないと思う
- 5 その他()

1→問18-2へお進みください

→問18-1 かかりつけ医や歯科医との連携はどのような方法で行っていますか。(○は3つ以内)

- 1 事前に時間調整を行い、かかりつけ医や歯科医(病院・診療所)を訪問して面談している
- 2 ほとんどの場合、質問内容を電話でやりとりし、必要がある場合に面談している
- 3 電話で連絡を取り、面談はしていない
- 4 診療情報提供書等の書類等で連絡を取り、面談はしていない
- 5 サービス担当者会議等に参加して連携をとっている
- 6 利用者やその家族を通して話を聞いている
- 7 その他()

→問19へお進みください

問18-2 医療との連携が図れていない理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 日程を調整することが難しい
- 2 自分自身の医療的な知識が不足している
- 3 医師の介護保険制度に対する理解が少ない
- 4 連携の必要性を感じない
- 5 その他()

問19 あなたの事業所において、退院加算が増えたことにより、医療機関との連携が進んでいますか。(○は1つ)

- 1 進んでいる
- 2 変わらない
- 3 その他()

13. ご意見・ご要望について

問20 介護保険制度や保険者(国分寺市)に対してのご意見・ご要望など、ご自由にご記入ください。

アンケートは以上で終了です。ご協力ありがとうございました。
回答の終わったアンケート調査票は、同封の返信用封筒に入れて12月27日(金)までにポストに投函してください。(切手は不要です。)

国分寺市地域福祉計画 高齢者福祉に関するアンケート (介護職員等)

～ ご協力のお願い ～

皆様には日ごろから当市の保健福祉行政にご理解・ご協力いただき、ありがとうございます。

国分寺市では、現在、保健福祉分野の総合的・包括的な行政計画として社会福祉法に基づく地域福祉計画の策定を予定しています。その中の高齢者編として、「国分寺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」を策定いたします。つきましては、介護に従事されている皆様から、介護の現場の様子やご意見等をできるだけ多くお聞きすることが大変重要と考え、アンケートを実施することといたしました。

このアンケート調査は、国分寺市とその周辺地域に所在し、国分寺市民にサービス提供されている事業者の介護職員等を対象にご協力をお願いするものです。ご回答いただいた調査内容は、国分寺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定の参考として利用するものであり、回答者が特定されたり、他の目的に利用することは一切ありません。お忙しいところ、お手数をかけますが、趣意をご理解いただき、ご協力ください。よろしくお願いいたします。

平成25年12月

国分寺市長 井澤 邦夫

ご記入にあたって

1. お答えは、あてはまる番号を選んで○印をつけてください。
2. 「その他()」を選んだ方は、カッコ内にその内容を具体的に記入してください。
3. 「1つ」や「3つ以内」などの指定がある時は、その範囲内で○印をつけてください。
4. ご記入は、鉛筆・ボールペンでご記入ください。
5. ご記入いただきました回答は統計的に処理し、国分寺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定の際に参考資料として活用させていただきます。

ご記入いただきましたら、同封の返信用封筒に封入のうえ、
平成25年12月27日(金)(回答期限)までにご返函ください。

○ご不明な点などがございます場合は、お手数ですが、下記までお問い合わせください。

国分寺市福祉保健部介護保険課 〒185-8501 国分寺市戸倉一丁目6番地1
電話：042-325-0111 内線(536) ※(土)(日)(祝)除く9時～17時

1. 介護職員(以下、「あなた」)の状況について

問1 あなたの現在働いている事業所についてお伺いします。

(1) 現在働いている事業所の経営主体	1 社会福祉法人 2 特定非営利活動法人(NPOの法人) 3 株式会社 4 有限会社	5 医療法人 6 生活協同組合 7 その他 ()
(2) 現在働いている事業所の従業員規模(パート含む)	1 5人未満 2 5人以上10人未満 3 10人以上20人未満 4 20人以上50人未満	5 50人以上100人未満 6 100人以上 7 わからない
(3) 現在働いている事業所の主な介護サービス種類(Oは1つ)	1 訪問介護 2 訪問入浴介護 3 訪問リハビリテーション 4 訪問看護 5 居宅療養管理指導 6 通所介護 7 通所リハビリテーション 8 短期入所生活介護 9 短期入所療養介護 10 特定施設入居者生活介護 11 福祉用具貸与 12 特定福祉用具販売 13 住宅改修	14 介護老人福祉施設 15 介護老人保健施設 16 介護療養型医療施設 17 小規模多機能型居宅介護 18 夜間対応型訪問介護 19 地域密着型高齢者福祉施設 20 地域密着型特定施設入居者生活介護 21 認知症対応型共同生活介護 22 認知症対応型通所介護 23 居宅介護支援 24 送迎サービス 25 高齢者緊急ショートステイサービス 26 その他()

問2 あなたご自身についてお伺いします。

(1) 性別	1 男性 2 女性
(2) 年齢	1 30歳未満 2 30～39歳 3 40～49歳 4 50～59歳 5 60歳以上
(3) 現在取得している介護に関する資格(あてはまるものすべてに○)	1 訪問介護員(ホームヘルパー) 2 社会福祉士 3 介護福祉士 4 作業療法士 5 理学療法士 6 看護師・准看護師 7 介護支援専門員(ケアマネジャー) 8 福祉住環境コーディネーター 9 栄養士 10 管理栄養士 11 福祉用具専門相談員 12 保健師 13 保育士 14 調理師 15 その他()
(4) 健康診断の受診状況	1 職場で定期的に受けている 2 職場で不定期だが受けている 3 職場で実施されていないので自費で受けている 4 受けていない(理由:)

(5) 労働災害の 経緯 (あてはまるものす べてに○)	1 感染症(インフルエンザ・疥癬・水虫等含む)に感染した 2 移動中の事故 3 身体上の自覚症状(肩・腿・関節・筋肉の痛み等)が現れた 4 その他の自覚症状(ストレス・疲労感・不眠等)が現れた 5 その他() 6 労働災害の経験はない
(6) 主たる生計 維持者※	1 自分(本人) 2 自分(本人)以外 3 生活費は折半等 維持者※

※主たる生計維持者……世帯で最も生活費を負担している方のこと

2. 現在の職場の状況について

問3 あなたが現在働いている事業所を知ったきっかけは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1 職員や知人を通して	4 求人情報サイト	7 その他
2 ハローワーク	5 事業所や法人のホームページ	()
3 新聞広告	6 学校や施設	()

問4 現在働いている事業所でのあなたの就業状況についてお伺いします。

(1) 現在の主な 仕事 (○は1つ)	1 訪問介護員(ヘルパー) 4 看護職員 7 作業療法士 2 サーチング提供責任者 5 生活相談員 8 機能訓練指導員 3 介護職員 6 理学療法士 9 その他()
(2) 上記仕事の 経年数	①現在働いている事業所での経年数 ()年()カ月 ②他事業所での経年数(含む)総経年数 ()年()カ月
(3) 就業形態 (○は1つ)	1 正規職員 3 正規職員以外で短時間労働者 2 正規職員以外で常勤労働者 4 正規職員以外で登録ヘルパー(訪問介護員) ※ここでは、以下のとおり分類します。 「正規職員以外」:「派遣・契約・臨時・パートタイム」職員などの者 「常勤労働者」: 事業所の定める所定労働時間を全て勤務する者 「短時間労働者」: 1日の所定労働時間又は1週間の労働日数が常勤労働者より少ない者(登録ヘルパーを除く) 「登録ヘルパー」: 働くことができる時間を事業所に登録しておき、本人の都合の良い時だけ勤務する者(訪問介護事業所のみ)
(4) 労働時間	週の所定労働時間 ()時間 ※登録ヘルパーの方は、週の平均労働時間をご記入ください。
(5) 賃金の支払 形態 (○は1つ)	1 時間給(1時間当たり) ()円 2 日給(1日当たり) ()円 3 月給 4 その他(支払形態:) ※「月給」「その他」を選んだ方は、金額を記入しなくて結構です。

(6) 昨年1年間 ※の収入(賞与 及び残業・諸手 当等を含む)	1 103万円未満 2 103万円～130万円未満 3 130万円～200万円未満 4 200万円～250万円未満 5 250万円～300万円未満	6 300万円～400万円未満 7 400万円～600万円未満 8 600万円以上 9 昨年は1年を通じて働いていない
---	---	--

※昨年1年間とは、平成24年1月1日～平成24年12月31日のこと。

問5 あなたが現在の仕事を選んだ理由は何か。(あてはまるものすべてに○)

1 働きがいのある仕事だと思っただから	8 介護の知識や技術が身につくから
2 今後ニーズが高まる仕事だから	9 給与等の収入が多いから
3 人や社会の役に立ちたいから	10 自分や家族の都合の良い時間(日)に働けるから
4 生きがい・社会参加のため	11 他によい仕事がないから
5 お年寄りが好きだから	12 その他()
6 身近な人の介護の経験から	13 特に理由はない
7 資格・技能が活かせるから	

問6 現在の仕事について満足していますか。(○は1つ)

1 満足している	3 やや不満である
2 どちらかという満足している	4 不満である

問6-1 不満の理由は何か。(あてはまるものすべてに○)

1 職員の待遇	3 人員体制	5 職場環境
2 業務量	4 上司及び上層部	6 その他()

問7 あなたは、業務上の「悩み」や「問題点」を誰に相談していますか。(あてはまるものすべてに○) (※選択肢「7」、「8」については守秘義務を伴うものを除く。)

1 職場の上司・同僚	5 地域包括支援センター	9 その他()
2 職場の相談窓口	6 医師・看護師	10 相談していない
3 ケアマネジャー	7 友人・知人※	
4 保健師(区分守市)	8 家族・親族※	

問7-1 相談していない理由は何か。(あてはまるものすべてに○)

1 忙しくて相談する時間がとれないから	5 相談しても無駄だから
2 職場内外とも相談体制が整っていないから	6 自分で解決しているから
3 信頼できる相談相手がいらないから	7 その他()
4 相談先がわからぬから	

問8 介護に関する仕事の就業意向についてお伺いします。

(1) 現在働いている事業所での仕事をいつまで続けたいですか。(○は1つ)

1 半年程度	3 3～5年未満	5 働き続けられるかぎり
2 1～3年未満	4 5～10年未満	6 わからぬ

問9 現在働いている事業所を問わず、介護に関する仕事をいつまで続けたいですか。(○は1つ)

- | | | |
|----------|-----------|--------------|
| 1 半年程度 | 3 3～5年末滿 | 5 働き続けられるかぎり |
| 2 1～3年末滿 | 4 5～10年末滿 | 6 わからない |

問9 あなたが現在働く上での不安や悩みについてお伺いします。

(1) 労働条件・仕事の負担について、悩み、不安、不満等を感じていることはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------------|---------------------------------|
| 1 雇用が不安定である | 11 健康面(感染症・腰痛・怪我)の不安がある |
| 2 正社員(正規職員)になれない | 12 業務に対する社会的評価が低い |
| 3 仕事の内容のわりに賃金が低い | 13 福祉機器の不足、機器操作の不慣れ、施設の構造に不安がある |
| 4 労働時間が不規則である | 14 仕事での怪我等への補償が低い |
| 5 労働時間が長い | 15 その他 () |
| 6 休憩がとりにくい | 16 特に悩み、不安、不満等は感じていない |
| 7 夜間や深夜時間帯に何か起きるのではないかと不安がある | |
| 8 休暇が少ない、休暇が取りにくい | |
| 9 身体的負担が大きいか(体力に不安がある) | |
| 10 精神的にきつい | |

(2) 利用者及び利用者の家族について、悩み、不安、不満等を感じていることはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---|
| 1 利用者に適切なケアができていないか不安がある |
| 2 医いど思っていたことが利用者に理解されない |
| 3 利用者の行動が理解できずに対処方法がわからない |
| 4 利用者は何をやらせてもらっても当然と思っている |
| 5 定められたサービス行為以外の仕事を要求される |
| 6 利用者や家族の希望が一致しない |
| 7 利用者や、その家族との人間関係がうまくいかない |
| 8 利用者の家族が必要なサポート、理解をしてくれない |
| 9 介護事故(転倒・誤嚥その他)で利用者に怪我等をわざわざしてしまう不安がある |
| 10 その他 () |
| 11 特に悩み、不安、不満等は感じていない |

(3) 職場での人間関係等について、悩み、不安、不満等を感じていることはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | |
|-------------------------------------|
| 1 経営層の介護の基本方針、理念が不明確である |
| 2 経営層や管理職等の管理能力が低い、業務の指示が不明確、不十分である |
| 3 上司や同僚との仕事上の意思疎通がうまくいかない |
| 4 介護に対する認識について上司と違いがある |
| 5 自分と合わない上司や同僚がいる |
| 6 ケアの方法等について意見交換が不十分である |
| 7 協力の相違相手がない、相談窓口がない |
| 8 その他 () |
| 9 特に悩み、不安、不満等は感じていない |

問10 利用者やその家族の方から、介護保険以外のサービスでこんなサービスがあればといったご意見やご要望はありましたか。ご自由に記入ください。

--

3. 感染症について

問11 利用者が感染症に罹っているかどうかを確認する手段としては、「利用者やその家族」からの「申し出」が主なものとして考えられます。しかし、(1)「利用者やその家族自身が感染症に気がついていない場合」や、(2)「サービスを利用して始めてから感染したり、発症した場合は」など多く見受けられます。このような状況での感染症罹患に関する情報入手方法として、一番多いものを◎を、その次に多いものに○をつけてください。

(1) 利用者やその家族自身が感染症に気がついていないケースに直面したことがありますか。(○は1つ)

- | | |
|------|------|
| 1 ある | 2 ない |
|------|------|

●情報入手方法 (一番多いものに◎、その次に多いものに○)

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1 サービス提供事業者からの情報提供 | 4 訪問時に自分の眼で気がついた |
| 2 医療機関(主治医含む)からの情報提供 | 5 その他 () |
| 3 診断書(写し含む) | |

(2) サービスを利用し始めてから感染したり、発症したケースに直面したことがありますか。(○は1つ)

- | | |
|------|------|
| 1 ある | 2 ない |
|------|------|

●情報入手方法 (一番多いものに◎、その次に多いものに○)

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1 サービス提供事業者からの情報提供 | 4 訪問時に自分の眼で気がついた |
| 2 医療機関(主治医含む)からの情報提供 | 5 利用者やその家族からの報告 |
| 3 診断書(写し含む) | 6 その他 () |

4. 介護報酬改定や処遇改善の状況について

職員に対する処遇金銭の範囲になりますので、訪問看護など人員配置基準上、介護職員のいないサービスを提供されている方もご回答ください。

問12 現在働いている事業所で、平成24年4月以降のあなたの自身の処遇改善の状況についてお伺いします。(○はそれぞれ1つずつ)

	実施済み	実施予定	予定なし
ア 基本給のアップ	1	2	3
イ 基本給以外で、賞与のアップ	1	2	3
ウ 基本給以外で、資格等の手当のアップ	1	2	3
エ 福利厚生(保険・住宅等)の充実	1	2	3
オ 教育・研修の充実	1	2	3
カ 職員配置の拡充	1	2	3
キ その他()	1	2	

問13 現在働いている事業所で、平成24年4月以降のあなたの仕事内容や職場環境への影響についてお伺いします。(○はそれぞれ1つずつ)

ア 業務量の変化	1 業務量が増えた 2 やや業務量が増えた 3 特に変わりはない	4 やや業務量が減った 5 業務量は減った 6 わかりません
イ 業務負担の変化	1 負担が増えた 2 やや負担が増えた 3 特に変わりはない	4 やや負担が減った 5 負担は減った 6 わかりません
ウ 労働条件の変化	1 よくなった 2 ややよくなった 3 特に変わりはない	4 やや悪くなった 5 悪くなった 6 わかりません

5. 以前に働いていた職場の状況について

問14 現在の仕事に就く前に、収入の伴う仕事をしましたことがありますか。(○は1つ)

1 したことはない 2 したことがある

問14-1 現在の仕事に就く以前の仕事では、介護サービスに関わっていましたか。(○は1つ)

1 はい 2 いいえ

問14-1-1 現在の仕事に就く前に、介護サービスに関わっていた方にお伺いします。その時の就業形態はどれですか。(あてはまるものすべてに○)

1 正規職員 2 正規職員以外で常勤労働者 3 正規職員以外で短時間労働者 4 正規職員以外で登録ヘルパー(訪問介護員)

問14-1-2 現在の仕事に就く前に、介護サービスに関わっていた方にお伺いします。その仕事をやめた理由は何か。(あてはまるものすべてに○)

1 自分、家庭の事情(結婚・出産・転勤等)のため
 2 待遇(賃金・労働時間)に不満があったため
 3 職場の人間関係に不満があったため
 4 利用者との人間関係に不満があったため
 5 ケアの考え方が合わなかったため
 6 法人や事業所の経営理念や理念のあり方に不満があったため
 7 正社員になれなかったため
 8 介護の仕事内容が希望にあわなかったため
 9 契約期間が終了したため
 10 定年を迎えたため
 11 健康を害したため
 12 その他()

6. ご意見・ご要望について

問15 介護保険制度や保険者(国分寺市)に対してのご意見・ご要望など、ご自由にご記入ください。

アンケートは以上で終了です。ご協力ありがとうございました。
 回答の終わったアンケート調査票は、同封の返信用封筒に入れて12月27日(金)までにポストに投函してください。(切手は不要です。)

**国分寺市地域福祉計画
高齢者福祉に関するアンケート
結果報告書**

発行：平成26年3月

編集：国分寺市 福祉保健部 介護保険課
高齢者相談室